成田空港の更なる機能強化

環 境 影 響 評 価 準 備 書

参　考　資　料

（２／２）

2018 年４月

成田国際空港株式会社

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。（承認番号　平29情複、第1466号）

目　次

（第１分冊）

１．補足検討資料 ..... 参考 1.1-1
1.1.　将来交通量の推計方法 ..... 参考 1.1-1
1.2.　微小粒子状物質（PM2.5）の予測検討 ..... 参考 1.2-1
1.3.　供用時の航空機の運航等を加味したアクセス車両の大気質の影響の検討 . 参考 1.3-1
1.4.　夜間の航空機騒音の影響に関する検討 ..... 参考 1.4-1
1.5.　樹林の伐採による温室効果ガス吸収量の減少量の検討 ..... 参考 1.5-1

２．調査・予測結果 ..... 参考 2.1-1
2.1.　概要 ..... 参考 2.1-1
2.2.　大気質 ..... 参考 2.2-1
2.2.1. 気象（風向、風速、気温、湿度） .....参考 2.2.1-1
2.2.2. 二酸化窒素（NO_2）.....参考 2.2.2-1
2.2.3. 浮遊粒子状物質（SPM） .....参考 2.2.3-1
2.2.4. 微小粒子状物質（PM2.5）.....参考 2.2.4-1
2.2.5. 降下ばいじん .....参考 2.2.5-1
2.3.　騒音 ..... 参考 2.3-1
2.3.1. 環境騒音 .....参考 2.3.1-1
2.3.2. 道路交通騒音 .....参考 2.3.2-1
2.3.3. 航空機騒音 .....参考 2.3.3-1
2.4.　低周波音 ..... 参考 2.4-1
2.4.1. 低周波音 .....参考 2.4.1-1
2.4.2. 予測のための基礎データ収集 .....参考 2.4.2-1
2.5.　振動 ..... 参考 2.5-1
2.5.1. 環境振動 .....参考 2.5.1-1
2.5.2. 道路交通振動 .....参考 2.5.2-1
2.6.　水質 ..... 参考 2.6-1
2.7.　水文環境 .....参考 2.7.1-1
2.7.1. 現地調査結果 .....参考 2.7.1-1
2.7.2. 予測結果 .....参考 2.7.2-1

（第２分冊）

2.8.　動物.....参考 2.8.1-1
2.8.1. 現地調査結果.....参考 2.8.1-1
2.8.2. 予測結果.....参考 2.8.2-1
2.9.　植物.....参考 2.9.1-1
2.9.1. 現地調査結果.....参考 2.9.1-1
2.9.2. 予測結果.....参考 2.9.2-1
2.10.　生態系.....参考 2.10.1-1
2.10.1. 現地調査結果.....参考 2.10.1-1
2.10.2. 予測結果.....参考 2.10.2-1
2.11.　景観.....参考 2.11-1
2.12.　人と自然との触れ合いの活動の場.....参考 2.12-1

（図 面 集）

動物 ..... 図面集(動)-1
植物 ..... 図面集(植)-1
生態系 ..... 図面集(生)-1

2.8. 動物

2.8.1. 現地調査結果

(1) 哺乳類

1) 捕獲調査

ｱ. 捕獲調査地点概要

捕獲調査地点概要は、表 2.8.1-1 に示すとおりである。

表 2.8.1-1(1)　捕獲調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
T1	調査地域北側の樹林(コナラ林)。		T2	調査地域北側の低茎草地。	
T3	調査地域北側の畑周辺(放棄畑)。		T4	調査地域北西側の湿性草地(ヨシ原)。	
T5	調査地域北西側の樹林(コナラ林)。		T6	調査地域北西側の湿性草地(ヨシ原)。	
T7	調査地域南側の水田周辺。		T8	調査地域南側の水田周辺。	
T9	調査地域南側の樹林(スダジイ林)。		T10	調査地域南側の水田周辺。	
T11	調査地域南側の樹林(スギ林)。		T12	調査地域南側の樹林(スダジイ林)。	

表 2.8.1-1(2)　捕獲調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
T13	調査地域南側の水田周辺。		T14	調査地域南側の樹林(スギ林)。	
T15	調査地域北西側の樹林(竹林)。		T16	調査地域北西側の樹林(竹林)。	

ｲ. 捕獲調査結果

捕獲調査結果は、表 2.8.1-2、表 2.8.1-3 に示すとおりである。

表 2.8.1-2(1)　捕獲調査結果（ネズミ類）

No.	地点環境	時期	捕獲結果				
			アカネズミ	ヒメネズミ	カヤネズミ	ハツカネズミ	合計
T1	樹林（コナラ林）	夏	4				4
		秋	1				1
		冬					0
		春	4				4
T2	低茎草地	夏	1				1
		秋					0
		冬					0
		春				1	1
T3	放棄畑周辺	夏					0
		秋	1				1
		冬					0
		春					0
T4	湿性草地（ヨシ原）	夏	3				3
		秋	2				2
		冬					0
		春	3				3
T5	樹林（コナラ林）	夏	1				1
		秋	4				4
		冬					0
		春	2				2
T6	湿性草地（ヨシ原）	夏	1				1
		秋	4				4
		冬					0
		春	4				4
T7	水田周辺	夏					0
		秋	4				4
		冬					0
		春					0
T8	水田周辺	夏	3				3
		秋					0
		冬	1				1
		春	1				1

表 2.8.1-2(2)　捕獲調査結果（ネズミ類）

地点No.	地点環境	時期	捕獲結果				
			アカネズミ	ヒメネズミ	カヤネズミ	ハツカネズミ	合計
T9	樹林（スダジイ林）	夏	1				1
		秋					0
		冬					0
		春					0
T10	水田周辺	夏	1				1
		秋	5				5
		冬	2		1	1	4
		春				3	3
T11	樹林（スギ林）	夏	1				1
		秋	1				1
		冬	1	1		1	3
		春	4				4
T12	樹林（スダジイ林）	夏	2				2
		秋					0
		冬					0
		春		3			3
T13	水田周辺	夏	1				1
		秋					0
		冬					0
		春					0
T14	樹林（スギ林）	夏	1				1
		秋	2				2
		冬					0
		春					0
T15	樹林（竹林）	夏					0
		秋					0
		冬	1				1
		春	3				3
T16	樹林（竹林）	夏					0
		秋					0
		冬					0
		春					0
合計			70	4	1	6	81

※　表中の数字は捕獲個体数を表す。

表 2.8.1-3　捕獲調査結果（ユビナガコウモリ）

地点	時期	捕獲結果			
		ユビナガコウモリ	合計	前腕長（mm）	体重（g）
空港下カルバート	春（4月）	4	4	45.7	12.6
				46.7	12.2
				48.5	13.0
				46.6	13.0
	春（5月）	1	1	47.8	16.8
ゴルフ場下カルバート	春（4月）	4	4	46.7	11.4
				45.8	12.8
				48.8	13.0
				47.1	11.4
合計		9	9	－	－

※1　捕獲方法は、捕虫網を用いた手捕りによる。
※2　表中の数字は捕獲個体数を表す。

2) 夜間調査（コウモリ調査）

夜間調査結果は、表 2.8.1-4 に示すとおりである。

表 2.8.1-4　夜間調査（コウモリ調査）結果

No.	目名	科名	種名（和名）	確認内容	A			B			C		
					夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	コウモリ目	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ科の一種	39khz								2	
				40khz	2			3			8	4	3
				43khz				1	1				2
				44khz							1		
				45khz		1	3			2		2	6
				46khz							2		
				47khz	2						10	7	1
				48khz							5	2	7
				49khz						1		2	
				50khz		1						1	3
				51khz			1						2
				52khz									1
				53khz		1						1	
				小計	4	3	4	4	1	3	26	21	25
2		－	コウモリ目の一種	15khz									2
				19khz					1				
				小計	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	1 目	1 科	2 種	合計	4	3	4	4	2	3	26	21	27

注　表中の数字は確認例数を表す。

(2) 鳥類

1) 鳥類相

ｱ. 任意観察調査

任意観察調査結果は、表 2.8.1-5 に示すとおりである。

表 2.8.1-5(1)　任意観察調査結果

No.	科名	種名（和名）	調査時期					調査区域		
			秋	冬	春	夏（6 月）	夏（7 月）	A	B	C
1	キジ	キジ	○	○	○	○	○	○	○	○
2	カモ	オシドリ			○					○
3		オカヨシガモ		○					○	
4		マガモ		○				○		○
5		カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
6		ハシビロガモ	○	○	○			○		○
7		オナガガモ		○						○
8		コガモ	○	○				○	○	○
9		ホシハジロ		○	○			○	○	○
10		キンクロハジロ		○	○					○
－		カモ科の一種		○				○	○	
11	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○	○	○	○		○
12	ハト	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○
13		アオバト			○					○
14	ウ	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○
15	サギ	ミゾゴイ			○	○			○	○
16		ゴイサギ		○	○	○	○	○	○	○
17		アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○
18		ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○
19		チュウサギ	○		○	○	○		○	○
20		コサギ	○							○
21	クイナ	クイナ		○						○
22		バン	○	○		○		○		○
23		オオバン	○	○				○		○
24	カッコウ	ホトトギス			○	○	○	○	○	○
25		ツツドリ	○		○				○	○
26	アマツバメ	ヒメアマツバメ					○			○
27	チドリ	イカルチドリ		○		○				○
28		コチドリ			○	○	○	○	○	○
29	シギ	クサシギ		○	○		○	○	○	○
30	タカ	トビ	○	○	○	○	○		○	○
31		ツミ	○		○	○	○	○	○	○
32		ハイタカ	○	○					○	○
33		オオタカ	○	○	○	○	○	○	○	○
34		サシバ	○		○	○	○	○	○	○
35		ノスリ	○	○	○	○	○	○	○	○
36	フクロウ	フクロウ		○	○	○		○	○	○
37		アオバズク			○	○			○	○
38	カワセミ	カワセミ	○	○	○	○	○	○	○	○
39	キツツキ	コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○
40		アカゲラ	○	○					○	○
41		アオゲラ	○	○		○				○

表 2.8.1-5(2)　任意観察調査結果

No.	科名	種名（和名）	調査時期					調査区域		
			秋	冬	春	夏 (6 月)	夏 (7 月)	A	B	C
42	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○							○
43		チゴハヤブサ	○							○
44		ハヤブサ				○				○
45	サンショウクイ	サンショウクイ					○	○		
46	カササギヒタキ	サンコウチョウ			○	○	○	○	○	○
47	モズ	モズ	○	○	○	○	○	○	○	○
48	カラス	カケス	○	○	○	○	○	○	○	○
49		ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
50		ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
51	キクイタダキ	キクイタダキ		○						○
52	シジュウカラ	コガラ					○			○
53		ヤマガラ	○	○	○	○	○	○	○	○
54		シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○
55	ヒバリ	ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○
56	ツバメ	ツバメ	○		○	○	○	○	○	○
57	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
58	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○
59		ヤブサメ			○	○	○	○	○	○
60	エナガ	エナガ	○	○	○	○	○	○	○	○
61	ムシクイ	センダイムシクイ			○					○
62	メジロ	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
63	ヨシキリ	オオヨシキリ			○	○	○	○	○	○
64	セッカ	セッカ			○	○	○	○	○	○
65	ミソサザイ	ミソサザイ		○					○	○
66	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
67		コムクドリ	○							○
68	ヒタキ	トラツグミ		○				○		○
69		シロハラ		○				○	○	○
70		アカハラ		○				○	○	○
71		ツグミ		○	○			○	○	○
72		ルリビタキ		○				○	○	○
73		ジョウビタキ		○				○	○	○
74		ノビタキ	○							○
75		イソヒヨドリ				○		○		○
76		エゾビタキ	○						○	
77		コサメビタキ	○			○			○	
78		キビタキ	○		○	○	○		○	○
79	スズメ	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
80	セキレイ	キセキレイ	○	○				○	○	○
81		ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
82		セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
83		ビンズイ		○	○				○	○
84		タヒバリ		○					○	○
85	アトリ	アトリ		○					○	○
86		カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○
87		マヒワ		○					○	○
88		ベニマシコ		○						○
89		ウソ		○					○	○
90		シメ		○	○			○	○	○
91		イカル		○						○

表 2.8.1-5(3)　任意観察調査結果

No.	科名	種名（和名）	調査時期					調査区域		
			秋	冬	春	夏 (6 月)	夏 (7 月)	A	B	C
92	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
93		カシラダカ		○				○	○	○
94		アオジ		○	○			○	○	○
95		クロジ		○						○
96	キジ	コジュケイ	○	○	○	○	○	○	○	○
97	ハト	カワラバト(ドバト)	○	○		○	○			○
98	チメドリ	ガビチョウ			○	○	○	○	○	○
合計	39 科	98 種	52 種	68 種	58 種	53 種	48 種	60 種	69 種	94 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

ｲ. ラインセンサス調査ルート概要

ラインセンサス調査ルート概要は、表 2.8.1-6 に示すとおりである。

表 2.8.1-6　ラインセンサス調査ルート概要

No.	ルート概要		No.	ルート概要	
L1	距離 1.2km。調査地域北側の水田と樹林(コナラ林)周辺。		L2	距離 1.5km。調査地域北側の水田と斜面林(コナラ林とスギ林)周辺。	
L3	距離 1.6km。調査地域北側の台地上の畑(耕作地)周辺。		L4	距離 1.3km。調査地域北西側の竹林と湿性草地(ヨシ原)周辺。	
L5	距離 1.7km。調査地域北西側の樹林(コナラ林)周辺。		L6	距離 1.5km。調査地域中央部の湿性草地(ヨシ原)と斜面林(コナラ林)周辺。	
L7	距離 1.5km。調査地域中央部の水田周辺。		L8	距離 1.6km。調査地域中央部の水田と斜面林(コナラ林)周辺。	
L9	距離 1.3km。調査地域東側の水田周辺。		L10	距離 1.7km。調査地域南側の樹林(コナラ林とスギ林)周辺。	
L11	1.2km。調査地域南側の台地上の畑と樹林(スギ林)周辺。		L12	1.3km。調査地域南側の水田周辺。	
L13	1.7km。調査地域南側の水田と斜面林(コナラ林)周辺。		L14	1.6km。調査地域南側の台地上の畑と樹林(スギ林)周辺。	

ｳ. ラインセンサス調査結果

ラインセンサス調査結果は、表 2.8.1-7～表 2.8.1-20 に示すとおりである。

表 2.8.1-7(1)　ラインセンサス調査結果（No.L1）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L1									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ					1	1				
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	9	9	1	1	3	3	3	3	2	2
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ										
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス										
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ										
25	キツツキ	コゲラ	3	4	3	3	1	1	2	2	2	2
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ					1	1	1	1		
28	モズ	モズ	6	6			1	1				
29	カラス	カケス	2	3	2	2						
30		ハシボソガラス									1	2
31		ハシブトガラス	2	2					2	2	1	5
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ	4	4			1	1	1	1	3	4
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ					1	1	1	1	3	9
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ										
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	13	19	3	3	6	7	8	10	7	8
39	ウグイス	ウグイス	6	6	3	3	3	3	4	4	3	3
40		ヤブサメ					1	1	1	1	1	1
41	エナガ	エナガ			2	16						
42	ムシクイ	センダイムシクイ					1	1				
43	メジロ	メジロ	7	8	3	6	4	4	4	5	6	6
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ			2	2						
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			2	2						
49		ツグミ										
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ			1	1						
52		コサメビタキ	1	1								
53		キビタキ					1	1				
54	スズメ	スズメ										
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ			1	1						
57		セグロセキレイ										
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										

表 2.8.1-7(2)　ラインセンサス調査結果（No.L1）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L1									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ										
62		マヒワ			1	2						
63		ウソ										
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ							3	3	1	1
66		カシラダカ			1	6						
67		ノジコ										
68		アオジ			6	13						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										
70	キジ	コジュケイ	4	4			1	1				
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ									1	2
合計	35科	73種	11種		14種		14種		11種		12種	
			57例	66個体	31例	61個体	26例	27個体	30例	33個体	31例	45個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第７版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-8(1)　ラインセンサス調査結果（No.L2）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L2									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ	1	1								
2	カモ	オシドリ	1	1								
3		カルガモ										
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	7	10	7	36	5	5	1	1	2	3
6	ウ	カワウ					1	1				
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ					2	3	2	3	1	2
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							1	1		
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ					1	1				
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ					2	2	1	1		
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ	1	1								
25	キツツキ	コゲラ	3	3	1	1	2	2	3	3	1	1
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	5	5								
29	カラス	カケス	4	4								
30		ハシボソガラス	1	1			1	2				
31		ハシブトガラス	4	5	2	4	2	2			2	2
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ	6	6	1	1					2	3
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	3	4	2	2	2	2	1	2	1	2
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ					1	1	1	3		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	10	22	3	3	5	6	5	5	9	11
39	ウグイス	ウグイス	7	7	3	3	7	7	9	9	7	7
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ			1	3			1	6		
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	7	11	3	3	5	5	1	1	4	6
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			1	1						
49		ツグミ			2	2						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ	3	3								
54	スズメ	スズメ										
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ										
57		セグロセキレイ	2	2	2	3			1	1		
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ									1	1
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ			1	1	1	1				
65	ホオジロ	ホオジロ	4	4	2	3	4	4	1	2	1	1
66		カシラダカ			1	1						
67		ノジコ										
68		アオジ			6	10						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-8(2)　ラインセンサス調査結果（No.L2）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L2									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	1	1			1	1				
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	18種		16種		16種		13種		11種	
			70例	91個体	38例	77個体	42例	45個体	28例	38個体	31例	39個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-9(1)　ラインセンサス調査結果（No.L3）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L3									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					6	6	6	6	4	4
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ										
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	3	3	2	2	2	4	8	12	3	11
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ					1	1				
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							1	1	2	2
－		カッコウ科の一種	1	1								
15	チドリ	コチドリ					1	2	1	2	1	1
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ			2	2						
24	カワセミ	カワセミ										
25	キツツキ	コゲラ					1	1				
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	2	4	1	1	1	1	3	4		
29	カラス	カケス										
30		ハシボソガラス					2	3	1	1		
31		ハシブトガラス	2	5	1	2	1	1	1	1	1	1
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ										
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	1	1			1	2	2	2	1	1
36	ヒバリ	ヒバリ	3	3	1	10	18	18	14	18	17	20
37	ツバメ	ツバメ					2	3	2	6	1	4
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	3	7	5	9	5	8	4	12	4	12
39	ウグイス	ウグイス					7	14	7	8	5	6
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ							1	2		
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	2	4	1	1			1	2	1	2
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ					3	3	5	7		
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ	3	41	1	2	3	7	4	8	1	2
48	ヒタキ	シロハラ										
49		ツグミ			7	9						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ										
54	スズメ	スズメ	3	26	3	34	6	31	6	36	7	55
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ	2	3	2	2	1	1			1	3
57		セグロセキレイ			1	1						
58		ビンズイ			1	3						
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			2	5	3	10	7	27	2	4
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ	3	6	3	4	7	9	7	12	10	19
66		カシラダカ			4	10						
67		ノジコ										
68		アオジ										
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-9(2)　ラインセンサス調査結果（No.L3）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L3									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ					2	2	1	1		
71	ハト	カワラバト(ドバト)									1	70
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	12種		16種		20種		20種		17種	
			28例	104個体	37例	97個体	73例	127個体	82例	168個体	62例	217個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-10(1)　ラインセンサス調査結果（No.L4）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L4									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					4	4	1	1	1	1
2	カモ	オシドリ			2	6						
3		カルガモ										
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	5	6	2	5	2	3			1	1
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ			1	1	1	1				
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							2	2		
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ					2	2			1	1
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ										
25	キツツキ	コゲラ										
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	8	8	1	1						
29	カラス	カケス	2	3	1	1	1	1				
30		ハシボソガラス	1	1								
31		ハシブトガラス	3	5	4	30	6	8	4	7	3	4
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ			3	3	1	1	1	2		
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	2	4	2	3	4	8	1	1	3	9
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ	1	2			2	2	1	2		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	7	26	4	5	7	14	8	14	8	19
39	ウグイス	ウグイス	1	1	1	1	6	7	5	5	12	19
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ			1	5						
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ			1	3	1	2			1	2
44	ヨシキリ	オオヨシキリ					1	1	1	1		
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ									1	20
48	ヒタキ	シロハラ										
49		ツグミ			3	3						
－		ツグミ属の一種			1	1						
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ										
54	スズメ	スズメ	3	14	1	4	2	6	3	7	3	16
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ			1	1			1	1	1	2
57		セグロセキレイ	1	1	1	2	1	1	1	1		
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ					2	2	2	4		
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ			1	1						
65	ホオジロ	ホオジロ	1	1	5	11	4	6	5	5	3	3
66		カシラダカ			1	4						
67		ノジコ					1	1				
68		アオジ			8	15						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-10(2)　ラインセンサス調査結果（No.L4）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L4									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	2	2	1	1			1	1		
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	13種		21種		18種		15種		12種	
			37例	74個体	46例	107個体	48例	70個体	37例	54個体	38例	97個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-11(1)　ラインセンサス調査結果（No.L5）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L5									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					5	5	2	2		
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ										
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	4	5	6	8	3	4	2	3	6	6
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ										
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス										
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ							1	2		
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ					1	1				
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ										
25	キツツキ	コゲラ			1	2	1	1	6	6	1	1
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ							1	1		
28	モズ	モズ	5	6	1	1						
29	カラス	カケス	4	4	3	4			1	2		
30		ハシボソガラス	1	1								
31		ハシブトガラス	3	7	2	2	3	4	2	2	1	1
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ					2	3	2	3	1	1
34		ヒガラ	1	1			2	2				
35		シジュウカラ	2	2	1	2	3	8	1	1	8	13
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ					2	3	1	4		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	12	30	5	5	11	24	9	21	9	18
39	ウグイス	ウグイス	4	6	2	2	22	22	9	9	15	15
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ	1	1					4	14		
42	ムシクイ	センダイムシクイ					2	2				
43	メジロ	メジロ			1	3	2	3	2	6		
44	ヨシキリ	オオヨシキリ							2	2		
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			5	5						
49		ツグミ			3	7						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ							3	3		
54	スズメ	スズメ	1	13					1	2	2	12
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ										
57		セグロセキレイ			1	1	1	1				
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ					1	1				
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ			2	3	4	4	3	3	3	3
66		カシラダカ										
67		ノジコ										
68		アオジ			8	11						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種			1	1						

表 2.8.1-11(2)　ラインセンサス調査結果（No.L5）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L5									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	2	2			1	1	3	3	1	1
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	12種		14種		17種		19種		10種	
			40例	78個体	42例	57個体	66例	89個体	55例	89個体	47例	71個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-12(1)　ラインセンサス調査結果（No.L6）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L6									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ	1	1			3	3	2	2	2	2
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ										
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	6	8	4	6	6	8	1	2	5	8
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ					2	4			1	1
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ					1	1				
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							1	1	1	1
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ			1	1						
22		サシバ							1	1		
23		ノスリ			1	1						
24	カワセミ	カワセミ									1	1
25	キツツキ	コゲラ			3	4	3	5	2	3	1	1
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ					1	1				
28	モズ	モズ	5	6	1	1	1	1	1	1	3	3
29	カラス	カケス	1	1	1	2	1	1	3	3		
30		ハシボソガラス	1	2	1	2	1	1			1	2
31		ハシブトガラス	3	8			1	1			1	1
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ	1	2					1	2	2	3
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	1	1	3	7	1	1	4	8	4	7
36	ヒバリ	ヒバリ									1	1
37	ツバメ	ツバメ	1	1					2	8		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	6	18	2	3	10	16	13	21	8	20
39	ウグイス	ウグイス	1	1	4	5	11	20	13	23	15	26
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ			1	4	1	4	1	2	1	3
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	2	11	2	4	1	1	3	7	2	3
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ							1	2		
48	ヒタキ	シロハラ			3	4						
49		ツグミ			2	4						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ			1	1						
51		ジョウビタキ			1	1						
52		コサメビタキ										
53		キビタキ										
54	スズメ	スズメ	1	1	2	7	2	2	3	6	1	3
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ	1	1	1	1			1	1		
57		セグロセキレイ	1	1								
58		ビンズイ			1	2						
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ			1	1						
61		カワラヒワ			2	2	2	4	1	2	2	6
62		マヒワ			1	1						
63		ウソ										
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ	4	5	5	12	8	12	9	11	4	4
66		カシラダカ										
67		ノジコ										
68		アオジ			7	15						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-12(2)　ラインセンサス調査結果（No.L6）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L6									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ							3	5	1	1
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	16種		24種		18種		20種		20種	
			36例	68個体	51例	91個体	56例	86個体	66例	111個体	57例	97個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-13(1)　ラインセンサス調査結果（No.L7）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L7									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					1	1	2	2		
2	カモ	オシドリ									1	1
3		カルガモ					1	2	1	2		
4		アイガモ							1	25		
5	ハト	キジバト	3	5	3	25	2	2	3	4	3	3
6	ウ	カワウ							1	1		
7	サギ	ゴイサギ									1	1
8		アオサギ	2	4	1	1	1	1	2	2	4	5
9		ダイサギ					1	7			1	4
10		チュウサギ							2	2	1	1
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス					1	1	1	1		
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ			1	1						
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ					1	1				
24	カワセミ	カワセミ									1	1
25	キツツキ	コゲラ			1	1	3	3	2	2	3	4
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	3	4							2	2
29	カラス	カケス	1	8	3	7	1	1	2	2		
30		ハシボソガラス	1	4	1	4						
31		ハシブトガラス	1	2			1	2				
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ					2	2				
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	2	8			4	4	2	9		
36	ヒバリ	ヒバリ					1	1				
37	ツバメ	ツバメ					1	1	1	1		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	14	2	4	8	16	10	22	16	35
39	ウグイス	ウグイス			2	3	6	6	6	7	5	7
40		ヤブサメ							1	1		
41	エナガ	エナガ			1	8	1	3				
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	1	8	3	13	1	1	3	5	3	5
44	ヨシキリ	オオヨシキリ							1	1		
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			1	1						
49		ツグミ			3	8						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ					1	1				
54	スズメ	スズメ			1	4						
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ	2	4	1	2						
57		セグロセキレイ	1	2	2	3	1	1	1	1	1	1
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			1	6			1	1	2	5
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ			1	3						
65	ホオジロ	ホオジロ	1	2	4	11	9	10	4	5	1	1
66		カシラダカ			2	12						
67		ノジコ										
68		アオジ			2	5						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-13(2)　ラインセンサス調査結果（No.L7）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L7									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	1	1	1	4	3	3			3	3
71	ハト	カワラバト(ドバト)	1	2								
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	14種		21種		22種		20種		16種	
			24例	68個体	37例	126個体	51例	70個体	47例	96個体	48例	79個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-14(1)　ラインセンサス調査結果（No.L8）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L8									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					2	3	1	1		
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ			1	2	5	7	3	13		
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	1	2	4	13	3	4	4	4	4	8
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ	2	3	1	1	4	7	8	10	7	11
9		ダイサギ	1	2							2	2
10		チュウサギ					3	3	4	4	1	1
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス										
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ	1	1								
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ					1	1				
25	キツツキ	コゲラ					2	2	3	5		
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	7	11	2	2						
29	カラス	カケス	5	15			1	1			1	2
30		ハシボソガラス	1	6			1	1	2	2		
31		ハシブトガラス			1	1	1	2	1	2		
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ	1	2			3	3	1	1		
34		ヒガラ	1	4								
35		シジュウカラ	2	4			2	2	2	3	2	2
36	ヒバリ	ヒバリ							1	1		
37	ツバメ	ツバメ							1	3		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	10	2	5	7	13	9	16	10	17
39	ウグイス	ウグイス	1	2	1	1	7	7	4	4	4	4
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ										
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	1	6	2	12	1	1			3	9
44	ヨシキリ	オオヨシキリ							2	2		
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			1	1						
49		ツグミ			1	1						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ										
54	スズメ	スズメ	1	6					1	3		
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ	1	3	1	2						
57		セグロセキレイ	2	4	2	4						
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			1	1	1	2	2	2	1	1
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ			2	4						
65	ホオジロ	ホオジロ	1	3	3	7	7	9	2	2	4	4
66		カシラダカ			2	16						
67		ノジコ										
68		アオジ			7	29						
69		コジュリン	1	2								
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-14(2)　ラインセンサス調査結果（No.L8）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L8									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	2	3			1	1			1	1
71	ハト	カワラバト(ドバト)	1	7								
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	20種		17種		18種		18種		12種	
			35例	96個体	34例	102個体	52例	69個体	51例	78個体	40例	62個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-15(1)　ラインセンサス調査結果（No.L9）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L9									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ	2	2			1	1	1	1		
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ							3	3		
4		アイガモ					3	75	3	71		
5	ハト	キジバト	7	8	2	3	7	40	3	3	3	4
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ									1	1
8		アオサギ	2	2			4	4	2	3	3	3
9		ダイサギ					2	2				
10		チュウサギ									2	2
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							4	4	4	4
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ							1	1		
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ							1	1	1	1
22		サシバ										
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ					1	1				
25	キツツキ	コゲラ			1	2	5	6	1	1	1	1
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ							1	1		
28	モズ	モズ	5	5	3	3	5	5	4	4	1	1
29	カラス	カケス	1	1	1	2			1	1		
30		ハシボソガラス	1	1	1	1			2	6		
31		ハシブトガラス					1	1				
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ					1	1			2	2
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ					1	1	4	4		
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ					3	3	2	4	2	4
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	8	21	4	10	9	12	7	10	6	8
39	ウグイス	ウグイス	2	2	2	2	4	4	5	5	6	9
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ									1	3
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	1	1	3	22	4	5	1	1		
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ	1	2	1	7	2	2	1	1	1	2
48	ヒタキ	シロハラ			3	3						
49		ツグミ			3	3	1	1				
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ					2	2	1	1		
54	スズメ	スズメ	2	42	5	390	9	24	3	8	3	13
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ			1	1						
57		セグロセキレイ			2	2			1	3		
58		ビンズイ			1	2						
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			3	11						
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ			1	1						
65	ホオジロ	ホオジロ			1	2			4	7	4	4
66		カシラダカ										
67		ノジコ										
68		アオジ			4	4						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-15(2)　ラインセンサス調査結果（No.L9）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L9									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	2	9								
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	12種		19種		19種		23種		16種	
			34例	96個体	42例	471個体	65例	190個体	56例	144個体	41例	62個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-16(1)　ラインセンサス調査結果（No.L10）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L10									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ							1	1		
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	4	5	2	3	3	3	3	3	3	3
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ					1	3				
9		ダイサギ							1	1		
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							4	4	1	1
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ							1	1	1	2
25	キツツキ	コゲラ	1	1	3	5			1	1	3	4
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	4	4					1	1		
29	カラス	カケス	2	4	3	3	2	3	4	9	1	1
30		ハシボソガラス	1	1			2	2	1	4		
31		ハシブトガラス	2	7			2	2				
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ	2	3	3	6	2	3	2	3		
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	3	8	4	11	5	7	4	8	1	1
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ					2	3	2	3	1	2
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	9	18	10	26	5	13	11	22	13	20
39	ウグイス	ウグイス	3	3	8	8	3	3	7	8	8	8
40		ヤブサメ							2	2	1	1
41	エナガ	エナガ	3	18			3	13	1	3		
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	1	2	4	10	1	1	6	9	4	7
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			2	2						
49		ツグミ					1	2				
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ							1	1		
54	スズメ	スズメ	1	2	2	29	3	7	2	4	2	6
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ							1	1		
57		セグロセキレイ										
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			4	7	3	5	6	9	5	8
62		マヒワ										
63		ウソ			1	3						
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ	1	2	1	1	1	1	4	5	5	5
66		カシラダカ										
67		ノジコ										
68		アオジ			6	6						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-16(2)　ラインセンサス調査結果（No.L10）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L10									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	1	3							1	1
71	ハト	カワラバト(ドバト)									1	13
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	15種		14種		16種		22種		16種	
			38例	81個体	53例	120個体	39例	71個体	66例	103個体	51例	83個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-17(1)　ラインセンサス調査結果（No.L11）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L11									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ	1	1			2	2	2	2	1	1
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ							2	3		
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	2	2	3	6	1	1			2	2
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ					2	3	1	2	3	3
9		ダイサギ									1	1
10		チュウサギ					1	1	1	1	1	1
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス							1	1		
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ			1	1						
22		サシバ										
23		ノスリ							1	1		
24	カワセミ	カワセミ									1	1
25	キツツキ	コゲラ					1	1				
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	3	4	1	1						
29	カラス	カケス							1	1		
30		ハシボソガラス	1	1								
31		ハシブトガラス	3	3			1	1				
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ										
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ			1	1					1	1
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ									1	4
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	6	10	1	1	5	9			2	3
39	ウグイス	ウグイス	1	1	2	2	1	1	3	3	1	1
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ			1	2						
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	1	2	2	4			2	3		
44	ヨシキリ	オオヨシキリ					2	2	2	2	1	1
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ										
49		ツグミ										
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ										
54	スズメ	スズメ			1	1	1	1	1	6	1	3
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ	1	1								
57		セグロセキレイ	1	2					1	1		
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			1	100			1	1	2	6
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ	2	3	2	3	3	5	2	2	2	2
66		カシラダカ			1	5						
67		ノジコ										
68		アオジ			6	9						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-17(2)　ラインセンサス調査結果（No.L11）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L11									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ										
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ									1	1
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	11種		13種		11種		14種		15種	
			22例	30個体	23例	136個体	20例	27個体	21例	29個体	21例	31個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-18(1)　ラインセンサス調査結果（No.L12）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L12									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ					3	4	4	6	3	9
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	2	2	1	3						
6	ウ	カワウ	1	2							1	1
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ	3	3	2	2	1	1	1	1	3	3
9		ダイサギ									4	4
10		チュウサギ					2	2	2	9	3	3
11	クイナ	シロハラクイナ	1	1								
12		ヒクイナ										
13		バン	1	1								
14	カッコウ	ホトトギス										
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ			2	3	2	3				
17		チュウシャクシギ					1	1				
18		クサシギ										
19		キアシシギ					1	1				
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ			1	1						
24	カワセミ	カワセミ	1	1	1	1					1	1
25	キツツキ	コゲラ										
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ			1	1						
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	5	5	3	3	3	3	2	3	3	3
29	カラス	カケス										
30		ハシボソガラス							2	2	2	2
31		ハシブトガラス	1	1			1	1	1	1		
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ										
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ										
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ					1	1	1	6	1	1
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	3	1	2	1	2	2	3	2	3
39	ウグイス	ウグイス	1	1								
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ										
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ					1	1			1	3
44	ヨシキリ	オオヨシキリ					12	12	5	12	9	16
45	セッカ	セッカ					1	1				
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ			1	50			1	1		
48	ヒタキ	シロハラ			1	1						
49		ツグミ			8	9						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ										
54	スズメ	スズメ	2	47	3	89	1	1	4	13	2	10
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ	1	2	2	2						
57		セグロセキレイ			1	1			1	1		
58		ビンズイ										
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			2	121	1	4				
62		マヒワ										
63		ウソ										
64		シメ										
65	ホオジロ	ホオジロ			1	5						
66		カシラダカ			1	2						
67		ノジコ										
68		アオジ			1	1						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-18(2)　ラインセンサス調査結果（No.L12）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L12									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ										
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	12種		18種		15種		12種		13種	
			21例	69個体	33例	297個体	32例	38個体	26例	58個体	35例	59個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-19(1)　ラインセンサス調査結果（No.L13）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L13									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					1	1	2	2	1	1
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ					5	6	2	2		
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	4	7	6	30	2	3			3	5
6	ウ	カワウ			1	3						
7	サギ	ゴイサギ							3	5	1	1
8		アオサギ	2	2			3	3	4	4	1	1
9		ダイサギ	1	1			2	2	1	1	1	1
10		チュウサギ	1	1					1	1	2	2
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス										
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ										
22		サシバ										
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ			1	1			2	2		
25	キツツキ	コゲラ	1	1	2	2	1	1			1	1
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	6	6	1	2	2	2			1	1
29	カラス	カケス										
30		ハシボソガラス			1	1	2	3	1	2		
31		ハシブトガラス	2	3	1	2	6	8	1	2	1	2
32	キクイタダキ	キクイタダキ										
33	シジュウカラ	ヤマガラ	3	4	2	2	1	1	1	1	1	2
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ			1	2	1	1	2	2	1	1
36	ヒバリ	ヒバリ										
37	ツバメ	ツバメ					3	5	4	8	3	9
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	13	3	4	3	4	2	3	2	3
39	ウグイス	ウグイス			6	6	1	1	1	1	2	2
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ	1	7	1	5						
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	2	3	4	9	3	3	1	1	1	2
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ										
48	ヒタキ	シロハラ			1	1						
49		ツグミ			6	8						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ										
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ					1	1				
54	スズメ	スズメ	1	1	2	8	8	17	3	4	2	9
55	セキレイ	キセキレイ	1	1								
56		ハクセキレイ										
57		セグロセキレイ	1	2	2	2	2	4	1	1		
58		ビンズイ			3	12						
59		タヒバリ										
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			3	8	2	2	3	8		
62		マヒワ			1	15						
63		ウソ										
64		シメ			1	1						
65	ホオジロ	ホオジロ					2	2			4	4
66		カシラダカ			1	2						
67		ノジコ										
68		アオジ			3	6						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-19(2)　ラインセンサス調査結果（No.L13）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L13									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ					1	1	1	1	1	2
71	ハト	カワラバト(ドバト)										
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	14種		23種		21種		19種		18種	
			30例	52個体	53例	132個体	52例	71個体	36例	51個体	29例	49個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-20(1)　ラインセンサス調査結果（No.L14）

No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L14									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					1	1				
2	カモ	オシドリ										
3		カルガモ										
4		アイガモ										
5	ハト	キジバト	9	14	2	6	4	5			3	8
6	ウ	カワウ										
7	サギ	ゴイサギ										
8		アオサギ										
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	クイナ	シロハラクイナ										
12		ヒクイナ										
13		バン										
14	カッコウ	ホトトギス										
－		カッコウ科の一種										
15	チドリ	コチドリ										
16	シギ	タシギ										
17		チュウシャクシギ										
18		クサシギ										
19		キアシシギ										
20	タカ	ツミ										
21		オオタカ					1	1	1	1		
22		サシバ									1	1
23		ノスリ										
24	カワセミ	カワセミ										
25	キツツキ	コゲラ	2	2	2	2	3	3	1	1	3	3
26	ハヤブサ	チョウゲンボウ										
27	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
28	モズ	モズ	5	8								
29	カラス	カケス	1	2							1	1
30		ハシボソガラス	1	3			2	2			1	1
31		ハシブトガラス	3	9			4	5	1	2		
32	キクイタダキ	キクイタダキ			1	2						
33	シジュウカラ	ヤマガラ	5	13	1	2	1	1	1	2	3	4
34		ヒガラ										
35		シジュウカラ	3	10	1	2	4	4				
36	ヒバリ	ヒバリ					2	2	1	1		
37	ツバメ	ツバメ							3	7		
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	11	24	3	3	6	6	5	10	4	7
39	ウグイス	ウグイス	2	2	6	6	2	2			1	1
40		ヤブサメ										
41	エナガ	エナガ	1	12	1	10	2	9				
42	ムシクイ	センダイムシクイ										
43	メジロ	メジロ	7	19	7	16	2	2	2	2	2	4
44	ヨシキリ	オオヨシキリ										
45	セッカ	セッカ										
46	ミソサザイ	ミソサザイ										
47	ムクドリ	ムクドリ							1	1		
48	ヒタキ	シロハラ			3	3						
49		ツグミ			2	2						
－		ツグミ属の一種										
50		ルリビタキ			1	1						
51		ジョウビタキ										
52		コサメビタキ										
53		キビタキ					1	1	2	2		
54	スズメ	スズメ	2	6	3	14	14	27	3	8	6	17
55	セキレイ	キセキレイ										
56		ハクセキレイ			2	2						
57		セグロセキレイ	2	3					1	2	1	1
58		ビンズイ										
59		タヒバリ			2	2						
60	アトリ	アトリ										
61		カワラヒワ			4	8	6	6	4	7	4	6
62		マヒワ			1	1						
63		ウソ										
64		シメ					1	1				
65	ホオジロ	ホオジロ	1	2	1	1			3	3	2	2
66		カシラダカ			3	5						
67		ノジコ										
68		アオジ			9	18						
69		コジュリン										
－		ホオジロ科の一種										

表 2.8.1-20(2)　ラインセンサス調査結果（No.L14）

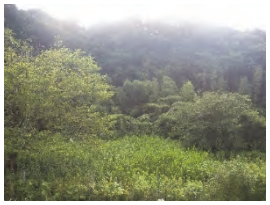
No.	科名	種名（和名）	ラインセンサスNo. L14									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
70	キジ	コジュケイ	1	2			1	1				
71	ハト	カワラバト(ドバト)									1	3
72	チメドリ	ガビチョウ										
73		ソウシチョウ										
合計	35科	73種	16種		20種		18種		14種		14種	
			56例	131個体	55例	106個体	57例	79個体	29例	49個体	33例	59個体

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

I. ポイントセンサス調査地点概要

ポイントセンサス調査地点概要は、表 2.8.1-21 に示すとおりである。

表 2.8.1-21　ポイントセンサス調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
P1	調査地域北側の樹林(コナラ林)周辺		P2	調査地域北側の水田周辺(水田)	
P3	調査地域北側の畑周辺(畑)		P4	調査地域北西側の湿性草地(ヨシ原)	
P5	調査地域北西側の樹林(スギ林)		P6	調査地域中央部の湿性草地(ヨシ原)	
P7	調査地域中央部の水田周辺(水田)		P8	調査地域中央部の水田周辺(水田)	
P9	調査地域中央部の樹林(スダジイ林)		P10	調査地域中央部の水田周辺（放棄水田、コナラ林）	
P11	調査地域南側の水田周辺(放棄水田)		P12	調査地域南側の水田周辺(水田)	
P13	調査地域南側の水田周辺（水田、畑地）		P14	調査地域南側の樹林(スギ林)	

ｵ. ポイントセンサス調査結果

ポイントセンサス調査結果は、表 2.8.1-22 に示すとおりである。

表 2.8.1-22(1)　ポイントセンサス調査結果（No.P1）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P1									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト	1	1			2	3	1	1	1	1
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ							1	1		
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ									1	1
17	フクロウ	フクロウ					1	1				
18	カワセミ	カワセミ					1	1				
19	キツツキ	コゲラ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20		アカゲラ	1	1	1	1						
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	1	1								
24	カラス	カケス			1	1						
25		ハシボソガラス										
26		ハシブトガラス										
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ	1	1	1	1	1	1	1	1		
29		シジュウカラ					1	1			1	1
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ										
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	1	1	1	2	2	2	2	3	4
33	ウグイス	ウグイス					2	2	2	2	3	3
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ	1	1	1	2			1	1	1	1
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ										
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ										
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ			1	1						
46	アトリ	カワラヒワ							1	1	1	1
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ							1	1		
50		カシラダカ			1	1						
51		アオジ			1	3						
52	キジ	コジュケイ					1	2	1	1	1	1
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ			1	1					1	1
合計	32科	54種	7種		10種		9種		10種		10種	
			7例	7個体	10例	13個体	12例	14個体	12例	12個体	14例	15個体

表 2.8.1-22(2)　ポイントセンサス調査結果（No.P2）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P2									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ					1	1				
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス							1	1		
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ	1	1								
19	キツツキ	コゲラ	2	2	1	1			1	1	1	1
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ			1	1						
24	カラス	カケス										
25		ハシボソガラス										
26		ハシブトガラス	1	2								
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ			1	2					1	1
29		シジュウカラ	2	4	1	2			1	1	1	2
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ					1	1				
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	1			1	1	2	2	1	2
33	ウグイス	ウグイス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
34	エナガ	エナガ	2	6								
35	メジロ	メジロ	2	9	1	2					1	1
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ			1	1						
40		ツグミ										
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ										
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ										
46	アトリ	カワラヒワ										
47		マヒワ										
48		シメ			1	3						
49	ホオジロ	ホオジロ										
50		カシラダカ										
51		アオジ			2	3						
52	キジ	コジュケイ					1	1	1	1		
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	9種		10種		6種		7種		7種	
			13例	27個体	11例	17個体	6例	6個体	9例	9個体	7例	9個体

表 2.8.1-22(3)　ポイントセンサス調査結果（No.P3）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P3									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					2	2				
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト	1	2	2	2	1	1	1	1		
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ										
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ					1	1				
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	1	1								
24	カラス	カケス										
25		ハシボソガラス	1	1	1	1	1	2			1	1
26		ハシブトガラス			1	2			1	1		
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ										
29		シジュウカラ					1	2				
30	ヒバリ	ヒバリ	1	1			2	2	3	6		
31	ツバメ	ツバメ	1	2			1	2	1	4	1	1
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	4			1	2				
33	ウグイス	ウグイス					1	1	2	3	1	3
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ										
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ					1	2	1	1		
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	2						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ	2	9	1	2			1	2		
44	セキレイ	ハクセキレイ			1	1			1	1		
45		セグロセキレイ									1	1
46	アトリ	カワラヒワ			1	1	2	5	1	3	1	2
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ			1	1	1	2	1	1	1	2
50		カシラダカ			1	3						
51		アオジ										
52	キジ	コジュケイ	1	1								
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	8種		9種		12種		10種		6種	
			10例	21個体	10例	15個体	15例	24個体	13例	23個体	6例	10個体

表 2.8.1-22(4)　ポイントセンサス調査結果（No.P4）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P4									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ	1	1			2	2	2	2		
2	カモ	カルガモ					1	2	1	2		
3	ハト	キジバト	5	5			1	2			1	2
4		アオバト										
5	ウ	カワウ	1	1								
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ	1	1			1	1				
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス							1	1	1	1
12	シギ	クサシギ			1	1						
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ			1	1						
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ							1	1		
19	キツツキ	コゲラ							1	1		
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	2	2	1	1						
24	カラス	カケス										
25		ハシボソガラス							1	1		
26		ハシブトガラス	1	2	2	4	1	2	2	3		
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ										
29		シジュウカラ	3	6	1	2	1	4				
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ	1	6								
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	10	2	3	2	5	1	1	3	11
33	ウグイス	ウグイス	2	2	1	1	7	7	2	2	5	5
34	エナガ	エナガ			1	5						
35	メジロ	メジロ					1	2				
36	ヨシキリ	オオヨシキリ					1	1	2	2	1	1
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	1						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ	1	4	1	6						
44	セキレイ	ハクセキレイ	1	1								
45		セグロセキレイ	1	1								
46	アトリ	カワラヒワ					1	2				
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ			1	1	2	2	2	2	2	2
50		カシラダカ			1	2						
51		アオジ			1	1						
52	キジ	コジュケイ							2	2		
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ									2	2
合計	32科	54種	13種		13種		12種		12種		7種	
			24例	42個体	15例	29個体	21例	32個体	18例	20個体	15例	24個体

表 2.8.1-22(5)　ポイントセンサス調査結果（No.P5）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P5									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト	2	2					1	1		
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ					1	1				
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス							1	1		
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ			1	1			1	1		
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	3	3								
24	カラス	カケス	1	2	2	2						
25		ハシボソガラス							1	1		
26		ハシブトガラス	1	1			1	1			1	1
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ	2	2			1	1	1	1		
29		シジュウカラ	3	6			1	2			1	3
30	ヒバリ	ヒバリ					1	1				
31	ツバメ	ツバメ										
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	6	13	1	2	3	5	3	5	1	2
33	ウグイス	ウグイス	2	2	1	1	3	3	1	1	2	2
34	エナガ	エナガ							1	3		
35	メジロ	メジロ			1	3						
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ										
41		ルリビタキ										
42		キビタキ							1	1		
43	スズメ	スズメ										
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ										
46	アトリ	カワラヒワ										
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ										
50		カシラダカ										
51		アオジ			1	1						
52	キジ	コジュケイ							1	1		
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	8種		6種		7種		10種		4種	
			20例	31個体	7例	10個体	11例	14個体	12例	16個体	5例	8個体

表 2.8.1-22(6)　ポイントセンサス調査結果（No.P6）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P6									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					1	1	1	1		
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト	1	1			1	1	1	1		
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ					1	2				
9		ダイサギ										
10		チュウサギ									1	1
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ	1	1			1	1	1	2		
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ							1	1		
23	モズ	モズ	1	1	1	1					1	1
24	カラス	カケス							1	1		
25		ハシボソガラス					1	1				
26		ハシブトガラス	1	1			1	2				
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ					1	1	1	1		
29		シジュウカラ	2	3			1	1	1	2	1	2
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ							2	6	1	1
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	3	21	2	3	1	2	1	2	2	5
33	ウグイス	ウグイス			1	1	1	4	3	4	3	3
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ	1	2	1	2			1	2		
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ			1	1						
40		ツグミ			1	1						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ							1	1		
43	スズメ	スズメ							1	2		
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ										
46	アトリ	カワラヒワ					1	2	1	1		
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ	1	2			2	2	1	1		
50		カシラダカ										
51		アオジ			1	3						
52	キジ	コジュケイ	1	1					1	3		
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	9種		7種		12種		16種		6種	
			12例	33個体	8例	12個体	13例	20個体	19例	31個体	9例	13個体

表 2.8.1-22(7)　ポイントセンサス調査結果（No.P7）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P7									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					1	1	1	1		
2	カモ	カルガモ									1	2
3	ハト	キジバト	2	3	2	16	1	1			2	2
4		アオバト	1	2								
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ							1	3	1	1
9		ダイサギ									1	1
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス							1	1	2	2
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ			1	1	2	2	1	1	1	2
20		アカゲラ	1	1								
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ									1	1
24	カラス	カケス	1	2					1	2		
25		ハシボソガラス			1	4						
26		ハシブトガラス					2	2	1	2	1	1
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ	1	2					1	1		
29		シジュウカラ	1	4	1	3	2	3			1	1
30	ヒバリ	ヒバリ					1	1	1	1	1	1
31	ツバメ	ツバメ					1	2	1	3	2	3
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	2			2	3	3	6	5	9
33	ウグイス	ウグイス	1	1			5	5	3	3	3	3
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ					1	1	1	2		
36	ヨシキリ	オオヨシキリ							1	1		
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	2						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ										
44	セキレイ	ハクセキレイ	1	2								
45		セグロセキレイ							1	1		
46	アトリ	カワラヒワ	1	4	1	8						
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ	1	1	2	10	3	3	1	1	2	2
50		カシラダカ										
51		アオジ			1	4						
52	キジ	コジュケイ	1	1			2	2				
53	ハト	カワラバト(ドバト)	1	3					1	4		
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	13種		8種		12種		16種		14種	
			14例	28個体	10例	48個体	23例	26個体	20例	33個体	24例	31個体

表 2.8.1-22(8)　ポイントセンサス調査結果（No.P8）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P8									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ					1	1	1	1		
2	カモ	カルガモ							1	1		
3	ハト	キジバト	1	2	1	4	2	2	1	1	3	3
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ					2	4			1	1
9		ダイサギ										
10		チュウサギ							1	1		
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ									1	1
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ					2	2			1	1
19	キツツキ	コゲラ					1	1	1	1	1	1
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	1	1								
24	カラス	カケス	1	3					1	1		
25		ハシボソガラス	1	3					1	1		
26		ハシブトガラス	1	2			1	1			1	1
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ			1	1			1	1		
29		シジュウカラ	1	2			1	1	1	2	1	2
30	ヒバリ	ヒバリ					1	1				
31	ツバメ	ツバメ					1	2	2	2	1	1
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	4	1	4	2	3	2	5	4	8
33	ウグイス	ウグイス			1	1	1	1	1	1	2	2
34	エナガ	エナガ									1	12
35	メジロ	メジロ	1	6	1	3	2	3	1	2	2	3
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ							1	2		
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ										
41		ルリビタキ										
42		キビタキ					1	1				
43	スズメ	スズメ										
44	セキレイ	ハクセキレイ					1	1	1	1	1	1
45		セグロセキレイ	1	2								
46	アトリ	カワラヒワ										
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ	1	3	1	4			1	1		
50		カシラダカ			1	8						
51		アオジ			1	6						
52	キジ	コジュケイ	1	1								
53	ハト	カワラバト(ドバト)									1	2
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	11種		8種		14種		16種		14種	
			11例	29個体	8例	31個体	19例	24個体	18例	24個体	21例	39個体

表 2.8.1-22(9)　ポイントセンサス調査結果（No.P9）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P9									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト			2	2	4	4	1	1	1	1
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ					1	1			2	5
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス									2	2
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ							1	1		
14		ハイタカ										
15		オオタカ							1	1		
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ					1	2				
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	4	4	1	1	2	2				
24	カラス	カケス					1	1	1	1	2	3
25		ハシボソガラス	1	3								
26		ハシブトガラス										
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ									2	2
29		シジュウカラ					1	2				
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ					1	1				
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	11	2	5	6	9	3	5	3	5
33	ウグイス	ウグイス			2	2	2	2	2	2	2	2
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ					1	3			1	2
36	ヨシキリ	オオヨシキリ							1	1		
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ			1	14						
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	2						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ					1	1				
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ										
46	アトリ	カワラヒワ			4	36						
47		マヒワ										
48		シメ			1	1						
49	ホオジロ	ホオジロ					2	2			1	1
50		カシラダカ			1	6						
51		アオジ			1	1						
52	キジ	コジュケイ										
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	3種		10種		12種		7種		9種	
			9例	18個体	16例	70個体	23例	30個体	10例	12個体	16例	23個体

表 2.8.1-22(10)　ポイントセンサス調査結果（No.P10）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P10									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ					1	1				
3	ハト	キジバト					3	3	1	1	3	4
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ									1	12
8		アオサギ					1	1	1	1		
9		ダイサギ					1	1	1	1		
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ					1	1				
19	キツツキ	コゲラ					1	2			1	1
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ					1	1	1	1		
24	カラス	カケス			1	1						
25		ハシボソガラス			1	1						
26		ハシブトガラス			1	1						
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ			1	1					1	2
29		シジュウカラ			1	3			1	1		
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ					1	4				
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ			1	1	3	6	4	8	5	12
33	ウグイス	ウグイス			1	1	4	4	5	5	6	6
34	エナガ	エナガ			1	5						
35	メジロ	メジロ			1	2	1	2	2	3	1	2
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			3	18						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ							1	1	1	1
43	スズメ	スズメ										
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ			1	1						
46	アトリ	カワラヒワ					1	1	1	1		
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ	2	3	2	3	1	1	2	5	1	4
50		カシラダカ										
51		アオジ			2	2						
52	キジ	コジュケイ							1	1	1	1
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	1種		13種		13種		12種		10種	
			2例	3個体	17例	40個体	20例	28個体	21例	29個体	21例	45個体

表 2.8.1-22(11)　ポイントセンサス調査結果（No.P11）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P11									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ					2	2				
3	ハト	キジバト	1	1	1	2	1	2				
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ									1	1
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス							1	1		
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ									1	1
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ					1	1	1	1		
19	キツツキ	コゲラ										
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	1	1	1	1					1	1
24	カラス	カケス										
25		ハシボソガラス	1	1								
26		ハシブトガラス					1	1				
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ									1	2
29		シジュウカラ										
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ							1	1	1	1
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	4	1	1			1	1	2	5
33	ウグイス	ウグイス	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ	1	2								
36	ヨシキリ	オオヨシキリ					2	2	3	3	1	1
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	1						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ			1	20	1	2				
44	セキレイ	ハクセキレイ			1	1						
45		セグロセキレイ					1	1	2	2	1	1
46	アトリ	カワラヒワ					1	2				
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ			1	1						
50		カシラダカ										
51		アオジ										
52	キジ	コジュケイ			1	1						
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
総計	32科	54種	6種		9種		9種		7種		9種	
			7例	10個体	9例	29個体	11例	14個体	11例	11個体	10例	14個体

表 2.8.1-22(12)　ポイントセンサス調査結果（No.P12）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P12									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ					1	2	2	3	1	6
3	ハト	キジバト	1	1	1	1	1	1				
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ									1	1
8		アオサギ	1	1			1	1	1	1		
9		ダイサギ	1	1			1	1				
10		チュウサギ							3	9		
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ			1	1						
19	キツツキ	コゲラ										
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ			1	1						
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	2	2	1	1			1	1		
24	カラス	カケス										
25		ハシボソガラス	1	1								
26		ハシブトガラス					1	1	1	1	1	2
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ										
29		シジュウカラ										
30	ヒバリ	ヒバリ			1	3						
31	ツバメ	ツバメ					1	1	1	2	1	4
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ										
33	ウグイス	ウグイス										
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ										
36	ヨシキリ	オオヨシキリ					5	5	1	5		
37	セッカ	セッカ			1	1	1	1	1	1	1	1
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	1						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ	2	9							1	2
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ	1	2							1	1
46	アトリ	カワラヒワ			1	8						
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ										
50		カシラダカ			1	2						
51		アオジ										
52	キジ	コジュケイ										
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	7種		9種		8種		8種		7種	
			9例	17個体	9例	19個体	12例	13個体	11例	23個体	7例	17個体

表 2.8.1-22(13)　ポイントセンサス調査結果（No.P13）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P13									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ										
2	カモ	カルガモ					1	3	1	2		
3	ハト	キジバト	1	1	2	2	3	6			2	2
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ							1	1		
7		アマサギ										
8		アオサギ										
9		ダイサギ										
10		チュウサギ									1	1
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ										
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ			1	1	1	1	2	3		
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	1	1	1	1					1	1
24	カラス	カケス	1	2							1	1
25		ハシボソガラス					2	2	1	2	1	2
26		ハシブトガラス	1	1	1	2	2	3	1	2	1	2
27	キクイタダキ	キクイタダキ										
28	シジュウカラ	ヤマガラ					1	1			1	1
29		シジュウカラ					2	2	2	2		
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ					1	2	1	2	1	2
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	5	2	2	3	4	4	6	2	2
33	ウグイス	ウグイス	2	2	1	1	1	1	3	3	2	2
34	エナガ	エナガ										
35	メジロ	メジロ			1	2	1	1	2	2	1	2
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	1						
41		ルリビタキ			1	1						
42		キビタキ										
43	スズメ	スズメ									1	1
44	セキレイ	ハクセキレイ			1	1	1	1				
45		セグロセキレイ	1	1	1	1			1	1	1	3
46	アトリ	カワラヒワ			2	7	4	5	2	5		
47		マヒワ										
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ			1	2	1	1	2	2	3	3
50		カシラダカ										
51		アオジ										
52	キジ	コジュケイ									1	2
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	7種		13種		14種		13種		15種	
			9例	13個体	16例	24個体	24例	33個体	23例	33個体	20例	27個体

表 2.8.1-22(14)　ポイントセンサス調査結果（No.P14）

No.	科名	種名（和名）	ポイントセンサスNo. P14									
			秋		冬		春		夏(6月)		夏(7月)	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	キジ	キジ							1	1		
2	カモ	カルガモ										
3	ハト	キジバト	2	2								
4		アオバト										
5	ウ	カワウ										
6	サギ	ゴイサギ										
7		アマサギ										
8		アオサギ										
9		ダイサギ										
10		チュウサギ										
11	カッコウ	ホトトギス										
12	シギ	クサシギ										
13	タカ	ツミ										
14		ハイタカ										
15		オオタカ					1	1				
16		サシバ										
17	フクロウ	フクロウ										
18	カワセミ	カワセミ										
19	キツツキ	コゲラ	1	1			1	1			1	1
20		アカゲラ										
21	ハヤブサ	ハヤブサ										
22	カササギヒタキ	サンコウチョウ										
23	モズ	モズ	1	2								
24	カラス	カケス	1	2								
25		ハシボソガラス					1	1				
26		ハシブトガラス	2	3	1	3	1	1	2	3		
27	キクイタダキ	キクイタダキ			1	1						
28	シジュウカラ	ヤマガラ	2	4								
29		シジュウカラ	1	3								
30	ヒバリ	ヒバリ										
31	ツバメ	ツバメ					1	1			1	1
32	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	4	1	1	3	3	3	3	2	3
33	ウグイス	ウグイス					1	1	1	1		
34	エナガ	エナガ	1	8								
35	メジロ	メジロ	1	2			1	1			1	1
36	ヨシキリ	オオヨシキリ										
37	セッカ	セッカ										
38	ムクドリ	ムクドリ										
39	ヒタキ	シロハラ										
40		ツグミ			1	1						
41		ルリビタキ										
42		キビタキ									1	1
43	スズメ	スズメ					1	1				
44	セキレイ	ハクセキレイ										
45		セグロセキレイ										
46	アトリ	カワラヒワ			2	3	1	1	1	1	2	3
47		マヒワ			1	1						
48		シメ										
49	ホオジロ	ホオジロ							1	1	1	1
50		カシラダカ										
51		アオジ			1	1						
52	キジ	コジュケイ										
53	ハト	カワラバト(ドバト)										
54	チメドリ	ガビチョウ										
合計	32科	54種	10種		7種		10種		6種		7種	
			14例	31個体	8例	11個体	12例	12個体	9例	10個体	9例	11個体

※　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。

2) バードストライク

ｱ. バードストライク調査地点概要

バードストライク調査地点概要は、表 2.8.1-23 に示すとおりである。

表 2.8.1-23　バードストライク調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
St.1	十余三東雲の丘に位置する。B 滑走路の北側を観察できる。		St.2	B 滑走路の管理道脇に位置する。B 滑走路の中央～東側を観察できる。	
St.3	A 滑走路の管理道脇に位置する。A 滑走路の中央～西側を観察できる。		St.4	ひこうきの丘に位置する。A 滑走路の南側を観察できる。	

ｲ. 滑走路周辺における鳥類の出現状況

滑走路周辺における鳥類の出現状況は、表 2.8.1-24～表 2.8.1-27 に示すとおりである。

表 2.8.1-24(1)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.1）

No.	種名（和名）	調査地点　St.1（東雲の丘）																			
		夏季（8 月）				秋季				冬季				春季				夏季（6 月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
1	ウズラ																	3	3		
2	キジ													1	1	1	1	2	3		
3	オシドリ																				
4	ヨシガモ																				
5	マガモ																				
6	カルガモ													2	4						
－	カモ科の一種					1	1														
7	カイツブリ																				
8	キジバト	9	12	2	7	4	6	1	2			2	2					3	3	2	3
－	ハト科の一種																				
9	カワウ																				
－	ウ科の一種																				
10	ゴイサギ																	1	1		
11	ササゴイ																				
12	アオサギ							1	1					2	3	1	1	2	2	3	4
13	ダイサギ																	1	1		
14	チュウサギ																				
－	サギ科の一種																				
15	オオバン																				
16	ホトトギス																	2	2		
17	コチドリ																				
－	チドリ科の一種																	2	2		
18	キアシシギ																				
－	シギ科の一種																				
19	トビ					1	1			1	1										
20	オオタカ															2	2			5	5
21	サシバ																			3	3
2	ノスリ									1	1										
23	フクロウ																				
24	チョウゲンボウ					5	5							1	1						
25	ハヤブサ																				
26	モズ																				
27	ハシボソガラス	7	11	12	16					9	54	21	80	26	494	2	2	20	53	37	65
28	ハシブトガラス									1	1	4	5							1	3
－	カラス科の一種	4	9	2	5	24	221			5	8	3	7					2	2		
29	ヤマガラ																				
30	ヒバリ	1	1	2	2	10	10			1	1	6	8	58	64	6	10	38	46	36	50
31	ツバメ	17	40	3	10									2	3			16	78	10	26
32	ヒヨドリ			1	1	2	7											1	1		
33	ウグイス																				
34	エナガ																				
35	メジロ																				
36	セッカ													5	5			3	3	3	3

表 2.8.1-24(2)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.1）

No.	種名（和名）	調査地点　St.1（東雲の丘）																			
		夏季(8 月)				秋季				冬季				春季				夏季(6 月)			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
37	ムクドリ					1	2							1	3			1	5		
38	シロハラ																				
39	ツグミ											5	7								
－	ヒタキ科の一種																				
40	スズメ			3	10	10	88					5	18	9	29	3	7	9	25	14	19
41	ハクセキレイ					5	8					1	6								
42	セグロセキレイ					2	2														
43	ビンズイ																				
44	タヒバリ																				
－	タヒバリ属の一種																				
45	アトリ																				
46	カワラヒワ					3	12			1	1							2	3		
47	マヒワ																				
48	イカル																				
49	ホオジロ			1	1	1	1														
－	ホオジロ科の一種																				
－	スズメ目の一種																				
50	カワラバト（ドバト）													1	2						
計	50 種	38	73	26	52	69	364	2	3	19	67	47	133	108	609	15	23	108	233	114	181

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　内は滑走路内、外は滑走路外を表している。滑走路内は、上空の通過を含む滑走路上で確認した鳥類が該当する。滑走路外は、滑走路上への進入を確認しなかった鳥類が該当する。
※3　例は例数、個は個体数を表す。
※4　カラス科の一種は、ハシボソガラス又はハシブトガラスのいずれかであるが、判別がつかなかった例を表す。
※5　不明鳥類は、目レベルでの判断ができなかった個体を表す。
※6　No.に"－"と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。ただし、例数及び個体数の計数時にはカウントに加えた。
※7　種名（和名）欄は各地点で共通のものを表す。そのため、未確認の種類も含まれている。

表 2.8.1-25(1)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.2）

No.	種名（和名）	調査地点　St.2（B 滑走路）																			
		夏季（8 月）				秋季				冬季				春季				夏季（6 月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
1	ウズラ																				
2	キジ			1	1															1	1
3	オシドリ																				
4	ヨシガモ																				
5	マガモ																				
6	カルガモ													2	5	2	5				
－	カモ科の一種																				
7	カイツブリ																				
8	キジバト	1	1	3	3	2	4	1	1	1	1	1	1					3	5	1	1
－	ハト科の一種																			1	2
9	カワウ																				
－	ウ科の一種																				
10	ゴイサギ							3	3							1	1				
11	ササゴイ																				
12	アオサギ					1	1							1	1	2	2	5	5	6	8
13	ダイサギ					1	11														
14	チュウサギ																				
－	サギ科の一種																				
15	オオバン																				
16	ホトトギス													3	3					1	1
17	コチドリ															1	1				
－	チドリ科の一種																				
18	キアシシギ																				
－	シギ科の一種																				
19	トビ	3	3	1	1	2	2	1	1	1	1										
20	オオタカ																				
21	サシバ																				
22	ノスリ							4	4	2	2										
23	フクロウ											1	1								
24	チョウゲンボウ					5	5	5	5					1	1					1	1
25	ハヤブサ																				
26	モズ							1	1												
27	ハシボソガラス	13	22	41	98	13	26	11	27	4	4	9	15	7	11	38	51	5	7	30	42
28	ハシブトガラス	7	10	1	1	3	19	3	5	14	22	15	22	2	2	1	1	1	1	2	2
－	カラス科の一種	1	1	1	4	1	1	3	13	7	53	3	8	5	9	4	4	6	8	5	8
29	ヤマガラ			1	5																
30	ヒバリ			2	3	2	8	11	15			11	18	9	12	76	125	5	6	86	125
31	ツバメ	3	16	51	165									3	3	46	118	12	66	43	187
32	ヒヨドリ					1	11	2	5							2	4			1	1
33	ウグイス							1	1											1	1
34	エナガ											1	10								
35	メジロ			2	2			2	2												
36	セッカ															4	4			29	30
37	ムクドリ					1	2	1	80							25	214			1	4
38	シロハラ											1	1								
39	ツグミ									1	1	16	21								
－	ヒタキ科の一種																				

表 2.8.1-25(2)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.2）

No.	種名（和名）	調査地点　St.2（B 滑走路）																			
		夏季（8 月）				秋季				冬季				春季				夏季（6 月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
40	スズメ			2	26			1	3							2	2			4	13
41	ハクセキレイ			3	4	1	1	3	4			1	1			3	3	1	1	2	2
42	セグロセキレイ			1	1															1	1
43	ビンズイ					1	2	11	13												
44	タヒバリ											1	20								
－	タヒバリ属の一種																				
45	アトリ																				
46	カワラヒワ					3	35	5	26			3	8			3	4				
47	マヒワ							3	7												
48	イカル							1	1												
49	ホオジロ																			1	1
－	ホオジロ科の一種					1	18	1	2												
－	スズメ目の一種	1	1					1	1												
50	カワラバト（ドバト）	3	32	4	74	1	11			2	22	2	30	2	3	4	25			1	35
計	50 種	32	86	114	388	39	157	75	220	32	106	65	156	35	50	214	564	38	99	218	466

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　内は滑走路内、外は滑走路外を表している。滑走路内は、上空の通過を含む滑走路上で確認した鳥類が該当する。滑走路外は、滑走路上への進入を確認しなかった鳥類が該当する。
※3　例は例数、個は個体数を表す。
※4　カラス科の一種は、ハシボソガラス又はハシブトガラスのいずれかであるが、判別がつかなかった例を表す。
※5　不明鳥類は、目レベルでの判断ができなかった個体を表す。
※6　No.に"－"と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。ただし、例数及び個体数の計数時にはカウントに加えた。
※7　種名（和名）欄は各地点で共通のものを表す。そのため、未確認の種類も含まれている。

表 2.8.1-26(1)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.3）

No.	種名（和名）	調査地点　St.3（A 滑走路）																			
		夏季（8 月）				秋季				冬季				春季				夏季（6 月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
1	ウズラ																				
2	キジ																	1	1	1	2
3	オシドリ											9	54								
4	ヨシガモ											2	9								
5	マガモ											2	63								
6	カルガモ	4	8					1	7			1	3	1	1	1	2				
－	カモ科の一種							2	2	2	10	3	6								
7	カイツブリ											1	1								
8	キジバト							1	1												
－	ハト科の一種																				
9	カワウ									3	7							2	2		
－	ウ科の一種					1	1														
10	ゴイサギ																				
11	ササゴイ																				
12	アオサギ	2	2			1	1	1	1					19	23	1	1	35	48	3	3
13	ダイサギ																	2	2		
14	チュウサギ																				
－	サギ科の一種																	1	1		
15	オオバン											1	1								
16	ホトトギス																				
17	コチドリ																	6	12		
－	チドリ科の一種																				
18	キアシシギ																				
－	シギ科の一種																				
19	トビ	2	2			1	1			2	2							1	1	1	1
20	オオタカ																				
21	サシバ																				
22	ノスリ									3	3										
23	フクロウ																				
24	チョウゲンボウ	3	3			1	1									1	1	1	1	1	1
25	ハヤブサ	1	1															2	2		
26	モズ																				
27	ハシボソガラス	11	20			1	2	3	3	27	50	3	5	5	10			11	14	2	3
28	ハシブトガラス	5	8							9	24	1	1	1	1			3	12		
－	カラス科の一種					9	17	3	7	15	30	1	1								
29	ヤマガラ																				
30	ヒバリ	16	24	1	1											15	46	12	53	5	25
31	ツバメ	23	56											3	4	4	7	4	9	1	6
32	ヒヨドリ													1	1						
33	ウグイス																				
34	エナガ																				
35	メジロ																				
36	セッカ	1	1															1	3		
37	ムクドリ									1	1										
38	シロハラ																				
39	ツグミ									3	3	1	1								
－	ヒタキ科の一種																				
40	スズメ							1	1	2	42										
41	ハクセキレイ	9	18			4	7	3	5	1	1			1	2	1	1	8	8		
42	セグロセキレイ																				

表 2.8.1-26(2)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.3）

No.	種名（和名）	調査地点　St.3（A 滑走路）																			
		夏季（8 月）				秋季				冬季				春季				夏季（6 月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
43	ビンズイ																				
44	タヒバリ							1	1	1	5										
－	タヒバリ属の一種									1	4										
45	アトリ																				
46	カワラヒワ							1	4												
47	マヒワ																				
48	イカル																				
49	ホオジロ																				
－	ホオジロ科の一種																				
－	スズメ目の一種																				
50	カワラバト(ドバト)	3	39			1	1	1	26	3	13	4	11					3	5		
計	50 種	80	182	1	1	19	31	18	58	73	195	29	156	31	42	23	58	93	174	14	41

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　内は滑走路内、外は滑走路外を表している。滑走路内は、上空の通過を含む滑走路上で確認した鳥類が該当する。滑走路外は、滑走路上への進入を確認しなかった鳥類が該当する。
※3　例は例数、個は個体数を表す。
※4　カラス科の一種は、ハシボソガラス又はハシブトガラスのいずれかであるが、判別がつかなかった例を表す。
※5　不明鳥類は、目レベルでの判断ができなかった個体を表す。
※6　No.に"－"と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。ただし、例数及び個体数の計数時にはカウントに加えた。
※7　種名（和名）欄は各地点で共通のものを表す。そのため、未確認の種類も含まれている。

表 2.8.1-27(1)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.4）

No.	種名（和名）	調査地点　St.4（ひこうきの丘）																			
		夏季（8月）				秋季				冬季				春季				夏季（6月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
1	ウズラ																				
2	キジ											1	1			4	4				
3	オシドリ																				
4	ヨシガモ																				
5	マガモ																				
6	カルガモ			3	2									6	4	4	3			2	1
－	カモ科の一種																				
7	カイツブリ																				
8	キジバト	1	1	8	5			3	3			1	1					2	1		
－	ハト科の一種																				
9	カワウ											1	1							6	1
－	ウ科の一種																				
10	ゴイサギ			1	1			1	1							2	2				
11	ササゴイ													1	1						
12	アオサギ					3	2	1	1					30	27	4	3	39	33	1	1
13	ダイサギ	1	1	2	2													10	10	1	1
14	チュウサギ													5	5			6	4		
－	サギ科の一種																				
15	オオバン																				
16	ホトトギス															2	2				
17	コチドリ			2	1											2	2				
－	チドリ科の一種																				
18	キアシシギ							1	1												
－	シギ科の一種							1	1												
19	トビ			1	1	1	1	2	2			1	1							1	1
20	オオタカ																				
21	サシバ																				
22	ノスリ																				
23	フクロウ															1	1				
24	チョウゲンボウ	2	1	2	2	1	1	1	1			1	1								
25	ハヤブサ																				
26	モズ							3	3			1	1								
27	ハシボソガラス	3	3	5	4	30	14	6	4			12	8	1	1			6	3	3	1
28	ハシブトガラス	1	1	5	4	32	14	21	13			12	5	22	10	4	4	25	14	17	7
－	カラス科の一種	2	1			16	6			10	4	5	2	4	1			5	1		
29	ヤマガラ																				
30	ヒバリ			32	13	4	1	40	16			21	2	1	1	43	9	11	4	23	9
31	ツバメ	4	1	128	44									8	2	2	1			1	1
32	ヒヨドリ							9	5			1	1								
33	ウグイス																				
34	エナガ																				
35	メジロ																				
36	セッカ			9	9											2	2				
37	ムクドリ			100	1	65	2	150	2			8	3			5	3			457	5
38	シロハラ																				
39	ツグミ											37	19								
－	ヒタキ科の一種							1	1												
40	スズメ			96	30	26	4	118	26												
41	ハクセキレイ			1	1	1	1	2	2					5	4	1	1				
42	セグロセキレイ			3	3											1	1				

表 2.8.1-27(2)　滑走路周辺における鳥類の出現状況（St.4）

No.	種名（和名）	調査地点　St.4（ひこうきの丘）																			
		夏季（8 月）				秋季				冬季				春季				夏季（6 月）			
		内		外		内		外		内		外		内		外		内		外	
		例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個	例	個
43	ビンズイ							1	1												
44	タヒバリ																				
－	タヒバリ属の一種																				
45	アトリ							4	2												
46	カワラヒワ							6	1												
47	マヒワ																				
48	イカル																				
49	ホオジロ			2	2			1	1			2	1			2	2			2	1
－	ホオジロ科の一種																				
－	スズメ目の一種							1	1												
50	カワラバト(ドバト)	106	3	112	4	125	3	60	2									35	1		
計	50 種	120	12	512	129	304	49	433	90	10	4	104	47	83	56	79	40	139	71	514	29

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　内は滑走路内、外は滑走路外を表している。滑走路内は、上空の通過を含む滑走路上で確認した鳥類が該当する。滑走路外は、滑走路上への進入を確認しなかった鳥類が該当する。
※3　例は例数、個は個体数を表す。
※4　カラス科の一種は、ハシボソガラス又はハシブトガラスのいずれかであるが、判別がつかなかった例を表す。
※5　不明鳥類は、目レベルでの判断ができなかった個体を表す。
※6　No.に"－"と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。ただし、例数及び個体数の計数時にはカウントに加えた。
※7　種名（和名）欄は各地点で共通のものを表す。そのため、未確認の種類も含まれている。

3) 秋の渡り

ｱ. 秋の渡り調査地点概要

秋の渡り調査地点概要は、表 2.8.1-28～表 2.8.1-29 に示すとおりである。

表 2.8.1-28　秋の渡り調査地点概要（直進上昇・降下調査地点）

No.	地点概要		No.	地点概要	
St.1	成田市幡谷付近。水田脇の丘の上に位置しする。		St.2	成田市芦田付近。荒海川堤防の道路上に位置する。	
St.3	成田市十余三付近。「十余三東雲の丘」公園内に位置する。		St.4	成田市駒井野付近。「さくらの山公園」敷地内に位置する。	
St.5	成田市多良貝付近。県道 44 号線沿いの旧道路上に位置する。		St.6	芝山町菱田付近。水田脇の草地に位置する。	
St.7	芝山町岩山付近。芝山町が管理する「ひこうきの丘」公園内に位置する。		St.8	多古町喜多付近。多古橋川に架かる橋の上に位置する。	
St.9	芝山町山中付近。高谷川流域の水田内の農道上に位置する。		St.10	多古町牛尾付近。高谷川と栗山川の合流点付近の水田脇の農道上に位置する。	

表 2.8.1-29　秋の渡り調査地点概要（比較対照調査地点）

No.	地点概要		No.	地点概要	
St.C1	香取市佐原ロ付近(利根川)。利根川の堤防上に位置する北方（主として霞ヶ浦・北浦方面）を観察できる。		St.C2-1	栄町和田付近(利根川)。利根川の堤防上に位置する北方(主として霞ヶ浦方面)を観察できる。	
St.C2-2	印西市下井付近(印旛沼)。印旛沼北岸堤防上に位置する。印旛沼に飛来するガンカモ類の飛翔動向を観察できる。		St.C3	匝瑳市堀ノ内付近。水田脇の農道上に位置する。九十九里浜沿いに東西に広がる丘陵地帯に向けての移動を観察できる。	
St.C4	山武市湯坂付近。水田脇の農道上に位置する。九十九里浜沿いに東西に広がる丘陵地帯を観察できる。		－	－	－

ｲ. 渡りと判断したその他の鳥類の確認状況

秋の渡り調査におけるその他の鳥類の確認種一覧は、表 2.8.1-30 に示すとおりである。

表 2.8.1-30(1)　渡りと判断したその他の鳥類の確認状況

科名	種名（和名）	直進上昇・降下調査地点				比較対照調査地点			
		9 月	10 月	11 月	合計	9 月	10 月	11 月	合計
		26～28 日	24～26 日	21～23 日		26～28 日	24～26 日	21～23 日	
ハト	アオバト		1(1)		1(1)				
ウ	カワウ		4(6)	7(16)	11(22)			1(66)	1(66)
サギ	アオサギ			1(36)	1(36)				
	チュウサギ	4(92)			4(92)				
クイナ	クイナ		1(1)		1(1)				
	ヒクイナ	1(1)			1(1)				
カッコウ	カッコウ科の一種	1(1)			1(1)				
ヨタカ	ヨタカ	1(1)			1(1)				
アマツバメ	アマツバメ	4(57)			4(57)				
チドリ	タゲリ			1(70)	1(70)				
	ムナグロ	1(21)			1(21)	1(31)	2(16)	1(1)	4(48)
	ヤマシギ		1(1)		1(1)				
	チュウジシギ		1(1)		1(1)				
シギ	タシギ	1 (1)	1(1)		2(2)			1(1)	1(1)
	タシギ属の一種	3 (4)			3(4)				
	アオアシシギ		1(1)		1(1)				
	クサシギ		2(3)		2(3)				
	キアシシギ		1(2)		1(2)	2(2)			2(2)
	ヒバリシギ						1(1)		1(1)
	アカエリヒレアシシギ						1(1)		1(1)
カモメ	ユリカモメ						1(24)		1(24)
	クロハラアジサシ						2(6)		2(6)
カラス	カケス	15(70)		1(3)	16(73)	2(5)			2(5)
	ミヤマガラス		1(1)		1(1)		1(24)		1(24)
ヒバリ	ヒバリ		4(15)	2(24)	6(39)	1(2)			1(2)
ツバメ	ショウドウツバメ	2(9)			2(9)				
	ツバメ	22(165)			22(165)	12(41)	1(3)		13(44)
	イワツバメ		1 (1)		1(1)				
	ツバメ科の一種		1 (4)		1(4)	1(10)	1(3)		2(13)
ヒヨドリ	ヒヨドリ	57(579)	31(492)	9(124)	97(1,195)	38(511)	24(561)		62(1,072)
メジロ	メジロ	6(56)	15(217)	7(116)	28(389)				
ムクドリ	コムクドリ	2(5)			2(5)				
ヒタキ	マミジロ		1(1)		1(1)				
	アカハラ			1(1)	1(1)				
	ツグミ	1(5)	7(43)	16(119)	24(167)	1(1)			1(1)
	ルリビタキ		1(1)		1(1)				

表 2.8.1-30(2)　渡りと判断されたその他の鳥類の確認状況

科名	種名（和名）	直進上昇・降下調査地点				比較対照調査地点			
		9 月	10 月	11 月	合計	9 月	10 月	11 月	合計
		26～28 日	24～26 日	21～23 日		26～28 日	24～26 日	21～23 日	
ヒタキ	ジョウビタキ		2(2)	1(1)	3(3)				
	ノビタキ	1(1)	1(1)		2(2)				
	コサメビタキ	1(1)			1(1)				
	ヒタキ科の一種		1(1)		1(1)				
スズメ	スズメ	8(185)			8(185)				
セキレイ	キセキレイ	3(3)	2(2)		5(5)				
	ビンズイ		6(22)	3(8)	9(30)				
	タヒバリ		7(36)	8(48)	15(84)				
アトリ	アトリ		1(12)	4(734)	5(746)				
	カワラヒワ		5(39)	6(137)	11(176)				
	マヒワ		2(54)	2(12)	4(66)		1(20)		1(20)
	ベニマシコ		1(10)		1(10)				
	ウソ			5(14)	5(14)				
	シメ		3(9)	3(12)	6(21)	3(6)			3(6)
	アトリ科の一種		2(17)	1(80)	3(97)				
ホオジロ	ホオジロ		1(1)		1(1)				
	カシラダカ		4(26)	6(68)	10(94)				
	アオジ		3(4)		3(4)		1(3)		1(3)
21 科	50 種	134 (1,257) 18 種	116 (1,028) 30 種	84 (1,693) 18 種	334 (3,908) 46 種	61 (609) 8 種	36 (662) 10 種	3 (68) 3 種	100 (1,339) 16 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年　日本鳥学会）に準拠した。
※2　表中の数字は例数、（）は個体数を表している。
※3　ツバメ科の一種などの不明種は、重複する可能性のある種については、種数に含めていない。個体数と例数については含めて計数した。

(3) 昆虫類

1) 確認された昆虫類

確認された昆虫類は、表 2.8.1-31 に示すとおりである。

表 2.8.1-31 (1)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1	イシノミ	Pedetontus 属の一種		○	○		○	○	
－		イシノミ科の一種	○	○			○		○
2	コカゲロウ	Cloeon 属の一種		○			○		
3		ウデマガリコカゲロウ				○	○		○
－		コカゲロウ科の一種				○	○		
4	イトトンボ	クロイトトンボ	○				○		○
5		キイトトンボ	○				○		
6		アジアイトトンボ	○				○	○	○
7		アオモンイトトンボ	○					○	
8	アオイトトンボ	ホソミオツネントンボ		○			○		
9		オオアオイトトンボ	○	○			○	○	○
10	カワトンボ	ハグロトンボ	○	○			○	○	○
11	サナエトンボ	ヤマサナエ				○	○	○	○
12		ウチワヤンマ	○				○		○
13		コオニヤンマ	○						○
14	オニヤンマ	オニヤンマ	○	○			○	○	○
15	ヤンマ	ギンヤンマ	○				○		○
16		ヤブヤンマ	○						○
17	トンボ	ショウジョウトンボ	○				○		
18		ハラビロトンボ	○			○			○
19		シオカラトンボ	○	○			○	○	○
20		オオシオカラトンボ	○	○			○	○	○
21		ウスバキトンボ	○	○			○	○	○
22		コシアキトンボ	○				○		○
23		チョウトンボ	○				○		○
24		コノシメトンボ	○				○		○
25		ナツアカネ	○	○			○		○
26		マユタテアカネ	○	○			○		○
27		アキアカネ		○			○		○
28		ノシメトンボ	○	○			○	○	○
29		リスアカネ	○				○		
30	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ		○		○	○	○	○
－		Nemoura 属の一種		○		○	○	○	○
31	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	○	○	○	○	○	○	○
32	カマキリ	ハラビロカマキリ	○	○			○		○
33		コカマキリ	○	○				○	○
34		チョウセンカマキリ	○				○		
35		オオカマキリ	○	○			○	○	○
36	ミゾガシラシロアリ	ヤマトシロアリ	○	○			○	○	○
37	コロギス	コロギス		○		○	○	○	
38		ハネナシコロギス	○	○		○	○	○	○
39	カマドウマ	マダラカマドウマ	○		○	○		○	○
40	キリギリス	ヤブキリ	○			○	○	○	○
41		ヒメギス	○					○	○
42		クサキリ	○	○			○	○	○

表 2.8.1-31 (2)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
43	キリギリス	クビキリギス	○	○	○	○	○	○	○
44		ホシササキリ		○			○	○	
45		ウスイロササキリ	○	○			○	○	○
46		オナガササキリ	○				○		
47		コバネササキリ		○			○		○
48		ササキリ	○				○	○	○
－		Conocephalus 属の一種	○						○
49		ハヤシノウマオイ	○				○		○
－		キリギリス科の一種				○	○		○
50	ツユムシ	ツユムシ		○			○	○	○
51		セスジツユムシ	○	○			○	○	○
52		サトクダマキモドキ	○				○		○
53	コオロギ	エンマコオロギ	○	○			○	○	○
54		タンボコオロギ	○	○		○	○	○	○
55		モリオカメコオロギ		○			○	○	○
56		ハラオカメコオロギ	○	○			○		○
57		ミツカドコオロギ	○	○			○		○
－		Loxoblemmus 属の一種	○					○	
58		ツヅレサセコオロギ		○					○
59		クマスズムシ	○	○			○	○	○
－		コオロギ科の一種	○	○					○
60	マツムシ	クチキコオロギ		○	○				○
61		アオマツムシ	○	○			○		○
62		スズムシ		○					○
63		カンタン		○			○		
64		ヒロバネカンタン		○				○	
65	ヒバリモドキ	Natula 属の一種		○		○	○	○	○
66		クサヒバリ	○	○			○	○	○
67		ウスグモスズ	○	○			○	○	○
68		ヤチスズ	○	○				○	○
－		Pteronemobius 属の一種				○			○
69		マダラスズ	○	○			○	○	○
70		シバスズ	○	○			○	○	○
71		ヒゲシロスズ		○					○
72	カネタタキ	カネタタキ	○	○			○	○	○
73	アリツカコオロギ	Myrmecophilus 属の一種	○	○	○	○		○	○
74	ケラ	ケラ	○	○		○	○	○	○
75	ノミバッタ	ノミバッタ		○	○	○		○	○
76	ヒシバッタ	トゲヒシバッタ	○	○		○	○	○	○
77		ハネナガヒシバッタ	○	○		○	○	○	○
78		コバネヒシバッタ		○	○	○	○	○	○
79		ハラヒシバッタ	○	○		○	○	○	○
－		ヒシバッタ科の一種	○	○		○	○	○	○
80	オンブバッタ	オンブバッタ	○	○			○	○	○
81	バッタ	ヤマトフキバッタ	○	○				○	○
82		ツチイナゴ	○	○		○	○	○	○
83		ハネナガイナゴ	○	○			○	○	○
84		コバネイナゴ	○	○			○	○	○
85		ショウリョウバッタ	○	○			○	○	○
86		ショウリョウバッタモドキ	○	○			○		○
87		ヒナバッタ	○	○			○	○	○
88		トノサマバッタ		○			○		○

表 2.8.1-31 (3)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
89	バッタ	クルマバッタ	○						○
90		クルマバッタモドキ	○	○			○	○	
91		イボバッタ	○	○					○
92	ナナフシ	トゲナナフシ				○			○
93	ハサミムシ	ハマベハサミムシ		○				○	○
94		コバネハサミムシ	○						○
95		キアシハサミムシ	○	○			○	○	○
96		ヒゲジロハサミムシ	○	○	○		○	○	○
97	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ	○	○			○	○	○
98	オオハサミムシ	オオハサミムシ	○	○			○	○	○
99	ケチャタテ	Valenzuela 属の一種				○	○		
100	ホソチャタテ	ホソチャタテ				○			○
101	ケブカチャタテ	ウスベニチャタテ		○			○	○	○
102	ニセケチャタテ	マダラニセケチャタテ		○				○	○
103	チャタテ	ジョウザンチャタテ				○		○	
104		オオスジチャタテ		○			○		
－		チャタテ科の一種		○					○
105	クダアザミウマ	クダアザミウマ科の一種	○		○	○	○	○	○
106	ウンカ	ホソミドリウンカ	○	○				○	○
107		ハリマナガウンカ	○				○		○
108		エゾナガウンカ	○	○			○	○	○
109		テラウチウンカ	○	○			○		○
110		タケウンカ	○				○		○
111		コブウンカ	○	○				○	○
112		クロスジオオウンカ	○						○
113		タテヤマヨシウンカ		○			○		
114		ヒメトビウンカ	○	○				○	○
115		ナカノウンカ	○				○		
116		トビイロウンカ		○			○		
117		ゴマフウンカ	○	○			○	○	○
118		セジロウンカ	○	○			○		○
119		セジロウンカモドキ		○					○
－		ウンカ科の一種	○	○			○	○	○
120	シマウンカ	シマウンカ	○	○			○	○	○
121	ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ	○	○			○	○	
122		シリアカハネナガウンカ	○				○		
123		ツマテンハネナガウンカ		○					○
124		アカメガシワハネビロウンカ		○			○		
125	コガシラウンカ	ナワコガシラウンカ		○					○
126	テングスケバ	テングスケバ		○			○		
127		ツマグロスケバ		○				○	
128	グンバイウンカ	タテスジグンバイウンカ	○	○				○	○
129		ミドリグンバイウンカ	○	○				○	○
130		ヒラタグンバイウンカ	○	○			○	○	○
131	アリヅカウンカ	アリヅカウンカ	○						○
132	アオバハゴロモ	キノカワハゴロモ	○	○			○	○	○
133		アオバハゴロモ	○	○			○	○	○
134		トビイロハゴロモ	○	○				○	○
135	ハゴロモ	スケバハゴロモ	○				○		○
136		ベッコウハゴロモ	○	○			○	○	○
137		アミガサハゴロモ	○	○			○	○	○
138	セミ	クマゼミ	○						○

表 2.8.1-31 (4)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
139	セミ	アブラゼミ	○				○	○	○
140		ツクツクボウシ	○	○			○	○	○
141		ミンミンゼミ	○				○	○	○
142		ニイニイゼミ	○				○	○	○
143		ヒグラシ	○				○	○	○
144	アワフキムシ	シロオビアワフキ	○	○			○	○	○
145		モンキアワフキ	○	○			○		○
146		ハマベアワフキ	○	○			○		○
147		ホシアワフキ		○			○		○
148		クロスジアワフキ		○					○
149		マツミヤマアワフキ	○				○		○
150	ツノゼミ	トビイロツノゼミ		○			○	○	○
151	ミミズク	ミミズク		○					○
152	ヨコバイ	ゴマフハトムネヨコバイ	○		○		○		○
153		ヒメアオズキンヨコバイ		○				○	
154		アオズキンヨコバイ		○			○	○	○
155		クロサジヨコバイ	○				○		
156		クサビヨコバイ	○						○
157		ブチミャクヨコバイ	○					○	○
158		ホシサジヨコバイ	○	○			○	○	
159		クロスジホソサジヨコバイ			○				○
160		ツマグロオオヨコバイ	○	○			○	○	○
161		オオヨコバイ	○	○			○	○	○
162		マエジロオオヨコバイ	○	○			○	○	○
163		オビヒメヨコバイ	○	○			○	○	○
164		カンキツヒメヨコバイ	○				○	○	○
165		ベニヒメヨコバイ	○	○	○			○	○
166		ヒトツメヒメヨコバイ	○	○	○		○	○	○
167		シロヒメヨコバイ	○					○	○
168		ホシヒメヨコバイ	○	○			○	○	○
169		マダラヒメヨコバイ	○	○				○	○
170		イナズマヒメヨコバイ	○				○		
171		アライヒシモンヨコバイ	○	○	○		○		○
172		ヒメフタテンヨコバイ	○				○		○
173		トバヨコバイ	○	○			○	○	○
174		イナズマヨコバイ	○	○					○
175		ミスジトガリヨコバイ		○			○		○
176		ヒトツメヨコバイ	○	○			○		○
177		クロミャクイチモンジヨコバイ	○						○
178		ツマグロヨコバイ	○	○				○	○
179		タケナガヨコバイ	○	○	○		○		○
180		フタスジトガリヨコバイ		○				○	○
181		リンゴマダラヨコバイ	○						○
182		モモグロヨコバイ		○					○
183		マダラヨコバイ	○	○			○		○
184		シロセスジヨコバイ		○					○
185		シラホシスカシヨコバイ	○	○				○	○
186		クズヒメヨコバイ	○		○		○		
－		ヨコバイ科の一種	○	○			○	○	○
187	キジラミ	エノキカイガラキジラミ	○	○		○	○	○	○
188		クワキジラミ			○			○	
189		ベニキジラミ	○		○		○	○	○

表 2.8.1-31 (5)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
190	キジラミ	Cacopsylla 属の一種			○				○
191		Trioza 属の一種			○		○	○	○
－		キジラミ科の一種		○					○
192	アブラムシ	エゴノネコアシアブラムシ				○			○
193		ヌルデオオミミフシアブラムシ		○			○		
194	クビナガカメムシ	ヒメクビナガカメムシ		○	○		○	○	○
195		クロクビナガカメムシ		○			○	○	○
196	オオムクゲカメムシ	Ceratocombus 属の一種		○					○
197	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	○	○				○	○
198	カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ	○	○	○		○	○	○
199	アメンボ	シマアメンボ	○	○			○	○	○
200		アメンボ	○	○			○	○	○
201		ヒメアメンボ	○	○			○	○	○
202	ミズギワカメムシ	トゲミズギワカメムシ		○					○
203		エゾミズギワカメムシ	○	○			○		○
204		ミズギワカメムシ		○					○
205	メミズムシ	メミズムシ	○	○			○	○	○
206	ミズムシ	ハラグロコミズムシ	○	○			○		○
207		エサキコミズムシ	○	○			○		○
－		Sigara 属の一種	○	○			○	○	○
208		ミゾナシミズムシ	○						○
209		ハイイロチビミズムシ	○				○		○
210	マツモムシ	マツモムシ	○						○
211		コマツモムシ		○					○
212	カスミカメムシ	ツシマキノコカスミカメ	○						○
213		ガマカスミカメ	○				○		
214		オオクロトビカスミカメ	○	○			○	○	○
215		Blepharidopterus 属の一種	○				○		
216		アカホシメダカカスミカメ	○						○
217		ヨモギヒョウタンカスミカメ	○	○				○	
218		ヒョウタンカスミカメ	○	○			○	○	
219		コミドリチビトビカスミカメ		○				○	
220		シラゲヨモギカスミカメ		○				○	
221		ヒメヨモギカスミカメ	○						○
222		クビワシダカスミカメ	○		○		○		○
223		ズアカシダカスミカメ	○	○			○	○	○
224		カザリツヤカスミカメ	○						○
225		ケブカアカツヤカスミカメ	○						○
226		ウスバツヤカスミカメ	○				○	○	
227		ナカグロカスミカメ	○	○			○	○	○
228		ブチヒゲクロカスミカメ	○	○				○	○
229		ヒゲナガカスミカメ		○					○
230		ツマグロアオカスミカメ		○				○	○
231		ウスイロツヤマルカスミカメ	○				○		
232		ツマグロハギカスミカメ	○	○				○	○
233		ヨツボシカスミカメ	○						○
234		ヒメセダカカスミカメ	○	○			○		○
235		アカホシカスミカメ	○	○				○	○
236		マダラカスミカメ			○				○
237		メンガタカスミカメ		○			○	○	
238		ムモンミドリカスミカメ	○	○			○		○
239		オオクロセダカカスミカメ	○	○			○	○	○

表 2.8.1-31 (6)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
240	カスミカメムシ	アカスジカスミカメ	○	○			○	○	○
241		ウスモンミドリカスミカメ		○			○	○	○
242		ケブカカスミカメ			○			○	
243		フタトゲムギカスミカメ	○	○	○		○		○
244		イネホソミドリカスミカメ	○	○			○	○	○
245	マキバサシガメ	キバネアシブトマキバサシガメ	○			○	○	○	○
246		ハネナガマキバサシガメ	○	○			○	○	○
247	ハナカメムシ	クロハナカメムシ			○		○		
248		Orius 属の一種	○	○	○		○		○
249		ユミアシハナカメムシ	○						○
250		モリモトヤサハナカメムシ	○				○	○	○
251		ヤサハナカメムシ	○	○	○		○	○	○
252		ケシハナカメムシ	○	○				○	○
253	グンバイムシ	ウチワグンバイ	○	○			○	○	○
254		エグリグンバイ	○						○
255		アワダチソウグンバイ	○	○			○	○	○
256		ヤブガラシグンバイ	○	○			○	○	○
257		キクグンバイ		○				○	
258		タブグンバイ	○						○
259		ナシグンバイ	○						○
260		ツツジグンバイ	○				○		○
261		トサカグンバイ		○			○		
262		クチナガグンバイ			○		○		
263	サシガメ	ビロウドサシガメ	○	○				○	○
264		クビグロアカサシガメ		○				○	○
265		アカシマサシガメ		○	○		○		○
－		Haematoloecha 属の一種	○				○		
266		Gardena 属の一種	○				○	○	○
267		フタオビマダラカモドキサシガメ	○				○		
268		ヒメマダラカモドキサシガメ	○	○				○	○
－		Empicoris 属の一種	○				○		
269		ヨコヅナサシガメ		○	○	○	○		○
270		アカサシガメ	○	○			○	○	○
271		オオトビサシガメ			○				○
272		トゲサシガメ	○	○			○		○
273		シマサシガメ		○			○		
274		ヤニサシガメ		○	○		○	○	
275		クロサシガメ		○					○
276		クロモンサシガメ	○	○			○	○	○
277		キイロサシガメ		○					○
278		ウデワユミアシサシガメ	○	○			○		○
－		Polytoxus 属の一種		○					○
279		トビイロサシガメ		○					○
－		Oncocephalus 属の一種	○				○		
280		ミヤモトサシガメ		○			○		
281	ヒゲナガカメムシ	ヒゲナガカメムシ	○	○			○	○	○
282		クロスジヒゲナガカメムシ	○	○			○		○
283	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシチビナガカメムシ	○				○		○
284		ヒナナガカメムシ		○				○	○
285		クロツヤナガカメムシ		○					○
286		オオチャイロナガカメムシ		○					○
287		チャイロナガカメムシ	○	○			○	○	○

表 2.8.1-31 (7)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
288	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	○	○	○		○	○	○
289		サビヒョウタンナガカメムシ	○					○	○
290		キベリヒョウタンナガカメムシ	○	○	○		○	○	○
291		ヒラタヒョウタンナガカメムシ	○	○					○
292		クロアシホソナガカメムシ	○	○			○	○	○
293		イチゴチビナガカメムシ	○	○				○	○
294		チビナガカメムシ	○	○			○		○
295		コバネヒョウタンナガカメムシ	○	○			○	○	○
296		オオモンシロナガカメムシ	○	○			○	○	○
297		アムールシロヘリナガカメムシ		○	○				○
298		シロヘリナガカメムシ	○				○		○
299	オオメナガカメムシ	ヒメオオメナガカメムシ		○				○	○
300		オオメナガカメムシ	○	○	○	○	○	○	○
301	コバネナガカメムシ	ヒメコバネナガカメムシ		○	○		○	○	○
302		ニッポンコバネナガカメムシ	○	○	○		○	○	○
303		コバネナガカメムシ	○	○			○		○
304		ホソコバネナガカメムシ	○	○	○		○		○
305	マダラナガカメムシ	ムラサキナガカメムシ		○	○		○		○
306		セスジナガカメムシ	○						○
307		ヒメジュウジナガカメムシ	○	○	○	○	○		○
308		ヒメナガカメムシ	○	○			○	○	○
309		ヘリグロヒメナガカメムシ	○	○				○	○
310	ヒメヒラタナガカメムシ	ウスイロヒメヒラタナガカメムシ	○	○					○
311	ホソメダカナガカメムシ	ホソメダカナガカメムシ	○	○					○
312	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	○	○			○	○	○
313	イトカメムシ	イトカメムシ		○				○	
314	オオホシカメムシ	ヒメホシカメムシ	○				○		○
315		オオホシカメムシ	○	○			○	○	○
316	ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ	○	○			○	○	○
317	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	○	○	○		○	○	○
318		ニセヒメクモヘリカメムシ	○	○			○	○	
319		ホソヘリカメムシ	○	○			○		○
320	ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	○	○			○	○	
321		アカヒメヘリカメムシ	○	○			○	○	○
322		ケブカヒメヘリカメムシ	○	○			○		○
323		コブチヒメヘリカメムシ	○	○			○	○	○
324		ブチヒメヘリカメムシ		○			○	○	○
325	ヘリカメムシ	ヒメトゲヘリカメムシ	○				○		
326		ホオズキカメムシ	○	○				○	○
327		オオツマキヘリカメムシ		○					○
328		ツマキヘリカメムシ	○	○	○		○		○
329		ミナミトゲヘリカメムシ	○	○			○		○
330		ホソハリカメムシ	○	○	○		○	○	○
331		ハリカメムシ		○			○	○	○
332		キバラヘリカメムシ	○						○
333		オオクモヘリカメムシ	○				○		
334		ハラビロヘリカメムシ		○			○		
335		ホシハラビロヘリカメムシ	○	○			○	○	○
336	クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ	○	○				○	○
337	マルカメムシ	クズマルカメムシ		○					○
338		マルカメムシ	○	○	○		○	○	○
339	ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	○				○	○	○

表 2.8.1-31 (8)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
340	ツチカメムシ	ツチカメムシ	○	○	○		○	○	○
341		マルツチカメムシ		○			○		○
342		フタボシツチカメムシ	○						○
343		ミツボシツチカメムシ		○	○		○		○
344	キンカメムシ	アカスジキンカメムシ	○	○	○		○		○
345	ノコギリカメムシ	ノコギリカメムシ	○	○					○
346	カメムシ	シロヘリクチブトカメムシ		○					○
347		ルリクチブトカメムシ		○					○
348		ウズラカメムシ		○			○		○
349		チャバネアオカメムシ	○	○	○		○	○	○
350		クサギカメムシ	○	○	○		○	○	○
351		ブチヒゲカメムシ	○	○			○		○
352		トゲシラホシカメムシ	○				○		○
353		ムラサキシラホシカメムシ	○	○			○	○	○
354		オオトゲシラホシカメムシ		○					○
355		シラホシカメムシ	○	○			○	○	○
356		ウシカメムシ	○				○		
357		ツヤアオカメムシ	○	○	○		○		○
358		アオクサカメムシ	○				○		
359		イチモンジカメムシ	○				○	○	
360		シロヘリカメムシ	○	○			○	○	○
361		イネカメムシ	○						○
362		ナガメ	○	○			○		○
363		エビイロカメムシ	○					○	○
364		オオクロカメムシ	○	○	○		○	○	○
365		イネクロカメムシ	○	○	○		○	○	○
366		ヒメクロカメムシ		○	○			○	○
367	ツノカメムシ	セアカツノカメムシ		○			○		
368		ハサミツノカメムシ	○						○
369		エサキモンキツノカメムシ	○	○	○		○	○	○
370	センブリ	Sialis 属の一種				○	○	○	○
371	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ	○						○
372		シロコナカゲロウ		○					○
373	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ	○	○					○
374	ヒロバカゲロウ	カスリヒロバカゲロウ	○				○		○
375		ヤマトヒロバカゲロウ	○						○
376	ヒメカゲロウ	ミヤマヒメカゲロウ				○	○	○	
－		Hemerobius 属の一種		○					○
377		マルバネヒメカゲロウ				○		○	○
378		チャバネヒメカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○
379		ホソバヒメカゲロウ	○			○	○	○	○
380		アシマダラヒメカゲロウ				○	○		○
381		ミドリヒメカゲロウ	○						○
382		Psectra diptera		○			○		
383	クサカゲロウ	スズキクサカゲロウ	○		○			○	○
384		フタモンクサカゲロウ	○				○		
385		タイワンクサカゲロウ				○	○		
386		アミメクサカゲロウ	○	○	○		○		○
387	ケカゲロウ	ケカゲロウ	○				○		○
388	ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ	○	○			○		○
389	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ	○						○
390	ハンミョウ	エリザハンミョウ	○				○		○

表 2.8.1-31 (9)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
391	ハンミョウ	ニワハンミョウ				○			○
392		トウキョウヒメハンミョウ	○				○	○	○
393		コハンミョウ	○						○
394	オサムシ	エゾカタビロオサムシ	○						○
395		アオオサムシ	○	○	○	○	○		○
396		ヒメマイマイカブリ		○					○
397		クロナガオサムシ		○	○	○		○	○
398		ヒメヒョウタンゴミムシ	○			○	○	○	
399		Dyschirius 属の一種	○				○		○
400		ホソヒョウタンゴミムシ				○			○
401		ナガヒョウタンゴミムシ	○	○			○	○	
402		メダカチビカワゴミムシ	○	○	○		○	○	
403		ヨツボシミズギワゴミムシ	○						○
404		アトモンミズギワゴミムシ	○	○			○		○
405		ツマキミズギワゴミムシ				○		○	○
406		Paratachys 属の一種	○	○		○	○		○
407		キイロマルコミズギワゴミムシ	○	○			○		○
408		ヒラタコミズギワゴミムシ	○						○
409		クリイロコミズギワゴミムシ	○	○					○
410		ウスモンコミズギワゴミムシ		○		○	○	○	○
411		ヨツモンコミズギワゴミムシ	○			○	○		○
412		キアシヌレチゴミムシ	○			○		○	○
413		オオゴミムシ	○	○		○		○	○
414		ヒロムネナガゴミムシ	○	○		○	○		○
415		トックリナガゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
416		コガシラナガゴミムシ	○	○	○	○	○	○	
417		ノグチナガゴミムシ		○			○		
418		キンナガゴミムシ	○	○		○	○	○	○
419		ヒメホソナガゴミムシ	○	○		○	○		○
420		アシミゾナガゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
421		タカオヒメナガゴミムシ				○	○		○
422		ヨリトモナガゴミムシ	○	○	○	○		○	○
423		アカガネオオゴミムシ		○				○	○
424		ルイスオオゴミムシ	○	○	○		○		○
425		アオグロヒラタゴミムシ		○		○	○		○
426		セスジヒラタゴミムシ	○	○					○
427		タンゴヒラタゴミムシ	○				○		
428		オグラヒラタゴミムシ	○				○		
429		ヒメセボシヒラタゴミムシ	○						○
430		アシミゾヒメヒラタゴミムシ	○			○		○	○
431		クロモリヒラタゴミムシ	○				○		○
432		オオアオモリヒラタゴミムシ	○			○			○
433		ハラアカモリヒラタゴミムシ	○	○	○	○		○	○
434		クビアカモリヒラタゴミムシ	○	○				○	○
435		ルリヒラタゴミムシ	○	○		○		○	○
436		セアカヒラタゴミムシ	○	○			○	○	○
437		カズサヒラタゴミムシ			○				○
438		オオヒラタゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
439		マルガタツヤヒラタゴミムシ		○		○	○	○	○
440		クロツヤヒラタゴミムシ				○			○
441		ヒメツヤヒラタゴミムシ		○					○
442		オオクロツヤヒラタゴミムシ		○		○	○	○	○

表 2.8.1-31 (10)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
443	オサムシ	マルガタゴミムシ				○	○	○	
444		ニセマルガタゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
445		オオマルガタゴミムシ	○	○	○				○
446		ナガマルガタゴミムシ		○	○	○	○	○	○
447		ヒメツヤマルガタゴミムシ		○					○
－		Amara 属の一種	○			○	○	○	○
448		ホシボシゴミムシ				○	○		○
449		オオホシボシゴミムシ	○				○	○	○
450		ゴミムシ	○	○		○	○	○	○
451		ヒメゴミムシ				○	○		
452		トゲアシゴモクムシ	○				○	○	
453		オオゴモクムシ		○				○	○
454		ツヤアオゴモクムシ				○			○
455		チョウセンゴモクムシ	○			○	○	○	
456		ハコダテゴモクムシ				○	○		○
457		オオズケゴモクムシ	○	○		○		○	○
458		ケウスゴモクムシ	○	○		○	○	○	○
459		ヒメケゴモクムシ	○	○		○		○	○
460		クロゴモクムシ		○	○	○		○	○
461		ニセクロゴモクムシ	○	○				○	○
462		ウスアカクロゴモクムシ	○	○			○		○
463		アカアシマルガタゴモクムシ		○		○	○	○	○
464		コゴモクムシ	○	○		○	○	○	○
465		ケゴモクムシ	○	○					○
－		Harpalus 属の一種		○		○		○	○
466		カラカネゴモクムシ		○					○
467		クビアカツヤゴモクムシ		○					○
468		オオイクビツヤゴモクムシ				○	○		
－		Trichotichnus 属の一種		○					○
469		キイロチビゴモクムシ	○			○		○	○
470		キベリゴモクムシ	○	○		○	○		○
471		ミドリマメゴモクムシ	○			○			○
472		ムネアカマメゴモクムシ	○	○		○	○	○	○
473		イツホシマメゴモクムシ	○	○			○		○
－		Stenolophus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
474		クロズカタキバゴミムシ				○	○		
475		ヨツモンカタキバゴミムシ	○	○			○	○	○
476		オオスナハラゴミムシ	○	○				○	○
477		ヨツボシゴミムシ		○					○
478		アカガネアオゴミムシ	○			○		○	○
479		コキベリアオゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
480		キベリアオゴミムシ		○		○			○
481		コアトワアオゴミムシ	○						○
482		ヒメキベリアオゴミムシ	○			○	○	○	
483		ニセコガシラアオゴミムシ	○	○		○	○	○	○
484		オオアトボシアオゴミムシ	○			○			○
485		アトボシアオゴミムシ	○	○		○	○	○	○
486		アオゴミムシ	○	○		○	○		○
487		オオサカアオゴミムシ	○				○		
488		キボシアオゴミムシ	○	○		○	○	○	○
489		ムナビロアオゴミムシ	○				○		○
490		ムナビロアトボシアオゴミムシ	○					○	○

表 2.8.1-31 (11)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
491	オサムシ	アトワアオゴミムシ	○				○		
－		Chlaenius 属の一種			○				○
492		スジアオゴミムシ	○	○	○		○		○
493		トックリゴミムシ		○			○		○
494		ニセトックリゴミムシ	○			○	○	○	○
495		チャバネクビナガゴミムシ	○	○		○	○	○	○
496		ハガクビナガゴミムシ		○		○	○	○	○
497		ナカグロキバネクビナガゴミムシ				○	○		
498		カドツブゴミムシ		○					○
499		クロツブゴミムシ	○	○		○		○	○
500		トゲアトキリゴミムシ	○	○		○	○	○	
501		キガシラアオアトキリゴミムシ	○				○		○
502		コキノコゴミムシ	○					○	
503		ミズギワアトキリゴミムシ	○	○		○	○	○	○
504		ヤセアトキリゴミムシ		○	○	○	○		○
505		イクビホソアトキリゴミムシ				○			○
506		キクビアオアトキリゴミムシ				○		○	
507		フタホシアトキリゴミムシ	○	○		○	○	○	○
508		ホシハネビロアトキリゴミムシ				○		○	
509		コルリアトキリゴミムシ	○	○		○	○	○	○
510		ヤホシゴミムシ			○				○
511		メダカアトキリゴミムシ	○						○
512		ヒラタアトキリゴミムシ		○				○	
513		オオヨツアナアトキリゴミムシ				○	○		
514		クビボソゴミムシ		○					○
515		フタホシスジバネゴミムシ	○	○		○		○	○
516		アオヘリホソゴミムシ	○	○					○
517	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
518		ミイデラゴミムシ	○	○	○	○	○	○	○
519	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	○						○
520	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ	○						○
521	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	○	○		○	○	○	○
522		マルケシゲンゴロウ		○					○
523		マメゲンゴロウ	○					○	
524		ホソセスジゲンゴロウ	○	○			○		○
－		Copelatus 属の一種		○			○		
525		ヒメゲンゴロウ	○	○		○	○	○	○
526		ハイイロゲンゴロウ	○	○			○		○
527		コシマゲンゴロウ	○	○			○	○	○
528	ガムシ	キバネケシガムシ		○					○
－		Cercyon 属の一種	○	○		○			○
529		ヒメセマルガムシ		○		○	○	○	○
530		セマルガムシ	○						○
531		セマルケシガムシ	○	○		○			○
532		キイロヒラタガムシ	○	○		○	○	○	○
533		コガムシ	○	○			○	○	○
534		ヒメガムシ	○	○		○	○	○	○
535		トゲバゴマフガムシ	○	○		○	○	○	○
536		ゴマフガムシ	○	○		○	○	○	○
537	エンマムシ	コエンマムシ				○	○	○	○
538		オオヒラタエンマムシ		○					○
539	タマキノコムシ	Agathidium 属の一種				○		○	

表 2.8.1-31 (12)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
540	タマキノコムシ	セマルタマキノコムシ				○	○		
541	シデムシ	クロシデムシ	○				○		
542		ヨツボシモンシデムシ	○	○		○	○	○	○
543		オオモモブトシデムシ				○			○
544		オオヒラタシデムシ	○	○		○	○	○	○
545	ハネカクシ	Aleochara 属の一種		○				○	
546		ムネビロハネカクシ	○	○		○	○	○	○
547		ツヤケシブチヒゲハネカクシ	○			○		○	○
548		Astenus 属の一種	○	○			○		○
549		Bledius 属の一種	○				○	○	
550		Domene 属の一種	○			○	○		○
551		ツマグロアカバハネカクシ				○	○		○
552		アカバナガハネカクシ	○				○		
553		Nazeris 属の一種		○		○	○	○	○
554		Ochthephilum 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
555		クロサビイロハネカクシ	○	○	○	○	○		○
556		キンボシハネカクシ	○	○				○	
557		クロバネアリガタハネカクシ		○			○		
558		サビハネカクシ	○				○	○	
559		Othius 属の一種		○			○	○	○
560		アオバアリガタハネカクシ	○	○		○	○	○	○
561		オオアカバコガシラハネカクシ			○				○
562		オオクビブトハネカクシ	○				○		
563		クロガネハネカクシ	○				○		
564		アカバハネカクシ		○		○	○		○
565		カラカネハネカクシ				○		○	
566		ホソフタホシメダカハネカクシ		○			○		
－		Stenus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
－		ハネカクシ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
567	アリヅカムシ	Batriscenaulax 属の一種		○					○
－		アリヅカムシ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
568	コケムシ	コケムシ科の一種		○		○		○	○
569	デオキノコムシ	ヒメセスジデオキノコムシ				○			○
570		ホソスジデオキノコムシ		○	○			○	○
571		ヤマトデオキノコムシ		○		○		○	○
－		Scaphidium 属の一種			○				○
－		デオキノコムシ科の一種	○			○	○	○	
572	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ	○				○		
573	マルハナノミ	Cyphon 属の一種	○	○	○	○	○		○
574		トビイロマルハナノミ	○	○		○	○		○
575		ヒメマルハナノミ	○	○			○		○
576	クワガタムシ	コクワガタ	○	○	○	○	○	○	○
577		ノコギリクワガタ	○	○			○		○
578	コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ				○			○
579		チビコブスジコガネ				○	○		
580	センチコガネ	センチコガネ	○	○		○	○	○	○
581	コガネムシ	マメダルマコガネ		○		○	○	○	
582		クロマルエンマコガネ		○		○	○		○
583		コブマルエンマコガネ	○	○				○	○
584		ツヤエンマコガネ原名亜種	○						○
585		フチケマグソコガネ		○					○
586		セマルケシマグソコガネ	○	○					○

表 2.8.1-31 (13)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
587	コハネムシ	クロコガネ				○		○	
588		コフキコガネ	○						○
589		アシナガコガネ				○	○	○	○
590		アカビロウドコガネ	○					○	○
591		ビロウドコガネ				○	○		
592		カミヤビロウドコガネ	○						○
593		ヒメビロウドコガネ		○		○	○	○	○
－		Maladera 属の一種	○						○
594		ハラゲビロウドコガネ				○		○	
595		ハイイロビロウドコガネ				○		○	
596		Sericania 属の一種				○			○
597		コイチャコガネ	○	○		○	○		○
598		アオドウガネ	○	○			○	○	○
599		ドウガネブイブイ	○				○	○	○
600		ヒラタアオコガネ				○	○	○	○
601		ヒメコガネ	○					○	○
602		ウスチャコガネ				○	○		
603		マメコガネ	○				○		○
604		ヒラタハナムグリ		○		○	○	○	○
605		ハナムグリ				○	○		
606		アオハナムグリ				○			○
607		コアオハナムグリ	○	○		○	○	○	○
608		シロテンハナムグリ	○				○	○	○
609		クロカナブン	○						○
610		カブトムシ	○				○	○	○
611		コカブトムシ	○	○					○
612	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ				○			○
613	ナガハナノミ	ヒゲナガハナノミ				○	○	○	○
614	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	○	○		○	○		○
615	タマムシ	ヤマトタマムシ	○				○	○	○
616		ヒシモンナガタマムシ	○			○	○		○
－		Agrilus 属の一種				○	○	○	○
617		クズノチビタマムシ	○	○	○	○	○	○	○
618		コウゾチビタマムシ	○	○		○	○		○
619		ヤナギチビタマムシ		○					○
620		サシゲチビタマムシ	○		○	○	○		○
621		ヤノナミガタチビタマムシ	○	○	○	○	○		○
622	コメツキムシ	ヒゲコメツキ				○			○
623		マダラチビコメツキ	○	○		○	○	○	○
624		サビキコリ	○	○		○	○	○	○
625		ムナビロサビキコリ		○			○		○
626		ホソサビキコリ	○			○	○	○	○
627		ヒメサビキコリ	○	○		○		○	○
628		オオクシヒゲコメツキ	○						○
629		オオシモフリコメツキ				○		○	○
630		ドウガネヒラタコメツキ				○			○
631		タテジマカネコメツキ				○	○	○	
632		ムラサキヒメカネコメツキ				○	○		
633		アカヒゲヒラタコメツキ				○			○
634		トラフコメツキ				○	○		○
635		ウストラフコメツキ				○			○
636		オオツヤハダコメツキ	○				○		○

表 2.8.1-31 (14)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
637	コメツキムシ	チャイロムナボソコメツキ	○	○			○	○	○
638		Ampedus 属の一種				○	○		○
639		クリイロアシブトコメツキ	○						○
640		キバネホソコメツキ				○	○	○	
641		オオナガコメツキ	○				○	○	○
642		チャイロコメツキ	○				○	○	○
643		ニセクチブトコメツキ				○		○	
644		ヒゲナガコメツキ				○		○	○
645		クチブトコメツキ	○				○		○
646		アカアシオオクシコメツキ				○			○
647		ヒラタクロクシコメツキ		○		○	○		○
648		ヒラタクシコメツキ				○	○		○
649		ヒメクシコメツキ	○				○		○
650		クシコメツキ				○			○
651		ルイスクシコメツキ	○						○
652		チャバネクシコメツキ				○		○	○
653		ヨツモンミズギワコメツキ				○			○
654		Paracardiophorus 属の一種	○	○		○	○	○	○
655		オオハナコメツキ				○		○	
656	ベニボタル	ヒメベニボタル				○	○		
657		クロハナボタル	○						○
658	ホタル	ゲンジボタル	○			○	○	○	○
659		ヘイケボタル	○				○	○	○
660		ノハラボタル	○					○	
661	ジョウカイボン	ウスチャジョウカイ				○	○	○	○
662		ニセヒメジョウカイ				○	○	○	○
663		オカベセボシジョウカイ				○			○
664		ジョウカイボン				○	○		○
665		セボシジョウカイ				○	○		
666		ヤトセスジジョウカイ				○	○	○	○
667		ヒメジョウカイ				○	○		
668		クロヒメクビボソジョウカイ				○			○
669		ウスイロクビボソジョウカイ				○	○	○	
－		Podabrus 属の一種				○	○		○
670		ヒガシマルムネジョウカイ				○		○	○
671		アオジョウカイ				○	○		○
672		ムネアカジョウカイ				○	○	○	○
673		クロツマキジョウカイ				○			○
674		ムネミゾクロチビジョウカイ				○		○	
675	カツオブシムシ	カマキリタマゴカツオブシムシ	○	○			○		○
676		ヒメマルカツオブシムシ				○			○
677	シバンムシ	シバンムシ科の一種	○				○		○
678	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト		○	○	○	○	○	○
679	カッコウムシ	ヤマトヒメメダカカッコウムシ	○				○		
680	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ				○	○	○	○
681		イシハラジョウカイモドキ				○			○
682		ヒロオビジョウカイモドキ	○				○	○	○
683		キアシオビジョウカイモドキ	○						○
684		ツマキアオジョウカイモドキ				○	○	○	○
685	ケシキスイ	クロハナケシキスイ	○	○		○	○	○	○
686		クリヤケシキスイ		○					○
687		クリイロデオキスイ	○	○		○	○		○

表 2.8.1-31 (15)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
688	ケシキスイ	カタベニデオキスイ	○	○			○	○	○
689		クロモンムクゲケシキスイ	○	○		○	○	○	○
690		ナガコゲチャケシキスイ	○					○	
691		Epuraea 属の一種			○		○		
692		ヒメアカマダラケシキスイ		○		○			○
693		マルキマダラケシキスイ	○	○		○	○		○
694		キベリチビケシキスイ				○			○
695		ルイスコオニケシキスイ	○					○	
696		コヨツボシケシキスイ				○			○
697		ヨツボシケシキスイ	○			○	○	○	○
698		シベリアユミアシケシキスイ				○		○	○
－		ケシキスイ科の一種		○		○	○	○	○
699	ネスイムシ	トビイロデオネスイ	○			○		○	○
700	ヒメハナムシ	ベニモンアシナガヒメハナムシ		○	○	○	○		
－		ヒメハナムシ科の一種				○		○	
701	ヒラタムシ	カドムネチビヒラタムシ				○	○		
702		セマルチビヒラタムシ		○					○
703	ホソヒラタムシ	ホソヒラタキスイ	○	○	○	○	○	○	
704		ミツカドコナヒラタムシ		○					○
－		Silvanoprus 属の一種			○	○	○		○
705		Psammoecus 属の一種		○	○	○	○	○	○
706	キスイムシ	Cryptophagus 属の一種		○		○	○	○	○
707		Atomaria 属の一種	○	○		○	○		○
708		マルガタキスイ	○				○		○
709	ムクゲキスイムシ	ハスモンムクゲキスイ		○					○
710	コメツキモドキ	キムネヒメコメツキモドキ		○		○		○	○
711		ケシコメツキモドキ		○			○		
712	オオキノコムシ	セモンホソオオキノコ	○					○	○
713		ヒメオビオオキノコ				○			○
714	テントウムシダマシ	キイロテントウダマシ	○	○	○	○	○	○	○
715		ヨツボシテントウダマシ	○	○		○	○	○	○
716	テントウムシ	フタホシテントウ		○		○	○	○	○
717		セスジヒメテントウ	○			○	○		○
718		ハレヤヒメテントウ		○		○	○		
719		ババヒメテントウ				○	○		
720		クロヘリヒメテントウ	○			○			○
721		キアシクロヒメテントウ			○				○
722		ミスジキイロテントウ	○	○				○	○
723		ヒメアカホシテントウ	○	○		○	○	○	○
724		アカホシテントウ	○	○			○		○
725		ヨツボシテントウ	○				○		
726		ベニヘリテントウ	○			○	○		○
727		カメノコテントウ		○			○		
728		ムーアシロホシテントウ	○	○		○	○	○	○
729		ナナホシテントウ	○	○	○	○	○	○	○
730		ナミテントウ	○	○		○	○	○	○
731		ジュウサンホシテントウ	○	○		○			○
732		キイロテントウ	○	○			○		○
733		ムモンチャイロテントウ	○				○		
734		ウスキホシテントウ	○		○		○		○
735		ヒメカメノコテントウ	○	○	○	○	○	○	○

表 2.8.1-31 (16)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
736	テントウムシ	トホシテントウ	○						○
737		ニジュウヤホシテントウ	○				○		○
－		テントウムシ科の一種	○	○		○	○	○	○
738	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ		○		○	○	○	○
739	ヒメマキムシ	ヒメマキムシ			○		○		
－		ヒメマキムシ科の一種		○				○	
740	ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ				○			○
741	コキノコムシ	ヒゲブトコキノコムシ	○						○
742		ヒレルコキノコムシ				○			○
743	ツツキノコムシ	ツツキノコムシ科の一種	○			○		○	○
744	キノコムシダマシ	マダラキノコムシダマシ		○			○	○	
745	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ		○			○		○
746		キイロホソナガクチキ	○	○			○		○
747	ハナノミ	クリイロヒゲハナノミ	○					○	
－		ハナノミ科の一種	○			○	○	○	
748	クビナガムシ	クビカクシナガクチキムシ				○		○	○
749	カミキリモドキ	モモブトカミキリモドキ				○	○	○	○
750		アオカミキリモドキ				○	○		
751	アカハネムシ	ミゾアカハネムシ				○	○		○
752		ムナビロアカハネムシ				○	○	○	○
753	アリモドキ	キアシクビボソムシ	○	○		○	○	○	○
754		アカホソアリモドキ				○	○	○	○
755		ホソクビアリモドキ	○	○		○	○	○	○
756		ヨツボシホソアリモドキ	○	○	○	○	○	○	○
757	ニセクビボソムシ	マダラニセクビボソムシ				○	○		
758	ツチハンミョウ	マメハンミョウ	○	○					○
759		マルクビツチハンミョウ				○	○	○	
760	ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ				○	○		○
761	チビキカワムシ	ツヤチビキカワムシ				○			○
762	ハムシダマシ	ナガハムシダマシ				○	○	○	○
763		アラメヒゲブトゴミムシダマシ				○			○
764		ヒゲブトゴミムシダマシ	○	○	○	○	○	○	○
765	クチキムシ	オオクチキムシ		○	○				○
766		クチキムシ		○	○	○	○	○	○
767		ウスイロクチキムシ	○				○		
768	ゴミムシダマシ	スナゴミムシダマシ		○		○	○		○
－		Gonocephalum 属の一種	○			○	○	○	
769		ナガニジゴミムシダマシ	○	○	○	○			○
770		フトナガニジゴミムシダマシ			○	○			○
771		アオツヤキノコゴミムシダマシ	○			○	○		○
772		ベニモンキノコゴミムシダマシ	○			○	○		○
773		キイロテントウゴミムシダマシ	○	○		○	○		○
774		エグリゴミムシダマシ		○	○	○	○		○
775		ルリゴミムシダマシ	○						○
776		コマルキマワリ	○					○	○
777		キマワリ	○					○	○
778		スジコガシラゴミムシダマシ	○	○		○	○	○	○
779	カミキリムシ	ノコギリカミキリ	○				○	○	○
780		アカハナカミキリ	○				○		
781		ヒナルリハナカミキリ				○			○
782		チャイロヒメハナカミキリ				○	○		
783		ミヤマカミキリ	○					○	

表 2.8.1-31 (17)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
784	カミキリムシ	トワダムモンメダカカミキリ				○	○		
785		シラケトラカミキリ				○		○	
786		トゲヒゲトラカミキリ				○	○	○	○
787		ヒメクロトラカミキリ				○	○	○	○
788		トラフカミキリ	○						○
789		ケブカトラカミキリ				○			○
790		ベニカミキリ				○	○		○
791		カタシロゴマフカミキリ	○					○	
792		シナノクロフカミキリ				○	○	○	○
793		コブスジサビカミキリ	○						○
794		ヒシカミキリ				○	○		
795		アトモンサビカミキリ		○			○		○
796		ナカジロサビカミキリ		○			○		○
797		ゴマダラカミキリ	○					○	
798		ホシベニカミキリ	○						○
799		キボシカミキリ	○	○					○
800		ヤハズカミキリ	○				○		
801		クワカミキリ	○						○
802		シロスジカミキリ	○					○	
803		セミスジコブヒゲカミキリ	○				○		○
804		ヒトオビアラゲカミキリ				○			○
805		シラホシカミキリ	○					○	
806		ホソキリンゴカミキリ				○		○	
807		ラミーカミキリ	○					○	
808	ハムシ	ネムノキマメゾウムシ				○	○	○	
809		アズキマメゾウムシ	○				○	○	○
810		スゲハムシ				○	○	○	○
811		キバラルリクビボソハムシ	○	○		○	○	○	○
812		トゲアシクビボソハムシ	○	○		○			○
813		トホシクビボソハムシ		○					○
814		キオビクビボソハムシ				○		○	
815		スゲクビボソハムシ		○		○		○	○
816		アカクビボソハムシ	○	○					○
817		ヤマイモハムシ	○						○
818		アカクビナガハムシ				○	○		
819		アワクビボソハムシ		○		○		○	○
820		イネクビボソハムシ	○	○		○	○	○	○
821		ムナキルリハムシ				○	○	○	
822		クロアシヒメツツハムシ		○				○	
823		バラルリツツハムシ				○		○	○
824		クロボシツツハムシ				○	○	○	
825		ツツジコブハムシ	○					○	
826		ムシクソハムシ				○	○	○	
827		ドウガネツヤハムシ	○	○		○	○	○	○
828		チビカサハラハムシ	○	○		○	○	○	○
829		マダラアラゲサルハムシ	○	○		○	○	○	○
830		カサハラハムシ	○				○		
831		クロオビカサハラハムシ	○	○		○	○		○
832		ムネアカキバネサルハムシ		○		○	○		○
833		ツヤキバネサルハムシ	○	○		○	○		○
834		マルキバネサルハムシ		○			○		○
835		ドウガネサルハムシ	○	○		○	○	○	○

表 2.8.1-31 (18)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
836	ハムシ	ヨモギハムシ		○			○		○
837		コガタルリハムシ				○	○	○	○
838		ヤツボシハムシ				○	○	○	○
839		フジハムシ				○		○	○
840		ダイコンハムシ		○		○	○		○
841		ヤナギルリハムシ	○	○		○	○	○	○
842		キクビアオハムシ		○			○		
843		ムナグロツヤハムシ	○			○	○	○	○
844		ウリハムシモドキ	○	○			○		○
845		ウリハムシ	○	○		○		○	○
846		クロウリハムシ	○	○		○	○	○	○
847		クワハムシ				○	○	○	○
848		イチゴハムシ	○	○		○	○		○
849		イタドリハムシ				○			○
850		クロウスバハムシ				○	○		
851		フタスジヒメハムシ	○	○			○		
852		ホタルハムシ		○			○		○
853		キイロクワハムシ	○				○	○	○
854		アトボシハムシ			○	○	○	○	○
855		ヨツボシハムシ	○	○		○	○	○	○
856		ニレハムシ	○						○
857		アカタデハムシ				○	○		○
858		エノキハムシ	○	○			○		
859		ヒメカミナリハムシ	○	○			○		○
860		アカバナトビハムシ	○						○
861		ツブノミハムシ		○		○	○	○	○
862		サメハダツブノミハムシ	○			○	○	○	○
863		アヤメツブノミハムシ		○			○		
864		オオアカマルノミハムシ				○			○
865		フタイロヒサゴトビハムシ		○				○	
866		ヒメドウガネトビハムシ	○	○		○	○	○	○
867		カラタチトビハムシ				○		○	
868		クロボシトビハムシ	○						○
－		Longitarsus 属の一種		○				○	
869		キアシノミハムシ				○	○	○	○
870		タマアシトビハムシ		○	○		○		○
871		チャバネツヤハムシ				○	○		
872		ルリナガスネトビハムシ	○						○
873		ナトビハムシ	○	○		○	○	○	○
874		ダイコンナガスネトビハムシ	○	○		○	○	○	○
875		アケビタマノミハムシ	○					○	
876		ツマキタマノミハムシ		○		○	○		○
877		キイロタマノミハムシ	○						○
878		ジンガサハムシ				○			○
879		ヒメジンガサハムシ				○		○	
880		イノコズチカメノコハムシ	○	○	○	○	○	○	○
881		カメノコハムシ	○					○	
882		セモンジンガサハムシ	○			○	○		○
883		イチモンジカメノコハムシ	○			○	○		○
884		Microchaetes 属の一種	○				○		
885	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ	○					○	○
886		スネアカヒゲナガゾウムシ				○			○

表 2.8.1-31 (19)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
887	ヒゲナガゾウムシ	コモンヒメヒゲナガゾウムシ				○		○	
888		Uncifer 属の一種			○		○		
889	オトシブミ	ヒメクロオトシブミ	○			○	○	○	○
890		ウスモンオトシブミ	○			○	○		
891		エゴツルクビオトシブミ				○	○		
892		ゴマダラオトシブミ	○	○		○	○		
893		ヒメゴマダラオトシブミ				○	○		
894		カシルリオトシブミ	○	○		○	○	○	○
895		ファウストハマキチョッキリ				○	○		
896		ヒメケブカチョッキリ				○	○		
897		ハイイロチョッキリ	○				○		
898		カシルリチョッキリ				○	○	○	○
899	ホソクチゾウムシ	アカクチホソクチゾウムシ	○			○	○	○	○
900		ケブカホソクチゾウムシ	○	○		○	○		○
901		Nanophyes 属の一種	○			○			○
902		ハナコブチビゾウムシ				○			○
903	ゾウムシ	ヒラズネヒゲボソゾウムシ				○	○		○
904		チビメナガゾウムシ	○				○		
905		クリイロクチブトゾウムシ	○			○	○	○	
906		オオクチブトゾウムシ	○				○		○
907		ケブカクチブトゾウムシ				○	○	○	○
908		カシワクチブトゾウムシ	○	○		○	○	○	○
909		チビヒョウタンゾウムシ		○		○	○	○	○
910		ヒレルクチブトゾウムシ	○	○	○	○	○	○	○
911		Asphalmus 属の一種				○	○	○	
912		ケブカヒメカタゾウムシ				○	○	○	○
913		イコマケシツチゾウムシ	○	○		○	○	○	○
914		Trachyrhinus 属の一種				○		○	
915		シロコブゾウムシ		○			○		
916		サビヒョウタンゾウムシ	○	○	○	○	○	○	○
917		ワモンヒョウタンゾウムシ				○	○		
918		コフキゾウムシ	○	○		○	○	○	○
919		ケチビコフキゾウムシ		○		○	○		○
920		チビコフキゾウムシ		○	○	○	○	○	○
921		シロスジタコゾウムシ	○	○		○	○		○
922		アルファルファタコゾウムシ		○		○	○	○	○
923		オオタコゾウムシ		○		○		○	○
924		ヤサイゾウムシ		○		○			○
925		カツオゾウムシ	○	○		○	○		○
926		オナガカツオゾウムシ		○					○
927		オジロアシナガゾウムシ	○	○		○	○		○
928		イネゾウムシ				○			○
929		クロイネゾウモドキ	○						○
930		Bagous 属の一種	○	○					○
931		イネミズゾウムシ	○	○		○		○	○
932		ウキクサミズゾウムシ	○						○
933		オオミズゾウムシ	○	○		○	○		○
934		ガロアノミゾウムシ	○	○	○	○	○		○
935		ヒラセノミゾウムシ	○				○		
936		ヤドリノミゾウムシ			○	○	○	○	
937		カシワノミゾウムシ	○	○		○	○		○
938		アカアシノミゾウムシ		○	○		○	○	

表 2.8.1-31 (20)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
939	ゾウムシ	ムネスジノミゾウムシ	○	○				○	○
940		ツメクサタネコバンゾウムシ				○	○		
941		マルモンササラゾウムシ		○					○
942		タバゲササラゾウムシ	○	○				○	○
943		イチゴハナゾウムシ				○	○		○
944		オビモンハナゾウムシ				○			○
945		ユアサハナゾウムシ		○			○		
946		セダカシギゾウムシ				○		○	
947		ミヤマシギゾウムシ				○	○		
948		クヌギシギゾウムシ	○					○	
949		レロフチビシギゾウムシ				○	○		
950		ヤノシギゾウムシ	○			○	○		○
951		エゾヒメゾウムシ				○	○	○	
952		カナムグラヒメゾウムシ	○	○			○		○
953		Rhinoncus 属の一種	○	○		○	○		○
954		ダイコンサルゾウムシ				○	○	○	○
955		ミドリサルゾウムシ				○			○
956		アオバネサルゾウムシ				○		○	○
957		ムネミゾサルゾウムシ		○					○
958		タデサルゾウムシ	○	○		○		○	○
959		Metialma 属の一種	○						○
960		シバタカレキゾウムシ		○			○		
961		ナカスジカレキゾウムシ				○		○	○
962		Rhadinomerus 属の一種		○					○
963		チビクチカクシゾウムシ	○						○
964		タカオマルクチカクシゾウムシ	○			○	○		○
965		アラムネヒサゴクチカクシゾウムシ		○					○
966		ヒサゴクチカクシゾウムシ		○	○		○		
967		チャバネキクイゾウムシ				○	○	○	
968	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ	○			○			○
969		ササコクゾウムシ				○		○	
970		コクゾウムシ				○			○
971	キクイムシ	キクイムシ科の一種	○	○		○	○	○	○
972	エダヒゲネジレバネ	エダヒゲネジレバネ科の一種		○					○
973	ミフシハバチ	ルリチュウレンジ	○			○	○	○	
974	コンボウハバチ	ルリコンボウハバチ				○		○	
975		アケビコンボウハバチ				○			○
976	ハバチ	ハグロハバチ	○	○		○	○	○	○
977		オオシロオビクロハバチ				○	○		○
978		サクラセグロハバチ				○	○		
979		ワラビハバチ				○			○
980		ケーベルハバチ				○			○
981		セグロカブラハバチ	○	○		○	○	○	○
982		イヌノフグリハバチ	○	○		○	○	○	○
983		カブラハバチ	○	○			○		○
984		クシヒゲハバチ				○		○	
985		ムギハバチ				○			○
986		オスグロハバチ	○	○		○	○	○	○
987		スギナハバチ				○	○	○	○
988		フタホシハバチ				○	○		
989		イハバチ				○	○	○	○
－		Eutomostethus 属の一種				○	○	○	

表 2.8.1-31 (21)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
990	ハバチ	クロムネハバチ				○	○		
991		カタアカスギナハバチ				○	○	○	○
992		ツマジロクロハバチ				○			○
993		オオクロハバチ				○			○
994		Mesoneura 属の一種				○		○	
995		キイロハバチ	○	○					○
996		ヨモギシマハバチ				○	○	○	○
997		コシマハバチ				○		○	
－		Pachyprotasis 属の一種				○	○	○	○
998		ヒゲナガクロハバチ				○			○
999		コシアキハバチ				○	○		
1000		キコシホソハバチ				○	○	○	○
1001		クロムネアオハバチ				○	○		
1002		オオツマグロハバチ				○			○
1003	コマユバチ	ヒメウマノオバチ	○				○		○
－		コマユバチ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
1004	ヒメバチ	ミノオキイロヒラタヒメバチ	○				○		
1005		Netelia 属の一種		○				○	
1006		Gelis 属の一種		○					○
1007		Enicospilus 属の一種	○						○
1008		Ophion 属の一種				○			○
1009		マダラオオアメバチ		○					○
1010		マダラヒメバチ	○			○		○	○
－		ヒメバチ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
1011	シリボソクロバチ	シリボソクロバチ科の一種		○	○	○	○	○	○
1012	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種	○	○			○		○
1013	タマゴクロバチ	Macroteleia 属の一種		○					○
1014		Habroteleia 属の一種	○				○		
－		タマゴクロバチ科の一種		○					○
1015	アシブトコバチ	キアシブトコバチ		○					○
1016	カタビロコバチ	カタビロコバチ科の一種	○	○			○		
1017	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種		○	○	○	○	○	○
1018	ナガコバチ	ナガコバチ科の一種	○				○	○	
1019	ノミコバチ	ノミコバチ科の一種			○		○		
1020	ヒメコバチ	ヒメコバチ科の一種			○			○	
1021	タマバチ	タマバチ科の一種	○						○
1022	カマバチ	Gonatopus 属の一種		○				○	
1023		トビイロカマバチ		○					○
1024	アリガタバチ	ムカシアリガタバチ		○		○	○		
1025	アリバチ	フタホシアリバチ	○	○			○	○	○
1026		ヤマトアリバチモドキ	○						○
1027	コツチバチ	Tiphia 属の一種	○	○			○	○	○
1028	ツチバチ	キオビツチバチ	○				○		
1029		ヒメハラナガツチバチ	○	○			○	○	○
1030		キンケハラナガツチバチ	○	○			○		○
1031		シロオビハラナガツチバチ				○	○		○
1032	アリ	オオハリアリ	○	○		○	○	○	○
1033		ナカスジハリアリ		○					○
－		Brachyponera 属の一種	○				○		
1034		ベッピンニセハリアリ		○			○		○
1035		ケブカハリアリ	○					○	
1036		ヤマトアシナガアリ	○	○		○	○		○

表 2.8.1-31 (22)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1037	アリ	テラニシシリアゲアリ	○	○		○	○	○	○
1038		ハリブトシリアゲアリ		○	○		○		○
1039		キイロシリアゲアリ	○	○	○	○	○	○	○
－		Crematogaster 属の一種	○				○	○	○
1040		ムネボソアリ	○	○		○	○	○	○
1041		クロナガアリ		○				○	
1042		ヒメアリ	○	○		○	○	○	○
1043		キイロヒメアリ		○					○
－		Monomorium 属の一種	○						○
1044		カドフシアリ	○						○
1045		シワクシケアリ	○	○		○	○	○	○
1046		アズマオオズアリ	○	○	○	○	○	○	○
1047		アミメアリ	○	○	○	○	○	○	○
1048		ヒラタウロコアリ	○						○
1049		トフシアリ	○	○		○	○	○	○
1050		ウロコアリ	○	○		○	○		○
1051		キタウロコアリ		○				○	○
－		Strumigenys 属の一種		○			○		○
1052		トビイロシワアリ	○	○		○	○	○	○
1053		ウメマツアリ		○					○
1054		シベリアカタアリ				○	○		
1055		ヒラフシアリ			○		○		
1056		クロオオアリ	○	○		○	○		○
1057		ウメマツオオアリ	○	○	○	○	○		○
1058		ヨツボシオオアリ	○		○		○		
1059		ミカドオオアリ	○	○	○	○	○		○
－		Camponotus 属の一種				○			○
1060		クロヤマアリ	○	○		○	○	○	○
－		Formica 属の一種	○			○	○	○	○
1061		キイロケアリ		○					○
1062		クロクサアリ		○			○		○
1063		クサアリモドキ	○	○			○		○
1064		トビイロケアリ	○	○	○	○	○	○	○
－		Lasius 属の一種	○	○			○		○
1065		アメイロアリ	○	○		○	○	○	○
1066		サクラアリ		○		○			○
1067	ベッコウバチ	コトゲアシベッコウ	○			○	○	○	○
1068		トゲアシオオベッコウ				○	○		
1069		Anoplius liukiu		○					○
1070		Anoplius petiolaris		○					○
1071		オオモンクロベッコウ	○						○
－		Anoplius 属の一種	○				○		○
1072		オオシロフベッコウ	○					○	
1073		アオスジベッコウ	○	○					○
1074	ドロバチ	オオフタオビドロバチ	○				○		
1075		ミカドトックリバチ	○						○
1076		キアシトックリバチ		○			○		
1077		ムモントックリバチ	○				○		○
1078		オオカバフドロバチ	○						○
1079		スズバチ	○	○			○		○
1080		カタグロチビドロバチ		○				○	○
1081		ムナグロチビドロバチ本土亜種				○		○	

表 2.8.1-31 (23)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1082	スズメバチ	ムモンホソアシナガバチ	○			○	○	○	○
1083		フタモンアシナガバチ	○						○
1084		キボシアシナガバチ	○	○		○	○		○
1085		キアシナガバチ	○						○
1086		コアシナガバチ	○			○	○	○	○
1087		コガタスズメバチ本土亜種	○		○			○	○
1088		オオスズメバチ	○	○			○		○
1089		キイロスズメバチ		○		○	○		○
1090		ヒメスズメバチ	○			○	○		○
1091		クロスズメバチ				○	○		
1092	アナバチ	クロアナバチ	○				○		○
1093		オオエンモンバチ				○			○
1094		ヒメハヤバチ		○		○		○	○
1095		アカアシハヤバチ	○						○
1096		オオハヤバチ	○				○	○	
1097		ニッポンツヤアナバチ	○						○
1098	ムカシハナバチ	アシブトムカシハナバチ		○			○	○	○
1099		マツムラメンハナバチ	○						○
－		Hylaeus 属の一種		○		○	○	○	○
1100	コハナバチ	アカガネコハナバチ	○	○		○	○		○
1101		ズマルコハナバチ		○					○
1102		シロスジカタコハナバチ	○						○
－		Lasioglossum 属の一種		○		○		○	○
1103		Sphecodes 属の一種		○					○
1104	ヒメハナバチ	キバナヒメハナバチ				○	○	○	○
－		Andrena 属の一種				○	○	○	○
1105	ハキリバチ	ハラアカハキリバチヤドリ	○					○	○
1106		オオハキリバチ		○					○
1107		ヒロバトガリハナバチ	○						○
1108		バラハキリバチ	○						○
1109		クズハキリバチ		○					○
1110		ツルガハキリバチ	○	○			○		○
1111		ツツハナバチ				○			○
1112	コシブトハナバチ	ダイミョウキマダラハナバチ				○	○		
－		Nomada 属の一種				○	○	○	○
1113		ヤマトシロスジヤドリハナバチ		○					○
1114		シロスジヒゲナガハナバチ				○	○	○	○
1115		ニッポンヒゲナガハナバチ				○	○		○
1116		ルリモンハナバチ	○						○
1117		イワタチビツヤハナバチ				○			○
1118		キオビツヤハナバチ				○			○
1119		クマバチ	○	○		○	○		○
1120	ミツバチ	トラマルハナバチ	○	○			○		
1121		コマルハナバチ				○		○	
1122		ニホンミツバチ	○				○		
1123		セイヨウミツバチ		○		○	○		○
1124	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	○	○		○	○		○
1125	ガガンボダマシ	Trichocera 属の一種			○		○	○	○
1126	ガガンボ	Ctenophora 属の一種				○	○		
1127		キイロホソガガンボ				○			○
－		Nephrotoma 属の一種		○				○	
1128		マダラガガンボ		○					○

表 2.8.1-31 (24)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1129	ガガンボ	マドガガンボ	○						○
－		Tipula 属の一種	○	○		○	○	○	○
1130		ウスナミガタガガンボ		○			○		○
1131		ウスキハスオビガガンボ				○		○	
1132		Pedicia 属の一種				○		○	
1133		キバラガガンボ	○			○	○	○	○
1134		カスリヒメガガンボ				○	○	○	○
1135		セダカガガンボ	○	○		○			○
1136		Erioptera 属の一種		○					○
1137		Styringomyia 属の一種	○				○		
－		ガガンボ科の一種	○	○		○	○	○	○
1138	コシボソガガンボ	Ptychoptera 属の一種	○	○		○	○		○
1139	チョウバエ	チョウバエ科の一種			○	○	○		○
1140	カ	Aedes 属の一種	○		○				○
1141	ヌカカ	ヌカカ科の一種	○	○		○		○	○
1142	ユスリカ	クロバヌマユスリカ				○		○	
1143		Cricotopus 属の一種				○	○	○	○
1144		ヒシモンユスリカ				○			○
－		Chironomus 属の一種	○			○	○	○	○
1145		Polypedilum 属の一種	○			○	○	○	○
－		ユスリカ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
1146	ケバエ	キスネアシボソケバエ				○	○		○
1147		クロアシボソケバエ				○		○	○
1148		ハグロケバエ				○	○		○
1149		Plecia 属の一種	○	○			○	○	○
1150	タマバエ	タマバエ科の一種		○	○	○	○	○	○
1151	キノコバエ	Allactoneura 属の一種	○				○		○
－		キノコバエ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
1152	クロバネキノコバエ	セアカクロバネキノコバエ				○			○
－		クロバネキノコバエ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
1153	ミズアブ	エゾホソルリミズアブ				○	○		
1154		ハラキンミズアブ	○				○	○	○
1155		コウカアブ	○			○		○	○
1156		ルリミズアブ		○					○
1157		ハキナガミズアブ	○					○	
1158		Odontomyia filipjewi				○	○		○
1159		ミズアブ	○					○	○
1160		アメリカミズアブ	○	○			○	○	○
1161		ネグロミズアブ				○	○	○	
1162	アブ	Hirosia 属の一種	○						○
1163		シロフアブ	○						○
1164		ヤマトアブ	○				○		○
1165		ウシアブ	○						○
1166	ツリアブ	ビロウドツリアブ				○	○	○	
1167		クロバネツリアブ	○					○	
1168		スキバツリアブ	○				○	○	○
1169	ムシヒキアブ	オオイシアブ				○	○		○
1170		アオメアブ	○	○					○
1171		シオヤアブ	○				○		○
1172		マガリケムシヒキ	○			○	○	○	
1173		ナガトミヒメムシヒキ	○						○
1174		Ktyr caucasicus	○				○		

表 2.8.1-31 (25)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1175	オドリバエ	Empis 属の一種				○	○	○	○
1176		Hilara 属の一種				○	○	○	
1177		Rhamphomyia 属の一種				○	○		
1178		Syneches 属の一種	○				○		
1179	アシナガバエ	マダラアシナガバエ	○				○		○
1180		Sciapus 属の一種	○	○			○		
1181		Dolichopus 属の一種	○			○	○	○	○
1182		Gymnopternus 属の一種				○		○	
－		アシナガバエ科の一種		○					○
1183	ヤリバエ	Lonchoptera 属の一種		○			○		
1184	ノミバエ	ノミバエ科の一種		○	○	○	○		○
1185	アタマアブ	Eudorylas 属の一種		○				○	○
1186	ハナアブ	ホソヒラタアブ	○	○	○	○	○	○	○
1187		ナミホシヒラタアブ				○		○	○
1188		ミナミヒメヒラタアブ	○			○	○		○
1189		ホソヒメヒラタアブ	○	○		○	○	○	○
1190		ツマグロコシボソハナアブ		○					○
1191		Melanostoma 属の一種	○	○		○	○	○	○
1192		キアシマメヒラタアブ	○	○		○	○	○	○
1193		ノヒラマメヒラタアブ	○			○		○	○
1194		Cheilosia 属の一種				○	○		○
1195		カルマイタマヒラタアブ				○			○
1196		Sphegina 属の一種				○	○		○
1197		マドヒラタアブ	○						○
1198		キゴシハナアブ	○	○			○	○	○
1199		シマハナアブ				○	○	○	○
1200		キョウコシマハナアブ				○		○	○
1201		ハナアブ		○		○	○	○	○
1202		キヒゲアシブトハナアブ				○		○	○
1203		アシブトハナアブ		○		○	○	○	○
1204		タカサゴモモブトハナアブ				○	○		
1205		シマアシブトハナアブ		○		○			○
1206		オオハナアブ	○	○		○	○	○	○
1207		ナミルリイロハラナガハナアブ	○			○	○		○
1208		ハラアカハラナガハナアブ				○		○	
1209		キンアリノスアブ				○	○		
1210		アリノスアブ				○	○	○	
1211	メバエ	マダラメバエ				○	○		○
1212	ナガズヤセバエ	ホシアシナガヤセバエ	○					○	
1213	ハネオレバエ	ハネオレバエ科の一種				○	○	○	○
1214	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ	○					○	
1215		ミツモンハチモドキバエ				○		○	
1216	ミバエ	ミスジミバエ	○	○		○	○		○
1217		クロホソスジハマダラミバエ	○				○		
1218		タテジマハマダラミバエ	○	○			○		○
1219		フチモンハマダラミバエ	○				○		
1220		ハルササハマダラミバエ				○	○	○	○
1221		ヒラヤマアミメケブカミバエ				○	○		○
1222		ノゲシケブカミバエ				○			○
1223		ツマホシケブカミバエ				○	○		○
1224	ヒロクチバエ	ダイズコンリュウバエ	○						○
－		Rivellia 属の一種	○	○			○		○

表 2.8.1-31 (26)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1225	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	○	○	○	○	○	○	○
1226		ヒガシヒゲナガヤチバエ	○	○	○	○	○		○
1227	ツヤホソバエ	Sepsis 属の一種	○		○	○	○		○
1228	シマバエ	シモフリシマバエ			○		○		
1229		ヒラヤマシマバエ		○					○
1230		Luzonomyza 属の一種			○	○		○	○
1231		Minettia 属の一種	○	○		○	○	○	○
1232		Sapromyza 属の一種	○				○		
1233		Steganopsis 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
1234		Sciasmomyia supraorientalis	○						○
1235	キモグリバエ	Lipara 属の一種				○		○	○
1236		Meijerella 属の一種			○		○		○
1237		Rhodesiella 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
1238	ミギワバエ	Brachydeutera ibari	○	○			○	○	○
1239		ミナミカマバエ	○	○			○	○	○
1240		Parydra albipulvis			○				○
－		Parydra 属の一種	○	○				○	○
1241		Setacera breviventris	○				○		
1242	ショウジョウバエ	オウトウショウジョウバエ			○				○
－		Drosophila 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
1243	フンバエ	ヒメフンバエ			○	○		○	○
1244	ハナバエ	Delia 属の一種			○		○		○
－		ハナバエ科の一種	○	○		○	○	○	○
1245	ヒメイエバエ	Fannia 属の一種			○		○		○
1246	イエバエ	Atherigona 属の一種	○	○			○		○
1247		Phaonia 属の一種		○	○	○	○	○	○
1248		シナホソカトリバエ	○	○	○	○	○		
1249		シリモチハナレメイエバエ		○	○		○	○	○
1250	クロバエ	ミヤマキンバエ	○	○		○	○	○	○
1251		スネアカキンバエ				○			○
1252		ミドリキンバエ	○	○			○		○
1253		フタオクロバエ				○	○		
1254		ムナギンクロバエ				○		○	
1255		ミドリバエ	○	○					○
1256		ツマグロキンバエ	○	○		○	○	○	○
1257	ニクバエ	ジョセフニクバエ		○					○
1258		センチニクバエ	○						○
1259		シリグロニクバエ	○	○					○
1260		ツシマニクバエ	○	○			○		○
1261		カワユニクバエ	○						○
1262		ナミニクバエ	○				○		○
1263		ゲンロクニクバエ		○			○		
1264		トゲニクバエ	○						○
1265	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種	○	○		○	○	○	○
1266	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ		○		○	○		○
－		Ecnomus 属の一種		○					○
1267	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	○	○		○	○	○	○
1268		ナミコガタシマトビケラ	○	○		○	○	○	○
1269		ウルマーシマトビケラ	○	○		○	○	○	○
1270	クダトビケラ	ウルマークダトビケラ	○			○	○		○
－		Psychomyia 属の一種		○			○		○
1271	ヒメトビケラ	Hydroptila 属の一種		○		○	○		○

表 2.8.1-31 (27)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
－	ヒメトビケラ	ヒメトビケラ科の一種	○				○		○
1272	コエグリトビケラ	ヒラタコエグリトビケラ				○			○
1273	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	○	○		○	○	○	○
1274	カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ		○		○		○	○
－		Lepidostoma 属の一種		○		○	○		
1275	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ	○						○
1276	ホソバトビケラ	ホソバトビケラ				○			○
1277	ケトビケラ	Gumaga orientalis				○			○
－	－	トビケラ目の一種	○						○
1278	マガリガ	クロハネシロヒゲナガ				○	○		
1279		ホソオビヒゲナガ				○	○		○
1280	ハマキガ	ヒメサザナミハマキ			○		○		
1281		チャノコカクモンハマキ	○	○			○		○
1282		マツアトキハマキ				○			○
1283		クロシオハマキ				○	○		○
1284		ホソバハイイロハマキ				○			○
1285		オオギンスジハマキ				○			○
1286		イグサヒメハマキ				○			○
－		Bactra 属の一種	○	○			○	○	○
1287		ヘリオビヒメハマキ		○					○
1288		クロサンカクモンヒメハマキ				○			○
1289		ツマジロクロヒメハマキ				○			○
1290		ヨモギネムシガ	○				○	○	○
1291		グミオオウスツマヒメハマキ		○		○			○
1292		シロモンヒメハマキ				○			○
1293		Lobesia 属の一種	○						○
1294		Olethreutes 属の一種	○	○		○	○	○	○
－		ハマキガ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
1295	ホソハマキガ	アカオビホソハマキ		○					○
1296	ミノガ	ネグロミノガ		○		○		○	○
1297		オオミノガ	○	○	○				○
1298		キタクロミノガ		○					○
1299		シバミノガ				○			○
－		ミノガ科の一種			○				○
1300	ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ		○	○		○		○
1301		Monopis 属の一種		○		○		○	○
1302		ウスモンツマオレガ	○						○
－		ヒロズコガ科の一種		○		○		○	○
1303	ホソガ	Caloptilia 属の一種	○						○
1304		タデキボシホソガ		○			○		
－		ホソガ科の一種				○			○
1305	コハモグリガ	ミカンコハモグリ		○			○		
1306	アトヒゲコガ	トコロミコガ				○			○
1307	スガ	Yponomeuta 属の一種	○					○	
1308	ホソハマキモドキガ	Glyphipterix 属の一種	○						○
1309	ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ	○						○
1310	マルハキバガ	ネズミエグリヒラタマルハキバガ	○				○		
1311		Agonopterix 属の一種	○				○		
1312		ホソオビキマルハキバガ	○				○		○
1313		カノコマルハキバガ				○	○		
－		マルハキバガ科の一種	○				○		○
1314	ニセマイコガ	Stathmopoda 属の一種	○						○

表 2.8.1-31 (28)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1315	ツツミノガ	Coleophora 属の一種				○			○
1316	カザリバガ	Anatrachyntis 属の一種	○				○	○	○
1317		ウスイロカザリバ	○			○	○		○
1318		カザリバ		○			○		○
1319		ベニモントガリホソガ	○					○	○
1320		ギンスジトガリホソガ	○					○	
－		Labdia 属の一種		○					○
－		カザリバガ科の一種	○				○		○
1321		Ascalenia 属の一種	○					○	
1322	ヒゲナガキバガ	オビカクバネヒゲナガキバガ	○						○
1323		ゴマフシロハビロキバガ	○					○	
1324		Lecithocera 属の一種	○	○			○	○	○
1325	キバガ	Autosticha 属の一種	○				○	○	○
1326		タテジマキバガ	○				○		
1327		イモキバガ	○			○			○
1328		カバイロキバガ	○						○
1329		Dichomeris 属の一種		○			○		○
1330		Pseudotelphusa 属の一種				○			○
－		キバガ科の一種	○	○			○	○	○
1331	マダラガ	ホタルガ	○						○
1332		キスジホソマダラ	○						○
1333	セミヤドリガ	セミヤドリガ	○				○	○	
1334		ハゴロモヤドリガ	○						○
1335	イラガ	テングイラガ	○					○	
1336		クロシタアオイラガ	○				○		
1337		アカイラガ	○				○	○	
1338	マドガ	ヒメマダラマドガ	○				○		
1339	ツトガ	シロツトガ		○					○
1340		ヨシツトガ	○				○		
1341		ニカメイガ	○						○
1342		シバツトガ	○	○		○	○	○	○
1343	メイガ	スジボソヤマメイガ				○		○	○
1344		ヒメトガリノメイガ	○					○	
1345		アカウスグロノメイガ	○					○	
1346		モンウスグロノメイガ	○						○
1347		オオシロモンノメイガ	○						○
1348		コブノメイガ		○			○		○
1349		シロアヤヒメノメイガ	○				○		
1350		アヤナミノメイガ	○	○			○		○
1351		スカシノメイガ				○			○
1352		ハイマダラノメイガ		○				○	○
1353		モンキクロノメイガ	○					○	○
1354		シロオビノメイガ	○	○			○	○	○
1355		マメノメイガ		○					○
1356		ホシオビホソノメイガ				○			○
1357		ワモンノメイガ	○						○
1358		アワノメイガ	○				○	○	○
1359		ヨスジノメイガ		○					○
1360		クビシロノメイガ		○			○		
1361		コヨツメノメイガ	○					○	
1362		キムジノメイガ	○			○	○		○
1363		シロスジエグリノメイガ		○		○	○		○

表 2.8.1-31 (29)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1364	メイガ	クロスジマダラミズメイガ	○						○
1365		ヒメマダラミズメイガ	○	○					○
1366		キオビミズメイガ	○						○
1367		オオウスベニトガリメイガ	○						○
1368		キモントガリメイガ	○				○		
1369		キベリトガリメイガ	○						○
1370		ウスモンマルバシマメイガ	○					○	
1371		Acrobasis 属の一種	○					○	
1372		ヒメスジホソメイガ	○					○	
1373		アカマダラメイガ	○				○		○
1374		トビスジマダラメイガ		○					○
1375		ヤマトシロアシクロノメイガ		○					○
－		メイガ科の一種	○	○			○		○
1376	トリバガ	キンバネチビトリバ		○				○	○
1377		ブドウトリバ	○						○
－		トリバガ科の一種			○		○		
1378	セセリチョウ	ダイミョウセセリ	○			○	○	○	○
1379		ギンイチモンジセセリ				○	○		○
1380		ヒメキマダラセセリ	○				○	○	○
1381		イチモンジセセリ	○	○		○	○	○	○
1382		ミヤマチャバネセセリ				○		○	
1383		チャバネセセリ	○	○			○		○
1384		オオチャバネセセリ	○					○	
1385		キマダラセセリ	○				○	○	○
1386		コチャバネセセリ	○			○	○	○	○
1387	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ本土亜種	○					○	
1388		アオスジアゲハ	○				○	○	○
1389		カラスアゲハ本土亜種	○			○	○	○	○
1390		モンキアゲハ	○					○	○
1391		キアゲハ	○			○		○	○
1392		ナガサキアゲハ	○			○		○	○
1393		クロアゲハ本土亜種	○			○	○	○	○
1394		ナミアゲハ	○			○		○	○
1395	シロチョウ	ツマキチョウ				○	○	○	○
1396		モンキチョウ	○	○		○	○	○	○
1397		キタキチョウ	○	○		○	○	○	○
1398		スジグロシロチョウ	○	○		○	○	○	○
1399		モンシロチョウ	○	○		○	○	○	○
1400	シジミチョウ	コツバメ				○			○
1401		ルリシジミ	○			○	○	○	○
1402		ツバメシジミ	○	○		○	○	○	○
1403		アカシジミ	○					○	○
1404		ウラナミアカシジミ	○					○	
1405		ウラナミシジミ		○			○		○
1406		ベニシジミ	○	○		○	○	○	○
1407		ムラサキツバメ	○						○
1408		ムラサキシジミ	○	○		○	○	○	○
1409		ゴイシシジミ	○						○
1410		ヤマトシジミ本土亜種	○	○		○	○	○	○
1411	ウラギンシジミチョウ	ウラギンシジミ	○	○			○	○	○
1412	テングチョウ	テングチョウ本土亜種	○						○
1413	タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	○	○			○	○	○

表 2.8.1-31 (30)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1414	タテハチョウ	ヒメアカタテハ	○	○			○		○
1415		ゴマダラチョウ	○						○
1416		ルリタテハ本土亜種	○			○		○	○
1417		イチモンジチョウ	○					○	○
1418		アサマイチモンジ	○						○
1419		Limenitis 属の一種	○					○	
1420		コミスジ	○	○		○	○	○	○
1421		キタテハ	○	○		○	○	○	○
1422		アカタテハ	○			○		○	○
1423	ジャノメチョウ	クロヒカゲ	○				○	○	
1424		ヒカゲチョウ	○	○			○	○	○
1425		クロコノマチョウ	○	○		○	○	○	○
1426		ジャノメチョウ	○						○
1427		コジャノメ	○	○		○	○	○	○
1428		ヒメジャノメ	○					○	○
1429		サトキマダラヒカゲ	○				○	○	○
1430		ヒメウラナミジャノメ	○			○	○	○	○
1431	カギバガ	フタテンシロカギバ				○			○
1432	シャクガ	ウスバフユシャク			○				○
1433		クロテンフユシャク			○		○		
1434		アシブトチズモンアオシャク	○			○			○
1435		アカアシアオシャク	○					○	
1436		ヨスジキヒメシャク	○					○	
1437		オイワケヒメシャク	○						○
1438		ミジンキヒメシャク	○						○
1439		フタナミトビヒメシャク				○			○
1440		サザナミシロヒメシャク				○			○
1441		ナガサキヒメシャク		○					○
1442		コベニスジヒメシャク		○					○
1443		ウスベニスジヒメシャク	○						○
1444		マダラヒゲブトナミシャク	○						○
1445		マエナミカバナミシャク				○			○
1446		セスジナミシャク		○				○	
1447		トビスジヒメナミシャク				○			○
1448		クロクモエダシャク				○			○
1449		ツマトビキエダシャク	○						○
1450		アトボシエダシャク				○			○
1451		ウチムラサキヒメエダシャク	○					○	
1452		ニセオレクギエダシャク	○					○	
1453		モンシロツマキリエダシャク				○			○
1454		ミスジツマキリエダシャク				○			○
1455	ツバメガ	ギンツバメ	○						○
1456	カイコガ	クワコ	○				○		
1457	ヤママユガ	オオミズアオ	○			○	○		○
1458		クスサン		○		○			○
1459	スズメガ	モモスズメ		○			○		
1460		ホシヒメホウジャク			○				○
1461		ヒメクロホウジャク	○	○				○	○
1462		ホシホウジャク	○						○
1463		セスジスズメ	○					○	
1464	シャチホコガ	オオエグリシャチホコ				○			○
1465		キシャチホコ	○						○

表 2.8.1-31 (31)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1466	ドクガ	アカヒゲドクガ				○		○	
1467	ヒトリガ	スカシコケガ	○	○			○		○
1468		アカスジシロコケガ	○				○		
1469		キマエホソバ	○				○		
－		Eilema 属の一種	○					○	
1470		クロテンハイイロコケガ	○						○
1471		ハガタベニコケガ	○						○
1472		スジベニコケガ				○			○
1473		ホシオビコケガ	○						○
1474		チャオビチビコケガ	○						○
1475		シロオビクロコケガ	○						○
1476		ウスグロコケガ	○						○
1477		ゴマダラキコケガ	○						○
1478		スジモンヒトリ				○		○	○
1479		キハラゴマダラヒトリ	○						○
1480		アカハラゴマダラヒトリ				○			○
1481	コブガ	クロスジコブガ	○					○	
1482		シタジロコブガ				○			○
1483		クロスジシロコブガ	○					○	○
1484	カノコガ	カノコガ	○					○	○
1485	ヤガ	イチモジキノコヨトウ	○						○
1486		オオタバコガ	○				○		
1487		カブラヤガ				○			○
1488		オオバコヤガ		○					○
1489		マエキヤガ		○					○
1490		アトジロキヨトウ		○			○		
1491		ノヒラキヨトウ	○				○		
1492		ホシオビキリガ				○		○	
1493		テンウスイロヨトウ	○					○	
1494		ヒメサビスジヨトウ				○			○
1495		クシヒゲウスキヨトウ		○					○
1496		フタテンヒメヨトウ	○						○
1497		テンオビヨトウ	○			○	○		○
1498		セアカヨトウ		○					○
1499		マエホシヨトウ		○					○
1500		イネヨトウ	○	○				○	○
1501		スジキリヨトウ	○			○	○	○	○
1502		ハスモンヨトウ		○			○		○
1503		シロスジアオヨトウ	○						○
1504		キノカワガ			○			○	
1505		Araeopteron 属の一種	○				○		
1506		ハイイロコヤガ	○						○
1507		カバイロシマコヤガ	○					○	
1508		ヒメネジロコヤガ	○					○	○
1509		フタホシコヤガ				○		○	○
1510		フタオビコヤガ	○				○	○	○
1511		ウスベニコヤガ	○						○
1512		シロマダラコヤガ	○						○
1513		ネモンシロフコヤガ	○				○	○	
1514		ニセシロフコヤガ				○			○
－		Sugia 属の一種				○	○		
1515		イチジクキンウワバ		○			○		

表 2.8.1-31 (32)　確認された昆虫類

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1516	ヤガ	エゾギクキンウワバ		○			○		
1517		フクラスズメ	○	○			○		○
1518		キシタバ	○						○
1519		ウンモンクチバ	○						○
1520		オオウンモンクチバ	○	○			○		
1521		オスグロトモエ	○						○
1522		アケビコノハ	○						○
1523		ナカジロシタバ	○					○	○
1524		ホソバカバアツバ		○					○
1525		クロテンカバアツバ	○	○			○		○
1526		アカテンクチバ				○			○
1527		カザリツマキリアツバ	○						○
1528		ミジンアツバ	○						○
1529		トビフタスジアツバ				○			○
1530		チビアツバ		○					○
1531		クビグロクチバ	○						○
1532		スジモンアツバ	○				○		
1533		ウスオビチビアツバ	○	○			○	○	
1534		アカエグリバ	○	○			○		○
1535		リンゴツマキリアツバ	○						○
1536		キボシアツバ	○						○
1537		モクメクチバ	○		○		○		○
1538		クリイロアツバ		○					○
1539		テンクロアツバ				○			○
1540		クロスジヒメアツバ	○	○				○	○
1541		ハスオビヒメアツバ	○						○
－		Schrankia 属の一種				○			○
1542		ウスキミスジアツバ	○						○
1543		クロスジアツバ	○						○
1544		トビスジアツバ				○		○	○
1545		オオシラナミアツバ	○	○		○	○	○	○
1546		ヒロオビウスグロアツバ				○			○
1547		ソトウスグロアツバ	○				○		
1548		シロホシクロアツバ	○				○		
1549		オオアカマエアツバ		○			○		
1550		Sinarella 属の一種	○					○	○
1551		ツマオビアツバ	○					○	
1552		キイロアツバ	○				○	○	○
1553		ウラジロアツバ	○					○	
－		ヤガ科の一種	○		○		○		○
合計	295 科	1553 種	948 種	758 種	173 種	667 種	908 種	716 種	1218 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

2) ライトトラップ調査及びベイトトラップ調査地点概要

ライトトラップ調査及びベイトトラップ地点概要は、表 2.8.1-32 に示すとおりである。

表 2.8.1-32　ライトトラップ調査及びベイトトラップ調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
T1	調査地域北側の樹林(コナラ林)。		T2	調査地域北側の畑周辺。	
T3	調査地域北側の畑周辺		T4	調査地域北西側の湿性草地(ヨシ原)。	
T5	調査地域北西側の樹林(コナラ林)。		T6	調査地域北西側の湿性草地(ヨシ原)。	
T7	調査地域南側の水田周辺。		T8	調査地域南側の水田周辺。	
T9	調査地域南側の樹林(スダジイ林)。		T10	調査地域南側の水田周辺。	
T11	調査地域南側の樹林(スギ林)。		T12	調査地域南側の樹林(スダジイ林)。	
T13	調査地域南側の水田周辺。		T14	調査地域南側の樹林(スギ林)。	

3) ライトトラップ調査結果

ライトトラップ調査結果は、表 2.8.1-33～表 2.8.1-37 に示すとおりである。

表 2.8.1-33(1)　ライトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	コカゲロウ	ウデマガリコカゲロウ									
2	トンボ	ナツアカネ									
3	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ									
4	コオロギ	タンボコオロギ							2		
5	ヒバリモドキ	シバスズ									
6	ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ									
7	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ							1		
8	ケチャタテ	Val enzuel a属の一種									
9	チャタテ	チャタテ科の一種									
10	ウンカ	ハリマナガウンカ									
11		エゾナガウンカ									
12		タケウンカ									
13		クロスジオオウンカ									
14		ヒメトビウンカ							1		
15		トビイロウンカ									
16		ゴマフウンカ							1		
17		セジロウンカ									
18		セジロウンカモドキ									
－		ウンカ科の一種	1								
19	シマウンカ	シマウンカ									
20	ハネナガウンカ	アカメガシワハネビロウンカ									
21	アオバハゴロモ	キノカワハゴロモ									
22	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	1						1		
23		アミガサハゴロモ									
24	セミ	ヒグラシ	1								
25	ヨコバイ	ゴマフハトムネヨコバイ									
26		ホシサジヨコバイ									
27		マエジロオオヨコバイ									
28		オビヒメヨコバイ	1								
29		カンキツヒメヨコバイ									
30		ベニヒメヨコバイ	2								
31		ヒトツメヒメヨコバイ									
32		シロヒメヨコバイ	2								
33		ホシヒメヨコバイ	2								
34		マダラヒメヨコバイ	3								
35		イナズマヒメヨコバイ									
36		アライヒシモンヨコバイ									
37		ヒメフタテンヨコバイ									
38		トバヨコバイ									
39		イナズマヨコバイ									
40		ヒトツメヨコバイ									
41		クロミャクイチモンジヨコバイ									
42		ツマグロヨコバイ									
43		タケナガヨコバイ									
44		リンゴマダラヨコバイ									
45		マダラヨコバイ									
46		シロセスジヨコバイ									
47		シラホシスカシヨコバイ	1								
48		クズヒメヨコバイ									
－		ヨコバイ科の一種	4								
49	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ									
50	カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ				1					
51	ミズムシ	ハラグロコミズムシ									
52		エサキコミズムシ									
－		Si gara属の一種				1					
53		ミゾナシミズムシ									
54		ハイイロチビミズムシ									
55	マツモムシ	コマツモムシ									
56	カスミカメムシ	ツシマキノコカスミカメ									
57		ウスバツヤカスミカメ	1								
58		ナカグロカスミカメ							3		
59		ブチヒゲクロカスミカメ							2		
60		アカホシカスミカメ							3		
61		ムモンミドリカスミカメ									
62		アカスジカスミカメ							2		
63		イネホソミドリカスミカメ							1		
64	マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ							1		
65	ハナカメムシ	ユミアシハナカメムシ									
66		モリモトヤサハナカメムシ									
67		ケシハナカメムシ							1		
68	サシガメ	クロサシガメ									
69		キイロサシガメ									
70	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシチビナガカメムシ									
71		チャイロナガカメムシ									
72		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ									
73		サビヒョウタンナガカメムシ							4		
74		キベリヒョウタンナガカメムシ									
75		ヒラタヒョウタンナガカメムシ									
76	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ									
77	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ							2		
78	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ									

表 2.8.1-33(2)　ライトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
79	ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ							5		
80		ツチカメムシ							7		
81		フタボシツチカメムシ									
82	カメムシ	チャバネアオカメムシ							1		
83		ツヤアオカメムシ									
84		イチモンジカメムシ							1		
85	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ									
86		シロコナカゲロウ									
87	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ									
88	ヒメカゲロウ	チャバネヒメカゲロウ									
89	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ									
90	ハンミョウ	エリザハンミョウ									
91	オサムシ	ヒメヒョウタンゴミムシ									
92		Dyschirius属の一種									
93		ヨツボシミズギワゴミムシ									
94		アトモンミズギワゴミムシ									
95		ツマキミズギワゴミムシ									1
96		Paratachys属の一種									
97		ヒラタコミズギワゴミムシ									
98		クリイロコミズギワゴミムシ									
99		ヨツモンコミズギワゴミムシ									
100		セスジヒラタゴミムシ									
101		タンゴヒラタゴミムシ									
102		ヒメセボシヒラタゴミムシ									
103		アシミゾヒメヒラタゴミムシ									
104		クロモリヒラタゴミムシ									
105		オオアオモリヒラタゴミムシ									
106		ハラアカモリヒラタゴミムシ									
107		クビアカモリヒラタゴミムシ									
108		ルリヒラタゴミムシ									
109		オオヒラタゴミムシ									
110		ヒメツヤマルガタゴミムシ									
111		ゴミムシ							1		
112		トゲアシゴモクムシ							5		
113		オオズケゴモクムシ									
114		ケウスゴモクムシ							3		
115		ヒメケゴモクムシ									
116		ニセクロゴモクムシ							2		
117		ウスアカクロゴモクムシ									
118		コゴモクムシ									
－		Harpalus属の一種									
119		カラカネゴモクムシ									
120		Trichotichnus属の一種									
121		キイロチビゴモクムシ	1								
122		キベリゴモクムシ									
123		ミドリマメゴモクムシ									
124		ムネアカマメゴモクムシ									
125		イツホシマメゴモクムシ									
－		Stenolophus属の一種	1								
126		ヨツモンカタキバゴミムシ									
127		ムナビロアトボシアオゴミムシ	1						1		
128		クロツブゴミムシ									
129		トゲアトキリゴミムシ							2		
130		コキノコゴミムシ	1								
131		ヤセアトキリゴミムシ									
132		イクビホソアトキリゴミムシ									
133		ホシハネビロアトキリゴミムシ			3						
134		コルリアトキリゴミムシ									
135		メダカアトキリゴミムシ									
136		アオヘリホソゴミムシ									
137	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ									
138	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ									
139		マルケシゲンゴロウ									
140		ホソセスジゲンゴロウ									
－		Copelatus属の一種									
141		ヒメゲンゴロウ							3		
142		コシマゲンゴロウ							3		
143	ガムシ	キバネケシガムシ									
－		Cercyon属の一種									
144		セマルガムシ									
145		セマルケシガムシ									
146		キイロヒラタガムシ									
147		コガムシ									
148		ヒメガムシ							6		
149		トゲバゴマフガムシ	2			1			1		
150		ゴマフガムシ	1						1		
151	シデムシ	クロシデムシ									
152		ヨツボシモンシデムシ		1	4						
153		オオモモブトシデムシ									
154	ハネカクシ	Aleochara属の一種		1							
155		Astenus属の一種									
156		Bledius属の一種				1					
157		アカバナガハネカクシ									
158		Ochthephilum属の一種									
159		アオバアリガタハネカクシ									
－		ハネカクシ科の一種					1	1	20	4	
160	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種									

表 2.8.1-33(3)　ライトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
161	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ									
162	マルハナノミ	Cyphon属の一種									
163		トビイロマルハナノミ									
164		ヒメマルハナノミ									
165	クワガタムシ	コクワガタ									
166		ノコギリクワガタ									
167	コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ									
168	コガネムシ	セマルケシマグソコガネ									
169		コフキコガネ									
170		アカビロウドコガネ							8		
171		カミヤビロウドコガネ									
172		ハラゲビロウドコガネ			1						
173		Sericania属の一種									
174		コイチャコガネ									
175		アオドウガネ							2		
176		ドウガネブイブイ							3		
177		ヒメコガネ							3		
178		カブトムシ	1								
179		コカブトムシ									
180	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ									
181	コメツキムシ	ヒゲコメツキ									
182		マダラチビコメツキ							1		
183		サビキコリ							2		
184		ムナビロサビキコリ									
185		オオクシヒゲコメツキ									
186		オオツヤハダコメツキ									
187		チャイロムナボソコメツキ							4		
188		クリイロアシブトコメツキ									
189		オオナガコメツキ	3								
190		チャイロコメツキ	1						1		
191		ヒゲナガコメツキ									
192		クチブトコメツキ									
193		ヒラタクロクシコメツキ									
194		ヒメクシコメツキ									
195		クシコメツキ									
196		ルイスクシコメツキ									
197	ベニボタル	クロハナボタル									
198	ジョウカイボン	ウスチャジョウカイ									
199		ニセヒメジョウカイ									
200		オカベセボシジョウカイ									
201		Podabrus属の一種									
202		ヒガシマルムネジョウカイ									
203		クロツマキジョウカイ									
204	シバンムシ	シバンムシ科の一種									
205	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト									
206	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ									
207	ケシキスイ	クリイロデオキスイ									
208		カタベニデオキスイ				1	1			3	
209		コヨツボシケシキスイ									
210		ヨツボシケシキスイ									
－		ケシキスイ科の一種									1
211	ネスイムシ	トビイロデオネスイ									
212	ヒラタムシ	セマルチビヒラタムシ									
213	ホソヒラタムシ	ホソヒラタキスイ									
－		Silvanoprus属の一種									
214		Psammoecus属の一種									
215	キスイムシ	Atomaria属の一種									
216		マルガタキスイ									
217	オオキノコムシ	セモンホソオオキノコ	1								
218		ヒメオビオオキノコ									
219	テントウムシダマシ	キイロテントウダマシ									
220	テントウムシ	クロヘリヒメテントウ									
221	ヒメマキムシ	ヒメマキムシ科の一種								1	
222	ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ									
223	コキノコムシ	ヒゲブトコキノコムシ									
224	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ									
225		キイロホソナガクチキ									
226	ハナノミ	クリイロヒゲハナノミ	1								
227	アリモドキ	キアシクビボソムシ									
228	チビキカワムシ	ツヤチビキカワムシ									
229	ハムシダマシ	ナガハムシダマシ									
230		ヒゲブトゴミムシダマシ									
231	クチキムシ	クチキムシ									
232		ウスイロクチキムシ									
233	ゴミムシダマシ	フトナガニジゴミムシダマシ									
234		アオツヤキノコゴミムシダマシ									
235		ベニモンキノコゴミムシダマシ									
236		ルリゴミムシダマシ									
237		コマルキマワリ	1								
238	カミキリムシ	ノコギリカミキリ	1								
239	ハムシ	チビカサハラハムシ									
240		クロオビカサハラハムシ									
241		フタスジヒメハムシ									
242		ヒメカミナリハムシ									
243		ダイコンナガスネトビハムシ									
244		Microchaetes属の一種									
245	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ	1								

表 2.8.1-33(4)　ライトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
246	オトシブミ	カシルリオトシブミ									
247	ホソクチゾウムシ	Nanophyes属の一種									
248	ゾウムシ	クロイネゾウモドキ									
249		Pagous属の一種									
250		イネミズゾウムシ									
251		ウキクサミズゾウムシ									
252		オオミズゾウムシ									
253		クヌギシギゾウムシ	3								
254		Rhadinomerus属の一種									
255	キクイムシ	キクイムシ科の一種									
256	ハバチ	オスグロハバチ									
257	コマユバチ	コマユバチ科の一種									
258	ヒメバチ	Neteliа属の一種		1							
259		Cobion属の一種									
260		マダラオオアメバチ									
－		ヒメバチ科の一種						1			
261	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種									
262	タマバチ	タマバチ科の一種									
263	アリ	Brachyponera属の一種									
264		Crematogaster属の一種	10			80			150		
265		Monomorium属の一種									
266		Camponotus属の一種									
267		Formica属の一種	1						1		1
268		トビイロケアリ									
－		Lasius属の一種									
269	ガガンボ	Tipula属の一種									
270		セダカガガンボ									
271		Erioptera属の一種									
272		Styringomyia属の一種									
－		ガガンボ科の一種			1			2			
273	チョウバエ	チョウバエ科の一種									
274	ヌカカ	ヌカカ科の一種						1			
275	ユスリカ	クロバヌマユスリカ			1						
276		Cricotopus属の一種									1
277		ヒシモンユスリカ									
－		Chironomus属の一種			1						3
278		Polypedilum属の一種									1
－		ユスリカ科の一種						9	5		6
279	ケバエ	Plecia属の一種									
280	タマバエ	タマバエ科の一種									
281	キノコバエ	キノコバエ科の一種									
282	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種	1								
283	ノミバエ	ノミバエ科の一種									
284	ハナアブ	ナミルリイロハラナガハナアブ									
285	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ							1		
286	ツヤホソバエ	Sepsis属の一種									
287	ミギワバエ	Brachydeutera ibari		2			2			10	
288		Setacera breviventris									
289	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種						8		1	
290	ハナバエ	ハナバエ科の一種									
291	クロバエ	ミヤマキンバエ									
292	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種									
293	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ									
－		Ecnomus属の一種									
294	シマトビケラ	コガタシマトビケラ									1
295		ナミコガタシマトビケラ			2			1			
296		ウルマーシマトビケラ						4			
297	クダトビケラ	ウルマークダトビケラ									
－		Psychomyia属の一種									
298	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種									
－		ヒメトビケラ科の一種									
299	コエグリトビケラ	ヒラタコエグリトビケラ									
300	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			1			1			
301	カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ									
302	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ									
303		トビケラ目の一種									
304	マガリガ	ホソオビヒゲナガ									
305	ハマキガ	チャノコカクモンハマキ									
306		マツアトキハマキ									
307		クロシオハマキ									
308		ホソバハイイロハマキ									
309		オオギンスジハマキ									
310		イグサヒメハマキ									
－		Bactra属の一種	5								
311		ヘリオビヒメハマキ									
312		クロサンカクモンヒメハマキ									
313		ツマジロクロヒメハマキ									
314		ヨモギネムシガ									
315		グミオオウスツマヒメハマキ									
316		シロモンヒメハマキ									
317		Olethreutes属の一種	2						1	1	
－		ハマキガ科の一種	2						1		
318	ホソハマキガ	アカオビホソハマキ									
319	ヒロズコガ	Monopis属の一種						1			1
320		ウスモンツマオレガ									
－		ヒロズコガ科の一種		1							
321	ホソガ	Caloptilia属の一種									

表 2.8.1-33(5)　ライトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
322	ホソガ	タデキボシホソガ									
－		ホソガ科の一種									
323	コハモグリガ	ミカンコハモグリ									
324	アトヒゲコガ	トコロミコガ									
325	スガ	Yponomeuta属の一種	2								
326	ホソハマキモドキガ	Glyphipterix属の一種									
327	ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ									
328	マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ									
329		カノコマルハキバガ									
－		マルハキバガ科の一種									
330	ニセマイコガ	Stathmopoda属の一種									
331	ツツミノガ	Coleophora属の一種									
332	カザリバガ	Anatrachyntis属の一種	1								
333		ウスイロカザリバ									
334		カザリバ									
335		ベニモントガリホソガ	1								
336		ギンスジトガリホソガ							1		
－		Labdia属の一種									
－		カザリバガ科の一種									
337		Ascalenia属の一種	3								
338	ヒゲナガキバガ	オビカクバネヒゲナガキバガ									
339		ゴマフシロハビロキバガ	1								
340		Lecithocera属の一種		1							
341	キバガ	Autosticha属の一種	1								
342		タテジマキバガ									
343		イモキバガ									
344		カバイロキバガ									
345		Dichomeris属の一種									
346		Pseudotelphusa属の一種									
347		キバガ科の一種	3						2		
348	セミヤドリガ	セミヤドリガ	1								
349	イラガ	テングイラガ	1								
350		アカイラガ	2								
351	ツトガ	ヨシツトガ									
352		ニカメイガ									
353		シバツトガ						1			
354	メイガ	スジボソヤマメイガ			1						
355		ヒメトガリノメイガ							1		
356		アカウスグロノメイガ							1		
357		モンウスグロノメイガ									
358		シロアヤヒメノメイガ									
359		ハイマダラノメイガ								1	
360		モンキクロノメイガ							1		
361		シロオビノメイガ							2		
362		ホシオビホソノメイガ									
363		ワモンノメイガ									
364		クビシロノメイガ									
365		コヨツメノメイガ	1								
366		キムジノメイガ									
367		シロスジエグリノメイガ									
368		ヒメマダラミズメイガ									
369		キオビミズメイガ									
370		キモントガリメイガ									
371		キベリトガリメイガ									
372		ウスモンマルバシマメイガ	1								
373		Acrobasis属の一種	1								
374		アカマダラメイガ									
375		トビスジマダラメイガ									
376		ヤマトシロアシクロノメイガ									
377		メイガ科の一種									
378	カギバガ	フタテンシロカギバ									
379	シャクガ	アシブトチズモンアオシャク									
380		ヨスジキヒメシャク	1								
381		オイワケヒメシャク									
382		ミジンキヒメシャク									
383		フタナミトビヒメシャク									
384		サザナミシロヒメシャク									
385		ナガサキヒメシャク									
386		コベニスジヒメシャク									
387		マエナミカバナミシャク									
388		セスジナミシャク		1							
389		トビスジヒメナミシャク									
390		クロクモエダシャク									
391		ウチムラサキヒメエダシャク	1								
392		ニセオレクギエダシャク	1								
393		モンシロツマキリエダシャク									
394		ミスジツマキリエダシャク									
395	ツバメガ	ギンツバメ									
396	ヤママユガ	クスサン									
397	シャチホコガ	オオエグリシャチホコ									
398	ドクガ	アカヒゲドクガ			1						
399	ヒトリガ	スカシコケガ									
400		アカスジシロコケガ									
401		キマエホソバ									
402		Eilema属の一種	1								
403		クロテンハイイロコケガ									
404		スジベニコケガ									

表 2.8.1-33(6)　ライトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
405		チャオビチビコケガ									
406		シロオビクロコケガ									
407		ウスグロコケガ									
408		スジモンヒトリ			1						
409		アカハラゴマダラヒトリ									
410	コブガ	シタジロコブガ									
411		クロスジシロコブガ							1		
412	ヤガ	イチモジキノコヨトウ									
413		カブラヤガ									
414		オオバコヤガ									
415		マエキヤガ									
416		アトジロキヨトウ									
417		ノヒラキヨトウ									
418		テンウスイロヨトウ							1		
419		クシヒゲウスキヨトウ									
420		フタテンヒメヨトウ									
421		テンオビヨトウ									
422		セアカヨトウ									
423		マエホシヨトウ									
424		イネヨトウ	1								
425		スジキリヨトウ	1								
426		ハスモンヨトウ									
427		Araeopteron属の一種									
428		ハイイロコヤガ									
429		ヒメネジロコヤガ							1		
430		フタホシコヤガ			1						
431		フタオビコヤガ	4						2		
432		シロマダラコヤガ									
433		ネモンシロフコヤガ	2								
434		ニセシロフコヤガ									
435		Sugia属の一種									
436		ナカジロシタバ							5		
437		ホソバカバアツバ									
438		クロテンカバアツバ									
439		アカテンクチバ									
440		ミジンアツバ									
441		トビフタスジアツバ									
442		チビアツバ									
443		スジモンアツバ									
444		ウスオビチビアツバ	4								
445		キボシアツバ									
446		クリイロアツバ									
447		クロスジヒメアツバ							1		
448		ハスオビヒメアツバ									
449		Schrankia属の一種									
450		ウスキミスジアツバ									
451		クロスジアツバ									
452		トビスジアツバ			3						
453		オオシラナミアツバ									
454		ヒロオビウスグロアツバ									
455		ソトウスグロアツバ									
456		シロホシクロアツバ									
457		Sinarella属の一種							2		
458		ツマオビアツバ	1								
459		キイロアツバ	1								
－		ヤガ科の一種									
合計	146科	459種	97個体 53種	8個体 7種	21個体 13種	85個体 6種	4個体 3種	30個体 11種	291個体 56種	21個体 7種	16個体 8種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-34(1)　ライトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	コカゲロウ	ウデマガリコカゲロウ						1			
2	トンボ	ナツアカネ				1					
3	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ									
4	コオロギ	タンボコオロギ									
5	ヒバリモドキ	シバスズ	2								
6	ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ									
7	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ	14						1	1	
8	ケチャタテ	Valenzuela属の一種			1						
9	チャタテ	チャタテ科の一種									
10	ウンカ	ハリマナガウンカ									
11		エゾナガウンカ	2								
12		タケウンカ				31			4		
13		クロスジオオウンカ									
14		ヒメトビウンカ									
15		トビイロウンカ		1							
16		ゴマフウンカ									
17		セジロウンカ	1								
18		セジロウンカモドキ									
－		ウンカ科の一種									
19	シマウンカ	シマウンカ									
20	ハネナガウンカ	アカメガシワハネビロウンカ		3							
21	アオバハゴロモ	キノカワハゴロモ									
22	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ									
23		アミガサハゴロモ									
24	セミ	ヒグラシ									
25	ヨコバイ	ゴマフハトムネヨコバイ									
26		ホシサジヨコバイ				1					
27		マエジロオオヨコバイ		1							
28		オビヒメヨコバイ									
29		カンキツヒメヨコバイ	4								
30		ベニヒメヨコバイ									
31		ヒトツメヒメヨコバイ									
32		シロヒメヨコバイ									
33		ホシヒメヨコバイ									
34		マダラヒメヨコバイ									
35		イナズマヒメヨコバイ	1								
36		アライヒシモンヨコバイ									
37		ヒメフタテンヨコバイ	1								
38		トバヨコバイ	3								
39		イナズマヨコバイ									
40		ヒトツメヨコバイ				2					
41		クロミャクイチモンジヨコバイ									
42		ツマグロヨコバイ									
43		タケナガヨコバイ				2					
44		リンゴマダラヨコバイ									
45		マダラヨコバイ									
46		シロセスジヨコバイ									
47		シラホシスカシヨコバイ									
48		クズヒメヨコバイ	3								
－		ヨコバイ科の一種				2				2	
49	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ									
50	カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ	2						8		
51	ミズムシ	ハラグロコミズムシ							1		
52		エサキコミズムシ	4								
－		Sigara属の一種	7						11	1	
53		ミゾナシミズムシ									
54		ハイイロチビミズムシ							1		
55	マツモムシ	コマツモムシ									
56	カスミカメムシ	ツシマキノコカスミカメ									
57		ウスバツヤカスミカメ									
58		ナカグロカスミカメ									
59		ブチヒゲクロカスミカメ									
60		アカホシカスミカメ									
61		ムモンミドリカスミカメ									
62		アカスジカスミカメ									
63		イネホソミドリカスミカメ									
64	マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ									
65	ハナカメムシ	ユミアシハナカメムシ									
66		モリモトヤサハナカメムシ				1					
67		ケシハナカメムシ									
68	サシガメ	クロサシガメ									
69		キイロサシガメ									
70	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシチビナガカメムシ									
71		チャイロナガカメムシ									
72		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ									
73		サビヒョウタンナガカメムシ									
74		キベリヒョウタンナガカメムシ									
75		ヒラタヒョウタンナガカメムシ									
76	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ									
77	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ									
78	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ									
79	ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	1			1					
80		ツチカメムシ	1						1		
81		フタボシツチカメムシ									
82	カメムシ	チャバネアオカメムシ									
83		ツヤアオカメムシ									
84		イチモンジカメムシ									

表 2.8.1-34(2)　ライトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
85	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ									
86		シロコナカゲロウ									
87	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ									
88	ヒメカゲロウ	チャバネヒメカゲロウ									
89	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ									
90	ハンミョウ	エリザハンミョウ	1								
91	オサムシ	ヒメヒョウタンゴミムシ	1								
92		Dyschirius属の一種							1		
93		ヨツボシミズギワゴミムシ									
94		アトモンミズギワゴミムシ		1							
95		ツマキミズギワゴミムシ									
96		Paratachys属の一種							1		
97		ヒラタコミズギワゴミムシ									
98		クリイロコミズギワゴミムシ									
99		ヨツモンコミズギワゴミムシ	6						7		
100		セスジヒラタゴミムシ									
101		タンゴヒラタゴミムシ	1								
102		ヒメセボシヒラタゴミムシ									
103		アシミゾヒメヒラタゴミムシ									
104		クロモリヒラタゴミムシ				2					
105		オオアオモリヒラタゴミムシ									
106		ハラアカモリヒラタゴミムシ									
107		クビアカモリヒラタゴミムシ									
108		ルリヒラタゴミムシ									
109		オオヒラタゴミムシ		1							
110		ヒメツヤマルガタゴミムシ									
111		ゴミムシ									
112		トゲアシゴモクムシ				1					
113		オオズケゴモクムシ									
114		ケウスゴモクムシ				5			1		
115		ヒメケゴモクムシ									
116		ニセクロゴモクムシ									
117		ウスアカクロゴモクムシ									
118		コゴモクムシ									
－		Harpalus属の一種									
119		カラカネゴモクムシ									
120		Trichotichnus属の一種									
121		キイロチビゴモクムシ									
122		キベリゴモクムシ									
123		ミドリマメゴモクムシ									
124		ムネアカマメゴモクムシ	3								
125		イツホシマメゴモクムシ							1		
－		Stenolophus属の一種									
126		ヨツモンカタキバゴミムシ	1								
127		ムナビロアトボシアオゴミムシ									
128		クロツブゴミムシ									
129		トゲアトキリゴミムシ									
130		コキノコゴミムシ									
131		ヤセアトキリゴミムシ									
132		イクビホソアトキリゴミムシ									
133		ホシハネビロアトキリゴミムシ									
134		コルリアトキリゴミムシ	1								
135		メダカアトキリゴミムシ									
136		アオヘリホソゴミムシ									
137	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ									
138	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	1							2	
139		マルケシゲンゴロウ									
140		ホソセスジゲンゴロウ	1						1		
－		Copelatus属の一種		1							
141		ヒメゲンゴロウ	1								
142		コシマゲンゴロウ	10						2	2	
143	ガムシ	キバネケシガムシ									
－		Cercyon属の一種									
144		セマルガムシ									
145		セマルケシガムシ									
146		キイロヒラタガムシ							2		
147		コガムシ	1						2		
148		ヒメガムシ	2							1	
149		トゲバゴマフガムシ	4						5		
150		ゴマフガムシ	6						3		
151	シデムシ	クロシデムシ				1					
152		ヨツボシモンシデムシ					1	2			
153		オオモモブトシデムシ									
154	ハネカクシ	Aleochara属の一種									
155		Astenus属の一種									
156		Bledius属の一種							1		
157		アカバナガハネカクシ	1								
158		Ochthephilum属の一種	8								
159		アオバアリガタハネカクシ	1							2	
－		ハネカクシ科の一種	20	30	4	3			10	40	
160	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種	1			20					
161	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ	1								
162	マルハナノミ	Cyphon属の一種	7	3	1					3	5
163		トビイロマルハナノミ	2							1	
164		ヒメマルハナノミ									
165	クワガタムシ	コクワガタ									
166		ノコギリクワガタ				1					

表 2.8.1-34(3)　ライトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
167	コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ									
168	コガネムシ	セマルケシマグソコガネ									
169		コフキコガネ									
170		アカビロウドコガネ									
171		カミヤビロウドコガネ									
172		ハラゲビロウドコガネ									
173		Serica属の一種									
174		コイチャコガネ				1					
175		アオドウガネ	1			10			1		
176		ドウガネブイブイ									
177		ヒメコガネ									
178		カブトムシ				1					
179		コカブトムシ									
180	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	5	1					2	1	1
181	コメツキムシ	ヒゲコメツキ									
182		マダラチビコメツキ	1			1					
183		サビキコリ	1			1					
184		ムナビロサビキコリ					1				
185		オオクシヒゲコメツキ									
186		オオツヤハダコメツキ				1					
187		チャイロムナボソコメツキ	1						1		
188		クリイロアシブトコメツキ									
189		オオナガコメツキ				6					
190		チャイロコメツキ	1			3					
191		ヒゲナガコメツキ									
192		クチブトコメツキ	1								
193		ヒラタクロクシコメツキ					1				
194		ヒメクシコメツキ				1					
195		クシコメツキ									
196		ルイスクシコメツキ									
197	ベニボタル	クロハナボタル									
198	ジョウカイボン	ウスチャジョウカイ									
199		ニセヒメジョウカイ						2			1
200		オカベセボシジョウカイ									
201		Podabrus属の一種									1
202		ヒガシマルムネジョウカイ									
203		クロツマキジョウカイ									
204	シバンムシ	シバンムシ科の一種									
205	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト									
206	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ									
207	ケシキスイ	クリイロデオキスイ				1					
208		カタベニデオキスイ	1						2		
209		コヨツボシケシキスイ									
210		ヨツボシケシキスイ									
－		ケシキスイ科の一種									
211	ネスイムシ	トビイロデオネスイ									
212	ヒラタムシ	セマルチビヒラタムシ									
213	ホソヒラタムシ	ホソヒラタキスイ				2					
－		Silvanoprus属の一種									
214		Psammoecus属の一種									
215	キスイムシ	Atomaria属の一種		1	1					7	
216		マルガタキスイ							4		
217	オオキノコムシ	セモンホソオオキノコ									
218		ヒメオビオオキノコ									
219	テントウムシダマシ	キイロテントウダマシ									
220	テントウムシ	クロヘリヒメテントウ									
221	ヒメマキムシ	ヒメマキムシ科の一種									
222	ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ									
223	コキノコムシ	ヒゲブトコキノコムシ									
224	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ					1				
225		キイロホソナガクチキ				2					
226	ハナノミ	クリイロヒゲハナノミ									
227	アリモドキ	キアシクビボソムシ				21	3				
228	チビキカワムシ	ツヤチビキカワムシ									
229	ハムシダマシ	ナガハムシダマシ						1			
230		ヒゲブトゴミムシダマシ									
231	クチキムシ	クチキムシ					1				
232		ウスイロクチキムシ				1					
233	ゴミムシダマシ	フトナガニジゴミムシダマシ									
234		アオツヤキノコゴミムシダマシ									
235		ベニモンキノコゴミムシダマシ									
236		ルリゴミムシダマシ									
237		コマルキマワリ									
238	カミキリムシ	ノコギリカミキリ									
239	ハムシ	チビカサハラハムシ				1					
240		クロオビカサハラハムシ				1					
241		フタスジヒメハムシ	2								
242		ヒメカミナリハムシ									
243		ダイコンナガスネトビハムシ									
244		Microchaetes属の一種				2					
245	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ									
246	オトシブミ	カシルリオトシブミ									
247	ホソクチゾウムシ	Nanophyes属の一種									
248	ゾウムシ	クロイネゾウモドキ									
249		Bagous属の一種									
250		イネミズゾウムシ									
251		ウキクサミズゾウムシ									

表 2.8.1-34(4)　ライトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
252	ゾウムシ	オオミズゾウムシ									
253		クヌギシギゾウムシ									
254		Rhadinomerus属の一種									
255	キクイムシ	キクイムシ科の一種				1					
256	ハバチ	オスグロハバチ									
257	コマユバチ	コマユバチ科の一種					2				
258	ヒメバチ	Netelia属の一種									
259		Ophion属の一種									
260		マダラオオアメバチ									
－		ヒメバチ科の一種									1
261	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種				1					
262	タマバチ	タマバチ科の一種									
263	アリ	Brachyponera属の一種				1					
264		Crematogaster属の一種	350			28			120		
265		Monomorium属の一種									
266		Camponotus属の一種									
267		Formica属の一種	4			3					
268		トビイロケアリ									
－		Lasius属の一種							10		
269	ガガンボ	Tipula属の一種									1
270		セダカガガンボ									
271		Eriioptera属の一種									
272		Styringomyia属の一種	3								
－		ガガンボ科の一種	1	1	4			1		2	10
273	チョウバエ	チョウバエ科の一種									1
274	ヌカカ	ヌカカ科の一種									
275	ユスリカ	クロバヌマユスリカ									
276		Cricotopus属の一種			5						
277		ヒシモンユスリカ									
－		Chironomus属の一種			2						7
278		Polypedilum属の一種	1		2						
－		ユスリカ科の一種	5	5	60			1		3	30
279	ケバエ	Plecia属の一種		1			2				
280	タマバエ	タマバエ科の一種					1				1
281	キノコバエ	キノコバエ科の一種									
282	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種					8				3
283	ノミバエ	ノミバエ科の一種									1
284	ハナアブ	ナミルリイロハラナガハナアブ									
285	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ									
286	ツヤホソバエ	Sepsis属の一種				1					
287	ミギワバエ	Brachydeutera ibari	5	65					1	120	
288		Setacera breviventris	10								
289	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種					1				1
290	ハナバエ	ハナバエ科の一種									
291	クロバエ	ミヤマキンバエ				1					
292	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種									
293	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ						3			
－		Ecnomus属の一種									
294	シマトビケラ	コガタシマトビケラ		20						6	11
295		ナミコガタシマトビケラ			8			7		1	4
296		ウルマーシマトビケラ		5	2			2		6	6
297	クダトビケラ	ウルマークダトビケラ			11			5			24
－		Psychomyia属の一種		16						10	
298	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種		30	1					5	30
－		ヒメトビケラ科の一種	3								
299	コエグリトビケラ	ヒラタコエグリトビケラ									
300	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ								1	
301	カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ									
302	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ									
303	.	トビケラ目の一種									
304	マガリガ	ホソオビヒゲナガ									1
305	ハマキガ	チャノコカクモンハマキ	1								
306		マツアトキハマキ									
307		クロシオハマキ									1
308		ホソバハイイロハマキ									
309		オオギンスジハマキ									
310		イグサヒメハマキ									
－		Bactra属の一種		1							
311		ヘリオビヒメハマキ									
312		クロサンカクモンヒメハマキ									
313		ツマジロクロヒメハマキ									
314		ヨモギネムシガ	2								
315		グミオオウスツマヒメハマキ									
316		シロモンヒメハマキ									
317		Clethreutes属の一種	5							1	1
－		ハマキガ科の一種	1								
318	ホソハマキガ	アカオビホソハマキ									
319	ヒロズコガ	Monopis属の一種									
320		ウスモンツマオレガ									
－		ヒロズコガ科の一種									
321	ホソガ	Caloptilia属の一種									
322		タデキボシホソガ								1	
－		ホソガ科の一種									
323	コハモグリガ	ミカンコハモグリ								1	
324	アトヒゲコガ	トコロミコガ									
325	スガ	Yponomeuta属の一種									
326	ホソハマキモドキガ	Glyphipterix属の一種									

表 2.8.1-34(5)　ライトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
327	ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ									
328	マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ	2								
329		カノコマルハキバガ									1
－		マルハキバガ科の一種				1					
330	ニセマイコガ	Stathmopoda属の一種									
331	ツツミノガ	Coleophora属の一種									
332	カザリバガ	Anatrachyntis属の一種	1								
333		ウスイロカザリバ	3								
334		カザリバ								2	
335		ベニモントガリホソガ									
336		ギンスジトガリホソガ									
－		Labdia属の一種									
－		カザリバガ科の一種				2					
337		Ascalenia属の一種									
338	ヒゲナガキバガ	オビカクバネヒゲナガキバガ									
339		ゴマフシロハビロキバガ									
340		Lecithocera属の一種				7					
341	キバガ	Autosticha属の一種				2					
342		タテジマキバガ	3								
343		イモキバガ									
344		カバイロキバガ									
345		Dichomeris属の一種								2	
346		Pseudotelphusa属の一種									
347		キバガ科の一種	6								
348	セミヤドリガ	セミヤドリガ									
349	イラガ	テングイラガ									
350		アカイラガ									
351	ツトガ	ヨシツトガ	2								
352		ニカメイガ									
353		シバツトガ								1	
354	メイガ	スジボソヤマメイガ									
355		ヒメトガリノメイガ									
356		アカウスグロノメイガ									
357		モンウスグロノメイガ									
358		シロアヤヒメノメイガ				1					
359		ハイマダラノメイガ									
360		モンキクロノメイガ									
361		シロオビノメイガ									
362		ホシオビホソノメイガ									
363		ワモンノメイガ									
364		クビシロノメイガ					1				
365		コヨツメノメイガ									
366		キムジノメイガ									
367		シロスジエグリノメイガ					1				1
368		ヒメマダラミズメイガ									
369		キオビミズメイガ									
370		キモントガリメイガ	3								
371		キベリトガリメイガ									
372		ウスモンマルバシマメイガ									
373		Acrobasis属の一種									
374		アカマダラメイガ									
375		トビスジマダラメイガ									
376		ヤマトシロアシクロノメイガ									
377		メイガ科の一種	2						1		
378	カギバガ	フタテンシロカギバ									
379	シャクガ	アシブトチズモンアオシャク									
380		ヨスジキヒメシャク									
381		オイワケヒメシャク									
382		ミジンキヒメシャク									
383		フタナミトビヒメシャク									
384		サザナミシロヒメシャク									
385		ナガサキヒメシャク									
386		コベニスジヒメシャク									
387		マエナミカバナミシャク									
388		セスジナミシャク									
389		トビスジヒメナミシャク									
390		クロクモエダシャク									
391		ウチムラサキヒメエダシャク									
392		ニセオレクギエダシャク									
393		モンシロツマキリエダシャク									
394		ミスジツマキリエダシャク									
395	ツバメガ	ギンツバメ									
396	ヤママユガ	クスサン									
397	シャチホコガ	オオエグリシャチホコ									
398	ドクガ	アカヒゲドクガ									
399	ヒトリガ	スカシコケガ				2					
400		アカスジシロコケガ				1					
401		キマエホソバ				1					
402		Eilema属の一種									
403		クロテンハイイロコケガ									
404		スジベニコケガ									
405		チャオビチビコケガ									
406		シロオビクロコケガ									
407		ウスグロコケガ									
408		スジモンヒトリ									
409		アカハラゴマダラヒトリ									
410	コブガ	シタジロコブガ									
411		クロスジシロコブガ									

表 2.8.1-34(6)　ライトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
412	ヤガ	イチモジキノコヨトウ									
413		カブラヤガ									
414		オオバコヤガ									
415		マエキヤガ									
416		アトジロキヨトウ								1	
417		ノヒラキヨトウ	1								
418		テンウスイロヨトウ									
419		クシヒゲウスキヨトウ									
420		フタテンヒメヨトウ									
421		テンオビヨトウ			2						
422		セアカヨトウ									
423		マエホシヨトウ									
424		イネヨトウ									
425		スジキリヨトウ	1								
426		ハスモンヨトウ									
427		Araeoptеron属の一種				2					
428		ハイイロコヤガ									
429		ヒメネジロコヤガ									
430		フタホシコヤガ									
431		フタオビコヤガ	6						3		
432		シロマダラコヤガ									
433		ネモンシロフコヤガ				1					
434		ニセシロフコヤガ									
435		Sugi a属の一種									1
436		ナカジロシタバ									
437		ホソバカバアツバ									
438		クロテンカバアツバ								2	
439		アカテンクチバ									
440		ミジンアツバ									
441		トビフタスジアツバ									
442		チビアツバ									
443		スジモンアツバ	1								
444		ウスオビチビアツバ					1				
445		キボシアツバ									
446		クリイロアツバ									
447		クロスジヒメアツバ									
448		ハスオビヒメアツバ									
449		Schranki a属の一種									
450		ウスキミスジアツバ									
451		クロスジアツバ									
452		トビスジアツバ									
453		オオシラナミアツバ									1
454		ヒロオビウスグロアツバ									
455		ソトウスグロアツバ				1					
456		シロホシクロアツバ				2					
457		Si narel l a属の一種									
458		ツマオビアツバ									
459		キイロアツバ				1					
－		ヤガ科の一種				3					
合計	146科	459種	563個体 64種	187個体 19種	104個体 13種	193個体 51種	25個体 14種	25個体 10種	207個体 27種	230個体 29種	146個体 24種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-35(1)　ライトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	コカゲロウ	ウデマガリコカゲロウ									
2	トンボ	ナツアカネ									
3	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ									
4	コオロギ	タンボコオロギ	4			4					
5	ヒバリモドキ	シバスズ									
6	ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ				6					
7	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ	11	1		6	17				
8	ケチャタテ	Valenzuela属の一種									
9	チャタテ	チャタテ科の一種									
10	ウンカ	ハリマナガウンカ									
11		エゾナガウンカ									
12		タケウンカ	2						2		
13		クロスジオオウンカ									
14		ヒメトビウンカ	1								
15		トビイロウンカ									
16		ゴマフウンカ					1				
17		セジロウンカ					1				
18		セジロウンカモドキ					1				
－		ウンカ科の一種					1			1	
19	シマウンカ	シマウンカ	1								
20	ハネナガウンカ	アカメガシワハネビロウンカ									
21	アオバハゴロモ	キノカワハゴロモ									
22	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ									
23		アミガサハゴロモ								1	
24	セミ	ヒグラシ									
25	ヨコバイ	ゴマフハトムネヨコバイ									
26		ホシサジヨコバイ									
27		マエジロオオヨコバイ									
28		オビヒメヨコバイ									
29		カンキツヒメヨコバイ	12								
30		ベニヒメヨコバイ									
31		ヒトツメヒメヨコバイ									
32		シロヒメヨコバイ	1								
33		ホシヒメヨコバイ	15								
34		マダラヒメヨコバイ									
35		イナズマヒメヨコバイ									
36		アライヒシモンヨコバイ					1				
37		ヒメフタテンヨコバイ	7								
38		トバヨコバイ	1				2				
39		イナズマヨコバイ	2								
40		ヒトツメヨコバイ							2	2	
41		クロミャクイチモンジヨコバイ									
42		ツマグロヨコバイ									
43		タケナガヨコバイ									
44		リンゴマダラヨコバイ									
45		マダラヨコバイ									
46		シロセスジヨコバイ					2				
47		シラホシスカシヨコバイ								4	
48		クズヒメヨコバイ									
－		ヨコバイ科の一種	10				1		2	1	
49	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	2				1				
50	カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ	18								
51	ミズムシ	ハラグロコミズムシ	2								
52		エサキコミズムシ	13						1		
－		Sigara属の一種	25						2		
53		ミゾナシミズムシ									
54		ハイイロチビミズムシ									
55	マツモムシ	コマツモムシ					1				
56	カスミカメムシ	ツシマキノコカスミカメ							1		
57		ウスバツヤカスミカメ									
58		ナカグロカスミカメ									
59		ブチヒゲクロカスミカメ					1				
60		アカホシカスミカメ									
61		ムモンミドリカスミカメ									
62		アカスジカスミカメ									
63		イネホソミドリカスミカメ					1				
64	マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ									
65	ハナカメムシ	ユミアシハナカメムシ									
66		モリモトヤサハナカメムシ									
67		ケシハナカメムシ	1						1		
68	サシガメ	クロサシガメ					2				
69		キイロサシガメ					1				
70	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシチビナガカメムシ									
71		チャイロナガカメムシ								1	
72		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ					1				
73		サビヒョウタンナガカメムシ	1								
74		キベリヒョウタンナガカメムシ							1		
75		ヒラタヒョウタンナガカメムシ									
76	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	1								
77	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ					1				
78	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ					4				
79	ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	2						2		
80		ツチカメムシ									
81		フタボシツチカメムシ									
82	カメムシ	チャバネアオカメムシ					1		3		
83		ツヤアオカメムシ								1	
84		イチモンジカメムシ									

表 2.8.1-35(2)　ライトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
85	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ				1					
86		シロコナカゲロウ									
87	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ							1		
88	ヒメカゲロウ	チャバネヒメカゲロウ									
89	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ							1		
90	ハンミョウ	エリザハンミョウ									
91	オサムシ	ヒメヒョウタンゴミムシ									
92		Dyschirius属の一種	1			1					
93		ヨツボシミズギワゴミムシ	1			1					
94		アトモンミズギワゴミムシ	3			8					
95		ツマキミズギワゴミムシ			2			1			
96		Paratachys属の一種	3			5					
97		ヒラタコミズギワゴミムシ	1								
98		クリイロコミズギワゴミムシ	3			1	1				
99		ヨツモンコミズギワゴミムシ	5			2					
100		セスジヒラタゴミムシ	1			1					
101		タンゴヒラタゴミムシ									
102		ヒメセボシヒラタゴミムシ									
103		アシミゾヒメヒラタゴミムシ									
104		クロモリヒラタゴミムシ									
105		オオアオモリヒラタゴミムシ						1			
106		ハラアカモリヒラタゴミムシ	1						2		
107		クビアカモリヒラタゴミムシ									
108		ルリヒラタゴミムシ									
109		オオヒラタゴミムシ									
110		ヒメツヤマルガタゴミムシ					6				
111		ゴミムシ									
112		トゲアシゴモクムシ									
113		オオズケゴモクムシ				1					
114		ケウスゴモクムシ							1		
115		ヒメケゴモクムシ								1	
116		ニセクロゴモクムシ									
117		ウスアカクロゴモクムシ					1			1	
118		コゴモクムシ	2								
－		Harpalus属の一種					1				
119		カラカネゴモクムシ					1				
120		Trichotichnus属の一種								1	
121		キイロチビゴモクムシ	2			1					
122		キベリゴモクムシ	2		1	4	3				
123		ミドリマメゴモクムシ				4					
124		ムネアカマメゴモクムシ									
125		イツホシマメゴモクムシ	2								
－		Stenolophus属の一種	5								
126		ヨツモンカタキバゴミムシ	1			2					
127		ムナビロアトボシアオゴミムシ									
128		クロツブゴミムシ								1	
129		トゲアトキリゴミムシ									
130		コキノコゴミムシ									
131		ヤセアトキリゴミムシ								1	
132		イクビホソアトキリゴミムシ									
133		ホシハネビロアトキリゴミムシ									
134		コルリアトキリゴミムシ	2			1					
135		メダカアトキリゴミムシ							1		
136		アオヘリホソゴミムシ	2								
137	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	4								
138	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	5			2					
139		マルケシゲンゴロウ					2				
140		ホソセスジゲンゴロウ					1			1	
－		Copelatus属の一種									
141		ヒメゲンゴロウ	5			1	8	1			
142		コシマゲンゴロウ	9	1		2					
143	ガムシ	キバネケシガムシ					1				
－		Cercyon属の一種		1		2	15			1	
144		セマルガムシ	1								
145		セマルケシガムシ					10	1			
146		キイロヒラタガムシ	10			3	1				
147		コガムシ	7			3	1				
148		ヒメガムシ	22			5	1				
149		トゲバゴマフガムシ	11	5	3	10	12			1	
150		ゴマフガムシ	7		25	10	2	8	1		
151	シデムシ	クロシデムシ									
152		ヨツボシモンシデムシ					2			1	1
153		オオモモブトシデムシ									
154	ハネカクシ	Aleochara属の一種									
155		Astenus属の一種	1								
156		Bledius属の一種									
157		アカバナガハネカクシ									
158		Ochthephilum属の一種	3			2					
159		アオバアリガタハネカクシ	3				2				
－		ハネカクシ科の一種	20	40	15	20	50		1		1
160	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種									
161	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ									
162	マルハナノミ	Cyphon属の一種	2								
163		トビイロマルハナノミ				1					
164		ヒメマルハナノミ				3	1				
165	クワガタムシ	コクワガタ									
166		ノコギリクワガタ									

表 2.8.1-35(3)　ライトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
167	コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ									
168	コガネムシ	セマルケシマグソコガネ					4				
169		コフキコガネ							1		
170		アカビロウドコガネ	1			2					
171		カミヤビロウドコガネ									
172		ハラゲビロウドコガネ									
173		Serica属の一種									
174		コイチャコガネ	2		1						
175		アオドウガネ	2						1		
176		ドウガネブイブイ	1			1					
177		ヒメコガネ	2			3					
178		カブトムシ							1		
179		コカブトムシ							1		
180	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	8			10					
181	コメツキムシ	ヒゲコメツキ									
182		マダラチビコメツキ	4			1					
183		サビキコリ							3	1	
184		ムナビロサビキコリ									
185		オオクシヒゲコメツキ							1		
186		オオツヤハダコメツキ							1		
187		チャイロムナボソコメツキ	1								
188		クリイロアシブトコメツキ							1		
189		オオナガコメツキ							3		
190		チャイロコメツキ							1		
191		ヒゲナガコメツキ									
192		クチブトコメツキ									
193		ヒラタクロクシコメツキ									
194		ヒメクシコメツキ									
195		クシコメツキ									
196		ルイスクシコメツキ							1		
197	ベニボタル	クロハナボタル							2		
198	ジョウカイボン	ウスチャジョウカイ									
199		ニセヒメジョウカイ									
200		オカベセボシジョウカイ									
201		Podabrus属の一種									
202		ヒガシマルムネジョウカイ									
203		クロツマキジョウカイ									
204	シバンムシ	シバンムシ科の一種							1		
205	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト									
206	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ									
207	ケシキスイ	クリイロデオキスイ			1	1					1
208		カタベニデオキスイ	1				1				
209		コヨツボシケシキスイ									
210		ヨツボシケシキスイ									
－		ケシキスイ科の一種									
211	ネスイムシ	トビイロデオネスイ									
212	ヒラタムシ	セマルチビヒラタムシ								3	
213	ホソヒラタムシ	ホソヒラタキスイ									
－		Silvanoprus属の一種									
214		Psammoecus属の一種									
215	キスイムシ	Atomaria属の一種	3								
216		マルガタキスイ									
217	オオキノコムシ	セモンホソオオキノコ							1		
218		ヒメオビオオキノコ									
219	テントウムシダマシ	キイロテントウダマシ							2		
220	テントウムシ	クロヘリヒメテントウ	2								
221	ヒメマキムシ	ヒメマキムシ科の一種									
222	ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ									
223	コキノコムシ	ヒゲブトコキノコムシ									
224	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ									
225		キイロホソナガクチキ									
226	ハナノミ	クリイロヒゲハナノミ									
227	アリモドキ	キアシクビボソムシ									
228	チビキカワムシ	ツヤチビキカワムシ									
229	ハムシダマシ	ナガハムシダマシ									
230		ヒゲブトゴミムシダマシ								2	
231	クチキムシ	クチキムシ								6	
232		ウスイロクチキムシ									
233	ゴミムシダマシ	フトナガニジゴミムシダマシ									
234		アオツヤキノコゴミムシダマシ							1		
235		ベニモンキノコゴミムシダマシ							2		
236		ルリゴミムシダマシ							1		
237		コマルキマワリ							1		
238	カミキリムシ	ノコギリカミキリ									
239	ハムシ	チビカサハラハムシ									
240		クロオビカサハラハムシ							3		
241		フタスジヒメハムシ									
242		ヒメカミナリハムシ				1					
243		ダイコンナガスネトビハムシ								1	
244		Microchaetes属の一種									
245	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ									
246	オトシブミ	カシルリオトシブミ									
247	ホソクチゾウムシ	Nanophyes属の一種	10								
248	ゾウムシ	クロイネゾウモドキ									
249		Bagous属の一種				2					
250		イネミズゾウムシ			2						
251		ウキクサミズゾウムシ	2								

表 2.8.1-35(4)　ライトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
252	ゾウムシ	オオミズゾウムシ				1					
253		クヌギシギゾウムシ									
254		Rhadinomerus属の一種								1	
255	キクイムシ	キクイムシ科の一種									
256	ハバチ	オスグロハバチ									
257	コマユバチ	コマユバチ科の一種							2		
258	ヒメバチ	Neteliа属の一種									
259		Cobion属の一種									
260		マダラオオアメバチ									
－		ヒメバチ科の一種			1						
261	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種									
262	タマバチ	タマバチ科の一種							1		
263	アリ	Brachyponera属の一種									
264		Crematogaster属の一種									
265		Monomorium属の一種									
266		Camponotus属の一種						1			
267		Formica属の一種	8								3
268		トビイロケアリ									
－		Lasius属の一種	55			11			2		
269	ガガンボ	Tipula属の一種					1				
270		セダカガガンボ									
271		Eriopteraの一種					1				
272		Styringomyia属の一種									
－		ガガンボ科の一種			1		9	50		2	
273	チョウバエ	チョウバエ科の一種									
274	ヌカカ	ヌカカ科の一種						1	1		
275	ユスリカ	クロバヌマユスリカ									
276		Cricotopus属の一種									
277		ヒシモンユスリカ									
－		Chironomus属の一種				1		5			
278		Polypedilum属の一種			3	1					
－		ユスリカ科の一種		2	12	2	7	1		5	
279	ケバエ	Plecia属の一種									
280	タマバエ	タマバエ科の一種									
281	キノコバエ	キノコバエ科の一種									
282	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種							2		
283	ノミバエ	ノミバエ科の一種									
284	ハナアブ	ナミルリイロハラナガハナアブ									
285	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ									
286	ツヤホソバエ	Sepsis属の一種									
287	ミギワバエ	Brachydeutera ibari		5			44				
288		Setacera breviventris									
289	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種		5							
290	ハナバエ	ハナバエ科の一種									
291	クロバエ	ミヤマキンバエ									
292	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種									
293	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ					2				
－		Ecnomus属の一種									
294	シマトビケラ	コガタシマトビケラ						6			
295		ナミコガタシマトビケラ					18	8		2	2
296		ウルマーシマトビケラ					137	10		2	
297	クダトビケラ	ウルマークダトビケラ						2			
－		Psychomyia属の一種					19			6	
298	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種									
－		ヒメトビケラ科の一種									
299	コエグリトビケラ	ヒラタコエグリトビケラ									
300	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ					7	1		1	1
301	カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ									
302	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ									
303	-	トビケラ目の一種									
304	マガリガ	ホソオビヒゲナガ									
305	ハマキガ	チャノコカクモンハマキ					1				
306		マツアトキハマキ									
307		クロシオハマキ									
308		ホソバハイイロハマキ									2
309		オオギンスジハマキ									
310		イグサヒメハマキ			1						
－		Bactra属の一種		1			4		1		
311		ヘリオビヒメハマキ									
312		クロサンカクモンヒメハマキ									
313		ツマジロクロヒメハマキ									
314		ヨモギネムシガ	1			3			1		
315		グミオオウスツマヒメハマキ									
316		シロモンヒメハマキ									
317		Clethreutes属の一種	4	1		5	3				
－		ハマキガ科の一種	4			3				1	
318	ホソハマキガ	アカオビホソハマキ								1	
319	ヒロズコガ	Monopis属の一種									
320		ウスモンツマオレガ							1		
－		ヒロズコガ科の一種								1	
321	ホソガ	Caloptilia属の一種									
322		タデキボシホソガ									
－		ホソガ科の一種									
323	コハモグリガ	ミカンコハモグリ									
324	アトヒゲコガ	トコロミコガ									
325	スガ	Yponomeuta属の一種									
326	ホソハマキモドキガ	Glyphipterix属の一種									

表 2.8.1-35(5)　ライトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
327	ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ	3			2					
328	マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ	1						1		
329		カノコマルハキバガ									
－		マルハキバガ科の一種									
330	ニセマイコガ	Stathmopoda属の一種				1					
331	ツツミノガ	Coleophora属の一種			3						
332	カザリバガ	Anatrachyntis属の一種									
333		ウスイロカザリバ							1		
334		カザリバ								1	
335		ベニモントガリホソガ									
336		ギンスジトガリホソガ									
－		Labdia属の一種								1	
－		カザリバガ科の一種	7			1					
337		Ascalenia属の一種									
338	ヒゲナガキバガ	オビカクバネヒゲナガキバガ							3		
339		ゴマフシロハビロキバガ									
340		Lecithocera属の一種									
341	キバガ	Autosticha属の一種									
342		タテジマキバガ									
343		イモキバガ				2					
344		カバイロキバガ							1		
345		Dichomeris属の一種					2			1	
346		Pseudotelphusa属の一種									
347		キバガ科の一種				2				1	
348	セミヤドリガ	セミヤドリガ									
349	イラガ	テングイラガ									
350		アカイラガ									
351	ツトガ	ヨシツトガ									
352		ニカメイガ				1					
353		シバツトガ									
354	メイガ	スジボソヤマメイガ									
355		ヒメトガリノメイガ									
356		アカウスグロノメイガ									
357		モンウスグロノメイガ							1		
358		シロアヤヒメノメイガ									
359		ハイマダラノメイガ									
360		モンキクロノメイガ									
361		シロオビノメイガ				1	2				
362		ホシオビホソノメイガ									
363		ワモンノメイガ	1								
364		クビシロノメイガ									
365		コヨツメノメイガ									
366		キムジノメイガ							1		
367		シロスジエグリノメイガ									
368		ヒメマダラミズメイガ					1			1	
369		キオビミズメイガ									
370		キモントガリメイガ									
371		キベリトガリメイガ									
372		ウスモンマルバシマメイガ									
373		Acrobasis属の一種									
374		アカマダラメイガ							1		
375		トビスジマダラメイガ									
376		ヤマトシロアシクロノメイガ									
377		メイガ科の一種								1	
378	カギバガ	フタテンシロカギバ									
379	シャクガ	アシブトチズモンアオシャク									
380		ヨスジキヒメシャク									
381		オイワケヒメシャク	1								
382		ミジンキヒメシャク									
383		フタナミトビヒメシャク									
384		サザナミシロヒメシャク									
385		ナガサキヒメシャク									
386		コベニスジヒメシャク									
387		マエナミカバナミシャク									
388		セスジナミシャク									
389		トビスジヒメナミシャク									
390		クロクモエダシャク									
391		ウチムラサキヒメエダシャク									
392		ニセオレクギエダシャク									
393		モンシロツマキリエダシャク									
394		ミスジツマキリエダシャク									
395	ツバメガ	ギンツバメ									
396	ヤママユガ	クスサン									
397	シャチホコガ	オオエグリシャチホコ									
398	ドクガ	アカヒゲドクガ									
399	ヒトリガ	スカシコケガ									
400		アカスジシロコケガ									
401		キマエホソバ									
402		Eilema属の一種									
403		クロテンハイイロコケガ							1		
404		スジベニコケガ									
405		チャオビチビコケガ							1		
406		シロオビクロコケガ							1		
407		ウスグロコケガ									
408		スジモンヒトリ									
409		アカハラゴマダラヒトリ									
410	コブガ	シタジロコブガ									
411		クロスジシロコブガ	4			2					

表 2.8.1-35(6)　ライトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
412	ヤガ	イチモジキノコヨトウ									
413		カブラヤガ									
414		オオバコヤガ									
415		マエキヤガ									
416		アトジロキヨトウ									
417		ノヒラキヨトウ									
418		テンウスイロヨトウ									
419		クシヒゲウスキヨトウ									
420		フタテンヒメヨトウ									
421		テンオビヨトウ									
422		セアカヨトウ									
423		マエホシヨトウ								1	
424		イネヨトウ									
425		スジキリヨトウ									
426		ハスモンヨトウ									
427		Araeopteron属の一種									
428		ハイイロコヤガ	1						1		
429		ヒメネジロコヤガ									
430		フタホシコヤガ									
431		フタオビコヤガ	3								
432		シロマダラコヤガ									
433		ネモンシロフコヤガ									
434		ニセシロフコヤガ									
435		Sugia属の一種									
436		ナカジロシタバ							1		
437		ホソバカバアツバ								1	
438		クロテンカバアツバ									
439		アカテンクチバ									
440		ミジンアツバ									
441		トビフタスジアツバ									
442		チビアツバ									
443		スジモンアツバ									
444		ウスオビチビアツバ									
445		キボシアツバ									
446		クリイロアツバ									
447		クロスジヒメアツバ									
448		ハスオビヒメアツバ									
449		Schrankia属の一種									
450		ウスキミスジアツバ									
451		クロスジアツバ									
452		トビスジアツバ									
453		オオシラナミアツバ				1				1	
454		ヒロオビウスグロアツバ									
455		ソトウスグロアツバ									
456		シロホシクロアツバ									
457		Sinarella属の一種	1								
458		ツマオビアツバ									
459		キイロアツバ									
－		ヤガ科の一種									
合計	146科	459種	412個体 75種	62個体 10種	71個体 13種	174個体 51種	426個体 52種	97個体 14種	79個体 55種	64個体 37種	11個体 7種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-36(1)　ライトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	コカゲロウ	ウデマガリコカゲロウ									
2	トンボ	ナツアカネ									
3	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ									1
4	コオロギ	タンボコオロギ	8								
5	ヒバリモドキ	シバスズ									
6	ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ	10								
7	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ	19	5							
8	ケチャタテ	Valenzuela属の一種									
9	チャタテ	チャタテ科の一種		1							
10	ウンカ	ハリマナガウンカ	7								
11		エゾナガウンカ									
12		タケウンカ	14								
13		クロスジオオウンカ	1								
14		ヒメトビウンカ									
15		トビイロウンカ									
16		ゴマフウンカ	1								
17		セジロウンカ									
18		セジロウンカモドキ									
－		ウンカ科の一種									
19	シマウンカ	シマウンカ	6								
20	ハネナガウンカ	アカメガシワハネビロウンカ									
21	アオバハゴロモ	キノカワハゴロモ									
22	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ									
23		アミガサハゴロモ									
24	セミ	ヒグラシ									
25	ヨコバイ	ゴマフハトムネヨコバイ									
26		ホシサジヨコバイ									
27		マエジロオオヨコバイ									
28		オビヒメヨコバイ									
29		カンキツヒメヨコバイ	15								
30		ベニヒメヨコバイ									
31		ヒトツメヒメヨコバイ								1	
32		シロヒメヨコバイ									
33		ホシヒメヨコバイ	6						3		
34		マダラヒメヨコバイ									
35		イナズマヒメヨコバイ									
36		アライヒシモンヨコバイ									
37		ヒメフタテンヨコバイ	6								
38		トバヨコバイ	17								
39		イナズマヨコバイ									
40		ヒトツメヨコバイ							1		
41		クロミャクイチモンジヨコバイ									
42		ツマグロヨコバイ	1								
43		タケナガヨコバイ									
44		リンゴマダラヨコバイ	1								
45		マダラヨコバイ	4								
46		シロセスジヨコバイ									
47		シラホシスカシヨコバイ							1		
48		クズヒメヨコバイ									
－		ヨコバイ科の一種	4								
49	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ									
50	カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ	84								
51	ミズムシ	ハラグロコミズムシ	4								
52		エサキコミズムシ	8								
－		Sigara属の一種	12								
53		ミゾナシミズムシ									
54		ハイイロチビミズムシ									
55	マツモムシ	コマツモムシ									
56	カスミカメムシ	ツシマキノコカスミカメ									
57		ウスバツヤカスミカメ									
58		ナカグロカスミカメ									
59		ブチヒゲクロカスミカメ									
60		アカホシカスミカメ									
61		ムモンミドリカスミカメ									
62		アカスジカスミカメ									
63		イネホソミドリカスミカメ	1								
64	マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ	1								
65	ハナカメムシ	ユミアシハナカメムシ	1								
66		モリモトヤサハナカメムシ	1								
67		ケシハナカメムシ									
68	サシガメ	クロサシガメ									
69		キイロサシガメ									
70	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシチビナガカメムシ	1								
71		チャイロナガカメムシ									
72		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ									
73		サビヒョウタンナガカメムシ	1								
74		キベリヒョウタンナガカメムシ									
75		ヒラタヒョウタンナガカメムシ									
76	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ									
77	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	1								
78	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ									
79	ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	17								
80		ツチカメムシ									
81		フタボシツチカメムシ	1								
82	カメムシ	チャバネアオカメムシ									
83		ツヤアオカメムシ	1								
84		イチモンジカメムシ									

表 2.8.1-36(2)　ライトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
85	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ									
86		シロコナカゲロウ					1				
87	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ									
88	ヒメカゲロウ	チャバネヒメカゲロウ	1								
89	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ									
90	ハンミョウ	エリザハンミョウ									
91	オサムシ	ヒメヒョウタンゴミムシ									
92		Dyschirius属の一種	6								
93		ヨツボシミズギワゴミムシ									
94		アトモンミズギワゴミムシ	5								
95		ツマキミズギワゴミムシ						1			
96		Paratachys属の一種	5								
97		ヒラタコミズギワゴミムシ									
98		クリイロコミズギワゴミムシ	4								
99		ヨツモンコミズギワゴミムシ	6								
100		セスジヒラタゴミムシ									
101		タンゴヒラタゴミムシ									
102		ヒメセボシヒラタゴミムシ	1								
103		アシミゾヒメヒラタゴミムシ	3								
104		クロモリヒラタゴミムシ									
105		オオアオモリヒラタゴミムシ						1			
106		ハラアカモリヒラタゴミムシ	1								
107		クビアカモリヒラタゴミムシ									
108		ルリヒラタゴミムシ									
109		オオヒラタゴミムシ								2	1
110		ヒメツヤマルガタゴミムシ									
111		ゴミムシ									
112		トゲアシゴモクムシ									
113		オオズケゴモクムシ									
114		ケウスゴモクムシ	1								
115		ヒメケゴモクムシ									
116		ニセクロゴモクムシ									
117		ウスアカクロゴモクムシ	2								
118		コゴモクムシ									
－		Harpalus属の一種									
119		カラカネゴモクムシ									
120		Trichotichnus属の一種									
121		キイロチビゴモクムシ									2
122		キベリゴモクムシ	1								1
123		ミドリマメゴモクムシ									
124		ムネアカマメゴモクムシ									
125		イツホシマメゴモクムシ									
－		Stenolophus属の一種	2								
126		ヨツモンカタキバゴミムシ	4								
127		ムナビロアトボシアオゴミムシ									
128		クロツブゴミムシ					1				
129		トゲアトキリゴミムシ									
130		コキノコゴミムシ									
131		ヤセアトキリゴミムシ									
132		イクビホソアトキリゴミムシ									1
133		ホシハネビロアトキリゴミムシ									
134		コルリアトキリゴミムシ	1								
135		メダカアトキリゴミムシ	1								
136		アオヘリホソゴミムシ									
137	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	6								
138	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	10								
139		マルケシゲンゴロウ									
140		ホソセスジゲンゴロウ									
－		Copelatus属の一種									
141		ヒメゲンゴロウ		1							
142		コシマゲンゴロウ	2								
143	ガムシ	キバネケシガムシ									
－		Cercyon属の一種		4							
144		セマルガムシ	3								
145		セマルケシガムシ	8								
146		キイロヒラタガムシ	8	1							
147		コガムシ	3								
148		ヒメガムシ	3								
149		トゲバゴマフガムシ	16	3	3		1				
150		ゴマフガムシ	10		3						
151	シデムシ	クロシデムシ									
152		ヨツボシモンシデムシ					3	3		1	8
153		オオモモブトシデムシ						1			
154	ハネカクシ	Aleochara属の一種									
155		Astenus属の一種									
156		Bledius属の一種									
157		アカバナガハネカクシ									
158		Ochthephilum属の一種	3								
159		アオバアリガタハネカクシ	4								
－		ハネカクシ科の一種	20	30	5						1
160	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種									
161	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ									
162	マルハナノミ	Cyphon属の一種									3
163		トビイロマルハナノミ									
164		ヒメマルハナノミ	2								
165	クワガタムシ	コクワガタ									
166		ノコギリクワガタ				1					

表 2.8.1-36(3)　ライトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
167	コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ						1			
168	コガネムシ	セマルケシマグソコガネ	1	1							
169		コフキコガネ							1		
170		アカビロウドコガネ									
171		カミヤビロウドコガネ									
172		ハラゲビロウドコガネ									
173		Serica ni a属の一種									2
174		コイチャコガネ									
175		アオドウガネ									
176		ドウガネブイブイ									
177		ヒメコガネ	5								
178		カブトムシ									
179		コカブトムシ									
180	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	15							1	1
181	コメツキムシ	ヒゲコメツキ									4
182		マダラチビコメツキ	4								
183		サビキコリ	1			1	1				
184		ムナビロサビキコリ									
185		オオクシヒゲコメツキ									
186		オオツヤハダコメツキ									
187		チャイロムナボソコメツキ									
188		クリイロアシブトコメツキ									
189		オオナガコメツキ				1			4		
190		チャイロコメツキ							2		
191		ヒゲナガコメツキ						1			
192		クチブトコメツキ									
193		ヒラタクロクシコメツキ									
194		ヒメクシコメツキ									
195		クシコメツキ									
196		ルイスクシコメツキ									
197	ベニボタル	クロハナボタル									
198	ジョウカイボン	ウスチャジョウカイ						1			
199		ニセヒメジョウカイ						4			
200		オカベセボシジョウカイ									1
201		Podabrus属の一種						2			1
202		ヒガシマルムネジョウカイ									1
203		クロツマキジョウカイ									1
204	シバンムシ	シバンムシ科の一種									
205	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト						1			
206	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ									1
207	ケシキスイ	クリイロデオキスイ									
208		カタベニデオキスイ		1							
209		コヨツボシケシキスイ									
210		ヨツボシケシキスイ									1
－		ケシキスイ科の一種									
211	ネスイムシ	トビイロデオネスイ	1								
212	ヒラタムシ	セマルチビヒラタムシ									
213	ホソヒラタムシ	ホソヒラタキスイ									
－		Silvanoprus属の一種									4
214		Psammoecus属の一種									2
215	キスイムシ	Atomaria属の一種	5	2							
216		マルガタキスイ	7								
217	オオキノコムシ	セモンホソオオキノコ									
218		ヒメオビオオキノコ									1
219	テントウムシダマシ	キイロテントウダマシ									
220	テントウムシ	クロヘリヒメテントウ	2								
221	ヒメマキムシ	ヒメマキムシ科の一種									
222	ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ									1
223	コキノコムシ	ヒゲブトコキノコムシ									
224	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ								1	
225		キイロホソナガクチキ									
226	ハナノミ	クリイロヒゲハナノミ									
227	アリモドキ	キアシクビボソムシ									
228	チビキカワムシ	ツヤチビキカワムシ									2
229	ハムシダマシ	ナガハムシダマシ						2			
230		ヒゲブトゴミムシダマシ						1			6
231	クチキムシ	クチキムシ									1
232		ウスイロクチキムシ									
233	ゴミムシダマシ	フトナガニジゴミムシダマシ									1
234		アオツヤキノコゴミムシダマシ									
235		ベニモンキノコゴミムシダマシ									
236		ルリゴミムシダマシ									
237		コマルキマワリ									
238	カミキリムシ	ノコギリカミキリ									
239	ハムシ	チビカサハラハムシ									
240		クロオビカサハラハムシ									
241		フタスジヒメハムシ									
242		ヒメカミナリハムシ									
243		ダイコンナガスネトビハムシ									
244		Microchaetes属の一種									
245	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ									
246	オトシブミ	カシルリオトシブミ						2			
247	ホソクチゾウムシ	Nanophyes属の一種	7								
248	ゾウムシ	クロイネゾウモドキ	1								
249		Bagous属の一種									
250		イネミズゾウムシ									
251		ウキクサミズゾウムシ									

表 2.8.1-36(4)　ライトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
252		オオミズゾウムシ	5								
253		クヌギシギゾウムシ									
254		Rhadinomerus属の一種									
255	キクイムシ	キクイムシ科の一種	1								5
256	ハバチ	オスグロハバチ									
257	コマユバチ	コマユバチ科の一種									
258	ヒメバチ	Neteliа属の一種									
259		Cobion属の一種									1
260		マダラオオアメバチ								1	
－		ヒメバチ科の一種								1	
261	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種									
262	タマバチ	タマバチ科の一種									
263	アリ	Brachyponera属の一種									
264		Crematogaster属の一種							1		
265		Monomorium属の一種				3					
266		Camponotus属の一種									4
267		Formica属の一種	3					2			
268		トビイロケアリ			1						
－		Lasius属の一種	15								
269	ガガンボ	Tipula属の一種									
270		セダカガガンボ									
271		Eriоptera属の一種									
272		Styringomyia属の一種									
－		ガガンボ科の一種		1	1						14
273	チョウバエ	チョウバエ科の一種						1			
274	ヌカカ	ヌカカ科の一種									
275	ユスリカ	クロバヌマユスリカ									
276		Cricotopus属の一種									
277		ヒシモンユスリカ						1			
－		Chironomus属の一種									
278		Polypedilum属の一種									
－		ユスリカ科の一種	3		14		4	30			5
279	ケバエ	Plecia属の一種									
280	タマバエ	タマバエ科の一種									
281	キノコバエ	キノコバエ科の一種						1			
282	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種					1				
283	ノミバエ	ノミバエ科の一種									
284	ハナアブ	ナミルリイロハラナガハナアブ							1		
285	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ									
286	ツヤホソバエ	Sepsis属の一種									
287	ミギワバエ	Brachydeutera ibari		23							
288		Setacera breviventris									
289	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種									
290	ハナバエ	ハナバエ科の一種									3
291	クロバエ	ミヤマキンバエ									
292	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種							1		
293	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ									
－		Ecnomus属の一種									
294	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	12	4	5			15			3
295		ナミコガタシマトビケラ	17		3			15			77
296		ウルマーシマトビケラ	132	13	6						22
297	クダトビケラ	ウルマークダトビケラ	13		55						8
－		Psychomyia属の一種		5							
298	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種		5	6						
－		ヒメトビケラ科の一種	2								
299	コエグリトビケラ	ヒラタコエグリトビケラ						2			
300	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	7					14		14	30
301	カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ									1
302	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ	2								
303	-	トビケラ目の一種	5								
304	マガリガ	ホソオビヒゲナガ									1
305	ハマキガ	チャノコカクモンハマキ									
306		マツアトキハマキ									
307		クロシオハマキ						1			
308		ホソバハイイロハマキ									
309		オオギンスジハマキ									
310		イグサヒメハマキ									
－		Bactra属の一種		1					2		
311		ヘリオビヒメハマキ								1	
312		クロサンカクモンヒメハマキ									1
313		ツマジロクロヒメハマキ									1
314		ヨモギネムシガ									
315		グミオオウスツマヒメハマキ									
316		シロモンヒメハマキ									1
317		Clethreutes属の一種	3	2							
－		ハマキガ科の一種						1	3		2
318	ホソハマキガ	アカオビホソハマキ								1	
319	ヒロズコガ	Monopis属の一種									
320		ウスモンツマオレガ							2		
－		ヒロズコガ科の一種						1			1
321	ホソガ	Caloptilia属の一種									
322		タデキボシホソガ									
－		ホソガ科の一種									
323	コハモグリガ	ミカンコハモグリ									
324	アトヒゲコガ	トコロミコガ						1			
325	スガ	Yponomeuta属の一種									
326	ホソハマキモドキガ	Glyphipterix属の一種	1								

表 2.8.1-36(5)　ライトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
327	ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ	1								
328	マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ									
329		カノコマルハキバガ									
－		マルハキバガ科の一種							2		
330	ニセマイコガ	Stathmopoda属の一種									
331	ツツミノガ	Coleophora属の一種									
332	カザリバガ	Anatrachyntis属の一種	1								
333		ウスイロカザリバ							1		
334		カザリバ		1							
335		ベニモントガリホソガ	1								
336		ギンスジトガリホソガ									
－		Labdia属の一種									
－		カザリバガ科の一種	4						2		
337		Ascalenia属の一種									
338	ヒゲナガキバガ	オビカクバネヒゲナガキバガ									
339		ゴマフシロハビロキバガ									
340		Lecithocera属の一種								1	
341	キバガ	Autosticha属の一種									
342		タテジマキバガ									
343		イモキバガ									
344		カバイロキバガ									
345		Dichomeris属の一種									
346		Pseudotelphusa属の一種									1
347		キバガ科の一種	6								
348	セミヤドリガ	セミヤドリガ									
349	イラガ	テングイラガ									
350		アカイラガ									
351	ツトガ	ヨシツトガ									
352		ニカメイガ									
353		シバツトガ									
354	メイガ	スジボソヤマメイガ						1			
355		ヒメトガリノメイガ									
356		アカウスグロノメイガ									
357		モンウスグロノメイガ									
358		シロアヤヒメノメイガ									
359		ハイマダラノメイガ									
360		モンキクロノメイガ									
361		シロオビノメイガ									
362		ホシオビホソノメイガ						1			
363		ワモンノメイガ									
364		クビシロノメイガ									
365		コヨツメノメイガ									
366		キムジノメイガ									
367		シロスジエグリノメイガ						2			
368		ヒメマダラミズメイガ									
369		キオビミズメイガ							1		
370		キモントガリメイガ									
371		キベリトガリメイガ									
372		ウスモンマルバシマメイガ									
373		Acrobasis属の一種									
374		アカマダラメイガ									
375		トビスジマダラメイガ									
376		ヤマトシロアシクロノメイガ									
377		メイガ科の一種									
378	カギバガ	フタテンシロカギバ						1			
379	シャクガ	アシブトチズモンアオシャク									
380		ヨスジキヒメシャク									
381		オイワケヒメシャク									
382		ミジンキヒメシャク							1		
383		フタナミトビヒメシャク									
384		サザナミシロヒメシャク						1			
385		ナガサキヒメシャク									
386		コベニスジヒメシャク								1	
387		マエナミカバナミシャク						1			1
388		セスジナミシャク									
389		トビスジヒメナミシャク									
390		クロクモエダシャク									
391		ウチムラサキヒメエダシャク									
392		ニセオレクギエダシャク									
393		モンシロツマキリエダシャク						1			
394		ミスジツマキリエダシャク									
395	ツバメガ	ギンツバメ							2		
396	ヤママユガ	クスサン								1	
397	シャチホコガ	オオエグリシャチホコ						1			
398	ドクガ	アカヒゲドクガ									
399	ヒトリガ	スカシコケガ									
400		アカスジシロコケガ									
401		キマエホソバ									
402		Eilema属の一種									
403		クロテンハイイロコケガ									
404		スジベニコケガ									
405		チャオビチビコケガ							1		
406		シロオビクロコケガ									
407		ウスグロコケガ				1					
408		スジモンヒトリ									
409		アカハラゴマダラヒトリ						2			
410	コブガ	シタジロコブガ									2
411		クロスジシロコブガ	2						1		

表 2.8.1-36(6)　ライトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
412	ヤガ	イチモジキノコヨトウ									
413		カブラヤガ									
414		オオバコヤガ									
415		マエキヤガ									
416		アトジロキヨトウ									
417		ノヒラキヨトウ									
418		テンウスイロヨトウ									
419		クシヒゲウスキヨトウ								1	
420		フタテンヒメヨトウ							3		
421		テンオビヨトウ							1		
422		セアカヨトウ									
423		マエホシヨトウ								1	
424		イネヨトウ		1							
425		スジキリヨトウ									
426		ハスモンヨトウ		1							
427		Araeopteron属の一種									
428		ハイイロコヤガ									
429		ヒメネジロコヤガ									
430		フタホシコヤガ									1
431		フタオビコヤガ	4						3		
432		シロマダラコヤガ	1								
433		ネモンシロフコヤガ									
434		ニセシロフコヤガ									
435		Sugia属の一種									
436		ナカジロシタバ									
437		ホソバカバアツバ									
438		クロテンカバアツバ	1								
439		アカテンクチバ									1
440		ミジンアツバ							2		
441		トビフタスジアツバ									1
442		チビアツバ									
443		スジモンアツバ									
444		ウスオビチビアツバ									
445		キボシアツバ							1		
446		クリイロアツバ								1	
447		クロスジヒメアツバ									
448		ハスオビヒメアツバ				1					
449		Schrankia属の一種									
450		ウスキミスジアツバ									
451		クロスジアツバ							1		
452		トビスジアツバ						1			3
453		オオシラナミアツバ									
454		ヒロオビウスグロアツバ						6			1
455		ソトウスグロアツバ									
456		シロホシクロアツバ									
457		Sinarella属の一種									
458		ツマオビアツバ									
459		キイロアツバ									
－		ヤガ科の一種									
合計	145科	459種	687個体 91種	106個体 21種	102個体 11種	8個体 6種	12個体 7種	124個体 35種	44個体 24種	30個体 15種	240個体 50種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-37(1)　ライトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
1	コカゲロウ	ウデマガリコカゲロウ			2			
2	トンボ	ナツアカネ						
3	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ						
4	コオロギ	タンボコオロギ						
5	ヒバリモドキ	シバスズ						
6	ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ						
7	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ	2	1				
8	ケチャタテ	Valenzuela属の一種						
9	チャタテ	チャタテ科の一種						
10	ウンカ	ハリマナガウンカ	1					
11		エゾナガウンカ						
12		タケウンカ	7					
13		クロスジオオウンカ						
14		ヒメトビウンカ						
15		トビイロウンカ						
16		ゴマフウンカ						
17		セジロウンカ						
18		セジロウンカモドキ		1				
－		ウンカ科の一種						
19	シマウンカ	シマウンカ	1					
20	ハネナガウンカ	アカメガシワハネビロウンカ						
21	アオバハゴロモ	キノカワハゴロモ				1	2	
22	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ						
23		アミガサハゴロモ						
24	セミ	ヒグラシ				1		
25	ヨコバイ	ゴマフハトムネヨコバイ	1					
26		ホシサジヨコバイ						
27		マエジロオオヨコバイ						
28		オビヒメヨコバイ				1		
29		カンキツヒメヨコバイ	5			1		
30		ベニヒメヨコバイ	1	3				
31		ヒトツメヒメヨコバイ						
32		シロヒメヨコバイ						
33		ホシヒメヨコバイ	1					
34		マダラヒメヨコバイ						
35		イナズマヒメヨコバイ						
36		アライヒシモンヨコバイ						
37		ヒメフタテンヨコバイ	5					
38		トバヨコバイ	4	1				
39		イナズマヨコバイ		1				
40		ヒトツメヨコバイ						
41		クロミャクイチモンジヨコバイ	2					
42		ツマグロヨコバイ	1					
43		タケナガヨコバイ						
44		リンゴマダラヨコバイ	1					
45		マダラヨコバイ						
46		シロセスジヨコバイ						
47		シラホシスカシヨコバイ						
48		クズヒメヨコバイ						
－		ヨコバイ科の一種	5	1				
49	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ						
50	カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ	32					
51	ミズムシ	ハラグロコミズムシ	2					
52		エサキコミズムシ	13			3		
－		Sigara属の一種	25					
53		ミゾナシミズムシ	1					
54		ハイイロチビミズムシ						
55	マツモムシ	コマツモムシ						
56	カスミカメムシ	ツシマキノコカスミカメ						
57		ウスバツヤカスミカメ						
58		ナカグロカスミカメ						
59		ブチヒゲクロカスミカメ						
60		アカホシカスミカメ						
61		ムモンミドリカスミカメ	1					
62		アカスジカスミカメ						
63		イネホソミドリカスミカメ						
64	マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ						
65	ハナカメムシ	ユミアシハナカメムシ						
66		モリモトヤサハナカメムシ	1					
67		ケシハナカメムシ	1					
68	サシガメ	クロサシガメ						
69		キイロサシガメ						
70	ヒョウタンナガカメムシ	ヨツボシチビナガカメムシ						
71		チャイロナガカメムシ						
72		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ						
73		サビヒョウタンナガカメムシ						
74		キベリヒョウタンナガカメムシ						
75		ヒラタヒョウタンナガカメムシ	1					
76	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ						
77	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ						
78	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ						
79	ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	3					
80		ツチカメムシ						
81		フタボシツチカメムシ						
82	カメムシ	チャバネアオカメムシ						
83		ツヤアオカメムシ						
84		イチモンジカメムシ						

表 2.8.1-37(2)　ライトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
85	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ						
86		シロコナカゲロウ						
87	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ					1	
88	ヒメカゲロウ	チャバネヒメカゲロウ						
89	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ						
90	ハンミョウ	エリザハンミョウ	1					
91	オサムシ	ヒメヒョウタンゴミムシ						
92		Dyschiriu s属の一種	3					
93		ヨツボシミズギワゴミムシ						
94		アトモンミズギワゴミムシ	1					
95		ツマキミズギワゴミムシ			5			7
96		Paratachys属の一種	1					
97		ヒラタコミズギワゴミムシ						
98		クリイロコミズギワゴミムシ						
99		ヨツモンコミズギワゴミムシ	6			1		
100		セスジヒラタゴミムシ						
101		タンゴヒラタゴミムシ						
102		ヒメセボシヒラタゴミムシ						
103		アシミゾヒメヒラタゴミムシ						
104		クロモリヒラタゴミムシ				4		
105		オオアオモリヒラタゴミムシ			1	1		
106		ハラアカモリヒラタゴミムシ						
107		クビアカモリヒラタゴミムシ				1		
108		ルリヒラタゴミムシ				1		
109		オオヒラタゴミムシ		1				1
110		ヒメツヤマルガタゴミムシ		1				
111		ゴミムシ						
112		トゲアシゴモクムシ						
113		オオズケゴモクムシ				2		
114		ケウスゴモクムシ	1			9		
115		ヒメケゴモクムシ						
116		ニセクロゴモクムシ		1				
117		ウスアカクロゴモクムシ						
118		コゴモクムシ						
－		Harpalus属の一種						
119		カラカネゴモクムシ						
120		Trichotichnus属の一種						
121		キイロチビゴモクムシ			2			
122		キベリゴモクムシ			1			1
123		ミドリマメゴモクムシ	1					1
124		ムネアカマメゴモクムシ						
125		イツホシマメゴモクムシ						
－		Stenolophus属の一種				1		
126		ヨツモンカタキバゴミムシ		1		1		
127		ムナビロアトボシアオゴミムシ				4		
128		クロツブゴミムシ						
129		トゲアトキリゴミムシ						
130		コキノコゴミムシ						
131		ヤセアトキリゴミムシ						
132		イクビホソアトキリゴミムシ						
133		ホシハネビロアトキリゴミムシ						
134		コルリアトキリゴミムシ						
135		メダカアトキリゴミムシ						
136		アオヘリホソゴミムシ						
137	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ						
138	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	6	1				
139		マルケシゲンゴロウ						
140		ホソセスジゲンゴロウ						
－		Copelatus属の一種						
141		ヒメゲンゴロウ	2	1		3		
142		コシマゲンゴロウ						
143	ガムシ	キバネケシガムシ						
－		Cercyon属の一種		5	1			
144		セマルガムシ						
145		セマルケシガムシ			1			
146		キイロヒラタガムシ	6	1	2			
147		コガムシ	25					
148		ヒメガムシ	3					
149		トゲバゴマフガムシ	11	10		3		
150		ゴマフガムシ	30	1	1	3		
151	シデムシ	クロシデムシ						
152		ヨツボシモンシデムシ			1		2	3
153		オオモモブトシデムシ						
154	ハネカクシ	Aleochara属の一種						
155		Astenus属の一種						
156		Bledius属の一種						
157		アカバナガハネカクシ						
158		Ochthephilum属の一種						
159		アオバアリガタハネカクシ		1				
－		ハネカクシ科の一種	20	40	15	5	2	
160	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種						
161	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ						
162	マルハナノミ	Cyphon属の一種						
163		トビイロマルハナノミ						
164		ヒメマルハナノミ						
165	クワガタムシ	コクワガタ				1		
166		ノコギリクワガタ						

表 2.8.1-37(3)　ライトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
167	コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ						
168	コガネムシ	セマルケシマグソコガネ		1				
169		コフキコガネ				1		
170		アカビロウドコガネ	2					
171		カミヤビロウドコガネ				1		
172		ハラゲビロウドコガネ						
173		Serica nia属の一種						
174		コイチャコガネ				1		
175		アオドウガネ	5			1		
176		ドウガネブイブイ						
177		ヒメコガネ	4					
178		カブトムシ				1		
179		コカブトムシ						
180	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	15	3	1			
181	コメツキムシ	ヒゲコメツキ						
182		マダラチビコメツキ						
183		サビキコリ				1		
184		ムナビロサビキコリ						
185		オオクシヒゲコメツキ						
186		オオツヤハダコメツキ				1		
187		チャイロムナボソコメツキ						
188		クリイロアシブトコメツキ						
189		オオナガコメツキ				6		
190		チャイロコメツキ				2		
191		ヒゲナガコメツキ						
192		クチブトコメツキ						
193		ヒラタクロクシコメツキ						
194		ヒメクシコメツキ				1		
195		クシコメツキ						2
196		ルイスクシコメツキ						
197	ベニボタル	クロハナボタル						
198	ジョウカイボン	ウスチャジョウカイ						
199		ニセヒメジョウカイ						
200		オカベセボシジョウカイ						
201		Podabrus属の一種						
202		ヒガシマルムネジョウカイ						
203		クロツマキジョウカイ						
204	シバンムシ	シバンムシ科の一種						
205	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト						
206	ジョウカイモドキ	ケシジョウカイモドキ						
207	ケシキスイ	クリイロデオキスイ				1		
208		カタベニデオキスイ						
209		コヨツボシケシキスイ						1
210		ヨツボシケシキスイ						
－		ケシキスイ科の一種					1	
211	ネスイムシ	トビイロデオネスイ						
212	ヒラタムシ	セマルチビヒラタムシ						
213	ホソヒラタムシ	ホソヒラタキスイ						
－		Silvanoprus属の一種						
214		Psammoecus属の一種						
215	キスイムシ	Atomaria属の一種	3	5				
216		マルガタキスイ						
217	オオキノコムシ	セモンホソオオキノコ						
218		ヒメオビオオキノコ						
219	テントウムシダマシ	キイロテントウダマシ						
220	テントウムシ	クロヘリヒメテントウ						
221	ヒメマキムシ	ヒメマキムシ科の一種						
222	ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ						
223	コキノコムシ	ヒゲブトコキノコムシ	1					
224	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ						
225		キイロホソナガクチキ					1	
226	ハナノミ	クリイロヒゲハナノミ						
227	アリモドキ	キアシクビボソムシ						
228	チビキカワムシ	ツヤチビキカワムシ						
229	ハムシダマシ	ナガハムシダマシ						
230		ヒゲブトゴミムシダマシ						1
231	クチキムシ	クチキムシ						
232		ウスイロクチキムシ						
233	ゴミムシダマシ	フトナガニジゴミムシダマシ						
234		アオツヤキノコゴミムシダマシ						
235		ベニモンキノコゴミムシダマシ						
236		ルリゴミムシダマシ						
237		コマルキマワリ						
238	カミキリムシ	ノコギリカミキリ				1		
239	ハムシ	チビカサハラハムシ						
240		クロオビカサハラハムシ						
241		フタスジヒメハムシ						
242		ヒメカミナリハムシ						
243		ダイコンナガスネトビハムシ						
244		Microchaetes属の一種						
245	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ						
246	オトシブミ	カシルリオトシブミ						
247	ホソクチゾウムシ	Nanophyes属の一種						
248	ゾウムシ	クロイネゾウモドキ						
249		Bagous属の一種						
250		イネミズゾウムシ						
251		ウキクサミズゾウムシ						

表 2.8.1-37(4)　ライトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
252	ゾウムシ	オオミズゾウムシ						
253		クヌギシギゾウムシ						
254		Rhadinomerus属の一種						
255	キクイムシ	キクイムシ科の一種			3			
256	ハバチ	オスグロハバチ		1				
257	コマユバチ	コマユバチ科の一種		1		4	1	
258	ヒメバチ	Neteli a属の一種						
259		Ophion属の一種						
260		マダラオオアメバチ						
－		ヒメバチ科の一種						
261	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種						
262	タマバチ	タマバチ科の一種						
263	アリ	Brachyponera属の一種						
264		Crematogaster属の一種				60		
265		Monomorium属の一種						
266		Camponotus属の一種						40
267		Formica属の一種						
268		トビイロケアリ						
－		Lasius属の一種						
269	ガガンボ	Tipula属の一種					1	1
270		セダカガガンボ			1			
271		Eriopt era属の一種						
272		Styringomyia属の一種						
－		ガガンボ科の一種			3		1	
273	チョウバエ	チョウバエ科の一種						
274	ヌカカ	ヌカカ科の一種					5	
275	ユスリカ	クロバヌマユスリカ						
276		Cricotopus属の一種			2			
277		ヒシモンユスリカ						
－		Chironomus属の一種	2		5			15
278		Polypedilum属の一種			1			
－		ユスリカ科の一種	15	2	95			30
279	ケバエ	Plecia属の一種					3	
280	タマバエ	タマバエ科の一種						
281	キノコバエ	キノコバエ科の一種						
282	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種					3	
283	ノミバエ	ノミバエ科の一種						
284	ハナアブ	ナミルリイロハラナガハナアブ						
285	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ						
286	ツヤホソバエ	Sepsis属の一種						
287	ミギワバエ	Brachydeutera ibari	1	11			1	
288		Setacera breviventris						
289	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種		3				
290	ハナバエ	ハナバエ科の一種			1			
291	クロバエ	ミヤマキンバエ						
292	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種						
293	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ			1			
－		Ecnomus属の一種		2				
294	シマトビケラ	コガタシマトビケラ		26	9			1
295		ナミコガタシマトビケラ		7	24			
296		ウルマーシマトビケラ		5	4		1	1
297	クダトビケラ	ウルマークダトビケラ						1
－		Psychomyia属の一種		1				
298	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種			3			
－		ヒメトビケラ科の一種				1		
299	コエグリトビケラ	ヒラタコエグリトビケラ						
300	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			8			2
301	カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ						
302	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ						
303	-	トビケラ目の一種						
304	マガリガ	ホソオビヒゲナガ						
305	ハマキガ	チャノコカクモンハマキ						
306		マツアトキハマキ						1
307		クロシオハマキ						
308		ホソバハイイロハマキ						
309		オオギンスジハマキ			1			
310		イグサヒメハマキ						1
－		Bactra属の一種		2			1	
311		ヘリオビヒメハマキ						
312		クロサンカクモンヒメハマキ						
313		ツマジロクロヒメハマキ						
314		ヨモギネムシガ						
315		グミオオウスツマヒメハマキ		1				1
316		シロモンヒメハマキ						
317		Olethreutes属の一種		3				
－		ハマキガ科の一種		1	1			
318	ホソハマキガ	アカオビホソハマキ						
319	ヒロズコガ	Monopis属の一種					1	
320		ウスモンツマオレガ				1		
－		ヒロズコガ科の一種						5
321	ホソガ	Caloptilia属の一種				2		
322		タデキボシホソガ						
－		ホソガ科の一種						1
323	コハモグリガ	ミカンコハモグリ						
324	アトヒゲコガ	トコロミコガ						
325	スガ	Yponomeuta属の一種						
326	ホソハマキモドキガ	Glyphipterix属の一種						

表 2.8.1-37(5)　ライトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
327	ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ						
328	マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ						
329		カノコマルハキバガ						
－		マルハキバガ科の一種						
330	ニセマイコガ	Stathmopoda属の一種						
331	ツツミノガ	Coleophora属の一種						
332	カザリバガ	Anatrachyntis属の一種						
333		ウスイロカザリバ						1
334		カザリバ		1				
335		ベニモントガリホソガ						
336		ギンスジトガリホソガ						
－		Labdia属の一種						
－		カザリバガ科の一種				2		
337		Ascalenia属の一種						
338	ヒゲナガキバガ	オビカクバネヒゲナガキバガ						
339		ゴマフシロハビロキバガ						
340		Lecithocera属の一種				3		
341	キバガ	Autosticha属の一種				1		
342		タテジマキバガ						
343		イモキバガ						1
344		カバイロキバガ						
345		Dichomeris属の一種		4				
346		Pseudotelphusa属の一種						
347		キバガ科の一種					1	
348	セミヤドリガ	セミヤドリガ						
349	イラガ	テングイラガ						
350		アカイラガ						
351	ツトガ	ヨシツトガ						
352		ニカメイガ						
353		シバツトガ		1				
354	メイガ	スジボソヤマメイガ						
355		ヒメトガリノメイガ						
356		アカウスグロノメイガ						
357		モンウスグロノメイガ						
358		シロアヤヒメノメイガ						
359		ハイマダラノメイガ						
360		モンキクロノメイガ						
361		シロオビノメイガ					1	
362		ホシオビホソノメイガ						
363		ワモンノメイガ						
364		クビシロノメイガ						
365		コヨツメノメイガ						
366		キムジノメイガ						
367		シロスジエグリノメイガ						
368		ヒメマダラミズメイガ		1		1		
369		キオビミズメイガ						
370		キモントガリメイガ						
371		キベリトガリメイガ				1		
372		ウスモンマルバシマメイガ						
373		Acrobasis属の一種						
374		アカマダラメイガ						
375		トビスジマダラメイガ					1	
376		ヤマトシロアシクロノメイガ					1	
377		メイガ科の一種				1		
378	カギバガ	フタテンシロカギバ						
379	シャクガ	アシブトチズモンアオシャク						1
380		ヨスジキヒメシャク						
381		オイワケヒメシャク						
382		ミジンキヒメシャク						
383		フタナミトビヒメシャク						2
384		サザナミシロヒメシャク						
385		ナガサキヒメシャク					1	
386		コベニスジヒメシャク						
387		マエナミカバナミシャク						
388		セスジナミシャク						
389		トビスジヒメナミシャク						1
390		クロクモエダシャク						1
391		ウチムラサキヒメエダシャク						
392		ニセオレクギエダシャク						
393		モンシロツマキリエダシャク						
394		ミスジツマキリエダシャク						1
395	ツバメガ	ギンツバメ						
396	ヤママユガ	クスサン						
397	シャチホコガ	オオエグリシャチホコ						
398	ドクガ	アカヒゲドクガ						
399	ヒトリガ	スカシコケガ					1	
400		アカスジシロコケガ						
401		キマエホソバ						
402		Filema属の一種						
403		クロテンハイイロコケガ						
404		スジベニコケガ						1
405		チャオビチビコケガ						
406		シロオビクロコケガ						
407		ウスグロコケガ				1		
408		スジモンヒトリ						1
409		アカハラゴマダラヒトリ						
410	コブガ	シタジロコブガ						1
411		クロスジシロコブガ						

表 2.8.1-37(6)　ライトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ライトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
412	ヤガ	イチモジキノコヨトウ				1		
413		カブラヤガ						1
414		オオバコヤガ					1	
415		マエキヤガ		1				
416		アトジロキヨトウ						
417		ノヒラキヨトウ						
418		テンウスイロヨトウ						
419		クシヒゲウスキヨトウ						
420		フタテンヒメヨトウ						
421		テンオビヨトウ						
422		セアカヨトウ					1	
423		マエホシヨトウ						
424		イネヨトウ						
425		スジキリヨトウ			1			
426		ハスモンヨトウ					2	
427		Araeopteron属の一種						
428		ハイイロコヤガ				1		
429		ヒメネジロコヤガ				1		
430		フタホシコヤガ						
431		フタオビコヤガ						
432		シロマダラコヤガ						
433		ネモンシロフコヤガ						
434		ニセシロフコヤガ						1
435		Sugia属の一種						
436		ナカジロシタバ						
437		ホソバカバアツバ						
438		クロテンカバアツバ						
439		アカテンクチバ						
440		ミジンアツバ						
441		トビフタスジアツバ						
442		チビアツバ		1			1	
443		スジモンアツバ						
444		ウスオビチビアツバ						
445		キボシアツバ						
446		クリイロアツバ						
447		クロスジヒメアツバ		1				
448		ハスオビヒメアツバ						
449		Schranki a属の一種						1
450		ウスキミスジアツバ				1		
451		クロスジアツバ						
452		トビスジアツバ						
453		オオシラナミアツバ					2	
454		ヒロオビウスグロアツバ						1
455		ソトウスグロアツバ						
456		シロホシクロアツバ						
457		Sinarella属の一種						
458		ツマオビアツバ						
459		キイロアツバ				1		
－		ヤガ科の一種						
合計	146科	459種	282個体 45種	157個体 39種	196個体 26種	148個体 48種	40個体 26種	132個体 34種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

4) ベイトトラップ調査

ベイトトラップ調査結果は、表 2.8.1-38～表 2.8.1-42 に示すとおりである。

表 2.8.1-38(1)　ベイトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ									
2	コオロギ	タンボコオロギ									
3		モリオカメコオロギ									
4		ハラオカメコオロギ									
5		ツヅレサセコオロギ									
6		クマスズムシ									
-		コオロギ科の一種									
7	マツムシ	スズムシ									
8	ヒバリモドキ	ヤチスズ									
9		マダラスズ								1	
10		シバスズ				8	4			1	
11	ケラ	ケラ									
12	ノミバッタ	ノミバッタ									
13	ヒシバッタ	コバネヒシバッタ									
14		ハラヒシバッタ									
-		ヒシバッタ科の一種									
15	ハサミムシ	キアシハサミムシ				3			5		
16		ヒゲジロハサミムシ	1				1			4	
17	オオハサミムシ	オオハサミムシ					1				
18	ウンカ	ゴマフウンカ									
19	シマウンカ	シマウンカ									
20	ミズギワカメムシ	トゲミズギワカメムシ									
21		エゾミズギワカメムシ									
22	グンバイムシ	ウチワグンバイ					1				
23	サシガメ	クロモンサシガメ									
24	ヒョウタンナガカメムシ	イチゴチビナガカメムシ									
25		コバネヒョウタンナガカメムシ									
26		オオモンシロナガカメムシ									
27	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ									
28	オサムシ	エゾカタビロオサムシ									
29		アオオサムシ									
30		クロナガオサムシ									
31		ホソヒョウタンゴミムシ									
32		ナガヒョウタンゴミムシ				3					
33		キイロマルコミズギワゴミムシ									
34		オオゴミムシ									
35		ヒロムネナガゴミムシ									
36		トックリナガゴミムシ									2
37		コガシラナガゴミムシ									
38		ノグチナガゴミムシ									
39		キンナガゴミムシ									1
40		ヒメホソナガゴミムシ									
41		アシミゾナガゴミムシ									2
42		タカオヒメナガゴミムシ									
43		ヨリトモナガゴミムシ	6	1	2						
44		アカガネオオゴミムシ		3						1	
45		ルイスオオゴミムシ									
46		セアカヒラタゴミムシ					9		2	1	
47		オオヒラタゴミムシ									
48		マルガタツヤヒラタゴミムシ									1
49		クロツヤヒラタゴミムシ									
50		オオクロツヤヒラタゴミムシ		29							
51		ナガマルガタゴミムシ						1			
-		Amara属の一種						2			1
52		オオホシボシゴミムシ									
53		ゴミムシ									
54		オオゴモクムシ									
55		チョウセンゴモクムシ							1		
56		ハコダテゴモクムシ									
57		オオズケゴモクムシ									
58		ケウスゴモクムシ					2				1
59		ヒメケゴモクムシ									
60		クロゴモクムシ									
61		ウスアカクロゴモクムシ									
62		アカアシマルガタゴモクムシ									1
63		コゴモクムシ									
-		Harpalus属の一種					2				1
64		ムネアカマメゴモクムシ									
65		イツホシマメゴモクムシ									
66		オオスナハラゴミムシ							1		
67		ヨツボシゴミムシ									
68		コキベリアオゴミムシ									
69		コアトワアオゴミムシ									
70		ニセコガシラアオゴミムシ									
71		オオアトボシアオゴミムシ									
72		アトボシアオゴミムシ	6								
73		アオゴミムシ									
74		オオサカアオゴミムシ									
75		キボシアオゴミムシ							7	3	2
76		ムナビロアオゴミムシ									
77		ニセトックリゴミムシ									
78		トゲアトキリゴミムシ						4			
79		フタホシスジバネゴミムシ		1							

表 2.8.1-38(2)　ベイトトラップ調査結果（No.T1、T2、T3）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T1			T2			T3		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
80	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ	1								
81		ミイデラゴミムシ									
82	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ									
83	ガムシ	トゲバゴマフガムシ									
84		ゴマフガムシ									
85	シデムシ	オオヒラタシデムシ						1			
86	ハネカクシ	ムネビロハネカクシ									
87		Domene属の一種									
88		Nazeris属の一種									
89		クロサビイロハネカクシ									
90		クロガネハネカクシ									
91		Stenus属の一種									
-		ハネカクシ科の一種			5	2	5		5		
92	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種									
93	センチコガネ	センチコガネ	1	2	1						
94	コガネムシ	マメダルマコガネ		2	1						
95		ツヤエンマコガネ原名亜種									
96		ヒメビロウドコガネ						2			
-		Maladera属の一種									
97		ハラゲビロウドコガネ			1						
98	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ									
99	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ									
100	コメツキムシ	マダラチビコメツキ				1					
101		サビキコリ				1				1	
102		ヒメサビキコリ				19	5	2	8		1
103		アカヒゲヒラタコメツキ									
104		チャイロムナボソコメツキ							2		
105		ルイスクシコメツキ									
106		ヨツモンミズギワコメツキ									
107		Paracardiophorus属の一種				1		4		1	
108	ケシキスイ	ヒメアカマダラケシキスイ									
109		マルキマダラケシキスイ									
110	キスイムシ	Cryptophagus属の一種									
111	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ									
112	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ									
113	ゴミムシダマシ	Gonocephalum属の一種						2			
114	ゾウムシ	チビヒョウタンゾウムシ			1						
115		イコマケシツチゾウムシ	1		2						
116		イネゾウムシ									
117		Pagous属の一種									
118		オオミズゾウムシ									
119	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ									
120	キクイムシ	キクイムシ科の一種									
121	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種									
122	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の一種									
123	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種									
124	アリバチ	フタホシアリバチ									
125	アリ	オオハリアリ	14	10							
126		ナカスジハリアリ									
127		ケブカハリアリ							2		
128		ヤマトアシナガアリ									
129		キイロシリアゲアリ	30	131	3				1		
130		ムネボソアリ									
131		ヒメアリ			1						
132		カドフシアリ									
133		シワクシケアリ									
134		アズマオオズアリ				50	10	28			
135		アミメアリ				3		4	40	10	
136		ヒラタウロコアリ									
137		トフシアリ			3						
138		ウロコアリ									
139		トビイロシワアリ				4		7	6	6	102
140		クロオオアリ									
141		クロヤマアリ				30	10		20	6	1
142		トビイロケアリ			9						
143		アメイロアリ	36	150	17						36
144		サクラアリ									
145	ケバエ	Plecia属の一種									
146	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種									
合計	44科	146種	96個体 9種	329個体 9種	46個体 12種	125個体 12種	50個体 10種	57個体 10種	100個体 13種	35個体 11種	152個体 12種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成７年　環境庁）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-39(1)　ベイトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ									
2	コオロギ	タンボコオロギ								1	
3		モリオカメコオロギ									
4		ハラオカメコオロギ									
5		ツヅレサセコオロギ									
6		クマスズムシ									
-		コオロギ科の一種									
7	マツムシ	スズムシ									
8	ヒバリモドキ	ヤチスズ									
9		マダラスズ									
10		シバスズ	4							6	
11	ケラ	ケラ		1					1		
12	ノミバッタ	ノミバッタ									
13	ヒシバッタ	コバネヒシバッタ									
14		ハラヒシバッタ									
-		ヒシバッタ科の一種									
15	ハサミムシ	キアシハサミムシ								1	
16		ヒゲジロハサミムシ									
17	オオハサミムシ	オオハサミムシ									
18	ウンカ	ゴマフウンカ									
19	シマウンカ	シマウンカ									
20	ミズギワカメムシ	トゲミズギワカメムシ									
21		エゾミズギワカメムシ	1								
22	グンバイムシ	ウチワグンバイ									
23	サシガメ	クロモンサシガメ	1								
24	ヒョウタンナガカメムシ	イチゴチビナガカメムシ									
25		コバネヒョウタンナガカメムシ									
26		オオモンシロナガカメムシ				1					
27	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ									
28	オサムシ	エゾカタビロオサムシ									
29		アオオサムシ	1					1			
30		クロナガオサムシ									
31		ホソヒョウタンゴミムシ									
32		ナガヒョウタンゴミムシ								1	
33		キイロマルコミズギワゴミムシ	1								
34		オオゴミムシ									
35		ヒロムネナガゴミムシ		2	1						
36		トックリナガゴミムシ									
37		コガシラナガゴミムシ	1						1	1	
38		ノグチナガゴミムシ		1							
39		キンナガゴミムシ	3							2	
40		ヒメホソナガゴミムシ		1					1		
41		アシミゾナガゴミムシ							2		
42		タカオヒメナガゴミムシ						1			
43		ヨリトモナガゴミムシ									
44		アカガネオオゴミムシ									
45		ルイスオオゴミムシ				1					
46		セアカヒラタゴミムシ									
47		オオヒラタゴミムシ									
48		マルガタツヤヒラタゴミムシ									
49		クロツヤヒラタゴミムシ									
50		オオクロツヤヒラタゴミムシ					4				
51		ナガマルガタゴミムシ									
-		Amara属の一種									
52		オオホシボシゴミムシ	1						2		
53		ゴミムシ									
54		オオゴモクムシ									
55		チョウセンゴモクムシ									
56		ハコダテゴモクムシ									
57		オオズケゴモクムシ									
58		ケウスゴモクムシ									
59		ヒメケゴモクムシ									
60		クロゴモクムシ									
61		ウスアカクロゴモクムシ									
62		アカアシマルガタゴモクムシ									
63		コゴモクムシ									
-		Harpalus属の一種									
64		ムネアカマメゴモクムシ									
65		イツホシマメゴモクムシ									
66		オオスナハラゴミムシ									
67		ヨツボシゴミムシ									
68		コキベリアオゴミムシ	5								
69		コアトワアオゴミムシ									
70		ニセコガシラアオゴミムシ	1		1				2		
71		オオアトボシアオゴミムシ									
72		アトボシアオゴミムシ				8					
73		アオゴミムシ			1						1
74		オオサカアオゴミムシ	2								
75		キボシアオゴミムシ							1		
76		ムナビロアオゴミムシ	1								
77		ニセトックリゴミムシ							1		
78		トゲアトキリゴミムシ									
79		フタホシスジバネゴミムシ									

表 2.8.1-39(2)　ベイトトラップ調査結果（No.T4、T5、T6）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T4			T5			T6		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
80	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ	1			3					
81		ミイデラゴミムシ	4		2						1
82	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ									
83	ガムシ	トゲバゴマフガムシ									
84		ゴマフガムシ									
85	シデムシ	オオヒラタシデムシ	20			1			23		
86	ハネカクシ	ムネビロハネカクシ							1		
87		Domene属の一種									
88		Nazeris属の一種									
89		クロサビイロハネカクシ									
90		クロガネハネカクシ	2								
91		Stenus属の一種	1								
-		ハネカクシ科の一種		2					5		
92	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種									
93	センチコガネ	センチコガネ				1	1				
94	コガネムシ	マメダルマコガネ					1				
95		ツヤエンマコガネ原名亜種									
96		ヒメビロウドコガネ									
-		Maladera属の一種									
97		ハラゲビロウドコガネ									
98	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ									
99	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ									
100	コメツキムシ	マダラチビコメツキ									
101		サビキコリ							4		
102		ヒメサビキコリ									
103		アカヒゲヒラタコメツキ									
104		チャイロムナボソコメツキ								1	
105		ルイスクシコメツキ									
106		ヨツモンミズギワコメツキ									
107		Paracardiophorus属の一種									
108	ケシキスイ	ヒメアカマダラケシキスイ									
109		マルキマダラケシキスイ				6		2			
110	キスイムシ	Cryptophagus属の一種									
111	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ									
112	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ									
113	ゴミムシダマシ	Gonocephalum属の一種									
114	ゾウムシ	チビヒョウタンゾウムシ									
115		イコマケシツチゾウムシ					1				
116		イネゾウムシ									
117		Bagous属の一種									
118		オオミズゾウムシ									
119	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ									
120	キクイムシ	キクイムシ科の一種		1				1			
121	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種									
122	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の一種									
123	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種					1				
124	アリバチ	フタホシアリバチ	1								
125	アリ	オオハリアリ	1							63	
126		ナカスジハリアリ									
127		ケブカハリアリ									
128		ヤマトアシナガアリ				20	1	50			
129		キイロシリアゲアリ									17
130		ムネボソアリ									
131		ヒメアリ									
132		カドフシアリ									
133		シワクシケアリ		17					130		4
134		アズマオオズアリ				350	350	63	150		29
135		アミメアリ	40	4	1		3		1		1
136		ヒラタウロコアリ									
137		トフシアリ									
138		ウロコアリ									
139		トビイロシワアリ			1						
140		クロオオアリ									
141		クロヤマアリ		10			4	1		4	
142		トビイロケアリ	16		1			7		1	
143		アメイロアリ		17		15	128	13	25	2	8
144		サクラアリ									
145	ケバエ	Plecia属の一種	1								
146	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種									
合計	44科	146種	109個体 22種	56個体 10種	8個体 7種	406個体 10種	494個体 10種	139個体 9種	350個体 15種	83個体 11種	61個体 7種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-40(1)　ベイトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ								1	
2	コオロギ	タンボコオロギ									
3		モリオカメコオロギ					1				
4		ハラオカメコオロギ	4								
5		ツヅレサセコオロギ		1							
6		クマスズムシ									
-		コオロギ科の一種	12	1		2			2		
7	マツムシ	スズムシ									
8	ヒバリモドキ	ヤチスズ					7				
9		マダラスズ		1							
10		シバスズ		5							
11	ケラ	ケラ						3			
12	ノミバッタ	ノミバッタ			1						
13	ヒシバッタ	コバネヒシバッタ									
14		ハラヒシバッタ						1			
-		ヒシバッタ科の一種		1							
15	ハサミムシ	キアシハサミムシ				1	1				
16		ヒゲジロハサミムシ									
17	オオハサミムシ	オオハサミムシ									
18	ウンカ	ゴマフウンカ				1					
19	シマウンカ	シマウンカ		2							
20	ミズギワカメムシ	トゲミズギワカメムシ		1							
21		エゾミズギワカメムシ									
22	グンバイムシ	ウチワグンバイ				3					
23	サシガメ	クロモンサシガメ					1				
24	ヒョウタンナガカメムシ	イチゴチビナガカメムシ	3								
25		コバネヒョウタンナガカメムシ				1					
26		オオモンシロナガカメムシ								1	
27	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	1								
28	オサムシ	エゾカタビロオサムシ	10								
29		アオオサムシ				2	3			2	1
30		クロナガオサムシ									
31		ホソヒョウタンゴミムシ			1						
32		ナガヒョウタンゴミムシ									
33		キイロマルコミズギワゴミムシ									
34		オオゴミムシ									
35		ヒロムネナガゴミムシ									
36		トックリナガゴミムシ									
37		コガシラナガゴミムシ									
38		ノグチナガゴミムシ									
39		キンナガゴミムシ	1		6						
40		ヒメホソナガゴミムシ									
41		アシミゾナガゴミムシ									
42		タカオヒメナガゴミムシ									
43		ヨリトモナガゴミムシ									
44		アカガネオオゴミムシ									
45		ルイスオオゴミムシ									
46		セアカヒラタゴミムシ		1			5				
47		オオヒラタゴミムシ			1						
48		マルガタツヤヒラタゴミムシ									
49		クロツヤヒラタゴミムシ									1
50		オオクロツヤヒラタゴミムシ									1
51		ナガマルガタゴミムシ									
-		Amara属の一種						1			
52		オオホシボシゴミムシ							2		
53		ゴミムシ			2			2			
54		オオゴモクムシ		13							
55		チョウセンゴモクムシ									
56		ハコダテゴモクムシ						2			
57		オオズケゴモクムシ									
58		ケウスゴモクムシ									
59		ヒメケゴモクムシ		2							
60		クロゴモクムシ									
61		ウスアカクロゴモクムシ		7							
62		アカアシマルガタゴモクムシ									
63		コゴモクムシ				1	27				
-		Harpalus属の一種									
64		ムネアカマメゴモクムシ			2						
65		イツホシマメゴモクムシ	1								
66		オオスナハラゴミムシ									
67		ヨツボシゴミムシ		1							
68		コキベリアオゴミムシ					1				
69		コアトワアオゴミムシ	1								
70		ニセコガシラアオゴミムシ				1	1				
71		オオアトボシアオゴミムシ	1								
72		アトボシアオゴミムシ									
73		アオゴミムシ	1					1			
74		オオサカアオゴミムシ									
75		キボシアオゴミムシ									
76		ムナビロアオゴミムシ									
77		ニセトックリゴミムシ									
78		トゲアトキリゴミムシ									
79		フタホシスジバネゴミムシ									

表 2.8.1-40(2)　ベイトトラップ調査結果（No.T7、T8、T9）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T7			T8			T9		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
80	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ									
81		ミイデラゴミムシ			2	6		15			
82	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ									
83	ガムシ	トゲバゴマフガムシ					1				
84		ゴマフガムシ						1			
85	シデムシ	オオヒラタシデムシ				15	2				
86	ハネカクシ	ムネビロハネカクシ									
87		Domene属の一種									
88		Nazeris属の一種									
89		クロサビイロハネカクシ						2			
90		クロガネハネカクシ									
91		Stenus属の一種									
-		ハネカクシ科の一種	3								2
92	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種									
93	センチコガネ	センチコガネ							3		
94	コガネムシ	マメダルマコガネ									
95		ツヤエンマコガネ原名亜種							1		
96		ヒメビロウドコガネ									
-		Maladera属の一種									
97		ハラゲビロウドコガネ									
98	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ			1						
99	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ									
100	コメツキムシ	マダラチビコメツキ									
101		サビキコリ	2					1			
102		ヒメサビキコリ			1						
103		アカヒゲヒラタコメツキ									1
104		チャイロムナボソコメツキ									
105		ルイスクシコメツキ							1		
106		ヨツモンミズギワコメツキ			2						
107		Paracardiophorus属の一種									
108	ケシキスイ	ヒメアカマダラケシキスイ								1	1
109		マルキマダラケシキスイ							8	9	2
110	キスイムシ	Cryptophagus属の一種									
111	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ									
112	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ									
113	ゴミムシダマシ	Gonocephalum属の一種									
114	ゾウムシ	チビヒョウタンゾウムシ									
115		イコマケシツチゾウムシ									
116		イネゾウムシ			1						
117		Bagous属の一種									
118		オオミズゾウムシ					1				
119	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ									
120	キクイムシ	キクイムシ科の一種									
121	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種							1		
122	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の一種		1							
123	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種									
124	アリバチ	フタホシアリバチ									
125	アリ	オオハリアリ							6	1	1
126		ナカスジハリアリ									
127		ケブカハリアリ									
128		ヤマトアシナガアリ							4	5	13
129		キイロシリアゲアリ							16	640	18
130		ムネボソアリ	8								
131		ヒメアリ				83					
132		カドフシアリ									
133		シワクシケアリ									
134		アズマオオズアリ									
135		アミメアリ	2		4	13	30	52	1		1
136		ヒラタウロコアリ									
137		トフシアリ					3				10
138		ウロコアリ									
139		トビイロシワアリ			180						
140		クロオオアリ			1						
141		クロヤマアリ	3		1	6	6	6		6	1
142		トビイロケアリ				28	8	14	15		40
143		アメイロアリ	2				1			100	26
144		サクラアリ									
145	ケバエ	Plecia属の一種									
146	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種		1			3				
合計	44科	146種	55個体 15種	38個体 13種	206個体 15種	163個体 14種	102個体 18種	101個体 13種	60個体 12種	766個体 10種	119個体 15種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-41(1)　ベイトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ									
2	コオロギ	タンボコオロギ									
3		モリオカメコオロギ									
4		ハラオカメコオロギ									
5		ツヅレサセコオロギ									
6		クマスズムシ	6	1							
-		コオロギ科の一種									
7	マツムシ	スズムシ									
8	ヒバリモドキ	ヤチスズ									
9		マダラスズ									
10		シバスズ		2							
11	ケラ	ケラ	4								
12	ノミバッタ	ノミバッタ									
13	ヒシバッタ	コバネヒシバッタ					1				
14		ハラヒシバッタ									
-		ヒシバッタ科の一種									
15	ハサミムシ	キアシハサミムシ	2								
16		ヒゲジロハサミムシ									
17	オオハサミムシ	オオハサミムシ									
18	ウンカ	ゴマフウンカ									
19	シマウンカ	シマウンカ									
20	ミズギワカメムシ	トゲミズギワカメムシ									
21		エゾミズギワカメムシ									
22	グンバイムシ	ウチワグンバイ	2	1							
23	サシガメ	クロモンサシガメ									
24	ヒョウタンナガカメムシ	イチゴチビナガカメムシ									
25		コバネヒョウタンナガカメムシ									
26		オオモンシロナガカメムシ									
27	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ									
28	オサムシ	エゾカタビロオサムシ									
29		アオオサムシ									1
30		クロナガオサムシ									
31		ホソヒョウタンゴミムシ									
32		ナガヒョウタンゴミムシ									
33		キイロマルコミズギワゴミムシ									
34		オオゴミムシ			1						
35		ヒロムネナガゴミムシ									
36		トックリナガゴミムシ									
37		コガシラナガゴミムシ									
38		ノグチナガゴミムシ									
39		キンナガゴミムシ	1								
40		ヒメホソナガゴミムシ									
41		アシミゾナガゴミムシ									
42		タカオヒメナガゴミムシ									
43		ヨリトモナガゴミムシ									
44		アカガネオオゴミムシ					1				
45		ルイスオオゴミムシ									
46		セアカヒラタゴミムシ		1							
47		オオヒラタゴミムシ						2			
48		マルガタツヤヒラタゴミムシ									
49		クロツヤヒラタゴミムシ									
50		オオクロツヤヒラタゴミムシ					6			1	1
51		ナガマルガタゴミムシ									
-		Amara属の一種									
52		オオホシボシゴミムシ									
53		ゴミムシ			2						
54		オオゴモクムシ									
55		チョウセンゴモクムシ									
56		ハコダテゴモクムシ									
57		オオズケゴモクムシ		2							
58		ケウスゴモクムシ									
59		ヒメケゴモクムシ		1							
60		クロゴモクムシ									
61		ウスアカクロゴモクムシ		1							
62		アカアシマルガタゴモクムシ									
63		コゴモクムシ									
-		Harpalus属の一種		2							
64		ムネアカマメゴモクムシ									
65		イツホシマメゴモクムシ									
66		オオスナハラゴミムシ									
67		ヨツボシゴミムシ									
68		コキベリアオゴミムシ			1						
69		コアトワアオゴミムシ									
70		ニセコガシラアオゴミムシ									
71		オオアトボシアオゴミムシ									
72		アトボシアオゴミムシ									
73		アオゴミムシ									
74		オオサカアオゴミムシ									
75		キボシアオゴミムシ									
76		ムナビロアオゴミムシ									
77		ニセトックリゴミムシ									
78		トゲアトキリゴミムシ									
79		フタホシスジバネゴミムシ									

表 2.8.1-41(2)　ベイトトラップ調査結果（No.T10、T11、T12）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.								
			T10			T11			T12		
			夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
80	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ				5					2
81		ミイデラゴミムシ			7						
82	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ	1								
83	ガムシ	トゲバゴマフガムシ	4								
84		ゴマフガムシ	1								
85	シデムシ	オオヒラタシデムシ				1					
86	ハネカクシ	ムネビロハネカクシ				1					
87		Domene属の一種				1					
88		Nazeris属の一種									1
89		クロサビイロハネカクシ									
90		クロガネハネカクシ									
91		Stenus属の一種							1		
-		ハネカクシ科の一種	2					4			
92	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種								1	
93	センチコガネ	センチコガネ				1					
94	コガネムシ	マメダルマコガネ									
95		ツヤエンマコガネ原名亜種				1					
96		ヒメビロウドコガネ									
-		Maladera属の一種	1								
97		ハラゲビロウドコガネ									
98	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ									
99	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	1								
100	コメツキムシ	マダラチビコメツキ									
101		サビキコリ									
102		ヒメサビキコリ									
103		アカヒゲヒラタコメツキ									
104		チャイロムナボソコメツキ									
105		ルイスクシコメツキ									
106		ヨツモンミズギワコメツキ									
107		Paracardiophorus属の一種									
108	ケシキスイ	ヒメアカマダラケシキスイ								2	1
109		マルキマダラケシキスイ					1		9	3	4
110	キスイムシ	Cryptophagus属の一種									1
111	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ		1							
112	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ									
113	ゴミムシダマシ	Gonocephalum属の一種									
114	ゾウムシ	チビヒョウタンゾウムシ									
115		イコマケシツチゾウムシ						1			
116		イネゾウムシ			5						
117		Bagous属の一種		1							
118		オオミズゾウムシ									
119	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ									
120	キクイムシ	キクイムシ科の一種									
121	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種									
122	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の一種									
123	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種									
124	アリバチ	フタホシアリバチ									
125	アリ	オオハリアリ				3					2
126		ナカスジハリアリ					1				
127		ケブカハリアリ									
128		ヤマトアシナガアリ							6	10	
129		キイロシリアゲアリ			33					5	2
130		ムネボソアリ									
131		ヒメアリ									
132		カドフシアリ				4					
133		シワクシケアリ									
134		アズマオオズアリ	2			400	116	55	5		
135		アミメアリ	13		80						
136		ヒラタウロコアリ									
137		トフシアリ				1			2	1	6
138		ウロコアリ	1								
139		トビイロシワアリ	4		245			5			
140		クロオオアリ									
141		クロヤマアリ	2								
142		トビイロケアリ			1						
143		アメイロアリ	4				12	6	48	10	43
144		サクラアリ			65						
145	ケバエ	Plecia属の一種									
146	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種									
合計	44科	146種	51個体 17種	13個体 9種	440個体 10種	418個体 10種	138個体 7種	73個体 6種	71個体 6種	33個体 8種	64個体 11種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-42(1)　ベイトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
1	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ					1	
2	コオロギ	タンボコオロギ						
3		モリオカメコオロギ						
4		ハラオカメコオロギ						
5		ツヅレサセコオロギ						
6		クマスズムシ		1			1	
-		コオロギ科の一種						
7	マツムシ	スズムシ					1	
8	ヒバリモドキ	ヤチスズ						
9		マダラスズ						
10		シバスズ						
11	ケラ	ケラ						
12	ノミバッタ	ノミバッタ						
13	ヒシバッタ	コバネヒシバッタ						
14		ハラヒシバッタ						
-		ヒシバッタ科の一種						
15	ハサミムシ	キアシハサミムシ						
16		ヒゲジロハサミムシ	1					
17	オオハサミムシ	オオハサミムシ						
18	ウンカ	ゴマフウンカ						
19	シマウンカ	シマウンカ						
20	ミズギワカメムシ	トゲミズギワカメムシ						
21		エゾミズギワカメムシ						
22	グンバイムシ	ウチワグンバイ	1					
23	サシガメ	クロモンサシガメ						
24	ヒョウタンナガカメムシ	イチゴチビナガカメムシ						
25		コバネヒョウタンナガカメムシ						
26		オオモンシロナガカメムシ				1	1	
27	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ						
28	オサムシ	エゾカタビロオサムシ						
29		アオオサムシ						1
30		クロナガオサムシ					7	1
31		ホソヒョウタンゴミムシ						
32		ナガヒョウタンゴミムシ						
33		キイロマルコミズギワゴミムシ						
34		オオゴミムシ						
35		ヒロムネナガゴミムシ			1			
36		トックリナガゴミムシ	1					
37		コガシラナガゴミムシ						
38		ノグチナガゴミムシ						
39		キンナガゴミムシ			2			
40		ヒメホソナガゴミムシ						
41		アシミゾナガゴミムシ	3					
42		タカオヒメナガゴミムシ						
43		ヨリトモナガゴミムシ						
44		アカガネオオゴミムシ					1	
45		ルイスオオゴミムシ						
46		セアカヒラタゴミムシ						
47		オオヒラタゴミムシ						
48		マルガタツヤヒラタゴミムシ						
49		クロツヤヒラタゴミムシ						
50		オオクロツヤヒラタゴミムシ					3	
51		ナガマルガタゴミムシ						
-		Amara属の一種			1			
52		オオホシボシゴミムシ						
53		ゴミムシ						
54		オオゴモクムシ						
55		チョウセンゴモクムシ						
56		ハコダテゴモクムシ						
57		オオズケゴモクムシ		1				
58		ケウスゴモクムシ						
59		ヒメケゴモクムシ						
60		クロゴモクムシ		1				
61		ウスアカクロゴモクムシ						
62		アカアシマルガタゴモクムシ						
63		コゴモクムシ						
-		Harpalus属の一種						
64		ムネアカマメゴモクムシ						
65		イツホシマメゴモクムシ						
66		オオスナハラゴミムシ						
67		ヨツボシゴミムシ						
68		コキベリアオゴミムシ						
69		コアトワアオゴミムシ						
70		ニセコガシラアオゴミムシ			1			
71		オオアトボシアオゴミムシ						
72		アトボシアオゴミムシ					1	
73		アオゴミムシ						
74		オオサカアオゴミムシ						
75		キボシアオゴミムシ						
76		ムナビロアオゴミムシ						
77		ニセトックリゴミムシ						
78		トゲアトキリゴミムシ						
79		フタホシスジバネゴミムシ				1	2	

表 2.8.1-42(2)　ベイトトラップ調査結果（No.T13、T14）

No.	科名	種名（和名）	ベイトトラップ調査地点No.					
			T13			T14		
			夏	秋	春	夏	秋	春
80	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ						
81		ミイデラゴミムシ						
82	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ						
83	ガムシ	トゲバゴマフガムシ						
84		ゴマフガムシ						
85	シデムシ	オオヒラタシデムシ	1			4		
86	ハネカクシ	ムネビロハネカクシ				1		
87		Domene属の一種						
88		Nazeris属の一種						
89		クロサビイロハネカクシ						
90		クロガネハネカクシ						
91		Stenus属の一種						
-		ハネカクシ科の一種						
92	アリヅカムシ	アリヅカムシ科の一種						
93	センチコガネ	センチコガネ						
94	コガネムシ	マメダルマコガネ						
95		ツヤエンマコガネ原名亜種						
96		ヒメビロウドコガネ						
-		Maladera属の一種						
97		ハラゲビロウドコガネ						
98	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ						
99	ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ						
100	コメツキムシ	マダラチビコメツキ						
101		サビキコリ						
102		ヒメサビキコリ						
103		アカヒゲヒラタコメツキ						
104		チャイロムナボソコメツキ						
105		ルイスクシコメツキ						
106		ヨツモンミズギワコメツキ						
107		Paracardiophorus属の一種						
108	ケシキスイ	ヒメアカマダラケシキスイ						
109		マルキマダラケシキスイ						
110	キスイムシ	Cryptophagus属の一種						
111	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ						
112	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ					1	
113	ゴミムシダマシ	Gonocephalum属の一種						
114	ゾウムシ	チビヒョウタンゾウムシ						
115		イコマケシツチゾウムシ						
116		イネゾウムシ						
117		Bagous属の一種						
118		オオミズゾウムシ						
119	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ	1		1			
120	キクイムシ	キクイムシ科の一種						
121	ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種						
122	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の一種						
123	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種						
124	アリバチ	フタホシアリバチ						
125	アリ	オオハリアリ					4	
126		ナカスジハリアリ						
127		ケブカハリアリ						
128		ヤマトアシナガアリ						
129		キイロシリアゲアリ			2			
130		ムネボソアリ						
131		ヒメアリ						
132		カドフシアリ						
133		シワクシケアリ						
134		アズマオオズアリ				4	48	
135		アミメアリ	2	1	42	6	16	17
136		ヒラタウロコアリ				1		
137		トフシアリ				3		7
138		ウロコアリ						
139		トビイロシワアリ						
140		クロオオアリ						
141		クロヤマアリ						
142		トビイロケアリ				1		13
143		アメイロアリ	2	1		3	20	65
144		サクラアリ			14			
145	ケバエ	Plecia属の一種						
146	ショウジョウバエ	Drosophila属の一種	1				2	
合計	44科	146種	13個体 9種	5個体 5種	64個体 8種	25個体 10種	109個体 15種	104個体 6種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産野生生物目録　無脊椎動物編 II」（平成 7 年　環境庁）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

(4) クモ類

1) 確認されたクモ類

確認されたクモ類は、表 2.8.1-43 に示すとおりである。

表 2.8.1-43(1)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
1	ジグモ	ジグモ		○	○	○		○
2		ワスレナグモ		○	○	○	○	○
3	トタテグモ	キノボリトタテグモ	○	○	○	○	○	○
4		キシノウエトタテグモ		○	○	○		○
5	マシラグモ	Falcileptoneta 属の一種		○				○
6	ユウレイグモ	ユウレイグモ			○			○
7	エンマグモ	ミヤグモ		○	○			○
8	タマゴグモ	ダニグモ		○	○	○	○	○
9		ナルトミダニグモ	○	○	○	○	○	
10	センショウグモ	アオグロセンショウグモ			○		○	
11		センショウグモ	○			○		○
12	ホラヒメグモ	コホラヒメグモ			○		○	
13		チビホラヒメグモ	○			○	○	
－		ホラヒメグモ科の一種			○		○	
14	ヒメグモ	アシブトヒメグモ	○		○		○	○
－		Anelosimus 属の一種	○	○	○	○	○	○
15		シロカネイソウロウグモ	○	○		○	○	○
16		オナガグモ	○	○	○	○	○	○
17		ヨツコブヒメグモ	○			○		
18		ヤホシヒメグモ		○				○
19		シモフリミジングモ	○			○		
20		カレハヒメグモ			○	○		○
21		ヤマトコノハグモ			○		○	○
22		ヒシガタグモ		○		○		
23		ムラクモヒシガタグモ	○		○	○	○	○
24		ヨシダミジングモ	○					○
25		ハラナガヒシガタグモ			○	○		○
－		Moneta 属の一種		○				○
26		フタオイソウロウグモ	○	○	○	○	○	○
27		カグヤヒメグモ	○			○		
28		ニホンヒメグモ	○	○				○
29		キヨヒメグモ	○				○	
30		リュウキュウヒメグモ	○			○		
31		オオツリガネヒメグモ	○					○
32		オオヒメグモ	○	○			○	○
－		Parasteatoda 属の一種		○	○	○		○
33		ハラダカツクネグモ	○	○		○		○
34		ツクネグモ	○	○	○	○	○	○
35		アマミミジングモ	○					○
36		キベリミジングモ	○	○	○	○	○	○
37		カニミジングモ	○	○	○	○		○
－		Phycosoma 属の一種			○	○		
38		ムナボシヒメグモ	○		○	○	○	○
39		ヤリグモ	○			○		

表 2.8.1-43(2)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
40	ヒメグモ	ノジマモリヒメグモ			○	○		○
41		クロマルイソウロウグモ	○			○		○
42		ハンゲツオスナキグモ	○	○		○		○
43		ナナホシヒメグモ	○					○
44		スネグロオチバヒメグモ	○	○	○	○	○	○
45		バラギヒメグモ			○		○	
46		コアカクロミジングモ	○	○	○	○	○	○
－		Yaginumena 属の一種	○		○	○	○	○
－		ヒメグモ科の一種	○	○	○			○
47	カラカラグモ	ヤマジグモ	○				○	
48		カラカラグモ		○				○
－		カラカラグモ科の一種	○				○	
49	コツブグモ	ヤマトコツブグモ	○	○			○	
50		ナンブコツブグモ	○			○	○	
－		コツブグモ科の一種			○			○
51	サラグモ	クロケシグモ		○				○
52		サイトウヌカグモ	○		○	○	○	○
53		コバヤシヤミサラグモ			○		○	
54		タマヤミサラグモ	○		○	○		○
55		ザラアカムネグモ		○	○	○		○
56		カマクラヌカグモ			○		○	
57		テナガグモ		○				○
58		ハラジロムナキグモ			○	○	○	○
59		デーニッツサラグモ	○	○	○	○	○	○
60		コデーニッツサラグモ			○	○	○	
61		マルムネヒザグモ	○	○	○	○	○	
62		ノコギリヒザグモ	○	○	○		○	○
63		ハナサラグモ	○			○		
64		ニセアカムネグモ	○			○	○	○
－		Gnathonarium 属の一種			○		○	○
65		ヤマトケズネグモ			○		○	
66		クロナンキングモ	○	○	○	○	○	○
67		スンデファルコサラグモ			○		○	
68		タテヤマテナガグモ	○	○	○	○	○	○
69		チビアカサラグモ	○	○	○	○	○	○
70		ヘリジロサラグモ	○		○	○	○	
－		Neriene 属の一種	○		○	○	○	
71		カントウケシグモ	○					○
72		イマダテテングヌカグモ			○	○		
73		フタエツノヌカグモ			○	○	○	
74		タイリクテングヌカグモ			○			○
75		コテングヌカグモ	○		○	○		○
76		クマダヤマトコナグモ			○	○	○	
77		ヤマトマルサラグモ			○		○	○
78		アリマネグモ	○		○		○	○
79		オオイオリヒメサラグモ	○			○		
80		ヤマトトウジヌカグモ			○	○	○	○
81		ユノハマサラグモ		○	○	○	○	○
82		コトガリアカムネグモ			○			○
83		アトグロアカムネグモ	○		○	○		
84		セスジアカムネグモ	○		○	○	○	○

表 2.8.1-43(3)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
85	サラグモ	オオサカアカムネグモ	○		○	○	○	
－		Ummeliata 属の一種		○	○		○	○
86		チョビヒゲヌカグモ	○			○		
－		サラグモ科の一種	○	○	○	○	○	○
87	アシナガグモ	オオクマヒメドヨウグモ	○	○	○	○	○	○
88		オオシロカネグモ	○	○		○	○	○
89		コシロカネグモ	○					○
90		キララシロカネグモ	○		○	○	○	○
－		Leucauge 属の一種	○	○	○	○	○	○
91		メガネドヨウグモ			○		○	
92		ヨツボシヒメアシナガグモ	○	○	○	○	○	○
93		ヒメアシナガグモ	○	○	○	○	○	○
94		トガリアシナガグモ	○	○	○	○	○	○
95		オナガアシナガグモ			○	○		
96		ヤサガタアシナガグモ	○	○	○	○	○	○
97		アシナガグモ	○	○	○	○	○	○
98		ウロコアシナガグモ	○		○	○		○
－		Tetragnatha 属の一種	○	○	○	○	○	○
99	ジョロウグモ	ジョロウグモ	○	○		○		○
100	コガネグモ	ハツリグモ		○		○		
101		ヌサオニグモ	○	○	○	○	○	○
102		ビジョオニグモ	○	○		○	○	○
103		オガタオニグモ		○	○	○		○
104		アオオニグモ	○	○	○	○	○	○
105		マルヅメオニグモ			○			○
106		オニグモ	○	○	○	○	○	○
－		Araneus 属の一種	○		○			○
107		コガネグモ			○	○	○	○
108		ナガコガネグモ	○	○		○	○	○
109		コガタコガネグモ	○	○		○	○	○
－		Argiope 属の一種		○		○		○
110		ヤマトカナエグモ			○			○
111		ギンメッキゴミグモ	○	○	○	○	○	○
112		ゴミグモ	○	○	○	○	○	○
113		オノゴミグモ	○			○		
114		ヨツデゴミグモ	○	○	○		○	○
－		Cyclosa 属の一種	○			○	○	
115		オオトリノフンダマシ	○					○
116		トリノフンダマシ	○					○
117		シロオビトリノフンダマシ	○			○		○
118		アカイロトリノフンダマシ	○					○
－		Cyrtarachne 属の一種		○	○	○		○
119		トガリオニグモ	○	○	○		○	○
120		キザハシオニグモ	○	○	○	○	○	○
121		シロスジショウジョウグモ	○	○	○	○	○	○
－		Hypsosinga 属の一種		○	○	○		○
122		コガネグモダマシ			○			○
－		Larinia 属の一種		○		○		
123		ナカムラオニグモ	○	○	○	○	○	○
124		ドヨウオニグモ	○	○	○	○	○	○
125		ワキグロサツマノミダマシ	○	○		○	○	○

表 2.8.1-43(4)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
126	コガネグモ	コゲチャオニグモ	○	○		○		○
127		ヤマシロオニグモ	○					○
128		サツマノミダマシ	○					○
－		Neoscona 属の一種	○		○	○	○	○
129		ムツトゲイセキグモ			○	○		
130		サガオニグモ			○	○	○	○
131		カラフトオニグモ		○				○
－		コガネグモ科の一種			○	○		○
132	チリグモ	ヒラタグモ	○	○	○	○		○
133	ウズグモ	オウギグモ	○	○		○	○	○
134		マネキグモ		○	○		○	○
135		カタハリウズグモ	○		○	○	○	○
－		Octonoba 属の一種		○	○	○		○
136	コモリグモ	カガリビコモリグモ			○		○	
137		エビチャコモリグモ	○		○	○	○	○
138		フジイコモリグモ	○		○	○	○	○
139		ヒノマルコモリグモ	○		○	○		○
140		クロココモリグモ	○	○	○	○	○	○
141		ヤスダコモリグモ			○		○	
－		Arctosa 属の一種	○	○	○	○	○	○
142		シッチコモリグモ	○	○	○	○	○	○
143		ハラクロコモリグモ	○	○	○		○	○
－		Lycosa 属の一種		○				○
144		イナダハリゲコモリグモ	○		○	○	○	○
145		ウヅキコモリグモ	○		○	○	○	○
146		カラコモリグモ			○		○	
147		キクヅキコモリグモ	○	○	○	○	○	○
148		テジロハリゲコモリグモ			○		○	
－		Pardosa 属の一種	○	○	○	○	○	○
149		キバラコモリグモ	○	○	○	○	○	○
150		クラークコモリグモ			○			○
151		ミナミコモリグモ	○			○	○	
152		イモコモリグモ	○	○	○	○		○
153		チビコモリグモ	○			○		○
154		コガタコモリグモ	○			○		
－		Piratula 属の一種	○	○	○	○	○	○
155		アライトコモリグモ		○	○	○	○	○
－		Trochosa 属の一種	○	○		○		
－		コモリグモ科の一種	○	○		○	○	
156	キシダグモ	スジボソハシリグモ			○			○
157		キクメハシリグモ			○		○	
158		アオグロハシリグモ		○	○		○	
159		スジブトハシリグモ		○				○
160		イオウイロハシリグモ	○	○	○	○	○	○
－		Dolomedes 属の一種	○			○		○
161		アズマキシダグモ		○	○	○	○	○
162	ササグモ	ササグモ	○			○	○	○
－		Oxyopes 属の一種	○	○	○	○	○	○
163	シボグモ	シボグモ	○	○	○	○	○	○
164	タナグモ	クサグモ	○			○		○
－		Agelena 属の一種			○	○	○	○

表 2.8.1-43(5)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
165	タナグモ	コクサグモ	○	○		○	○	○
166		クロヤチグモ		○	○	○		○
167		アズマヤチグモ		○	○	○	○	○
－		Coelotes 属の一種	○			○	○	○
168		シモフリヤチグモ			○			○
169		ヒタチヤマヤチグモ			○	○		○
－		Tegecoelotes 属の一種	○			○		○
170	ナミハグモ	ムロテナミハグモ			○			○
171		カチドキナミハグモ		○	○	○	○	○
172		ニッパラナミハグモ		○	○		○	
－		Cybaeus 属の一種	○	○	○	○		○
173	ハタケグモ	ハタケグモ			○	○		○
－		Hahnia 属の一種		○				○
174	ハグモ	コタナグモ		○	○		○	○
175		カレハグモ			○		○	○
－		Lathys 属の一種		○	○	○	○	
176	ガケジグモ	ガケジグモ科の一種		○	○	○	○	○
177	ヤマトガケジグモ	ヤマトガケジグモ	○		○	○	○	○
178	コマチグモ	Cheiracanthium 属の一種	○	○	○	○	○	○
179	ツチフクログモ	イタチグモ	○	○	○	○	○	○
180	イヅツグモ	イヅツグモ		○	○	○	○	○
181	ウエムラグモ	コウライタンボグモ			○		○	
182	ウラシマグモ	オトヒメグモ	○	○	○	○	○	○
183		Phrurolithus 属の一種		○	○	○	○	○
184	フクログモ	ヤマトフクログモ	○	○	○	○	○	○
185		ヒメフクログモ	○	○	○	○	○	○
186		トビイロフクログモ			○	○	○	
187		ムナアカフクログモ	○					○
188		ヤギヌマフクログモ	○					○
－		Clubiona 属の一種	○	○	○	○	○	○
189	ハチグモ	オビジガバチグモ	○		○	○	○	
190	ネコグモ	ネコグモ		○	○	○	○	○
191	ホウシグモ	ドウシグモ		○	○	○		○
192	ワシグモ	チャクロワシグモ			○	○		○
193		ヒメチャワシグモ	○					○
194		トラフワシグモ		○			○	
195		エビチャヨリメケムリグモ			○	○	○	○
196		メキリグモ	○		○		○	○
－		Gnaphosa 属の一種	○	○	○	○	○	○
197		ヨツボシワシグモ			○	○	○	
198		ヒゲナガツヤグモ	○		○	○		○
199		ヤマトツヤグモ	○			○		
200		ヤマトフトバワシグモ			○			○
201		クロチャケムリグモ		○	○	○	○	○
－		ワシグモ科の一種	○	○	○	○	○	○
202	アシダカグモ	コアシダカグモ			○			○
203	エビグモ	キハダエビグモ		○	○			○
204		アサヒエビグモ	○			○		
－		Philodromus 属の一種		○	○	○	○	○
205		ヤドカリグモ	○	○	○	○	○	○

表 2.8.1-43(6)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
206	エビグモ	シャコグモ	○		○	○	○	○
－		Tibellus 属の一種		○	○	○	○	○
207	カニグモ	キハダカニグモ	○	○	○	○	○	○
208		コカニグモ		○				○
209		コハナグモ	○	○	○	○	○	○
210		ハナグモ	○	○	○	○	○	○
211		ワカバグモ	○	○	○	○	○	○
212		マツモトオチバカニグモ	○		○	○	○	○
213		ニッポンオチバカニグモ		○	○	○	○	○
－		Ozyptila 属の一種	○	○	○	○	○	○
214		ガザミグモ	○	○	○			○
215		アズチグモ	○	○		○	○	○
216		トラフカニグモ		○	○	○	○	○
－		Tmarus 属の一種	○		○	○		○
217		ヤミイロカニグモ			○	○	○	○
218		クロボシカニグモ	○	○	○		○	○
219		チシマカニグモ	○		○		○	○
220		ゾウシキカニグモ	○			○		○
221		ヨコフカニグモ		○		○		○
－		Xysticus 属の一種	○	○	○	○	○	○
222	ハエトリグモ	ヤマジハエトリ	○	○	○		○	○
223		マツモトハエトリ		○	○	○	○	○
224		ネコハエトリ	○		○	○	○	○
225		カタオカハエトリ	○			○		
226		マミジロハエトリ	○	○	○	○	○	○
－		Evarcha 属の一種		○				○
227		ウデブトハエトリ	○	○	○	○	○	○
228		コジャバラハエトリ	○	○	○	○	○	○
－		Helicius 属の一種	○		○	○	○	
229		エキスハエトリ		○		○		
230		オオハエトリ		○				○
231		ヨダンハエトリ	○	○	○	○	○	○
232		オスクロハエトリ		○				○
233		ヤハズハエトリ	○	○	○	○	○	○
－		Mendoza 属の一種	○	○	○	○		○
234		シラヒゲハエトリ		○				○
235		タイリクアリグモ	○	○	○	○	○	○
236		ヤサアリグモ	○					○
237		アリグモ	○		○	○		○
238		クワガタアリグモ	○			○		○
－		Myrmarachne 属の一種	○	○	○	○	○	○
239		コガタネオンハエトリ			○			○
－		Neon 属の一種			○	○	○	○
240		チャイロアサヒハエトリ	○			○		○
241		メガネアサヒハエトリ	○	○	○	○	○	○
－		Phintella 属の一種	○	○	○	○	○	○
242		デーニッツハエトリ	○	○	○	○	○	○
243		ミスジハエトリ	○	○				○
244		ヒメカラスハエトリ	○	○	○		○	○

表 2.8.1-43(7)　確認されたクモ類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
245	ハエトリグモ	カラスハエトリ	○	○		○		○
－		Rhene 属の一種	○	○	○	○		○
246		キレワハエトリ	○		○	○	○	○
－		Sibianor 属の一種	○			○		
247		アオオビハエトリ	○	○	○	○		○
248		Sitticus 属の一種	○			○		
－		ハエトリグモ科の一種		○	○	○	○	○
合計	41 科	248 種	160 種	135 種	176 種	172 種	150 種	195 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「日本産クモ類目録」（平成 27 年　谷川明男）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

(5) 魚類

1) 魚類調査地点概要

魚類調査地点概要は、表 2.8.1-44 に示すとおりである。

表 2.8.1-44(1)　魚類調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
1	取香川に流入する 2 面又は 3 面のコンクリート護岸の水路。幅約 2m。		2	取香川（小菅橋付近）。一部 2 面コンクリート護岸。幅約 10m。	
3	取香川に流入する 2 面又は 3 面のコンクリート護岸の水路。幅約 1m。		4	荒海川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
6	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。		7	荒海川に流入する素掘りの水路。幅約 1m。	
8	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		9	尾羽根川。一部 2 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
10	尾羽根川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。		11	尾羽根川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
14	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 1m。		16	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
17	高谷川。3 面コンクリート護岸。幅約 2m		18	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	

表 2.8.1-44(2)　魚類調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
19	高谷川。3 面コンクリート護岸。幅約 3m。		20	浅川。素掘り。幅約 1m。	
21	グリーンポート　エコ・アグリパーク内の水域。		22	浅川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。	
23	浅川（浅川橋付近）。3 面コンクリート護岸。幅約 3.5m。		24	高谷川（白桝橋付近）。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 4m。	
25	富里ゴルフ倶楽部の調整池。素掘り。高谷川に流入する。		26	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1.5m。	
27	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。		28	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。	
29	高谷川本流。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 5m。		30	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	
31	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		32	空港区域内の調整池。コンクリート護岸。	
33	溜池。素掘り。荒海川に流入する。		34	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	

表 2.8.1-44(3)　魚類調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
36	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		37	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	
38	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		39	多古橋川（はやししんばし）。素掘り。幅約 5m。	
40	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.3m。		41	溜池（佐野池）。素掘り。多古橋川に流入する。	
42	溜池（大原池）。素掘り。多古橋川に流入する。		43	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.5m。	
44	溜池（井野池）。素掘り。多古橋川に流入する。		45	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。井野池の下流にあたる。幅約 0.5m。	
46	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.3m。		47	空港区域内の調整池（三里塚さくらの丘付近）。コンクリート護岸。	
49	空港区域内の調整池。滞水池と連続がある。堤はコンクリート。他は素掘り。		50	取香川（新空港自動車道陸橋下）。多自然型護岸。幅約 10m。	
52	空港区域内の滞水池。一部はコンクリート護岸。		－	－	－

※　欠番となっている調査地点の No.5、No.12、No.13、No.15、No.35、No.48、No.50、No.51 については予備の地点として設定したものであり、調査は未実施である。

2) 確認された魚類

確認された魚類は、表 2.8.1-45 に示すとおりである。

表 2.8.1-45(1)　確認された魚類（地点 No.1、No.2、No.3、No.4）

No.	科名	種名（和名）	No. 1 取香川 水路			No. 2 取香川 河川			No. 3 取香川 水路			No. 4 荒海川 河川		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ				1								
3	コイ	コイ				4								
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ	7	24	8									
7		タイリクバラタナゴ											13	1
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ				3	1	5						
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ	1	1	2	10	6							
11		タモロコ		2	2			1		1		10	1	
12		カマツカ												
13		ツチフキ												
14		ニゴイ				1								
15	ドジョウ	ドジョウ	5	18	20	3	5	2	8	4	2	18	100	6
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ												
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ					1							
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ	4	13	3	2						20	7	
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス				1								
26	ハゼ	ウキゴリ												
27		マハゼ						1						
28		旧トウヨシノボリ類の一種	12	21	27	18	6	1		2	2	20	5	1
合計	13科	28種	5種	6種	6種	9種	5種	5種	1種	3種	2種	4種	5種	3種

表 2.8.1-45(2)　確認された魚類（地点 No.6、No.7、No.8、No.9）

No.	科名	種名（和名）	No. 6 荒海川 水路			No. 7 荒海川 水路			No. 8 荒海川 水路			No. 9 尾羽根川 河川		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ												
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ				9	5							
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ										1	9	20
9		ウグイ属の一種												2
10		モツゴ											1	2
11		タモロコ				3						12	12	100
12		カマツカ											1	3
13		ツチフキ											1	2
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ	50	100	26	12	50		26	10	4	13	10	13
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ												
18	ギギ	ギバチ										14	2	2
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ												
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス												
26	ハゼ	ウキゴリ										1		
27		マハゼ											2	
28		旧トウヨシノボリ類の一種	6			7	5	2			2		4	5
合計	13科	28種	2種	1種	1種	4種	3種	1種	1種	1種	2種	5種	9種	9種

表 2.8.1-45(3)　確認された魚類（地点 No.10、No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名（和名）	No. 10 尾羽根川 河川			No. 11 尾羽根川 河川			No. 14 高谷川 河川			No. 16 高谷川 河川		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ												
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ			1									
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ		2										
11		タモロコ		2	12	1	16	2				12	50	5
12		カマツカ											1	2
13		ツチフキ												
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ	8	29	11	50	4	7	43	50	6	29	30	4
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ							19	6	1	2	6	
18	ギギ	ギバチ	4	2										
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ	3	3	2									
23	メダカ	ミナミメダカ											1	1
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス												
26	ハゼ	ウキゴリ										1		
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種		2			1		1			9	11	11
合計	13科	28種	3種	6種	4種	2種	3種	2種	3種	2種	2種	5種	6種	5種

表 2.8.1-45(4)　確認された魚類（地点 No.17、 No.18、 No.19、 No.20）

No.	科名	種名（和名）	No. 17 高谷川 河川			No. 18 高谷川 水路			No. 19 高谷川 河川			No. 20 浅川 河川		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種											5	1
-		カワヤツメ属の一種										6	100	30
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ							3					
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種							2				1	
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ							3					
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ				1			2	1			1	
11		タモロコ	30	27	5	30		11	14	18	3	10	39	28
12		カマツカ							3		1			
13		ツチフキ												
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ	60	16	12	30	2	11	16	31	11	5	21	35
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ	1	1		1								
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ							1					
21	サケ	サケ								4				
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ								4			5	
24	タウナギ	タウナギ（本土産）				4								
25	サンフィッシュ	オオクチバス							1					
26	ハゼ	ウキゴリ	2						1	2				
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種	3	2	2	6	1	2	2	5	1	1	6	1
合計	13科	28種	5種	4種	3種	6種	2種	3種	11種	7種	4種	4種	7種	4種

表 2.8.1-45(5)　確認された魚類（地点 No.21、 No.22、 No.23、 No.24）

No.	科名	種名（和名）	No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク			No. 22 浅川 水路			No. 23 浅川 河川			No. 24 高谷川 河川		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種					1							
-		カワヤツメ属の一種					10							
2	ウナギ	ニホンウナギ									1	1		
3	コイ	コイ					1		1			2	2	
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種										1		
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ									3			
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ										2	2	
11		タモロコ					1		38	6	6	27	29	6
12		カマツカ							1	4				
13		ツチフキ												
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ	15		2	30	13		4	3	3	9	2	9
16		ヒガシシマドジョウ					1							
17		ホトケドジョウ							1					
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ											1	
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ											1	
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ				20			1	2		5	27	9
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス							7	1			1	
26	ハゼ	ウキゴリ							17	4	1	3	4	1
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種				13	23		4	8	5	7	4	3
合計	13科	28種	1種	0種	1種	3種	6種	0種	9種	7種	6種	9種	10種	5種

表 2.8.1-45(6)　確認された魚類（地点 No.25、 No.26、 No.27、 No.28）

No.	科名	種名（和名）	No. 25 富里ゴルフ倶楽部調整池			No. 26 高谷川水路			No. 27 高谷川水路			No. 28 高谷川水路		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ										4	8	
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ												
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ												
11		タモロコ							50	7	25	50	7	1
12		カマツカ												
13		ツチフキ												
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ				24	2	6	10	20	8	16	5	1
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ												
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ											1	1
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ							30		2	30	20	
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス	11	1	1									
26	ハゼ	ウキゴリ							1	1		6	4	
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種					6		5		1	12	5	10
合計	13科	28種	1種	1種	1種	1種	2種	1種	5種	3種	4種	6種	7種	4種

表 2.8.1-45(7)　確認された魚類（地点 No.29、 No.30、 No.31、 No.32）

No.	科名	種名（和名）	No. 29 高谷川河川			No. 30 高谷川水路			No. 31 高谷川水路			No. 32 空港区域調整池		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ	3	4								22	1	
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ	3											
5		ギンブナ	1											
-		フナ属の一種	12											
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種		7										
8		オイカワ	3	2										
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ	3											1
11		タモロコ	40	6	1									
12		カマツカ	19	1										
13		ツチフキ												
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ	5	5	2	13	10		100	59	50		1	
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ												
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ		15	1									
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス	3											
26	ハゼ	ウキゴリ	4	4										
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種	1	6	3	11	2	1	2	7	15			
合計	13科	28種	11種	9種	4種	2種	2種	1種	2種	2種	2種	1種	2種	1種

表 2.8.1-45(8)　確認された魚類（地点 No.33、 No.34、 No.36、 No.37）

No.	科名	種名（和名）	No. 33 荒海川 溜池			No. 34 荒海川 水路			No. 36 多古橋川 水路			No. 37 多古橋川 水路		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種							1					7
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ							1			1	1	
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ	2			100								
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ												
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ							3	1		1		1
11		タモロコ							12	1		12	9	11
12		カマツカ												
13		ツチフキ											2	
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ				1	1		13	20	14	27	100	50
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ								2				
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ				1			12	7	4	6		
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス												
26	ハゼ	ウキゴリ												
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種	500	31	5	4	6	2		1		6	11	23
合計	13科	28種	2種	1種	1種	4種	2種	1種	6種	6種	2種	6種	5種	5種

表 2.8.1-45(9)　確認された魚類（地点 No.38、 No.39、 No.40、 No.41）

No.	科名	種名（和名）	No. 38 多古橋川 水路			No. 39 多古橋川 河川			No. 40 多古橋川 水路			No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ	2			3								
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ	2											
-		フナ属の一種	1				1					1		
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ				19		7						
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ				2								
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ	6		1	14	19	27	2	2	3	150	62	4
11		タモロコ	50	5	50	78	74	43	50	8	3		4	
12		カマツカ				8								
13		ツチフキ				30	11	1	1					
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ	100	100	50	15	1	13	100	100	30			
16		ヒガシシマドジョウ	50	50	33			1	20	16	7			
17		ホトケドジョウ							1					
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ				50	7	50				1	14	18
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス												
26	ハゼ	ウキゴリ			1	2		1						
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種	3	7	7	6	11	7	3	8	6	13	8	18
合計	13科	28種	7種	4種	6種	11種	7種	9種	7種	5種	5種	4種	4種	3種

表 2.8.1-45(10)　確認された魚類（地点 No.42、 No.43、 No.44、 No.45）

No.	科名	種名（和名）	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）			No. 43 多古橋川 水路			No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			No. 45 多古橋川 水路		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ												
-		コイ（飼育品種）	4	1					1	7				
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ												
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ	21	81	8									
11		タモロコ							24					
12		カマツカ												
13		ツチフキ												
14		ニゴイ												
15	ドジョウ	ドジョウ				32	9	50				2	2	1
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ						3						
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ												
24	タウナギ	タウナギ（本土産）												
25	サンフィッシュ	オオクチバス												
26	ハゼ	ウキゴリ												
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種	20	15		1	2	4	31	100	12	1	1	
合計	13科	28種	3種	3種	1種	2種	2種	3種	3種	2種	1種	2種	2種	1種

表 2.8.1-45(11)　確認された魚類（地点 No.46、 No.47、 No.49、 No.50）

No.	科名	種名（和名）	No. 46 高谷川 水路			No. 47 空港区域 調整池			No. 49 空港区域 調整池			No. 50 取香川 河川		
			夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬	夏	秋	冬
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種												
-		カワヤツメ属の一種												
2	ウナギ	ニホンウナギ												
3	コイ	コイ										5	1	
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ												
-		フナ属の一種												
6		ヤリタナゴ												
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ												
9		ウグイ属の一種										8		
10		モツゴ							500	14	24	1		
11		タモロコ							1	3	8			
12		カマツカ												
13		ツチフキ												
14		ニゴイ										3		
15	ドジョウ	ドジョウ	9	14	1							4	3	4
16		ヒガシシマドジョウ												
17		ホトケドジョウ												
18	ギギ	ギバチ												
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ							1	12	4			
24	タウナギ	タウナギ（本土産）								1				
25	サンフィッシュ	オオクチバス				1	8					15		
26	ハゼ	ウキゴリ												
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種		1					10	2		30	5	7
合計	13科	28種	1種	2種	1種	1種	1種	0種	4種	5種	3種	7種	3種	2種

表 2.8.1-45(12)　確認された魚類（地点 No.52、踏査、個体数推定調査）

No.	科名	種名（和名）	No. 52			踏査			個体数推定調査					
			空港区域 滞水池			調査 区域A	調査 区域B	調査 区域C	調査 区域A		調査 区域B		調査 区域C	
			夏	秋	冬	春	春	春	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ類の一種						2						
-		カワヤツメ属の一種						43						
2	ウナギ	ニホンウナギ						1						
3	コイ	コイ		3	1	1		6						
-		コイ（飼育品種）												
4		ゲンゴロウブナ												
5		ギンブナ		4										
-		フナ属の一種	2	2				4						
6		ヤリタナゴ				8								
7		タイリクバラタナゴ												
-		タナゴ亜科の一種												
8		オイカワ						1						
9		ウグイ属の一種												
10		モツゴ	500	220	200		1	14					20	430
11		タモロコ	80	110		18		131						22
12		カマツカ						4						
13		ツチフキ												
14		ニゴイ				1		1						
15	ドジョウ	ドジョウ				17	90	879			10	149	1887	672
16		ヒガシシマドジョウ						1						
17		ホトケドジョウ				1	2	218					288	118
18	ギギ	ギバチ					2							
19	ナマズ	ナマズ												
20	アユ	アユ												
21	サケ	サケ												
22	カダヤシ	カダヤシ												
23	メダカ	ミナミメダカ	50	2	200	4		177					1110	361
24	タウナギ	タウナギ（本土産）	1					1						3
25	サンフィッシュ	オオクチバス				1		1						
26	ハゼ	ウキゴリ						74						
27		マハゼ												
28		旧トウヨシノボリ類の一種	100	5	6	9	41	347						17
合計	13科	28種	6種	6種	4種	9種	5種	17種	0種	0種	1種	1種	4種	7種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

(6) 底生動物

1) 底生動物調査地点概要

底生動物調査地点概要は、表 2.8.1-46 に示すとおりである。

表 2.8.2-46(1)　底生動物調査地点概要

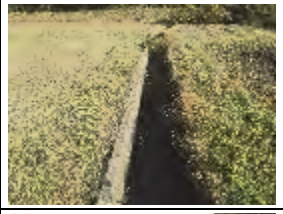
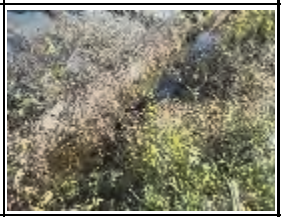
No.	地点概要		No.	地点概要	
1	取香川に流入する 2 面又は 3 面のコンクリート護岸の水路。幅約 2m。		2	取香川（小菅橋付近）。一部 2 面コンクリート護岸。幅約 10m。	
3	取香川に流入する 2 面又は 3 面のコンクリート護岸の水路。幅約 1m。		4	荒海川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
6	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。		7	荒海川に流入する素掘りの水路。幅約 1m。	
8	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		9	尾羽根川。一部 2 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
10	尾羽根川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。		11	尾羽根川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
14	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 1m。		16	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
17	高谷川。3 面コンクリート護岸。幅約 2m		18	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	

表 2.8.2-46(2)　底生動物調査地点概要

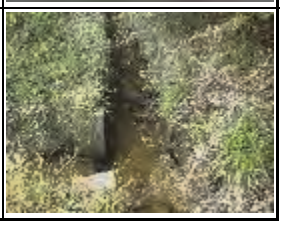
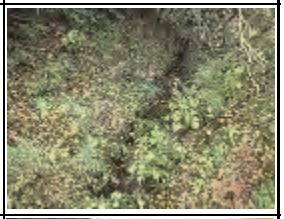
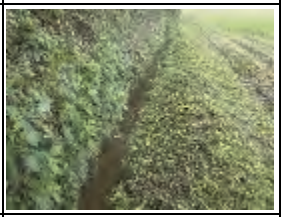
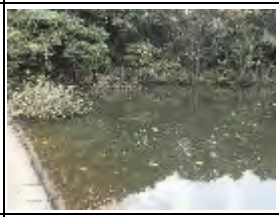
No.	地点概要		No.	地点概要	
19	高谷川。3 面コンクリート護岸。幅約 3m。		20	浅川。素掘り。幅約 1m。	
21	グリーンポート　エコ・アグリパーク内の水域。		22	浅川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。	
23	浅川（浅川橋付近）。3 面コンクリート護岸。幅約 3.5m。		24	高谷川（白桝橋付近）。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 4m。	
25	富里ゴルフ倶楽部の調整池。素掘り。高谷川に流入する。		26	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1.5m。	
27	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。		28	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。	
29	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 5m。		30	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	
31	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		32	空港区域内の調整池。コンクリート護岸。	
33	溜池。素掘り。荒海川に流入する。		34	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	

表 2.8.2-46(3)　底生動物調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
36	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		37	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	
38	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		39	多古橋川（はやししんばし）。素掘り。幅約 5m。	
40	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.3m。		41	溜池（佐野池）。素掘り。多古橋川に流入する。	
42	溜池（大原池）。素掘り。多古橋川に流入する。		43	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.5m。	
44	溜池（井野池）。素掘り。多古橋川に流入する。		45	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。井野池の下流にあたる。幅約 0.5m。	
46	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.3m。		47	空港区域内の調整池（三里塚さくらの丘付近）。コンクリート護岸。	
49	空港区域内の調整池。滞水池と連続がある。堤はコンクリート。他は素掘り。		50	取香川（新空港自動車道陸橋下）。多自然型護岸。幅約 10m。	
52	空港区域内の滞水池。一部はコンクリート護岸。		－	－	－

※　欠番となっている調査地点の No.5、No.12、No.13、No.15、No.35、No.48、No.50、No.51 については予備の地点として設定したものであり、調査は未実施である。

2) 確認された底生動物

確認された底生動物は、表 2.8.1-47 に示すとおりである。

表 2.8.1-47(1)　確認された底生動物

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1	タンスイカイメン	カワカイメン				○			○
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ	○	○		○	○	○	○
－	－	三岐腸目の一種	○	○	○	○		○	○
3	マミズヒモムシ	Prostoma 属の一種			○			○	○
4	タニシ	マルタニシ	○	○		○			○
5		オオタニシ	2			○			○
6		ヒメタニシ	○	○	○	○		○	○
7	カワニナ	カワニナ	○	○	○	○	○	○	○
8		チリメンカワニナ	○	○	○	○	○	○	○
9	ミズツボ	コモチカワツボ			○	○			○
10	カワコザラガイ	カワコザラガイ	○			○		○	○
11	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	○		○	○	○		○
12		コシダカヒメモノアラガイ	○	○	○	○	○	○	○
13		ハブタエモノアラガイ	○	○	○	○	○	○	○
－		モノアラガイ科の一種			○	○	○	○	○
14	サカマキガイ	サカマキガイ	○	○	○	○	○	○	○
15	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ	○						○
－		ヒラマキガイ科の一種	○	○		○			○
16	イガイ	カワヒバリガイ	○		○	○		○	○
17	イシガイ	ヌマガイ				○			○
18		タガイ				○			○
－		Sinanodonta 属の一種		○	○				○
19		ヨコハマシジラガイ		○	○	○	○		
20		マツカサガイ	○						○
21		イシガイ	○	○			○	○	○
22	シジミ	Corbicula 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
23	マメシジミ	Pisidium 属の一種	○			○	○		○
24	ドブシジミ	ドブシジミ	○			○			○
25	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
26	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種		○	○			○	○
27	ミズミミズ	エラオイミズミミズ			○		○		
28		エラミミズ	○	○	○	○	○	○	○
29		*Haemonais aldvogeli*			○				○
30		モトムラユリミミズ			○	○			○
31		ユリミミズ	○	○	○	○	○	○	○
－		Limnodrilus 属の一種		○			○		
32		ハリミズミミズ			○	○		○	○
33		ミツゲミズミミズ			○			○	
34		ナミミズミミズ		○	○	○	○	○	○
－		Nais 属の一種		○	○	○	○	○	○
35		クロオビミズミミズ				○			○
36		Paranais 属の一種			○				○
37		ヨゴレミズミミズ			○	○	○	○	○
－		イトミミズ亜科の一種	○	○	○	○	○	○	○
38	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種	○	○	○	○	○	○	○

表 2.8.1-47(2)　確認された底生動物

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
39	フトミミズ	フトミミズ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
40	ヒラタビル	ハバヒロビル	○	○					○
41		ヌマビル	○			○	○		○
42	ヘモピ	セスジビル	○	○	○	○		○	○
43	イシビル	シマイシビル	○	○	○	○			○
－		イシビル科の一種	○	○	○	○	○	○	○
44	ナガレビル	キバビル	○	○	○	○	○	○	○
－		ナガレビル科の一種		○	○	○			○
45	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ		○	○	○	○	○	○
46	アゴナガヨコエビ	Sternomoera 属の一種	○	○				○	○
47	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ		○	○	○	○	○	○
－		Jesogammarus 属の一種	○	○		○	○	○	○
48	ハマトビムシ	Platorchestia 属の一種	○		○	○	○	○	○
49	ミズムシ(甲)	ミズムシ	○	○	○	○	○	○	○
50	ヌマエビ	Neocaridina 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
51		ヌマエビ	○	○	○	○			○
52		ヌカエビ	○	○	○	○	○	○	○
53	テナガエビ	ヒラテテナガエビ	○	○					○
54		テナガエビ	○	○	○	○	○	○	○
55		スジエビ	○	○	○	○	○	○	○
56	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	○	○	○	○	○	○	○
57	サワガニ	サワガニ	○	○	○	○	○	○	○
58	モクズガニ	モクズガニ	○	○		○			○
59	コカゲロウ	サホコカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○
60		フタモンコカゲロウ		○	○	○	○	○	○
61		シロハラコカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○
62		Cloeon 属の一種	○	○		○	○	○	○
63		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○
64		Procloeon 属の一種	○						○
65		ウデマガリコカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○
66	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ			○	○			○
67	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ	○		○	○			○
－		Cincticostella 属の一種		○					○
68		イシワタマダラカゲロウ	○			○			○
69	アオイトトンボ	Lestes 属の一種				○			○
70	イトトンボ	Ischnura 属の一種	○	○	○	○			○
71		Paracercion 属の一種		○	○	○			○
－		イトトンボ科の一種	○	○		○	○	○	○
72	カワトンボ	ニホンカワトンボ	○	○	○	○	○	○	○
－		Mnais 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
－		カワトンボ科の一種		○	○	○	○	○	○
73	ヤンマ	ギンヤンマ	○	○	○		○		○
－		Anax 属の一種	○	○					○
74	サナエトンボ	ヤマサナエ	○	○	○	○	○	○	○
75		キイロサナエ	○	○	○	○	○	○	○
－		Asiagomphus 属の一種			○	○		○	○
76		オナガサナエ				○		○	
77		コオニヤンマ	○	○	○	○	○	○	○
78		コサナエ	○	○		○			○
79	オニヤンマ	オニヤンマ	○	○	○	○	○	○	○
80	エゾトンボ	オオヤマトンボ	○	○		○	○		○
81		コヤマトンボ		○		○	○		

表 2.8.1-47(3)　確認された底生動物

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
82	トンボ	ショウジョウトンボ	○				○		
83		コフキトンボ		○			○		
84		シオカラトンボ	○	○	○	○	○	○	○
85		シオヤトンボ	○	○			○		○
86		オオシオカラトンボ	○	○		○	○	○	○
87		コシアキトンボ	○	○		○	○		○
88		マユタテアカネ	○						○
89	オナシカワゲラ	Amphinemura 属の一種	○			○			○
90		Nemoura 属の一種	○		○	○	○	○	○
91	アミメカワゲラ	Isoperla 属の一種			○	○		○	○
－		アミメカワゲラ科の一種			○				○
92	アメンボ	アメンボ	○	○		○	○	○	○
93		ヒメアメンボ	○			○	○	○	○
94		コセアカアメンボ	○			○	○		○
95		シマアメンボ	○	○	○	○	○	○	○
96		トガリアメンボ	○						○
－		アメンボ科の一種	○						○
97	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ		○					○
98		ヒメイトアメンボ	○		○	○	○		○
99	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ				○			○
100		ナガレカタビロアメンボ	○	○	○	○	○	○	○
101	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ	○	○		○	○	○	○
－		ミズギワカメムシ科の一種				○		○	
102	ミズムシ(昆)	クロチビミズムシ	○				○		
103		ハイイロチビミズムシ	○				○	○	○
－		Micronecta 属の一種				○			○
104		エサキコミズムシ	○	○	○	○	○	○	○
－		Sigara 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
－		ミズムシ科の一種(昆)				○		○	○
105	メミズムシ	メミズムシ	○			○		○	
106	コオイムシ	コオイムシ	○	○		○		○	○
107	タイコウチ	タイコウチ	○	○		○	○		○
108		ミズカマキリ	○					○	
109	マツモムシ	コマツモムシ	○	○			○	○	○
110		マツモムシ	○	○	○	○	○	○	○
111	センブリ	センブリ科の一種		○	○		○		○
112	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ				○			○
113	ムネカクトビケラ	Ecnomus 属の一種	○	○		○	○		○
114	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ	○	○	○	○	○	○	○
－		Cheumatopsyche 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
115		ウルマーシマトビケラ	○	○	○	○	○	○	○
－		Hydropsyche 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
116	クダトビケラ	Psychomyia 属の一種	○	○		○	○	○	○
117		Tinodes 属の一種	○		○		○	○	○
－		クダトビケラ科の一種		○		○		○	
118	ヒメトビケラ	Hydroptila 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
119	ナガレトビケラ	Rhyacophila 属の一種	○						○
120	コエグリトビケラ	Apatania 属の一種			○	○			○
121	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	○	○	○	○	○	○	○
122	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ			○	○			○
－		Lepidostoma 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
123	ヒゲナガトビケラ	Mystacides 属の一種	○				○		

表 2.8.1-47(4)　確認された底生動物

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
124	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				○	○	○	○
－		Nothopsyche 属の一種			○				○
125	ケトビケラ	Gumaga orientalis		○	○	○			○
126	ツトガ	キオビミズメイガ		○	○	○			○
127	ガガンボ	Antocha 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
128		Dicranota 属の一種	○		○	○	○	○	○
129		Limnophila 属の一種		○	○	○	○	○	○
130		Pedicia 属の一種			○			○	
131		Scleroprocta 属の一種		○		○			○
132		Tipula 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
－		ガガンボ科の一種		○		○		○	○
133	チョウバエ	Psychoda 属の一種				○			○
134	コシボソガガンボ	Bittacomorphella 属の一種			○		○		
135		Ptychoptera 属の一種	○			○	○		○
136	ヌカカ	ヌカカ科の一種			○	○	○		○
137	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種	○	○	○			○	○
138	ユスリカ	Benthalia 属の一種		○	○	○		○	○
139		Brillia 属の一種		○	○	○	○	○	○
140		Cardiocladius 属の一種				○		○	○
141		Chaetocladius 属の一種		○				○	
142		Chironomus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
143		Cladotanytarsus 属の一種	○		○	○	○	○	○
144		Conchapelopia 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
145		Corynoneura 属の一種		○	○	○	○	○	○
146		Cricotopus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
147		Cryptochironomus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
148		Dicrotendipes 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
149		フタエユスリカ			○		○	○	○
150		Einfeldia 属の一種	○	○	○	○	○		○
151		Endochironomus 属の一種		○	○		○		○
152		Eukiefferiella 属の一種			○				○
153		Glyptotendipes 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
154		Heterotrissocladius 属の一種				○			○
155		Hydrobaenus 属の一種		○	○			○	○
156		Macropelopia 属の一種			○	○	○	○	○
157		Micropsectra 属の一種	○	○	○	○		○	○
158		Microtendipes 属の一種	○		○	○	○	○	○
159		Monodiamesa 属の一種			○				○
160		Natarsia 属の一種		○	○	○	○	○	○
161		Orthocladius 属の一種		○	○	○	○	○	○
162		Parametriocnemus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
163		Paratendipes 属の一種	○		○	○	○	○	○
164		Phaenopsectra 属の一種	○		○	○	○	○	○
165		Polypedilum 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
166		Potthastia 属の一種		○	○	○		○	○
167		Procladius 属の一種	○		○	○			○
168		Prodiamesa 属の一種			○	○		○	○
169		アカムシユスリカ			○				○
170		Psectrocladius 属の一種				○	○	○	○
171		Rheocricotopus 属の一種	○	○		○	○	○	○
172		Rheopelopia 属の一種		○	○	○		○	○
173		Rheotanytarsus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○

表 2.8.1-47(5)　確認された底生動物

No.	科名	種名（和名）	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
174	ユスリカ	Saetheria 属の一種		○		○	○	○	○
175		Stictochironomus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
176		Tanypus 属の一種	○	○	○	○	○		○
177		Tanytarsus 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
178		Thienemanniella 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
179		Tokunagaia 属の一種				○	○		
180		Tvetenia 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
－		モンユスリカ亜科の一種	○	○	○	○	○	○	○
－		エリユスリカ亜科の一種		○	○	○	○		○
－		ユスリカ亜科の一種				○			○
－		ユスリカ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
181	カ	Anopheles 属の一種	○				○		○
182		Culex 属の一種	○	○			○	○	
－		カ科の一種			○	○			○
183	ホソカ	Dixa 属の一種	○	○	○	○	○	○	○
184	ブユ	Eusimulium 属の一種	○		○	○	○	○	○
185		Simulium 属の一種		○	○	○	○	○	○
186	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ		○		○			○
187	ミズアブ	Odontomyia 属の一種	○			○	○	○	○
188	アブ	アブ科の一種	○		○	○			○
189	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ	○	○	○		○	○	○
190		ホソセスジゲンゴロウ	○				○		
191		ハイイロゲンゴロウ	○					○	
192		コシマゲンゴロウ	○	○		○	○	○	○
193		チビゲンゴロウ	○			○	○		○
194		オオヒメゲンゴロウ	○		○		○	○	
195		ヒメゲンゴロウ	○	○	○	○	○	○	○
－		ゲンゴロウ科の一種				○		○	○
196	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	○	○		○	○	○	○
197	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ	○				○		
198	ダルマガムシ	Hydraena 属の一種			○			○	
199	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ	○			○			○
200		トゲバゴマフガムシ	○			○	○	○	○
201		ゴマフガムシ	○	○		○		○	○
202		ヒメセマルガムシ				○		○	
203		キベリヒラタガムシ	○				○	○	○
204		フタホシヒラタガムシ	○	○		○	○	○	○
205		コガムシ	○			○		○	○
206		ヒメガムシ	○	○		○	○	○	○
207	ヒメドロムシ	Optioservus 属の一種		○					○
208		Zaitzevia 属の一種		○	○	○	○	○	○
209		Zaitzeviaria 属の一種		○	○	○	○	○	○
210	ナガハナノミ	Paralichas 属の一種			○	○		○	○
－		ナガハナノミ科の一種	○	○				○	○
211	ホタル	ゲンジボタル	○	○	○	○		○	○
合計	90 科	211 種	143 種	128 種	134 種	167 種	134 種	135 種	190 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

3) 定量採集調査結果

定量採集調査結果は、表 2.8.1-48～表 2.8.1-62 に示すとおりである。

表 2.8.1-48(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名（和名）	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ		3	1							3	3	7
5		チリメンカワニナ										8		1
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種			6				1		29	101	17	84
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ												
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ												
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ			1								46	
-		Nais属の一種												1
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ								4				
－		イトミミズ亜科の一種					6	1	3		6		6	1
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル					1							
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ											2	
－		Jesogammarus属の一種				1								24
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）											1	
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ		5										
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ					1				4			
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
41		フタモンコカゲロウ												1
42		シロハラコカゲロウ	28			3								
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ							1					
45		ウデマガリコカゲロウ												
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ		1										
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種					1			1				
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種	2			30		1					1	2
62		ウルマーシマトビケラ				2					1			
－		Hydropsyche属の一種									1			
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												

表 2.8.1-48(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名（和名）		No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			1										
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種				1									
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種						1							
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ													2
－		Nothopsyche属の一種													
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis													
73	ツトガ	キオビミズメイガ													
74	ガガンボ	Antocha属の一種			1										
75		Dicranota属の一種													
76		Limnophila属の一種													
77		Tipula属の一種													
78	チョウバエ	Psychoda属の一種													
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種													
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種								1					
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種				1									
89		Cricotopus属の一種					2								
90		Cryptochironomus属の一種								4		5			
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ												3	
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Eukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Microspectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				3				17	2			4	
104		Parametriocnemus属の一種				4									
105		Paratendipes属の一種						2				1			
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種		2			3	6		1		6			
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													1
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種		5		1	8			3					
115		Saetheria属の一種													1
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種						3		56	9	1		1	
119		Thienemanniella属の一種		1										4	
120		Tvetenia属の一種					3								
－		モンユスリカ亜科の一種						1							
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種		1											
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種				1	52								
124		Simulium属の一種													
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種				2							1		
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	39	11	21	104	22	2	87	16	54	113	88	125
			湿重量(mg)	31	4369	7287	231	109	8	14	3	12148	28017	13562	29307
			種数	5	5	10	9	9	2	9	4	8	4	11	11

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-49(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名（和名）	No. 4 荒海川 河川				No. 6 荒海川 水路				No. 7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												1
4	カワニナ	カワニナ								1				8
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種	9	1							8	10		
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種					1	1			7		5	
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ					2							
16		Uhemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ												
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ			9									
21		ナミミズミミズ							3				105	
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ											20	
－		イトミミズ亜科の一種					3							
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種	1											
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種						2						
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ											1	
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ						1						
－		Jesogammarus属の一種	1			1								
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）						2	1	3				
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												1
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ								1				
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ	2											
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ			8	18		7	30	6				
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	1											
45		ウデマガリコカゲロウ		25	16	12								
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ									1		1	
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ					1							
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種	9	1	2	31				1				
62		ウルマーシマトビケラ				1								
－		Hydropsyche属の一種	1											
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種			1									
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ		9										
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種												
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種	1											
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種						1	3			1		
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-49(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名（和名）		No.4 荒海川 河川				No.6 荒海川 水路				No.7 荒海川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種							1						
85		Chironomus属の一種													
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種											1	9	
89		Cricotopus属の一種			38		3	1	1					1	
90		Cryptochironomus属の一種		1											
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ				41				3					
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種												3	
100		Micropsectra属の一種												1	
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				380				14	3			5	
104		Parametriocnemus属の一種					4			2				4	
105		Paratendipes属の一種										3		19	
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種		4	9		49				20	1	1	9	
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種			4				2				2		
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種		1	2		35		1	1	19		1		
115		Saetheria属の一種			3										
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種					26								
119		Thienemanniella属の一種								1				3	
120		Tvetenia属の一種				16	14				2				
－		モンユスリカ亜科の一種								1				1	
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種			3	8	4		1	2					
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種					14			2	6				
124		Simulium属の一種					2								
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種												1	
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	31	95	481	214	8	20	63	62	20	16	188	10
			湿重量(mg)	373	738	134	367	128	225	6106	1035	8245	3906	33	16501
			種数	11	9	8	13	5	10	11	10	5	6	15	3

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-50(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名（和名）	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種											7	
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ	13	1	11	2								
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種								1				
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種					9	5	1	6				
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種								2				
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種						1						
15	ミズミミズ	エラミミズ												
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ												
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ							1					
21		ナミミズミミズ												
-		Nais属の一種		3										
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種	2											
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種					2							
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種										1		
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ							1					
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												1
－		Jesogammarus属の一種	1	1		24						2		
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）		9		3								
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種					1							
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ	1											
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ					1							
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ					5	36		16				
41		フタモンコカゲロウ						11	3					
42		シロハラコカゲロウ		35	9	43			5	2		2	69	32
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	1				4				1	2		
45		ウデマガリコカゲロウ					25	33	23	31	19	45	224	
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種	1		3	19								1
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種				1								
57	アメンボ	シマアメンボ									1			
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ	1											
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ				6								
－		Cheumatopsyche属の一種	1	82	3	7	5		2	4	5	49	13	4
62		ウルマーシマトビケラ					8			2				
－		Hydropsyche属の一種					78	1	4				3	
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種						2						
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種					3		1					
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			3	1							2	
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種					2		1					
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種						2	2	10			12	
75		Dicranota属の一種												2
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種	1					2	1			1		
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-50(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名（和名）		No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種								2	3				1
83		Cardiocladius属の一種													2
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種													
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種			4		2	3							
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種							2		55			27	43
90		Cryptochironomus属の一種													
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ				1				1					
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種				7			1						
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種								46				16	
104		Parametriocnemus属の一種			1	1								4	3
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種						2	3		11		2		5
108		Potthastia属の一種			1								1		
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種			1				4				7		
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種			2		1	57	17	8	25	2	257	8	31
115		Saetheria属の一種									1				
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種													
119		Thienemanniella属の一種													
120		Tvetenia属の一種							1	25	46	1		28	132
－		モンユスリカ亜科の一種								2					
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種							5	4		2	1		
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種													3
124		Simulium属の一種			1								3		11
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ		1											
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種								1					
133		Zaitzeviaria属の一種					2								
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	23	141	38	111	205	126	134	215	31	373	413	271
			湿重量(mg)	2855	278	2719	492	8193	1287	1450	1474	53	783	907	116
			種数	10	12	8	11	14	15	19	15	6	12	12	14

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-51(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名（和名）	No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種						1						
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ	2	1		2	4		6			2		
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ					1							
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ					1							
－		ヒラマキガイ科の一種					1							
10	イガイ	カワヒバリガイ			1									
11	シジミ	Corbicula属の一種									1			
12	ドブシジミ	ドブシジミ					1							
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ												
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ												
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ							3					
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種				9								
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種					1							
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種					2				1	4		
27	ヒラタビル	ハバヒロビル										1		
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル					12	1		5				
－		イシビル科の一種					3	2	1					
30	ナガレビル	キバビル					3							
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ							4					
－		Jesogammarus属の一種								33	1	16		3
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）				1	1	7	6	2		1		
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ												
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ				4								
41		フタモンコカゲロウ				1								
42		シロハラコカゲロウ						3	10	19	1	6	2	31
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ		10	41			1	1			4	3	8
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ											10	
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ							1					
－		Mnais属の一種									1			
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ					2			1				
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種									4			
55		Nemoura属の一種							3	12	1			
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種	1											
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種						1						
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ								11				3
－		Cheumatopsyche属の一種	3	8	21			14	2	24	7	9		
62		ウルマーシマトビケラ												1
－		Hydropsyche属の一種					2	3	1			3		
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種			1									
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種	1											
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	3		3							1	3	
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種		1					4	2			1	1
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis							2	4				
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種			26		1					1		10
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種												
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-51(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名（和名）		No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種				2								2	1
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種					1	3							
86		Cladotanytarsus属の一種						1							
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種				38	31							1	
90		Cryptochironomus属の一種		10											
91		Dicrotendipes属の一種		3		8									
92		フタエユスリカ													
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種								5				1	
101		Microtendipes属の一種					1								
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				161	13				1				1
104		Parametriocnemus属の一種				16					3			2	1
105		Paratendipes属の一種						17							
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種						7				1			
108		Potthastia属の一種									1				
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													
113		Rheopelopia属の一種									7				1
114		Rheotanytarsus属の一種		4	3	136	1	3	10	4	111			1	11
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種		2				11	2		12	1			
119		Thienemanniella属の一種													
120		Tvetenia属の一種							1	1	73		2	7	27
－		モンユスリカ亜科の一種				8				1		1			3
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種		4	1		2					1			1
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種												1	
122	ホソカ	Dixa属の一種				1									
123	ブユ	Eusimulium属の一種									48				
124		Simulium属の一種				1					13				
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種								1					4
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種									1				
135	ホタル	ゲンジボタル									2				
合計	66科	135種	個体数	33	24	464	66	77	46	56	385	21	50	34	107
			湿重量(mg)	376	771	283	2291	4213	133	637	1036	1037	3785	231	113
			種数	9	5	15	10	18	11	18	20	11	12	12	14

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-52(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名（和名）	No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ										2		
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種											1	
3	タニシ	ヒメタニシ					1							
4	カワニナ	カワニナ	1		2		8	5					3	
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ					1							
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種	1				4	4	2			4	19	
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種							5					1
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ										2	6	
16		Hhemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ		1										2
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ			1									
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種		1								2	17	27
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種											1	
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種										3	1	
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル											1	
－		イシビル科の一種			1		1							
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ		1	3								2	
－		Jesogammarus属の一種	6			19								
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）						1	1					
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ								1				
39	サワガニ	サワガニ						1						
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ	2				2							
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ			52	11	2	3	3	9			5	
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ						1						
45		ウデマガリコカゲロウ	74		27	133	14				59	248	3	
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			15									
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種								1				
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ						1						
－		Mnais属の一種						1						
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ		1										
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種			4									
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ		1										
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種	16		4	10	71	158		3	4	12	7	
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種	1									14		
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種										2		
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			5									
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種	2				2	1						
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				1								
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種	1		1	2	6		2	2			4	
75		Dicranota属の一種			1					1				
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種			2			4				2		
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-52(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名（和名）		No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種				1									
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種													
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種					3				7				
90		Cryptochironomus属の一種		1		3							2		
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ													
93		Einfeldia属の一種													5
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種									1				
101		Microtendipes属の一種												4	
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種								1			5	12	1
104		Parametriocnemus属の一種				5	5								
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種					4	22	2	4		1		1	13
108		Potthastia属の一種							1						
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種							9		4		3		
113		Rheopelopia属の一種					3								
114		Rheotanytarsus属の一種		45		3		25	15	1			2	6	2
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種			1										
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種					48					2			
119		Thienemanniella属の一種				1								1	
120		Tvetenia属の一種				7	38				3			1	
－		モンユスリカ亜科の一種		1		1									
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種					4	2							1
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種				1	6				3			2	
124		Simulium属の一種				1	4		11				3	2	
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ											1		
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													1
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種				2								1	
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	151	6	143	291	161	218	19	35	66	307	100	53
			湿重量(mg)	295	57	2748	768	8954	7110	711	87	47	934	4100	26
			種数	12	5	23	14	13	15	8	11	4	16	22	7

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-53(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名（和名）	No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ										1		1
－	－	三岐腸目の一種									17	32	4	16
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ									15		1	
5		チリメンカワニナ									1			
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ	5	1							6		1	
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種									2		8	
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ		2	23	4								
16		Hhemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ				2								
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ			5									
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種		4	57	21	5							
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種									1			
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			1	4			2			1	7	
－		Jesogammarus属の一種					2	10		5	1			
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）					2						4	1
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	4			4								
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ											5	
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	2	2	1	6	4	1					1	
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ												1
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ										2		16
43		Cloeon属の一種					7							
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ				2			6			32		
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種						1						
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ		3		1								
53	トンボ	シオカラトンボ				1								
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種					1		29	20			2	38
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ					1							
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ							1			37	1	
－		Cheumatopsyche属の一種	1				1			1	2	141		1
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ									10	1		
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種									1		2	
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種			1									
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ										1	1	
74	ガガンボ	Antocha属の一種												
75		Dicranota属の一種			1									
76		Limnophila属の一種			1									
77		Tipula属の一種											1	1
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種					1							

表 2.8.1-53(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名（和名）		No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Bentholia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種					7	11							
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種								1					
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種												41	1
90		Cryptochironomus属の一種										1			
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ				19								12	
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				14									
104		Parametriocnemus属の一種				3				8	17				1
105		Paratendipes属の一種					1								
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種		3							1				
108		Potthastia属の一種				1									
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種				2									
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種					1		1				1		
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種							2	2	3	1	2		
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種				2									
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種		1											
119		Thienemanniella属の一種				1									
120		Tvetenia属の一種													1
－		モンユスリカ亜科の一種		1							1				
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種												8	
121	カ	Culex属の一種						1							
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種									1				
123	ブユ	Eusimulium属の一種									12				1
124		Simulium属の一種													
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種											51		
133		Zaitzeviaria属の一種												12	1
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	17	12	132	54	36	15	49	61	58	302	111	80
			湿重量(mg)	795	3256	596	5151	676	215	141	59	10108	891	3945	753
			種数	7	5	15	11	11	5	7	9	12	10	16	12

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-54(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名（和名）	No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 富里ゴルフ倶楽部 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種	1		12									
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ												
5		チリメンカワニナ			5									
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種	1											
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種			5				3	1				
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種											1	
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ										5		
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ									3	43	11	13
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ												336
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ								1				
－		イトミミズ亜科の一種			17				3	1	283	47	41	59
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種			1									
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル									1			
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ			2									
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種												
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）			1									
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ										1		
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ					1	1						
41		フタモンコカゲロウ							1					
42		シロハラコカゲロウ			9	3			3	3				
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ	37	1	2	23		2						
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												1
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種	2	1	9	1	1	6	1					
62		ウルマーシマトビケラ	39											
－		Hydropsyche属の一種	19											
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種	1			4								
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	2		1	1								
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種								1				
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種	4		29	22								
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種		1	1									
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-54(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名（和名）		No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 富里ゴルフ倶楽部 調整池			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種												1	
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種					1								
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種										92	1	5	42
86		Cladotanytarsus属の一種									2				
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種		1		45	13			3	5				
90		Cryptochironomus属の一種						3	1		2				
91		Dicrotendipes属の一種								1					
92		フタエユスリカ				16									
93		Einfeldia属の一種								1					
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種										52	1	1	1
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種								3				1	
99		Micropelopia属の一種													
100		Microspectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種				1									
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				26									
104		Parametriocnemus属の一種				8									
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種												1	
107		Polypedilum属の一種		5			1				9				
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種		41		16	3	1							
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種												1	
117		Tanypus属の一種										1		1	
118		Tanytarsus属の一種								1					
119		Thienemanniella属の一種								1					
120		Tvetenia属の一種				9	12				4				
－		モンユスリカ亜科の一種									1				
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種							1			3			6
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種													
124		Simulium属の一種								1	1				
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ											1		
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種				10									
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	153	3	225	84	6	11	22	31	435	99	64	458
			湿重量(mg)	446	46	3494	165	2	22	12	21	465	7178	245	381
			種数	11	3	21	11	4	4	12	12	5	6	9	5

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-55(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名（和名）	No. 26 高谷川水路				No. 27 高谷川水路				No. 28 高谷川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種							1					
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ	6		1	4								
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ											1	
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種	2				3	2		11				
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種										1		
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ												
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ												
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ			2									
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種			1	4				1	4		1	
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種											1	
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種							1					
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ						1						
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種						2						12
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）			5	1		3						
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	2	2				2		2				
35		ヌマエビ						1						
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ	4	4				2		1	1			
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ		1										
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ					2		32	1			9	9
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ						1						
45		ウデマガリコカゲロウ					14						6	3
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												1
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ					1		39				10	
－		Cinctiocostella属の一種						2						
48		イシワタマダラカゲロウ												2
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ						1						
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種							2				1	
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種							6					1
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ							64					
－		Cheumatopsyche属の一種					128	2	9		5	8	6	29
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ								1				
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種	2											
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				5								
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種										1		13
75		Dicranota属の一種					1							2
76		Limnophila属の一種			1									
77		Tipula属の一種											1	
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-55(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名（和名）		No. 26 高谷川 水路				No. 27 高谷川 水路				No. 28 高谷川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													1
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種													
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種				1									
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種													
90		Cryptochironomus属の一種						2							
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ												11	
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Eukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													17
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種								1					
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種			1										
103		Orthocladius属の一種				2				7	2		6	11	5
104		Parametriocnemus属の一種								19	1			2	
105		Paratendipes属の一種		7											
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種						4							1
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種											3		
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種						11		2			1	1	3
115		Saetheria属の一種													4
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種				1	1								7
119		Thienemanniella属の一種											1	1	
120		Tvetenia属の一種					1				1			4	25
－		モンユスリカ亜科の一種										1			
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種													
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種								1					
124		Simulium属の一種													
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種									3		1		
133		Zaitzeviaria属の一種							1	9			1		3
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	23	8	14	16	166	20	193	24	11	23	66	138
			湿重量(mg)	5126	3581	196	609	466	3840	1048	6671	91	33	1661	242
			種数	6	4	8	6	9	11	13	10	4	9	15	18

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-56(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名（和名）	No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ					1			1				
4	カワニナ	カワニナ					3		2	8		2	1	14
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ											5	2
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種					1							
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種										1		
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種			1			3						
15	ミズミミズ	エラミミズ												
16		Haemonais waldvogeli							8					
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ												
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ										2		
-		Nais属の一種			2									
22		クロオビミズミミズ				1								
23		Paranais属の一種							118					
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種							3					
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種					3							
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種										1		21
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）												
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ												
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ	1	1										
41		フタモンコカゲロウ			2									
42		シロハラコカゲロウ			3	1			1		36	1		1
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	7			3								
45		ウデマガリコカゲロウ			6						3			
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			1									
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												7
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ					1							
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種			1		2		2		15	8		
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種	1											
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												18
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												1
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種										1		10
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種			1	3					5	1		
75		Dicranota属の一種												1
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種					1					2		
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-56(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名（和名）		No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Bentholia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種													
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種					1								
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種			4		1								
90		Cryptochironomus属の一種						1							
91		Dicrotendipes属の一種							1						
92		フタエユスリカ				11									
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種							1						
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種					1								
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				19					2				1
104		Parametriocnemus属の一種				5						1	1	1	1
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種											1		2
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種						5					3		
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種				3		104				2	35	1	2
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種					54				1				
119		Thienemanniella属の一種				3									
120		Tvetenia属の一種				2	2							1	3
－		モンユスリカ亜科の一種						2							1
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種									1				
－		ユスリカ科の一種		1		2		1							2
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種												1	3
124		Simulium属の一種			1	2									
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	10	6	64	67	125	5	134	13	62	59	10	90
			湿重量(mg)	4	4	63	30	2118	2	1277	12330	116	884	51	1043
			種数	4	3	15	9	11	3	6	4	6	13	6	16

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-57(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名（和名）	No. 32 空港区域調整池				No. 33 荒海川溜池				No. 34 荒海川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種											1	
3	タニシ	ヒメタニシ										1		
4	カワニナ	カワニナ									2	1	2	
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種										2	8	3
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ	1							2				
16		Hhemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ						1	1					
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ				7							3	
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種			5			11	7	31				
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種												
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）												
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ	1	1			1							
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ		1					1					
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ											3	
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ												
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												1
52	オニヤンマ	オニヤンマ									2			
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												1
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種												
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種												
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種												
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種											1	
77		Tipula属の一種												
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-57(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名（和名）		No. 32 空港区域調整池				No. 33 荒海川溜池				No. 34 荒海川水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種		1											
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種				2				2					
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種													1
89		Cricotopus属の一種													3
90		Cryptochironomus属の一種										1			
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ												1	
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種								5					
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種								2					
103		Orthocladius属の一種													
104		Parametriocnemus属の一種												13	17
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種				3	14				20				
107		Polypedilum属の一種										2	1	1	51
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種													1
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種			3	6									2
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種					2				1			1	
119		Thienemanniella属の一種													
120		Tvetenia属の一種													
－		モンユスリカ亜科の一種													
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種													
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種												1	7
124		Simulium属の一種													
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	3	5	16	23	1	12	18	54	7	5	35	87
			湿重量(mg)	74	97	72	40	154	4	30	124	2595	3804	2091	1054
			種数	3	3	4	3	1	1	5	4	4	4	11	10

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-58(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名（和名）	No. 36 多古橋川 水路				No. 37 多古橋川 水路				No. 38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ	1	9										
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ			2		3							31
5		チリメンカワニナ										5		5
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ	42		4	4								
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種						1	2	2				
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ	5	1										
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ		1										
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ			17									
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ							52				1	
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種	27	22	27								1	
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種		2	1									
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種		7										
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル		13										
－		イシビル科の一種		1										
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ		3										
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種						1		1				
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）	2	20	2								1	
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種					3	2		2	18	2		1
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ						3						
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
41		フタモンコカゲロウ							1					
42		シロハラコカゲロウ					1		3				1	1
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ						6		4				
45		ウデマガリコカゲロウ												
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種									1			
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種					11	6						
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種		1							1			
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種												
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種		7				2						
78	チョウバエ	Psychoda属の一種				1								
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-58(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名（和名）		No.36 多古橋川 水路				No.37 多古橋川 水路				No.38 多古橋川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種			27	20	1								
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種		5	33	258			7	4	1			2	
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種			3	7									
88		Corynoneura属の一種								2					
89		Cricotopus属の一種			17			3							
90		Cryptochironomus属の一種		9	3										
91		Dicrotendipes属の一種			4				1						
92		フタエユスリカ												118	
93		Einfeldia属の一種				16									
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種				1									
96		Glyptotendipes属の一種		2											
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Microspectra属の一種			6	37									
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種			1										
103		Orthocladius属の一種				311	97			15	3				7
104		Parametriocnemus属の一種			2	87							1	23	
105		Paratendipes属の一種		7											
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種		3	2	1			1		2	5		1	
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種			6				2						
113		Rheopelopia属の一種			1										
114		Rheotanytarsus属の一種			7	32				1	1		1		
115		Saetheria属の一種									3				
116		Stictochironomus属の一種		2		1									
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種		1		16	2	2				1			
119		Thienemanniella属の一種				16	1			1					
120		Tvetenia属の一種					3								
－		モンユスリカ亜科の一種													
－		エリユスリカ亜科の一種				2									
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種			9	48	5			1				2	
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種													
124		Simulium属の一種											1		
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ										1			
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													1
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種							1		1				
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	106	208	906	114	23	33	82	20	27	10	150	46
			湿重量(mg)	2125	1472	549	111	670	361	754	508	1605	5281	47	35157
			種数	12	23	19	7	6	12	9	10	6	5	8	6

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-59(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名（和名）	No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ	1				10	11						
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種	1	1			2							
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ					2							
16		Uhlemnais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ			1									2
18		ユリミミズ											13	
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ												
-		Nais属の一種										1		
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種			72									
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種	6	4	24	2						9	14	1
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ			2									
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種												
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）						2						
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ												
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ		1										
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ			1				1					
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ			3									
45		ウデマガリコカゲロウ			1									
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiscostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ					4	1						
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種									1			
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種		1	1									
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種							1					
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種												
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種							1					
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種					2	1						
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-59(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名（和名）		No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種											2	2	
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種				1								4	
86		Cladotanytarsus属の一種		1											
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種													
90		Cryptochironomus属の一種		1											
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ				5				68					
93		Einfeldia属の一種							1				8		
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種										2			
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種										1			
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種				109	1			2	94				
104		Parametriocnemus属の一種				9				62	2				
105		Paratendipes属の一種				43									
106		Phaenopsectra属の一種													8
107		Polypedilum属の一種				62					1			1	
108		Potthastia属の一種								1					
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種				2				8					
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種				1									
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種													
119		Thienemanniella属の一種				19									
120		Tvetenia属の一種													
－		モンユスリカ亜科の一種				1									
－		エリユスリカ亜科の一種					1								
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種								4	4				
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種													
124		Simulium属の一種													
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ						1							
131		フタホシヒラタガムシ						1							
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	10	7	357	4	22	16	148	101	4	20	34	11
			湿重量(mg)	483	24	118	1	8841	10012	84	23	2	17	135	18
			種数	5	4	17	2	7	5	8	3	3	4	4	2

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-60(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名（和名）	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ					11		12	1				
5		チリメンカワニナ						1						
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ												
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種					3							
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ	4	3	1	2								
16		Uhlmanais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ		17	6						1			
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ												
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ								1				
－		イトミミズ亜科の一種	211	22	57	96					97	2	6	1
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種							1					
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種												
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）					1							
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ												
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ						27						
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ							613	4				
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ							1					
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiscostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ					1	1						
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ	1											
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種							37					
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種							1					
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ							3					
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種							1					
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種						1						
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種												
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-60(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名（和名）		No.42 多古橋川 溜池（大原池）				No.43 多古橋川 水路				No.44 多古橋川 溜池（井野池）			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種		3	5	2									
81	ユスリカ	Benthalia属の一種											17	17	4
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種		15	2	3		1				41		1	
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種													
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種							1						
90		Cryptochironomus属の一種						1							
91		Dicrotendipes属の一種									1				
92		フタエユスリカ								48					
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Eukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種												1	
99		Micropelopia属の一種													2
100		Micropsectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種								3	2				
104		Parametriocnemus属の一種								217					
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種		5		1	74							3	1
107		Polypedilum属の一種					6	1	1						
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種		2										7	
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ												2	
112		Rheocricotopus属の一種							1						
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種							13	380					
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種										109	4	11	4
118		Tanytarsus属の一種					73								3
119		Thienemanniella属の一種								16					
120		Tvetenia属の一種								16					
－		モンユスリカ亜科の一種													
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													3
－		ユスリカ科の一種							1	16		1			
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種								8					
124		Simulium属の一種								121					
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	241	49	70	251	19	47	1494	9	249	23	48	18
			湿重量(mg)	124	116	228	272	4408	48	5649	22	175	16	66	19
			種数	7	4	5	5	7	8	16	5	3	3	8	6

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-61(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名（和名）	No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ										3		
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種			2									
3	タニシ	ヒメタニシ						1						
4	カワニナ	カワニナ	2	1	5	3		1		2				
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ									2	1	3	
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種			3	9			1	5				
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ									148	51	30	7
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ									122	26	5	1
－		Limnodrilus属の一種										60		
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ												
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種	5	1				1			108	569	271	179
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ							1					
－		Jesogammarus属の一種						2						
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）												
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種							2					
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ												
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ												
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
41		フタモンコカゲロウ												
42		シロハラコカゲロウ			1									
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ												
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ						1	2					
52	オニヤンマ	オニヤンマ	1		4				1					
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種			21									
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ					1							
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種												
62		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種			2				2					
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種												
75		Dicranota属の一種								1				
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種							1					
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-61(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名（和名）		No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種													
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種													1
86		Cladotanytarsus属の一種													
87		Conchapelopia属の一種				7				2					
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種								2					
90		Cryptochironomus属の一種													
91		Dicrotendipes属の一種													
92		フタエユスリカ													
93		Einfeldia属の一種													
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種				3									
101		Microtendipes属の一種													
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種													
104		Parametriocnemus属の一種		1		4	4								
105		Paratendipes属の一種		1											
106		Phaenopsectra属の一種													
107		Polypedilum属の一種		4		1	2								
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種		3											
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種													
119		Thienemanniella属の一種													
120		Tvetenia属の一種				1									
－		モンユスリカ亜科の一種		2			3								
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種													
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種								1					
123	ブユ	Eusimulium属の一種				3	15				1				
124		Simulium属の一種				5	1								
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種													
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル					1								
合計	66科	135種	個体数	19	2	62	38	1	6	15	9	380	710	309	188
			湿重量(mg)	1491	2009	2758	139	2	689	1232	1004	2997	1685	1334	752
			種数	8	2	14	8	1	5	10	4	3	4	3	3

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-62(1)　定量採集調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名（和名）	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
2	マミズヒモムシ	Prostoma属の一種												
3	タニシ	ヒメタニシ												
4	カワニナ	カワニナ												
5		チリメンカワニナ												
6	ミズツボ	コモチカワツボ												
7	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種												
8	サカマキガイ	サカマキガイ							1					
9	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ												
－		ヒラマキガイ科の一種												
10	イガイ	カワヒバリガイ												
11	シジミ	Corbicula属の一種					2		8	3				
12	ドブシジミ	ドブシジミ												
13	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種					1							
14	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
15	ミズミミズ	エラミミズ												
16		Haemonais waldvogeli												
17		モトムラユリミミズ												
18		ユリミミズ										1	2	
－		Limnodrilus属の一種												
19		ハリミズミミズ												
20		ミツゲミズミミズ												
21		ナミミズミミズ											1	
-		Nais属の一種												
22		クロオビミズミミズ												
23		Paranais属の一種												
24		ヨゴレミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種		2									8	1
25	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
26	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
27	ヒラタビル	ハバヒロビル												
28		ヌマビル												
29	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種					2							
30	ナガレビル	キバビル												
31	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ											2	
32	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ												
－		Jesogammarus属の一種												
33	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）			1		4		2				1	
34	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
35		ヌマエビ												
36		ヌカエビ												
37	テナガエビ	スジエビ						1						
38	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ												
39	サワガニ	サワガニ												
40	コカゲロウ	サホコカゲロウ					30	14	2	6				
41		フタモンコカゲロウ							7	10				
42		シロハラコカゲロウ								1				
43		Cloeon属の一種												
44		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
45		ウデマガリコカゲロウ					13	107	1	5				
46	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
47	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
－		Cinctiocostella属の一種												
48		イシワタマダラカゲロウ												
49	アオイトトンボ	Lestes属の一種												
50	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
51	サナエトンボ	ヤマサナエ												
52	オニヤンマ	オニヤンマ												
53	トンボ	シオカラトンボ												
54	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
55		Nemoura属の一種												
56	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
57	アメンボ	シマアメンボ												
58	ミズムシ（昆）	エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
59	センブリ	センブリ科の一種												
60	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種					2	1						
61	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種					15	13	18	5				
62		ウルマーシマトビケラ					19							
－		Hydropsyche属の一種					11							
63	クダトビケラ	Psychomyia属の一種					61	12		1				
64		Tinodes属の一種												
65	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種					1		3					
66	ナガレトビケラ	Rhyacophila属の一種												
67	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
68	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
69	カクツツトビケラ	Lepidostoma属の一種												
70	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
71	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
－		Nothopsyche属の一種												
72	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
73	ツトガ	キオビミズメイガ												
74	ガガンボ	Antocha属の一種					33	2	2					
75		Dicranota属の一種												
76		Limnophila属の一種												
77		Tipula属の一種												
78	チョウバエ	Psychoda属の一種												
79	コシボソガガンボ	Ptychoptera属の一種												

表 2.8.1-62(2)　定量採集調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名（和名）		No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
80	ケヨソイカ	ケヨソイカ科の一種													
81	ユスリカ	Benthalia属の一種													
82		Brillia属の一種								1					
83		Cardiocladius属の一種													
84		Chaetocladius属の一種													
85		Chironomus属の一種				2	2			1					
86		Cladotanytarsus属の一種								4					
87		Conchapelopia属の一種						6							
88		Corynoneura属の一種													
89		Cricotopus属の一種						1							
90		Cryptochironomus属の一種													
91		Dicrotendipes属の一種								1					
92		フタエユスリカ													
93		Einfeldia属の一種					1								
94		Endochironomus属の一種													
95		Fukiefferiella属の一種													
96		Glyptotendipes属の一種													4
97		Heterotrissocladius属の一種													
98		Hydrobaenus属の一種													
99		Micropelopia属の一種													
100		Micropsectra属の一種													
101		Microtendipes属の一種						1							
102		Natarsia属の一種													
103		Orthocladius属の一種								39	3				
104		Parametriocnemus属の一種													
105		Paratendipes属の一種													
106		Phaenopsectra属の一種				1	1								
107		Polypedilum属の一種						1			1				
108		Potthastia属の一種													
109		Procladius属の一種													
110		Prodiamesa属の一種													
111		アカムシユスリカ													
112		Rheocricotopus属の一種													
113		Rheopelopia属の一種													
114		Rheotanytarsus属の一種						9		11					
115		Saetheria属の一種													
116		Stictochironomus属の一種													
117		Tanypus属の一種													
118		Tanytarsus属の一種		1						1					
119		Thienemanniella属の一種													
120		Tvetenia属の一種													
－		モンユスリカ亜科の一種													
－		エリユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ亜科の一種													
－		ユスリカ科の一種								2					
121	カ	Culex属の一種													
－		カ科の一種													
122	ホソカ	Dixa属の一種													
123	ブユ	Eusimulium属の一種													
124		Simulium属の一種													
125	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ													
126	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ													
127		ヒメゲンゴロウ													
128	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ													
129	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ													
130		ゴマフガムシ													
131		フタホシヒラタガムシ													
132	ヒメドロムシ	Zaitzevia属の一種								4					
133		Zaitzeviaria属の一種													
134	ナガハナノミ	Paralichas属の一種													
135	ホタル	ゲンジボタル													
合計	66科	135種	個体数	1	2	4	4	212	150	108	35	0	1	14	5
			湿重量(mg)	0	2	11	3	659	640	1198	71	0	2	37	32
			種数	1	1	3	3	17	7	17	9	0	1	4	2

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

4) 定性採集調査結果

定性採集調査結果は、表 2.8.1-63～表 2.8.1-77 に示すとおりである。

表 2.8.1-63(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名（和名）	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ												
6	カワニナ	カワニナ	3	4	6	5					4	3		3
7		チリメンカワニナ		1	4								5	8
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ				1								
11		コシダカヒメモノアラガイ												
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種												4
13	サカマキガイ	サカマキガイ								1	2			1
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ		3	4	2								
19		マツカサガイ												
20		イシガイ		1										
21	シジミ	Corbicula属の一種	5	4	5	4				1	6	3	3	7
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種								3				
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ			1									
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												1
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種								2			2	
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												1
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種				1					2			2
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル												
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル											1	
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ								3				
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ		5	7	5			2				8	4
－		Jesogammarus属の一種	6					2		2	4	3		13
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種				3	4				1			1
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）	1	1						2			6	3
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種				1	1		2		4	2	2	2
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ	2	4	20	3		2	1	1				1
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ		1	1		1	100	3	7				
48		スジエビ	20	100	30	20	28		4	4	40	50	2	1
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	2		1	1	3	1		6	2	4	3	2
50	サワガニ	サワガニ												
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ								6				
53		フタモンコカゲロウ								1				
54		シロハラコカゲロウ		1		1								2
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ							2	3	1			
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ	2	1										
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ		6	4							2	3	
－		Mnais属の一種		3		1								
－		カワトンボ科の一種						3	2	10				
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ		30	10	18					3	1		2
67		キイロサナエ						1						
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ		1		1				1				
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	1	1	2	2					3			
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ						1						

表 2.8.1-63(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名（和名）	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ					1							
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			3	1					5		1	6
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ	2			1	2	1						
85		ヒメアメンボ				3	1			4				
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ	1	3		1					4	3		
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ								2	3			4
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ					1							
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種			2									
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ						1						
102		マツモムシ	1					1						
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ											3	
－		Cheumatopsyche属の一種	3	8		10					2			7
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種									3			
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ		1										
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種	1											1
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種					2							
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												4
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種				1								
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	2	3	2						1	3	2	
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種							1	10			10	1
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ											5	
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種											2	
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種								13				
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種							1				1	
147		Phaenopsectra属の一種								2				1
148		Polypedilum属の一種	2							4			1	
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												

表 2.8.1-63(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名（和名）	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
154	ユスリカ	Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種	1											
156		Stictochironomus属の一種											1	
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種							2					
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												
165	ブユ	Eusimulium属の一種											1	
166		Simulium属の一種		1										3
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種									1			
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ									1			
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ					1							
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ			1	1								
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ									1			
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ												
182		ゴマフガムシ												
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ	1				2							
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ	1											
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	19種	21種	17種	23種	12種	10種	10種	22種	21種	10種	20種	25種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-64(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名（和名）	No. 4 荒海川 河川				No. 6 荒海川 水路				No. 7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ									2	2	1	3
6	カワニナ	カワニナ	1	3	2	3		2	1		4	6	2	3
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ					5							
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ					1				1			
12		ハブタエモノアラガイ	2	1										
－		モノアラガイ科の一種												
13	サカマキガイ	サカマキガイ			1		3					1	1	
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ										1		
21	シジミ	Corbicula属の一種	2	5	3	2					2	11	3	4
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種			1		1			1				1
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ			3		1			2	1	1	3	
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ											2	
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種			1								7	
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種	1											
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル												
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種					1							
37	ナガレビル	キバビル			1									
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ										1	2	
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			6	2			3	1			3	5
－		Jesogammarus属の一種	3	3			3	5			1	2		
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種	1											1
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）		2	3	2	1	1	4	6		2	3	1
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	6	5	6		2	5			2	4	8	3
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ						1		1				
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ	30	100	2	30	30	10	8	10	10	20	2	50
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1	2		1	1	1	1	1		1		2
50	サワガニ	サワガニ						1		2				
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ			17	5	5	2	4	4				2
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ		3	1		2	1			1	2		
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ	3				1							
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ		4		2		3	3			6	1	
－		Mnais属の一種		2			2				1			
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ	10	50	4	1	2	2	1	3	20	13	2	3
67		キイロサナエ		1			2							
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ		1										
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	2	4	3	1	1	1	2	1	2	7	4	1
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ					1							
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ									1			
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			2	1				1				2

表 2.8.1-64(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名（和名）	No. 4 荒海川 河川				No. 6 荒海川 水路				No. 7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ				1								
85		ヒメアメンボ				1	1							1
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ		2			1	1			1	1		
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ	1			1	2			2	5	1		
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ	1				1							
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ												
102		マツモムシ	1	1							1			
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ			10			1						
－		Cheumatopsyche属の一種	1		3	1		2		1	1	3		
107		ウルマーシマトビケラ			1									
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種	1											
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ		1	5	4								
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種										3	1	
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				1								1
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種			1									
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	2	7	4		1	2	2		1	8	5	
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種			19									
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種										1		
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ			9				2					
136		Finfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種						1						
140		Macropelopia属の一種											1	
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種			7								1	
145		Parametriocnemus属の一種			1				1					
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種		1						2		2	2	
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種												
156		Stictochironomus属の一種											6	
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種			2									
－		モンユスリカ亜科の一種			1									
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-64(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名（和名）	No. 4 荒海川 河川				No. 6 荒海川 水路				No. 7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種				1								
165	ブユ	Eusimulium属の一種							1	3			1	
166		Simulium属の一種												
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種					1							
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ	2	2							1	2		
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ							1					
176		ヒメゲンゴロウ	2	4	1	1		1	1		1	7		
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ												
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ				1								
182		ゴマフガムシ	1											
183		ヒメセマルガムシ								1				
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ				2					1			
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ	2	1							1			
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	22種	22種	28種	21種	25種	18種	15種	17種	22種	25種	21種	16種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-65(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名（和名）	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ										1		4
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ						1			3	2	2	4
6	カワニナ	カワニナ	1	6	2	1	3	7	3	4	1	6	2	1
7		チリメンカワニナ		1										
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ					1							
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ						2						
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種								7				3
13	サカマキガイ	サカマキガイ					3	4	1	1				2
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ					2							
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種			2		3	4	4	8	2	4	6	3
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ								3	1	7		9
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種										1	2	
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種		1									1	1
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種	1	2				2		5	1	2	1	1
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル					1							
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種					2							
37	ナガレビル	キバビル								1	1		1	1
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ							2	4		1		2
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種					1							
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			3	3			2				6	
－		Jesogammarus属の一種	2	2				7		3	2	4		9
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種	1			1				2	1			
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）		2	3	2		1	1	3	1	2	2	4
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	6	7	4	3	2	6		5				
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ	100	5	30	30	10	10	30	50	20	30	50	100
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	2		1		1	1	4	2	1	2	3	3
50	サワガニ	サワガニ	2	4		2		1						
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ						8		2				5
53		フタモンコカゲロウ						2						
54		シロハラコカゲロウ		7		3		4	23	11			14	9
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ					3	6		3	1	11	1	2
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ					3	17	1	17	1	4		1
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ		2	3			3	3			5	3	
－		Mnais属の一種	1				2	2			2			
－		カワトンボ科の一種						2		4				1
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ	10	2			1	2	1	4		2		
67		キイロサナエ	2											
－		Asiagomphus属の一種							3					
68		オナガサナエ												1
69		コオニヤンマ	1				1	1						
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	3	2	1	1	1	2	3	3	2		2	3
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ												1
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種				4				1			1	

表 2.8.1-65(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名（和名）	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ									2			
85		ヒメアメンボ					1			1				3
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ	5	2			1	1		1	1	2		1
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ					4			2				6
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ	3								3			
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ					1			1				
98	コオイムシ	コオイムシ									1			
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ									1			
101	マツモムシ	コマツモムシ												
102		マツモムシ	2				1				1	1		1
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ			2									
－		Cheumatopsyche属の一種	1	26	2	2	1			6	3	7	1	10
107		ウルマーシマトビケラ					1	1						
－		Hydropsyche属の一種		6			13		5	1				
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種		5										
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	1	4				1				4		9
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種									3	3		1
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種		1					5	5		2		
119		Dicranota属の一種												1
120		Limnophila属の一種		1										
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種			1		3	7	8	1	4	3	4	
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種											1	
129		Chironomus属の一種												3
130		Cladotanytarsus属の一種												1
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種						1	1	6			2	
134		Cryptochironomus属の一種						1		1				
135		フタエユスリカ												
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												2
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種							6				1	
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種				1				5	1	6		5
149		Potthastia属の一種		1										
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種				2								1
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種		1										
154		Rheopelopia属の一種							2	1				
155		Rheotanytarsus属の一種						3	1			7	1	
156		Stictochironomus属の一種				1						2	1	
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												2
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種								1		3		17
－		モンユスリカ亜科の一種									1		1	
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-65(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名（和名）	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種										1		
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												
165	ブユ	Eusimulium属の一種												
166		Simulium属の一種												1
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ	2								1			1
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ	2				1	1	3	1	2	2	1	
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ												1
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ	2				1							
182		ゴマフガムシ									1			2
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ					2			2				1
186		コガムシ	1							1				2
187		ヒメガムシ	1				2	1			1			
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種			1	3								
－		ナガハナノミ科の一種		3										
191	ホタル	ゲンジボタル		1										
合計	85科	191種	23種	24種	12種	15種	29種	30種	21種	38種	30種	29種	25種	44種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-66(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.18）

No.	科名	種名（和名）	No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ				1								
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ					4	1						
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ	2		1							1		
6	カワニナ	カワニナ	4	2	3	2	9	6	4	7	5	4	3	5
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ								1				
11		コシダカヒメモノアラガイ				1					4			
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種								3				7
13	サカマキガイ	サカマキガイ		1		1	1	1			2			7
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種						1		1				
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種									6	2	1	2
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ					1							
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種					1			3				
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ					1				1			1
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種				1								
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種	1	3				3				1	1	
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種		3		2	6	1		1				3
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル	1	1			2	1			1			1
36	イシビル	シマイシビル					12	5	2	8	2		3	5
－		イシビル科の一種												1
37	ナガレビル	キバビル					1	3	1	1				
－		ナガレビル科の一種							1					
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ		1	1	4								
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ						2	4	6		1	4	2
－		Jesogammarus属の一種					7	6		8	6	3		30
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種	1				1							
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）					1	4	2	10	1			3
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種									15	8		3
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ										2		
47		テナガエビ					1	2						
48		スジエビ	30	20	20	1					3	5		
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	4	2	2	3	1	2	2		2	2	1	6
50	サワガニ	サワガニ						30		2		3		1
51	モクズガニ	モクズガニ									1	1		
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ				8					1			
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ				1		1		23		1	2	38
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ		11										2
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ		5		1						3		3
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ							3	1			11	7
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ						8	3	2	3		2	2
－		Mnais属の一種					1	4				9		
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ					1			1	2			2
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	2	3			5	1	2	6	4	5	4	6
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ						1						
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												1
82		Nemoura属の一種							1	17	1			6

表 2.8.1-66(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名（和名）	No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ	5	1							2			
85		ヒメアメンボ				2	1				2			3
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ	1	3			2	3			4	4		
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ	3			5					1			1
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ	1								2			
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ												
102		マツモムシ	3	1	1						1			
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ					1			15			2	
－		Cheumatopsyche属の一種	9	20			3	10	1	8	2	3	1	4
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種					5			2				
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種									19			
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			2		1				3			4
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種	2	3						11	1	1		4
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												4
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis						1		4				1
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												1
119		Dicranota属の一種												8
120		Limnophila属の一種								1				
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	1	2			3	1	3	5	7	7	3	4
－		ガガンボ科の一種				3		1						
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												6
129		Chironomus属の一種		4	2	6	3							2
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												9
134		Cryptochironomus属の一種									1			
135		フタエユスリカ												
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種					2							
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種				5								
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種		4						1				6
149		Potthastia属の一種		1										
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種				1								
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種		12		2				7				
156		Stictochironomus属の一種		18										2
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種			1									
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												7
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-66(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名（和名）	No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種				1								
165	ブユ	Eusimulium属の一種												2
166		Simulium属の一種								7				
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種									1			
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ							1					
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ	1											
173		コシマゲンゴロウ	1					1						
174		チビゲンゴロウ								1	1			
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ	2	4				2		1	3	1		
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ												
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												1
181		トゲバゴマフガムシ									1			
182		ゴマフガムシ	2								1			
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ	1											2
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ	1	1		1								
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種								4				
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル					1	2						
合計	85科	191種	22種	24種	9種	21種	27種	25種	13種	28種	35種	20種	12種	41種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-67(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名（和名）	No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ										1		
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ	3											
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ						1	2	3	3	4	1	2
6	カワニナ	カワニナ	5	8	3	4	1	5	5	1	10	5	5	1
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ								1				1
11		コシダカヒメモノアラガイ	8				3					1		
12		ハブタエモノアラガイ										4		
－		モノアラガイ科の一種				2				1				5
13	サカマキガイ	サカマキガイ	2				2				2	3		4
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種	4		3	5	3	7	8	5	7	5	6	3
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種				1						1		
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ	1			2	1		1	1	6	1		3
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種				1					2			15
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種				1								
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種			1	1			2			1	1	1
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル				1				1	1	1		1
36	イシビル	シマイシビル	2		1	1						1		3
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル				2								1
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ				2			1					1
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			17	1			11	2			4	
－		Jesogammarus属の一種	8	5		15	4	1				7		8
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種	2											
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）			2	6	1		7	5				8
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	10	2	6	7	2	1	5	5	21	4	3	4
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ	5	30			7		1		11	10	1	1
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	2	3		5	1	2	2	3	4	1	3	3
50	サワガニ	サワガニ	1					1						
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ												6
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ			42	24			15	9		8	1	5
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	4			3	4					3		5
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ	2		3	9	2		1			13	1	37
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			27	3								
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ		4	2	2		2	3	1		2		1
－		Mnais属の一種	3	3	2				1					
－		カワトンボ科の一種							1	2				
65	ヤンマ	ギンヤンマ					1							
－		Anax属の一種									1			
66	サナエトンボ	ヤマサナエ	1	1			1			2		1		1
67		キイロサナエ								1				
－		Asiagomphus属の一種			1					1				
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ		1	1									
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	3	6	2	3	2	4	4	5			1	1
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ										1		
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種				1								
82		Nemoura属の一種			2	11	1		5	3				4

表 2.8.1-67(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名（和名）	No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ									2	1		1
85		ヒメアメンボ				1								1
86		コセアカアメンボ												1
87		シマアメンボ	1	1		1		4			1	2		1
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ				1								
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ	3			1	3				2			4
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ					1							
－		Sigara属の一種			4				1					
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ									2			
99	タイコウチ	タイコウチ									1			
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ												
102		マツモムシ					1		1		1			
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ				1								
－		Cheumatopsyche属の一種	7			2	10	1	4	5		12		3
107		ウルマーシマトビケラ												4
－		Hydropsyche属の一種	10		3		2				1	8		
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												1
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	3		3	3	1					2		10
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ							1	1				
－		Lepidostoma属の一種	1	1	1	3	1		3	1				
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				8				7				
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis				1								
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種				1	1			1				1
119		Dicranota属の一種							1	5				
120		Limnophila属の一種							1					
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	5	2	2	1	2	4	4	1	1	4		4
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												1
129		Chironomus属の一種												
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												7
134		Cryptochironomus属の一種					1							
135		フタエユスリカ												
136		Finfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Micropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種								2			1	
145		Parametriocnemus属の一種							1					1
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種								2				1
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												1
152		Psectrocladius属の一種								1				
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種							3			1		2
156		Stictochironomus属の一種			2				1			1		1
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種				1								
159		Thienemanniella属の一種											2	
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種				2								
－		モンユスリカ亜科の一種			1	1			1	1				1
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-67(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名（和名）	No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												2
164	ホソカ	Dixa属の一種												1
165	ブユ	Eusimulium属の一種			2	2								1
166		Simulium属の一種				1								1
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ				1				2				
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種									1			
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ										1		
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ	1				1				1			
174		チビゲンゴロウ								1				
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ			1		1		4		1	4	3	1
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ					1				1			2
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ								1				
181		トゲバゴマフガムシ					2				3			1
182		ゴマフガムシ				1				2	1			5
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ				1	1							2
186		コガムシ												1
187		ヒメガムシ					2				1			1
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル			1				1					
合計	85科	191種	26種	12種	25種	43種	32種	12種	29種	30種	26種	32種	14種	55種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年 国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-68(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名（和名）	No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												2
－	－	三岐腸目の一種											3	6
3	タニシ	マルタニシ				1								
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ									5			
6	カワニナ	カワニナ	1	5	3		3		5	3	10	11	3	9
7		チリメンカワニナ										2	1	3
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ									1			
11		コシダカヒメモノアラガイ			2						3			2
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種				14								11
13	サカマキガイ	サカマキガイ	4	1	3	4		1	5	3	7			1
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種	3	7	3	1					6	3	1	1
22	マメシジミ	Pisidium属の一種				1				4				
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種				1		1						
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ	1	7	5	6	2	5		2				
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ			1									
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種				3			5					
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種				1					2	1		1
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル									1			
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル				1						1		
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			7	5			14	13			5	4
－		Jesogammarus属の一種	1	2		11	2	3		11	2	4		7
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種	3		1						1			1
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）	1		7	5	4	1	27	13	1	2		6
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	19	13	9	11					3	4	4	6
44		ヌマエビ												5
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ									1			
47		テナガエビ												
48		スジエビ	5	20	5						30	100	6	50
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	5	3	2	3	2	1	2	6	1	2		1
50	サワガニ	サワガニ					1							
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ												4
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ			2	11							2	17
55		Cloeon属の一種					8			1				
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ			8	2								
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ				1								1
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ										6		2
－		Mnais属の一種		1						1	1			
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ					1			1				
67		キイロサナエ								1				
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	5	6	2	4	6	1	4		4	3		1
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ					1	2		2				
77		シオヤトンボ					7							
78		オオシオカラトンボ						2						
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			3	1	1		14	15	1			19

表 2.8.1-68(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名（和名）	No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ				1								
85		ヒメアメンボ				2	2			1				2
86		コセアカアメンボ					1							
87		シマアメンボ	3	1		1			1			3		
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ				4								1
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ						1						
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ					3			1				
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ	1				1							
102		マツモムシ					1							
103	センブリ	センブリ科の一種							2				1	
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ									5			
－		Cheumatopsyche属の一種	1	1		16						1	2	11
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種									1			
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												1
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												2
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ									8	4	4	6
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種	1							1	1			
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				5								9
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												2
117	ツトガ	キオビミズメイガ												3
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種												
120		Limnophila属の一種								1				
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	4	3	1		1		4	1		3	1	1
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種							5					
125		Ptychoptera属の一種				1	2							
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種							1					
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種	3			2			15					
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												7
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ												
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種							4	4				
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種			1									
143		Natarsia属の一種							11	3				
144		Orthocladius属の一種				3							2	
145		Parametriocnemus属の一種												1
146		Paratendipes属の一種							1	2				
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種												
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種				1								
156		Stictochironomus属の一種	4	1	3									
157		Tanypus属の一種						4						
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												2
－		モンユスリカ亜科の一種			4					1				
－		エリユスリカ亜科の一種						1						
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-68(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名（和名）	No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種				3				2				
165	ブユ	Eusimulium属の一種			1					2				
166		Simulium属の一種				2								1
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												1
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ		1			6							
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ					1							
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ					3							
176		ヒメゲンゴロウ			1		6	1						
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ									1			
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ												1
182		ゴマフガムシ				1								
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ					3							
185		フタホシヒラタガムシ												
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ					2							
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												1
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	18種	15種	22種	31種	25種	13種	17種	23種	23種	16種	13種	37種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-69(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名（和名）	No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 富里ゴルフ倶楽部 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ									1			1
－	－	三岐腸目の一種		1		7					1			
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ												
6	カワニナ	カワニナ	3	3	5	5								
7		チリメンカワニナ		1	1									
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ			1	1				1				
12		ハブタエモノアラガイ								1				
－		モノアラガイ科の一種				2								
13	サカマキガイ	サカマキガイ	1	1		2			1					3
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ				1								
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種	1	2	2	6				2				
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種	2	1		5			1					
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ				1				1	3	1	1	3
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ										3		1
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種									2	5		8
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種				1								
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種				2					1			
33	ヒラタビル	ハバヒロビル									2			
34		ヌマビル												4
35	ヘモビ	セスジビル												
36	イシビル	シマイシビル							1	1				
－		イシビル科の一種	1											
37	ナガレビル	キバビル			1				1	1				
－		ナガレビル科の一種						1						
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ			1					5				
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			3	7			2					
－		Jesogammarus属の一種	1	9		17		5		4				
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種				1	1			1				
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）		3	3	11				2	3	1	1	9
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	6	5	6	11	4	3	6	4		2		1
44		ヌマエビ		1		1								
45		ヌカエビ		1										
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ									1			
48		スジエビ	30	100	20	200	200	15	5	4			1	10
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1	5		6	1	1	1	1	1	1	1	5
50	サワガニ	サワガニ												
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ				7				1				
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ	1		5	12				3				
55		Cloeon属の一種										1		17
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	1	3	3			2		8				
57		Procloeon属の一種	1											
58		ウデマガリコカゲロウ	3			11		7		12				
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ							1					
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種										5	5	1
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種									1	1		1
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ		4					1					
－		Mnais属の一種												
－		カワトンボ科の一種		1		2		3	2	4				
65	ヤンマ	ギンヤンマ									1			
－		Anax属の一種										2		
66	サナエトンボ	ヤマサナエ					1			1				
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ					2			2				
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ				1					1			1
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ						1		2		3		
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ									33			3
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			1	1				1				

表 2.8.1-69(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名（和名）	No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 富里ゴルフ倶楽部 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ	2	1		1	1	1		2				
85		ヒメアメンボ					1			1	1			4
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ		3				1			4			
88		トガリアメンボ									1			
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ	1			4				4				
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ			1						3	1		
－		Sigara属の一種					1					2	4	
－		ミズムシ科の一種（昆）												14
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ					1							
99	タイコウチ	タイコウチ					1							
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ										1		
102		マツモムシ					1							
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種						1						
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種		2	3	10	1	5	2	5				
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種	7			1								
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種				3								
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種			6									
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ			1	8								
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種												
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				3								
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ				1								
118	ガガンボ	Antocha属の一種	1		3	5								
119		Dicranota属の一種			3									
120		Limnophila属の一種										1		
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種		7	3		2	1			2			
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種									23		2	20
130		Cladotanytarsus属の一種								2				
131		Conchapelopia属の一種												
132		Coryponeura属の一種												
133		Cricotopus属の一種		2	1									
134		Cryptochironomus属の一種	3							1				
135		フタエユスリカ			3									
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種									14			3
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種			5	4		1						
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種								4				
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種	1			1				2				
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												1
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												5
153		Rheocricotopus属の一種						1						
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種				1				3				
156		Stictochironomus属の一種												
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種								1				
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種				2				3				
－		モンユスリカ亜科の一種				1								
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種									5			5

表 2.8.1-69(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名（和名）	No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 富里ゴルフ倶楽部 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												2
165	ブユ	Eusimulium属の一種	1			1				2				
166		Simulium属の一種								2				
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ	2				1							
174		チビゲンゴロウ								1				
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ		1			1							
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ									2	1		1
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ				1	2				2			1
182		ゴマフガムシ				1	2				3			
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ				1	2	1			1			
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ												
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	21種	22種	23種	41種	19種	17種	11種	36種	23種	13種	7種	22種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-70(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名（和名）	No. 26 高谷川水路				No. 27 高谷川水路				No. 28 高谷川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ	3											
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ												
6	カワニナ	カワニナ	2	2	3	4	4	1	2	3				
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ												3
12		ハブタエモノアラガイ				3		1			1			
－		モノアラガイ科の一種				1								7
13	サカマキガイ	サカマキガイ								1	1	1	3	1
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ							1					
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種	3	4	4	3	11	3	4	5	1		1	2
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種									1			
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ								1			1	
28		モトムラユリミミズ											1	
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種												
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種			2									2
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種			1								1	1
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル												1
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル			1									
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ											2	
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			6				2	3			6	3
－		Jesogammarus属の一種	3	3		11	2	2		5	4	4		10
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種									2			
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）			9	7				4			1	
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	11	16	6	8	4	3	5	5	5	9	10	7
44		ヌマエビ	1			2	6	8		3		3		5
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ	50	200	100	100	20	100	50	50	50	100	30	10
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	2	1	1	5	1	3	1	4	1		1	2
50	サワガニ	サワガニ		1	3									
51	モクズガニ	モクズガニ						1						1
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ					1				2			
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ			27	4				26			5	9
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ						4			4	3		5
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ					2				2			
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ								3			1	3
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			30				3	3			14	
61		イシワタマダラカゲロウ					4			2				2
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ		1		1		4	2				2	
－		Mnais属の一種						4						
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ	4			4	4	10	2	6				
67		キイロサナエ					4			1				
－		Asiagomphus属の一種				2				2				
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	3			1	1	1	2					
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ	1											
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			1	2				5			2	3

表 2.8.1-70(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名（和名）	No. 26 高谷川水路				No. 27 高谷川水路				No. 28 高谷川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種				1				3				5
－		アミメカワゲラ科の一種			1									
84	アメンボ	アメンボ				2								
85		ヒメアメンボ												1
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ	2	1	1		1	2			1	2		
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ	1			1					4			6
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ									2			
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ												
102		マツモムシ	3						1					
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種									1			
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ										4	4	
－		Cheumatopsyche属の一種					7	1	1	6	2		2	12
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種					4							
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種				1								
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ				3	1							
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種								1				
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ				8				1				
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種												
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	1		4			1	1		1	1	11	3
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種			1						1		1	
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ											2	
136		Finfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種											1	
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種			1								5	
145		Parametriocnemus属の一種								1				
146		Paratendipes属の一種			1									1
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種			3	2				1			1	1
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種								3				
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種											1	1
156		Stictochironomus属の一種	3		6								1	
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-70(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名（和名）	No. 26 高谷川水路				No. 27 高谷川水路				No. 28 高谷川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												
165	ブユ	Eusimulium属の一種			1					3				
166		Simulium属の一種												
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ				1				4				
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												1
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ												
174		チビゲンゴロウ												1
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ												
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ												
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ												4
182		ゴマフガムシ												
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ												2
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ										1		
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種	1	2										
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	17種	10種	23種	22種	17種	16種	14種	26種	19種	10種	25種	29種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-71(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名（和名）	No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ					2			1	2			
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ						4	3	5				
6	カワニナ	カワニナ					5	14	3	2	3	9	5	4
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												1
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ				1								
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種				2								1
13	サカマキガイ	サカマキガイ				4	4			3				
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ					1							
20		イシガイ					1							
21	シジミ	Corbicula属の一種	1	1			2	8	3	5	3		2	1
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種			2									
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ				1						2		
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ								5				
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種								5				
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種								2	2			2
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル				1					1			2
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル											1	
－		ナガレビル科の一種			2	3								
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ			5	4				1				
39	アゴナガヨコエビ	Sternomera属の一種	1	2										
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ											3	3
－		Jesogammarus属の一種	1	1		8				3	1	1		20
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種				1								
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）				3							1	
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	9	12	3	4	6	5	1	1	3		1	2
44		ヌマエビ				2					2	1	5	5
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ	1	100	1	3	50	1		1	100	200	30	100
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1	5	2	5	2	1	1	3		6	1	4
50	サワガニ	サワガニ												
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ			1	3								
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ			3	4					1		2	12
55		Cloeon属の一種								1				
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	1	2		9							1	5
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ			1	7								
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			3									
61		イシワタマダラカゲロウ												16
62	イトトンボ	Ischnura属の一種		1			3							
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
－		カワトンボ科の一種		1	2	14								
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ									7		4	1
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ							1	2	1	6	2	3
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ		2										
77		シオヤトンボ		2										
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ									1			
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			1	1				3			3	5

表 2.8.1-71(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名（和名）	No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ	2	2		1	3			3				
85		ヒメアメンボ	1			3				2				1
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ		1		1	3				1	2		1
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種					2							
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ			1									
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ				2				1	2			3
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ	1				3							
－		Micronecta属の一種				3								
96		エサキコミズムシ					2				1			
－		Sigara属の一種	2	1										
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ					1	2			1			
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ					3							
102		マツモムシ					1		1					
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ			6								2	
－		Cheumatopsyche属の一種				3					1			1
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												8
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												2
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種				1							2	4
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												2
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種			6									
119		Dicranota属の一種									1		1	2
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種			1						6	1		
－		ガガンボ科の一種												1
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種				1								
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種				2				43				
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種			4					3				
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ			5									
136		Einfeldia属の一種								1				
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種				1								
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種			17	8							1	1
145		Parametriocnemus属の一種				1							3	
146		Paratendipes属の一種			1	3								
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種			2	3								1
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種			9	2							2	
156		Stictochironomus属の一種												
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種				25								
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-71(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名（和名）	No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種				1								
164	ホソカ	Dixa属の一種				1								
165	ブユ	Eusimulium属の一種			3								4	2
166		Simulium属の一種			2	1								5
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種									3			
169	アブ	アブ科の一種											1	
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ									2			
174		チビゲンゴロウ												1
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ		2			2			1	2	2		
－		ゲンゴロウ科の一種				2								
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ				1								
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ								1	1			
181		トゲバゴマフガムシ	6			1					7			
182		ゴマフガムシ												
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ	1			1					3			4
186		コガムシ									1			
187		ヒメガムシ									1			
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種		1										
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	13種	16種	24種	42種	18種	7種	7種	23種	28種	10種	22種	32種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-72(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名（和名）	No. 32 空港区域調整池				No. 33 荒海川溜池				No. 34 荒海川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ									1	2	2	2
6	カワニナ	カワニナ									3	4	2	5
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ												
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種												
13	サカマキガイ	サカマキガイ								1		1		
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種									3	3	6	5
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ								1	1			
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ								1				
－		イトミミズ亜科の一種			2					1				
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種												1
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル												
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル												
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ										1	3	3
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			5					3				
－		Jesogammarus属の一種				3		2			2	3		1
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種									1			
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）									2	3	6	6
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種										4		
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ					1							
48		スジエビ	300	75	200	100	300	80	100	30	100	15	5	10
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	2	3	3	8	1			2	1	1		1
50	サワガニ	サワガニ									1	3		2
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ												1
55		Cloeon属の一種	3	1		123								
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												1
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ												
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種		1										
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ										1	3	
－		Mnais属の一種									6			
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ									20	20	30	50
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ									2	2	1	2
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ		1	4					1				
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種											3	5

表 2.8.1-72(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名（和名）	No. 32 空港区域調整池				No. 33 荒海川溜池				No. 34 荒海川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ	1				2							
85		ヒメアメンボ	1			2								
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ									2	1		
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ	1											
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ						2						
－		ミズギワカメムシ科の一種								1				
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ	2											
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ		4	3				2		1			
－		Sigara属の一種	3		9		2		3	1				
－		ミズムシ科の一種（昆）				25								
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ	2	3			2							
102		マツモムシ					3	1			1			
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種									1	1		
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												1
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種											2	1
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種												1
120		Limnophila属の一種										1		
121		Pedicia属の一種											1	
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種									5	3	5	9
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種							1					
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種			1			2						
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												
134		Cryptochironomus属の一種												1
135		フタエユスリカ												
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種					1							
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種											1	
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種							5					
144		Orthocladius属の一種												
145		Parametriocnemus属の一種											5	
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種			1	3			3	6				
148		Polypedilum属の一種									1	10		3
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種				2								2
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種												
156		Stictochironomus属の一種			4	3							1	3
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種										1	2	
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-72(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名（和名）	No. 32 空港区域調整池				No. 33 荒海川溜池				No. 34 荒海川水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種		1										
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種										1	1	2
165	ブユ	Eusimulium属の一種											4	3
166		Simulium属の一種												1
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ	1											
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ					1							
173		コシマゲンゴロウ					1	1			1			
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ		4	1		1	1	1		1	1		
－		ゲンゴロウ科の一種				2								
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	1											
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種											1	
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ	1				1			1				
182		ゴマフガムシ								1				
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ									1			
185		フタホシヒラタガムシ					1							1
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ		2			2			1				
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	12種	10種	10種	10種	14種	7種	6種	13種	22種	22種	20種	27種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-73(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名（和名）	No. 36 多古橋川 水路				No. 37 多古橋川 水路				No. 38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ	1											
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ						10			1	2		1
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ						3						
6	カワニナ	カワニナ	1	1		2	1	4	3	2	5	11		4
7		チリメンカワニナ											3	6
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ			1									
11		コシダカヒメモノアラガイ												1
12		ハブタエモノアラガイ		2										
－		モノアラガイ科の一種												
13	サカマキガイ	サカマキガイ	5	5	8	6								
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種		2		1	8	4	3	6			4	4
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種								1				
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ	11	2	2	4	5						2	2
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種	1		3	2	1	1	2				1	
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種											1	
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種		1	1									4
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル	1											
35	ヘモビ	セスジビル					1		1		2			1
36	イシビル	シマイシビル	4	3	7			2	3					
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル		1				1						3
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ			5									
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ						3	1	3		3	5	1
－		Jesogammarus属の一種		5		3	1			5				3
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種												1
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）	1	5	8	5	3		7	5				1
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	5	6	1		11	6	5	6	8	12	3	7
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ												
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1	2	1	5	1			1	1	2	1	1
50	サワガニ	サワガニ												
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ					1							
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ				8		6	16	5				
55		Cloeon属の一種												
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ		9			1			6				
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ					2							
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ								1				
－		Mnais属の一種						2						
－		カワトンボ科の一種		1		1								
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ												
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	1					1	1	1				2
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ	2	2	2							1		
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種				1								

表 2.8.1-73(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名（和名）	No. 36 多古橋川 水路				No. 37 多古橋川 水路				No. 38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ												
85		ヒメアメンボ								2				
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ						1						
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ				1		1			3			7
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Micronecta属の一種												
96		エサキコミズムシ												
－		Sigara属の一種									1			
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ					1	1						
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ												
102		マツモムシ							1					
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種					7	7	1	3			3	1
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種		1						2				1
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種						1						
119		Dicranota属の一種												
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種	1	3	1		1	1	3	1		1	6	
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種		3		1								
129		Chironomus属の一種	6		31	29	1	1	3	4			1	
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種			3									
132		Corynoneura属の一種			2					1				
133		Cricotopus属の一種		1	16	3								
134		Cryptochironomus属の一種	4											
135		フタエユスリカ							7				7	
136		Einfeldia属の一種	2											
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種		3										
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種				1								
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種												
145		Parametriocnemus属の一種			1								1	
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種	1	1			2			3				
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種												
156		Stictochironomus属の一種	2		3									
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種				2	1							
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種								1				
－		モンユスリカ亜科の一種		1										
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種				1								

表 2.8.1-73(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名（和名）	No. 36 多古橋川 水路				No. 37 多古橋川 水路				No. 38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												
165	ブユ	Eusimulium属の一種												
166		Simulium属の一種												
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種								1	2			1
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ	1											1
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ		4	1		1		2		1			1
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ												
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ									3			2
182		ゴマフガムシ									1			1
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ	1	1							2			4
186		コガムシ					1							1
187		ヒメガムシ		1							1			1
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル					1							
合計	85科	191種	20種	25種	18種	16種	21種	19種	16種	20種	13種	7種	12種	26種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-74(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名（和名）	No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ				1								
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ			1									
6	カワニナ	カワニナ			1		7	4	5	9				
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ				7								
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ				1				1				
12		ハブタエモノアラガイ				2								
－		モノアラガイ科の一種				2								
13	サカマキガイ	サカマキガイ	1			4								
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種								1				
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												1
17		タガイ												1
－		Sinanodonta属の一種						2	1					
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種					6	4	3					
22	マメシジミ	Pisidium属の一種					1							
23	ドブシジミ	ドブシジミ								4				
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種				2								
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種							3					
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ			1									
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種												
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種												
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種					1	1	1					
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル						2						
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種			1									
37	ナガレビル	キバビル				1	3		4	2				
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ			4	4			2					
39	アゴナガヨコエビ	Sternomera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ						5	1					1
－		Jesogammarus属の一種				6	1			3				
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種												
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）				6	2	2	4	1			5	
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種	13	11	6	7	6	10	6	6	26	8	5	5
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ												
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1	1	1	4	2	1	1	1	6	2	3	2
50	サワガニ	サワガニ						1						
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ			3	1			3					
55		Cloeon属の一種	5			1								
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ				3								
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ												
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種										1		
63		Paracercion属の一種										5	1	4
－		イトトンボ科の一種										1		
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
－		カワトンボ科の一種				1								
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ												
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ					2	2	4	3				
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ		1						1				
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ									6			8
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種												2

表 2.8.1-74(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名（和名）	No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ		2							3	1		1
85		ヒメアメンボ	1			3				1				1
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ					1	3						
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ										1		
90		ヒメイトアメンボ	1											
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ					2	1	1	4				
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ				1								
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microhydra属の一種												
96		エサキコミズムシ	3		3							2	1	
－		Sigara属の一種			1				1				3	
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ										1		
102		マツモムシ									1	2		
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ			2									
－		Cheumatopsyche属の一種					1	1						
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ						1						
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種					3	1		1				
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ								1				
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種												
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種					1	1	2					
－		ガガンボ科の一種				2								
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種				1								
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種			4	2		2						
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種			2									
132		Coryneneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種			1									
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ							11					
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種			2									
140		Micropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種			1	3								
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種			1									
147		Phaenopsectra属の一種												3
148		Polypedilum属の一種	1											
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種	1											
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種						1						
156		Stictochironomus属の一種			1									
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-74(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名（和名）	No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種	1											
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												
165	ブユ	Eusimulium属の一種												
166		Simulium属の一種												
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種				1				3				
169	アブ	アブ科の一種					1							
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ								1				
174		チビゲンゴロウ	1			1				2				
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ			3	3		1				3	3	
－		ゲンゴロウ科の一種				5								
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ												
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ	2			1	3			1				
182		ゴマフガムシ	4			4								
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ	4			7				11				
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ								2		2		
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Parachas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	14種	4種	18種	28種	17種	20種	16種	21種	5種	11種	6種	11種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-75(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名（和名）	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												1
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ					3			2				
4		オオタニシ	2			1								
5		ヒメタニシ							2					
6	カワニナ	カワニナ					7	7	3	2				
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ												
12		ハブタエモノアラガイ												3
－		モノアラガイ科の一種												
13	サカマキガイ	サカマキガイ		1	2		1	2		1	3			2
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種					1							
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種					12		2	4				
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ			2	3					2			
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種							1	4				
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種								1				
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種							1					
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル					3							
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル					2		1					
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ								1				
39	アゴナガヨコエビ	Sternomera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ			2	5			3	1				
－		Jesogammarus属の一種		9		15				4				
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種												
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）			2	1		1	3	8				
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種					7	4	4	5				
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ												
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	8	1	2	5	1	1	1	1	2	2	2	2
50	サワガニ	サワガニ						1						
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ						2		1				
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ							17	10				
55		Cloeon属の一種				21					3			2
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ						1						
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種		1	1									3
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種										2		
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ							1					
－		Mnais属の一種												
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種		2										
66	サナエトンボ	ヤマサナエ												
67		キイロサナエ												
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ									1	2		1
71	オニヤンマ	オニヤンマ		1		1	3		2	2				
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ									1			
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ		1		1						1		1
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												1
79		コシアキトンボ	2			1					2			4
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種			2	1								

表 2.8.1-75(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名（和名）	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ	4	2							2	2		2
85		ヒメアメンボ	1			5				2	1			6
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ												
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種	2											
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ				1								
92		ナガレカタビロアメンボ												
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Micronecta属の一種												
96		エサキコミズムシ	7	2	3						1	1		
－		Sigara属の一種			6				3					
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ												1
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ	6	10										
102		マツモムシ	3	2							1	2	1	
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												3
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種					1							
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ							2	1				
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種					2		1					
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ								2				
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種												
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種					3	2	1	2	2			
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種								1				
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種					1			11	5	1		
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種								5				
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種							1					
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ							8					
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種				1					1			
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種												
145		Parametriocnemus属の一種								4				
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種			5									
148		Polypedilum属の一種				1								
149		Potthastia属の一種								1				
150		Procladius属の一種									1			
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種												
156		Stictochironomus属の一種				7								
157		Tanypus属の一種									37			
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種								1				
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種							1					
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-75(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名（和名）	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種									2			
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												1
165	ブユ	Eusimulium属の一種												
166		Simulium属の一種												
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ										2		
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ		1			1							
174		チビゲンゴロウ								1				
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ	1	4	3		1		3			2		2
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	2								4			
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ												
182		ゴマフガムシ	1	1			2			5				
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ	1											
185		フタホシヒラタガムシ					3			3				
186		コガムシ					1							
187		ヒメガムシ	1	1			1	1			4			
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	13種	15種	10種	15種	20種	10種	21種	27種	19種	10種	2種	16種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-76(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名（和名）	No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												7
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ	4		1	2	2	6	2	3				
6	カワニナ	カワニナ	2	3	3	6	3	4	5	3				
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ				1					7			
12		ハブタエモノアラガイ												
－		モノアラガイ科の一種												
13	サカマキガイ	サカマキガイ									7	17	10	5
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種		3		5	2	2	2	2				
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種												
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種						2						
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ												
27		エラミミズ	3									7	9	5
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												1
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種	2	1								5	17	3
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種						3		2				
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種				1				1				
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル					1							
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種												
37	ナガレビル	キバビル												
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ												
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ							5	1			6	
－		Jesogammarus属の一種					2	3		7		6		9
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種	1			1								
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）		1	1	2	1			1	8	3	14	12
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種		1			11	8	3	8				
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ												
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ												
48		スジエビ						20		3				
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1				1				2	4	2	4
50	サワガニ	サワガニ		30		1	4	20	5	7				
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ												
53		フタモンコカゲロウ												
54		シロハラコカゲロウ				3				1				
55		Cloeon属の一種									2			3
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ												
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ				1								
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												4
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ			3	2		3	1					
－		Mnais属の一種	11	5						1				
－		カワトンボ科の一種												
65	ヤンマ	ギンヤンマ										1	1	
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ					5	5	30	15				
67		キイロサナエ						1						
－		Asiagomphus属の一種								2				
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ												
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ	1	5	3	3	3	1	2	3				
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ												
73		コヤマトンボ												
74	トンボ	ショウジョウトンボ									3			
75		コフキトンボ												
76		シオカラトンボ		3								1		1
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ									2			
79		コシアキトンボ												
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種	12		1	9				5			2	

表 2.8.1-76(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名（和名）	No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ												
85		ヒメアメンボ								1				2
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ	1	4		1	3	1	1					
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ												
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ				4	1	1						
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ												
95		ハイイロチビミズムシ												
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ	1								1	2	1	
－		Sigara属の一種												
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ				1								
99	タイコウチ	タイコウチ					1	1						
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ					1							
102		マツモムシ	1											
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種												
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種												
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種												
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種												
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種												
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ												
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種	7	1	1	3			3	2				
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ								1				
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種												
119		Dicranota属の一種	2											
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種				2		2						
123		Tipula属の一種	8	4	1			7	1					
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												1
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種												
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種				6								
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ												
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種												
138		Glyptotendipes属の一種												
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種											1	
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												2
144		Orthocladius属の一種				1								
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種												
147		Phaenopsectra属の一種												
148		Polypedilum属の一種	2		1	5		5		3				
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												1
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種												
156		Stictochironomus属の一種				3							1	
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種												
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種	1											

表 2.8.1-76(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名（和名）	No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種												
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種	1	2		2				1				
165	ブユ	Eusimulium属の一種				8			2					
166		Simulium属の一種								1				
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種									1			
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ												
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ												
174		チビゲンゴロウ												
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ					3					2		
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ									21			4
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ												
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ									2			1
182		ゴマフガムシ					1							
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ												
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ	1								1	1		
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種												
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	18種	13種	9種	24種	17種	19種	13種	21種	12種	11種	11種	16種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.8.1-77(1)　定性採集調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名（和名）	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	タンスイカイメン	カワカイメン												
2	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ												
－	－	三岐腸目の一種												
3	タニシ	マルタニシ												
4		オオタニシ												
5		ヒメタニシ												
6	カワニナ	カワニナ												
7		チリメンカワニナ												
8	ミズツボ	コモチカワツボ												
9	カワコザラガイ	カワコザラガイ												
10	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ												
11		コシダカヒメモノアラガイ					9							
12		ハブタエモノアラガイ											1	1
－		モノアラガイ科の一種							1	6				
13	サカマキガイ	サカマキガイ					2							6
14	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ科の一種												
15	イガイ	カワヒバリガイ												
16	イシガイ	ヌマガイ												
17		タガイ												
－		Sinanodonta属の一種												
18		ヨコハマシジラガイ												
19		マツカサガイ												
20		イシガイ												
21	シジミ	Corbicula属の一種					3	4	3	7				
22	マメシジミ	Pisidium属の一種												
23	ドブシジミ	ドブシジミ												
24	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種					1		1	3				
25	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種												
26	ミズミミズ	エラオイミズミミズ											1	
27		エラミミズ							2					
28		モトムラユリミミズ												
29		ユリミミズ												
30		ハリミズミミズ												
－		イトミミズ亜科の一種											3	
31	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種					1			2				
32	フトミミズ	フトミミズ科の一種												
33	ヒラタビル	ハバヒロビル												
34		ヌマビル												
35	ヘモビ	セスジビル												
36	イシビル	シマイシビル												
－		イシビル科の一種					1							
37	ナガレビル	キバビル												
－		ナガレビル科の一種												
38	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ											3	
39	アゴナガヨコエビ	Sternompera属の一種												
40	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ							2					
－		Jesogammarus属の一種						3		1				
41	ハマトビムシ	Platorchestia属の一種												
42	ミズムシ（甲）	ミズムシ（甲）		1	1	4	5	3	5	7			2	2
43	ヌマエビ	Neocaridina属の一種												
44		ヌマエビ												
45		ヌカエビ									2			
46	テナガエビ	ヒラテテナガエビ												
47		テナガエビ					1	4	18	40				
48		スジエビ	200	2	20	20	2	20	100	1	100	15	2	1
49	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	1		2	3	1	1	2	3	1	3	2	5
50	サワガニ	サワガニ												
51	モクズガニ	モクズガニ												
52	コカゲロウ	サホコカゲロウ					2	7	4	12				
53		フタモンコカゲロウ								1				
54		シロハラコカゲロウ					1		2	5				
55		Cloeon属の一種					3							
56		ウスイロフトヒゲコカゲロウ					3	5		5				
57		Procloeon属の一種												
58		ウデマガリコカゲロウ					5	14		9				
59	ヒラタカゲロウ	サトキハダヒラタカゲロウ												
60	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ												
61		イシワタマダラカゲロウ												
62	イトトンボ	Ischnura属の一種												
63		Paracercion属の一種												
－		イトトンボ科の一種												
64	カワトンボ	ニホンカワトンボ												
－		Mnais属の一種												
－		カワトンボ科の一種								3				
65	ヤンマ	ギンヤンマ												
－		Anax属の一種												
66	サナエトンボ	ヤマサナエ												
67		キイロサナエ					1		2					
－		Asiagomphus属の一種												
68		オナガサナエ												
69		コオニヤンマ								1				
70		コサナエ												
71	オニヤンマ	オニヤンマ												
72	エゾトンボ	オオヤマトンボ				1					1	1		
73		コヤマトンボ						1		1				
74	トンボ	ショウジョウトンボ												
75		コフキトンボ										1		
76		シオカラトンボ					1				2			
77		シオヤトンボ												
78		オオシオカラトンボ												
79		コシアキトンボ	1									7		
80		マユタテアカネ												
81	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種												
82		Nemoura属の一種											1	

表 2.8.1-77(2)　定性採集調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名（和名）	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
83	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種												
－		アミメカワゲラ科の一種												
84	アメンボ	アメンボ						1						
85		ヒメアメンボ				4	1			1	1			2
86		コセアカアメンボ												
87		シマアメンボ						1						
88		トガリアメンボ												
－		アメンボ科の一種												
89	イトアメンボ	オキナワイトアメンボ												
90		ヒメイトアメンボ	2											
91	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ												
92		ナガレカタビロアメンボ								2				
93	ミズギワカメムシ	エゾミズギワカメムシ												
－		ミズギワカメムシ科の一種												
94	ミズムシ（昆）	クロチビミズムシ					2							
95		ハイイロチビミズムシ									1			
－		Microneta属の一種												
96		エサキコミズムシ		1			2					1	3	
－		Sigara属の一種							2					
－		ミズムシ科の一種（昆）												
97	メミズムシ	メミズムシ												
98	コオイムシ	コオイムシ												
99	タイコウチ	タイコウチ									1			
100		ミズカマキリ												
101	マツモムシ	コマツモムシ						2						
102		マツモムシ					1	1						
103	センブリ	センブリ科の一種												
104	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ												
105	ムネカクトビケラ	Ecnomus属の一種						2						
106	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ												
－		Cheumatopsyche属の一種					5	14	11	9				1
107		ウルマーシマトビケラ												
－		Hydropsyche属の一種					17		4	4				
108	クダトビケラ	Psychomyia属の一種						1		18				
109		Tinodes属の一種												
－		クダトビケラ科の一種												
110	ヒメトビケラ	Hydroptila属の一種					1	1		1				
111	コエグリトビケラ	Apatania属の一種												
112	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ					2							
113	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ												
－		Lepidostoma属の一種												
114	ヒゲナガトビケラ	Mystacides属の一種												
115	エグリトビケラ	ホタルトビケラ												
116	ケトビケラ	Gumaga orientalis												
117	ツトガ	キオビミズメイガ												
118	ガガンボ	Antocha属の一種					2	1		2				
119		Dicranota属の一種												
120		Limnophila属の一種												
121		Pedicia属の一種												
122		Scleroprocta属の一種												
123		Tipula属の一種					2	2	3	1				
－		ガガンボ科の一種												
124	コシボソガガンボ	Bittacomorphella属の一種												
125		Ptychoptera属の一種												
126	ヌカカ	ヌカカ科の一種												
127	ユスリカ	Benthalia属の一種												
128		Brillia属の一種												
129		Chironomus属の一種			1								1	
130		Cladotanytarsus属の一種												
131		Conchapelopia属の一種												
132		Corynoneura属の一種												
133		Cricotopus属の一種												
134		Cryptochironomus属の一種												
135		フタエユスリカ												
136		Einfeldia属の一種												
137		Endochironomus属の一種			1									
138		Glyptotendipes属の一種	2										1	7
139		Hydrobaenus属の一種												
140		Macropelopia属の一種												
141		Microtendipes属の一種												
142		Monodiamesa属の一種												
143		Natarsia属の一種												
144		Orthocladius属の一種							6	7				
145		Parametriocnemus属の一種												
146		Paratendipes属の一種							1					
147		Phaenopsectra属の一種				6								
148		Polypedilum属の一種												
149		Potthastia属の一種												
150		Procladius属の一種												
151		Prodiamesa属の一種												
152		Psectrocladius属の一種												
153		Rheocricotopus属の一種												
154		Rheopelopia属の一種												
155		Rheotanytarsus属の一種								2				
156		Stictochironomus属の一種												
157		Tanypus属の一種												
158		Tanytarsus属の一種												
159		Thienemanniella属の一種												
160		Tokunagaia属の一種								2				
161		Tvetenia属の一種												
－		モンユスリカ亜科の一種												
－		エリユスリカ亜科の一種												
－		ユスリカ科の一種												

表 2.8.1-77(3)　定性採集調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名（和名）	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
162	カ	Anopheles属の一種					2							
163		Culex属の一種												
－		カ科の一種												
164	ホソカ	Dixa属の一種												
165	ブユ	Eusimulium属の一種												
166		Simulium属の一種												
167	ナガレアブ	サツマモンナガレアブ												
168	ミズアブ	Odontomyia属の一種												
169	アブ	アブ科の一種												
170	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ												
171		ホソセスジゲンゴロウ					1				1			
172		ハイイロゲンゴロウ												
173		コシマゲンゴロウ					1							
174		チビゲンゴロウ					1							
175		オオヒメゲンゴロウ												
176		ヒメゲンゴロウ					1							
－		ゲンゴロウ科の一種												
177	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	1											
178	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ					1							
179	ダルマガムシ	Hydraena属の一種												
180	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ												
181		トゲバゴマフガムシ					2							
182		ゴマフガムシ												
183		ヒメセマルガムシ												
184		キベリヒラタガムシ												
185		フタホシヒラタガムシ					1							
186		コガムシ												
187		ヒメガムシ					1	1						
188	ヒメドロムシ	Optioservus属の一種												
189		Zaitzevia属の一種						1						
190	ナガハナノミ	Paralichas属の一種												
－		ナガハナノミ科の一種												
191	ホタル	ゲンジボタル												
合計	85科	191種	6種	3種	5種	6種	36種	22種	18種	28種	9種	6種	11種	8種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 28 年度版」（平成 28 年国土交通省河川環境データベース）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

2.8.2. 予測結果

(1) 哺乳類

表 2.8.2-1　動物の重要な種（ヒミズ）の予測結果

種名（和名）		ヒミズ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	アズマモグラより小さいが、尾は本種の方が長い。前足はモグラ類ほどには大きく発達していない。森林、やぶ、草地に生息する。主に昆虫類、ミミズ類、ジムカデ類、クモ類、種実を食す。半地下性の生活を送る。地上での活動は夜間に多い。県南部の森林に多く生息する。
	分布	本州～九州、周辺島嶼。
	千葉県内の状況	県南部の森林に多く生息する。県央・北部では生息環境が悪化していると考えられるが、詳細は不明である。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の道路上で、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種を確認した調査区域 C の地点は直接の改変を受けず、周辺の生息環境にも変化はない。しかし、改変区域には本種の主要な生息環境である広葉樹林及び針葉樹林が約 320ha 分布しており、未確認の生息地が複数消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-2　動物の重要な種（ユビナガコウモリ）の予測結果

種名（和名）		ユビナガコウモリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①、②、③）	種の特性	高速・長距離飛翔に適する狭長型の翼をもつ。洞穴（自然洞、坑道、トンネル跡、防空壕跡、地下水路など）をねぐらとする。飛んでいる昆虫類を食す。夜行性。交尾、受精は 10 月～11 月下旬、11 月下旬～3 月中旬に冬眠し、メス成獣は 3 月中旬頃から出産コロニーへ移動し、7 月上旬頃から出産哺育する。生後約 40 日で飛翔を開始する
	分布	本州～九州、いくつかの島嶼。
	千葉県内の状況	1990～2004 年（平成 2～16 年）に実施された調査では、洞穴性コウモリの利用ねぐら 42 カ所のうち 26 カ所（県南部 19、県央・北東部 7）で確認された。安房郡のトンネル跡、山武郡の地下軍事工場後で活動期に活動期などに確認されており、この 2 点間での移動（直線距離で 67km）が確認されている。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A のカルバート内、調査区域 C のゴルフ場下のカルバート内、道路下のカルバート内で確認した。道路下のカルバートを除く 2 地点では、秋季に多くの個体を確認した。いずれの地点においても、幼獣は確認されなかった。詳細は「10.10.1. 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、本種は調査地域のカルバートをねぐらとし、その周辺の河川や森林周辺で採餌をしていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種がねぐら利用している 2 つのカルバート（空港下カルバート、ゴルフ場下カルバート）のうち、ゴルフ場下カルバートは事業の実施に伴い消失すると予測する。代替となる洞穴環境は調査地域にはなく、特殊な環境が半減することになる。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）
資料②：The Wild Mammals of Japan（平成 27 年　松香堂）
資料③：日本動物大百科 1　哺乳類 1（平成 8 年　平凡社）

表 2.8.2-3　動物の重要な種（コウモリ目の一種）の予測結果

種名（和名）		コウモリ目の一種
重要種選定基準		【ヒナコウモリ】 環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：情報不足 【ヤマコウモリ】 環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：消息不明・絶滅生物（X） 【オヒキコウモリ】 環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	【ヒナコウモリ】 樹洞、建物、洞穴、岩のすき間をねぐらとする。飛んでいる昆虫類を食す。夜行性。冬眠する。1 産 1～3 子。春～夏に数十頭～数千頭のメスだけの集団で出産哺育する。 【ヤマコウモリ】 森林や都市にある樹洞をねぐらとする。飛んでいる昆虫類を食す。夜行性。冬眠する。1 産 1～2 子で、2 子が多い。初夏に数十頭～百頭を越すメスだけの集団で出産哺育する。 【オヒキコウモリ】 腿間膜から長く突出した尾と、きわめて大きな耳介が特徴である。多くは学校や大学の校内、路上、家屋などでの発見である。集団が発見されものは無人島の岩の割れ目、家屋の隙間で、隠れ家として利用していることが知られる。
	分布	【ヒナコウモリ】北海道、本州、四国、九州。 【ヤマコウモリ】北海道、本州、四国、九州、沖縄。 【オヒキコウモリ】北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	【ヒナコウモリ】 市川市幸、鴨川市東町、浦安市高洲、千葉市中央区千葉寺町の 4 例が確認されている。 【ヤマコウモリ】 1956 年（昭和 31 年）に市川市の樹洞で捕獲されたとう 15 頭を国立科学博物館が標本商より入手している。他、千葉県産 10 頭の計測値、標本商より入手した県産の個体に関して記述した文献が 2 例あるが。産地は不明であり、市川市の個体と同一であるかは不明である。その他の県内での生息情報は得られていない。 【オヒキコウモリ】 情報なし。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の農耕地林縁の上空付近において、周波数 15kHz、20kHz 前後のエコロケーションコールを数例確認した。確認した周波数帯及び環境から判断し、ヒナコウモリ、ヤマコウモリ、オヒキコウモリの可能性が考えられる。
生息環境の分布状況		ヒナコウモリ、ヤマコウモリ、オヒキコウモリのいずれかである場合、これらの種の主要な生息環境は樹林及び緑の多い住宅地と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	コウモリ目の一種がヒナコウモリ、ヤマコウモリ、オヒキコウモリのいずれかである場合、本種の主要な生息環境は様々な樹林及び緑の多い住宅地と考えられる。改変区域にはこれらの環境が約 440ha 分布しており、採餌環境等が消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-1 哺乳類（平成 26 年　環境省）

表 2.8.2-4　動物の重要な種（ニホンリス）の予測結果

種名（和名）		ニホンリス
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	混交林とマツ林を好む。主に葉、芽、花、種実やキノコ類を食す。昼行性。樹上で活動するが、食物を貯蔵（貯食）するときなどは地上にも下りる。常緑樹の樹上に小枝・樹皮などによる球状の巣を作る。
	分布	本州、四国、九州。淡路島では近年の生息記録がない。
	千葉県内の状況	県内では年間を通してマツの種子が主要な食物である。県南部では連続的に分布しているが、県北部では生息地点の孤立化、消失が進んでいる。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 C の林内や林縁部等で、生体の目撃や食痕、樹皮剥ぎ等の痕跡を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の広い範囲で確認しており、特に改変区域内で多くの痕跡等を確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である広葉樹林及び針葉樹林が約 320ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-5　動物の重要な種（ヒメネズミ）の予測結果

種名（和名）		ヒメネズミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	頭胴長 6.5～10cm、尾長 7.0～11cm、体重 10～20g。森林に生息する。主に種子、緑色植物、果実、昆虫類を食す。夜行性で、樹上をよく利用する。1 産 1～9 子（通常は 3～5 子）であり、出産期は寒冷地で 4～10、11 月、温暖地で 10～3 月。行動圏の面積は 200～1,325 ㎡。。
	分布	北海道～九州
	千葉県内の状況	房総丘陵の森林、特に照葉樹林を好み、県央・北部では社寺林など限られた場所で確認されるだけである。清澄山における研究では、出産期は春（2～4 月）と秋（9～11 月）の 2 回、平均産子数は 4.1 頭、生息密度は 5.6～23.0 頭/ha あった。
確認状況		冬季及び春季の調査において、調査区域 C の針葉樹林内や照葉樹林内で捕獲調査により確認した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、針葉樹林及び照葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種の確認は全体で調査区域 C での 2 例のみであり、調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。確認した調査区域 C の地点は周辺も含めて直接の改変を受けないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-6　動物の重要な種（カヤネズミ）の予測結果

種名（和名）		カヤネズミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	主に放棄水田、河川敷、湿地などの草原に生息する。ススキ、オギ、チガヤなどイネ科の葉を利用し、主に地上 70～110cm のところに直径 10cm くらいの球形の巣を作る。主にイネ科植物の種子やバッタ類を食す。
	分布	本州（北部を除く）～九州。
	千葉県内の状況	丘陵地～平野まで広く分布する。イネ科などが繁茂する草地に生息する。九十九里平野における出産期は 5～12 月で、平均産子数は 4.3 頭であった。
確認状況		秋季～春季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の高茎草地や水田等で球巣を確認した。また、捕獲調査により、生体を確認した。詳細は「10.10.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、湿性草地及び乾性草地、放棄水田等が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	多くの営巣環境が消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-7　動物の重要な種（キツネ）の予測結果

種名（和名）		キツネ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし： 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	メスよりオスの方がやや大きい。やぶ、森林、耕作地が混在する生息環境を好む。主に小型哺乳類、昆虫類、果実を食す。夜行性だが、日中も活動する。春先に出産し、地中に掘った巣穴で育てる。
	分布	北海道～九州。
	千葉県内の状況	生息情報は利根川の河川敷、下総台地、県南部の農村地帯など県内広くから得られている。中型食肉類の他種と比べて斃死個体の確認数はきわめて少なく、千葉県立中央博物館に収蔵されている県内産標本は次の 4 個体のみである。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の農耕地、水田周辺等で足跡、糞等の痕跡や生体の目撃、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、樹林及び耕作地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に調査区域 C の広い範囲で確認しており、改変区域内でも痕跡等を複数確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である樹林及び耕作地が約 800ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-8　動物の重要な種（テン）の予測結果

種名（和名）		テン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	メスよりオスの方が大きい。広葉樹の自然林を好む。主に果実、昆虫類、鳥類、小型哺乳類を食す。夜行性で、樹上をよく利用する。千葉県産の本種では夏毛は全身が黒褐色で、喉から胸が鮮やかな黄色、冬毛は全身が薄い褐色の個体が多い。
	分布	本州～九州。移入個体が北海道に分布。
	千葉県内の状況	主に房総丘陵に生息する。斃死個体の確認数は、タヌキ、ニホンイタチ、ニホンアナグマと比べて少ない。
確認状況		夏季～秋季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の農耕地周辺等で、足跡や糞等の痕跡を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に調査区域 C の広い範囲で確認しており、改変区域内で多くの痕跡等を確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である樹林が約 420ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-9　動物の重要な種（アナグマ）の予測結果

種名（和名）		アナグマ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	森林性で、林縁や農耕地も好む。主にミミズ、果実、甲虫類を食す。夜行性だが、日中も活動する。
	分布	本州～九州。
	千葉県内の状況	県南部に多く生息し、この地域では斃死個体の確認も少ない。県央、北部では分布域が縮小していると考えられるが、詳細は不明である。狩猟獣であり、近年（2003～2007 年（平成 15～16 年）度）では年に 5～9 頭が狩猟捕獲されている。タヌキ、テン、ハクビシンと食性が大きく重複する。
確認状況		夏季の夜間調査において、調査区域 C の道路上で生体を確認した
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種を確認した調査区域 C の地点は直接の改変を受けず、周辺の生息環境にも変化はない。しかし、改変区域には本種の主要な生息環境である樹林が約 420ha 分布しており、未確認の生息地が複数消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(2) 鳥類

表 2.8.2-10　動物の重要な種（ウズラ）の予測結果

種名（和名）		ウズラ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①、②）	種の特性	地上で生活し、植物の種子や昆虫等を採食する。オスは、「グヮッ、クルルー」と大きな声で鳴く。繁殖期は 5～9 月で、地上に掘った窪みに営巣する。巣の産座には草本類の茎や葉等を用いる。7～12 卵を産む。抱卵日数は 16～21 日である。雛は孵化後しばらくすると親とともに巣を離れる。秋期の渡来期には、刈り残しの稲田に多い。稲刈り後、水田の畦や放棄水田・河原等に移る。冬期は、平地や海岸の草原・稲田等で越冬する。全国的に個体数が減少している。生息数自体が減少していると考えられるが、その要因はよく分かっていない。本種の生息環境は、広い草原であるため、草地の消失が個体数の減少に影響していると考えられる。地上性の種であることから、野犬やノネコによる被害も大きいと考えられる。
	分布	本州北部以北で繁殖し、本州中部以南で越冬する。
	千葉県内の状況	冬鳥もしくは旅鳥。県内では少ない。1960 年（昭和 35 年）以前は個体数も多かったが、1980 年（昭和 55 年）以降、繁殖の記録はない。近年、越冬個体も激減しており、野外での目撃情報は少ない。利根川水系の水田や草地で記録されている。市街地などからも報告があるが、逃げ出した飼い鳥と思われる例が多い。
確認状況		6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地で数個体を確認した。資料①によると、1980 年（昭和 55 年）以降に（千葉県における）繁殖の記録はないとされている。確認時期は繁殖期にあたるが、繁殖している可能性は低いものと考える。
生息環境の分布状況		空港区域の草地が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は空港区域の草地（芝地）で確認した。その他の草地では確認しておらず、空港区域の草地が主要な生息環境と考えられる。このため、生息環境に変化はない。なお、事業の実施に伴い草地（芝地）面積は増加することから、生息環境も広がると考えられる。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-2 鳥類（平成 26 年　環境省）

表 2.8.2-11　動物の重要な種（オオヒシクイ）の予測結果

種名（和名）		オオヒシクイ
重要種選定基準		国指定天然記念物 環境省 RDB：純絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：消息不明・絶滅生物（X） 茨城県 RDB：絶滅危惧ＩＢ類
生態（資料①、②）	種の特性	全長 71～89cm。羽色は、全体に黒褐色である。嘴の先の橙色が目立つ。天然記念物。国内には亜種ヒシクイと亜種オオヒシクイの 2 亜種が渡来し越冬する。亜種ヒシクイは、水田で落ちモミや草本の地上部、根等を採食する。一方、亜種オオヒシクイは、主に沼地を採食場所とし、底中のマコモの地下茎や、ヒシの種子等を採食する。
	分布	国内では、数少ない冬鳥。越冬地及び渡りの中継地は限られている。亜種ヒシクイと亜種オオヒシクイが、それぞれ約 6,000 羽渡来し越冬する。太平洋側に亜種ヒシクイ、日本海側にオオヒシクイが多く分布する。
	千葉県内の状況	かつては冬鳥。東京湾で記録されていた。手賀沼周辺でよくみられた。1977 年に手賀沼で 14 羽の記録がある。1977 年以降は、印旛沼や新浜等に少数が渡来した記録しかない。千葉県内では、定期的な越冬群は見られない。
	茨城県内の状況	臆病な性質のため、視界を遮るものがない広い耕地や湖沼に越冬する。本県では稲敷市の稲波干拓地に関東地方唯一の定期的な越冬地がある。
確認状況		冬季のオオヒシクイ調査において、茨城県稲敷市の稲波干拓地周辺で確認した。詳細は「10.8.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地　(2)予測　4)調査結果」に記載した。資料①によると、千葉県内では冬鳥と考えられる。
生息環境の分布状況		茨城県稲敷市の稲波干拓地とその周辺が本種の越冬地である。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	－
	航空機の運航	航空機の将来の高さは現況とは大きく変わらず、平均、最低ともにオオヒシクイの飛翔高度（最高 324m）よりも高くなると予測する。航空機の飛行の頻度は多くなるものの、オオヒシクイの飛翔高度とは交差しない。なお、航空機の飛行高さがオオヒシクイの飛翔高さに近づくのは、直進降下する着陸機が利根川を南に越えてからとなるが、稲波干拓地のオオヒシクイが利根川を南に越えた例はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：茨城県版レッドデータブック＜動物編＞2016 年改訂版（平成 28 年　茨城県）

表 2.8.2-12　動物の重要な種（オシドリ）の予測結果

種名（和名）		オシドリ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	中型のカモ類。極東地域に固有の種である。ユーラシア大陸東部で繁殖する。冬期は南に渡る。越冬地で大きな群れを形成することがある。雄の繁殖羽は目立つ色彩をしている。樹洞に営巣する。
	分布	北海道・本州・沖縄で繁殖する。越冬期は本州中部以南で見られる。
	千葉県内の状況	周年見られる。夏季の記録も少なくない。各地の池などで越冬する。秋の渡りの期間に各地の池で見られる。
確認状況		秋季から夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の河川などで確認した。また、1 月のバードストライク調査において、空港区域内の滞水池で多数の個体を確認した。資料①によると、千葉県内では周年みられ夏季の記録も少なくない。各地の池などで越冬するとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		冬鳥として主に空港区域の調整池や滞水池に渡来していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は秋季から夏季に調査地域の河川や水路等で確認した。冬季に空港区域の調整池付近を飛翔する少数を確認したが、その他の季節のほとんどは単独であった。また、1 月には空港区域の滞水池で多数の越冬個体を確認した。確認状況や千葉県での生息状況から、本種は主に冬鳥として越冬のために渡来し、空港区域の調整池や滞水池を主要な越冬地として利用していると考えられる。空港区域の調整池や滞水池は改変されないため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-13　動物の重要な種（オカヨシガモ）の予測結果

種名（和名）		オカヨシガモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態(資料①)	種の特性	主に淡水の湖沼、河川、湿地に生息する。内陸部よりも沿岸部の湖沼に多い。主に植物食であるが、水生の小動物等も採食する。繁殖期は5～7 月で地上の草むらに営巣する。非繁殖期にも大群ではなく、10～40 羽程度の小群で行動する。
	分布	国内では本州以南に冬鳥として飛来する。
	千葉県内の状況	大部分の地域では冬鳥。他のマガモ属の種と比べ、個体数は多くない。県内では局所的に繁殖する。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 B の空港区域の調整池で確認した。また、11 月の秋の渡り調査において、渡来した個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は主に冬鳥として越冬のために印旛沼に渡来し、空港区域の調整池を一時利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に印旛沼を主要な越冬地とし、少数が空港区域の調整池や滞水池を越冬地として利用していると考えられる。空港区域の調整池や滞水池は改変されないため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-14　動物の重要な種（ヨシガモ）の予測結果

種名（和名）		ヨシガモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態(資料①)	種の特性	中型のカモ類。極東地域に固有の種である。主に水草等を採食する。近年、国内では減少傾向にある。
	分布	北海道では、少数が繁殖する。冬期は南に渡る。日本や中国で越冬する。国内では全国の湿地で越冬する。
	千葉県内の状況	冬鳥。個体数は多くない。県内では各地の河川、湖沼などの湿地で越冬する。現在、印旛沼や手賀沼等の湖沼では少なくない。
確認状況		1 月のバードストライク調査において、空港区域の滞水池で確認した。また、11 月の秋の渡り調査において、渡来した個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は主に冬鳥として越冬のために印旛沼に渡来し、空港区域の調整池を一時利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に印旛沼を主要な越冬地とし、少数が空港区域の調整池や滞水池を越冬地として利用していると考えられる。空港区域の調整池や滞水池は改変されないため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-15　動物の重要な種（トモエガモ）の予測結果

種名（和名）		トモエガモ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	小型のカモ類。コガモよりやや大きい。オスでは、眼から渦巻き状に喉まで緑色の羽毛があり、頬が淡黄色であるため、顔に巴紋がある様に見える。メスは、コガモに似るが、嘴の付け根に白色の班がある。河川や広い湖沼に飛来し、越冬する。
	分布	国内では冬鳥。現在、越冬個体数は多くない。
	千葉県内の状況	冬鳥。少ない。印旛沼や手賀沼等大きな湖沼で記録がある。東京湾岸の湿地でも稀に見られる。コガモの群れの中で数羽が記録されることがある。
確認状況		11 月の秋の渡り調査において、渡来した個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		利根川、印旛沼が主な越冬地であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は利根川、印旛沼を越冬地としており、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-16　動物の重要な種（スズガモ）の予測結果

種名（和名）		スズガモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	干潟や砂浜、湖沼等の浅瀬、湿地、海上で採食する。越冬期、海上で数万から十数万羽の群れを形成することがある。潜水し、二枚貝や小型の甲殻類等の小動物を採食する。
	分布	国内では主に冬鳥。
	千葉県内の状況	千葉県では冬鳥。夏季にも少数が見られる。九十九里浜では、クロガモ、ビロードキンクロとともに各地で見られる。小河川の河口域でも越冬する。
確認状況		10 月～11 月の秋の渡り調査において、渡来した個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥。夏季にも少数がみられるとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		利根川、印旛沼が主な越冬地であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は利根川、印旛沼を越冬地としており、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-17　動物の重要な種（シノリガモ）の予測結果

種名（和名）		シノリガモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	河川上流の渓流等で繁殖する。草むらや岩陰等に営巣する。繁殖期、河川の水生昆虫を採食する。越冬期、岩礁海岸の沿岸で甲殻類、貝類、ウニ等を捕食する。渡りの時期以外は、クロガモのようにあまり大きな群で行動しない。
	分布	国内では主に冬鳥。北海道および本州北部で少数が繁殖する。
	千葉県内の状況	冬鳥。越冬期、主に銚子市～外房の海岸で見られる。岩礁海岸で越冬することが多い。
確認状況		10 月の秋の渡り調査において、渡り途中もしくは渡来した個体を利根川で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		利根川、印旛沼が主な越冬地であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は利根川、印旛沼を越冬地としており、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-18　動物の重要な種（カイツブリ）の予測結果

種名（和名）		カイツブリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	河川や湖沼に生息する。海岸では稀である。「キリリリィー」と大きな声で鳴く。潜水して魚類・水生昆虫・甲殻類等の小動物を捕食する。繁殖期には、ヨシ等の間の水面に水草等を積み上げ営巣する。人工物を利用することもある。
	分布	国内では全国に分布する。北日本や高地で繁殖する個体は、冬期、暖地に移動し越冬する。
	千葉県内の状況	千葉県内では、水辺に広く生息する。各地の水辺で繁殖する。冬季、越冬個体数が増加する地域がある。河川、湖沼や貯水池の改修により、水際の植物帯が消失したため、営巣場所の減少が著しい。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の河川や池などで確認した。また、1 月のバードストライク調査において空港区域の滞水池で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、利根川や印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では水辺に広く生息するとされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 A の河川や空港区域の滞水池、調査区域 C のゴルフ場の池や工業団地内の調整池で確認した。これらが本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A の河川や空港区域の滞水池、調査区域 C のゴルフ場の池や工業団地内の調整池で確認した。これらが本種の主要な生息環境と考えられる。このうち調査区域 C のゴルフ場の池 1 箇所は改変を受けるものの、その他の調整池等は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-19　動物の重要な種（カンムリカイツブリ）の予測結果

種名（和名）		カンムリカイツブリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	日本産カイツブリ類の中では最も大きい。海上、内湾、干潟、砂浜等の海岸、河川、河口、湖沼等に飛来する。潜水して魚類、甲殻類等を捕食する。繁殖地では、湖沼の岸辺に水草を積み上げて浮巣を造る。2～6 卵を産み、約 21～28 日で孵化する。
	分布	国内では主に冬鳥。北日本の湖沼、一部地域で局所的に繁殖する。
	千葉県内の状況	冬鳥。内湾に多く、東京湾奥部では、個体数が多い。利根川水系の印旛沼等の水面で越冬する。九十九里海岸でも見られる。
確認状況		9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡来した個体を利根川、印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		利根川、印旛沼が主な越冬地であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は利根川、印旛沼を越冬地としており、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-20　動物の重要な種（アオバト）の予測結果

種名（和名）		アオバト
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	緑色のハト類。森林で生活する。木の実を採食する。繁殖期、海岸で海水を飲む行動が見られる。
	分布	北海道～九州、種子島。
	千葉県内の状況	周年見られる。房総丘陵では繁殖期にも確認されている。ただし、県内では繁殖は確認されていない。渡りの時期、各地で記録がある。
確認状況		秋季、春季の調査において、調査区域 C の樹林の上空で確認した。また、10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C で確認した。資料①によると、千葉県内では渡りの時期には各地で記録があるとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は渡り時期に確認した。調査地域は渡り時の移動経路として利用しているのみと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は渡り時期に確認した。調査地域は渡り時の移動経路として利用しているのみと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-21　動物の重要な種（カワウ）の予測結果

種名（和名）		カワウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	潜水して魚類等を捕食する。樹上で集団営巣する。繁殖地ではカワウが巣材として枝を折る他、糞の付着や糞による土壌の変質により、樹木が枯死する。騒音や悪臭等から周辺住民の問題になる場合が多い。地域により増加している。農林水産業や生態系等の被害の発生要因となっているカワウは、2007 年に狩猟対象種となった。
	分布	亜種カワウは、日本の本州、四国、九州のみで繁殖する固有亜種である。
	千葉県内の状況	留鳥。市川市の行徳鳥獣保護区と小櫃川河口等で繁殖している。三番瀬等の遠浅の海域は重要な採食地で数千羽が採食する。小河川の河口でも越冬する。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の上空や河川において確認した。また、1 月、6 月のバードストライク調査において、空港区域の上空で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 B、調査区域 C、利根川、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、利根川、印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥であるとされており、調査地域では留鳥として分布していると考えられる。調査地域ではコロニーは確認されていない。
生息環境の分布状況		本種は、高谷川及びその支流、多古橋川支流、取香川、荒海川、尾羽根川で確認した。これらの河川・水路等が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路、取香川、荒海川、尾羽根川で確認した。これらの河川・水路等が主要な生息環境と考えられる。改変区域には高谷川などの主要な生息環境が分布しており、これらが消失・縮小するものの、その他の河川は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-22　動物の重要な種（ミゾゴイ）の予測結果

種名（和名）		ミゾゴイ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	山地の暗い林に生息する。スギ、ヒノキ等の針葉樹林の密林やクリ、ナラ等の落葉広葉樹の密林に生息する。沢筋や渓流、湖沼の縁などでサワガニ、ミミズ、魚類を捕食する。繁殖期は 4～7 月。樹枝、樹根などを巣材として、地上から 7～20m ぐらいの樹上に皿形の巣をつくる。3 卵程度産む。雛、親とも外敵が巣に近づくと首をまっすぐに伸ばして静止し、周辺の植生に擬態する。個体数も少ないため詳細な生態はまだ調べられていない。
	分布	日本だけで繁殖する固有種。冬期は南に渡る。台湾やフィリピンで越冬する。夏鳥として北海道から沖縄にかけて渡来する。本州以南の低山帯で繁殖する。南西諸島では少数が越冬する。
	千葉県内の状況	夏鳥。極めて稀である。個体数も少ない。1960 年代までは、千葉郡更科（現在の千葉市）、市原郡戸田（現在の市原市）、新浜、夷隅町などで記録がある。近年の記録は少ない。1972 年（昭和 47 年）10 月 8 日に沼南町箕輪で 1 羽、1972 年（昭和 47 年）10 月 10 日に柏市で 1 羽が確認されている。千葉県内での繁殖記録は少ない。印旛沼周辺で繁殖記録がある。市原市では、2009 年（平成 21 年）7 月 4 日～19 日に、営巣している巣にヒナ 4 羽が記録されている。渡りの時期には、各地で記録がある。
確認状況		2015 年（平成 27 年）の猛禽類調査において、調査区域 C で鳴き声、個体を確認した。成田市小泉の 1 地点で営巣を確認した。また、2016 年（平成 28 年）の春季～夏季の夜間調査において、調査区域 B、調査区域 C で鳴き声を確認した。また、生態系ミゾゴイの夜間調査では、調査区域 B、調査区域 C で鳴き声を確認したほか、調査区域 C で自動撮影装置により 1 例の個体を確認、成田市小泉の 1 地点で営巣（古巣と卵殻）を確認した。営巣木は猛禽類調査で確認した 2015 年（平成 27 年）の営巣木と同じであった。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、繁殖している。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査 4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		夏鳥として渡来し、主に調査地域の谷津田に生息している。一部は繁殖している。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した本種の営巣地 1 箇所は、改変区域から約 520m 離れている。既存事例によると、ミゾゴイの親鳥及び幼鳥の採餌行動が頻繁にみられる範囲は概ね巣から 200m 程度とあり、上記の離隔はそれよりも遠方になる。このため、当営巣地の営巣環境は保全される。一方、調査地域全体の生息確率ランク別メッシュ（1km）の改変状況では、本種の生息確率が相対的に高いと考えられるランク A～B のメッシュは併せて 64%が改変されると予測する。これらは潜在的な生息適地であり、メッシュ内には未確認の営巣地が存在する可能性もある。このため、調査地域全体で見た場合、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-23　動物の重要な種（ダイサギ）の予測結果

種名（和名）		ダイサギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	草地、水田、湖沼、河川等の湿地に生息する。主にカエル類やトカゲ類、魚類、昆虫類を捕食する。繁殖期は 4～9 月である。一夫一妻である。マツ林や雑木林等の樹上に営巣する。枯れ枝を利用し、粗雑な皿形の巣を造る。3～5 卵を産む。産卵した順に抱卵を始めるため、非同時孵化が起こる。チュウサギはアマサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギなど他のサギ類と混生して集団繁殖コロニーを形成する。夏から秋にかけ集団で塒をとることがある。
	分布	国内では 2 亜種が分布している。亜種チュウダイサギは各地で繁殖する。冬期は南に渡る。亜種ダイサギは冬鳥。
	千葉県内の状況	留鳥。海岸～内陸に分布している。ほぼ全域で確認される。海岸では小櫃川など河川の河口や干潟、内陸では印旛沼などの湖沼や比較的大きな河川で見られる。印旛沼では繁殖期が終了した夏～秋にかけ、大きなねぐらを形成する。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や周辺の草地等において確認した。また、8 月、10 月、翌年 6 月のバードストライク調査において、空港区域で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、地付き個体を調査区域 C、利根川、印旛沼等で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布していると考えられる。調査地域でコロニーは確認されていない。詳細は「10.10.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		調査地域の水田及びその周辺を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域内の水田は約 41％が改変されると予測する。一方で、調査地域周辺で過去に確認されている集団繁殖地や集団ねぐらあるいは現地調査で確認したアオサギのねぐらを中心とし、その 15km 圏内又は 20km 圏内に分布する採餌環境（水田や河川・水路）の改変率は、各々最大でも 1.3％（15km 圏内）あるいは 0.7％（20km 圏内）と予測する。以上から、集団繁殖地等を中心として採餌のために広域を移動するサギ類にとっては、本事業による採餌環境の消失はごくわずかなものと考えられることから、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-24　動物の重要な種（チュウサギ）の予測結果

種名（和名）		チュウサギ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①、②）	種の特性	草地、水田、河川等の湿地に生息する。主にカエル類やトカゲ類、魚類、昆虫類を捕食する。繁殖期は 4～9 月である。一夫一妻である。マツ林や雑木林等の樹上に営巣する。枯れ枝を利用し、粗雑な皿形の巣を造る。3～5 卵を産む。産卵した順に抱卵を始めるため、非同時孵化が起こる。チュウサギはアマサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギなど他のサギ類と混生して集団繁殖コロニーを形成する。夏～秋にかけて集団で塒をとることがある。
	分布	本州以南。
	千葉県内の状況	夏鳥。海岸～内陸の湿地に分布する。繁殖期、他のサギ類と集団繁殖を行う。水田などの湿地で採食する。繁殖期が終了すると繁殖地や近くの湿地でねぐらをとる。過去に個体数は少ないが越冬している個体が記録されていたが、近年の越冬例はない。近年の水田の減少により、本種の個体数が減少する可能性は高い。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の水田や周辺の草地等で確認した。また、5 月～6 月のバードストライク調査において、空港区域で確認した。また、9 月～10 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 C、多古橋川周辺、渡り行動がみられない個体を利根川等で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では主に夏鳥として渡来していると考えられる。調査地域でコロニーは確認されていない。詳細は「10.10.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系 (1)調査 4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		調査地域の水田及びその周辺を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域内の水田は約 41％が改変されると予測する。一方で、調査地域周辺で過去に確認されている集団繁殖地や集団ねぐらあるいは現地調査で確認したアオサギのねぐらを中心とし、その 15km 圏内又は 20km 圏内に分布する採餌環境（水田や河川・水路）の改変率は、各々最大でも 1.3％（15km 圏内）あるいは 0.7％（20km 圏内）と予測する。以上から、集団繁殖地等を中心として採餌のために広域を移動するサギ類にとっては、本事業による採餌環境の消失はごくわずかなものと考えられることから、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-2 鳥類（平成 26 年　環境省）

表 2.8.2-25　動物の重要な種（コサギ）の予測結果

種名（和名）		コサギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	河川、湖沼、沼沢地、水田、海岸、干潟、潮間帯湿地、塩性湿地、河口域等の湿地、水辺に見られる。ドジョウ、フナなどの魚類、カエル類やアメリカザリガニなどを餌とする。泥の中で足をかき回し魚等の小動物を追い出して捕食する動作も見られる。4～9 月に一夫一妻で繁殖する。マツ林、雑木林、竹林等の樹上に枯れ枝を利用し、粗雑な皿形の巣を造る。4～7 卵を産む。抱卵は初卵の直後に始まるため，非同時孵化が起こる。ダイサギ、チュウサギ、アマサギ、ゴイサギ、アオサギ等他のサギ類と混生して、集団で繁殖する。非繁殖期にも集団でねぐらをとることが多い。
	分布	国内では留鳥。本州～九州までの各地で繁殖する。冬期、一部は南へ渡る。
	千葉県内の状況	個体数が著しく減少している留鳥。サギ類の中では最も広く分布する。海岸～内陸の湿地、ほぼ全域に分布する。集団繁殖地は野田市、我孫子市、成田市、市川市、八街市、野栄町、旭市、銚子市、市原市、木更津市、夷隅町、館山市、一宮町等で確認されている。コロニーでの営巣数はそれほど多くない。繁殖期が終了した夏～秋にかけ、大きなねぐらを形成する。冬期は個体数が少ない。館山市では、しばしば地域住民や林業、水産業への影響が生じ、繁殖地の分散や駆除対策が講じられていた。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の池で確認した。また、9 月、11 月の秋の渡り調査において、渡り行動のみられない個体を調査区域 C、利根川、印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種の確認は調査区域 C の工業団地内の調整池で 1 例確認したほか、調査地域外の印旛沼や利根川で確認した。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の工業団地内の調整池で 1 例確認したほか、調査地域外の印旛沼や利根川で確認した。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。改変区域にはこれらの確認地点は含まれないことから、直接の改変を受けないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-26　動物の重要な種（クイナ）の予測結果

種名（和名）		クイナ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：消息不明・絶滅生物（X）
生態(資料①)	種の特性	全長 29cm。中型のクイナ。上面は、茶色で目立たない地味な羽色。下嘴の赤色や腹から下尾筒にかけて黒と白の横斑模様が目立つ。幼羽では、腹の横斑がなく縦筋があり、顔の色も茶色である。幼羽が確認できれば、成鳥と簡単に区別できる。顔も成鳥で灰色である。警戒心が強く、大変用心深い種で、なかなか、その姿をじっくり見る機会は少ない。
	分布	北日本で繁殖するが、本州での繁殖地は少ない。秋・冬には暖地に移動する。冬期、全国の河川、水田、ヨシ原などの湿地で越冬する。
	千葉県内の状況	利根川周辺のヨシ原で繁殖した記録がある。利根川周辺では、繁殖行動やヒナをつれた成鳥が確認されている。1992 年（平成 4 年）8 月 2 日に千葉県香取郡小見川、阿玉川（現在は香取市）で 2 羽の成鳥と 3 羽の雛が撮影されている。冬期は、河川、水田、ヨシ原で越冬する。湿地の減少とともに個体数も減少したと考えられる。繁殖期に鳴き声は確認されているが、1992 年（平成 4 年）以降、繁殖記録がない。冬期は各地で見られる。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 C の水田で確認した。また、10 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体が調査区域 C、渡り行動がみられない個体を利根川、印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬季に河川、水田、ヨシ原で越冬するとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来したと考えられる。
生息環境の分布状況		本種は冬鳥で、調査区域 C の水田や調査地域外の印旛沼や利根川で確認した。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は冬鳥で、調査区域 C の水田や調査地域外の印旛沼や利根川で確認した。調査地域での生息数は少なく、水田や河川が冬季の主要な生息環境であり、局所的に分布しているものと考えられる。改変区域にはこれらの確認地点は含まれないことから、直接の改変を受けないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-27　動物の重要な種（ヒクイナ）の予測結果

種名（和名）		ヒクイナ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	水田・湖沼畔などの湿地に生息する。水生植物の茂みの中で生活し、開けた場所に姿を現すことは少ない。昆虫類や植物の種子を採食する。
	分布	北海道～九州に渡来する夏鳥。西南日本では、少数が越冬する。
	千葉県内の状況	夏鳥。県内では数少ない。目視されることは極稀である。かつては水田地帯では普通種で、繁殖期には鳴き声が聞かれた。近年の繁殖例は、非常に少ない。特に東京湾岸では、ほとんど観察されなくなっている。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の放棄水田で鳴き声を確認した。また、9 月～10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C、渡り行動がみられない個体を印旛沼で確認した。また、2016 年（平成 28 年）7 月～8 月の猛禽類調査時に、調査区域 C で目視により確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の水田や放棄水田が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B 及び調査区域 C の放棄水田で確認した。これらの水田や放棄水田が主要な生息環境であると考えられる。調査区域 C の確認地点は改変区域に含まれる。また、改変区域には本種の主要な生息環境である水田や湿性草地が約 170ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-28　動物の重要な種（バン）の予測結果

種名（和名）		バン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 32cm。平地から山地の湖沼、河川、水田等の湿地に生息する。水辺や水面上で、水草、水生昆虫、貝、甲殻類等を採食する。繁殖地は、ヨシ原や池、水田等の湿地である。地面に枯れ草を積み上げ、皿形の巣を造る。警戒心が強く、人影や物音などで草むらに隠れるが、開けた場所にもよく出てくる。
	分布	全国に分布する。北海道、本州北部では夏鳥、関東地方以南では留鳥である。
	千葉県内の状況	留鳥。県内各地の水辺に生息・繁殖する。河川やため池の改修により、水際のヨシ原などの植生が壊滅的な状況になり、本種の生息地が消失している。特に、東京湾岸に発達していた広大な干潟は大部分が埋め立てられ、後背地に広がっていたヨシ原も消失した。このため、営巣環境の減少が著しい。近年、繁殖個体数だけではなく越冬期の個体数も激減している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の河川沿いの草地や溜池等で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられない個体が調査区域 C、印旛沼等で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布し、少数が繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 A 及び調査区域 C の河川沿いの草地や溜池で確認した。これらの水田や湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A 及び調査区域 C の河川沿いの草地や溜池で確認した。これらの水田や湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。調査区域 C の確認地点は改変区域に含まれる。また、改変区域には本種の主要な生息環境である水田や湿性草地が約 170ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-29　動物の重要な種（オオバン）の予測結果

種名（和名）		オオバン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	全身が黒色の羽毛で覆われ、嘴と額板が白色で目立つ。足にはみずかきが発達している。主に湿地を歩行し生活するバンとは異なり、水面に浮かびながら生活することが多い。湖沼、潮間帯湿地、塩性湿地、沼沢地、河川、河口域、水田等の湿地に生息する。広い水域で生活する。水面を泳ぎ、潜水して水草の葉、茎などを採食し、水生昆虫、貝、甲殻類など捕食する。繁殖期、ヨシやマコモの湿原や草むらに枯れ草を積み上げて皿形の巣を造る。冬は数羽から数十羽の群れになることもある。
	分布	国内では留鳥。本流中部以北、北海道で繁殖する。北部で繁殖する個体は、冬期、南に渡る。
	千葉県内の状況	留鳥。繁殖期、利根川水系の湿地で見られる。冬期、各地の水辺で越冬する。1970 年代まで印旛沼では多数が繁殖していた。2000 年（平成 12 年）以降、印旛沼では繁殖期の個体数は少ない。東京湾岸では広大な湿地の大部分が埋立られ、後背地のヨシ原等の湿地が消失し、営巣地の減少が著しく、繁殖個体数は激減した。東京湾岸の湿地が繁殖地であったが、近年、繁殖の報告がない。
確認状況		秋季～冬季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の河川等で確認した。また、1 月のバードストライク調査において、空港区域の滞水池で確認した。また、10 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り行動がみられない個体を利根川、印旛沼等で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥。繁殖期は利根川水系の湿地でみられ、冬季は各地の水辺で越冬するとされており、調査地域では、主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は冬鳥で、調査区域 A の取香川及び空港区域の滞水池、調査区域 C の工業団地内の調整池で確認した。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は冬鳥で、調査区域 A の取香川及び空港区域の滞水池、調査区域 C の工業団地内の調整池で確認した。河川や調整池等の水域が冬季の主な生息環境であり、調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。これらの確認地点は改変区域には含まれないことから、直接の改変を受けないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-30　動物の重要な種（ホトトギス）の予測結果

種名（和名）		ホトトギス
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	日本産ホトトギス類の中で最も小さい。主食は昆虫類である。他の鳥類があまり食べない鱗翅類の幼虫（毛虫）を捕食する。山地の林で繁殖する。他の鳥類の巣に卵を産む（托卵）。宿主は主にウグイスである。稀にセンダイムシクイやミソサザイに托卵する。卵はウグイスの卵より大きく、同色の赤茶色である。
	分布	国内では夏鳥。九州以北の山地の林に渡来し繁殖する。北海道では少ない。
	千葉県内の状況	夏鳥。千葉県南部では、記録も少なくない。全県的な繁殖状況は不明である。近年、確実な繁殖記録は報告されていない。鳴き声の記録は少なくない。5～7 月の記録は多く、8 月以降は稀である。南房総の海岸部では、繁殖期に確認される。東京湾岸の海岸部では、春の渡りの時期に確認される旅鳥である。千葉市緑区や若葉区では、ホトトギスの声が毎年 5 月頃記録される。個体数は多いとは言えない。都市部の市街地からは減少している。
確認状況		春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C での樹林上等で確認した。また、5 月、6 月のバードストライク調査において、空港区域で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では主に夏鳥として渡来し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の樹林を中心に広い範囲で確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境である落葉広葉樹林が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-31　動物の重要な種（ツツドリ）の予測結果

種名（和名）		ツツドリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	夏鳥。主食は昆虫類である。他の鳥類があまり食べない鱗翅類の幼虫（毛虫）を捕食する。山地の落葉広葉樹林で繁殖する。他の鳥類の巣に卵を産む、托卵を行う。ツツドリの主要宿主はセンダイムシクイやメボソムシクイである。他の宿主としてヤブサメ、キビタキ、メジロ等が知られる。卵は白色で淡色の小班が散在する。
	分布	国内では夏鳥。山地の森林に飛来する。
	千葉県内の状況	夏鳥。個体数は少ない。繁殖地は南房総の山間部に限られる。元清澄山などで繁殖期に記録される。秋の渡りの時期、各地で少数が観察される。
確認状況		秋季、春季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の耕作地の樹木上等で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥として渡来し、繁殖地の南房総以外では、渡りの時期に各地で少数が観察されるとされることから、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域を渡り途中の一時的な滞在地として利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域を渡り途中の一時的な滞在地として利用しているのみと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-32　動物の重要な種（ヨタカ）の予測結果

種名（和名）		ヨタカ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：消息不明・絶滅生物（X）
生態（資料①）	種の特性	「キョキョキョキョ」と聞こえる大きな声で鳴く。夜行性で、夕方から活動する。飛びながら、ガ類・甲虫類等の飛翔性昆虫類を捕食する。平地から標高およそ 2,000m までの山地に渡来する。林縁・林内の空地・明るい林に生息する。夏鳥で繁殖期は主に 6～7 月である。地面にほとんど巣らしい巣を作らずに産卵する。一腹卵数は 1～2 個である。全国でも 1980 年代以前は、普通に記録されていた。渡りの期間に鳴き声が確認されることも多かったが、近年は鳴き声すら稀となった。全国的に個体数の減少が著しい種といえる。夜行性で観察が困難であるため、生態等の詳しい資料がほとんどない。
	分布	国内では夏鳥として九州以北に渡来し繁殖する。
	千葉県内の状況	数少ない夏鳥であった。個体数は著しく減少している。現在では、極めて稀である。1960 年代までは、習志野市から船橋市にかけての樹林等、東京湾岸でも繁殖していたらしい。渡りの時期には、旅鳥として普通に記録されていた。1980 年（昭和 55 年）以降、観察記録も極めて少ない種となり、千葉市内の繁殖記録以降、繁殖は確認されていない。1987 年（昭和 62 年）、1988 年（昭和 63 年）に千葉市内のススキ草地で繁殖した。以降、繁殖記録はない。
確認状況		春季の夜間調査において、調査区域 B、調査区域 C で確認した。また、9 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体が調査区域 C で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥であったが、個体数は著しく減少しており、現在では極めて稀である。渡りの時期には旅鳥として、普通に記録されていた。1988 年（昭和 63 年）以降、繁殖の記録はないとされることから、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は樹林性の種であるが、調査地域を渡り途中の一時的な滞在地として利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域を渡り途中の一時的な滞在地として利用しているのみと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-33　動物の重要な種（アマツバメ）の予測結果

種名（和名）		アマツバメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態(資料①)	種の特性	ツバメとは、全く異なる分類群に属する。体型はツバメに似るが、腰の羽色が白色を示し、下面は黒色で翼が長いため、識別は容易である。高山や海岸で集団繁殖する。
	分布	国内では夏鳥。本州以北で、繁殖する。繁殖分布は局所的である。冬期は南に渡る。
	千葉県内の状況	夏鳥。局地的に繁殖する。内房で営巣が確認されている。現在は、繁殖地も局地的になり、一部の海岸で繁殖しているにすぎない。繁殖地以外では、春と秋の渡りの時期に通過する。
確認状況		9 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体が、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では一部の海岸で繁殖しているが、繁殖地以外では渡りの時期に通過するとされていることから、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-34　動物の重要な種（ヒメアマツバメ）の予測結果

種名（和名）		ヒメアマツバメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態(資料①)	種の特性	日本産アマツバメ類 3 種の中で最も小さい。ビルや漁港等の建造物に営巣する。コシアカツバメやイワツバメ等の巣を使い繁殖することも多い。飛びながら集めた羽毛や草の茎等を唾液を使い巣に張り付ける。日本産の他のアマツバメ類は，繁殖後に南方に渡るが，本種は繁殖地周辺で越冬する。
	分布	国内では 1967 年（昭和 42 年）に静岡県で繁殖が確認された後、太平洋岸の各地で営巣が確認されるようになった。
	千葉県内の状況	内房と外房の漁港等で局地的に繁殖する。繁殖地周辺では、主に夏期に見られる。営巣地に近い南房総では、照葉樹林の丘陵地や漁港付近で見られる。繁殖地以外では、春と秋の渡りの時期に稀に観察される。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の水田上空で確認した。また、10 月の秋の渡り調査において、渡り行動のみられなかった個体が、成田市幡谷周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では内房と外房の漁港などで繁殖しているが、繁殖地以外では渡りの時期に稀に観察されることから、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-35　動物の重要な種（タゲリ）の予測結果

種名（和名）		タゲリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	黒く長い冠羽があり目立つ。上面は光沢のある緑色、下面は白く、美しい種である。水田、蓮田や草地等の湿地で採食する。稀に干潟等の海岸近くで採食することがある。内陸の水田等の湿地では多くない。ゆっくり歩きながら小動物を探し、時々、立ち止まり、地面の餌をつついて捕らえる。
	分布	国内では主に冬鳥か旅鳥。渡りの時期や越冬期に各地に飛来する。北陸地方で繁殖した例がある。
	千葉県内の状況	冬鳥。多くない。千葉県では各地で見られる。東京湾岸や九十九里地域、利根川流域の水田や草地等の湿地で見られる。小櫃川河口、夷隅川河口等河川の河口近くの水田などでも見られる。水田や蓮田が減少している。
確認状況		11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を荒海川周辺、渡り行動がみられない個体を利根川、印旛沼周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥として渡来し、県内各地でみられるとされていることから、調査地域では、渡り途中もしくは冬鳥として渡来し、越冬していると考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中もしくは冬鳥として、成田市芦田周辺や利根川、印旛沼周辺の水田や湿性草地を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は渡り調査において、成田市芦田周辺や印旛沼、利根川といった調査地域外のみでの確認であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-36　動物の重要な種（ケリ）の予測結果

種名（和名）		ケリ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	大型のチドリの仲間。水田地帯や河川敷・埋立地で地上営巣する。繁殖期、警戒心が非常に強く、巣に近づく外敵に対して、つがい共同で激しく執拗に威嚇する。
	分布	国内では留鳥。本州で繁殖するが、営巣地は局所的である。積雪地で繁殖する個体は、冬期は南に渡り越冬する。
	千葉県内の状況	千葉県内では、かつては稀に記録される種であった。近年は、定期的に少数が、渡りの季節や越冬期に観察される。渡来数が最も多い野田市から流山市の水田地帯では、冬鳥である。1998 年（平成 10 年）に県内で初めての繁殖が野田市の今上耕地で確認された。
確認状況		11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられない個体を荒海川周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では渡りの季節や越冬期に観察されるとされることから、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		冬鳥として、成田市芦田周辺の水田や湿性草地を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は渡り調査において、成田市芦田周辺といった調査地域外のみでの確認であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-37　動物の重要な種（ムナグロ）の予測結果

種名（和名）		ムナグロ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中型のチドリ類。水田、河川、海岸、干潟などの湿地に飛来する。潟、砂浜等の海岸では多くない。ゆっくり歩きながら小動物を探し、時々、立ち止まり、地面の小動物をつついて捕らえる。
	分布	国内では主に旅鳥。南日本や小笠原諸島、南西諸島等では越冬する。
	千葉県内の状況	主に旅鳥。各地の湿地に主に渡りの時期に飛来する。春の渡りの時期は個体数が多く、利根川周辺の水田や耕作地に飛来する。春の渡りの時期、九十九里平野の水田地帯に飛来する。河口域、干潟およびその周辺の湿地でも、普通に見られる。越夏する個体もいる。少数が越冬するため、越冬期に見られることもある。東京湾岸や南房総で越冬していたが、越冬個体数は減少した。
確認状況		9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 A、利根川、印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では主に旅鳥であり、渡りの時期に渡来するとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は旅鳥であり、調査地域を渡り時の一時的な滞在あるいは渡りの移動経路として利用しているのみと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は旅鳥であり、調査地域を渡り時の一時的な滞在あるいは渡りの移動経路として利用しているのみと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-38　動物の重要な種（イカルチドリ）の予測結果

種名（和名）		イカルチドリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	河川敷等で繁殖する。河川敷、水田や湿地で採食する。
	分布	国内では留鳥。冬期、北日本の個体は、南に渡る。越冬期は、本州～南の地域で見られ、河川敷、水田や蓮田で採食する。
	千葉県内の状況	千葉県内では冬鳥。個体数は少なく、越冬記録も少ない。広い河川敷がない千葉県では、繁殖の記録がない。東京湾岸、九十九里地域、利根川流域や南房総の内陸の湿地で見られる。渡りの期間や越冬期に飛来する。極稀に干潟等の海岸で記録される。越冬期は単独か 10 羽以下の小さな群れで行動する。小河川、水田や蓮田で越冬する。
確認状況		冬季、夏季の調査において、調査区域 C の水田等で確認した。また、10 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられない個体を荒海川周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。夏季の確認個体については、繁殖行動が確認されていないことから、他地域から分散してきた非繁殖個体の可能性が考えられる。
生息環境の分布状況		主に冬鳥として渡来し、調査地域外を主要な越冬地、調査地域を一時的な滞在地として利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は冬鳥であり、水田や湿地が冬季の主要な生息環境であると考えられる。調査地域では、ごく少数が確認されているだけで、調査地域外が主要な越冬地であると推測され、調査地域を一時的な滞在地として利用しているのみと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-39　動物の重要な種（コチドリ）の予測結果

種名（和名）		コチドリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	繁殖期は 4～7 月。一夫一妻で繁殖する。砂地や砂利地に浅い窪みを掘り、巣にする。一腹卵数は 4 卵が多い。千葉市美浜区での初卵日は、5 月中旬である。コアジサシのコロニーの周辺部で営巣することも多い。雌雄交替で抱卵する。抱卵中および育雛中に捕食者が近づくと擬傷を行う。22～25 日抱卵でヒナに孵化する。ヒナは孵化後、短時間で歩けるようになり、離巣する。離巣したヒナは、自分で餌を採り、両親の世話を受けながら育つ。
	分布	国内では夏鳥。全国に渡来し繁殖する。少数が越冬する。
	千葉県内の状況	夏鳥。各地の湿地に飛来する。銚子市～いすみ市にかけての九十九里の砂浜海岸でも見られる。市川市～富津市までの埋立地でも営巣していた。内陸部の手賀沼や野田市、流山市等、水田地帯にも普通に分布していた。千葉市美浜区と中央区の埋立地でも少数の繁殖が継続していた。美浜区若葉の約 13ha の仮設駐車場では、コアジサシのコロニー周辺で毎年少数が繁殖していた。東京湾岸では繁殖地が減少しているため、繁殖数も激減した。
確認状況		春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の草地や造成地等で確認した。また、8 月、翌年 5 月及び 6 月のバードストライク調査において、空港区域で確認した。また、9 月の秋の渡り調査では、渡り行動がみられない個体を、利根川で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 A、B、C のまばらな草地や造成地等や空港区域内、調査地域外で確認した。これらのまばらな草地や造成地等の裸地が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C のまばらな草地や造成地等や空港区域内、調査地域外で確認した。これらのまばらな草地や造成地等の裸地が主要な生息環境と考えられる。改変区域には、主要な生息環境である裸地・造成地が約 10ha 分布し、これらの一部が消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-40　動物の重要な種（チュウジシギ）の予測結果

種名（和名）		チュウジシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	全長 27cm。小型のシギ類。オオジシギよりやや小さいタシギの仲間。長い嘴が特徴である。ミミズ、昆虫類等の小動物を捕食する。水田や湿地で採食する。
	分布	国内では少ない旅鳥。現在では稀に渡りの季節や越冬期に渡来するだけである。
	千葉県内の状況	千葉県内では記録が少ない。東京湾岸や九十九里平野などで減少が著しい。現在、千葉県では利根川水系の湿地で記録されている。印旛沼では水田や畦などで見られている。2005 年（平成 17 年）8 月 18 日に 1 羽が銚子市海鹿島町の芝地で記録されている。記録は 8～9 月上旬に多い。秋の渡りの時期に観察が集中している。春の渡りの時期、記録は少ない。
確認状況		10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C で確認した。資料①によると、千葉県内では現在、利根川水系の湿地、印旛沼の水田や畦などでみられる。秋の渡りの時期に観察が集中しているとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は旅鳥で、調査地域で確認した個体は渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-41　動物の重要な種（チュウシャクシギ）の予測結果

種名（和名）		チュウシャクシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	シギ類。砂浜、岩礁、干潟、水田等の湿地で採食する。下に湾曲した嘴で、小型の甲殻類等を捕食する。砂浜ではスナガニ、干潟では、ヤマトオサガニ、オサガニ、コメツキガニ、チゴガニ等のスナガニ類を採食する。水田ではアメリカザリガニを捕食する。
	分布	国内では旅鳥。各地で春と秋の渡りの時期に見られる。南西諸島では、少数が越冬する。
	千葉県内の状況	千葉県内では記録が少ない。東京湾岸や九十九里平野などで減少が著しい。現在、利根川水系の湿地で記録されている。印旛沼では水田や畦などで見られている。2005 年（平成 17 年）8 月 18 日に 1 羽が銚子市海鹿島町の芝地で記録されている。記録は 8～9 月上旬に多い。秋の渡りの時期に観察が集中している。春の渡り時期の記録は少ない。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の水田内で確認した。資料①によると、千葉県内では旅鳥として渡りの時期にみられるとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、一時的に調査地域の水田を利用すると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は旅鳥で、調査地域で確認した個体は渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-42　動物の重要な種（アオアシシギ）の予測結果

種名（和名）		アオアシシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	干潟、河川、水田や埋立地等の湿地で採食する。
	分布	国内では、主に旅鳥。多くない。渡りの時期や冬期に飛来する。南西諸島では越冬するが、個体数は少ない。
	千葉県内の状況	旅鳥。千葉県でも東京湾岸の干潟、利根川流域や九十九里地域で見られていたが減少した。内陸の江戸川周辺水田等でも記録されている。東京湾岸の一時的に形成された湿地でも記録されている。干潟や蓮田等の採食地が消失した。
確認状況		10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を、荒海川周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では旅鳥とされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は旅鳥で、調査地域で確認した個体は渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-43　動物の重要な種（クサシギ）の予測結果

種名（和名）		クサシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	河川、水田や蓮田等の湿地で採食する。干潟等海岸では少ない。内陸の湿地で越冬する。
	分布	国内では冬鳥もしくは旅鳥。全国的に見られる。渡りの時期や越冬期に飛来するが、大きな群れは見られない。
	千葉県内の状況	冬鳥・旅鳥。個体数は少ない。利根川流域、東京湾岸の蓮田や九十九里地域の河川等の湿地で見られる。埋立地や調整池などでも見られる。個体数は各地で減少した。
確認状況		冬季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や周辺の草地、水路等で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を多古橋川周辺、渡り行動がみられない個体を区域 C、高谷川周辺、荒海川周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥・旅鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。夏季の個体は、早期に移動を開始した渡り個体か、越夏個体と考えられる。
生息環境の分布状況		本種は高谷川及び荒海川、取香川周辺の水田や水路等で確認した。これらの河川沿いの湿地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は高谷川及び荒海川、取香川周辺の水田や水路等で確認した。これらの河川沿いの湿地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境の一部である高谷川上流部が含まれ、消失・縮小するものの、その他の河川沿いの湿地は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-44　動物の重要な種（キアシシギ）の予測結果

種名（和名）		キアシシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	干潟、浅瀬、砂浜、岩礁海岸、潮間帯湿地、塩性湿地、小河川、沼沢地、河口域や水田等の湿地で採食する。歩きながら小動物を探し、餌を細長い嘴でつついて食べる。干潟では、コメツキガニ、チゴガニ、アナジャコ等の小型の甲殻類、ゴカイ類等を捕食する。
	分布	国内では旅鳥。渡りの時期に飛来する。南西諸島では越冬する。
	千葉県内の状況	旅鳥として干潟に飛来する。小櫃川河口の干潟では、普通に見られていた。千葉県でも東京湾岸や九十九里地域で多かったが、減少した。干潟が減少した。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の水田で確認した。また、10 月のバードストライク調査において、空港区域で確認した。また、9 月～10 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を多古橋川周辺、利根川、渡り行動がみられなかった個体を荒海川で確認した。資料①によると、千葉県内では旅鳥とされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は旅鳥で、調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-45　動物の重要な種（イソシギ）の予測結果

種名（和名）		イソシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	中型のシギ類。主に河川中流域の砂礫の河原に生息する。水辺から少し離れたまばらに草の生えた地上に営巣する。河川では中州や河口域、湖岸でみられる。海岸や埋立地でも見られる。水際や浅瀬でユスリカ等の水生昆虫を採食する。
	分布	国内では九州以北で繁殖する。北方で繁殖する個体は、本州中部以南に渡り越冬する。
	千葉県内の状況	千葉県内では周年見られる。渡りの時期の 7～8 月には個体数は増加する。越冬期の個体数は少ない。1994 年（平成 6 年）に習志野市谷津干潟で繁殖が記録された。埋立地の水辺でも繁殖期を通じ記録がある。各地で幼鳥が観察されているが、確実な繁殖記録の報告はない。千葉県内には、広い石河原を伴うような大きな河川が少ないため、繁殖地は限られている。
確認状況		9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられない個体を多古橋川周辺、利根川で確認した。資料①によると、千葉県内では周年みられるとされており、調査地域では周年分布していると考えられるが、調査地域では本種の生息する砂礫の河原が少ないことから、主に冬季に渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域外の大きな河川を利用していると考えられる。したがって、調査地域には本種の生息環境は分布しない。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域外のみでの確認であり、調査地域の利用はないと考えられる。また、調査地域には本種の主要な生息環境である大きな河川は存在しない。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-46　動物の重要な種（タマシギ）の予測結果

種名（和名）		タマシギ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	メスの羽色が色鮮やかで、オスは地味な羽色をしている。一妻多夫で雄だけで抱卵・育雛を全て行う。水田・湿地に生息する。水生昆虫や小さな貝類等、泥の中の小動物を採食する。
	分布	国内では北海道・本州・四国・九州および島嶼・伊豆諸島等で繁殖する。北日本で繁殖する個体は、南に渡り越冬する。
	千葉県内の状況	千葉県内では、各地の水田地帯で繁殖記録がある。千葉市内でも繁殖していた。2009 年（平成 21 年）に木更津市で雄 1 羽とヒナ 3 羽が確認されている。東京湾奥部からの繁殖記録はなくなった。湿地の開発や耕地整理による水田の乾田化等により、繁殖に適した湿地は減少している。近年、個体数の減少が著しく、繁殖期の記録は少ない。
確認状況		春季の夜間調査において、調査区域 C で確認した。資料①によると、千葉県内では各地の水田地帯で繁殖記録があるとされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の水田や湿性草地が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の高谷川沿いの水田で確認した。これらの水田や湿性草地が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には水田や湿性草地などの主要な生息環境が約 170ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-47　動物の重要な種（ミサゴ）の予測結果

種名（和名）		ミサゴ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	タカの仲間。海岸・湖沼・河口等に生息する。上空から水中に突入し、足で魚を捕らえる。海岸の岩棚やアカマツ等の樹上に小枝を大量に積み上げて営巣する。
	分布	国内では北海道・本州・四国・九州および島嶼・伊豆諸島等で繁殖する。北日本で繁殖する個体は、南に渡り越冬する。
	千葉県内の状況	繁殖は確認されていない。海岸線を中心に記録がある。湖沼でも観察される。個体数は少ない。東京湾内では、数少ない旅鳥または冬鳥である。
確認状況		9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を高谷川周辺、渡り行動がみられない個体を高谷川周辺、利根川、印旛沼で確認した。また、2015 年（平成 27 年）を除く、各年の 3 月～4 月の猛禽類調査において飛翔を確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内では繁殖は確認されていない。東京湾内では数少ない旅鳥又は冬鳥とされており、調査地域では旅鳥又は冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		主に冬鳥として渡来し、高谷川下流や利根川、印旛沼を利用していると考えられる。海岸や大きな湖沼等の周辺で繁殖を行うが、調査地域にはそのような環境は分布しない。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域外でのみ確認した。本種は当該地域では冬鳥で海岸や湖沼、河口等が冬季の主要な生息環境であると考えられる。調査地域内の利用は確認されなかった。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-48　動物の重要な種（ハチクマ）の予測結果

種名（和名）		ハチクマ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	比較的大型のタカの仲間。羽色の個体変異が大きい。丘陵地から山地の森林に生息する。ハチ類をはじめとする昆虫類を多く捕食する。地中に営巣するクロスズメバチの幼虫や蛹を採食する。繁殖地への飛来は、本州中部では 5 月中旬以降である。カラス類や他のタカ類の古巣を利用することが多い。6 月中旬にかけて 1～3 卵を産む。抱卵の後、約 1 ヶ月後に孵化する。育雛にもハチ類の巣を多く利用する。ハチ類の巣を掘り出し、幼虫や蛹を雛に与える。雛は孵化後 35～45 日の 8 月に巣立つ。巣立ち時期は本州で繁殖するタカ類の中で最も遅い。8 月中旬～10 月中旬にかけ、越冬地に向けて渡る。
	分布	国内では夏鳥。主に近畿以北の本州～北海道で繁殖する。四国・九州でも繁殖が確認されている。
	千葉県内の状況	夏鳥。繁殖個体数は少ない。1970 年（昭和 45 年）代までは極めて稀な夏鳥あるいは渡りの時期、稀に見られるだけであった。渡りの時期は各地で見られる。
確認状況		9 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 B、高谷川周辺で確認した。また、2015 年（平成 27 年）を除く、各年 5 月の猛禽類調査において、飛翔を確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内では夏鳥、渡りの時期は各地でみられるとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡りの通過個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-49　動物の重要な種（トビ）の予測結果

種名（和名）		トビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	ワシタカ類。最も身近な猛禽類と言える。「ピーヒョロロロ」とよく鳴く。海岸線から山地にまで分布する。海岸、漁港、養魚場、河口、ゴミ処理場等に集まる。市街地でも見られる。都市化が著しく進行すると減少する。長時間高空を旋回し餌を探す。動物の死骸を採食する。昆虫類・ヘビ類・魚類・ネズミ類等も捕食する。ゴミを漁ることもある。アカマツ・モミ等の樹上に小枝を積み上げ営巣する。大きな巣は，直径 80～100cm にもなる。越冬期には集団塒を形成する。数百羽の大群を作ることがある。
	分布	国内では留鳥。ほとんどの地域で周年みられる。北海道～九州で繁殖する。
	千葉県内の状況	留鳥。全県に広く分布する。中南部や外房では普通に見られる。東京湾岸から北西部では少なく、ほとんどの地域で繁殖も越冬もしていない旅鳥である。営巣地に適している林は急激に減少している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や畑、樹林の上空等で確認した。また、8 月～翌年 6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地や上空等で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を、調査区域 A、調査区域 C、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、利根川、印旛沼などで確認した。また、各年の 2 月～7 月の猛禽類調査では飛翔を確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内では留鳥として全県に広く分布するとされており、調査地域では留鳥として分布していると考えられる。
生息環境の分布状況		樹林に営巣し、河川や海岸、耕作地等で採餌を行う。調査地域で繁殖は確認されていない。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C 及び周辺の広い範囲で確認した。主に秋季から冬季に確認しており、繁殖も確認していないことから、当該地域では主に冬鳥で海岸や河川周辺、山地等様々な環境が冬季の生息環境であると考えられる。また、本種は都市部でも生活できる種である。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は NAA データあるいは国土交通省データのいずれにおいても確認記録が多かった。本種がバードストライクに遭遇しやすい原因としては、滑走路周辺の草地環境を生活に利用する生態とそれに付随する行動特性があげられ、この傾向は将来においても変化しないと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-50　動物の重要な種（チュウヒ）の予測結果

種名（和名）		チュウヒ
重要種選定基準		国内希少野生動植物種 環境省 RDB：絶滅危惧ⅠB類（EN） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	中型のタカの仲間。個体により羽色の変異が大きい。ヨシ原等の広い湿性草地に生息する。主にネズミ類・鳥類・カエル類等を捕食する。魚類や昆虫類・ヘビ類等も食べる。地上近くの低空を飛翔する。本州では、乾燥して草地化した干拓地での繁殖例が多い。5～6月に3～7卵を産む。抱卵期間は約33～47日で、雛は孵化後35～40日で飛べるようになる。越冬期には、ヨシ原に集団ねぐらを形成する。
	分布	北海道・本州北部で少数が繁殖する。本州中部以南でも、利根川水系の湿地などで局所的に繁殖が知られている。越冬期には、ほぼ全国の湿地でみられる。
	千葉県内の状況	冬鳥。個体数は少ない。河川、池沼の周囲や河口部等のヨシ原で観察される。周年を通じ観察記録がある。個体数は冬期に増加する。利根川水系の湿地では、夏に見られることがある。利根川水系の湿地では、越冬期に、ヨシ原に20羽以上の集団塒を形成する。定期的な越冬地は限られている。東京湾岸では、埋立地や行徳鳥獣保護区が主な越冬地であった。
確認状況		10月～11月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を匝瑳市堀ノ内周辺、渡り行動がみられなかった個体を利根川、印旛沼で確認した。また、2014年（平成26年）と2016年（平成28年）の3月～4月の猛禽類では飛翔を確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内では冬鳥。利根川水系の湿地では、越冬期に、20羽以上の集団ねぐらを形成するとされており、調査地域では、主に冬鳥として利根川、印旛沼に渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		冬鳥として渡来し、利根川や印旛沼が主な越冬地として利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は冬鳥であり、利根川や印旛沼が主な越冬地であると考えられる。また、調査地域には、本種の生息に適した広い湖沼や河川は分布していない。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011年改訂版（平成23年　千葉県）

表 2.8.2-51　動物の重要な種（ツミ）の予測結果

種名（和名）		ツミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	タカ類。日本産タカ類の中で最も小さい。メスはおよそハト位、オスはヒヨドリ位の大きさである。平地から亜高山の森林に生息する。主にスズメ程の大きさの鳥類を捕食する。アカマツやモミやスギ等に営巣する。5 月上旬に 3～5 卵を産む。
	分布	近年、ほぼ全国的に繁殖していることが確認された。市街地や都市公園等の営巣例もある。越冬期の分布や生息状況に関しては、不明な点が多い。
	千葉県内の状況	千葉県では 1970 年（昭和 45 年）以前は、時々見られていたようである。現在は、主に夏鳥として飛来する。各地で繁殖する。個体数は少ない。一部の地域で越冬期に見られている。越冬の報告はない。越冬期の生息状況については不明である。旅鳥としても主に秋の渡りの時期、各地で記録される。松戸市で繁殖記録がある。1990 年（平成 2 年）と 1991 年（平成 3 年）に市川市の小塚山市民の森では繁殖活動が観察されたが、2 年とも失敗している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁や樹林の上空等で確認した。また、9 月～10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C、多古橋川周辺、高谷川周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 B、多古橋川周辺、印旛沼で確認した。また、各年の 2 月～8 月の猛禽類調査では飛翔などを確認した。2016 年（平成 28 年）に 1 地点で営巣を確認した。詳細は「10.8.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地　(1)調査　4)調査結果」に示すとおりである。資料①によると、千葉県内では主に夏鳥として飛来し、各地で繁殖する。越冬期にもみられるとされており、調査地域では主に夏鳥として分布し、繁殖している。一部は越冬していると考えられる。
生息環境の分布状況		営巣地となり得るスギ・ヒノキ林は調査地域に広く分布する。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C 及び周辺の林縁や樹林で確認した。確認状況から当該地域では主に夏鳥として生息していると考えられる。改変区域には広葉樹林や針葉樹林といった主要な生息環境が分布しており、消失・縮小するものの、本種は都市部の公園等の小規模の樹林でも繁殖する種であることから、繁殖環境は残存すると予測する。また、本種は調査区域 B で 2016 年（平成 28 年）に 1 箇所の営巣地を確認した。確認した営巣地は対象事業実施区域から約 1,290m 離れており、当該ペアの行動圏は改変されないと予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-52　動物の重要な種（ハイタカ）の予測結果

種名（和名）		ハイタカ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	小型のタカの仲間。オスはおよそハトくらいの大きさ、オスはメスより小さい。オスの体重はメスの半分くらいしかない。日本産鳥類中でも、体の大きさの雌雄差が、もっとも大きな種の一つである。森林で生活する。スズメからツグミ位の小-中型の鳥類を捕食する。
	分布	国内では北海道と本州で繁殖する。主に山地で営巣する。越冬期、全国で見られる。
	千葉県内の状況	冬鳥。少ない。夏期にも観察例がある。繁殖は確認されていない。冬期、各地で見られる。
確認状況		秋季～冬季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や畑、樹林の上空等で確認した。また、10 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C、成田市幡谷周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、成田市幡谷周辺、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川周辺、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。また、各年の 2 月～4 月の猛禽類調査では飛翔などを確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		越冬環境である樹林や耕作地は調査地域に広く分布する。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C 及び周辺で冬季を中心に確認した。当該地域では冬鳥であるが、改変区域には広葉樹林や針葉樹林といった冬季の主要な生息環境が約 400ha 分布しており、消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-53　動物の重要な種（オオタカ）の予測結果

種名（和名）		オオタカ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	森林性のタカ類。平地から山地に生息する。主にハト類等の中型の鳥類を捕食する。キジ類やカモ類等やリス類・ノウサギ等の哺乳類も捕食する。スギ、アカマツ等の針葉樹に営巣する。産卵期は 4～5 月である。通常 3～4 卵を産む。雛は、6 月中頃から 7 月上旬に巣立つ。越冬期、森林だけでなく、河川敷や湖沼畔等の湿地でも見られる。
	分布	主に本州および北海道で繁殖する。近年、中国地方や四国でも繁殖例が知られ、九州以北で広く繁殖している可能性がある。越冬期は全国で見られる。
	千葉県内の状況	留鳥。1970 年（昭和 45 年）代は稀な種であった。冬鳥ともされていた。1990 年（平成 2 年）代までは一般に広く公表されている繁殖地としては流山市の 1 例だけであった。野鳥観察の記録が増え、各地で繁殖していることが確認された。千葉県内各地で、繁殖地が確認されるようになった。さらに近年、非繁殖期の確認例も増加している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や畑、樹林の上空等で確認した。また、5 月～6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地や上空などで確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を成田市幡谷周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。また、猛禽類調査では、各年に飛翔などを確認した。詳細は「10.8.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地(1)調査　4)調査結果」に示したとおりであり、営巣は 2014 年（平成 26 年）に 14 地点、2015 年（平成 27 年）に 11 地点、2016 年（平成 28 年）に 15 地点、2017 年（平成 29 年）に 16 地点確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖している。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、樹林地と農地等の開放地がモザイク状に広がる環境に分布していると考えられる。このような環境は、谷津田環境を始めとして、調査地域全域に渡り広く分布している。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域及びその周辺で延べ 25 箇所の営巣地を確認した。 各営巣地に対する予測の結果は、表 10.8.1-60 に示すとおりであり、下表に示す計 5 箇所（No.6、7、9、15、20）の営巣地が営巣中心域や高利用域の改変が大きいと予測する。上記の 5 箇所に加えて営巣地 No.11 でも高利用域内の餌資源量の消失率が大きいと予測する。これらの計 6 箇所の営巣地については、生息環境は保全されない。 その他の 19 箇所の営巣地については、営巣中心域及び高利用域の改変や餌資源量の減少がない、又は小さいと予測するため、生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-54　動物の重要な種（サシバ）の予測結果

種名（和名）		サシバ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	タカの仲間。平地から山地では、比較的目にする機会の多い種であった。ヘビ・カエル・トカゲ等両生・爬虫類を主に捕食する。特に飛来直後は、産卵のために水田に集まるカエル類にかなり依存している。繁殖地には、3 月末から 4 月初めに渡来する。針葉樹に営巣する。5 月初旬までに 2～4 卵を生む。抱卵期間は約 1 ヶ月である。育雛期には、ネズミ類等の小型哺乳類や小鳥類の巣立ち雛も捕る。雛は孵化後 40～45 日である 7 月中旬までに巣立つ。
	分布	国内では夏鳥である。岩手県、秋田県より南の本州、四国、九州および伊豆諸島、対馬等で繁殖する。南西諸島では少数が越冬する。
	千葉県内の状況	夏鳥。千葉県内では、都市部を除く全域に渡来する。主に谷津田周辺の雑木林で繁殖する。南部における生息状況は、調べられていない。秋の渡りの時期には、市街地の上空も通過する。人家近くの里山にも生息する。ニュータウン、工業団地、ゴルフ場、道路等の開発に伴い本種の生息地が減少している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や畑、樹林の上空等で確認した。また、6 月のバードストライク調査において、B 滑走路付近の上空等で確認した。また、9 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、匝瑳市堀ノ内周辺、渡りの行動がみられなかった個体を荒海川周辺で確認した。また、猛禽類調査では、各年に飛翔などを確認した。詳細は「10.8.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地　(1)調査　4)調査結果」に示したとおりであり、営巣は 2014 年（平成 26 年）に 24 地点、2015 年（平成 27 年）に 19 地点、2016 年（平成 28 年）に 42 地点 2017 年（平成 29 年）に 32 地点確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、繁殖している。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態とを踏まえると、本種は雑木林の間に細い水田が入り込む谷津田の環境に多く分布していると考えられる。谷津田環境は調査地域全域に渡り広く分布している。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域及びその周辺で延べ 55 箇所の営巣地を確認した。 各営巣地に対する予測の結果は、表 10.8.1-61 に示すとおりであり、下表に示す計 11 箇所（No.19、25、32、42、47、61、62、66、69、74、75）の営巣地が営巣中心域や高利用域の改変が大きいと予測する。上記の 11 箇所に加えて営巣地 No.65 と 76 の営巣地においても高利用域内の餌資源量の減少が大きいと予測する。これらの計 13 箇所の営巣地については保全されない。 その他の 42 箇所の営巣地については、営巣中心域及び高利用域の改変や餌資源量の減少がない、又は小さいと予測するため、生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-55　動物の重要な種（ノスリ）の予測結果

種名（和名）		ノスリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	タカ類。トビよりやや小さい。小型哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類等の小動物を捕食する。山地の森林で繁殖する。耕作地のネズミ類を捕食する。
	分布	国内では留鳥・冬鳥。北海道・本州・四国で繁殖する。冬期は各地で見られる。
	千葉県内の状況	主に冬鳥。南部では周年記録される。各地に飛来する。冬期は、湖沼周辺、耕作地や河川敷等の湿地で見られる。開発や耕作地の宅地化・市街地化により、越冬地は減少している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や畑、樹林の上空等で確認した。また、10 月、翌年 1 月のバードストライク調査において、A 滑走路、B 滑走路周辺の草地や上空で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 C、成田市幡谷周辺、高谷川周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼で確認した。また、猛禽類調査では、各年の 2 月～7 月に飛翔などが確認した。詳細は「10.8.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地　(1)調査 4)調査結果」に示したとおりであり、平成 29 年の調査では、1 地点で交尾やディスプレイ、サシバへの排斥行動がみられ、本種のものと考えられる巣を確認したが、繁殖状況は不明である。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では主に冬鳥として渡来するが、極少数が留鳥として繁殖している。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、樹林地と農地等の開放地がモザイク状に広がる環境に分布していると考えられる。このような環境は、台地や谷津田環境を始めとして、調査地域全域に渡り広く分布している。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B で 2017 年（平成 29 年）に 1 箇所の営巣地を確認した。 事業の実施により本種の行動圏の約 7%が改変されるが、改変率は僅かであり、また活動の中心エリアと推測する巣から 330m 以内の区域は改変されない（表 10.8.1-62 参照）。したがって、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-56　動物の重要な種（フクロウ）の予測結果

種名（和名）		フクロウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	夜行性の猛禽である。平地から山地の森林に生息する。主にネズミ類・モグラ類等の小型哺乳類を捕食する。小型の鳥類や昆虫、両生類等も捕食する。大木の樹洞で繁殖する。地上に産卵することもある。
	分布	国内では留鳥。九州以北に生息する。
	千葉県内の状況	留鳥。周年見られる。各地に分布する。稀に市街地でも見られる。県北部では亜種モミヤマフクロウ、南部では亜種キュウシュウフクロウが繁殖するとされているが、この 2 亜種の分布の詳細は不明である。森林、社寺林や屋敷林の樹洞で繁殖する。房総丘陵には全域に分布する。
確認状況		冬季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の樹林内や林縁等で確認した。また、2 月～6 月の生態系フクロウの夜間調査において、調査区域 B、調査区域 C で鳴き声等を確認した。また、成田市小菅周辺でも確認した。樹洞踏査では、使用痕跡のある樹洞は確認されず、営巣の特定にはいたらなかったが、1 地点で幼鳥を確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系(1)調査　4)調査結果」に記載した。また、4 月の生態系ミゾゴイ調査の夜間調査では、調査区域 B、調査区域 C、成田市竜面周辺、多古町喜多大原周辺で確認した。また、1 月、5 月のバードストライク調査では、A 滑走路、B 滑走路周辺の防音林付近で確認した。また、10 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられにない個体を調査区域 C で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖している。
生息環境の分布状況		調査地域の樹林を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	11 箇所の本種の繁殖可能性エリアのうち 10 箇所において、隠れ場かつ狩り場として好適な環境の改変率が 20%を超過すると予測する。従って、これらの繁殖可能性エリアでは生息環境は保全されない。残りの 1 箇所の No.11 エリアにおいては、好適環境に変化は生じないと予測する。このため、生息環境に変化はない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-57　動物の重要な種（アオバズク）の予測結果

種名（和名）		アオバズク
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	小型のフクロウの仲間。森林性で主に夜間に活動する。繁殖期に「ホッホー、ホッホー」と特徴のある声で鳴く。鱗翅類・甲虫類等の昆虫類やコウモリ等を捕食する。社寺林等に残る大木の樹洞で繁殖する。
	分布	国内では夏鳥。全国に渡来する。
	千葉県内の状況	夏鳥。各地に渡来する。夜行性で生息の確認が難しい。千葉県における生息状況が明らかでない。開発に伴う森林の分断化・消滅や植林地の拡大等により、繁殖場所や個体数は減少している。
確認状況		春季～夏季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の樹林や林縁で確認した。また、5 月の生態系フクロウの樹洞調査において、調査区域 C で確認した。1 地点で営巣が可能な樹洞とつがいと考えられる個体を確認したが、繁殖成否の確認には至らなかった。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、少数が繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 B 及び調査区域 C での樹林や林縁で確認した。特に調査区域 C の高谷川周辺で集中的に確認されており、確認地点周辺で営巣していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B 及び調査区域 C での樹林や林縁で確認した。特に調査区域 C の高谷川周辺で集中的に確認されており、確認地点周辺で営巣していると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境は含まれていない。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-58　動物の重要な種（コミミズク）の予測結果

種名（和名）		コミミズク
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	フクロウの仲間。広い草地に生息する。主にネズミ類を捕食する。
	分布	国内では冬鳥。全国に飛来する。日中は休息し、夜間に活動する。活動している時、「ギャーウー」と大きな声で鳴くことがある。
	千葉県内の状況	冬鳥。個体数は少ない。草地性で、昼間は草の茂みの中で休息し、夕方から活動する。耕作地・河川敷等に飛来する。東京湾岸の埋立地が広大な草地であった 1970～1980 年（平成 45～55 年）代は、本種やトラフズクが飛来し越冬した。1986 年（平成 61 年）には東京湾岸の埋立地である幕張埋立地で 11 羽、京葉港埋立地で 9 羽が記録されている。東京湾岸の埋立地が開発され、草地が減少し越冬数が減少した。越冬地の消滅とともに観察記録がなくなった。市原市などでも減少している。一方、休耕田や造成地等、放置され草地化した場所が新たな越冬地となっている可能性がある。
確認状況		10 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		印旛沼の草地を主要な越冬地として利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は印旛沼を越冬地としており、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-59　動物の重要な種（カワセミ）の予測結果

種名（和名）		カワセミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	山間部から平野部に広く生息する。河川、湖沼、塩性湿地、渓流、海岸、干潟等の湿地で採食する。小河川、沼沢地、河口域、用水路、溜池等でも見られる。水中に飛び込み魚類、甲殻類や水生昆虫等の小動物等を捕食する。崖や急斜面に直径 6～9cm の横穴を 60cm～1m 掘り、巣とする。5～7 卵を産む。抱卵期間は約 18～19 日で、雛は孵化後約 23～25 日で巣立つ。河川、用水路の改修、護岸工事により、採食地や営巣地が減少している。
	分布	国内では留鳥。全国に分布し、繁殖する。北日本の山地や北海道で繁殖する個体は、南に渡る。
	千葉県内の状況	留鳥。全域に広く分布する。生息地では、ほとんどの地域で周年見られる。各地で普通に見られるが、個体数は多くない。河川、用水路の改修、護岸工事により、採食地や営巣地が減少している。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の河川、水路や池等で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 C、成田市幡多谷周辺、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の河川・水路、池及びその周辺を利用していると考えられ、調査地域には広く分布する。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路、取香川、荒海川、尾羽根川に流入する水路で確認した。改変区域には高谷川上流部が含まれるものの、その他の河川は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-60　動物の重要な種（アカゲラ）の予測結果

種名（和名）		アカゲラ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	中型のキツツキ類。低地、低山帯の雑木林、落葉広葉樹林、松林、混交林などに生息する。公園等でも見られる。嘴で木をつついたり、樹皮や葉から餌をついばんだりして、採食する。昆虫類やクモ類などの節足動物を主に採食する。木の実も採食する。巣穴は樹洞や枯木、芯に菌の入った生木などに掘り造る。人工物にも営巣することがある。
	分布	国内では留鳥。北海道～本州まで分布する。
	千葉県内の状況	冬鳥。越冬期である 9 月～4 月頃に見られる。各地の雑木林や混交林、樹林の多い公園などでみられる。個体数は多くない。南総より北総地域での記録が多い。流山市市野谷では 1992 年（平成 4 年）以降毎年越冬している。越冬期に雌雄で確認され、1999 年（平成 11 年）には流山市で繁殖期に確認されている。
確認状況		秋季～冬季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の樹林内や林縁で確認した。また、9 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を荒海川周辺、高谷川周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は冬鳥として、調査地域の樹林を中心に確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は冬鳥として、調査地域の樹林を中心に確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。本種は当該地域では冬鳥であるが、改変区域には広葉樹林やアカマツ林といった冬季の主要な生息環境が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-61　動物の重要な種（アオゲラ）の予測結果

種名（和名）		アオゲラ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	中型のキツツキ類。低地、低山帯から亜高山帯下部の常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、雑木林等に生息する。樹上で昆虫類やクモ類などの節足動物を採食する。アリ類もよく捕食する。小枝に止まり果実も採食する。地上に降り採食する事もある。木に穴をあけ、営巣する。枯木にも営巣する。
	分布	日本の固有種。本州、四国、九州、屋久島、種子島、淡路島、小豆島などに分布する。ほとんどが留鳥である。
	千葉県内の状況	少ない。北総では冬鳥。北総では越冬期に、雑木林や樹林の多い公園などで観察される。北総では、アカゲラよりも観察頻度は少ない。流山市市野谷では、1995 年（平成 7 年）以降越冬期に毎年数回観察されていたが、2001 年（平成 13 年）以降は森の面積が半減し、周囲の開発が進んだことから確認されていない。南房総では繁殖期も見られる。千葉県内では繁殖は確認されていない。照葉樹林帯では、繁殖期に観察例がある。ただし、東京大学演習林周辺では近年記録されていない。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 C の樹林内や林縁で確認した。また、10 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を成田市幡谷周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査地域の樹林を中心に確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の樹林を中心に確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には広葉樹林及びアカマツ林といった主要な生息環境が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-62　動物の重要な種（チョウゲンボウ）の予測結果

種名（和名）		チョウゲンボウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	小型のハヤブサ類。河川敷、農耕地、埋立地等、開けた地域で採食する。ノネズミ類、小型の鳥類、バッタ類等の昆虫類、トカゲ類等を捕食する。山地や川岸の崖の横穴等に営巣する。1980 年代頃からビルや鉄橋等の人工建造物でも繁殖するようになった。工場の通風孔等を利用し、繁殖する。ムクドリのねぐらやコアジサシの雛なども襲う。
	分布	北海道、東北～中部地方にかけての本州で繁殖する。中国地方・四国・九州でも繁殖期に記録がある。非繁殖期は、全国的に見られる。
	千葉県内の状況	1980 年（昭和 55 年）代までは冬鳥もしくは旅鳥であった。現在は留鳥。局地的に繁殖する。越冬期には各地で見られる。1990 年（平成２年）代以降、人工建造物に営巣するようになった。繁殖地域は、我孫子市、松戸市等の河川敷の周辺である。東京湾岸に面した千葉市、習志野市等の埋立地の工場等でも営巣する。
確認状況		秋季～春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の水田や畑の上空等で確認した。また、８月～翌年６月のバードストライク調査において、空港区域の草地上空等で確認した。また、９月～11 月の秋の渡り調査では、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。また、猛禽類調査は、各年の２月～８月に飛翔などを確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内ではかつては冬鳥もしくは旅鳥であったが、現在は留鳥とされており、調査地域では留鳥として繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		確認状況や既存資料から、当該地域には主に冬鳥として渡来しており、耕作地や空港区域内の草地（芝地）が主要な採餌環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C 及び周辺の耕作地上で確認したほか、空港区域内の草地（芝地）で確認した。確認状況や既存資料から、当該地域には主に留鳥として生息、耕作地や空港区域内の草地（芝地）が主要な採餌環境であると考えられる。これらの生息環境が消失・縮小するものの、滑走路の新設に伴い草地（芝地）の面積が増加する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は NAA データあるいは国土交通省データのいずれにおいても確認記録が多かった。本種がバードストライクに遭遇しやすい原因としては、滑走路周辺の草地環境を生活に利用する生態とそれに付随する行動特性があげられ、この傾向は将来においても変化しないと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-63　動物の重要な種（ハヤブサ）の予測結果

種名（和名）		ハヤブサ
重要種選定基準		国内希少野生動植物種 環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	海岸・河川敷・湖沼・水田等の開けた場所に生息する。小型から中型の鳥類を空中で捕獲する。主に海岸の断崖の岩棚で繁殖する。
	分布	国内では全国的に見られる。ただし、繁殖個体は、極めて少ない。北海道～九州の海岸で局所的に繁殖する。越冬期、全国でみられる。
	千葉県内の状況	冬鳥。個体数は少ない。夏期の記録もあるが繁殖は確認されていない。水鳥類の多い河口や干潟、湖沼等の湿地で観察される。鳥類の大規模渡来地での記録も多い。
確認状況		冬季～夏季の調査において、調査区域 C の水田上空等で確認した。また、8 月、翌年 6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地上空等で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 A、調査区域 C、高谷川周辺、山武市湯坂周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。また、猛禽類調査は 2015 年（平成 27 年）を除く各年の 2 月～6 月に飛翔などを確認した。営巣は確認されていない。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域及びその周囲には本種の営巣に適した崖地は分布していない。また、人工構造物でも営巣は確認していない。このように調査地域及びその周囲では繁殖を行っていないと考えられる。なお、本種は耕作地や空港内の草地（芝地）が主要な採餌環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C 及びその周辺で確認した。調査地域及びその周辺には本種の営巣に適した崖地は分布していない。また、人工構造物でも営巣は確認していない。このように調査地域及びその周辺では繁殖を行っていないと考えられる。なお、本種は耕作地や空港内の草地（芝地）が主要な採餌環境であると考えられる。これらの生息環境が消失・縮小するものの、滑走路の新設に伴い草地（芝地）の面積が増加する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-64　動物の重要な種（サンショウクイ）の予測結果

種名（和名）		サンショウクイ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：消息不明・絶滅生物（X）
生態（資料①）	種の特性	森林に生息する。主に落葉広葉樹林で繁殖し、常緑広葉樹林などでも見られる。樹幹部で昆虫を捕食する。
	分布	国内では夏鳥。本州以北の平地～山地で繁殖する。繁殖分布は局所的である。
	千葉県内の状況	夏鳥であったと考えられる。1950 年（昭和 25 年）以前は、個体数は少ないが、習志野原などでも繁殖していたらしい。1950 年以降、繁殖個体群はおそらく絶滅した。1970 年（昭和 45 年）までは、4 月～8 月にかけて記録があった。記録された個体数はせいぜい 1～2 羽と少ない。1990 年（平成 2 年）代以降、記録は少ない。現在、春の渡りの時期に外房で少数が記録される。市街地からも稀に記録され、1990 年（平成 2 年）5 月 22 日千葉市中央区千葉県立中央博物館で 1 羽、鳴きながら上空を通過したなどの記録が報告されている。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A の樹林内で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥であったと考えられている。繁殖していたらしいが、繁殖個体群は絶滅したとされ、現在は春の渡り時期に外房で少数が記録されるとされている。調査地域では夏季に確認したことから、夏鳥として渡来していた可能性があるが、確認例が 1 例と少ないことから、渡り途中の個体を確認した可能性が高いものと考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中と考えられる個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-65　動物の重要な種（サンコウチョウ）の予測結果

種名（和名）		サンコウチョウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	美しい種である。オスは尾羽が長く、目立つ。かつてはヒタキ科に含められていたが、近年はヒタキ科とは縁遠い種であるとされる。各地で減少が著しい。常緑広葉樹林やスギ林等、暗い林内に生息する。昆虫類を枝から飛びついて捕食する。クモの糸等を用い、細い枝にカップ状の巣を作る。滅多に地上に降りない。
	分布	国内では夏鳥。本州以南で繁殖する。
	千葉県内の状況	夏鳥。個体数は少ない。房総丘陵に繁殖期の記録が集中している。清澄山の周辺では、少数が繁殖している。北総の流山市周辺でも繁殖期に確認されている。各地にごく少数が繁殖している可能性がある。
確認状況		春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の樹林内で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、少数が繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査地域の樹林を中心に確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の樹林を中心に確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には常緑広葉樹林、針葉樹林といった本種の主要な生息環境が約 330ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-66　動物の重要な種（アカモズ）の予測結果

種名（和名）		アカモズ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧ⅠB類（EN） 千葉県 RDB：消息不明・絶滅生物（X）
生態（資料①）	種の特性	モズの仲間。上面は明るい褐色、下面は白色である。過眼線が黒色で目立つ。
	分布	国内では夏鳥。中部以北の本州で繁殖する。繁殖分布は局所的である。冬期は南に渡る。
	千葉県内の状況	かつては夏鳥。夏鳥として千葉県内でも繁殖していた。千葉県内では，繁殖個体群は絶滅した。1950 年（昭和 25 年）以前、習志野原周辺で繁殖していたようであるが、営巣場所の確実な報告例はない。標本の記録も少ない。近年では 1969 年（昭和 44 年）9 月 6 日に山武町で 1 羽、1970 年（昭和 45 年）に市原市上高根、1991 年（平成 3 年）6 月 7 日に夷隅郡夷隅町（現いすみ市）国府台小倉山で成鳥 1 羽、1999 年（平成 11 年）10 月 24 日に浮島で 1 羽などの観察記録があるにすぎない。
確認状況		9 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を荒海川周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥として繁殖していたが、繁殖個体群は絶滅したとされており、調査地域では渡り途中の一時的な滞留個体を確認したものと考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	確認した個体は、調査地域外での渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-67　動物の重要な種（カケス）の予測結果

種名（和名）		カケス
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	平地から山地の森林に生息する。昆虫類、種子、果実等を採食する。秋にはドングリを地中に貯える。他の動物や鳥類の声や機械音等のまねをする。
	分布	国内では屋久島以北の北海道、本州、四国、九州に分布する。山地で繁殖する個体の一部は、低地に移動し越冬する。
	千葉県内の状況	留鳥。南房総では少なくない。北部では少なく、越冬期に見られる地域が多い。渡りの時期は、平野部でも見られる。台地や山地の樹林で繁殖する。繁殖個体数は少ない。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の樹林内や林縁で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C、荒海川周辺、高谷川周辺、利根川、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥であるが、北部では少なく厳冬期にみられる地域が多いとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来し、少数が留鳥として繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の広葉樹林を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の樹林を中心に広い範囲で確認した。本種の主要な生息環境である広葉樹林の改変面積は約 110ha であり、広い範囲の広葉樹林が消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-68　動物の重要な種（ヒバリ）の予測結果

種名（和名）		ヒバリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	繁殖期にオスは、空高く飛びながら囀る。農耕地周辺や造成地、空地、海岸、河川敷等、丈の低い草がまばらに生えた草地に生息する。地上で昆虫類や草の種子等を採食する。路傍、畦道等の草本植物の根本等の地上に営巣する。渡りの時期には、数十羽の群を形成する。
	分布	国内では留鳥。北海道～九州で繁殖する。冬期、北日本や高地で繁殖する個体は、低地や暖地に移動し越冬する。
	千葉県内の状況	留鳥。各地に広く分布する。千葉県南部では普通に繁殖する。空地や耕作放棄された農耕地がススキや低木に覆われると営巣できない。宅地化、市街地化により耕作地や空地が減少しているため、個体数は減少している。埋立地や造成地にも生息するが、工事の終了と共に生息地は消失し、個体数は減少する 。東京湾岸の都市部や葛南地域では個体数の減少が著しい。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の畑や周辺の草地等で確認した。また、8 月～翌年 6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地等で確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 A、調査区域 C、匝瑳市堀ノ内周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖している。
生息環境の分布状況		空港内の草地（芝地）や調査地域の畑地及びその周辺草地等を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は空港区域内の芝地を主な生息環境としている。事業計画によると、将来の空港区域内の芝地は現況の 2 倍程度に増加する。このため、本種の営巣環境及び採餌環境は増加すると予測する。したがって、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は NAA データあるいは国土交通省データのいずれにおいても確認記録が多かった。本種がバードストライクに遭遇しやすい原因としては、滑走路周辺の草地環境を生活に利用する生態とそれに付随する行動特性があげられ、この傾向は将来においても変化しないと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-69　動物の重要な種（ツバメ）の予測結果

種名（和名）		ツバメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	人家や駅・商店等の人の住む建造物の軒下に営巣する。一夫一妻で繁殖する。年に 1～2 回繁殖する。古巣もよく利用する。稀に 9 月に営巣することがある。主に 4～7 月に産卵する。一腹卵数は 3～7 卵である。抱卵後、13～14 日で孵化する。抱卵・抱雛は主にメスが行う。給餌は雌雄共に行う。雛には、主に昆虫を与える。雛は 17～22 日で巣立ち、離巣する。雛は独立すると湖沼、河川流域や河口のヨシ原に集団ねぐらを形成する。夏から秋に何万という大群になるねぐらも確認されている。
	分布	国内では夏鳥。種子島以北の全国で繁殖する。北海道では主に道南に分布する。霞ヶ浦・浜名湖・九州では越冬個体群が知られている。
	千葉県内の状況	夏鳥。県内全域で繁殖する。営巣に適した古い建物が多い街並みや人通りの絶えない商店街、畜産家や農家等での営巣数が多い。成田山新勝寺周辺では 1992 年（平成 4 年）に 218 巣／k ㎡で営巣していた。印幡沼、富津岬等で越冬する個体が見られたが、近年は記録されていない。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の畑や周辺の草地等で確認した。また、8 月、翌年 5 月及び 6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地上などで確認した。また、9 月～10 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 A、調査区域 C、成田市幡谷周辺、荒海川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、繁殖している。
生息環境の分布状況		空港内の草地（芝地）や調査地域の耕作地及びその周辺等を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は空港区域内の施設を営巣環境とし、芝地を主な採餌環境として利用している。事業計画によると、営巣環境となる施設に大規模な改変は生じない。また、将来の空港区域内の芝地は現況の 2 倍程度に増加する。このため、本種の営巣環境は維持され、なおかつ採餌環境は増加すると予測する。したがって、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は NAA データあるいは国土交通省データのいずれにおいても確認記録が多かった。本種がバードストライクに遭遇しやすい原因としては、滑走路周辺の草地環境を生活に利用する生態とそれに付随する行動特性があげられ、この傾向は将来においても変化しないと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-70　動物の重要な種（コシアカツバメ）の予測結果

種名（和名）		コシアカツバメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	ツバメより尾羽が長い。腰は淡い褐色の羽色を呈する。人家の軒下やビルに集団で営巣する。ツバメの巣と異なるとっくり状の巣を造る。
	分布	夏鳥。繁殖地の分布は局所的である。九州以北で繁殖する。東日本では多くない。東北地方～北では少ない。冬期は南に渡る。
	千葉県内の状況	夏鳥。外房では、春～秋にかけて見られる。漁港等に営巣する。内房～外房にかけて営巣が確認されている。銚子市でも営巣例がある。渡りの時期に各地でみられる。近年、個体数や営巣数が減少している。千葉市内では、1938～1940 年（昭和 13～15 年）に千葉駅前で営巣が確認されていた。その後、繁殖記録は報告されていない。1990 年（平成 2 年）以降は、渡りの時期に千葉県立中央博物館生態園で観察されている。茂原市内でも茂原駅周辺で、1973 年（昭和 48 年）10 月 10 日に使われている巣が 10 巣以上確認されている。上総一ノ宮駅周辺でも 1983 年（昭和 58 年）8 月 28 日に巣が記録されているが、1980 年（昭和 55 年）代の繁殖は確認されていない。ヒメアマツバメやスズメに巣を横取りされ、繁殖を放棄する例も多い。千葉県北部では観察記録は少ない。
確認状況		10 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を成田市幡谷周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥。内房から外房で営巣が確認されている。渡りの時期に各地でみられるとされており、調査地域では渡り途中の一時的な滞留個体を確認したものと考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域周辺を一時的に通過すると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	確認した個体は、調査地域外での渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-71　動物の重要な種（イワツバメ）の予測結果

種名（和名）		イワツバメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	ツバメ類。ツバメより小さい。ツバメより尾羽が短く、くさび状である。腰が白色で、ツバメとは異なる。脚と趾は羽毛で覆われている。岩場や海岸の崖等で集団繁殖地を形成する。人工物である高架橋やビルに集団で営巣することもある。ツバメの巣と異なる椀状の巣を造る。1980 年代頃から都市にも営巣するようになった。
	分布	国内では夏鳥。九州以北で繁殖する。九州や四国では、越冬する個体が見られる。
	千葉県内の状況	夏鳥。繁殖地は局地的に分布する。1970 年（昭和 45 年）代後半まで繁殖記録はなかった。1980 年（昭和 55 年）に柏市の JR 柏駅東口の高架下で営巣が確認された。その後、市川市・銚子市～千葉市などで繁殖地が確認されている。営巣地は全て鉄筋コンクリート製の大きな建造物である。渡りの時期には、各地で見られる。
確認状況		9 月～10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を高谷川周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 B で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥。繁殖地は局所的に分布する。渡りの時期には各地でみられるとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域周辺を一時的に通過すると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	確認した個体は、調査地域外での渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-72　動物の重要な種（ヤブサメ）の予測結果

種名（和名）		ヤブサメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	「シシシシシシー」とだんだん速くなる高い声で囀る。よく茂った二次林やスギ林等の暗い森林で生活する。ササ類等の下層植生の多い場所で活動する。開けた場所に出ることはほとんどない。丘陵地から低山で繁殖する。
	分布	国内では夏鳥で、屋久島～北海道で繁殖する。南西諸島では少数が越冬している。
	千葉県内の状況	夏鳥。南部を中心に飛来する。市原市以南の丘陵地で比較的多く記録されている。房総半島南部では広く繁殖している。繁殖期に元清澄山、梅ヶ瀬渓谷などで見られる。北部や西部では、春と秋の渡りの時期に記録される。千葉市中央区千葉県立中央博物館では、2010 年（平成 22 年）4 月 23 日に落鳥が拾得されている。渡りの期間には市街地でも確認される。
確認状況		春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の樹林内や竹林で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、少数が繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の樹林を中心に広い範囲で確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の樹林を中心に広い範囲で確認した。これらの樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境である広葉樹林及び針葉樹林が約 400ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-73　動物の重要な種（センダイムシクイ）の予測結果

種名（和名）		センダイムシクイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	メボソムシクイやエゾムシクイに比べ、標高の低い地域で繁殖する。本州では標高約 1,000m までの山地や丘陵地の落葉広葉樹林で繁殖する。北海道では、低地の森林で普通に繁殖する。
	分布	国内では夏鳥。九州以北で繁殖する。宮崎県では越冬記録がある。
	千葉県内の状況	夏鳥。繁殖している個体数は少ない。繁殖期に元清澄山、梅ヶ瀬渓谷などで見られる。市原市以南の丘陵地や房総半島南部では，繁殖期を通して確認される。繁殖例の報告はない。春と秋の渡りの時期には、各地で少数が観察される。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の樹林内で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥。繁殖期に元清澄山、梅ヶ瀬渓谷、市原市以南の丘陵地や房総半島南部で確認される。春と秋の渡りの時期には各地で少数が観察されるとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域の樹林を一時的に利用すると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-74　動物の重要な種（オオヨシキリ）の予測結果

種名（和名）		オオヨシキリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	ヨシ原で大きな声で囀る。ヨシ原に生息する代表的な種である。普通、一夫多妻で繁殖する。
	分布	国内では夏鳥。九州以北のヨシ原で繁殖する。
	千葉県内の状況	夏鳥。各地のヨシ原に飛来する。北部の利根川水系の湿地に多い。利根川、江戸川、手賀沼、印旛沼等では普通に繁殖する。東京湾に近接した市川市等の人口の多い地域にも多い。内陸部の小規模なヨシ原にも出現する。都市部の調整池などでも繁殖する。大きな河川や湿地が多くない南部からの報告は少ない。ヨシ原や湿地の減少により、繁殖個体数は急速に減少している。
確認状況		春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の高茎草地等で確認した。また、9 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を利根川で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査地域のヨシ等の高茎草地を中心に広い範囲で確認した。これらの草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域のヨシ等の高茎草地を中心に広い範囲で確認した。これらの草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境である湿性草地が約 20ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺には同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-75　動物の重要な種（セッカ）の予測結果

種名（和名）		セッカ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	丈の低い乾いた草地に生息する。一夫多妻制で繁殖する。繁殖期が長く、メスは生まれた年の秋に繁殖に参加することもある。草地で繁殖する。水田、畑、採草地、放牧地等の農耕地や河川敷で囀る姿が見られる。
	分布	国内では留鳥。本州以南で繁殖する。寒冷地で繁殖する個体は、冬期、温暖な地域に移動する。
	千葉県内の状況	留鳥。周年見られる。冬期の記録は少ない。各地に分布する。報告例は北部に多く、南部はあまり多くない。耕作放棄地や造成地等、人為的攪乱を強く受ける環境にも生息する。印旛沼等の湖沼およびその周辺域に多い。
確認状況		冬季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田周辺の草地等で確認した。また、8 月、翌年 5 月及び 6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地などで確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り行動がみられなかった個体を荒海川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査地域の空港区域内の草地（芝地）や耕作地周辺の草地（放棄耕作地）を中心に確認した。これらが本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の空港区域内の草地（芝地）や耕作地周辺の草地（放棄耕作地）を中心に確認した。これらが本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境である放棄耕作地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、その他の放棄耕作地が残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-76　動物の重要な種（ミソサザイ）の予測結果

種名（和名）		ミソサザイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	全長約 10cm。山地から高山帯にまで生息する。沢沿いの暗い林や岩・根などの起伏の多い環境で生活する。
	分布	国内では留鳥。屋久島、種子島以北で繁殖する。
	千葉県内の状況	留鳥。繁殖期は南房総で見られる。房総丘陵の渓谷沿い、河川の上流の深い林などに生息する。繁殖の確実な報告はない。越冬期、各地で見られる。北総や東京湾岸でも見られる。個体数は減少傾向にある。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の樹林内や林縁等で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥。繁殖期には南房総でみられる。越冬期に各地でみられるとされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は冬季に調査区域 B 及び調査区域 C の樹林や林縁部で小数を確認した。これらの樹林や林縁部が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は冬季に調査区域 B 及び調査区域 C の樹林や林縁部で小数を確認した。これらの樹林や林縁部が本種の主要な生息環境と考えられる。本種は当該地域では冬鳥であり、改変区域には冬季の主要な生息環境である広葉樹林や針葉樹林が約 400ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-77　動物の重要な種（トラツグミ）の予測結果

種名（和名）		トラツグミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	日本産ツグミ類の中で最も大きい。繁殖期、夜間から早朝に「ヒー、ヒョー」と口笛の様な声で鳴く。林床で小動物を採食し、雛にはミミズ類を多く給餌する。秋から冬には、各種の木の実も採食する。明るく開けた場所ではあまり見られない。
	分布	国内では奄美大島以北で繁殖する。本州以南で越冬する。
	千葉県内の状況	千葉県内では、房総半島南部の丘陵地で繁殖する。ごく少数が繁殖している。冬期には、県内各地で観察される。個体数は多くない。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の樹林内や林縁で確認した。また、9 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 C で確認した。また、4 月の生態系ミゾゴイ調査の夜間調査において、調査区域 C、芝山町朝倉周辺で鳴き声を確認した。資料①によると、千葉県内では房総半島南部の丘陵地で、ごく少数が繁殖している。冬季には県内各地で観察されるとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 A 及び調査区域 C の樹林や林縁部で少数を確認した。これらの樹林や林縁部が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A 及び調査区域 C の樹林や林縁部で小数を確認した。これらの樹林や林縁部が本種の主要な生息環境と考えられる。本種は当該地域では冬鳥であり、改変区域には冬季の主要な生息環境である広葉樹林や針葉樹林が約 400ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-78　動物の重要な種（イソヒヨドリ）の予測結果

種名（和名）		イシヒヨドリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	羽色が雌雄で著しく異なる。オスの上面は青色、下面は赤褐色で美しい。メスは地味な茶色である。オスは美しい声で囀る。岩礁海岸に生息する。都市のビル街にも見られることがある。岩場やテトラポッドの周辺でフナムシ等の小動物を採食する。海岸近くに生育するヒサカキ等の漿果も採食する。岩の割れ目やくぼみ等に営巣する。建物等の人工物にも営巣する。海外では内陸部の崖地に普通に見られる。日本における生息地はほぼ海岸に限定される。
	分布	ほとんどの海岸では周年見られる。北海道等、北部で繁殖する個体は、冬期、南へ移動する。
	千葉県内の状況	留鳥。全域の海岸に分布する。いすみ市、勝浦市、鴨川市等の外房の岩礁海岸では、普通に見られる。砂浜の続く九十九里浜では記録が少ない。内陸部でも目撃される。1994 年（平成 6 年）10 月 1 日に流山市でオス成鳥、2009 年（平成 21 年）10 月 23 日に松戸市でオス成鳥等の観察例がある。船橋市の海岸部の工場地帯等でも確認されている。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の空港周辺の施設等で確認した。また、9 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を利根川で確認した。資料①によると、留鳥とされており、調査地域では留鳥として分布していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 A 及び調査区域 C の住宅地等で確認した。これらの住宅地等周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A 及び調査区域 C の住宅地等で確認した。これらの住宅地等周辺が本種の主要な生息環境であると考えられるが、住宅地等は改変を受けない。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-79　動物の重要な種（コサメビタキ）の予測結果

種名（和名）		コサメビタキ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	丘陵地から低山の森林で繁殖する。屋敷林で繁殖することもある。樹木の横枝にコケや地衣類を用いて皿形の巣を作る。森林の上層から中層部の枯枝などに止まり、飛翔昆虫を空中で捕食する。渡りの時期には都市部の公園などにも出現する。かつては、里山で普通に見られていたが、都市近郊で、近年著しく減少した。
	分布	国内では夏鳥。北海道～九州にかけて繁殖する。
	千葉県内の状況	繁殖期には、主に養老川源流部を中心とした房総丘陵で確認例があり、繁殖の可能性が示唆されている。ただし、巣卵および巣立ち雛の確認など確実な繁殖例はまだ報告されていない。夏鳥であるオオルリやヤブサメに比べ、繁殖期の記録は少ない。繁殖していても、繁殖地はこれらの種より狭く、個体数も少ないと推測される。渡り時期には各地で観察されるが、記録は秋（9 月と 10 月）に偏っている。近年は、旅鳥として通過する個体の観察例も減少傾向にある。
確認状況		秋季、夏季の調査において、調査区域 B の樹林内や林縁で確認した。また、9 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を調査区域 C で確認した。資料①によると、千葉県内では繁殖期には、主に養老川源流部を中心とした房総丘陵で確認例があり、渡り時期には各地で観察されるが記録は秋に偏っているとされており、調査地域では主に渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		主に渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-80　動物の重要な種（キビタキ）の予測結果

種名（和名）		キビタキ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	オスは腹部・腰が黄色、上面が黒色で目立つ。メスは、灰褐色で地味な色彩をしている。オスは姿も声も美しいため、飼鳥とされてきた。現在でも全国各地で違法捕獲による飼養や密猟が少なくない。平地、丘陵地から山地の広葉樹林に生息する。森林の上層から中層部の枯枝等にとまり、昆虫を空中で捕食する。木の幹の裂け目や浅い樹洞に営巣する。
	分布	国内では夏鳥。九州以北のほぼ全国で繁殖する。屋久島～南西諸島では周年見られる。
	千葉県内の状況	夏鳥。千葉県内で繁殖している個体数は少ない。市原市や房総丘陵の養老川源流部を中心とした地域などで繁殖する。千葉市、市原市南部、君津市東部、鴨川市北東部、天津小湊町、大多喜町西部等で繁殖している可能性がある。春と秋の渡りの時期に、各地で記録される。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の樹林内や林縁で確認した。資料①によると、千葉県内では夏鳥とされており、調査地域では夏鳥として渡来し、繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は調査地域の広葉樹林を中心に広い範囲で確認した。これらの広葉樹林が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の広葉樹林を中心に広い範囲で確認した。これらの広葉樹林が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境である広葉樹林が約 110ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-81　動物の重要な種（キセキレイ）の予測結果

種名（和名）		キセキレイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	主に河川の中流から上流域に生息する。繁殖期、平地から標高 2,000m 以上の高地にまで分布する。岩の間や崖の窪み・人工建造物の隙間等に営巣する。
	分布	九州以北で繁殖する。北日本や高地で繁殖する個体は、南へ渡り越冬する。
	千葉県内の状況	留鳥。個体数は多くない。房総半島南部の山地渓流に生息する。梅ヶ瀬渓谷では繁殖期に見られる。丘陵地～山地の渓流で繁殖する。越冬期には各地の湿地で見られる。渡りの時期には海岸などでも見られる。
確認状況		秋季～冬季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の畑や水田、それらの周辺の草地等で確認した。また、9 月～10 月の秋の渡り調査において、渡り途中の個体を成田市幡谷周辺、高谷川周辺、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 C、成田市幡谷周辺、高谷川周辺、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥。房総半島南部の山地渓流に生息する。冬季に各地の湿地でみられるとされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		本種は主に調査地域の耕作地及びその周辺草地で確認した。これらの耕作地及びその周辺草地が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に調査地域の耕作地及びその周辺草地で確認した。これらの耕作地及びその周辺草地が本種の主要な生息環境と考えられる。本種は当該地域では冬鳥であり、改変区域には冬季の主要な生息環境である耕作地及びその周辺草地が約 400ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-82　動物の重要な種（イカル）の予測結果

種名（和名）		イカル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	主に山地の落葉広葉樹林に生息する。大きな嘴で植物の種子を割り食べる。繁殖期、数つがいのなわばりが隣接するルーズなコロニーを形成する。非繁殖期には、数羽から数十羽の群れで生活する。
	分布	国内では九州以北で繁殖する。北日本や高地で繁殖する個体は、越冬期には低地や暖地に移動する。
	千葉県内の状況	主に越冬期に丘陵地や山地で記録される。観察例は少ない。生息状況は詳細に把握されていない。繁殖期の記録もあるが、確実な繁殖記録はない。市街地の公園などでは近縁のコイカルなども見られるが、イカルは稀である。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 C の樹林内で確認した。また、10 月のバードストライク調査において、空港区域の上空で確認した。資料①によると、千葉県内では主に越冬期に記録されるとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の落葉広葉樹林を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の樹林や空港内の上空で確認した。本種は当該地域では冬鳥であり、改変区域には冬季の主要な生息環境である落葉広葉樹林が約 80ha 分布し、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-83　動物の重要な種（ホオジロ）の予測結果

種名（和名）		ホオジロ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	全長 17cm。見通しのいい梢等で大きな良く通る声で囀る。低木やヤブの散在する環境に生息する。林縁や低木林で繁殖する。集落周辺の疎林でも普通に繁殖する。広い草原や樹林内部では見られない。地上で主に草本類の種子を採食する。越冬期、大きな群れは形成せず、数羽の小群を作る。
	分布	国内では留鳥。主に種子島以北のほぼ全国に分布する。北方や山地で繁殖する個体は、低地や暖地に移動し、越冬する。
	千葉県内の状況	留鳥。各地に広く分布し、繁殖する。冬期、個体数が増加する地域がある。農村、耕作地の宅地化、市街地化により生息地は減少している。千葉県南部では普通に繁殖する。印旛沼等湖沼の周辺でも繁殖する。東京湾岸や九十九里地域で普通に見られていたが、個体数は減少した。飼養目的の密猟が行われることがある。
確認状況		秋季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁や草地等で確認した。また、8 月～翌年 6 月のバードストライク調査において、空港区域の草地などで確認した。また、9 月～11 月の秋の渡り調査では、渡り途中の個体を調査区域 C、渡り行動がみられなかった個体を調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C、成田市幡谷周辺、荒海川周辺、多古橋川周辺、高谷川周辺、利根川、印旛沼、匝瑳市堀ノ内周辺で確認した。資料①によると、千葉県内では留鳥。各地に広く分布し繁殖する。冬季に個体数が増加する地域があるとされており、調査地域では主に留鳥として分布し、繁殖しているが、渡りの時期に移動途中の個体が確認されるものと考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の林縁部から周辺の乾性草地や畑地周辺の草地を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域の林縁及びその周辺草地を中心に確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である乾性草地及び伐採跡地群落や放棄畑雑草群落等が約 450ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	本種は、NAA データ及び国土交通省データのいずれにおいても、バードストライク事例の報告はない。このため、現況と同じく将来においてもバードストライクに遭遇する可能性は低いと予測する。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-84　動物の重要な種（ホオアカ）の予測結果

種名（和名）		ホオアカ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	全長 16cm。ホオジロよりやや小さい。オスは、潅木林や草地で低木や草本にとまり、大きな良く通る声で囀る。囀りはホオジロに似る。夏羽の頭頂と後頸は灰色、頬は赤褐色である。黒い縦斑が胸に帯状に並ぶ。平地から山地の草地、草原で繁殖する。水田、畑、採草地、放牧地等の農耕地で見られる。
	分布	国内では周年見られる。本州中部と九州では山地の草原、本州北部や北海道では平地の草原でも繁殖する。冬期、南に渡る。本州中部以南の温暖な地域で越冬する。
	千葉県内の状況	湿地や草地で繁殖する。市川市の北方調整池付近や印旛沼の草地で繁殖期に確認されている。江戸川河川敷等でも繁殖期の記録がある。その他の地域では、越冬期、少数が見られる。
確認状況		11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では湿地や草地で繁殖する。市川市の北方調整池付近や印旛沼の草地で繁殖期に確認されている。江戸川河川敷等でも繁殖期の記録がある。その他の地域では、越冬期に少数がみられるとされており、調査地域では主に冬鳥として渡来していると考えられるが、印旛沼では繁殖していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域外である印旛沼周辺の湿性草地や乾性草地を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域外の印旛沼で少数を確認したのみで、調査地域内の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-85　動物の重要な種（ノジコ）の予測結果

種名（和名）		ノジコ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	全長約 14cm。翼開長約 20.5cm。アオジに似ているが、眼のまわりに白いアイリングがあるのが特徴である。体色は、黄色っぽい草色で、腹部は黄色である。夏鳥として本州中部以北の山地で局所的に繁殖する。
	分布	本州中部以北のみで繁殖。
	千葉県内の状況	県内では、10 月～翌年 5 月にかけて冬鳥としてごくまれに記録される。春の渡りシーズンには県北部での通過記録もある。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A の林縁で確認した。資料②によると、千葉県内では 10 月～翌年 5 月にかけて冬鳥としてごく稀に記録される。春の渡り時期には県北部での通過記録があるとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-2 鳥類（平成 26 年　環境省）
資料②：千葉県の自然誌　本編 6　千葉県の動物Ⅰ-陸と淡水の動物-（平成 14 年　千葉県）

表 2.8.2-86　動物の重要な種（クロジ）の予測結果

種名（和名）		クロジ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	ホオジロ類の中では大きい。オスはほぼ全身が暗灰色、メスは褐色。暗い林内では目立たない。繁殖期は、4～7 月。山地のササの茂った針葉樹林内で繁殖する。冬期は、関東以西の丘陵地に移動する。下草の茂った暗いスギ林や常緑広葉樹林を好み、林床や藪などで種子をついばむ。
	分布	本州中部以北から北海道の山地で繁殖する。冬期、暖地の丘陵地帯等へ移動する。
	千葉県内の状況	冬鳥。局所的に分布する。主に越冬期、南房総の照葉樹やスギ林の林床で観察される。君津市や市原市等の森林で見られる。単独または 2～4 羽で観察されることが多い。個体数は少ない。春季の渡りの時期には、北総の地域でも公園の林内などで観察されることがある。東京湾岸では稀である。生息環境である森林の減少により、本種の生息数は減る傾向にある。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 C の樹林内で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		調査地域の常緑広葉樹林及び針葉樹林を利用していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の樹林で確認した。本種は当該地域では冬鳥であるが、改変区域には冬季の主要な生息環境である常緑広葉樹林や針葉樹林が約 330ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-87　動物の重要な種（コジュリン）の予測結果

種名（和名）		コジュリン
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	オスは頭部が黒色で目立つ。草原、農耕地、水田、畑、採草地、河川、湖沼などの広い草原やヨシ原などで生活する。樹林内部ではみられない。広い草原やヨシ原、湿地で繁殖する。越冬期や渡りの時期には、小群で生活する。北方で繁殖する個体は、南へ渡り越冬する。主に昆虫類や草本類の種子を採食する。
	分布	青森、秋田、山形、新潟、富山、長野、群馬、茨城、千葉、山梨、静岡、熊本などの県で繁殖記録がある。北部で繁殖する個体は、低地や暖地に移動して越冬し、越冬期や渡りの時期には、本州、四国、九州に全国的に分布する。
	千葉県内の状況	周年記録がある。ただし、留鳥であるかどうかは不明。香取郡小見川町で、1928 年（昭和 3 年）6 月と 1930 年（昭和 5 年）6 月に各 5 個体の標本が採集されている。千葉県内では、ヨシ原に分布する。主に利根川流域で繁殖する。印旛沼北部調整池周辺でも繁殖する。冬期には、東京湾岸では、渡りの時期や越冬期にみられていた。ただし、埋立地の宅地化･市街地化により、観察例数や個体数は減少している。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の林縁で確認した。資料①によると、千葉県内では周年記録があるが留鳥であるかどうかは不明である。利根川流域、印旛沼で繁殖するとされており、調査地域では渡り途中であると考えられる。
生息環境の分布状況		渡り途中の個体であり、調査地域は利用していないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	調査地域で確認した個体は、渡り途中の個体であり、調査地域の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-88　動物の重要な種（オオジュリン）の予測結果

種名（和名）		オオジュリン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	「チュウーリイン」と長めの延ばす声で鳴く。河川、湖沼、水田等の湿地の草地で採食する。
	分布	国内では夏鳥として北海道で繁殖する。冬期は南に渡る。国内各地で渡りの時期や越冬期に見られる。
	千葉県内の状況	冬鳥・旅鳥。多くない。近年、個体数は減少した。東京湾岸では埋立地や造成地の草地で普通に見られ、印旛沼などでは普通に越冬する。利根川流域や九十九里地域などの湿地でも普通に見られていた。個体数は減少し、現在、越冬数は多くない。
確認状況		10 月～11 月の秋の渡り調査において、渡り行動がみられなかった個体を印旛沼で確認した。資料①によると、千葉県内では冬鳥・旅鳥とされており、調査地域では冬鳥として渡来していると考えられる。
生息環境の分布状況		印旛沼で少数を確認したのみで、調査地域内の利用はないと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域外の印旛沼で少数を確認したのみで、調査地域内の利用はないと考えられる。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(3) 爬虫類

表 2.8.2-89　動物の重要な種（クサガメ）の予測結果

種名（和名）		クサガメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：情報不足
生態（資料①）	種の特性	流れの緩やかな河川と低地の湖沼に生息し、雑食性。初夏から夏にかけて複数回産卵する。ミトコンドリア遺伝子の解析により、江戸時代に大陸から持ち込まれ、定着した外来種であるという見解が示された。今後の研究の進展により保護対象種から外れる可能性が高い。
	分布	本州～九州、佐渡島ほか本土周辺の島しょ。
	千葉県内の状況	県北部の河川および湖沼を中心に県全域に生息する。ただし、丘陵部では源流域と上流域には生息せず、主として流れの緩い下流部や農業用水路、ため池に生息する。佐倉市と千葉市にまたがる鹿島川水系では、岸が土のままの中下流域には比較的高密度で生息しているが、コンクリートの 2 面あるいは 3 面護岸された上流域では淡水性カメ類がほとんど記録できない状態が広がっている。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や休耕田の湿地、水路、池等で成体、幼体、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の高谷川及び周辺の水路、取香川、溜池を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は主に調査区域 C の河川や水路、水田や溜池等で確認しており、高谷川でも多数の個体を確認した。改変区域には高谷川が約 5.2km 分布し、その他にも水路や水田が広く分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-90　動物の重要な種（ニホンイシガメ）の予測結果

種名（和名）		ニホンイシガメ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。甲羅はやや偏平で幼体は背甲に 3 本の隆条をもつが、成体では中央に明瞭な 1 本が残るだけとなる。背甲の後縁が鋸歯状になっているが、年をとるにつれ目立たなくなる。河川の上・中流域、山間や山際の池や沼、湿地に生息する。雑食性で、5 月から 8 月に 1～2 回産卵する。
	分布	本州～九州、周辺の島々。
	千葉県内の状況	年内全域から生息記録があるが、現在の主要な生息地は房総丘陵以南の山地から流れ下る河川と流域に散在する溜め池であり、県北部の河川や湖沼ではごくまれに捕獲される程度である。県南部の河川では、河床が砂あるいは岩盤でところどころに深い淵のある河川に生息する例が多いが、礫床で平瀬の続く河川での確認は少ない。近年、外来種として定着したアライグマによる捕食圧が高まっており、死亡率の増加、局地的な集団の消滅が起きている。
確認状況		春季の魚類調査において、調査区域 C の高谷川の岸際で成体を確認した。専門家ヒアリングによれば、高谷川では個体識別調査により 40 個体の生息が確認されている。詳細は「10.8.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の高谷川を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	主要な生息地は改変区域内の高谷川にあり、消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息地は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-91　動物の重要な種（ニホンスッポン）の予測結果

種名（和名）		ニホンスッポン
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：情報不足
生態（資料①）	種の特性	甲羅が非常に扁平で鱗板をもたず、やわらかな皮膚に覆われている。鼻の孔が突き出しており、肉質の口唇がある。雄は最大で甲羅の長さが 35cm に達する。河川の中流域や湖沼に生息する。
	分布	本州～九州、琉球。温暖な地域では養殖されており、逃げ出して野生化した個体に由来する個体群と自然分布の区別がつきにくい。最近の研究によって、琉球のスッポンは在来個体群ではなく、本州と台湾から持ち込まれて野生化したものであると判定されている。
	千葉県内の状況	在来種かあるいは養殖個体に由来する移入種か、判断がついていない。千葉県産の標本はまだ検討されておらず、野外での確認例も日光浴をしている個体の目撃に限られているため、まだ千葉県内における種の実態が明らかにされていない。在来種であるとすれば、確認例の少なさから判断して他の淡水カメ以上に危機的状況にあるといえる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の高谷川で幼体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の高谷川下流部を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種を確認した調査区域 C の高谷川の地点は直接の改変を受けず、周辺の生息環境にも変化はない。しかし、改変区域には本種の主要な生息環境である高谷川が約 5.2km 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-92　動物の重要な種（ニホンヤモリ）の予測結果

種名（和名）		ニホンヤモリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	かつて 1 種とされ本州から沖縄まで広範囲に生息するとみなされていたが、近年になってその中に複数の近縁種が含まれていることが明らかとなった。本州では住宅地や商店街などの人工的な建造物が主な生息場所となっている。6～7 月にかけて固い卵殻に被われた卵を 2 個産む。
	分布	本州～九州、周辺の島々。
	千葉県内の状況	県北部の比較的古い住宅地を中心に生息する。県南部の丘陵地や海岸線の漁師町からの生息確認の記録はほとんどない。1970 年（昭和 45 年）後半までは住宅地やその街灯でごく普通に見ることができたが、最近はなかなか姿をみることができなくなっている。
確認状況		秋季、夏季の昼間調査や夜間調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の人家の壁面や電柱などで成体、幼体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の人家周辺を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は改変区域では確認されなかった。改変区域外の確認も 3 地点のみであり、調査地域での生息数は少なく、特定の集落に局所的に分布しているものと考えられ、それらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-93　動物の重要な種（ヒガシニホントカゲ）の予測結果

種名（和名）		ヒガシニホントカゲ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	幼体は尾が鮮やかな青色であるが、成長するにつれて色あせ、成熟個体では胴体と尾が同じ茶色となる。胴体の中央部の胴回りの鱗の数は 24～28 で 26 が普通。
	分布	北海道～九州、周辺島々。
	千葉県内の状況	県全域に生息する。北総では日当りのよい土手などに見られ、南部の丘陵では渓流沿いの空き地などに見られる。また海岸の岩場などでも見られる。県北部の集団は南部の集団に較べて、小型で胴長短足の傾向がある。かつては校庭、人家の周辺やお墓など身近な場所にごく普通に生息していたが、1980 年（昭和 55 年）代後半から目撃頻度が低下している。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁や水田周辺の草地、道路上等で成体、幼体、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の広葉樹林及び乾性草地を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に調査区域 C の樹林の林縁や草地などで広く確認しており、改変区域内でも個体を複数確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である広葉樹林及び乾性草地が約 200ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-94　動物の重要な種（ニホンカナヘビ）の予測結果

種名（和名）		ニホンカナヘビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①、②）	種の特性	日本固有種。茶褐色で背面の鱗はキールが発達してざらついた印象をあたえる。長い尾と発達した四肢を使って地上から草の上を生活場所とし、クモや小型の昆虫を捕食する。
	分布	日本固有種で、北海道・本州・四国・九州および佐渡島・隠岐・壱岐・五島列島・屋久島、種子島・中之島・諏訪之瀬島などに分布する。
	千葉県内の状況	県内全域に分布する。1970 年（昭和 45 年）代末まではどこにでもいる最も普通の爬虫類であったが、ニホントカゲと同様に以前と同程度の密度で生息している場所が急速になくなっている。印旗沼の堤防の草原は非常にカナヘビの多産する生息地の 1 つであったが、1990 年（平成 2 年）代後半に再確認したところほとんど姿を見ることができなくなっていた。県南部の丘陵地帯ではもともとの生息密度が高くない。県北西部では、生息可能な場所の数や面積はかつての 1/10 程度に減っていると推測される。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田の畦や周辺の草地、道路上等で成体、幼体、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の乾性草地を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に調査区域 C の草地などで広く確認しており、改変区域内でも個体を複数確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である乾性草地や放棄耕作地が約 150ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：山渓ハンディ図鑑　日本のカメ・トカゲ・ヘビ（平成 19 年　山と渓谷社）

表 2.8.2-95　動物の重要な種（ジムグリ）の予測結果

種名（和名）		ジムグリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。全長 1m程度の中型のヘビ。背面は赤みを帯びた褐色で、腹面は黒い市松模様をしていることが多い。主に森林に生息し、地中の穴に良く潜り野ネズミを捕食する。
	分布	北海道～九州。周辺の島々。
	千葉県内の状況	県全域から記録があるが、近年は県北部における確認は少ない。1970 年（昭和 45 年）代中頃までは船橋市内の樹林地でも比較的よく見られたことから、県北部での減少が著しいものと思われる。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の林縁を通る道路上で死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C で確認しており、改変区域内でも 1 地点で確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である様々な樹林が約 450ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-96　動物の重要な種（アオダイショウ）の予測結果

種名（和名）		アオダイショウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	地色は緑がかった灰色で、シマヘビのようなストライプを薄くもつ。幼体は地色が灰茶白色で茶色のバンドがあり、マムシと混同されることが多い。鳥類や哺乳類など主に内温性の脊椎動物を捕食する。
	分布	北海道～九州、周辺の島々。
	千葉県内の状況	県内全域に生息する。農村から住宅地まで幅広い環境にほぼ万遍なく生息していたが、都市周辺の住宅地では姿をみる機会が減っている。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁や水田の畦、周辺の草地、道路上で成体、幼体、死体、脱皮殻を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や乾性草地を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は主に調査区域 C の樹林の林縁や草地などで広く確認しており、改変区域内でも個体を複数確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である樹林及び乾性草地が約 540ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-97　動物の重要な種（シマヘビ）の予測結果

種名（和名）		シマヘビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。麦藁色の地色に褐色の 4 本のストライプを有する中型のヘビ。比較的開けた草原、湿地、水田などに生息し、カエル類、ネズミ類、トカゲ類、鳥類等様々な脊椎動物を捕食する。
	分布	北海道～九州、周辺の島々。
	千葉県内の状況	県全域から記録がある。かつては水田や樹林地でもっとも普通に見られたヘビであったが、マムシなどと同様に県北部の水田地帯で激減している。船橋市北部の谷津田で 1970 年（昭和 45 年）代はじめに狭い面積に数匹のシマヘビが見られたことがあったが、近年はまったく姿をみることができない。県南部の丘陵地帯においても確実に減少している。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の林内の草地や水田畦等で成体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の乾性草地、湿性草地及び水田等を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B や C で確認したが、全体で 3 地点のみであり、調査地域での生息数は少ないと考えられる。改変区域にはこのうち 2 地点が含まれている。また、改変区域には本種の主要な生息環境である乾性草地、湿性草地及び水田等が約 550ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-98　動物の重要な種（ヒバカリ）の予測結果

種名（和名）		ヒバカリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	背面は淡い褐色で、口の角から首にかけてえりのように白い部分がある。水田や渓流の岸辺など餌となる両生類や魚類、ミミズ類の多い場所に比較的多い。日中よりも早朝や夕方に活動する。
	分布	本州～九州、周辺の島々。
	千葉県内の状況	県内全域に分布する。他のヘビと同様に開発の進んだ県北部よりも県南部の丘陵地や谷津田、渓流からの記録が多い。路上でひかれる個体も多く、れき死体の記録数はヤマカガシに次ぐ多さである。個体数の増減に関するデータはないが、両生類を始めとする水生生物を主な餌とするという性格から水田の近代化に伴う影響は無視できない。しかし、体が小さいこと、ミミズを利用することから水田の変化の影響はヤマカガシやシマヘビほど大きくはないであろう。
確認状況		秋季、夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の竹林内や林縁の道路上、水田周辺の草地等で成体、幼体、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の広葉樹林及び水田、湿性草地を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C を中心とした広い範囲で確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である広葉樹林及び水田、湿性草地が約 270ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-99　動物の重要な種（シロマダラ）の予測結果

種名（和名）		シロマダラ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。全長が 70cm を超えない小型のヘビ。灰色がかった地色に黒褐色の帯が胴体に 40 個ほど、尾に 15 個ほどある。平地から山地まで生息し、夜行性でトカゲや小型のヘビ類など爬虫類を専門に捕食する。
	分布	北海道～九州、周辺の島々。
	千葉県内の状況	県内の全域から記録がある。都市近郊の住宅地でも発見されることがある。生息密度は高くないと思われる。
確認状況		秋季、夏季の調査において、調査区域 C の道路上で死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C で確認したが、7 地点のみであり、調査地域での生息数は少ないと考えられる。改変区域にはこのうち 3 地点が含まれている。改変区域には本種の主要な生息環境である様々な樹林が約 450ha 分布しており、これらが消失･縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-100　動物の重要な種（ヤマカガシ）の予測結果

種名（和名）		ヤマカガシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①、②）	種の特性	褐色の地色に、黒色、黄色、赤色の斑紋があり、幼体では頚部の黄色のリングが目立つ。体の鱗にはキールがあり、体色は地域変異が大きい。
	分布	本州・四国・九州、佐渡島・隠岐・壱岐・五島列島・屋久島・種子島などに分布。
	千葉県内の状況	県全域に生息する。最も普通に見かけるヘビであるが、水田の圃場整備によってアカガエル類やトウキョウダルマガエルが激減したことに対応し、カエル食のヤマカガシの生息密度も減少している。県南部の水田や渓流でカエル類の多い場所ではまだ比較的高い密度で生息しているが、路上でひき殺される個体が多い。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 C の水田の畦や周辺の草地、樹林内、道路上等で成体、幼体、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林及び水田、湿性草地を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の広い範囲で確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である様々な樹林及び水田、湿性草地が約 600ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：山渓ハンディ図鑑　日本のカメ・トカゲ・ヘビ（平成 19 年　山と渓谷社）

表 2.8.2-101　動物の重要な種（ニホンマムシ）の予測結果

種名（和名）		ニホンマムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。森林やその周辺の田畑などに多く、カエルやネズミなどを中心にさまざまな小型脊椎動物やオオムカデ類を捕食する。
	分布	北海道～九州。周辺の島々。
	千葉県内の状況	県の全域から記録があるが、近年の情報では北総地域では非常にまれなヘビとなっている。房総丘陵ではカエル類の密度が高い渓流や水田の周辺に比較的多い。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の水田畦や林縁、水田周辺の道路上等で成体、幼体、死体を確認した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林及び水田、湿性草地を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の広い範囲と調査区域 B の 2 地点で確認した。改変区域には本種の主要な生息環境である様々な樹林及び水田、湿性草地が約 600ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(4) 両生類

表 2.8.2-102　動物の重要な種（アカハライモリ）の予測結果

種名（和名）		アカハライモリ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。背が黒く腹が赤い。体の大きさ、尾の相対的な長さや形、腹の模様などの地理的な変異が大きく遺伝的にも地域ごとに分化している。水田や池、小川などに生息し、産卵期は 4～7 月上旬。求愛行動は産卵期のほか秋にも行われる。産卵期間中何度も産卵し、1 回の産卵数 40 以下、合計 1 匹 100 ～ 400 程度。おもにミミズ、昆虫、オタマジャクシなどの小動物を食べる。
	分布	本州および四国、九州地方に分布。
	千葉県内の状況	千葉県のイモリは関東集団に属する。過去の生息状況をあわせるとイモリは千葉県全域に生息していたと判断されるが、種々の要因から北総地域のほとんどから姿を消している。特に市川市、松戸市、柏市、鎌ヶ谷市、船橋市、習志野市、我孫子市、白井町では既に絶滅していると考に少ない。現在では、北総地域ではお互いに孤立した生息地が数ヵ所散在するだけである。房総丘陵の山あいでも大規模な圃場整備によって生息可能な水田が減ってはいるが、水田以外の水域を利用しての存続は可能であろう。ただし、100ha 規模のゴルフ場開発、工業団地、区画整理事業などによって生息地が丸ごと失われる危険性は消えていない。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の水路、道路上等で成体、死体を確認した。詳細は「10.8.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る重要な種及び注目すべき生息地　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は高谷川支流及び多古橋川支流、尾羽根川支流に局所的に生息していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	局所的に分布する主要な生息地が一部改変区域内の芝山町の止水環境や多古町の水路等にあり、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息地は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-103　動物の重要な種（アズマヒキガエル）の予測結果

種名（和名）		アズマヒキガエル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。体は頑丈で、四肢は短く背中に大小の隆起をもち毒液を分泌する。特に鼓膜の上にある耳線は大きく発達している。低地から高山まで幅広い環境に生息する。3 月から 4 月の繁殖期には多数の個体が集まって産卵する。
	分布	近畿地方より東の本州。
	千葉県内の状況	県全域に分布する。県内では、1 つの繁殖地に集まる個体の数は数匹から数十匹であることが多く、数百もの個体が集まる大繁殖地は確認されていない。県南部の丘陵地にある繁殖地よりは県中央部や北部の谷津田の奥にある繁殖地の方が規模が大きく、多数の個体が集合する傾向が見られる。谷津田にある繁殖地の場合、圃場整備による徹底した乾田化で繁殖地の数が半減している。都市公園などで繁殖する集団は自動車によって繁殖地に向かう途中の個体が大量にひき殺され、大きな打撃を受けている。丘陵地を切り開いて開設される大規模な道路によっても繁殖地へ移動途中の個体がひき殺されている。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁や水田周辺の道路上、側溝、水田、水路等で成体、幼体、幼生、卵塊、死体を確認した。詳細は「10.10.1.造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林及び水田を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	改変区域内には多くの産卵場があり、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-104　動物の重要な種（ニホンアカガエル）の予測結果

種名（和名）		ニホンアカガエル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。体色がヤマアカガエルとは背側線がまっすぐで鼓膜の後方でもほとんど曲がらないことで区別できる。平地や丘陵地に生息し、冬から早春（1～3 月）に水田の日当たりのよい浅い止水に産卵する。
	分布	本州、四国、九州、隠岐、大隅諸島に分布する。
	千葉県内の状況	千葉県の全域に分布するが、ほぼ全域で進行している大規模圃場整備によって急速に個体数を減らしている。産卵に適した冬に水のある湿田の面積は、圃場整備の進行にともなって激減し、北総ではかっての湿田の 99%までが乾田に転換され、推定総卵塊数は 1990 年（平成 2 年）代に入って激減したと推定された。湿田の占める面積から北総地域の総卵塊数を推定すると、平成元年までは 332 万もあったものが、その後の 10 年間で 2 万 6 千個にまで激減したことになる。圃場整備による個体数の減少は都市化にともなう水田そのものの減少を明らかに上回っている。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田の畦や周辺の草地、道路上、水田や湿地、水路等で成体、幼体、幼生、卵塊、鳴き声を確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況と本種の生態を踏まえると、本種は調査地域の樹林及び水田を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	改変区域内には多くの産卵場があり、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-105　動物の重要な種（トウキョウダルマガエル）の予測結果

種名（和名）		トウキョウダルマガエル
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態(資料①)	種の特性	日本固有種。トノサマガエルによく似ているが背面の黒い斑紋は、1つ1つが丸くお互いに離れている。平地や盆地の水田や池などに生息し、4～7月に水田や湿地に産卵する。
	分布	関東平野、仙台平野、信濃川流域、新潟平野の一部に分布する。
	千葉県内の状況	千葉県の平野部の水田全域に生息すると考えられていたが、近年の分布調査によって保田と鴨川を結ぶ線から南には生息していないことがほぼ確実となった。この分布境界よりも北側の水田にはかってはごく普通に生息するカエルであった。東京湾に注ぐ養老川、おびつ川、小糸川、湊川の流域では最源流部を除いてかなり上流部の水田にも分布する。本種の生息を制限している要因は、第一に水田の減少と近代化である。地域によって危機的状況の程度に差が見られるのは、水田の減少と圃場整備の進行状況の違いによるとみてよいだろう。トウキョウダルマガエルの場合は水田での越冬条件の変化（乾燥化）と自然物護岸水路の水路がコンクリートの 2 面あるいは 3 面護岸が大きな影響を及ぼしていると考えられる。近年の調査によって、北総の平野部を中心にまだかなりの範囲に生息していることがわかってきたが、現実には調査によって生息が確認された広大な水田が、翌年には大規模な圃場整備によって、生息地を奪われるという状況が頻繁に見られる。
確認状況		秋季、夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の水田や周辺の草地、水路等で成体、幼体、鳴き声を確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	改変区域内には多くの産卵場があり、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-106　動物の重要な種（シュレーゲルアオガエル）の予測結果

種名（和名）		シュレーゲルアオガエル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	日本固有種。体は緑色で、モリアオガエルとは本種の方が小型であること、虹彩が金色であること、皮膚がなめらかであることで区別される。低地から丘陵地にかけて樹林に囲まれた水田に特に多い。繁殖期以外は樹上で生活する。3 月～6 月に水田の畔や土中に泡状の卵塊を産む。
	分布	本州～九州。
	千葉県内の状況	県内全域に分布する。水田で繁殖するカエル類の中では、圃場整備の影響を受けにくい種類であることは確実であるが、繁殖後に周囲の樹林地で生息するため、水田をとりまく樹林地の開発の影響を受けることになる。越冬場所の条件として十分に湿った柔らかい土壌を必要とするため、踏みつけや乾燥化の影響を受けやすい。
確認状況		秋季、春季～夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田や周辺の草地、湿地、道路上等で成体、幼体、幼生、鳴き声、卵塊を確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生息環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	改変区域内には多くの産卵場があり、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(5) 昆虫類

表 2.8.2-107　動物の重要な種（キイトトンボ）の予測結果

種名（和名）		キイトトンボ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	胸部・腹部が黄色いイトトンボで区別は容易である。成虫は、5 月下旬～9 月上旬に記録されている。和歌山県の事例では 6 月と 9 月に羽化のピークがあり、年 2 化と考えられているが、千葉県での詳細は不明である。幼虫は平地、丘陵地の挺水植物の多い明るい池沼や湿地、廃田に生息している。
	分布	本州、四国、九州および佐渡島、淡路島、隠岐などの離島。
	千葉県内の状況	本県ではほぼ全域から記録されているが、近年減少が著しい。
確認状況		ホタル類調査において、調査区域 A の取香川付近の調整池周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川付近の調整池周辺で確認した。調査地域での分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-108　動物の重要な種（ヤマサナエ）の予測結果

種名（和名）		ヤマサナエ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	大型のサナエトンボで、同属のキイロサナエに良く似ているが、胸部・腹部の斑紋の違い等で区別できる。成虫は主に 4 月下旬～6 月下旬に記録されている。幼虫は平地、丘陵地を流れる河川上流～中流の川岸に近い砂泥底に生息する。
	分布	本州、四国、九州および隠岐、対馬などの離島。日本固有種。
	千葉県内の状況	八街市、佐倉市、八千代市、千葉市、山武市、市原市、木更津市、袖ヶ浦市、君津市、長生郡長南町、いすみ市、夷隅郡大多喜町、富津市、安房郡鋸南町、鴨川市、南房総市、館山市から記録されている。近年減少が著しい。房総半島南部に現存産地が多い。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A のグリーンポート　エコ・アグリパーク、調査区域 B の荒海川に流入する水路と付近の溜池周辺、調査区域 C の高谷川に流入する水路周辺で確認した。また、夏季～春季の底生動物調査において、調査区域 A の取香川に流入する水路、グリーンポート　エコ・アグリパーク、調査区域 B の荒海川及び流入する水路、尾羽根川、調査区域 C の高谷川及び流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川に流入する水路、荒海川及び流入する水路、尾羽根川、高谷川及び流入する水路、グリーンポート　エコ・アグリパークで確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川及び流入する水路、荒海川に流入する水路が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-109　動物の重要な種（ウチワヤンマ）の予測結果

種名（和名）		ウチワヤンマ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	腹部第 8 節の側縁が大きく広がってうちわ状になっている大型のサナエトンボ。成虫は、5 月下旬～9 月に記録されている。幼虫は、平地、丘陵地の池、湖に生息する。
	分布	本州、四国、九州および粟島、佐渡島、淡路島、壱岐などの離島。
	千葉県内の状況	ほぼ全域から記録されているが、近年減少が著しい。銚子市や県南部の鴨川市、館山市からは未記録。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A の芝山水辺の里の開放水面周辺、調査区域 C の高谷川に流入する水路周辺で確認した。
生息環境の分布状況		本種の生態から池や湖などの開放水域が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 A の芝山水辺の里の池周辺、調査区域 C の水路周辺で確認した。本種の生態から溜池等が主要な生息環境と考えられるが、改変区域にはそのような溜池等の開放水域が分布し、これらの一部が消失・縮小するものの、確認した芝山水辺の里に変化はなく、同様の溜池等が残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-110　動物の重要な種（ヤブヤンマ）の予測結果

種名（和名）		ヤブヤンマ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	大型のヤンマで、縁紋は後翅より前翅のほうが大きい。黄色の地に褐色の条斑があるが、成熟すると黄色部が黄緑色になる。成虫は、6 月中旬～9 月下旬に記録されている。幼虫は丘陵地、低山地の樹陰の多い小規模な水溜や小さな池沼、植物性沈積物の多い寺社の人工池やコンクリート製の貯水槽に生息する。
	分布	本州、四国、九州および佐渡島、伊豆諸島、淡路島などの離島。
	千葉県内の状況	ほぼ全域から記録されているが、近年減少が著しく多産地はない。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C のスギの林縁部で確認した。確認場所付近には、本種の生息する樹林に囲まれた池沼等はみられないが、羽化後に飛翔してきた個体を確認したものと考えられる。
生息環境の分布状況		本種の生態から樹林に囲まれた池沼などが主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 C のスギ林の林縁部で確認した。本種の生態から樹林に囲まれた溜池等が主要な生息環境と考えられるが、確認地点付近には開放水域がみられないことから、周辺の池等で羽化した個体が飛翔してきたものと考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境となる溜池等の開放水域が分布しており、これらの一部が消失・縮小するものの、その他の溜池等が残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-111　動物の重要な種（ハラビロトンボ）の予測結果

種名（和名）		ハラビロトンボ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	腹部が極めて幅広く短いことで区別は容易である。雄は成熟すると黒化し、腹部第 2～6 節が白粉で覆われる。平地、丘陵地の湿地、水田、緩流などに生息する。摂食期の成虫は、林間の道の脇や林縁の高さ 1ｍ前後の枝先に静止する。春の出現初期には丘陵地の日当たりの良い道端や崖、枯れ草あるいは木の幹の上などに止まり、出現末期になると葉の上などにも止まるようになる。
	分布	北海道南西部、本州、四国、九州および佐渡島、淡路島、対馬などの離島。
	千葉県内の状況	野田市、我孫子市、柏市、印旛郡印旛村、成田市、香取郡、松戸市、市川市、八千代市、千葉市、山武市、山武郡（芝山町、大網白里町）、匝瑳市、茂原市、長生郡（長生村、白子町）、いすみ市、夷隅郡大多喜町、木更津市、富津市などから記録されているが残存産地は多くない。
確認状況		春季及びホタル類調査時に、調査区域 C の水田周辺の湿性草地等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況から湿性草地が主要な生息環境と考えられる
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の水田周辺の湿性草地等で確認した。確認地点はいずれも改変区域内であった。確認状況から湿性草地が主要な生息環境と考えられるが、改変区域内にはこのような環境が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-112　動物の重要な種（チョウトンボ）の予測結果

種名（和名）		チョウトンボ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	黒色の胸部、腹部と角度により紫藍色にかがやく黒い翅を持つ特異なトンボ。幼虫は平地、丘陵地の植生豊かな池沼に生息する。産地は、南西日本に多いが、近年環境破壊で激減している。
	分布	北海道の一部、本州、四国、九州および淡路島、隠岐、壱岐などの離島。
	千葉県内の状況	全域から記録されているが、印旛沼周辺の池沼やいすみ市以外では個体数は少ない。
確認状況		夏季及びホタル類調査において、調査区域 A の取香川付近、空港区域内滞水池、芝山水辺の里やグリーンポート　エコ・アグリパークの開放水面周辺等、調査区域 C の水田周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 A の滞水池及びグリーンポート　エコ・アグリパーク、芝山水辺の里の池等で確認した。これらの確認地点である開放水域が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの主要な生息環境のほとんどは含まれず、残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-113　動物の重要な種（コノシメトンボ）の予測結果

種名（和名）		コノシメトンボ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	翅端に黒斑のあるアカネで、胸部側面の斑紋の形で同属のリスアカネやノシメトンボと区別できる。成虫は、6 月下旬～12 月中旬に記録されている。幼虫は平地、丘陵地の挺水植物の繁茂する池沼や水田脇の水溜から得られるが、小学校プールや市民プールなどからの発生記録もある。
	分布	北海道、本州、四国、九州および奥尻島、飛島、粟島、淡路島などの離島。
	千葉県内の状況	全域から記録されているが、いずれの記録地でも個体数は多くない。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の湿性草地周辺の林縁、水田周辺等で確認した。
生息環境の分布状況		池が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の湿性草地や水田周辺で確認した。本種の生態から水田周辺の深い水溜りや溜池等が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの溜池等が分布しており、これらの一部が消失・縮小するものの、その他の溜池等が残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-114　動物の重要な種（リスアカネ）の予測結果

種名（和名）		リスアカネ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	翅端に明瞭な黒褐色斑があり、ノシメトンボ、コノシメトンボに似るが翅胸部側面の黒条の形で区別できる。幼虫は平地、丘陵地の林に囲まれた日陰のある池や水田の林縁の水溜に生息する。
	分布	本州、四国、九州および飛島、淡路島、隠岐などの離島。
	千葉県内の状況	野田市、我孫子市、成田市、市川市、船橋市、千葉市、山武郡横芝光町、東金市、茂原市、長生郡 （長生村、白子町）、富津市、南房総市などから記録されているが、確実な産地は少ない。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A の水田周辺の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から樹林に囲まれた池が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の湿性草地や水田周辺で確認した。本種の生態から水田周辺の深い水溜りや溜池等が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの溜池等が分布しており、これらの一部が消失・縮小するものの、その他の溜池等が残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-115　動物の重要な種（クチキコオロギ）の予測結果

種名（和名）		クチキコオロギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	頭と前胸背はつやのある黒色で、他の部分は暗褐色。幼虫で越冬し、翌年の夏から秋に成虫になる。朽ち木の穴や木の皮の下などにすみ、夜間「グリー、グリー」と間隔をおいて鳴く。
	分布	本州～琉球、伊豆諸島、隠岐。
	千葉県内の状況	かつては松戸市と船橋市から記録があった。現在、市原市以南の房総丘陵地帯の各地から多数の記録がある。極相林である常緑広葉樹林や社寺林の中に生息し、個体数は少なくない。
確認状況		秋季、冬季の調査において、調査区域 C のシラカシ林等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から常緑広葉樹林が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C のシラカシ林等で確認した。確認状況や本種の生態から常緑広葉樹林が主要な生息環境と考えられる。改変区域にはその常緑広葉樹林が約 30ha 分布し、これらが消失・縮小する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-116　動物の重要な種（トゲナナフシ）の予測結果

種名（和名）		トゲナナフシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	翅がなく、灰褐色。触角は前脚より長い。背面に小さい突起が多くあり、体にとげがあるが個体によって差が大きい。主に地上に生息するが幼虫は草に登ることが多い。沿岸部から低山地の林の縁や林内を好むが、秋には林道に出てくることが多い。アザミ類やバラ類などを食べる。
	分布	本州（千葉県以南）～奄美大島、伊豆諸島（八丈島・三宅島）。
	千葉県内の状況	君津市山滝野と富津市桜井付近から記録がある。君津市の生息地は雑木林のそばが宅地開発されている。また付近にはゴルフ場が多い。調査不足のためか分布記録が少ない。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C のスギ林の林床で確認した。
生息環境の分布状況		本種は改変区域では確認されなかった。改変区域外の確認も調査区域 C の東側に位置するスギ林の 1 地点のみであり、調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は改変区域では確認されなかった。改変区域外の確認も調査区域 C の東側に位置するスギ林の 1 地点のみであり、調査地域での生息数は少なく、局所的に分布しているものと考えられ、これらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-117　動物の重要な種（エノキカイガラキジラミ）の予測結果

種名（和名）		エノキカイガラキジラミ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	翅端までの全長 4～5mm の比較的大型のキジラミで、前翅を含めて全体に茶褐色から黒褐色。幼虫は寄主植物であるエノキの葉にツノ状の虫えい（ゴール）を形成し、その開口部を貝殻状の白色分泌物で覆う特性がある。
	分布	本州と九州の丘陵地から低山地に分布する。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		夏季～春季及びホタル類調査時において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁等に生育するエノキで確認した。
生息環境の分布状況		本種の生態からもエノキ群落が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査地域内のエノキ群落で広く確認した。本種の生態からもエノキ群落が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそのエノキ群落が約 5ha 分布し、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－5 昆虫類（平成 27 年　環境省）

表 2.8.2-118　動物の重要な種（ミゾナシミズムシ）の予測結果

種名（和名）		ミゾナシミズムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	体長 5～6mm の小型のミズムシ。一見コミズムシ類に似ているが、やや細い。前胸背板に黒色の横帯があり、班紋パターンはコミズムシ類と基本的に同じである。やや深い池沼など、安定した止水域に生息する。肉食性が強いといわれる。
	分布	北海道から九州にかけて分布する。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		夏季の調査において、調査地区 C の放棄水田周辺に設置したライトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 C から東側に外れた放棄水田周辺 1 地点のみで確認した。調査地域及び周囲では局所的に分布しているものと考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 C から東側に外れた放棄水田周辺 1 地点のみで確認した。調査地域及び周辺では局所的に分布しているものと考えられ、それらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－5 昆虫類（平成 27 年　環境省）

表 2.8.2-119　動物の重要な種（キバネアシブトマキバサシガメ）の予測結果

種名（和名）		キバネアシブトマキバサシガメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 9mm 前後。身体は光沢のある黒色で、同属のアシブトマキバサシガメと同様に乾いた草地の地表の石の下やごみの下などに棲み、小昆虫類を捕食する。
	分布	北海道～本州。
	千葉県内の状況	全国的にも記録の少ない種で、県内では 2000 年（平成 12 年）に佐倉市で初めて発見された。その後、我孫子市、富津市、印旛村で発見された。
確認状況		夏季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の放棄水田や水田脇の道路上で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、調査地域では乾性草地や放棄耕作地等に局所的に生息していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の放棄水田や水田脇の道路上で小数を確認した。確認状況や本種の生態から、調査地域では乾性草地や放棄耕作地等に局所的に生息していると考えられる。改変区域には調査区域 C の地点が含まれるが、その他の地点周辺は改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-120　動物の重要な種（フタオビマダラカモドキサシガメ）の予測結果

種名（和名）		フタオビマダラカモドキサシガメ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	同属の普通種、ヒメマダラカモドキサシガメと同じような環境に生息するものと思われるが、極めてまれにしか確認されず、生物学的な知見もほとんどない。ヒメマダラカモドキサシガメよりやや大きく、淡色である。
	分布	本州、九州、伊豆諸島八丈島に分布する。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A の竹林縁で確認した。
生息環境の分布状況		本種はグリーンポート　エコ・アグリパークの竹林縁部の 1 地点で確認した。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種はグリーンポート　エコ・アグリパークの竹林縁部の 1 地点で確認した。調査地域での生息数は少なく、局所的に分布していると考えられ、それらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－5 昆虫類（平成 27 年　環境省）

表 2.8.2-121　動物の重要な種（ヒメジュウジナガカメムシ）の予測結果

種名（和名）		ヒメジュウジナガカメムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 8～9mm。体は橙赤色で頭部、前胸背、革質部の 1 対の紋、小楯板、膜質部などは黒色で、爽やかな感じのするカメムシである。あまり多く見られないが、時として群生する。ガガイモやフウウセントウワタなどで見られることがある。
	分布	本州～九州、沖縄。
	千葉県内の状況	県内の分布状況は不明で、僅かに大多喜町で採集された記録がある。
確認状況		夏季～春季及びホタル類調査において、調査区域 A、調査区域 C の竹林や苗圃・植木畑等の林縁、水田周辺の草地などで確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、耕作地周辺の乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の林縁部や耕作地周辺の草地で確認した。確認状況や本種の生態から、耕作地周辺の乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその乾性草地及び耕作地周辺の草地が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-122　動物の重要な種（フタボシツチカメムシ）の予測結果

種名（和名）		フタボシツチカメムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長 5mm 前後。小さな黒色のカメムシで革質部に 1 対の白色紋がある。同属のミツボシツチカメムシは小楯板の先端も白いが、本種は黒いので区別できる。オドリコソウで採集される。
	分布	本州。
	千葉県内の状況	本種の記録は少なく、千葉市での 3 例だけであったが、1998 年（平成 10 年）に佐倉市、2002 年（平成 14 年）に市川市から記録された。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の水田周辺に設置したライトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から畑地及びその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の耕作地で確認した。確認状況や本種の生態から畑地及びその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその畑地及びその周辺の草地が約 260ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-123　動物の重要な種（ルリクチブトカメムシ）の予測結果

種名（和名）		ルリクチブトカメムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 6～8mm。体は一様に光沢のあるルリ色をした小型のカメムシで、畑の脇の雑草のある地表面で生活し、ハムシなどを捕食するという。
	分布	本州～九州、琉球。
	千葉県内の状況	地表面や雑草の根際などで生息するためか、採集例は少なく我孫子市、船橋市、千葉市、富津岬、市原市、富山町、高宕山など数例に過ぎない。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の水田周辺の草地で確認した
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から畑地及びその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の耕作地で確認した。確認状況や本種の生態から畑地及びその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその畑地及びその周辺の草地が約 260ha 分布し、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-124　動物の重要な種（イネカメムシ）の予測結果

種名（和名）		イネカメムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長 12mm 前後。イネ科植物で生息し、イネの害虫と知られるが、千葉県では被害は聞かない。シロヘリカメムシに酷似するが、頭部側葉が中葉より若干長く、左右側葉が接していないことより区別できる。
	分布	本州～琉球。
	千葉県内の状況	1943 年（昭和 18 年）に鴨川市で記録された頃は、県内にも普通に産していたと思われる。その後千倉町、高宕山、太東崎、八日市場で記録されたが、最近では非常に少なく、久留里、一宮町の記録があるのみである。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の水田周辺の草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から畑地及びその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の水田周辺の草地で確認した。確認状況や本種の生態から水田が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその水田が約 135ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-125　動物の重要な種（コハンミョウ）の予測結果

種名（和名）		コハンミョウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 11～13mm。砂地質を好み、生息場は良く踏み固められた空き地、農道など人との係わりが深い場所。田園地帯の道路の舗装化、裸地の草原化などにより減少傾向にある。
	分布	北海道、本州、四国。
	千葉県内の状況	県下全域に生息しているが、記録は多くない。千葉市、八千代市、佐倉市、千倉町、我孫子市、市川市、白井市、船橋市、東金市、一宮町、富津市、館山市、和田町、高宕山、房総南部､夷隅地区など。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の水田周辺の草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、耕作地周辺の裸地や農道等が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の耕作地周辺のまばらな草地で確認した。確認状況や本種の生態から、耕作地周辺の裸地や農道等が主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境となり得る耕作地は約 450ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-126　動物の重要な種（ヒメマイマイカブリ）の予測結果

種名（和名）		ヒメマイマイカブリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長 29～50mm。日本固有種であるマイマイカブリの 7 つある亜種のうちの 1 亜種。本亜種の前胸背板の色彩変化は暗藍色～暗青紫色が多く、時に黒化する。山地～平地まで広く分布するが平地の方が多い。広い草地、広葉樹林の林床を好む。
	分布	本州（静岡県、長野県、山梨県、関東地方）。
	千葉県内の状況	前胸背板の色彩は暗藍色～暗青紫色、南部では黒化する個体がある。翅鞘末端は突起するが、県南部はそれが明瞭となり、また、著しい個体があらわれる。翅端突起の著しい型を南房総型と称することがある。浦安市を除き全ての市町村～の記録があるが、数は少ない。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C のスギ林内や林縁等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の樹林や耕作地周辺の草地で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその広葉樹林や乾性草地が約 200ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-127　動物の重要な種（カズサヒラタゴミムシ）の予測結果

種名（和名）		カズサヒラタゴミムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 10～11mm。湿地性のゴミムシ類。オオヒラタゴミムシに似るが、より小型。
	分布	本州（千葉県）。
	千葉県内の状況	岬町椎木、東金市雄蛇ケ池で記録がある。岬町椎木は基準産地である。近年、長南町坂本での生息が確認された。基準産地と似た環境を調査すれば追加記録が期待できる。
確認状況		冬季の調査において、調査区域 C の放棄水田周辺の草地で確認した。
生息環境の分布状況		本種の生態から調査地域の湿性草地に局所的に分布していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の高谷川に流入する水路沿いの湿性草地で確認した。改変区域内では確認されなかった。確認地点は 1 地点のみであり、本種の生態から調査地域の湿性草地に局所的に分布していると考えられ、それらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-128　動物の重要な種（チョウセンゴモクムシ）の予測結果

種名（和名）		チョウセンゴモクムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	平野部の河川敷や荒れ地、造成地の日当たりの良い草地に生息する。秋季に新成虫が見られ、成虫越冬するものと考えられる。成虫は秋季のメドハギの種子を好んで摂食する。
	分布	本州、九州、屋久島に分布する。
	千葉県内の状況	我孫子市大利根橋、手賀沼から記録がある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B の畑周辺に設置したベイトトラップにより確認した。また、春季の調査において、調査区域 A の道路上で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、畑地やその周辺草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B の耕作地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、畑地やその周辺草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその畑地及びその周辺の草地は約 260ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-129　動物の重要な種（コアトワアオゴミムシ）の予測結果

種名（和名）		コアトワアオゴミムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 11.5～12.5mm。翅端部にコンマ形の紋がある。湿潤な土の草地に生息している。南方系の種で関東以北では稀。日本では少ないがアジア東南部などの温暖な地域に多い。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	市川市、四街道市、八千代市、佐倉市、千葉市、長柄町、鋸山、鴨川市。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の放棄水田周辺に設置したベイトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の放棄水田周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-130　動物の重要な種（オオサカアオゴミムシ）の予測結果

種名（和名）		オオサカアオゴミムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	体長 11～12mm。頭部は黒色で緑色の金属光沢があり、前胸および上翅の側縁は朱色。平野部や丘陵地の湿地や河川敷、休耕田、水田周辺などに生息する。湿地の地表を夜間に徘徊し、ミミズなどを捕食する。土中で成虫越冬する。
	分布	本州、四国、九州に分布。
	千葉県内の状況	印西町木下、印旛沼、成田市宗吾、成田市松崎、銚子市君ヶ浜、市川市、市川市柏井、船橋市、市原市、木更津市、岬町鶴ヶ城池、勝浦市串浜新田、鴨川市市井原で記録がある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A のヨシ原周辺に設置したベイトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 A の取香川付近のヨシ原周辺で確認した。改変区域では確認されなかった。確認地点は 1 地点のみであり、調査地域の湿性草地に局所的に分布していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A の取香川付近のヨシ原周辺で確認した。改変区域では確認されなかった。確認地点は 1 地点のみであり、調査地域の湿性草地に局所的に分布していると考えられ、それらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-131　動物の重要な種（ハガクビナガゴミムシ）の予測結果

種名（和名）		ハガクビナガゴミムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	体長 5～5.5mm で、日本産の同属他種に比べて明らかに小さい。平地から丘陵地の河川敷、湿地、谷戸などに生息する。水域の岸部の抽水植物上で生活し、水辺から離れることはほとんどない。灯火に誘引されることもある。ほぼ通年見られ、成虫は水辺近くのヨシ枯れ堆積の下などで越冬する。
	分布	関東地方以北の本州、北海道に局所的に分布。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の放棄水田で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から放棄水田や湿性草地が主要な生息環境であり、調査地域に局所的に分布していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の放棄水田の 3 地点で確認した。改変区域では高谷川沿いの 1 地点で確認し、その他の 2 地点は空港区域外で確認した。確認状況や本種の生態から放棄水田や湿性草地が主要な生息環境であり、調査地域に局所的に分布していると考えられ、空港区域外の確認地点周辺の生息環境は改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）

表 2.8.2-132　動物の重要な種（マルケシゲンゴロウ）の予測結果

種名（和名）		マルケシゲンゴロウ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	体長 2.4～2.7mm。体型は幅広い卵形。背面、腹面は黄赤褐色。抽水植物などの水草の豊富な池沼、湿地、ため池、放棄水田の岸部付近の浅く、植物やデトリタスの多い部分に生息する。成虫は 6～9 月に確認され、灯火に飛来する。
	分布	福島県以南の本州、四国、九州、南西諸島に局所的に分布する。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の水田周辺に設置したライトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が主要な生息環境であり、調査地域に局所的に分布すると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の水田周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が主要な生息環境であり、調査地域に局所的に分布すると考えられる。改変区域にはその確認地点が 1 地点含まれ、また、主要な生息環境である湿性草地は約 40ha 分布しており、これらが消失･縮小する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）

表 2.8.2-133　動物の重要な種（コガムシ）の予測結果

種名（和名）		コガムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 25mm 内外。水生植物の生育する湖沼、池、湿地などに生息する。分布域は広く平地から山地まで生息している。灯火に飛来する。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内に広く生息している。富津市、一宮町、鴨川市、館山市、夷隅地区、長柄町、富山町、関宿町、野田市、我孫子市、松戸市、市川市、沼南町、白井市、習志野市、八街市、八千代市、佐倉市、千葉市、茂原市、印旛村、大栄町、成田市、富津岬、亀山湖、高宕山などの記録がある。
確認状況		夏季及び秋季の昆虫類調査において、調査区域 A、調査区域 C のヨシ原周辺や放棄水田周辺、水田周辺に設置したライトトラップにより確認した。また、ホタル調査時に調査区域 B で確認した。また、夏季及び春季の底生動物調査では、調査区域 B の荒海川に流入する水路、尾羽根川、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は荒海川に流入する水路、尾羽根川、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路、調査区域 A、C のヨシ原や放棄水田、水田周辺で確認した。この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の湿地等の止水環境は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-134　動物の重要な種（コカブトムシ）の予測結果

種名（和名）		コカブトムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 18～26mm。背面は黒色で光沢がある。雌の頭部には角はなく、前胸背板は中央が縦溝に凹む個体が多い。
	分布	北海道、本州、伊豆諸島、四国、九州、南西諸島。
	千葉県内の状況	個体数は少ないが、県内に広く生息している。地域調査等で確認される場合が多い。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C のスダジイ林に設置したライトトラップにより確認した。また、秋季の調査において、調査区域 C のスギ林等の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の 2 箇所の樹林で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域には、その広葉樹林が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-135　動物の重要な種（ヒゲナガハナノミ）の予測結果

種名（和名）		ヒゲナガハナノミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 9mm 内外。幼虫は水田や谷津の水路などに生息する。成虫は川岸や湿地の草むらに生息する。平地に多く生息している。初夏の頃に発生、その期間は短い。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	平地、しかも県北部に記録が集中する。県北部では水田水路や谷津の湧水水路が失われ、本種の生息圏が減少しつつある。報告された記録地は我孫子市、市川市、鎌ケ谷市、習志野市、白井市、沼南町、船橋市、千葉市、八千代市、佐倉市、大栄町、袖ヶ浦市、富津市、長柄町、八日市場市、東金市、大網白里町、千倉町、鴨川市、高宕山。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の湿地、放棄水田、水田周辺の草地等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、幼虫は水路が主要な生息環境であり、成虫は水路周辺に生息すると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の湿性草地や水路周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、幼虫は水路が主要な生息環境であり、成虫は水路周辺に生息すると考えられる。また、本種を特に多く確認した主要な生息環境である高谷川上流部は 5.2km の範囲で改変を受け、生息環境は縮小・消失することから、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-136　動物の重要な種（ヤマトタマムシ）の予測結果

種名（和名）		ヤマトタマムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 25～40mm。緑色部は見る位置により紫藍色となる。体下は金緑色光沢。エノキ、ケヤキ、など広葉樹に付く。
	分布	本州、四国、九州、沖縄。
	千葉県内の状況	個体数は多くないが全県的に生息している。
確認状況		夏季及びホタル類調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のコナラ林やスギ林、スダジイ林等の林縁周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の主に林縁部で確認した。確認状況や本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその落葉広葉樹林が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-137　動物の重要な種（ゲンジボタル）の予測結果

種名（和名）		ゲンジボタル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 10～16mm。幼虫は清流中でカワニナそのほかの巻き貝類を捕食して育つ。蛹化は水辺の土中。清流と森林が接続している場所に多い。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	かつては県内全域に生息していた。県北部では水田耕作形態の変化や水田の休耕などによる清流の減少、水質の汚濁などにより激減した。県南部では丘陵地帯の湧水などにより清流が保たれているので各地に生息している。
確認状況		ホタル類調査及び春季の鳥類夜間調査において、調査区域 A の取香川に流入する水路、調査区域 B の荒海川及び流入する水路、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路の周辺で成虫を確認した。また、夏季～春季の底生動物調査において、調査区域 B の荒海川に流入する水路、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で幼虫を確認した。
生息環境の分布状況		確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川に流入する水路、荒海川及び流入する水路、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で確認した。この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には荒海川に流入する水路、主要な生息環境である高谷川及び流入する水路が含まれることから、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-138　動物の重要な種（ヘイケボタル）の予測結果

種名（和名）		ヘイケボタル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長 7～10mm。水田、小川、湿地など水のある所に幼虫が生息する。幼虫の餌はサカマキガイ、ヒメモノアラガイ、カワニナ、水中動物死骸などである。蛹化は水辺の土が大切である。成虫の生息場所は草原で、森林がなくても生存できるが、あった方が良い。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県下全域に生息している。全県的に流水路、湿地の減少、稲の栽培法の変化などにより生息圏が減少傾向にある。しかし、県南部での減少は少ないが、県北部の人口の密集地帯での減少が著しい。
確認状況		夏季及びホタル類調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の荒海川及び流入する水路、取香川に流入する水路、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路や水田、放棄水田周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川に流入する水路、荒海川及び流入する水路、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路周辺の水田や放棄水田周辺で確認した。この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその水田や放棄水田等が約 170ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-139　動物の重要な種（チャイロヒメハナカミキリ）の予測結果

種名（和名）		チャイロヒメハナカミキリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 6.0～8.4mm。平地の照葉樹林～山地帯の樹林まで広く分布しているが、山地に多い。成虫はガマズミやゴトウズルなどの花に集まる。自然林に多い。幼虫はヤマブドウ、ヤシャブシ、ウワミズザクラ、イタヤカエデの枯れ枝を食べる。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	関東山地（標高 800m）では発生期には多数出現するが、千葉県では丘陵地帯でも少ない。ことに北部では発達した雑木林や二次林にわずかに見ることができ、森林の指標種となるが、生息に良好な森林が失われつつあり、減少の傾向が著しい。清澄山系を中心に南部の記録は多い。千葉市などの記録がある。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A のシラカシ林の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A の林縁部で確認した。確認状況や本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその落葉広葉樹林が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-140　動物の重要な種（ホシベニカミキリ）の予測結果

種名（和名）		ホシベニカミキリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 18～26mm。成虫はタブノキ、クスの木の新しい枝や葉を食べ、産卵は古い枝に穴を開けておこなう。暖帯樹林帯に生息している。北限は石川県、東北限は関東地方。
	分布	本州、四国、九州、南西諸島。
	千葉県内の状況	千葉県南部では生息数は多いが、北部は少ない。植生の指標種となる。館山市、富山町、富津市、和田町、千倉町、御宿町、鴨川市、銚子市、八日市場市、蓮沼町、茂原市、成東町、光町、九十九里町、松尾町、成田市、市原市、千葉市、四街道市、野栄町、大栄町、佐倉市、我孫子市、船橋市、夷隅地区、房総南部、鋸山、清澄山などの記録がある。
確認状況		ホタル類調査において、調査区域 C のトウネズミモチ林の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から調査地域の常緑広葉樹林に局所的に分布していると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の林縁部で確認した。改変区域では確認されなかった。確認地点は 1 地点のみであり、確認状況や本種の生態から調査地域の常緑広葉樹林に局所的に分布していると考えられ、それらが改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-141　動物の重要な種（セミスジコブヒゲカミキリ）の予測結果

種名（和名）		セミスジコブヒゲカミキリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 11～17mm。幼虫は各種広葉樹の枯木をたべる。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県北部～南部までの記録があるが少ない。ことに北部からは少ない。習志野、夷隅地区、清澄山和田町、鴨川市、君津市怒田沢林道、船橋市などの記録がある。
確認状況		ホタル類調査において、調査区域 A、調査区域 C のスギ林等の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況及び本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の林縁部で確認した。確認状況及び本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその落葉広葉樹林が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-142　動物の重要な種（スゲハムシ）の予測結果

種名（和名）		スゲハムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 6.5～8.8mm。幼虫はスゲ類、ハリイ類の根を食べる。成虫はスゲやガマなどの花粉や蜜を食べるが、アブラムシ類の分泌物もなめる。
	分布	北海道、本州、九州、佐渡。
	千葉県内の状況	記録地として最初の記録を示すと次のとおりである。館山市神余、下総町、袖ヶ浦市、船橋市、佐倉市、成田市。その他に本埜村、酒々井町の記録がある。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の湿地や放棄水田等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況及び本種の生態から、湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の湿性草地等で確認した。確認状況及び本種の生態から、湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域には、その湿性草地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-143　動物の重要な種（ウキクサミズゾウムシ）の予測結果

種名（和名）		ウキクサミズゾウムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 1.5～1.7mm。ウキクサやアオウキクサの葉につく。幼虫は葉に潜る。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	市川市と我孫子市、成田市、佐倉市の記録がある。生息環境を調査すれば他にも生息しているはずである。ウキクサ、アオウキクサの生育する環境が減少している。ことに県北部で著しい。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の放棄水田周辺に設置したライトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地や水田等が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の湿性草地で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地や水田等が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地等が約 160ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-144　動物の重要な種（アオスジベッコウ）の予測結果

種名（和名）		アオスジベッコウ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	イソコモリグモなど徘徊性クモ類を狩る。
	分布	本州、四国、九州に分布する。
	千葉県内の状況	船橋市宮本、東金市東金、市原市養老渓谷、君津市鹿野山で記録がある。
確認状況		夏季及び秋季の調査において、調査区域 C の林縁や水田周辺の草地等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から畑地やその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の耕作地周辺等で確認した。確認状況や本種の生態から畑地やその周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその畑地等が約 260ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-145　動物の重要な種（クズハキリバチ）の予測結果

種名（和名）		クズハキリバチ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	老木の洞や竹筒、カミキリの脱出坑などに営巣する。育房の仕切りに主としてクズの葉を使う。
	分布	本州、九州、種子島、屋久島に分布する。
	千葉県内の状況	佐倉市千成、銚子市台、長生郡笠森山で記録がある。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C のクズが繁茂する林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地や畑地周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の乾性草地で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地や畑地周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその乾性草地等が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-146　動物の重要な種（ルリモンハナバチ）の予測結果

種名（和名）		ルリモンハナバチ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	夏に出現し、センダングサ、マリーゴールドなどに訪花する。
	分布	本州、四国、九州、種子島、屋久島に分布する。
	千葉県内の状況	野田市清水公園、香取市下総町、松戸市栗山、佐倉市飯野、佐倉市岩戸、成田市三里塚御料牧場、銚子市台で記録がある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の水田周辺の草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地や畑地周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の耕作地周辺の草地で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地や畑地周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその乾性草地等が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-147　動物の重要な種（ヤマトシリアゲ）の予測結果

種名（和名）		ヤマトシリアゲ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	前翅の長さ 15mm 内外。翅の斑紋の変化は大きい。成体はキシタトゲシリアゲに似ている。普遍的な種である。夏と秋に出現するが、秋のものは全体褐色を帯びる。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内に広く生息しているが数は少ない。草地と広葉樹林の発達したところにはどこにでも生息している。房総丘陵にはやや普通だが、下総台地と低地には少ない。自然度の指標となる。県北部では開発により生息環境が年々減少している。
確認状況		夏季、秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C のコナラ林、シラカシ林、スギ林等の林縁や水田周辺の草地等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林や乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の林縁部や耕作地周辺の草地等で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林や乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその広葉樹林や乾性草地が約 200ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-148　動物の重要な種（カルマイタマヒラタアブ）の予測結果

種名（和名）		カルマイタマヒラタアブ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長約 6mm。体は全体的に銅色をおびる。腹部はやや扁平で、上から見ると全体的に丸みをおびている。湿地に生息し、オオジシバリなどの花にしばしば訪れる。
	分布	本州。
	千葉県内の状況	市川市、流山市、我孫子市、白井市から記録されている。開放的な谷津や、沖積平野の河川敷のような、比較的開けた地形の湿地に生息する。県内における生息地は局所的である可能性があり、開発などによる生息地の減少が懸念される。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の湿地周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の湿性草地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-149　動物の重要な種（キヒゲアシブトハナアブ）の予測結果

種名（和名）		キヒゲアシブトハナアブ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 9mm。雌雄とも、左右の複眼が離れている。触角は黄色。後脚の腿節は大部分が黄色で、黒斑がある。おもに北日本に分布し、全国的に記録は少ない。谷津などの湿地に生息する。
	分布	本州。
	千葉県内の状況	2007 年（平成 19 年）と 2008 年（平成 20 年）に、我孫子市より記録された。県内においては谷津などの湿地に大きく依存していると考えられる。生息地は局所的である可能性が高く、開発などによる生息地の減少が懸念される。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B、調査区域 C の湿地周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B、C の湿性草地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-150　動物の重要な種（ミドリバエ）の予測結果

種名（和名）		ミドリバエ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長約 9mm。中型の緑～黄緑色のハエ。里山のような良好な二次的自然から、しばしば見出される。訪花性がある。
	分布	本州～九州。
	千葉県内の状況	従来、清澄四方木、千葉市、八千代市、佐倉市から記録されている。2010 年（平成 22 年）10 月に市原市において、ツルボの花に来ている 1♀が観察された。
確認状況		夏季及び秋季の調査において、調査区域 C の林縁や草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地や落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の林縁や草地で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地や落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその乾性草地や落葉広葉樹林が約 200ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-151　動物の重要な種（トウヨウカクツツトビケラ）の予測結果

種名（和名）		トウヨウカクツツトビケラ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 5mm。開翅長約 20mm。茶褐色のやや小型のトビケラ。出現時期は 5 月～12 月。幼虫は落葉などの破片を使って携巣を作り、田圃の周辺の湧水などに生息している。
	分布	本州、四国、九州、対馬。
	千葉県内の状況	かつては平地の湧水や湿地に広く生息していたと考えられる。県下では北総地域の休耕田などで自然水路（土水路）が残されている地点で記録されている。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 B の水田周辺で確認した。また、春季の調査において、調査区域 C の水田周辺に設置したライトトラップにより確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は調査区域 B、C の水田周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-152　動物の重要な種（ギンイチモンジセセリ）の予測結果

種名（和名）		ギンイチモンジセセリ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 13～20mm。前翅の裏面と翅表は黒褐色で、後翅裏面は春型で黄褐色に銀白条が目立つが 2 化以降は不明瞭となる。低地～山地の乾燥した草原、河川敷などの明るい草地に生息し局所的に分布する。
	分布	北海道～九州。
	千葉県内の状況	県北部を中心に多くの市町村において記録があり、河川の堤防や谷津田周辺の土手などに生息地が点在するが局所的である。市川市では高速道路のグリーンベルトに生息している本種が報告され、草刈りなどによる草地の維持管理が生息に好ましい環境を与えている可能性があることが示唆された。千葉市においても高速道路の法面が生息地となっている。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C の水田や河川脇のイネ科草地周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地及び湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の水田周辺や河川沿いで確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地及び湿性草地が主要な生息環境であると予測する。改変区域にはその乾性草地や湿性草地が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-153　動物の重要な種（ヒメキマダラセセリ）の予測結果

種名（和名）		ヒメキマダラセセリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 12～15mm。低山地～山地の樹林周辺や開けた草原などに生息するが、本県では佐倉市や千葉市などの県北部では標高 30m程度しかない谷津田周辺の林縁で生息が確認されており、その分布状況は注目される。寄主植物はイネ科のチヂミザサ、アシボソなど。
	分布	本州～九州。
	千葉県内の状況	県内の広い地域で確認されており北は香取市（旧佐原市）、南は南房総市（旧千倉町）まで生息しているが、県北部の東側（銚子市周辺および九十九里平野）と西側（野田市、船橋市など）には分布の空白域がある。分布の周辺域にある生息地では個体数が少ないことが多い。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のスギ林の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地及び湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の林縁や放棄畑周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその乾性草地が約 90ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-154　動物の重要な種（ミヤマチャバネセセリ）の予測結果

種名（和名）		ミヤマチャバネセセリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 15～22mm。近縁種であるオオチャバネセセリなどに似るが、後翅裏面の中室に大きな白紋があるのが特徴で、他種と容易に区別ができる。低地～山地の河原や林縁の草地に生息し、寄主植物はイネ科のススキ、チガヤ、ヨシなど。
	分布	本州～九州。佐渡島。
	千葉県内の状況	1990 年代までは関宿町、野田市、柏市、我孫子市、市川市などの大河川沿いまたは銚子市などの海岸草地から記録されることが多かったが、2000 年代には船橋市、千葉市などの内陸部から頻繁に記録されるようになり、これらの地域で分布拡大しつつあると考えられるが、現在でも県内での生息範囲は限定され、個体数も多くない。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B の湿地周辺の草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地及び湿性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B の湿性草地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地及び湿性草地が主要な生息環境であると予測する。改変区域にはその乾性草地や湿性草地が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-155　動物の重要な種（オオチャバネセセリ）の予測結果

種名（和名）		オオチャバネセセリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 16～23mm。翅裏面の白斑がジグザグに並ぶことで近似種であるイチモンジセセリやミヤマチャバネセセリと区別できる。アザミなどの花を訪れ、ときに吸水も行う。林縁や林内の明るい草地を主な生息地とする。
	分布	北海道～九州、対馬。
	千葉県内の状況	かつては県内の各地（低地～丘陵地）にごく普通であった。本県では 2000 年代になって個体数の激減が注目され始めた。特に、県北部では 2002 年（平成 14 年）の船橋市、2003 年（平成 15 年）の佐倉市および千葉市の記録を最後に絶滅したと思われる状況であったが、2009 年に 6 年ぶりとなる 1 個体が印西市（旧印旛村）で目撃されている。県南部（市原市以南）でもかなり減少しているが、房総丘陵の谷津田の奥部などに点々と残存している。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B のコナラ林の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種調査区域 B の林縁の乾性草地で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその乾性草地が約 90ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-156　動物の重要な種（コツバメ）の予測結果

種名（和名）		コツバメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 11～15mm 程度。小型で裏面は茶褐色で翅表には青色紋がある。低地～山地の雑木林の周辺に生息し個体数は少ない。県内で確認されている寄主植物はカマツカやガマズミなどで、花、果実、若葉を食す。
	分布	北海道～九州、佐渡島。
	千葉県内の状況	開発による雑木林の減少と共に急速に衰退し、良好と思われる雑木林でも成虫を見つけることは困難となっている。県内各地から記録されているが、1990 年代後半に県北部で卵や幼虫を対象とした調査が行われ、下総町、大栄町、佐原市などにも生息することが判明した。県南部ではいすみ市（旧大原町）で確認されているが、さらに南側の安房地域では 20 年以上も記録されていない。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C のシラカシ林の林縁で確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、コナラ群落が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から、コナラ群落が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそのコナラ群落が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-157　動物の重要な種（アカシジミ）の予測結果

種名（和名）		アカシジミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 16～22mm。地色は橙赤色で前翅の翅頂～外縁にかけて黒色帯があり、裏面には白色条線がある。低地～低山地のコナラ・クヌギの優占する雑木林に普通に見られるが、近年開発などによる生息環境の変化で衰退が顕著である。寄主植物はブナ科のコナラ、クヌギ、ミズナラなど。
	分布	北海道～九州、対馬。
	千葉県内の状況	県内各地から記録されているが、県北部では豊産地を含む多くの生息地が開発により失われたため分布も局所的で個体数も少ない。特に都市部周辺地域では宅地化に伴う環境変化のため著しく衰退している。
確認状況		ホタル類調査において、調査区域 B、調査区域 C のコナラ林の林縁で確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系 (1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、コナラ群落が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B、C の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から、コナラ群落が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそのコナラ群落が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-158　動物の重要な種（ウラナミアカシジミ）の予測結果

種名（和名）		ウラナミアカシジミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 16～23mm。翅表は橙色で裏面には黄色の地色に黒色の縞模様があるので区別は容易である。雌は前翅の翅頂～外縁にかけて黒色帯がある。低地～低山地のクヌギ、アベマキの優占する雑木林に普通に見られるが、近年開発などによる生息環境の変化で衰退が顕著である。寄主植物はクヌギ、アベマキなど。
	分布	北海道～四国。
	千葉県内の状況	野田市、柏市、松戸市、市川市、船橋市、四街道市、千葉市、市原市、長柄町、君津市、富津市、鋸南町、富山町などで記録されているが、県北部では豊産地を含む多くの生息地が開発により失われたため、分布も局所的で個体数も少ない。特に都市部周辺地域では宅地化に伴う環境変化のため著しく衰退している。
確認状況		ホタル類調査において、調査区域 B のシラカシ林の林縁で確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		本種は調査区域 B の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から、コナラ群落が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそのコナラ群落が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から、コナラ群落が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそのコナラ群落が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-159　動物の重要な種（アサマイチモンジ）の予測結果

種名（和名）		アサマイチモンジ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 27～38mm。低地～低山地の雑木林の林縁周辺、平野部の中小河川周辺など、開けた明るい環境を好む。寄主植物はスイカズラ。
	分布	本州。
	千葉県内の状況	1970 年代以前は船橋市など県北部や房総丘陵に位置する富津市豊岡など県内各地から記録があったが、急激な宅地開発などにより多くの生息地が消滅した。野田市、柏市、我孫子市などの地域からは 1990 年代前半まで記録があるが、2000 年代以降の報告例はない。現在、県内で本種が安定して生息するのは九十九里平野一帯のみと考えられている。近似種のイチモンジチョウと混生している場合が多く、識別も難しいので、記録を公表する際には証拠標本の保管を含めた慎重な対応が必要である。
確認状況		夏季の調査において、区域 C のトウネズミモチ林の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から、落葉広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその落葉広葉樹林が約 80ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-160　動物の重要な種（ジャノメチョウ）の予測結果

種名（和名）		ジャノメチョウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	前翅長 30～41mm。雄は黒褐色の地色で、雌はより大型で茶褐色の地色に眼状紋が発達する。低地～山地の明るい草原や河原などに生息している。寄主植物はイネ科のススキやカヤツリグサ科のノガリヤスなど。
	分布	北海道～九州、伊豆諸島（大島、新島、神津島）。
	千葉県内の状況	野田市、松戸市、柏市、我孫子市、栄町、成田市、銚子市、四街道市、千葉市、市原市、君津市、鋸南町などで記録されているが、普通種でありながら記録が意外と少ない。近年、里山の荒廃などにより本種は好む明るい草原が少なくなり急速に個体数を減らしている。安定した生息地も局所的となる傾向が見受けられる。
確認状況		ホタル類調査において、調査区域 C のススキ草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C のススキ草地で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境である乾性草地が約 90ha 分布し、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(6) クモ類

表 2.8.2-161　動物の重要な種（ワスレナグモ）の予測結果

種名（和名）		ワスレナグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 15～18mm、雄 6～8mm である。草原や芝生などの地中に穴を掘り、深さ 10～20cm ほどの管状の住居をつくる。入り口には扉がなく開いたままである。入り口～地面に放射状の触糸を張っていて、虫がくるのを待つ。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	習志野市で 1973 年（昭和 48 年）東邦大学校内と 1975 年（昭和 50 年）の新栄、柏市で 1989 年（昭和 64 年または平成元年）の記録しかなかった。いずれも県の北部である。柏市の記録は、県立東葛飾高校内の中庭のコンクリートでできた敷石のきわで確認された。近年、船橋市の日大校内では多くの個体が生息していることが分かった。また南部でも生息が確認された。富津市宇藤原、君津市広岡、君津市折木沢、君津市三島小学校である。三島小学校では、多くの個体が確認されている。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の林縁の草地や畑脇等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、畑地や畑地周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の林縁の草地や畑地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、畑地や畑地周辺の草地が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその畑地等が約 260ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-162　動物の重要な種（キノボリトタテグモ）の予測結果

種名（和名）		キノボリトタテグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 9～11mm、雄 6-8mm である。マツ・スギ・ヒノキなどの樹皮の窪みを利用して、コケや樹皮を貼り付けた住居をつくる。入り口には片開きの扉をつけるが、下向きが多い。
	分布	本州、四国、九州、南西諸島。
	千葉県内の状況	1973 年（昭和 48 年）以前の記録では、鴨川市の江見、千葉市の土気、清澄山、館山市神余がある。その後、清澄山、八千代市七百余所神社、山倉ダム、内浦山、旧大栄町大慈恩寺の記録がある。このクモは、コケの生えた大木の柔らかい樹皮を利用して住居をつくっている。県内の調査では、一本の木から数十個体の住居を確認できるが、周辺の木にはあまり生息が確認されない。
確認状況		夏季～秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のコナラ林、スギ林等の林縁や樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の樹林内や林縁で確認した。確認状況や本種の生態から、針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその針葉樹林が約 300ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-163　動物の重要な種（キシノウエトタテグモ）の予測結果

種名（和名）		キシノウエトタテグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 10～15mm、雄 9～12mm である。神社やお寺の境内、人家の踏み石のわき、崖地などに見られる。住居の入り口は片開きの扉をつける。地中性のクモは見つけにくいが、このクモは梅雨時期にクモタケがでる。クモタケにより生息が発見されることが多い。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	内浦山で 1987 年（昭和 62 年）、柏市で 1989 年（昭和 64 年または平成元年）、佐倉市で 1990 年（平成 2 年）、市川市で 1992 年（平成 4 年）、千葉市で 1994 年（平成 6 年）の記録がある。比較的にまとまって分布しているのは、佐倉市の宮小路町の武家屋敷周辺である。内浦山は県民の森の崖地、柏市は県立東葛飾高校の敷地内、千葉市では柏井の谷津田近くの農家脇と泉自然公園である。いずれも土地が攪乱されていない場所である。清澄寺、君津市、野田市、流山市、船橋市、白井市、松戸市、我孫子市などにも分布しており、県内に比較的広範囲にわたって分布しているものと思われるが、外房からの発見例はない。 船橋市の東邦大習志野キャンパスでは、生息個体数が多く調査研究が進められた。県内のクモタケの確認場所は、松戸市の千葉大園芸学部、天津小湊町の誕生寺、佐倉市の佐倉城址公園、流山市のボーイの森、市川市の国府台などである。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C のシラカシ林、スギ林の林縁や樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の林縁や樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその広葉樹林が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-164　動物の重要な種（オニグモ）の予測結果

種名（和名）		オニグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 20～30mm、雄 15～20mm である。昼間は軒下などの物陰に隠れ、夕方になると大きな網を、軒下や庭陰に張り始める。網を張り終えたクモは、網の中心部にじっとして餌のかかるのを待つ。
	分布	北海道、本州、四国、九州、南西諸島。
	千葉県内の状況	人家周辺に生息し、県内ほぼ全ての市町村に分布している。1960 年代には民家の軒下のどこにでも見られたオニグモは、あまり見られなくなった。都市化が進むと同時に、市街地から姿を消してしまう。夕方になると餌となる昆虫の量が、家の周辺に少なくなったためと思われる。昆虫の生息場所が奪われ、そしてそれを餌とする高次消費者であるオニグモが減少した。1999 年（平成 11 年）から 2010 年（平成 22 年）にかけては大きな変化は見られない。
確認状況		夏季～秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のコナラ林、スギ林等の林縁や人工構造物の周辺で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、緑の多い住宅地や広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の林縁や人工構造物の周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、緑の多い住宅地や広葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその緑の多い住宅地等が約 140ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-165　動物の重要な種（コガネグモ）の予測結果

種名（和名）		コガネグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 20～25mm、オス 5～6mm である。水田、草原、人家の周辺などに大きな垂直円網を張る。中心に×の隠れ帯をつけることが多い。トンボ、カマキリ、アブラゼミなどの大型の昆虫も捕食する。
	分布	本州、四国、九州、南西諸島。
	千葉県内の状況	ほぼ県内全域から記録されており、全ての市町村に生息していると思われる。1999 年（平成 11 年）以降の各地域での採集記録も多く、珍しいクモではないが、都市周辺部から減少しているクモである。草原性で、草原面積の減少が大きな要因と思われる。また大きな円網を張り、大型の昆虫も補食するので、餌の減少も大きいと推定される。コガネグモが生息することは、草原が良い状態で保たれているという目安ともなる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の水田周辺の草地や休耕田で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、乾性草地や湿性草地、緑の多い住宅地等が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の水田周辺の草地や休耕田等で確認した。確認状況や本種の生態から、乾性草地や湿性草地、緑の多い住宅地等が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの草地や緑の多い住宅地等が約 130ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-166　動物の重要な種（ナカムラオニグモ）の予測結果

種名（和名）		ナカムラオニグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 9～11mm、雄 7～8mm である。沼や河川、湿地近くの草原に垂直あるいは斜めの円網を張る。その一端に草木の葉を折り曲げて住居をつくり、その中に潜んでいる。
	分布	北海道、本州、四国（山地）。
	千葉県内の状況	かつては九十九里浜一帯に分布していたという報告があるが、現在は旧光町干草沼に生息が確認されたのみである。地球温暖化の影響もあるが、湿地や自然の川原などの減少も要因のひとつと考えられる。房総南部では生息が確認されていない。水辺で円網を張っており、その一端の草に 袋状の住居があるので、容易に他のクモと区別がつく。県内では中北部では多くの記録があるが、1999 年（平成 11 年）以降の記録でも同様な分布地域で、水田や水路の周辺など、ほとんど水辺近くで記録されている。市原市や富津市など南限の分布線にあたる地域の生息状況に注意を払う必要がある。
確認状況		夏季、秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の湿地周辺の低木や草地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の湿性草地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地が約 40ha 分布しており、これら消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-167　動物の重要な種（シッチコモリグモ）の予測結果

種名（和名）		シッチコモリグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長は雌 6～7mm、雄 5.7～6.1mm である。湿地や湿り気のある雑木林の林床等で見られる。頭胸部の中央に縦の一本の黒褐色の細い条があるので、他のコモリグモと容易に見分けがつく。
	分布	北海道、本州。
	千葉県内の状況	手賀沼、山倉ダム、千葉市中央博生態園、千葉市大草、千葉市柏井、鎌ヶ谷市中沢、佐津間、佐倉市印旛沼、松戸市 21 世紀の森と広場、野田市三ヶ尾の記録がある。いずれの場所も、ヨシ原などが茂っている湿地である。このクモは水田では見かけない。北方系のクモで、県内の比較的北部で記録されているが、今後調査が進むと南部でも発見される可能性がある。
確認状況		夏季～秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の休耕田や湿地で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の湿性草地周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、湿性草地が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその湿性草地が約 40ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-168　動物の重要な種（ドウシグモ）の予測結果

種名（和名）		ドウシグモ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	体長 3.0～4.0mm。体は黒色で光沢がある。腹部背面の前方に 2 対の白斑がある。社寺の大木の樹皮上や石灯籠上を徘徊する。
	分布	本州（関東以西）、四国、九州に分布する。
	千葉県内の状況	市川市で記録がある。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C のスギ林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはその広葉樹林が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 7 その他無脊椎動物（平成 26 年　環境省）

資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

(7) 陸産甲殻類・多足類（土壌動物）

表 2.8.2-169　動物の重要な種（フイリタマヤスデ）の予測結果

種名（和名）		フイリタマヤスデ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長約 7mm。球形になる。体は褐色がかった黒色、大胸背板は淡黄で中央部分および後縁に沿って濃褐色を呈する。大胸背板の全通溝線は 3、4 本ある。他の背板は黒褐色で、縁どりは淡黄色。雄生殖肢の合着基部中央片は後縁の中央部がやや切れ込んでいるように凹む。
	分布	本州、四国。
	千葉県内の状況	清澄、千葉市若葉区和泉町熊野神社からのみ採集されている。局所生息型の種と思われる。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のスギ林、コナラ林、エノキ林等の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-170　動物の重要な種（オビババヤスデ）の予測結果

種名（和名）		オビババヤスデ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 35～40mm の大型種。体は 20 胴節からなる。胴節の背板は滑らかで僅かに丸みを帯びる。体の地色は橙黄色から紅黄色で、各背板の後縁に黒褐色の模様がある。
	分布	本州中央部（主に千葉県南部、伊豆、箱根、富士）。
	千葉県内の状況	清澄、上総亀山、鹿野山、三石山から記録される。生活史は不明。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の主にスギ林の林縁や樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の林縁や樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-171　動物の重要な種（タカクワヤスデ）の予測結果

種名（和名）		タカクワヤスデ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 25～30mm。背面は青紫色を帯びた灰黄色で、背板の側庇は黄紅色を帯びる。背板の紫褐色の斑紋は明瞭となる。背板癌起列は、前方のものが 2 列、後方のものが 3 列である。
	分布	本州。
	千葉県内の状況	館山市州ノ崎神社、沖の島、大房岬のほか、鋸南町浮島、富山からの記録がある。撹拌されない森林土壌に広く分布している可能性があるが、個体数が少ないので開発によって急激な減少をおこすおそれがある。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 B のスギ林の林縁で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 B の林縁で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-172　動物の重要な種（トワダオビヤスデ）の予測結果

種名（和名）		トワダオビヤスデ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	体長約 25mm。体は 20 胴節で赤褐色。背板は扁たく、明瞭な彫刻模様がある。胸板の十字溝は深い。腹面と歩肢は淡黄色。雄生殖肢は腿節突起が太く、短く、棒状。その脛附節は腿節から直角に曲がり、太くまっすぐで先端は小さな 2 つの直交する突起に分かれる。側枝も脛附節に沿ってまっすぐ伸び僅かに短い。個体数が少ない。
	分布	本州（関東以北）。
	千葉県内の状況	旧富浦町木ノ根峠、長柄町笠森から記録されている。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C のスギ林の樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-173　動物の重要な種（ヒメヨロイヤスデ）の予測結果

種名（和名）		ヒメヨロイヤスデ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長約 5.5mm。黄褐色。雌は 20 胴節、雄は 19 胴節。各背板には 4～7 列をなして瘤起列があり、各瘤起にはそれぞれ 1 本の剛毛が後方へ向かって生じ、全身が毛で覆われているようにみえる。背板の側庇の両側前端の 1 瘤起は前方に突出している。
	分布	本州、四国。
	千葉県内の状況	清澄、大房岬、千葉市若葉区大草町、千葉市中央区青葉町から採集されている。生息地は森林土壌とは限らず、むしろ人家や神社境内などの倒木や石の下など撹乱された場所に生息する。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 C のスギ林、コナラ林の樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境と考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-174　動物の重要な種（ゲジ）の予測結果

種名（和名）		ゲジ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	体長 20～25mm。体は灰黄色、淡緑色または暗緑色の 3 条線が背部を縦走する。頭の両側に偽複眼をもつ。触角および歩肢の附節は多数の小節からなり、極めて長い。
	分布	日本各地。
	千葉県内の状況	富津市愛宕山、鵜原、旧富浦町木ノ根峠、清澄などから採集されている。下総台地および房総丘陵の海岸線に近い地域の人家周辺など開けた地域の廃材置き場、石の隙間、倒木の隙間などに生息する。手入れなどによる人為的撹乱の影響を受け易い状況にある。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C の耕作地周辺の草地や河川敷の草地、林床等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から乾性草地や緑の多い住宅地等が主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の耕作地周辺や河川敷の草地、樹林内等で確認した。確認状況や本種の生態から乾性草地や緑の多い住宅地等が主要な生息環境と考えられる。改変区域にはそれらの乾性草地等が約 110ha 分布しており、これらが消失・縮小するものの、周辺に同様の環境が同程度残存することから生息は維持されると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(8) 陸産貝類

表 2.8.2-175　動物の重要な種（ナガオカモノアラガイ）の予測結果

種名（和名）		ナガオカモノアラガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	殻高 12 ㎜、殻径 7 ㎜程度の長卵形。背腹に扁平、著しく薄質。螺塔は極めて小さく、体層がほとんどを占める。低地の止水域の草本に付着する。陸産だが、水辺に生息するので、淡水産の種と同時に得られる。
	分布	関東地方～九州。
	千葉県内の状況	君津市、市原市、印旛沼、千葉市若葉区・緑区、山田町、東庄町、銚子市、光町等から記録がある。止水環境の改変で、県内各地で減少しているが、まだ残存している地域もある。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の水田周辺の水路壁面や湿地等で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の高谷川及び流入する水路の護岸壁面や湿地で確認した。これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には主要な生息環境である高谷川が含まれることから、生息環境は消失・縮小するものと予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-176　動物の重要な種（オオタキコギセル）の予測結果

種名（和名）		オオタキコギセル
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	殻高 13mm、殻径 3mm 程度の細い紡錘形、やや薄質。栗色の殻皮を持つ。殻表の成長肋は明瞭。多少撹乱された低地の林の林床のリター下に生息する。
	分布	東北地方、関東地方、中部地方。
	千葉県内の状況	成東町、成田市、印西市、栄町、佐原市、下総町、銚子市、海上町から記録がある。下総台地の斜面林等に生息するが、環境の改変により個体数を減少させている。例えば銚子市では、絶滅の可能性もあるとされる。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C のスギ林の樹林内や植え込み付近、林縁周辺の空き地等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の樹林内や樹林周辺で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-177　動物の重要な種（チュウゼンジギセル）の予測結果

種名（和名）		チュウゼンジギセル
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	殻高 18mm、殻径 5mm 程度の太短い蛹形、厚質、淡褐色の殻皮を持つが、裂けている場合が多い。林床のリター下や礫間に生息する。
	分布	関東地方北・西部、千葉県、三浦半島。
	千葉県内の状況	館山市、鋸山、君津市、長南町、佐倉市、佐原市、下総町等から記録がある。カワムラギセルの名で報告されたものも、同種である。良く自然の残った森林に生息する。確認地点が少なく、今後の追加も少ないと考えられる。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 C のスギ林、コナラ林、マダケ林、モウソウチク林等の樹林内やその周辺等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から、広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-178　動物の重要な種（コシタカシタラガイ）の予測結果

種名（和名）		コシタカシタラガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	殻高 2.5mm、殻径 1.6mm 程度の高い円錐形、薄質。体層周縁に丸みを帯びた角を持つ。縫合は浅い。淡黄褐色で、光沢はなく、殻表には数本の螺状肋をもつ。林床のリター下に生息する。
	分布	本州（関東地方以西）～九州。
	千葉県内の状況	天津小湊町内浦山、千葉市緑区高田町から記録がある。微小なため確認地点が少ないものと考えられるが、環境の良い低地の森林に生息している。調査が進むにつれ、確認さえた地点が増加したので、ランクを下げた。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のスギ林、コナラ林、マダケ林、モウソウチク林等の樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-179　動物の重要な種（ウメムラシタラガイ）の予測結果

種名（和名）		ウメムラシタラガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	殻高 1.5mm、殻径 2.1mm 程度の低円錐形、薄質。淡黄褐色で、光沢はなく、殻表に数本の螺状助を持つ。外唇は肥厚・反転しない。林床のリター下に生息する。
	分布	関東地方～九州。
	千葉県内の状況	白浜町根本から記録がある。微小なため確認地点が少ないものと考えられるが、環境の良い低地の森林に生息している。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のスギ林、コナラ林、マダケ林、モウソウチク林等の樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-180　動物の重要な種（オオウエキビ）の予測結果

種名（和名）		オオウエキビ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	殻高 3 ㎜、殻径 2 ㎜程度の蛹形、薄質。螺塔は高く、各層はやや膨らみ、体層周縁にやや強い角を持つ。黄褐色で、やや光沢を持ち、殻表は平滑。林床のリター下に生息する。
	分布	関東地方～九州。
	千葉県内の状況	君津市三石山等から記録がある。微小なため確認地点が少ないものと考えられるが、環境の良い森林に生息している。2000 年（平成 12 年）以降の調査でも確認できなかったので、ランクを上げた。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のスギ林、コナラ林、マダケ林等の樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-181　動物の重要な種（ビロウドマイマイ）の予測結果

種名（和名）		ビロウドマイマイ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	殻高 14mm、殻径 19mm 程度の扁平な球形、著しく薄質。殻表には疎な毛状突起を有する。濃褐色。螺塔はほぼ平巻で、体層は大きく、殻口縁は肥厚、反転しない。林床の倒木下等に生息する。
	分布	千葉県（房総丘陵）
	千葉県内の状況	鋸南町、丸山町、天津小湊町、君津市、市原市、勝浦市、睦沢町から記録がある。ケハダビロードマイマイやキヌビロードマイマイとして報告されたものは本種と考えられる。自然の良く残っている森林に生息する。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 A、調査区域 B、調査区域 C のスギ林、コナラ林、マダケ林等の樹林内で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 A、B、C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）※キヨスミビロードマイマイを引用

表 2.8.2-182　動物の重要な種（トウキョウコオオベソマイマイ）の予測結果

種名（和名）		トウキョウコオオベソマイマイ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	殻高 6mm、殻径 9mm 程度のソロバン玉形、やや薄質。螺塔はやや高い。体層周縁の角は弱い。暗褐色で、殻表はごく細かい鱗片状突起を持つ殻皮で被われる。林床のリター下に生息する。
	分布	関東地方東部。
	千葉県内の状況	佐倉市、佐原市、小見川町、東庄町、銚子市、旭市、海上町から記録がある。コオオベソマイマイの名で佐原市と小見川町から報告されたものは、本種と考えられる。またチョウシコオオベソマイマイは同種とされる。下総台地の斜面林に生息するが、環境の改変により個体数を減少させている。例えば銚子市では、絶滅の可能性もあるとされる。
確認状況		秋季及び春季の調査において、調査区域 C のスギ林の林縁等で確認した。
生息環境の分布状況		確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は調査区域 C の樹林内で確認した。確認状況や本種の生態から広葉樹林及び針葉樹林が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはそれらの樹林が約 400ha 分布しており、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(9) 魚類

表 2.8.2-183　動物の重要な種（スナヤツメ類の一種）の予測結果

種名（和名）		スナヤツメ類の一種
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①、②）	種の特性	アンモシーテス幼生は、河川の中・下流や丘陵地の湧水流の泥底に潜って有機物などを食べている。秋に変態して成魚となり、餌をとらなくなる。翌春に砂礫底に集まり産卵し、死亡する。環境省 RDB では北方種と南方種として識別されているが、千葉県産の種について識別の研究がなく不明。
	分布	北海道～鹿児島県と宮崎県を除く九州まで。
	千葉県内の状況	湧水を源とする細流や、やや大きな河川の湧水のある中下流域に広く生息していた。近年では、印旛沼や手賀沼周辺の谷津の細流や房総丘陵で確認されているが、このような丘陵地の谷津などの放置や荒廃、開発が進み、生息可能な湧水地が急速に減少しつつあり、減少は続いている。
確認状況		秋季～春季の調査において、調査区域 C の浅川及び流入する水路の岸際や底部に堆積した砂礫、砂泥内等で確認した。
生息環境の分布状況		本種は浅川で確認した。このため、本河川が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は浅川で確認した。このため、本河川が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。また、本種は湧水に依存する種であるが、浅川は上流部を含め改変を受けないことから、湧水量の変化はないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

資料②：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物-　4　汽水・淡水魚類（平成 26 年　環境省）

表 2.8.2-184　動物の重要な種（カワヤツメ属の一種）の予測結果

種名（和名）		カワヤツメ属の一種
重要種選定基準		環境省 RDB：スナヤツメ類 VU、カワヤツメ VU 千葉県 RDB：スナヤツメ類 A、カワヤツメ 該当なし
生態（資料①、②、③）	種の特性	カワヤツメ属の一種はカワヤツメもしくはスナヤツメ類の北方種または南方種のアンモシーテス幼生であり、形態形質で区別することができない。いずれも重要な種に該当するため表記した。カワヤツメの種の生態等を以下に記す。スナヤツメ類の北方種または南方種については前述のとおりである。 【カワヤツメ】アンモシーテス幼生は河川の下～中流域の砂泥底で、泥中のデトリタスや珪藻類などを摂食して生活する。幼生は 3～4 年後の夏～秋にかけて変態し、その年の冬を河川で越してから翌春に降河して海に入る。海中では、約 2～3 年間、大型魚類の体表に寄生し、体液を吸って成長する。夏に海から遡上して、翌春に産卵して死亡する。
	分布	【カワヤツメ】北海道及び太平洋側は茨城県以北、日本海側では島根県以北の本州。
	千葉県内の状況	【カワヤツメ】江戸川、利根川で記録があるが、スナヤツメとの誤認の可能性もある。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 C の浅川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路の岸際や底部に堆積した砂礫、砂泥内等で確認した。
生息環境の分布状況		本種は浅川及び多古橋川で確認した。このため、両河川が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は浅川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で確認した。このため、両河川が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。また、本種がスナヤツメ類の一種の場合は前述のとおり湧水に依存する種であるが、本種が確認された浅川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路は上流部を含め改変を受けないことから、湧水量の変化はないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）
資料②：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物-　4　汽水・淡水魚類（平成 26 年　環境省）
資料③：千葉県の自然誌　本編 6　千葉県の動物Ⅰ　-陸と淡水の動物-（平成 14 年　千葉県）

表 2.8.2-185　動物の重要な種（ニホンウナギ）の予測結果

種名（和名）		ニホンウナギ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧ⅠB 類（EN） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	河川の中下流域、湖沼、内湾の浅海域に生息する。河岸の石垣の間隙、土手の穴、石の下などに潜む。マリアナ諸島西方海域で産卵、孵化後、海流に乗り回遊し、河口部に達した葉形幼生は、変態してシラスウナギとなる。河川を遡上して成長し、4～15 年で成熟して産卵回遊する。夜行性で、水生昆虫、小魚などを餌とする。
	分布	北海道中部以南の日本各地。
	千葉県内の状況	旧全郡、利根川、手賀沼、江戸川、新浜湖、印旛沼、栗山川、鹿島川、高崎川、乾草沼、横芝町坂田池、干潟町高根池、小櫃川、養老川、山倉ダム、夷隅川、平久里川、塩入川、多古橋川などで記録がある。
確認状況		夏季、冬季及び春季の調査において、調査区域 A の取香川、調査区域 C の浅川、高谷川の岸際の植物帯等で確認した。
生息環境の分布状況		本種は取香川及び高谷川の下流及び浅川で確認した。このため、これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川及び高谷川の下流及び浅川で確認した。このため、これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物- 4 汽水・淡水魚類（平成 26 年 環境省）

資料②：千葉県の自然誌 本編 6 千葉県の動物Ⅰ –陸と淡水の動物-（平成 14 年 千葉県）

表 2.8.2-186　動物の重要な種（ギンブナ）の予測結果

種名（和名）		ギンブナ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	河川下流の淀み、低湿地帯や沼などに生息する。雑食性で主に藻類や底生動物を食べる。産卵期は 4～6 月。大雨の後、水草が繁茂する浅いところに集まり、卵を産みつける。
	分布	日本のほぼ全域。
	千葉県内の状況	県内のほぼ全水域に広く生息する。直ちに絶滅を心配する状況ではないが、生息域は急速な水域環境の人工化（コンクリート護岸化、流路の直線化、環境維持管理作業の放棄など）、水質悪化等が進んでおり、さらに水域生態系の単純化や悪化が進み、これらの影響で生息個体数はかなりの速さで減少していると推測される。このため、本種の動向に十分な注意が必要である。
確認状況		夏季～秋季の調査において、調査区域 A の空港区域内滞水池、調査区域 C の高谷川、多古橋川に流入する水路の岸際の植物帯等で確認した。
生息環境の分布状況		空港区域を除けば、確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は多古橋川に流入する水路、高谷川の下流のほか、空港区域内の滞水池で確認した。空港区域を除けば、確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-187　動物の重要な種（ヤリタナゴ）の予測結果

種名（和名）		ヤリタナゴ（利根川水系の在来個体群）
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	河川の中・下流域の緩流域やそれに続く流れのある水路、水のきれいな湖沼などの砂底または砂礫底の岸近くにすむ。付着藻類や小動物を食べる。産卵期は 3～6 月で、マツカサガイなどのイシガイ科二枚貝類の鰓葉内に産卵する。
	分布	北海道と南九州を除く日本各地。
	千葉県内の状況	小櫃川水系と養老川水系下流域の個体群は、過去の調査事例等から、本来の生息地と人為的移植の両方の可能性があり、その状況は B である。また、県北部の利根川水系は本種本来の分布と考えられるが、その状況は C ランクである。さらに、前記以外に、現在県中部から南部まで生息地が点在しているが、これは人為による生息域拡大と考えられ国内外来種として対象外である。現在、これらの生息地はいずれも生息環境が急速に悪化し、減少あるいは絶滅した生息地も多い。また、ミヤコタナゴ生息地に進入したケースも 2 例確認されており注意が必要である。また、産卵床となるイシガイ類の減少も著しいので注意が必要である。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川に流入する水路の護岸壁の側面付近等で確認した。
生息環境の分布状況		分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は利根川水系の取香川に流入する水路で確認した。分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-188　動物の重要な種（モツゴ）の予測結果

種名（和名）		モツゴ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	平野部の浅い湖沼や池、堀割、用水などの止水域や小河川、さらに河川下流域などの緩流域にすむ。泥底や砂泥底の中層～底層にすみ、汚水や環境変化にもかなり強い。底生動物や付着藻類などを食べる。
	分布	関東以西の本州と九州。コイなどの種苗放流に伴い、北海道から沖縄までの各地でみられるようになった。
	千葉県内の状況	県内のほぼ全域に普通に生息していたと推定され、メダカなどとともに最もなじみ深い淡水魚の一つであったと考えられる。しかし、近年、生息地に対する開発の進行や、河川改修、圃場整備と水田の乾田化、水質の汚染などにより、生息環境は悪化の一途をたどっている。まだかなりの生息地が残っているが、推測される減少の早さから考え、十分注意する必要がある。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川及び流入する水路、空港区域内滞水池、調査区域 B の尾羽根川、空港区域内調整池、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川、多古橋川及び流入する水路や溜池の岸際の植物帯や護岸壁面付近等、様々な環境で確認した。
生息環境の分布状況		本種は取香川、尾羽根川、高谷川及び多古橋川やそれらに流入する水路で確認したほか、空港区域内の滞水池でも確認した。特に多古橋川やその流入する水路と空港区域内の滞水池では多くの個体を確認したため、これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川、尾羽根川、高谷川及び多古橋川やそれらに流入する水路で確認したほか、空港区域内の滞水池でも確認した。特に多古橋川やそこに流入する水路と空港区域内の滞水池では多くの個体を確認したため、これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には個体数の多い多古橋川に流入する水路の区間を含むものの、半分程度の区間は残存する。また、最も多くの個体数が確認された滞水池は改変区域には含まれない。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-189　動物の重要な種（カマツカ）の予測結果

種名（和名）		カマツカ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	河川の中下流域や湖沼の沿岸、それらに連続する水路の、砂底や砂泥底に生息する。口部を前下方に突出させ、砂とともに小動物を吸い込み、捕食する。驚くと砂に潜る。5～6 月に沈性粘着卵を産む。
	分布	岩手県、山形県以南の本州、四国、九州に分布する。
	千葉県内の状況	本来は、県内全域の主要河川等に生息していた。近年、主要河川や付属の水系で、水域環境の人工化、陸域環境の悪化による影響、水質悪化、用水取水による水環境悪化等により、生息条件が急激に悪化しつつあり、生息数も急激に減少しつつあると思われる。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 B の尾羽根川、調査区域 C の高谷川、浅川、多古橋川の砂泥底等で確認した。
生息環境の分布状況		本種は尾羽根川、高谷川、浅川、多古橋川で確認した。特に高谷川下流や多古橋川で多くの個体を確認したため、これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は尾羽根川、高谷川、浅川、多古橋川で確認した。改変区域には高谷川上流部の確認地点が一部含まれるが、地点周辺は河床がコンクリート化されており、砂泥底を好む本種の生息環境とは異なっている。特に高谷川下流や多古橋川で多くの個体を確認したため、これらの確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。このことから、本種の主要な生息環境はほとんど改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-190　動物の重要な種（ニゴイ）の予測結果

種名（和名）		ニゴイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	大きな河川の中・下流域～汽水域、湖沼など、流れの緩かな水域の砂底や砂泥底域の底層に棲み、小動物や付着藻類を食べる。4～7 月に沈性粘着卵を産む。
	分布	本州、四国と九州の北西部に分布する。
	千葉県内の状況	利根川水系および夷隅川等の県内全域の比較的大きな河川の中・下流域～河口に生息する。直ちに絶滅を心配する状況ではないが、生息域では、急速な水域環境の人工化、水質悪化、用水取水による流底環境の変化等が進んでおり、さらに水域生態系の単純化や悪化が進み、これらの影響で生息個体数はかなりの速さで減少していると推測される。
確認状況		夏季及び春季の調査において、調査区域 A の取香川、調査区域 C の高谷川の岸際の植物帯等で確認した。
生息環境の分布状況		本種は取香川及び高谷川で確認した。特に取香川で多くの個体を確認したため、これらの確認地点周辺が本種の生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川及び高谷川で確認した。特に取香川で多くの個体を確認したため、これらの確認地点周辺が本種の生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川の確認地点が含まれるが、本種の生態から主要な生息環境は河床がコンクリート化されていない高谷川の下流域であると考えられることから、生息環境は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-191　動物の重要な種（ドジョウ）の予測結果

種名（和名）		ドジョウ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	河川中・下流域、水路などの流れの緩やかな泥底にすみ、初夏に水田などの浅い湿地に侵入して産卵する。
	分布	日本各地。
	千葉県内の状況	ほぼ全県的に生息し、平地や丘陵地の谷津田などに多産していたが、圃場整備後には絶滅した場所も見られる。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川及び流入する水路、調査区域 B の荒海川及び流入する水路、尾羽根川、空港区域内調整池、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川及び流入する水路、グリーンポート　エコ・アグリパーク、多古橋川及び流入する水路の砂泥底や岸際の植物帯、周辺の水田や放棄水田等で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川、荒海川、尾羽根川、高谷川、浅川、多古橋川及び流入する水路、空港区域内の調整池、グリーンポート　エコ・アグリパークで確認した。これらの確認地点周辺が本種の生息環境であると考えられる。改変区域には荒海川に流入する水路の一部、高谷川の上流部及び流入する水路が含まれるものの、本種の多産地である荒海川や浅川、多古橋川とそれに流入する水路の多くは改変区域に含まれないことから、同様の環境は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物- 4 汽水・淡水魚類（平成 26 年　環境省）

資料②：千葉県の自然誌　本編 6　千葉県の動物Ⅰ　–陸と淡水の動物-（平成 14 年　千葉県）

表 2.8.2-192　動物の重要な種（ヒガシシマドジョウ）の予測結果

種名（和名）		ヒガシシマドジョウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	河川の中流域の水のきれいな場所の砂底や砂泥底にすみ、砂に潜る習性がある。底生の小動物やデトライタスを食べる。産卵期は 4～6 月。
	分布	本州と四国のほぼ全域に連続的に分布している。
	千葉県内の状況	房総丘陵を中心にした河川中流域に生息している。また、谷津から流れ出る細流にいる場合もある。このような場所が、近年水田の乾田化のための流路改修、耕作放棄による自然の放置、水質悪化等により悪化したため、生息条件は急速に悪くなり、大規模な生息地もなくなってきて、絶滅地も増加している。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 C の浅川に流入する水路、多古橋川及び流入する水路の砂泥底や岸際の植物帯で確認した。
生息環境の分布状況		本種は浅川に流入する水路、多古橋川及び流入する水路で確認した。特に多古橋川に流入する水路で多くの個体を確認したため、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は浅川に流入する水路、多古橋川及び流入する水路で確認した。特に多古橋川に流入する水路で多くの個体を確認したため、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、ほとんど改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-193　動物の重要な種（ホトケドジョウ）の予測結果

種名（和名）		ホトケドジョウ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧ⅠB 類（EN） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	湿地を流れる細流や湧水池、水田の畦、河川敷内の水たまり、河川の上流近くから中流域などに生息している。主に浮遊性や底生性の小動物を食べる。産卵期は 3～6 月で、水草などに産卵する。
	分布	青森県を除く東北地方～三重県、京都府、兵庫県まで。
	千葉県内の状況	県内のほぼ全域に生息している。河川の最上流部～中流域までいる。また、谷津の最奥の湿地状の休耕地やその周辺の細流などにもいる。現在、かなりの生息地が残っているが、河川改修、圃場整備、休耕田化、水質の悪化などにより、生息環境は急速に悪化している場所が多く、減少の程度はかなり早いので注意が必要である。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の芝山水辺の里の水路、調査区域 B の取香川に流入する水路、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川、多古橋川に流入する水路の砂泥底や堆積した落葉下、植物帯根際で確認した。多くは調査区域 C の高谷川上流部で確認され、源流部の谷津田（分岐した東側）で春季に多数の当歳魚を確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	調査地域では、本種の健全な個体群は高谷川源流部に残存するのみと考えられるが、事業計画は本種が多く確認された高谷川源流域の谷津を改変することから、事業の実施によりこれらの個体群は消失すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。以上により調査地域の健全な個体群は利根川流域、栗山川流域ともになくなることになる。また、残存する小規模な個体群についても現時点で休耕田化や圃場整備の影響下にあり、将来的に消失することが懸念される。このため、地域個体群の観点からも事業の実施による影響は大きいと考えられる。なお、本種は湧水に依存する種であるが、空港周辺の湧水量の変化は小さく、残存する生息地は上流部の改変がない、又は改変部から離れているため、これらの個体群の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-194　動物の重要な種（ギバチ）の予測結果

種名（和名）		ギバチ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	河川上流域下部～中流域の、水のきれいな場所にすむ。昼間は岩の下などに潜み、夜間主に水生昆虫などを食べる。産卵期は 6～8 月で、石の下面などに卵を産み付ける。
	分布	青森県を除く東北地方～神奈川県・富山県までの本州。
	千葉県内の状況	県内各地に点在して分布しているが、良好な状態の生息地はなく、生息地の数や規模などで急速に悪化しつつあり、急激な減少は現在でも進行中と考えられる。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 B の尾羽根川の転石下や岸際の植物帯等で確認した。
生息環境の分布状況		調査地域での分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は尾羽根川で確認した。調査地域での分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境と考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-195　動物の重要な種（ナマズ）の予測結果

種名（和名）		ナマズ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	湖沼や河川中下流域に棲む。夜行性。淡水域の食物連鎖の上位に位置し、魚類やカエル類等を捕食する。産卵期は 5～6 月で、内湾や水田に群がり、雄が雌に巻きつき産卵する。
	分布	現在では北海道南部までの全国各地に分布するが、関東地方には江戸時代中期に進入したと言われる。
	千葉県内の状況	県内全域に分布するが、本来利根川水系に多く、県中・南部には少ない。県内各地で、水系の人工化、埋立て、水田の乾田化、水質汚染、およびこれらに伴う水域生態系の単純化や悪化等により、急速に生息条件が失われ、減少しつつある。近年千葉県の水産研究センターで種苗生産法が開発されたが、生息条件悪化により野外の生息可能量は急速に減少しており、また人工種苗は野生個体群の遺伝子組成を変化させる可能性が高く、種苗放流については注意が必要である。
確認状況		秋季及び冬季の調査において、調査区域 C の高谷川及び流入する水路の植物帯等で確認した。
生息環境の分布状況		調査地域での分布は局所的であり、確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川下流及び流入する水路で確認した。調査地域での分布は局所的であり、確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には本種の主要な生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-196　動物の重要な種（ミナミメダカ）の予測結果

種名（和名）		ミナミメダカ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	平地の池沼、水田、用水、河川下流域の流れのゆるいところである。谷津の細流につながる水田や溜まりでもよく見られる。昼行性で、昼間は水面近くを群泳する。餌は動植物性のプランクトンなどである。産卵期は春～初秋までで、雌は卵を水草に産み付ける。
	分布	北海道を除く日本各地。千葉県は南方個体群の中の東部亜個体群に属する。
	千葉県内の状況	県内各地にかなりの生息地があるが、埋め立て、分断、水田の乾田化などによる環境悪化等で、生息状況は急激に悪化しつつある。また、地域により、外見にかなりの違いがあるものがあり、調査が必要である。また、人が地域外の個体や人工繁殖個体を放流する事例も多いと推測され、現在生息が確認される場所でも、遺伝子検査等による本来の生息群であるかどうかの慎重な確認が必要である。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川及び収入する水路、空港区域内滞水池、調査区域 B の荒海川及び流入する水路、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川及び流入する水路、多古橋川及び流入する水路や溜池の岸際や植物帯内等で確認した。詳細は「10.10.1 造成等の施工による一時的な影響、飛行場の存在及び飛行場の施設の供用に係る地域を特徴づける生態系　(1)調査　4)調査結果」に記載した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	事業計画は本種が多く確認された高谷川を大きく改変することから、事業の実施に伴い、生息環境となる河川の 43%、水路の 52%が改変されると予測する。このほかに、場所により湛水期間中に本種が利用する可能性のある水田も、全体の 41%が改変される。いずれの改変率も高く、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

(10) 底生動物

表 2.8.2-197　動物の重要な種（マルタニシ）の予測結果

種名（和名）		マルタニシ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	殻高 60mm、殻径 45mm 程度の卵円形、やや薄質、体層が全体の 2/3 を占め、臍穴はわずかに開く。縫合は深い。赤褐色で革質のフタを持つ。低地部の水田等の止水域の泥底に生息する。
	分布	北海道～琉球。
	千葉県内の状況	県内各地から記録がある。しかし、県内各地の水田では激減している。
確認状況		夏季～秋季及び春季の調査において、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川、多古橋川及び流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		本種は高谷川、浅川、多古橋川及び流入する水路で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川、浅川、多古橋川及び流入する水路で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には、高谷川上流部が含まれるが、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-198　動物の重要な種（オオタニシ）の予測結果

種名（和名）		オオタニシ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	殻高 60mm 前後になる。各螺層の膨らみは弱く、縫合は浅い傾向がある。殻底角があり、弱いながらも螺条脈も有する。周縁角は顕著で、2 本の角張った螺条脈があり、この上に細い殻皮毛を配列する。流れの穏やかな河川や水路、ため池や湖などの水量と水質の安定した（僅かに湧水のある）場所に生息し、ヒメタニシとは一緒に生息するがマルタニシとはほとんど混生しないようである。
	分布	北海道～九州。
	千葉県内の状況	銚子市小畑池、八日市場市生尾、長柄町山根、長南町笠森観音前、御宿町実谷、勝浦市南山田で記がある。
確認状況		夏季及び春季の調査において、調査区域 C の多古橋川に流入する溜池で確認した。
生息環境の分布状況		分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は多古橋川に流入する溜池で確認した。分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には生息環境が含まれることから、これらが消失･縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：日本産淡水貝類図鑑　②汽水域を含む全国の淡水貝類（平成 21 年　ピーシーズ）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-199　動物の重要な種（コシダカヒメモノアラガイ）の予測結果

種名（和名）		コシダカヒメモノアラガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	殻高 5mm、殻径 2.5mm 前後で、殻口高は殻高の 5 割程度を占める。殻表面には微細な成長脈を刻み、殻質は薄く茶褐色である。ヨーロッパ原産の外来種と考えられるが、在来も否定できない。おもに水田の畦や湿地などの水際に生息する。泥のくぼみや草本の株元、湿ったコンクリート壁などに付着する。
	分布	日本各地。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川、空港区域内調整池、調査区域 B の荒海川に流入する水路、尾羽根川、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川及び流入する水路、多古橋川及び流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川、荒海川、尾羽根川、高谷川、浅川、多古橋川及び流入する水路、空港区域内の調整池で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には、高谷川上流部及び流入する水路が含まれるが、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：日本産淡水貝類図鑑　②汽水域を含む全国の淡水貝類（平成 21 年　ピーシーズ）

表 2.8.2-200　動物の重要な種（ヒラマキガイモドキ）の予測結果

種名（和名）		ヒラマキガイモドキ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	内地産では直径 4～5mm ほどになる。体層の底面は平らで、裏側中央の穴は狭く深く陥没する。螺塔は緩やかな弧を描き殻頂部は浅く陥没する。水田や水路、湿地などに生息する。
	分布	日本各地。
	千葉県内の状況	成田市松崎（印旛沼）で記録がある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の高谷川で確認した。
生息環境の分布状況		分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川上流部で確認した。分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には生息環境が含まれることから、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：日本産淡水貝類図鑑　②汽水域を含む全国の淡水貝類（平成 21 年　ピーシーズ）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-201　動物の重要な種（ヨコハマシジラガイ）の予測結果

種名（和名）		ヨコハマシジラガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	殻長 58mm、殻高 36mm、殻幅 20mm 程度の卵形、大型、厚質。殻皮は黒褐色で、殻表の分岐した彫刻は弱く、通常、後背縁では不明瞭。主に緩やかな流れのある河川や水路の流水域の砂底、砂礫底に生息する。
	分布	北海道南部以南、近畿地方までの本州。
	千葉県内の状況	夷隅町、御宿町、茂原市、長柄町、阿久川、小櫃川、夷隅川、室戸川等から記録があり、袖ヶ浦市の標本も収蔵されている。県内各地の水田の用水路の改修による生息場所の変質により各地で減少しているが、マツカサガイよりは多い。
確認状況		秋季～春季の調査において、調査区域 A の取香川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川に流入する水路で確認した。分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-202　動物の重要な種（マツカサガイ）の予測結果

種名（和名）		マツカサガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	殻長 44mm、殻高 28mm、殻幅 14mm 程度の卵形、中型、厚質。殻皮は黒褐色で、殻表に「松毬」のような分岐した彫刻を有する。この彫刻は、通常殻前面に明瞭で、後背縁に及ぶ。主に緩やかな流れのある河川や水路の流水域の砂底、砂礫底に生息する。
	分布	北海道南部～九州。
	千葉県内の状況	勝浦市、御宿町、長柄町、袖ヶ浦市、手賀沼、阿久川、西方川等から記録がある。千葉市中央区からも記録があるが、ヨコハマシジラガイとの識別がなされていないので、正確な情報は不明である。県内各地の水田の水路の改修による生息場所の変質により各地で減少している。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C の高谷川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		調査地域での分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川に流入する水路で確認した。調査地域での分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-203　動物の重要な種（イシガイ）の予測結果

種名（和名）		イシガイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	殻長 60mm、殻高 28mm、殻幅 20mm 程度の長卵形、厚質。殻頂は前方に寄り、殻縁から突出する。殻皮は黒褐色で、殻表は弱い成長助を有する。主に緩やかな流れのある河川や水路の流水域の砂底、砂礫底に生息する。
	分布	北海道～九州。
	千葉県内の状況	手賀沼、成田市、小見川町、東庄町、銚子市、利根川、海上町、亀成川等から記録がある。しかし、水田脇の水路の改変により多くの場所で生息不可能になっている。
確認状況		夏季～秋季の調査において、調査区域 A の取香川に流入する水路、調査区域 B の荒海川に流入する水路、調査区域 C の高谷川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		調査地域での分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川に流入する水路、荒海川に流入する水路、高谷川に流入する水路で確認した。調査地域での分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-204　動物の重要な種（ヌマエビ）の予測結果

種名（和名）		ヌマエビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	額角は突出し平たく上縁に 14～34（通常 19～22）歯があり、内 2～5 歯は眼孔より後ろの頭胸甲上にある。低地の湖沼や河川の河口～上流まで生息し、幼生は川を下り汽水域で生活し、稚エビが川を上がる両側回遊型である。
	分布	本州（千葉県以南）～琉球。
	千葉県内の状況	富津市の相川、君津市の小糸川、内房の保田川、安房天津の二間川、鴨川の袋倉川などに分布。かつて佐倉市佐倉の十六島に、本種と思われるエビに発光バクテリアがついた「ホタルエビ」と呼ばれるエビが生息し、昭和 9 年 5 月に国の天然記念物に指定されたが、その後の追跡調査で昭和 46 年以降発見されず、昭和 57 年 10 月に指定を解除になった。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、浅川及び流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川及び流入する水路、浅川及び流入する水路で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-205　動物の重要な種（ヌカエビ）の予測結果

種名（和名）		ヌカエビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	陸封型で、一生を淡水域で暮らす。額角は突出し平たく上縁に 6～20 の歯が列生し、ヌマエビとの区別点は眼孔より後ろの頭胸甲背上面に棘がないこととされたが、関東以北に住むものでも頭胸甲背面上に 1～2 棘あるものも、遺伝的にはヌカエビに属することが明らかとなった。
	分布	本州（東北～関東地方）。
	千葉県内の状況	利根川水系、古利根沼、習志野市の浜田川、内房の保田川、上総湊の湊川河口および上流域、小櫃川中流域、安房郡、白浜町の長尾川、鴨川市江見の洲見川などからの記録がある。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川及び流入する水路、空港区域内滞水池、調査区域 B の荒海川に流入する水路、調査区域 C の浅川で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川及び流入する水路、荒海川に流入する水路、浅川、空港区内の滞水池で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-206　動物の重要な種（ヒラテテナガエビ）の予測結果

種名（和名）		ヒラテテナガエビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	額角は先端がやや下向し、上縁に 9～12 歯（うち 3～4 歯は甲上）、下縁に 2～4 歯ある。触角上棘、肝上棘がある。オスの鉗脚は体長の 1.5 倍近くに達し、上下で扁平に断面は楕円形である。成体は河川に生息するが、幼生は海で育つ。
	分布	房総半島以南、琉球列島、小笠原。
	千葉県内の状況	房総半島は北限にあたる。
確認状況		夏季～秋季の調査において、調査区域 C の高谷川、浅川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川、浅川に流入する水路で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-207　動物の重要な種（テナガエビ）の予測結果

種名（和名）		テナガエビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	額角は前方に突出し、平たく上縁に 10～14 歯、下縁に 2～4 歯が列生する。触角上棘、肝上棘が鋭く前方に突出する。第 2 脚は長く先端ははさみになり、特に雄の成体で長く大きくなる。河口で暮らす集団と、淡水の湖や沼で暮らす集団とでは、遺伝的組成がかなり異なることが知られている。
	分布	本州～九州。
	千葉県内の状況	利根川水系、印旛沼、手賀沼、我孫子市の大堀川・大津川、佐倉市、養老川、神明川、二間川、浜狭川などに分布する。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川及び流入する水路、調査区域 B の荒海川に流入する溜池、調査区域 C の高谷川及び流入する水路や溜池で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川及び流入する水路、荒海川に流入する溜池、高谷川及び流入する水路や溜池で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川及び流入する溜池、荒海川に流入する溜池が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の河川や水路、溜池は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-208　動物の重要な種（スジエビ）の予測結果

種名（和名）		スジエビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	額角は前方にやや上がりぎみに突出し、その上縁に 5～7 歯、下縁に 1～3 歯が列生する。触角上棘、肝上棘が鋭く前方に突出する。本種は純淡水性である。第 2 脚は長く、先端ははさみになる。
	分布	北海道～九州、屋久島。
	千葉県内の状況	加茂川、利根川水系、佐倉市、君津市の小糸川、三島湖、人見、清和市場、保田川、清澄川、大風沢川、館山市の巴川、小櫃川、養老川、湊川、夷隅川、平久里川、天津小湊町の神明川、二間川、鴨川の袋倉川、浜狭川など県内の主な河川に分布する。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川及び流入する水路、空港区域内滞水池、調査区域 B の荒海川及び流入する水路や溜池、尾羽根川、空港区域内調整池、調査区域 C の高谷川及び流入する水路や溜池、浅川及び流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。 水田等の止水環境は工事中に発生する濁水の流入はないことから、重要な種の生息環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は取香川、荒海川、高谷川、浅川とそれらに流入する水路や溜池、尾羽根川、空港区域内の調整池や滞水池で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川及び流入する水路、荒海川に流入する水路や溜池の一部が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-209　動物の重要な種（サワガニ）の予測結果

種名（和名）		サワガニ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	甲は丸みを帯び背面はやや盛り上がり表面は平滑、甲前側縁部に１つの小さな切れ込みがある。色彩は赤、青、褐色などがあり、別種に近いところまで遺伝的分化が進んでいる。純淡水産で、幼生が直達発生（稚ガニが直接卵から生まれる）で親の近くにとどまり移動分散能力が低い。
	分布	本州～九州の河川中流域に分布する。
	千葉県内の状況	湧水のあるところを中心に分布する。佐倉市、手賀沼周辺の根戸・寿二・蛍池、八千代市の神崎川、君津市の小糸川・清和市場・三島湖・奥米・松丘・久留里・宿原、養老川、夷隅川中上流、清澄山の各地などに点在して生息している。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域Ａのグリーンポート　エコ・アグリパーク、調査区域Ｂの荒海川に流入する水路、尾羽根川、調査区域 Ｃ の高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は荒海川に流入する水路、尾羽根川、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路、グリーンポート　エコ・アグリパークの水路で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川及び流入する水路、荒海川に流入する水路が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-210　動物の重要な種（モクズガニ）の予測結果

種名（和名）		モクズガニ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	甲は台形で背面は平滑で光沢があり、側縁は眼後歯を含めて 3 歯ある。鉗脚掌部内外面は軟毛で覆われる。降河型通し回遊性で、成体は淡水域で暮らすが成熟した個体は海に降り、繁殖を行い幼生は海で育つ。メガロパ期以降に河川の汽水域に侵入し、稚ガニで着底後、淡水域に遡上する。
	分布	北海道～琉球。
	千葉県内の状況	佐倉市、小櫃川、養老川、加茂川、神明川、君津市の小糸川など県内の主要な河川で、カニカゴによる採集が行われ、食用にされていたが、近年は著しく漁獲量が減っている。手賀沼では 1984 年までに絶滅した。
確認状況		夏季、秋季及び春季の調査において、調査区域 C の高谷川及び流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川及び流入する水路で確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川の一部が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-211　動物の重要な種（サトキハダヒラタカゲロウ）の予測結果

種名（和名）		サトキハダヒラタカゲロウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	体長 10～14mm。比較的大型のカゲロウ。亜成虫は全体に黄色。幼虫は清澄な小川の緩やかな流れに生息し、川底の倒木などの表面にしばしば認められる。生活史はよく分かってないが、県内では 3～4 月頃に羽化する。
	分布	北海道、本州。
	千葉県内の状況	2000 年（平成 12 年）の RDB 報告書同様、幼虫は八街市内の水田用の水路で確認されている。北海道、東北を除く他府県では未だ確認されていない。過去の環境評影響価調査報告などでは、本種の県内における記録はあるが、標本の確認ができないので分布から除いた。幼虫は谷地などの清澄な小川に数多く生息していたものと推定されるが、開発に伴う環境改変や宅地から排出される有機汚染によって生息場所が狭められているものと思える。
確認状況		冬季及び春季の調査において、調査区域 C の高谷川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川に流入する水路で確認した。分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-212　動物の重要な種（イシワタマダラカゲロウ）の予測結果

種名（和名）		イシワタマダラカゲロウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	体長 5～7mm、カゲロウ目では中型種に属する。幼虫は清澄な小川、平地流に多く、水中の植物の幹、葉上で確認されることが多い。羽化は 5～6 月に行われる。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	千葉県内では、新たに八街市で確認された。平地流からの記録が多いので、かつては、そのような場所に生息していたものと考えられる。過去の環境評影響価調査報告などでは、本種の県内における記録はあるが、標本の確認ができないので分布から除いた。開発に伴う環境改変で生息場所が狭められていると思われる。
確認状況		夏季及び春季の調査において、調査区域 C の高谷川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		分布は局所的であり、確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は高谷川に流入する水路で確認した。分布は局所的であり、この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境は含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-213　動物の重要な種（キイロサナエ）の予測結果

種名（和名）		キイロサナエ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	腹長 43～49mm、後翅長 37～42mm。ヤマサナエに似ているが、雄は尾部附属器、雌は生殖弁の形で区別できる。幼虫は、河川の中流域や丘陵地の水田や湿地脇にある、川幅 1～2m、水深 20cm ほどの緩やかな泥底の流れに生息する。
	分布	本州、四国、九州、種子島。日本固有種。
	千葉県内の状況	野田市、成田市、佐倉市、印西市、印旛郡、松戸市、市川市、茂原市、長生郡一宮町など県北部と中央部から記録されている。県北部では、佐倉市、印西市、成田市など数箇所で健在である。半島部の産地は極めて限定される。
確認状況		夏季～春季の調査において、調査区域 A の取香川、グリーンポート エコ・アグリパーク、調査区域 B の荒海川及び流入する水路、調査区域 C の高谷川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は取香川、荒海川及び流入する水路、高谷川に流入する水路、グリーンポート　エコ・アグリパークで確認した。この地点周辺が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川に流入する水路が含まれることから、生息環境の一部が消失･縮小するものの、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の取香川の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-214　動物の重要な種（オナガサナエ）の予測結果

種名（和名）		オナガサナエ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	腹長 39～46mm、後翅長 32～36mm。中型のサナエトンボで、雄の尾部附属器は長く独特の形をしており、他種との区別は容易である。幼虫は、平地、丘陵地の河川中流の小石の多い川底に生息する。
	分布	本州、四国、九州および隠岐、種子島などの離島。日本固有種。
	千葉県内の状況	千葉県では、江戸川周辺（市川市）および房総丘陵（市原市、君津市、木更津市、夷隅郡大多喜町、鴨川市）で記録されている。江戸川の記録はほとんど羽化殻で、上流からの流下個体が下流域で羽化したものと思われる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B の尾羽根川で確認した。
生息環境の分布状況		調査地域での分布は局所的であり、確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は尾羽根川で確認した。調査地域での分布は局所的であり、この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境が含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-215　動物の重要な種（コサナエ）の予測結果

種名（和名）		コサナエ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	腹長 26～32mm、後翅長 22～28mm。翅胸の前面に 7 字形の黄条がある小型のサナエトンボで、同じ属のタベサナエやオグマサナエに良く似ているが、千葉県に生息するのは本種だけである。幼虫は、平地、丘陵地、山地のヨシやマコモの繁茂した池沼や湿地の滞水などに生息する。
	分布	北海道、本州（東北、関東、中部の各都県、日本海側の山口県までと滋賀県、三重県、奈良県、和歌山県の一部）。日本固有種。
	千葉県内の状況	成田市、我孫子市、印西市、市川市、山武郡横芝光町、市原市、茂原市、長生郡長生村、君津市、木更津市、富津市、安房郡鋸南町、勝浦市、鴨川市、南房総市などから記録されているが、各地で消滅し、確実な産地はすでに数箇所しか残っていない。Ｂランク中で、Ａランクへ移行する危険が最も大きい種である。
確認状況		夏季～秋季及び春季の調査において、調査区域 C の多古橋川に流入する溜池で確認した。
生息環境の分布状況		調査地域での分布は局所的であり、確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は多古橋川に流入する溜池で確認した。調査地域での分布は局所的であり、この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれら生息環境が含まれることから、これらが消失・縮小すると予測する。このため、本種の生息環境は保全されない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、重要な種の生息環境は保全される。 本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

表 2.8.2-216　動物の重要な種（コオイムシ）の予測結果

種名（和名）		コオイムシ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①、②）	種の特性	オスが背中で卵塊を保護する有名な昆虫である。水深の浅い開放的な止水域に生息し、オタマジャクシ、小魚、ヤゴ、巻貝などを捕食する。
	分布	本州～九州。
	千葉県内の状況	印旛沼、飯岡町、千葉市青葉町で記録がある。
確認状況		夏季～秋季及び春季の調査において、調査区域 B の尾羽根川、調査区域 C の高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は尾羽根川、高谷川及び流入する水路、多古橋川に流入する水路で確認した。この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域には高谷川が含まれることから、生息環境の一部が消失・縮小するものの、その他の河川や水路は残存すると予測する。このため、本種の生息環境は保全される。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 5 昆虫類（平成 27 年　環境省）
資料②：千葉県動物誌　千葉県生物学会編（平成 6 年　文一総合出版）

表 2.8.2-217　動物の重要な種（オオヒメゲンゴロウ）の予測結果

種名（和名）		オオヒメゲンゴロウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	体長 13～14mm。体はこの属の中では一番偏平。ヒメゲンゴロウ（体長 11～12.5mm）より大きく、脚は暗黄褐色で後脚より黒色を帯びる。幼虫・成虫共に水中生活をし、水生小動物を捕食する。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	千葉市若葉区、四街道市、佐倉市、栄町の記録がある。
確認状況		夏季及び冬季の調査において、調査区域 A のグリーンポート　エコ・アグリパーク、調査区域 B の荒海川に流入する水路で確認した。
生息環境の分布状況		確認地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	高谷川、取香川、多古橋川、荒海川及びこれらに流入する一部の水路は工事中に発生する濁水の流入により生息環境が一時的に変化する。しかし、各河川及び水路の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、重要な種の生息環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は荒海川に流入する水路、グリーンポート　エコ・アグリパークで確認した。この地点が本種の主要な生息環境であると考えられる。改変区域にはこれらの生息環境が含まれないことから、改変されることはないと予測する。このため、本種の生息環境に変化はない。
	航空機の運航	－
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路及び高谷川、取香川以外の河川、水田等の止水環境では空港からの雨水の流入はない。このため、重要な種の生息環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011 年改訂版（平成 23 年　千葉県）

2.9. 植物

2.9.1. 現地調査結果

(1) 維管束植物

1) 確認された維管束植物

確認された維管束植物は、表 2.9.1-1 に示すとおりである。

表 2.9.1-1(1)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
1	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ	○	○	○	○	○	○
2		ホソバトウゲシバ	○					○
3	イワヒバ	イヌカタヒバ	○	○		○		○
4		クラマゴケ	○	○	○		○	○
5	ミズニラ	ミズニラ	○	○	○	○	○	○
6	トクサ	スギナ	○	○	○	○	○	○
7		ミズドクサ			○			○
8		イヌスギナ	○	○	○	○	○	○
9		イヌドクサ	○	○	○	○		○
10	ハナヤスリ	オオハナワラビ	○	○	○	○	○	○
11		ナガホノナツノハナワラビ		○				○
12		フユノハナワラビ		○	○	○	○	○
13		ナツノハナワラビ			○		○	
14		コヒロハハナヤスリ			○			○
15		コハナヤスリ			○		○	
16	ゼンマイ	ゼンマイ	○	○	○	○	○	○
17	ウラジロ	ウラジロ	○	○	○			○
18	フサシダ	カニクサ	○	○	○	○	○	○
19	コケシノブ	ウチワゴケ		○				○
20	コバノイシカグマ	イヌシダ	○	○	○	○		○
21		イワヒメワラビ	○					○
22		フモトシダ	○	○	○	○	○	○
23		ワラビ	○	○	○	○	○	○
24	ホングウシダ	ホラシノブ	○	○	○	○	○	○
25	ミズワラビ	ミズワラビ	○	○	○	○	○	○
26		イワガネゼンマイ	○	○	○	○	○	○
27		イワガネソウ	○	○	○	○		○
28		タチシノブ		○				○
29	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	○	○	○	○	○	○
30		アマクサシダ		○	○			○
31		イノモトソウ	○	○	○	○	○	○
32		マツザカシダ			○			○
33	チャセンシダ	トラノオシダ	○	○	○	○	○	○
34		ヌリトラノオ		○				○
35	シシガシラ	シシガシラ	○					○
36		コモチシダ	○	○	○	○	○	○
37	オシダ	オオカナワラビ	○		○	○		○
38		ホソバナライシダ	○	○	○		○	○
39		タカヤマナライシダ			○			○
40		ハカタシダ	○					○
41		オニカナワラビ		○				○
42		リョウメンシダ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(2)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
43	オシダ	キヨスミヒメワラビ	○		○			○
44		ナガバヤブソテツ	○	○	○			○
45		オニヤブソテツ	○	○		○		○
46		ヤブソテツ	○	○	○	○	○	○
47		ヤマヤブソテツ	○	○	○	○	○	○
48		テリハヤブソテツ	○	○	○	○		○
49		イワヘゴ		○				○
50		サイゴクベニシダ	○	○	○	○		
51		ミサキカグマ	○			○	○	○
52		ツクシイワヘゴ		○	○			○
53		オオクジャクシダ		○				○
54		ベニシダ	○	○	○	○	○	○
55		トウゴクシダ	○	○	○	○	○	○
56		マルバベニシダ	○	○	○	○	○	○
57		オオベニシダ	○	○	○	○	○	○
58		クマワラビ	○	○	○	○	○	○
59		オクマワラビ	○	○	○	○	○	○
60		オオイタチシダ	○	○	○	○	○	○
61		ヒメイタチシダ	○	○	○	○	○	○
62		ヤマイタチシダ	○	○	○	○	○	○
63		アスカイノデ	○	○	○	○	○	○
64		イワシロイノデ			○			○
65		イノデ	○	○	○	○	○	○
66	ヒメシダ	ホシダ	○	○	○	○	○	○
67		ゲジゲジシダ	○	○	○	○	○	○
68		ミゾシダ	○	○	○	○	○	○
69		ハシゴシダ	○	○	○	○		○
70		コハシゴシダ	○	○	○	○		○
71		ハリガネワラビ	○	○	○	○	○	○
72		ヤワラシダ	○	○		○		○
73		ヒメシダ	○	○	○	○	○	○
74		ヒメワラビ	○	○	○	○	○	○
75		ミドリヒメワラビ	○	○	○	○	○	○
76	メシダ	ホソバイヌワラビ		○				○
77		イヌワラビ	○	○	○	○	○	○
78		ヤマイヌワラビ	○	○	○	○		○
79		ヒロハイヌワラビ	○	○				○
80		ヘビノネゴザ	○	○	○		○	○
81		シケチシダ	○	○	○	○	○	○
82		ホソバシケシダ	○	○	○	○	○	○
83		セイタカシケシダ	○	○	○			○
84		シケシダ	○	○	○	○	○	○
85		ムクゲシケシダ		○				○
86		ナチシケシダ	○			○		
87		フモトシケシダ		○	○	○	○	○
88		ヒカゲワラビ		○				○
89		オニヒカゲワラビ		○	○			○
90		キヨタキシダ	○		○		○	○
91		ヘラシダ	○	○				○
92		イヌガンソク	○	○	○	○	○	○
93		クサソテツ	○	○	○		○	○
94		コウヤワラビ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(3)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
95	ウラボシ	ミツデウラボシ	○	○	○		○	○
96		マメヅタ		○	○			○
97		ノキシノブ	○	○	○	○	○	○
98	サンショウモ	サンショウモ	○					○
99	アカウキクサ	アカウキクサ属の一種			○			○
100	ソテツ	ソテツ			○			○
101	イチョウ	イチョウ	○	○	○	○	○	○
102	マツ	モミ	○	○	○	○	○	○
103		カラマツ	○					○
104		アカマツ	○	○	○	○	○	○
105		テーダマツ	○					○
106		クロマツ	○					○
107	スギ	スギ	○	○	○	○	○	○
108		メタセコイア	○					○
109		コウヤマキ		○			○	
110	ヒノキ	ヒノキ	○	○	○	○	○	○
111		サワラ	○	○	○	○	○	○
112		カイヅカイブキ	○	○	○			○
113		アスナロ			○			○
114	マキ	イヌマキ	○	○	○	○	○	○
115	イヌガヤ	イヌガヤ	○	○	○	○	○	○
116	イチイ	イチイ	○	○				○
117		キャラボク	○	○		○	○	○
118		カヤ	○	○	○	○	○	○
119	ヤマモモ	ヤマモモ		○	○			○
120	クルミ	オニグルミ	○	○	○		○	○
121	ヤナギ	セイヨウハコヤナギ	○					○
122		シダレヤナギ	○		○	○		○
123		アカメヤナギ	○	○	○	○	○	○
124		カワヤナギ	○	○	○	○	○	○
125		イヌコリヤナギ	○	○	○	○	○	○
126		シバヤナギ	○		○	○	○	○
127		オノエヤナギ	○		○	○		○
128		コゴメヤナギ			○		○	
129		タチヤナギ	○	○	○	○	○	○
130		キツネヤナギ			○		○	
131	カバノキ	ハンノキ			○		○	
132		オオバヤシャブシ	○		○			○
133		クマシデ	○		○	○	○	○
134		アカシデ		○		○		
135		イヌシデ	○	○	○	○	○	○
136		ツノハシバミ	○			○		
137	ブナ	クリ	○	○	○	○	○	○
138		ツブラジイ	○					○
139		スダジイ	○	○	○	○	○	○
140		マテバシイ	○	○	○	○		○
141		アカガシ	○	○	○	○	○	○
142		クヌギ	○	○	○	○	○	○
143		アラカシ	○	○	○	○	○	○
144		シラカシ	○	○	○	○	○	○
145		ウバメガシ	○	○	○		○	
146		ウラジロガシ	○	○	○	○		○

表 2.9.1-1(4)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
147	ブナ	コナラ	○	○	○	○	○	○
148		オオツクバネガシ			○			○
149	ニレ	ムクノキ	○	○	○	○	○	○
150		エノキ	○	○	○	○	○	○
151		アキニレ	○	○	○		○	○
152		ケヤキ	○	○	○	○	○	○
153	クワ	ヒメコウゾ	○	○	○	○	○	○
154		クワクサ	○	○		○	○	○
155		イヌビワ	○	○				○
156		カナムグラ	○	○	○	○	○	○
157		マグワ	○		○	○		○
158		ヤマグワ	○	○	○	○	○	○
159	イラクサ	トウゴクヤブマオ	○	○		○	○	○
160		クサコアカソ	○	○				○
161		ヤブマオ	○	○	○	○	○	○
162		ナンバンカラムシ	○	○	○	○	○	○
163		クサマオ	○	○	○	○	○	○
164		アオカラムシ	○			○		
165		メヤブマオ	○	○	○	○		○
166		ナガバヤブマオ		○				○
167		コアカソ		○	○			○
168		アカソ	○	○		○		○
169		カテンソウ		○	○			○
170		ミズ	○	○		○	○	○
171		アオミズ	○	○	○	○	○	○
172		イラクサ	○	○	○	○		○
173	ビャクダン	カナビキソウ	○				○	
174	タデ	ミズヒキ	○	○	○	○	○	○
175		シンミズヒキ	○	○	○	○	○	○
176		シャクチリソバ	○	○	○	○		
177		ソバ	○	○			○	○
178		サクラタデ		○				○
179		ヤナギタデ	○	○		○	○	○
180		オオイヌタデ	○	○	○	○	○	○
181		イヌタデ	○	○		○	○	○
182		ヤノネグサ	○	○			○	○
183		イシミカワ	○		○		○	○
184		ハナタデ	○	○		○	○	○
185		ボントクタデ		○			○	
186		ママコノシリヌグイ	○		○		○	○
187		アキノウナギツカミ	○	○	○	○	○	○
188		ミゾソバ	○	○	○	○	○	○
189		オオミゾソバ	○			○		
190		ヒメツルソバ		○				○
191		ツルドクダミ	○					○
192		ミチヤナギ	○	○	○		○	○
193		イタドリ	○	○	○	○	○	○
194		スイバ	○	○	○	○	○	○
195		ヒメスイバ		○		○		
196		アレチギシギシ	○	○	○	○	○	○
197		ナガバギシギシ	○		○	○	○	○
198		ギシギシ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(5)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
199	タデ	エゾノギシギシ	○	○	○	○	○	○
200	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	○	○	○	○	○	○
201	オシロイバナ	オシロイバナ	○	○			○	○
202	ザクロソウ	ザクロソウ	○	○		○	○	○
203		クルマバザクロソウ	○					○
204	スベリヒユ	スベリヒユ	○	○	○	○	○	○
205		ケツメクサ	○					○
206		ハゼラン	○					○
207	ナデシコ	ノミノツヅリ			○	○	○	○
208		オランダミミナグサ		○	○	○	○	○
209		ミミナグサ		○	○	○	○	○
210		イヌコモチナデシコ			○		○	○
211		ツメクサ		○	○	○	○	○
212		アライトツメクサ			○		○	○
213		ムシトリナデシコ			○		○	○
214		シロバナマンテマ			○		○	
215		ノミノフスマ	○	○	○	○	○	○
216		ウシハコベ	○	○	○	○	○	○
217		コハコベ	○	○	○	○	○	○
218		ミドリハコベ	○	○	○	○	○	○
219	アカザ	シロザ	○	○	○	○	○	○
220		アカザ	○	○	○		○	○
221		アリタソウ	○		○			○
222		ゴウシュウアリタソウ	○	○	○		○	○
223		コアカザ	○	○		○	○	○
224	ヒユ	ヒカゲイノコズチ	○	○		○	○	○
225		ヒナタイノコズチ	○	○	○	○	○	○
226		ヤナギイノコズチ	○	○	○	○	○	○
227		イヌビユ	○	○			○	○
228		ホソアオゲイトウ	○	○		○	○	○
229		アオゲイトウ	○					○
230		アオビユ	○	○		○	○	○
231	モクレン	ユリノキ		○				○
232		タイサンボク		○				○
233		ホオノキ	○	○	○	○	○	○
234		コブシ	○	○	○	○	○	○
235	マツブサ	サネカズラ	○	○	○	○	○	○
236		マツブサ		○	○	○	○	
237	シキミ	シキミ	○	○	○	○	○	○
238	クスノキ	クスノキ	○	○	○	○	○	○
239		ヤブニッケイ	○	○	○		○	○
240		ニッケイ	○	○	○	○	○	○
241		ゲッケイジュ		○	○			○
242		ヤマコウバシ	○	○	○	○	○	○
243		クロモジ			○	○		○
244		タブノキ	○	○	○	○	○	○
245		シロダモ	○	○	○	○	○	○
246		アブラチャン			○			○
247	カツラ	カツラ			○			○
248	キンポウゲ	ツクバトリカブト		○			○	○
249		ニリンソウ			○	○		○
250		イヌショウマ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(6)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
251	キンポウゲ	サラシナショウマ	○	○	○	○	○	○
252		ボタンヅル	○	○				○
253		ハンショウヅル	○	○	○	○	○	○
254		カザグルマ			○		○	
255		センニンソウ	○	○	○	○	○	○
256		セリバヒエンソウ			○	○		○
257		ケキツネノボタン	○	○	○	○	○	○
258		ウマノアシガタ			○	○	○	○
259		トゲミノキツネノボタン			○			○
260		タガラシ			○	○	○	○
261		キツネノボタン	○	○	○	○	○	○
262		ヤマキツネノボタン	○	○		○		○
263		アキカラマツ	○	○	○	○	○	○
264	メギ	メギ	○	○	○	○	○	○
265		イカリソウ	○	○	○	○	○	○
266		ホソバヒイラギナンテン	○					○
267		ヒイラギナンテン	○	○	○	○	○	○
268		ナンテン	○	○	○	○	○	○
269	アケビ	ゴヨウアケビ	○	○	○	○	○	○
270		アケビ	○	○	○	○	○	○
271		ミツバアケビ	○	○	○	○	○	○
272		ムベ		○	○			○
273	ツヅラフジ	アオツヅラフジ	○	○	○	○	○	○
274	スイレン	オニバス	○			○		
275		ハス	○	○	○	○	○	○
276		ヒツジグサ	○	○		○		
277	ドクダミ	ドクダミ	○	○	○	○	○	○
278		ハンゲショウ	○	○	○	○		○
279	センリョウ	ヒトリシズカ	○	○	○	○	○	○
280		フタリシズカ	○	○	○	○	○	○
281		センリョウ	○	○	○		○	○
282	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	○	○	○	○	○	○
283		オオバウマノスズクサ			○			○
284	マタタビ	サルナシ	○	○	○	○	○	○
285		キーウィフルーツ	○	○	○	○	○	○
286		マタタビ	○	○	○	○	○	○
287	ツバキ	ヤブツバキ	○	○	○	○	○	○
288		サザンカ	○	○	○			○
289		サカキ			○			○
290		ハマヒサカキ	○					○
291		ヒサカキ	○	○	○	○	○	○
292		ヒメシャラ			○		○	
293		ナツツバキ		○				○
294		モッコク	○	○	○	○	○	○
295		チャノキ	○	○	○	○	○	○
296	オトギリソウ	オトギリソウ	○			○	○	○
297		コケオトギリ	○	○	○	○	○	○
298		トミサトオトギリ	○	○	○	○	○	○
299		コゴメバオトギリ		○	○		○	
300	ケシ	クサノオウ	○	○	○	○	○	○
301		ジロボウエンゴサク			○		○	○
302		ムラサキケマン			○	○	○	○

表 2.9.1-1(7)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
303	ケシ	シラユキゲシ			○		○	
304		タケニグサ	○	○	○		○	○
305		ケナシチャンパギク			○			○
306		ナガミヒナゲシ			○	○	○	○
307	アブラナ	セイヨウアブラナ			○	○	○	○
308		セイヨウカラシナ	○		○	○	○	○
309		ナズナ	○	○	○	○	○	○
310		タネツケバナ	○	○	○	○	○	○
311		ミチタネツケバナ		○	○	○	○	○
312		ヤマタネツケバナ			○	○	○	○
313		ウロコナズナ			○		○	
314		マメグンバイナズナ	○	○	○	○	○	○
315		オランダガラシ	○	○	○	○	○	○
316		ハナダイコン			○		○	○
317		コイヌガラシ			○		○	
318		イヌガラシ	○	○	○	○	○	○
319		スカシタゴボウ	○	○	○	○	○	○
320		カキネガラシ			○		○	○
321		グンバイナズナ			○			○
322	マンサク	マンサク	○			○		
323		フウ			○			○
324	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	○	○	○	○	○	○
325		マルバマンネングサ			○			○
326		ツルマンネングサ	○	○	○	○	○	○
327		オカタイトゴメ			○		○	○
328	ユキノシタ	チダケサシ	○	○	○	○	○	○
329		アカショウマ	○					○
330		ヤマネコノメソウ		○	○	○	○	○
331		ウツギ	○	○	○	○	○	○
332		アジサイ	○	○	○		○	○
333		タコノアシ	○	○	○	○	○	○
334		ユキノシタ	○	○	○	○	○	○
335	トベラ	トベラ	○	○	○	○		○
336	バラ	キンミズヒキ	○	○	○	○	○	○
337		ヒメキンミズヒキ	○	○				○
338		クサボケ	○	○	○		○	○
339		ボケ			○			○
340		ヘビイチゴ	○	○	○	○	○	○
341		ヤブヘビイチゴ	○	○	○	○	○	○
342		ビワ	○	○	○	○	○	○
343		ダイコンソウ	○	○	○	○	○	○
344		ヤマブキ	○	○	○	○	○	○
345		カナメモチ	○	○	○		○	○
346		タチゲヒメヘビイチゴ	○	○				○
347		キジムシロ	○	○	○	○	○	○
348		ミツバツチグリ		○	○	○	○	○
349		カマツカ	○	○	○	○	○	○
350		ケカマツカ			○			○
351		イヌザクラ	○	○	○	○	○	○
352		ウワミズザクラ	○	○	○	○	○	○
353		ヤマザクラ	○	○	○	○	○	○
354		ウスゲヤマザクラ	○		○	○	○	○

表 2.9.1-1(8)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
355	バラ	ウメ	○		○		○	○
356		ソメイヨシノ	○	○	○	○	○	○
357		タチバナモドキ	○					○
358		ナシ	○			○		
359		シャリンバイ	○	○	○	○	○	○
360		ノイバラ	○	○	○	○	○	○
361		テリハノイバラ	○	○	○		○	○
362		フユイチゴ	○	○	○	○		○
363		クマイチゴ			○		○	
364		クサイチゴ	○	○	○	○	○	○
365		ニガイチゴ	○	○	○	○	○	○
366		モミジイチゴ	○	○	○	○	○	○
367		ナワシロイチゴ	○	○	○	○	○	○
368		カジイチゴ			○		○	
369		ワレモコウ	○	○	○		○	○
370		ナガボノシロワレモコウ	○				○	
371		ユキヤナギ	○	○	○		○	○
372		コゴメウツギ	○	○	○	○		○
373	マメ	クサネム	○	○	○		○	○
374		ネムノキ	○	○	○	○	○	○
375		イタチハギ	○	○	○		○	○
376		ヤブマメ	○	○	○	○	○	○
377		ホドイモ	○		○	○		○
378		ゲンゲ			○		○	○
379		ハナズオウ			○			○
380		フジカンゾウ	○	○	○	○	○	○
381		ケヤブハギ	○	○		○		○
382		ヌスビトハギ	○	○		○	○	○
383		ヤブハギ	○	○	○	○	○	○
384		アレチヌスビトハギ	○	○				○
385		ノササゲ	○	○	○	○	○	○
386		ノアズキ		○				○
387		ツルマメ	○	○	○	○	○	○
388		トウコマツナギ	○				○	
389		コマツナギ	○	○	○		○	○
390		タイワンコマツナギ	○				○	
391		マルバヤハズソウ	○	○		○	○	○
392		ヤハズソウ	○	○	○	○	○	○
393		ヤマハギ	○	○		○	○	○
394		メドハギ	○	○	○	○	○	○
395		マルバハギ	○	○		○	○	○
396		ネコハギ	○	○	○	○	○	○
397		ミヤギノハギ		○				○
398		マキエハギ	○				○	
399		イヌエンジュ	○	○	○		○	○
400		コメツブウマゴヤシ			○			○
401		シナガワハギ	○			○		
402		クズ	○	○	○	○	○	○
403		オオバタンキリマメ	○	○	○	○	○	○
404		タンキリマメ	○	○				○
405		ハリエンジュ	○	○	○	○	○	○
406		クスダマツメクサ			○	○	○	○

表 2.9.1-1(9)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
407	マメ	コメツブツメクサ	○		○	○	○	○
408		ムラサキツメクサ	○	○	○	○	○	○
409		シロツメクサ	○	○	○	○	○	○
410		ヤハズエンドウ	○	○	○	○	○	○
411		ナヨクサフジ			○			○
412		スズメノエンドウ	○		○	○	○	○
413		カスマグサ			○		○	○
414		ヤブツルアズキ	○	○		○		○
415		フジ	○	○	○	○	○	○
416	カタバミ	イモカタバミ	○	○	○	○	○	○
417		ハナカタバミ	○		○			○
418		カタバミ	○	○	○	○	○	○
419		アカカタバミ	○	○	○	○	○	○
420		ウスアカカタバミ	○	○	○	○	○	○
421		ムラサキカタバミ	○	○	○	○	○	○
422		エゾタチカタバミ	○		○			○
423		オッタチカタバミ	○	○	○	○	○	○
424	フウロソウ	アメリカフウロ	○	○	○	○	○	○
425		ヒメフウロ			○			○
426		ゲンノショウコ	○	○	○	○	○	○
427	トウダイグサ	エノキグサ	○	○	○	○	○	○
428		トウダイグサ			○		○	○
429		オオニシキソウ	○	○	○	○	○	○
430		タカトウダイ	○	○	○		○	○
431		ナツトウダイ		○	○		○	○
432		コニシキソウ	○	○	○	○	○	○
433		アカメガシワ	○	○	○	○	○	○
434		ヒメミカンソウ	○	○			○	○
435		ナガエコミカンソウ		○				○
436		コミカンソウ	○	○				○
437		シラキ	○		○		○	○
438		ナンキンハゼ	○	○			○	○
439	ユズリハ	ユズリハ	○	○	○	○	○	○
440	ミカン	ユズ		○				○
441		コクサギ	○	○	○	○	○	○
442		カラタチ	○					○
443		カラスザンショウ	○	○	○	○	○	○
444		サンショウ	○	○	○	○	○	○
445		イヌザンショウ	○	○	○	○	○	○
446	ニガキ	シンジュ	○	○	○	○		○
447		ニガキ	○	○	○	○	○	○
448	センダン	センダン	○	○	○	○	○	○
449	ヒメハギ	ハリヒメハギ	○			○	○	
450		ヒメハギ	○		○			○
451	ウルシ	ツタウルシ	○	○	○	○	○	○
452		ヌルデ	○	○	○	○	○	○
453		ハゼノキ	○	○	○	○	○	○
454		ヤマハゼ	○	○	○	○	○	○
455		ヤマウルシ	○	○	○	○	○	○
456	カエデ	トウカエデ	○	○	○	○		○
457		ハウチワカエデ			○			○
458		イロハモミジ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(10)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
459	ムクロジ	ムクロジ	○					○
460	アワブキ	アワブキ	○	○	○	○	○	
461	ツリフネソウ	ホウセンカ	○	○				○
462		ツリフネソウ	○					○
463	モチノキ	イヌツゲ	○	○	○	○	○	○
464		モチノキ	○	○	○	○	○	○
465		アオハダ	○	○	○	○	○	○
466		クロガネモチ	○	○				○
467	ニシキギ	ツルウメモドキ	○	○	○	○	○	○
468		イヌツルウメモドキ		○	○	○		○
469		ニシキギ	○					○
470		コマユミ	○	○	○	○	○	○
471		ツルマサキ	○	○	○	○	○	○
472		マサキ	○	○	○	○	○	○
473		ツリバナ	○	○	○	○	○	○
474		マユミ	○	○	○	○	○	○
475		カントウマユミ	○	○	○	○	○	○
476	ミツバウツギ	ゴンズイ	○	○	○	○	○	○
477	ツゲ	ツゲ	○		○		○	○
478	クロウメモドキ	クマヤナギ	○	○	○	○	○	○
479		クロウメモドキ	○				○	
480		ナツメ	○					○
481	ブドウ	ノブドウ	○	○	○	○	○	○
482		ヤブガラシ	○	○	○	○	○	○
483		ツタ	○	○	○	○	○	○
484		エビヅル	○	○	○	○	○	○
485		サンカクヅル	○	○	○	○	○	○
486	アオイ	イチビ	○		○		○	○
487		フヨウ			○			○
488		ムクゲ	○					○
489		ウサギアオイ	○					○
490		アメリカキンゴジカ	○	○				○
491	アオギリ	アオギリ	○	○	○	○		○
492	グミ	ツルグミ	○	○	○	○	○	○
493		マルバナツグミ	○	○	○	○	○	○
494		ナワシログミ	○	○				○
495	イイギリ	イイギリ			○		○	
496	スミレ	アリアケスミレ			○	○		
497		タチツボスミレ	○	○	○	○	○	○
498		アオイスミレ	○	○	○	○		○
499		マルバスミレ			○	○		○
500		ケマルバスミレ			○	○	○	○
501		ニオイタチツボスミレ			○	○	○	○
502		サンシキスミレ			○		○	○
503		ツボスミレ	○	○	○	○	○	○
504		ノジスミレ			○			○
505	キブシ	キブシ	○	○	○	○	○	○
506	ミゾハコベ	ミゾハコベ	○	○			○	○
507	シュウカイドウ	シュウカイドウ	○	○	○			○
508	ウリ	アマチャヅル	○	○	○	○	○	○
509		スズメウリ	○	○	○	○	○	○
510		アレチウリ	○	○		○		○

表 2.9.1-1(11)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
511	ウリ	カラスウリ	○	○	○	○	○	○
512	ミソハギ	ホソバヒメミソハギ	○	○		○	○	○
513		サルスベリ		○				○
514		ミソハギ	○	○	○	○		○
515		キカシグサ	○	○			○	○
516		アメリカキカシグサ		○			○	
517	ヒシ	ヒシ	○	○		○		○
518	アカバナ	ミズタマソウ	○	○	○		○	○
519		アカバナ	○	○	○	○	○	○
520		ヒレタゴボウ	○	○		○	○	○
521		チョウジタデ	○	○		○	○	○
522		ウスゲチョウジタデ	○	○				○
523		メマツヨイグサ	○	○	○	○	○	○
524		コマツヨイグサ	○	○	○	○	○	○
525		ユウゲショウ	○	○	○	○	○	○
526		ヒルザキツキミソウ	○	○	○	○	○	○
527		マツヨイグサ			○			○
528	アリノトウグサ	オオフサモ	○		○			○
529	ミズキ	アオキ	○	○	○	○	○	○
530		ヤマボウシ	○	○	○	○	○	○
531		ミズキ	○		○	○	○	○
531		クマノミズキ	○	○	○	○	○	○
533		ハナイカダ	○	○	○	○	○	○
534	ウコギ	オカウコギ	○	○	○	○	○	○
535		ウコギ	○	○				○
536		ヤマウコギ	○	○	○	○	○	○
537		ウド	○	○	○	○	○	○
538		タラノキ	○	○	○	○	○	○
539		メダラ	○		○		○	○
540		カクレミノ	○	○	○		○	○
541		ヤツデ	○	○	○	○	○	○
542		キヅタ	○	○	○	○	○	○
543		ハリギリ	○	○	○	○	○	○
544		トチバニンジン			○			○
545	セリ	ノダケ	○	○	○	○	○	○
546		ツボクサ	○	○	○	○	○	○
547		セントウソウ		○		○	○	○
548		ミツバ	○	○	○	○	○	○
549		ノラニンジン			○		○	
550		ノチドメ	○	○	○	○	○	○
551		オオチドメ	○	○	○	○		○
552		チドメグサ	○	○	○	○	○	○
553		セリ	○	○	○	○	○	○
554		ヤブニンジン			○	○	○	○
555		ウマノミツバ	○	○	○	○	○	○
556		ムカゴニンジン	○					○
557		カノツメソウ	○	○	○	○	○	○
558		ヤブジラミ			○	○	○	○
559		オヤブジラミ			○	○	○	○
560	イチヤクソウ	アキノギンリョウソウ	○				○	○
561		イチヤクソウ	○	○	○	○		○
562	ツツジ	ドウダンツツジ	○					○

表 2.9.1-1(12)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
563	ツツジ	ネジキ		○		○		
564		アセビ			○			○
565		サツキ	○	○			○	○
566		レンゲツツジ			○			○
567		ヤマツツジ	○	○	○	○	○	○
568		オオムラサキ			○			○
569		ナツハゼ			○		○	
570	ヤブコウジ	マンリョウ	○	○	○	○	○	○
571		カラタチバナ	○	○	○	○	○	○
572		ヤブコウジ	○	○	○	○	○	○
573	サクラソウ	オカトラノオ	○	○	○	○	○	○
574		ヌマトラノオ	○	○			○	○
575		コナスビ	○	○	○	○	○	○
576		サクラソウ			○	○		
577	カキノキ	カキノキ	○	○	○	○	○	○
578	エゴノキ	エゴノキ	○	○	○	○	○	○
579	ハイノキ	サワフタギ	○	○	○	○	○	○
580	モクセイ	レンギョウ		○		○		
581		ネズミモチ	○	○	○	○	○	○
582		トウネズミモチ	○	○	○	○	○	○
583		イボタノキ	○	○	○	○	○	○
584		オカイボタ		○			○	○
585		キンモクセイ	○	○	○			○
586		ヒイラギモクセイ		○				○
587		ヒイラギ	○	○	○	○	○	○
588	リンドウ	リンドウ			○			○
589		フデリンドウ		○	○	○	○	○
590	キョウチクトウ	テイカカズラ	○	○	○	○	○	○
591		ツルニチニチソウ	○	○	○	○	○	○
592	ガガイモ	イケマ			○			○
593		コバノカモメヅル	○					○
594		ガガイモ	○	○	○	○	○	○
595		オオカモメヅル	○	○	○	○	○	○
596	アカネ	オオフタバムグラ	○					○
597		ヒメヨツバムグラ	○		○	○		○
598		ヤエムグラ	○	○	○	○	○	○
599		ヨツバムグラ		○	○	○	○	○
600		クルマムグラ		○	○		○	○
601		クチナシ		○				○
602		フタバムグラ	○	○		○	○	○
603		ハシカグサ	○	○		○	○	○
604		ツルアリドオシ			○			○
605		ヤイトバナ	○	○	○	○	○	○
606		アカネ	○	○	○	○	○	○
607		ハクチョウゲ	○	○	○			○
608		ハナヤエムグラ			○			○
609	ヒルガオ	コヒルガオ	○	○	○	○	○	○
610		ヒルガオ	○	○	○	○	○	○
611		マルバルコウ	○	○				○
612		アメリカアサガオ		○				○
613		マメアサガオ		○				○
614	ムラサキ	ハナイバナ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(13)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
615	ムラサキ	ホタルカズラ	○	○	○	○	○	○
616		ヒレハリソウ		○	○	○	○	○
617		キュウリグサ	○	○	○	○	○	○
618	クマツヅラ	ムラサキシキブ	○	○	○	○	○	○
619		ヤブムラサキ	○	○	○	○		○
620		ボタンクサギ	○					○
621		ヒギリ		○				○
622		クサギ	○	○	○	○	○	○
623		アレチハナガサ		○	○	○		
624		ヤナギハナガサ	○	○	○	○	○	○
625	アワゴケ	アワゴケ		○	○	○		○
626	シソ	キランソウ	○		○	○	○	○
627		セイヨウジュウニヒトエ			○	○		
628		ツクバキンモンソウ			○	○	○	○
629		トウバナ	○	○	○	○	○	○
630		イヌトウバナ	○		○		○	○
631		カキドオシ	○	○	○	○	○	○
632		ホトケノザ	○	○	○	○	○	○
633		オドリコソウ		○	○			○
634		ヒメオドリコソウ		○	○	○	○	○
635		シロネ	○				○	
636		ヒメシロネ	○	○			○	○
637		ヒメサルダヒコ	○	○			○	○
638		コシロネ	○	○		○	○	○
639		ハッカ		○				○
640		マルバハッカ		○	○			○
641		ヒメジソ	○	○		○	○	○
642		イヌコウジュ	○	○		○		○
643		レモンエゴマ	○	○				○
644		チリメンジソ	○	○		○	○	○
645		ウツボグサ			○			○
646		ヤマハッカ	○	○			○	○
647		アキノタムラソウ	○	○		○		○
648		キバナアキギリ	○	○	○	○	○	○
649		オカタツナミソウ	○			○		○
650		ヒメナミキ		○				○
651		イヌゴマ	○					○
652		ニガクサ	○	○				○
653		ツルニガクサ	○	○				○
654	ナス	クコ	○	○	○	○	○	○
655		ホオズキ			○	○		
656		センナリホオズキ	○	○				○
657		テリミノイヌホオズキ	○	○				○
658		ワルナスビ	○	○	○	○	○	○
659		オオイヌホオズキ	○	○				○
660		ヒヨドリジョウゴ	○		○	○	○	○
661		イヌホオズキ	○	○	○	○	○	○
662		タマサンゴ	○					○
663		アメリカイヌホオズキ	○	○		○	○	○
664		ハダカホオズキ	○	○		○		○
665	ゴマノハグサ	マルバサワトウガラシ	○				○	
666		アブノメ	○					○

表 2.9.1-1(14)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
667	ゴマノハグサ	シソクサ	○	○			○	○
668		キクモ	○	○			○	○
669		ホソバウンラン		○		○		
670		スズメノトウガラシ	○	○			○	○
671		エダウチスズメノトウガラシ	○	○				○
672		ヒロハスズメノトウガラシ		○				○
673		マツバウンラン			○		○	○
674		ウリクサ	○	○			○	○
675		タケトアゼナ	○			○		○
676		アメリカアゼナ	○	○		○	○	○
677		アゼトウガラシ	○	○			○	○
678		アゼナ	○	○		○	○	○
679		サギゴケ	○	○			○	○
680		トキワハゼ	○	○	○	○	○	○
681		ビロードモウズイカ			○		○	
682		オオカワヂシャ			○	○		
683		タチイヌノフグリ			○	○	○	○
684		フラサバソウ			○	○		○
685		ムシクサ			○	○	○	○
686		オオイヌノフグリ	○	○	○	○	○	○
687		カワヂシャ			○	○		○
688	ノウゼンカズラ	キリ	○		○	○	○	○
689	キツネノマゴ	キツネノマゴ	○	○		○	○	○
690	ハマウツボ	ヤセウツボ			○	○	○	○
691	ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ	○	○	○	○	○	○
692		ハエドクソウ	○	○	○	○	○	○
693	オオバコ	オオバコ	○	○	○	○	○	○
694		ヘラオオバコ	○	○	○	○	○	○
695		タチオオバコ			○	○	○	○
696		セイヨウオオバコ			○		○	
697	スイカズラ	ハナゾノツクバネウツギ	○	○	○		○	○
698		ツクバネウツギ	○	○	○	○	○	○
699		オオツクバネウツギ			○		○	
700		ヤマウグイスカグラ	○	○	○	○	○	○
701		ウグイスカグラ	○	○	○	○	○	○
702		スイカズラ	○	○	○	○	○	○
703		ソクズ	○		○	○	○	○
704		ニワトコ	○	○	○	○	○	○
705		ガマズミ	○	○	○	○	○	○
706		コバノガマズミ	○	○	○	○	○	○
707		サンゴジュ	○		○		○	○
708		ゴマギ	○					○
709		ハコネウツギ	○				○	
710	オミナエシ	オトコエシ	○	○	○	○	○	○
711		ツルカノコソウ	○		○	○	○	○
712		ノジシャ			○		○	
713		シロノジシャ			○		○	
714	キキョウ	ツリガネニンジン	○	○	○	○	○	○
715		ホタルブクロ	○					○
716		ヤマホタルブクロ	○	○				○
717		ツルニンジン	○		○	○	○	○
718		ミゾカクシ	○	○	○		○	○

表 2.9.1-1(15)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
719	キキョウ	タニギキョウ			○		○	○
720		ヒナキキョウソウ			○			○
721		キキョウソウ			○	○	○	○
722	キク	セイヨウノコギリソウ	○		○			○
723		カッコウアザミ		○		○		
724		キッコウハグマ	○	○	○	○	○	○
725		ブタクサ	○	○	○	○	○	○
726		クワモドキ	○	○	○	○	○	○
727		ヨモギ	○	○	○	○	○	○
728		シロヨメナ	○	○		○	○	○
729		ノコンギク	○	○		○	○	○
730		シラヤマギク	○	○	○	○	○	○
731		ヒロハホウキギク	○	○		○		○
732		オケラ		○	○		○	○
733		アメリカセンダングサ	○	○	○	○	○	○
734		コセンダングサ	○	○		○	○	○
735		シロバナセンダングサ		○		○	○	○
736		タウコギ	○	○		○	○	○
737		モミジガサ		○	○			○
738		ヤブタバコ	○	○		○		○
739		ガンクビソウ	○	○				○
740		サジガンクビソウ	○	○				○
741		ヤグルマギク			○		○	○
742		トキンソウ	○	○		○	○	○
743		ノアザミ	○	○	○	○	○	○
744		トネアザミ	○	○		○	○	○
745		ノハラアザミ	○	○		○	○	○
746		タカアザミ		○				○
747		アメリカオニアザミ	○	○	○	○	○	○
748		アレチノギク	○					○
749		オオアレチノギク	○	○		○	○	○
750		コスモス	○	○		○	○	○
751		キバナコスモス	○	○		○	○	○
752		オオキンケイギク	○	○	○	○	○	○
752		ベニバナボロギク	○	○		○	○	○
754		リュウノウギク		○				○
755		アメリカタカサブロウ	○	○		○	○	○
756		タカサブロウ	○	○		○		○
757		ダンドボロギク	○	○		○	○	○
758		ヒメムカシヨモギ	○	○	○	○	○	○
759		ハルジオン	○	○	○	○	○	○
760		ヘラバヒメジョオン	○		○	○	○	○
761		ヒヨドリバナ	○	○	○	○	○	○
762		サワヒヨドリ	○	○			○	○
763		ツワブキ	○	○			○	○
764		ハキダメギク	○	○	○	○	○	○
765		ハハコグサ	○	○	○	○	○	○
766		タチチチコグサ	○	○	○		○	○
767		チチコグサ			○	○	○	
768		セイタカハハコグサ	○		○	○	○	○
769		チチコグサモドキ	○	○	○	○	○	○
770		ウスベニチチコグサ			○	○		○

表 2.9.1-1(16)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
771	キク	ウラジロチチコグサ	○	○	○	○	○	○
772		キクイモ	○	○				○
773		キツネアザミ			○	○	○	○
774		ブタナ	○	○	○	○	○	○
775		オオヂシバリ	○	○	○	○	○	○
776		ニガナ	○		○	○	○	○
777		ノニガナ			○		○	
778		イワニガナ		○	○	○		○
779		ユウガギク	○	○		○	○	○
780		カントウヨメナ	○	○		○	○	○
781		アキノノゲシ	○	○	○	○	○	○
782		ホソバアキノノゲシ	○	○				○
783		ヤマニガナ	○					○
784		ムラサキニガナ	○	○	○	○	○	○
785		コオニタビラコ	○	○	○	○	○	○
786		ヤブタビラコ		○	○	○	○	○
787		フランスギク	○	○	○		○	○
788		ミヤマヨメナ			○			○
789		カシワバハグマ	○	○	○	○	○	○
790		コウヤボウキ	○	○	○	○		○
791		フキ	○	○	○	○	○	○
792		コウゾリナ	○	○	○	○	○	○
793		キヌガサギク	○				○	
794		ノボロギク	○	○	○	○	○	○
795		コメナモミ	○	○				○
796		メナモミ	○	○		○	○	○
797		セイタカアワダチソウ	○	○	○	○	○	○
798		オニノゲシ	○	○	○	○	○	○
799		ノゲシ	○	○	○	○	○	○
800		ヒメジョオン	○	○	○	○	○	○
801		ヤブレガサ	○	○	○	○	○	○
802		セイヨウタンポポ	○	○	○	○	○	○
803		カントウタンポポ			○	○	○	○
804		オオオナモミ	○	○		○	○	○
805		ヤクシソウ	○	○	○	○	○	○
806		オニタビラコ	○	○	○	○	○	○
807	オモダカ	ヘラオモダカ	○	○	○	○	○	○
808		ウリカワ	○	○			○	○
809		オモダカ	○	○	○	○	○	○
810	トチカガミ	オオカナダモ	○				○	
811	ヒルムシロ	ヒルムシロ		○				○
812		ヤナギモ	○	○	○			○
813	ユリ	ノビル		○	○	○	○	○
814		ニラ	○	○				○
815		オランダキジカクシ	○	○				○
816		ハラン	○	○	○	○	○	○
817		ハナニラ			○		○	○
818		スズラン			○			○
819		ドイツスズラン			○		○	
820		ホウチャクソウ	○	○	○	○	○	○
821		チゴユリ	○	○	○	○	○	○
822		カタクリ			○	○		

表 2.9.1-1(17)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
823	ユリ	ヤブカンゾウ			○	○	○	○
824		ノカンゾウ	○			○		
825		コバギボウシ	○	○	○	○	○	○
826		ヤマユリ	○	○	○	○	○	○
827		タカサゴユリ	○					○
828		ヤブラン	○	○	○	○	○	○
829		ハタケニラ	○	○			○	○
830		ノシラン	○			○		○
831		ジャノヒゲ	○	○	○	○	○	○
832		ナガバジャノヒゲ	○	○	○	○	○	○
833		オオバジャノヒゲ	○	○	○	○		○
834		オオアマナ			○		○	○
835		ナルコユリ	○	○	○	○	○	○
836		ミヤマナルコユリ	○	○	○	○	○	○
837		アマドコロ	○	○	○		○	○
838		キチジョウソウ	○	○	○	○	○	○
839		オモト	○	○	○	○	○	○
840		ツルボ	○				○	○
841		サルトリイバラ	○	○	○	○	○	○
842		シオデ	○	○	○	○	○	○
843		ヤマカシュウ		○		○	○	
844		ヤマジノホトトギス		○			○	
845		ホトトギス		○		○		○
846		ヤマホトトギス	○	○		○	○	○
847	ヒガンバナ	キツネノカミソリ	○					○
848		ナツズイセン	○				○	
849		タマスダレ	○					○
850	ヤマノイモ	ナガイモ	○		○		○	○
851		ヤマノイモ	○	○	○	○	○	○
852		キクバドコロ	○	○	○	○	○	○
853		オニドコロ	○	○	○	○	○	○
854	ミズアオイ	ホテイアオイ	○					○
855		コナギ	○	○		○	○	○
856	アヤメ	ノハナショウブ			○			○
857		シャガ	○	○	○	○	○	○
858		キショウブ	○	○	○	○	○	○
859		ニワゼキショウ	○		○	○	○	○
860		ルリニワゼキショウ			○	○	○	○
861		オオニワゼキショウ			○		○	○
862		ヒメヒオウギズイセン	○	○	○	○	○	○
863	イグサ	ハナビゼキショウ	○		○	○		○
864		イ	○	○	○	○	○	○
865		コウガイゼキショウ	○	○	○		○	○
866		コゴメイ		○	○			○
867		クサイ	○	○	○	○	○	○
868		ハリコウガイゼキショウ		○			○	○
869		スズメノヤリ	○		○	○	○	○
870		ヤマスズメノヒエ			○	○		○
871	ツユクサ	マルバツユクサ	○	○		○		○
872		ツユクサ	○	○	○	○	○	○
873		イボクサ	○	○	○	○	○	○
874		ヤブミョウガ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(18)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
875	ツユクサ	ノハカタカラクサ	○	○	○	○		○
876		ムラサキツユクサ	○		○		○	○
877	ホシクサ	ニッポンイヌノヒゲ		○				○
878		ヒロハイヌノヒゲ		○			○	○
879	イネ	コヌカグサ	○		○	○		○
880		ヌカボ			○		○	○
881		スズメノテッポウ	○	○	○	○	○	○
882		メリケンカルカヤ	○	○		○	○	○
883		ハルガヤ	○		○	○	○	○
884		コブナグサ	○	○	○	○	○	○
885		トダシバ	○	○		○		○
886		カラスムギ			○	○	○	○
887		マカラスムギ			○	○	○	
888		ミノゴメ	○		○	○		○
889		ヤマカモジグサ	○					○
890		コバンソウ			○		○	○
891		ヒメコバンソウ			○	○	○	○
892		イヌムギ	○	○	○	○	○	○
893		スズメノチャヒキ	○		○	○	○	○
894		ハトノチャヒキ			○			○
895		キツネガヤ	○		○	○	○	○
896		ヒゲナガスズメノチャヒキ			○		○	○
897		ノゲノムギ			○			○
898		ノガリヤス		○			○	○
899		ヤマアワ	○				○	
900		ジュズダマ	○	○			○	○
901		ギョウギシバ	○	○	○	○	○	○
902		カモガヤ	○	○	○	○	○	○
903		メヒシバ	○	○		○	○	○
904		コメヒシバ	○	○		○		○
905		アキメヒシバ	○	○		○	○	○
906		アブラススキ		○			○	○
907		イヌビエ	○	○	○	○	○	○
908		ケイヌビエ	○	○			○	○
909		タイヌビエ	○	○		○		○
910		ヒメイヌビエ		○				○
911		オヒシバ	○	○		○	○	○
912		アオカモジグサ			○	○	○	○
913		カモジグサ	○		○	○	○	○
914		シナダレスズメガヤ	○	○	○	○	○	○
915		カゼクサ	○	○		○	○	○
916		ニワホコリ	○	○		○	○	○
917		コスズメガヤ	○	○		○	○	○
918		ナルコビエ	○					○
919		オニウシノケグサ	○	○	○	○	○	○
920		トボシガラ			○	○	○	○
921		ヒロハノウシノケグサ	○		○	○	○	○
922		ムツオレグサ			○	○		○
923		ヒメウキガヤ			○		○	○
924		ドジョウツナギ	○		○	○	○	○
925		ウシノシッペイ		○		○		
926		ムギクサ			○			○

表 2.9.1-1(19)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
927	イネ	チガヤ	○	○	○	○	○	○
928		チゴザサ	○	○		○	○	○
929		アシカキ		○			○	○
930		エゾノサヤヌカグサ		○			○	○
931		サヤヌカグサ	○	○			○	○
932		アゼガヤ		○			○	○
933		ネズミホソムギ	○		○	○	○	○
934		ネズミムギ			○	○	○	○
935		ホソムギ			○		○	○
936		ササガヤ	○	○		○	○	○
937		ヒメアシボソ		○		○	○	○
938		アシボソ	○	○		○	○	○
939		オギ	○	○	○	○	○	○
940		ススキ	○	○	○	○	○	○
941		ネズミガヤ	○	○				○
942		ケチヂミザサ	○	○	○	○	○	○
943		コチヂミザサ	○	○	○	○	○	○
944		イネ	○					○
945		ヌカキビ		○		○	○	○
946		オオクサキビ		○				○
947		シマスズメノヒエ	○	○		○	○	○
948		アメリカスズメノヒエ	○	○			○	○
949		スズメノヒエ	○	○		○	○	○
950		タチスズメノヒエ	○					○
951		チカラシバ		○		○	○	○
952		クサヨシ	○	○	○	○	○	○
953		ヨシ	○	○	○	○	○	○
954		マダケ	○	○	○	○	○	○
955		クロチク		○			○	
956		ハチク	○	○	○	○		○
957		モウソウチク	○	○	○	○	○	○
958		アズマネザサ	○	○	○	○	○	○
959		メダケ	○	○	○	○	○	○
960		ミゾイチゴツナギ			○	○	○	○
961		スズメノカタビラ		○	○	○	○	○
962		アオスズメノカタビラ		○				○
963		ツルスズメノカタビラ	○		○			○
964		オオイチゴツナギ			○			○
965		ナガハグサ			○	○	○	○
966		イチゴツナギ			○	○	○	○
967		オオスズメノカタビラ			○	○	○	○
968		ヒエガエリ	○		○		○	○
969		ヤダケ	○		○	○		○
970		ハイヌメリ		○			○	○
971		ヌメリグサ		○			○	○
972		クマザサ	○	○	○	○	○	○
973		ウシクサ	○			○	○	
974		アキノエノコログサ	○	○		○	○	○
975		コツブキンエノコロ	○	○		○	○	○
976		キンエノコロ	○	○		○	○	○
977		オオエノコロ	○				○	○
978		エノコログサ	○	○		○	○	○

表 2.9.1-1(20)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
979	イネ	ムラサキエノコロ	○	○		○	○	○
980		オカメザサ	○	○	○	○	○	○
981		セイバンモロコシ	○	○		○	○	○
982		ノギナシセイバンモロコシ	○	○		○	○	○
983		ネズミノオ		○		○	○	○
984		カニツリグサ			○	○	○	○
985		ナギナタガヤ			○	○	○	○
986		マコモ	○	○	○	○	○	○
987		シバ	○	○	○	○	○	○
988		コウシュンシバ	○	○	○	○	○	○
989		コウライシバ	○	○		○		○
－		イネ科の一種	○	○		○		○
990	ヤシ	シュロ	○	○	○	○	○	○
991	サトイモ	ショウブ	○	○	○	○	○	○
992		セキショウ	○	○	○		○	○
993		ムサシアブミ			○			○
994		カントウマムシグサ			○	○	○	○
995		ウラシマソウ	○		○	○	○	○
－		テンナンショウ属の一種		○				○
996		カラスビシャク	○	○	○	○	○	○
997	ウキクサ	アオウキクサ	○	○	○		○	○
998		ウキクサ	○	○	○		○	○
999	ミクリ	ミクリ属の一種	○		○			○
1000	ガマ	ヒメガマ	○	○	○	○	○	○
1001		ガマ	○	○	○	○	○	○
1002		コガマ	○	○		○	○	○
1003	カヤツリグサ	エナシヒゴクサ			○	○		
1004		アオスゲ			○	○	○	○
1005		メアオスゲ			○			○
1006		ミヤマシラスゲ	○				○	
1007		ヒメカンスゲ			○	○	○	○
1008		オニスゲ	○		○	○	○	○
1009		アゼナルコ			○			○
1010		カサスゲ	○	○	○	○	○	○
1011		シラスゲ			○		○	○
1012		ケスゲ			○	○		○
1013		マスクサ	○		○	○	○	○
1014		ホソバヒカゲスゲ			○	○	○	○
1015		カワラスゲ			○		○	○
1016		ジュズスゲ			○	○	○	○
1017		ヒゴクサ	○		○	○		○
1018		ヒカゲスゲ			○	○	○	○
1019		ナキリスゲ	○	○		○	○	○
1020		ゴウソ			○		○	○
1021		ホシナシゴウソ			○	○		
1022		ノゲヌカスゲ			○			○
1023		シバスゲ			○		○	
1024		コジュズスゲ			○	○	○	○
1025		オオイトスゲ			○			○
1026		コイトスゲ			○		○	○
1027		タガネソウ	○	○	○	○	○	○
1028		アゼスゲ			○	○	○	○

表 2.9.1-1(21)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
1029	カヤツリグサ	ヤワラスゲ			○			○
－		スゲ属の一種	○	○		○	○	○
1030		チャガヤツリ	○	○			○	○
1031		アイダクグ	○	○				○
1032		ヒメクグ	○	○		○	○	○
1033		ユメノシマガヤツリ	○					○
1034		タマガヤツリ	○	○		○	○	○
1035		ホソミキンガヤツリ		○				○
1036		メリケンガヤツリ	○					○
1037		ショクヨウガヤツリ	○	○				○
1038		ヒナガヤツリ	○	○			○	○
1039		アゼガヤツリ	○	○			○	○
1040		ヌマガヤツリ		○				○
1041		コアゼガヤツリ	○	○		○	○	○
1042		コゴメガヤツリ	○	○		○	○	○
1043		カヤツリグサ	○	○		○	○	○
1044		ハマスゲ	○	○		○	○	○
1045		カワラスガナ		○			○	○
1046		ナンゴクカワラスガナ	○					○
1047		ミズガヤツリ	○					○
1048		マツバイ	○	○	○		○	○
1049		ハリイ	○	○	○	○	○	○
1050		クログワイ	○	○			○	○
1051		コシカクイ		○				○
1052		シカクイ	○	○		○		○
1053		ヒメヒラテンツキ	○	○				○
1054		テンツキ	○	○				○
1055		ケテンツキ	○					○
1056		クロテンツキ	○	○				○
1057		ヒデリコ	○	○		○	○	○
1058		アゼテンツキ		○			○	
1059		ウキヤガラ	○		○	○		
1060		ホタルイ	○	○	○	○	○	○
1061		イヌホタルイ	○	○			○	○
1062		フトイ			○			○
1063		カンガレイ	○	○		○		○
1064		サンカクイ	○	○				○
1065		マツカサススキ	○			○		
1066		アブラガヤ	○	○			○	○
1067	ショウガ	ハナミョウガ			○		○	
1068		ミョウガ	○	○	○	○	○	○
1069	ラン	シラン			○			○
1070		エビネ	○	○	○	○		○
1071		ギンラン	○	○	○	○		○
1072		キンラン	○	○	○	○	○	○
1073		ササバギンラン	○	○	○	○	○	○
1074		サイハイラン	○	○	○	○	○	○
1075		シュンラン	○	○	○	○	○	○
1076		マヤラン	○	○		○		○
1077		クマガイソウ			○			○
1078		クロヤツシロラン		○		○	○	○
1079		ミヤマウズラ	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-1(22)　確認された維管束植物

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			夏	秋	春	A	B	C
1080	ラン	クロムヨウラン	○				○	
1081		クモキリソウ	○					○
1082		コクラン	○	○	○	○	○	○
1083		ヨウラクラン	○	○	○	○	○	○
1084		オオバノトンボソウ	○	○	○	○	○	○
1085		ネジバナ	○		○		○	○
合計	153 科	1085 種	808 種	766 種	751 種	692 種	757 種	1001 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「植物目録 1987」（昭和 63 年　環境庁）に準拠した。
※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

(2) 蘚苔類

1) 確認された蘚苔類

確認された蘚苔類は、表 2.9.1-2 に示すとおりである。

表 2.9.1-2(1)　確認された蘚苔類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
1	スギゴケ	ヒメタチゴケ	○			○	○	○
2		ナミガタタチゴケ	○			○		
3		コスギゴケ	○					○
4		ウマスギゴケ		○				○
5	ホウオウゴケ	スナジホウオウゴケ	○				○	
6		チャボホウオウゴケ	○					○
7		キュウシュウホウオウゴケ	○	○				○
8		トサカホウオウゴケ		○				○
9		サツマホウオウゴケ			○			○
10		ジングウホウオウゴケ	○					○
11		ユウレイホウオウゴケ		○	○	○		○
12		キャラボクゴケ	○	○		○		○
13		コホウオウゴケ	○			○	○	○
－		ホウオウゴケ属の一種		○				○
14	ツチゴケ	ミヤコノツチゴケ	○					○
15	キンシゴケ	ヤノウエノアカゴケ		○				○
16	シッポゴケ	シシゴケ		○			○	
17		イクタマユハケゴケ		○	○			○
18		ヤマトツリバリゴケ	○					○
19		フデゴケ		○				○
20		ユミダイゴケ	○				○	
21	シラガゴケ	ホソバオキナゴケ	○			○		○
22	センボンゴケ	エゾネジクチゴケ		○				○
23		トウヨウネジクチゴケ	○			○		
24		ネジクチゴケ	○			○		○
25		ケネジクチゴケ			○			○
26		オオハナシゴケ		○				○
27		ハマキゴケ	○	○		○	○	○
28		ホンモンジゴケ	○		○		○	
29		ヘラハネジレゴケ	○				○	
30		ツチノウエノコゴケ	○				○	○
31		ツチノウエノタマゴケ	○			○	○	
32	ギボウシゴケ	ケギボウシゴケ	○				○	
33		ハチジレゴケ		○				○
34		ヒダゴケ	○				○	
－		チヂレゴケ属の一種	○					○
35		エゾスナゴケ	○				○	○
36	ヒナノハイゴケ	ヒナノハイゴケ		○		○		
37		サヤゴケ	○			○	○	○
38	カゲロウゴケ	カゲロウゴケ	○					○
39	ヒョウタンゴケ	ヒョウタンゴケ		○			○	
40		ヒロクチゴケ		○				○
41		アゼゴケ	○			○	○	○
42	ハリガネゴケ	ホソウリゴケ	○				○	
43		ギンゴケ		○				○

表 2.9.1-2(2)　確認された蘚苔類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
44	ハリガネゴケ	オオハリガネゴケ	○			○		
45		ケヘチマゴケ		○				○
46		ハリガネゴケ	○				○	
47	チョウチンゴケ	ナメリチョウチンゴケ	○	○		○		○
48		コツボゴケ	○			○	○	○
49		ツルチョウチンゴケ	○					○
50		コバノチョウチンゴケ	○				○	
51	タマゴケ	オオタマゴケ		○				○
52		コツクシサワゴケ	○	○			○	○
53		オオサワゴケ	○			○		
54	タチヒダゴケ	タチヒダゴケ	○					○
55		コゴメタチヒダゴケ	○					○
56		カラフトキンモウゴケ		○				○
57	ヒジキゴケ	ヒジキゴケ	○				○	
58	ヒラゴケ	チャボヒラゴケ	○				○	○
59	アブラゴケ	アブラゴケ	○			○		
60	コゴメゴケ	キノウエノケゴケ	○					○
61	ウスグロゴケ	ヒメウスグロゴケ		○		○		
62		ホソオカムラゴケ	○			○		
63	シノブゴケ	オオギボウシゴケモドキ	○				○	
64		ハリゴケ	○	○				○
65		ナガスジハリゴケ		○				○
66		ノミハニワゴケ	○			○	○	
67		コメバキヌゴケ	○			○		
68		コバノイトゴケ	○				○	
69		イワイトゴケ	○			○	○	○
70		チャボシノブゴケ	○				○	○
71		コバノエゾシノブゴケ		○		○	○	
72		トヤマシノブゴケ	○			○	○	○
73		オオアオシノブゴケ	○	○	○		○	○
74	ヤナギゴケ	コガネハイゴケ	○					○
75		ハヤマヤナギゴケ		○				○
76	アオギヌゴケ	ナガヒツジゴケ	○	○		○		○
－		アオギヌゴケ属の一種 1	○			○		
－		アオギヌゴケ属の一種 2		○			○	
77		ヤノネゴケ	○				○	
78		エゾヤノネゴケ	○					○
79		キブリナギゴケ		○				○
80		ツクシナギゴケモドキ	○					○
81		ツクシナギゴケ	○				○	○
82		コカヤゴケ	○			○		
83		アオハイゴケ		○				○
－		カヤゴケ属の一種	○			○		
84	ツヤゴケ	ヒロハツヤゴケ		○		○		
85	ナガハシゴケ	カガミゴケ		○		○		
86		コモチイトゴケ	○	○		○	○	○
87		ナガハシゴケ	○			○		
88	ハイゴケ	クサゴケ	○					○
89		ミヤマハイゴケ		○			○	○
90		ハイゴケ	○			○		○
91		アカイチイゴケ	○				○	

表 2.9.1-2(3)　確認された蘚苔類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
92	ハイゴケ	コウライイチイゴケ	○	○		○		○
93		キャラハゴケ	○	○		○	○	○
94	マツバウロコゴケ	チャボマツバウロコゴケ	○					○
95	ツキヌキゴケ	チャボホラゴケモドキ	○			○	○	○
96		フソウツキヌキゴケ		○			○	
97		トサホラゴケモドキ	○				○	
98	ヤバネゴケ	オタルヤバネゴケ		○			○	
99	コヤバネゴケ	ウニヤバネゴケ	○				○	
100	ツボミゴケ	アカウロコゴケ	○			○		
101		ツクシツボミゴケ	○				○	○
102	ウロコゴケ	ヒメトサカゴケ	○	○		○	○	○
－		フジウロコゴケ属の一種		○				○
103		ウロコゴケ	○			○		○
104		オオウロコゴケ	○					○
105	ケビラゴケ	クビレケビラゴケ	○				○	
106		ヤマトケビラゴケ		○				○
107	クラマゴケモドキ	チヂミカヤゴケ	○			○	○	○
108		ヤマトクラマゴケモドキ	○			○		
109	ヤスデゴケ	ミドリヤスデゴケ		○			○	
110		カギヤスデゴケ	○			○	○	
111		カラヤスデゴケ	○			○	○	○
112		ヒラキバヤスデゴケ		○				○
113	クサリゴケ	ヤマトヨウジョウゴケ	○	○		○	○	○
114		マルバヒメクサリゴケ	○					○
115		ナガシタバヨウジョウゴケ	○				○	
116		ヤマトコミミゴケ		○				○
117		コクサリゴケ	○	○			○	○
118		フルノコゴケ	○	○		○		
119	ウロコゼニゴケ	ウロコゼニゴケ	○	○				○
120	ミズゼニゴケ	ホソバミズゼニゴケ	○			○	○	
121	スジゴケ	スジゴケ属の一種	○					○
122	フタマタゴケ	ヤマトフタマタゴケ	○			○	○	
123	ミカヅキゼニゴケ	ミカヅキゼニゴケ	○			○		
124	ジャゴケ	ジャゴケ	○			○		○
125		ヒメジャゴケ	○			○	○	
126	アズマゼニゴケ	ケゼニゴケ	○			○	○	
127	ジンガサゴケ	ミヤコゼニゴケ	○			○	○	○
128		ジンガサゴケ	○			○		
129	ゼニゴケ	フタバネゼニゴケ	○					○
130		ゼニゴケ	○			○	○	○
131	ウキゴケ	ウスバハタケゴケ	○			○		○
132		ハタケゴケ	○	○				○
133		コハタケゴケ	○				○	○
134		ウロコハタケゴケ	○				○	○
135		ミヤケハタケゴケ	○					○
136		サビイロハタケゴケ	○					○
137		ヒメハタケゴケ	○				○	
138		イチョウウキゴケ	○	○	○	○	○	○
139	ツノゴケ	コツノゴケ	○				○	
140		ナガサキツノゴケ		○	○			○
141		ニワツノゴケ	○	○		○		○

表 2.9.1-2(4)　確認された蘚苔類

No.	科名	種名（和名）	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
142	ツノゴケ	コニワツノゴケ	○					○
143	ツノゴケモドキ	ヤマトツノゴケモドキ	○				○	○
合計	48 科	143 種	108 種	52 種	8 種	56 種	65 種	92 種

※1　配列等は、基本的に「日本の野生植物　コケ」（平成 13 年　岩月善之助編）に、各属の所属する科名と和名については、蘚類は「New catalog of the mosses of Japan.」（平成 16 年　Iwatsuki)、苔類のウキゴケ属は「日本産ウキゴケ属 Riccia 節の分類学的研究」（平成 26 年　富永・古木)、それ以外は「日本産タイ類ツノゴケ類チェックリスト」（平成 24 年　片桐・古木）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　アオギヌゴケ属の一種 1 及びアオギヌゴケ属の一種 2 について、種までの判断はできなかったが、明らかに別種であるため番号を付して、分けて表記した。

(3) 地衣類

1) 確認された地衣類

確認された地衣類は、表 2.9.1-3 に示すとおりである。

表 2.9.1-3(1)　確認された地衣類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期		調査区域		
			秋	春	A	B	C
1	ホシゴケ	ホシゴケ属の一種	○				○
2	コガネゴケ	コガネゴケ	○				○
3	リトマスゴケ	カシゴケ	○	○	○	○	○
4		クチナワゴケ	○				○
5		キゴウゴケ属の一種		○			○
6	ダイダイサラゴケ	ダイダイサラゴケ	○		○		○
7		ニセダイダイサラゴケ		○		○	
8	ヘリトリゴケ	ヘリトリゴケ	○		○		○
9	ハナゴケ	ドテハナゴケ		○			○
10		ニセヒメジョウゴゴケ	○		○		
11		ヒメジョウゴゴケ		○	○	○	
12		コアカミゴケ	○	○	○		○
13		マキバハナゴケ		○			○
14		ヒメレンゲゴケ	○	○	○		○
15		ツエハナゴケ		○	○		
16		ヒメジョウゴゴケモドキ	○		○		
17	タマイボゴケ	タマイボゴケ属の一種		○		○	
18	キゴケ	ヤマトキゴケ		○	○		○
－		キゴケ属の一種	○				○
19	イボゴケ	*Bacidia* cf. *schweinitzii*	○				○
20		*Bacidia* aff. *laurocerasi*		○			○
21	ロウソクゴケ	ロウソクゴケ	○			○	
22	チャシブゴケ	*Lecanora cinereocarnea*	○				○
23		シロフチイボゴケ		○			○
24		*Lecanora megalocheila*	○		○		
25		コナイボゴケ		○			○
26		モエギイボゴケ	○		○		
27	ウメノキゴケ	キウメノキゴケ	○		○		○
28		ゴンゲンゴケ		○			○
－		コンゲンゴケ属の一種	○			○	
29		センシゴケ		○			○
－		センシゴケ属の一種	○				○
30		コナウチキウメノキゴケ	○				○
31		ウチキウメノキゴケ		○			○
32		ヒカゲウチキウメノキゴケ		○		○	
－		ウチキウメノキゴケ属の一種	○				○
33		トゲウメノキゴケ	○	○			○
34		コナヒメウメノキゴケ	○	○			○
35		ナミガタウメノキゴケ	○		○		○
36		ニセマツゲゴケ		○	○		○
37		コナマツゲゴケ		○			○
38		ウスイロマツゲゴケ	○	○			○
39		ウメノキゴケ	○		○		
40		ハクテンゴケ	○	○	○	○	
41		トゲハクテンゴケ		○		○	○

表 2.9.1-3(2)　確認された地衣類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期		調査区域		
			秋	春	A	B	C
42	ウメノキゴケ	マツゲゴケ	○	○	○	○	○
43		オオマツゲゴケ	○	○	○	○	○
44		アカヒゲゴケ		○		○	
45	カラタチゴケ	コフキカラタチゴケ	○	○			○
46	ムカデゴケ	コフキヂリナリア	○	○	○	○	
47		キウラゲジゲジゴケ	○		○		○
48		コフキゲジゲジゴケ	○	○			○
49		ニセヤマゲジゲジゴケ		○			○
50		コナムカデゴケモドキ		○			○
51		*Hyperphyscia crocata*	○		○		
52		コナアカハラムカデゴケ	○		○		
53		*Phaeophyscia spinellosa*	○				○
54		*Physcia orientalis*	○		○		○
55		ムカデコゴケ	○	○	○	○	
56	イワノリ	コザライワノリ		○			○
57		トゲカワホリゴケ		○		○	
－		イワノリ属の一種	○			○	
58		コバノアオキノリ	○				○
59		コナアオキノリ		○			○
60	センニンゴケ	コナセンニンゴケ	○		○		○
61	（科不明）	レプラゴケ属の一種 1		○			○
62		レプラゴケ属の一種 2		○		○	
63	トリハダゴケ	イワニクイボゴケ	○	○	○		
64		オリーブトリハダゴケ	○		○		
65	ダイダイゴケ	ダイダイゴケ		○			○
66		ツブダイダイゴケ	○				○
67	サネゴケ	サネゴケ	○				○
68		*Pyrenula neojaponica*	○		○		
69		*Pyrenula* aff. *nitida*		○			○
－		サネゴケ属の一種	○		○		
70	モジゴケ	ツツジノモジゴケ	○		○		
71		ニセモジゴケ		○	○		○
72		コモジゴケ	○	○	○	○	
73		サクラモジゴケ		○			○
74		ホソモジゴケ	○	○	○	○	
75		コフキモジゴケ	○	○	○	○	
76	フジゴケ	*Diploschistes* aff. *gypsaceus*	○				○
77	マンジュウゴケ	アオバゴケ		○			○
78	アナイボゴケ	ドロヒメカワイワタケ	○			○	
合計	24 科	78 種	51 種	48 種	34 種	20 種	51 種

※1　配列等は、基本的に「日本産地衣類の分類体系」（平成 19 年　吉村ほか）に、種名は、基本的に「日本産地衣類および関連菌類のチェックリスト」（平成 16 年　原田ほか）、に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　レプラゴケ属の一種 1 及びレプラゴケ属の一種 2 について、種までの判断はできなかったが、明らかに別種であるため番号を付して、分けて表記した。また、科は不明であるが、科あるものとして数えた。

(4) 大型菌類（キノコ類）

1) 確認された大型菌類（キノコ類）

確認された大型菌類（キノコ類）は、表 2.9.1-4 に示すとおりである。

表 2.9.1-4(1)　確認された大型菌類（キノコ類）

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
1	ヒラタケ	キヒラタケ	○					○
2		ヒラタケ	○	○		○	○	
3		ウスヒラタケ	○				○	
4		トキイロヒラタケ	○				○	
5		アラゲカワキタケ		○		○		
6		マツオウジ			○	○		
7		スエヒロタケ	○	○	○	○	○	○
8	ヌメリガサ	オトメノカサ	○					○
9		ハダイロガサ	○				○	
10		アカヤマタケ	○		○	○		○
11		ベニヒガサ	○					○
12	キシメジ	ハタケシメジ	○			○	○	○
13		ヒメムラサキシメジ	○			○		
14		カレバキツネタケ	○		○	○	○	○
15		シロゲカヤタケ	○			○		○
16		ムラサキシメジ	○			○		○
17		ウラムラサキシメジ	○			○	○	
18		キシメジ	○			○		
19		シロシメジ	○			○		
20		カキシメジ	○			○		
21		ナラタケ	○			○	○	○
22		オリーブサカズキタケ			○			○
23		ヒナノヒガサ	○		○	○		○
24		スギカワタケ		○	○	○	○	
25		クロゲシジミタケ	○					○
26		シジミタケ	○				○	
27		ヒメムキタケ			○	○		
28		ワサビタケ	○			○		
29		ムキタケ	○				○	
30		ヌメリツバタケ	○				○	○
31		ツエタケ	○		○	○	○	○
32		ヒロヒダタケ			○			○
33		スギエダタケ	○			○	○	○
34		アオキオチバタケ			○		○	
35		ハナオチバタケ	○				○	○
36		スジオチバタケ			○	○		
37		オオホウライタケ	○		○	○	○	○
38		チシオタケ	○	○		○	○	○
39		サクラタケ	○			○		
40		ヒメカバイロタケ			○			○
41		エノキタケ	○			○		
42		ダイダイガサ	○		○			○
43	テングタケ	テングタケ	○		○	○	○	○
44		テングツルタケ			○	○		
45		ツルタケ	○		○	○		○

表 2.9.1-4(2)　確認された大型菌類（キノコ類）

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
46	テングタケ	ナガミノツルタケ	○			○		
47		カバイロツルタケ	○			○		
48		タマゴタケ	○					○
49		ミヤマタマゴタケ	○			○		
50		シロタマゴテングタケ			○			○
51		ニオイドクツルタケ	○			○	○	
52		コタマゴテングタケ	○			○		○
53		フクロツルタケ	○					○
54		ガンタケ	○					○
55	ウラベニガサ	クロフチシカタケ			○	○		
56		カサヒダタケ			○			○
57		ウラベニガサ	○	○	○	○		○
58		ヒョウモンウラベニガサ			○			○
59		キアシベニヒダタケ		○		○		
60		ヒイロベニヒダタケ			○			○
61	ハラタケ	カラカサタケ	○			○		
62		マントカラカサタケ	○				○	
63		マルミノヒガサタケ	○				○	
64		ナカグロモリノカサ			○	○		○
65		クロヒメオニタケ	○				○	
66		オニタケ	○			○		○
67		コガネタケ	○			○		○
68	ヒトヨタケ	ヒトヨタケ		○			○	
69		クズヒトヨタケ	○			○		
70		キララタケ		○	○	○		
71		コキララタケ			○	○		○
72		イヌセンボンタケ	○				○	
73		コツブヒメヒガサヒトヨタケ			○	○		
74		ハイイロイタチタケ			○	○	○	○
75		ウスベニイタチタケ		○				○
76	オキナタケ	タマムクエタケ	○			○		
77		ツチナメコ	○				○	○
78		ツバナシツチナメコ	○					○
79	モエギタケ	モエギタケ	○				○	
80		ニガクリタケ	○	○		○	○	○
81		スギタケ	○					○
82		ヌメリスギタケモドキ	○			○		○
83	フウセンタケ	オオキヌハダトマヤタケ	○			○		
84		キヌハダトマヤタケ	○			○		
85		シラゲアセタケ	○			○		○
86		コバヤシアセタケ	○			○		
87		ササクレキヌハダトマヤタケ			○	○		
88		シロニセトマヤタケ			○	○		
89		ヒメワカフサタケ	○			○		
90		ミドリスギタケ	○		○	○	○	
91		チャツムタケ	○		○	○		○
92		ドクアジロガサ	○				○	○
93	チャヒラタケ	チャムクエタケモドキ		○			○	
94		クリゲノチャヒラタケ			○			○
95	イッポンシメジ	クサウラベニタケ	○			○	○	
96		ウメハルシメジ		○			○	○

表 2.9.1-4(3)　確認された大型菌類（キノコ類）

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
97	ヒダハタケ	ヤブニワタケ	○					○
98		サケバタケ			○			○
99	イグチ	クリイロイグチ			○	○		
100		チチアワタケ	○					○
101		イロガワリキヒダタケ			○			○
102		キッコウアワタケ			○			○
103		ヤマドリタケモドキ			○	○		○
104		クロアワタケ						
105		イロガワリ（広義）			○		○	
106		ダイダイイグチ	○		○		○	○
107		ミドリニガイグチ			○	○		
108		ウラグロニガイグチ			○	○		
109		ニガイグチモドキ			○	○		
110		スミゾメヤマイグチ			○	○		
111	ベニタケ	アイバシロハツ			○			○
112		クロハツ			○			○
113		クサハツ			○	○		
114		キチャハツ			○			○
115		チギレハツタケ			○	○		○
116		ケショウハツ			○			○
117		ウコンハツ			○			○
118		ヒビワレシロハツ	○		○	○		○
119		アカモミタケ	○					○
120	アンズタケ	アンズタケ			○	○		
121	シロソウメンタケ	ナギナタタケ	○					○
122	カレエダタケ	カレエダタケモドキ				○		
123	コウヤクタケ	チヂレタケ	○	○		○	○	○
124		サガリハリタケ	○			○		
125	ウロコタケ	チャウロコタケ	○	○	○	○	○	○
126		チウロコタケ	○	○		○		○
127		ミヤマチャウロコタケ	○				○	○
128		オオカタウロコタケ	○	○		○		○
129		オオウロコタケ	○	○		○	○	
130		モミジウロコタケ	○		○		○	○
131		カミウロコタケ	○	○		○		○
132	シワタケ	タチウロコタケ	○				○	
133		カワシワタケ	○					○
134	イドタケ	オガサワラハリヒラタケ	○					○
135	タチウロコタケ	ハナウロコタケ	○			○		
136	カンゾウタケ	カンゾウタケ	○			○		
137	ニクハリタケ	アカウスバタケ	○					○
138		ニセニクハリタケ	○		○	○	○	○
139		フサツキコメバタケ		○				○
140	カノシタ	シロカノシタ	○					○
141	イボタケ	クサハリタケ	○				○	○
142	ニンギョウタケモドキ	コウモリタケ	○					○
143	タコウキン	シックイタケ	○	○	○	○	○	○
144		タマチョレイタケ			○	○		
145		アミヒラタケ	○	○	○	○		○
146		ハチノスタケ	○	○	○	○	○	○
147		スジウチワタケモドキ			○			○

表 2.9.1-4(4)　確認された大型菌類（キノコ類）

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
148	タコウキン	スジウチワタケ			○	○		
149		アミスギタケ		○	○	○		○
150		アミキアシグロタケ			○	○		
151		キアシグロタケ	○				○	○
152		ツヤウチワタケ			○			○
153		ウチワタケ	○	○	○	○	○	○
154		ヒラフスベ	○		○		○	○
155		アケボノオシロイタケ			○	○		○
156		アオゾメタケ	○				○	○
157		ヌルデタケ		○			○	○
158		ニッケイタケ	○		○	○	○	○
159		ヒイロタケ	○	○	○	○	○	○
160		ホウロクタケ		○				○
161		チリメンタケ		○	○	○		○
162		クジラタケ	○	○		○		○
163		センベイタケ	○	○	○	○	○	○
164		シカタケ	○		○	○		
165		カワラタケ	○	○	○	○	○	○
166		アラゲカワラタケ	○	○		○	○	
167		ニクウスバタケ	○	○	○	○	○	○
168		ミノタケ	○			○		
169		カイガラタケ	○	○	○	○	○	○
170		ミダレアミタケ		○	○	○		○
171		シハイタケ		○	○		○	○
172		ハカワラタケ	○	○	○	○	○	○
173		エビウラタケ	○	○	○			○
174		ヤケイロタケ	○	○	○		○	○
175		エゴノキタケ	○	○	○	○	○	○
176		チャカイガラタケ	○		○	○	○	○
177		ベッコウタケ	○	○	○	○	○	
178		ウズラタケ	○		○	○		○
179		マツノネクチタケ			○	○		
180		ヒメカタパンタケ		○		○		
177		ホウネンタケ	○	○	○	○	○	○
181	マンネンタケ	オオミノコフキタケ	○	○	○	○	○	○
182	タバコウロコタケ	ワヒダタケ		○			○	
183		カワウソタケ	○				○	○
184		アミヒラタケ	○	○	○	○		○
185		ダイダイタケ		○	○	○		○
186		ネンドタケ	○	○	○	○	○	○
187		ネンドタケモドキ	○	○	○	○		○
188		コブサルノコシカケモドキ	○	○			○	○
189		カシサルノコシカケ	○				○	
190	ツチグリ	ツチグリ	○		○	○	○	
191	ニセショウロ	ザラツキカタカワタケ	○			○		
192	チャダイゴケ	スジチャダイゴケ	○		○	○		
193		ハタケチャダイゴケ	○		○	○		
194	ヒメツチグリ	エリマキツチグリ	○			○	○	○
195		ケフクロツチガキ	○					○
196	ホコリタケ	キホコリタケ	○					○
197	アカカゴタケ	サンコタケ	○		○	○		

表 2.9.1-4(5)　確認された大型菌類（キノコ類）

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
198	スッポンタケ	コイヌノエフデ	○					○
199		キツネノタイマツ	○			○		
200		スッポンタケ	○			○	○	○
201	シロキクラゲ	クロハナビラニカワタケ			○			○
202		ハナビラニカワタケ	○					○
203		キイロニカワタケ			○			○
204		コガネニカワタケ		○		○		
205		ロウタケ	○					○
206	キクラゲ	キクラゲ	○	○	○	○	○	○
207		アラゲキクラゲ	○	○	○	○	○	○
208		ヒダキクラゲ		○				○
209	ヒメキクラゲ	ヒメキクラゲ		○		○		
210		タマキクラゲ	○	○	○	○	○	○
211		オロシタケ	○	○	○	○	○	○
212	アカキクラゲ	ツノフノリタケ			○			○
213		ツノマタタケ	○			○	○	
214	マユハキタケ	マユハキタケ	○	○	○	○		○
215	テングノメシガイ	ナナフシテングノメシガイ	○			○		○
216	キンカクキン	ニセキンカクアカビョウタケ	○		○	○	○	○
217		ツバキキンカクチャワンタケ		○		○	○	○
218		*Ciborinia gracilipes*		○		○	○	
219		ドングリキンカクキン	○			○		
220		マツカサチャワンタケ		○				○
221		キツノネノワン		○			○	○
222		キツネノヤリ		○			○	○
223	ズキンタケ	ムラサキゴムタケ	○			○	○	○
224		ズキンタケ	○			○		○
225		ミズベノニセズキンタケ		○				○
226		ヒメロクショウグサレキン	○				○	○
227	クロチャワンタケ	クロチャワンタケ		○				○
228		オオゴムタケ	○			○	○	○
229	ベニチャワンタケ	ベニチャワンタケモドキ	○			○		○
230		シロキツネノサカズキ			○			○
231	ノボリリュウタケ	オオシトネタケ		○				○
232		クラガタノボリリュウ	○					○
233		ノボリリュウ			○	○		
234		ナガエノチャワンタケ	○				○	
235	アミガサタケ	トガリアミガサタケ		○		○		○
236		アミガサタケ		○			○	○
237	チャワンタケ	オオチャワンタケ		○				○
238	バッカクキン	カメムシタケ			○	○		
239		サナギタケ	○			○		
240		タイワンアリタケ	○				○	○
241	スチルベラ	ヤンマタケ	○				○	
242	ボリニア	ヘタタケ	○			○		
243		クロコバンタケ	○		○	○		○
244	ニクザキン	カラスノボタンタケ	○					○
245	クロサイワイタケ	コブリノマメザヤタケ			○			○
246		マメザヤタケ		○		○		
247		クロコブタケ	○	○	○	○	○	○
248		オオミコブタケ	○		○	○		○

表 2.9.1-4(6)　確認された大型菌類（キノコ類）

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期			調査区域		
			秋	春	夏	A	B	C
249	クロサイワイタケ	ハチスタケ	○				○	
250		*Rosellinia necatrix*		○		○		
合計	56 科	250 種	162 種	72 種	112 種	148 種	94 種	157 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「原色日本新菌類図鑑Ⅰ、Ⅱ」（昭和 62 年、昭和 64 年　今関六也・本郷次雄）に準拠した。

(5) 付着藻類

1) 付着藻類調査地点概要

付着藻類調査地点概要は、表 2.9.1-5 に示すとおりである。

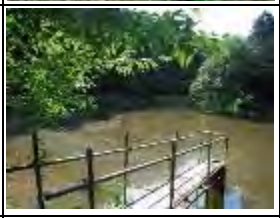
表 2.9.1-5(1)　付着藻類調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
1	取香川に流入する 2 面又は 3 面のコンクリート護岸の水路。幅約 2m。		2	取香川（小菅橋付近）。一部 2 面コンクリート護岸。幅約 10m。	
3	取香川に流入する 2 面又は 3 面のコンクリート護岸の水路。幅約 1m。		4	荒海川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
6	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。		7	荒海川に流入する素掘りの水路。幅約 1m。	
8	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		9	尾羽根川。一部 2 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
10	尾羽根川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。		11	尾羽根川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
14	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 1m。		16	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 2m。	
17	高谷川。3 面コンクリート護岸。幅約 2m		18	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	

表 2.9.1-5(2)　付着藻類調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
19	高谷川。3面コンクリート護岸。幅約 3m。		20	浅川。素掘り。幅約 1m。	
21	グリーンポート　エコ・アグリパーク内の水域。		22	浅川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。	
23	浅川（浅川橋付近）。3 面コンクリート護岸。幅約 3.5m。		24	高谷川（白桝橋付近）。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 4m。	
25	富里ゴルフ倶楽部の調整池。素掘り。高谷川に流入する。		26	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1.5m。	
27	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。		28	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 2m。	
29	高谷川。2 面又は 3 面コンクリート護岸。幅約 5m。		30	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	
31	高谷川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		32	空港区域内の調整池。コンクリート護岸。	
33	溜池。素掘り。荒海川に流入する。		34	荒海川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	

表 2.9.1-5(3)　付着藻類調査地点概要

No.	地点概要		No.	地点概要	
36	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		37	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。	
38	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 1m。		39	多古橋川（はやししんばし）。素掘り。幅約 5m。	
40	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.3m。		41	溜池（佐野池）。素掘り。多古橋川に流入する。	
42	溜池（大原池）。素掘り。多古橋川に流入する。		43	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.5m。	
44	溜池（井野池）。素掘り。多古橋川に流入する。		45	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。井野池の下流にあたる。幅約 0.5m。	
46	多古橋川に流入する 2 面又は 3 面コンクリート護岸の水路。幅約 0.3m。		47	空港区域内の調整池（三里塚さくらの丘付近）。コンクリート護岸。	
49	空港区域内の調整池。滞水池と連続がある。堤はコンクリート。他は素掘り。		50	取香川（新空港自動車道陸橋下）。多自然型護岸。幅約 10m。	
52	空港区域内の滞水池。一部はコンクリート護岸。		－	－	－

※　欠番となっている調査地点の No.5、No.12、No.13、No.15、No.35、No.48、No.50、No.51 については予備の地点として設定したものであり、調査は未実施である。

2) 確認された付着藻類

確認された付着藻類は、表 2.9.1-6 に示すとおりである。

表 2.9.1-6(1)　確認された付着藻類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
1	クオロコックス	*Merismopedia glauca*				○		○	
2		*Merismopedia tenuissima*	○	○		○	○	○	
3		*Microcystis aeruginosa*	○	○		○		○	○
4		*Microcystis wesenbergii*	○	○	○	○		○	○
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.	○	○				○	○
6		*Homoeothrix janthina*	○	○	○	○	○	○	○
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.	○	○				○	○
－		ネンジュモ科の一種	○			○		○	○
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.	○	○		○	○	○	○
9		*Lyngbya* sp.	○	○	○	○	○	○	○
10		*Oscillatoria* sp.	○	○	○	○	○	○	○
11		*Phormidium* sp.	○	○	○	○	○	○	○
12		*Pseudanabaena mucicola*	○	○		○		○	
13		*Spirulina* sp.	○					○	
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.	○	○	○	○		○	○
15	オオイシソウ	オオイシソウ		○		○		○	○
－		*Compsopogon* sp.	○	○				○	○
16	カワモズク	チャイロカワモズク			○	○	○	○	○
17		アオカワモズク		○	○	○	○	○	○
－		*Batrachospermum* sp.			○			○	○
18	コノハノリ	ホソアヤギヌ		○			○		
－	－	真正紅藻亜綱	○	○	○	○	○	○	○
19	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.	○	○	○	○	○	○	○
20	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*	○	○		○		○	○
21	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*	○				○		○
－		*Peridinium* sp.	○	○	○	○	○	○	○
22	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.		○	○	○	○	○	○
23		*Kephyrion* sp.				○	○	○	○
24	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*	○	○	○	○	○	○	○
25		*Dinobryon elegantissimum*				○	○		○
26		*Dinobryon sertularia*		○	○	○		○	○
27	シヌラ	*Mallomonas* sp.	○	○	○	○	○	○	○
28		*Synura* sp.			○		○	○	
29	バクオラリア	*Gonyostomum* sp.	○	○	○		○	○	○
30	タラシオシーラ	*Cyclotella asterocostata*				○			○
31		*Cyclotella meneghiniana*	○	○	○	○	○	○	○
32		*Discostella pseudostelligera*	○	○	○	○	○	○	○
33		*Discostella stelligera*	○	○	○	○	○	○	○
34		*Stephanodiscus* spp.	○	○	○	○	○	○	○
35	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*	○	○	○	○	○	○	○
36		*Aulacoseira granulata*	○	○	○	○	○	○	○
－		*Aulacoseira* sp.	○	○	○	○	○	○	○
37		*Melosira varians*	○	○	○	○	○	○	○
38		*Pleurosira laevis*	○	○	○	○	○	○	○
39	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*	○					○	

表 2.9.1-6(2)　確認された付着藻類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
40	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*		○	○	○		○	○
41	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	○	○	○	○	○	○	○
42	ディアトマ	*Asterionella formosa*			○	○	○		
43		*Diatoma mesodon*				○			○
44		*Diatoma vulgaris*	○	○	○	○	○		○
45		*Fragilaria capitellata*			○	○	○		○
46		*Fragilaria capucina*	○	○	○	○	○	○	○
47		*Fragilaria crotonensis*		○	○	○	○	○	
48		*Fragilaria nanana*	○	○	○	○	○	○	○
49		*Fragilaria rumpens*			○	○	○	○	○
50		*Fragilaria rumpens* ar.*fragilarioides*	○	○		○	○	○	○
51		*Fragilaria vaucheriae*	○	○	○	○	○	○	○
－		*Fragilaria* sp.		○	○	○	○	○	○
52		*Hannaea arcus var.amphioxys*				○			○
53		*Meridion circulare var.constrictum*		○	○	○		○	○
54		*Staurosira construens*	○	○	○	○	○	○	○
55		*Staurosira construens* var.*binodis*	○	○	○	○	○	○	○
56		*Staurosira construens* var.*venter*	○	○	○	○	○	○	○
57		*Staurosirella pinnnata*	○	○	○	○	○	○	○
58		*Synedra berolinensis*	○	○	○	○		○	
59		*Ulnaria acus*	○	○	○	○	○	○	○
60		*Ulnaria inaequalis*				○		○	
61		*Ulnaria pseudogaillonii*	○		○	○	○	○	○
62		*Ulnaria ulna*	○	○	○	○	○	○	○
63	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*	○	○	○	○	○	○	○
－		*Eunotia* spp.	○	○	○	○	○	○	○
64	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*		○	○	○	○	○	○
65		*Amphora montana*		○	○	○	○		○
66		*Amphora ovalis*				○			○
67		*Amphora pediculus*	○	○	○	○	○	○	○
68		*Amphora strigosa*	○	○		○	○	○	○
－		*Amphora* sp.	○	○	○	○	○	○	○
69		*Brachysira* sp.			○	○		○	
70		*Caloneis bacillum*	○	○	○	○	○	○	○
－		*Caloneis* spp.	○	○	○	○		○	○
71		*Cymbella aspera*				○			○
72		*Cymbella cuspidata*	○						○
73		*Cymbella naviculiformis*	○	○	○	○	○	○	○
74		*Cymbella tumida*	○	○	○	○	○	○	○
75		*Cymbella turgidula*		○		○	○		○
76		*Cymbella turgidula* var.*nipponica*	○	○		○	○	○	○
74		*Cymbella tumida*	○	○	○	○	○	○	○
－		*Cymbella* sp.				○	○		
77		*Diploneis boldtiana*	○	○	○	○	○	○	○
78		*Diploneis elliptica*	○	○	○	○	○	○	○
79		*Diploneis yatukaensis*	○		○	○	○		○
－		*Diploneis* sp.				○			○
80		*Encyonema leei*	○	○	○	○	○	○	○
81		*Encyonema minutum*	○	○	○	○	○	○	○
82		*Encyonema prostratum*	○	○	○	○	○	○	○
83		*Encyonema silesiacum*	○	○	○	○	○	○	○
－		*Encyonema* sp.				○		○	○

表 2.9.1-6(3)　確認された付着藻類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
84	ナビクラ	*Frustulia rhomboides*	○	○	○	○	○	○	○
85		*Frustulia rhomboides* var.*crassinervia*	○	○	○	○	○	○	○
86		*Frustulia vulgaris*	○		○	○	○	○	○
87		*Gomphoneis heterominuta*	○	○	○		○	○	○
88		*Gomphonema acuminatum*			○	○		○	
89		*Gomphonema clevei*	○	○	○	○	○	○	○
90		*Gomphonema contraturris*	○	○	○	○	○		○
91		*Gomphonema gracile*	○	○	○	○	○	○	○
92		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○	○	○
93		*Gomphonema pseudoaugur*	○				○		
94		*Gomphonema pumilum* var.*rigidum*	○	○	○	○	○	○	○
95		*Gomphonema truncatum*			○	○	○		○
－		*Gomphonema* spp.	○		○	○	○	○	○
96		*Gyrosigma* spp.	○	○	○	○	○	○	○
97		*Navicula angusta*			○				○
98		*Navicula atomus*	○	○	○	○	○	○	○
99		*Navicula bacillum*		○	○	○	○	○	○
100		*Navicula capitata*	○	○	○	○	○	○	○
101		*Navicula capitatoradiata*	○	○	○	○	○	○	○
102		*Navicula clementis*			○	○	○	○	○
103		*Navicula clementoides*			○	○		○	○
104		*Navicula concentrica* var.*angusta*	○		○				○
105		*Navicula confervacea*	○	○	○	○	○	○	○
106		*Navicula contenta* f.*biceps*	○	○	○	○	○	○	○
107		*Navicula cryptocephala*	○	○	○	○	○	○	○
108		*Navicula cryptotenella*	○	○	○	○	○	○	○
109		*Navicula decussis*	○	○	○	○	○	○	○
110		*Navicula elginensis*	○	○	○	○	○	○	○
111		*Navicula gregaria*	○	○	○	○	○	○	○
112		*Navicula hungarica* var.*linearis*			○	○		○	○
113		*Navicula lanceolata*			○				○
114		*Navicula minima*	○	○	○	○	○	○	○
115		*Navicula molestiformis*	○						○
116		*Navicula mutica*	○	○	○	○	○	○	○
117		*Navicula mutica* var.*ventricosa*	○			○	○		○
118		*Navicula nipponica*	○	○	○	○	○	○	○
119		*Navicula protractoides*			○	○	○	○	○
120		*Navicula pseudacceptata*	○	○	○	○	○	○	○
121		*Navicula pygmaea*	○			○		○	○
122		*Navicula rhynchocephala*	○	○	○	○	○	○	○
123		*Navicula rostellata*	○	○	○	○	○	○	○
124		*Navicula schroeterii*	○	○	○	○	○	○	○
125		*Navicula seminuloides*	○	○	○	○	○	○	○
126		*Navicula seminulum*	○	○	○	○	○	○	○
127		*Navicula subminuscula*	○	○	○	○	○	○	○
128		*Navicula subrostellata*	○	○	○	○	○	○	○
129		*Navicula tripunctata*	○	○	○	○	○	○	○
130		*Navicula trivialis*	○	○		○	○	○	○
131		*Navicula veneta*	○						○
132		*Navicula viridula*				○			○
133		*Navicula viridula* var.*linearis*			○	○		○	○
134		*Navicula yuraensis*	○	○	○	○	○	○	○

表 2.9.1-6(4)　確認された付着藻類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
－	ナビクラ	*Navicula* spp.	○	○	○	○	○	○	○
135		*Neidium* spp.	○	○	○	○	○	○	○
136		*Pinnularia borealis*			○	○	○	○	○
－		*Pinnularia* spp.	○	○	○	○	○	○	○
137		*Reimeria sinuata*	○	○	○	○	○	○	○
138		*Rhoicosphenia abbreviata*	○	○	○	○	○	○	○
139		*Sellaphora japonica*	○	○	○	○	○	○	○
140		*Sellaphora pupula*	○	○	○	○	○	○	○
141		*Stauroneis anceps*	○	○	○	○		○	○
142		*Stauroneis phoenicenteron*	○		○	○	○		○
－		*Stauroneis* sp.	○	○	○	○	○	○	○
143	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*	○	○	○	○	○		○
144		*Achnanthes rupestoides*	○	○	○	○	○	○	○
145		*Achnanthidium atomus*	○	○	○		○	○	○
146		*Achnanthidium clevei*	○	○	○	○	○	○	○
147		*Achnanthidium delicatulum*	○	○	○	○	○	○	○
148		*Achnanthidium exiguum*	○	○	○	○	○	○	○
149		*Achnanthidium japonicum*	○	○	○	○	○	○	○
150		*Achnanthidium lapidosum*	○			○		○	○
151		*Achnanthidium minutissimum*	○	○	○	○	○	○	○
152		*Achnanthidium subhudsonis*	○	○	○	○	○	○	○
153		*Cocconeis pediculus*	○	○	○	○	○	○	○
154		*Cocconeis placentula*	○	○	○	○	○	○	○
155		*Cocconeis placentula* var.*euglypta*	○	○	○	○	○	○	○
156		*Karayevia laterostrata*	○	○	○		○	○	○
157		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○
158	エピテミア	*Epithemia* sp.	○	○	○		○	○	○
159		*Rhopalodia gibba*	○	○		○	○		○
160		*Rhopalodia gibba* var.*ventricosa*	○			○		○	○
－		*Rhopalodia* sp.	○			○			○
161	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*	○	○	○	○	○	○	○
162		*Denticula* sp.				○		○	○
163		*Hantzschia amphioxys*	○	○	○	○	○	○	○
164		*Nitzschia acicularis*	○	○	○	○	○	○	○
165		*Nitzschia acidoclinata*	○	○	○	○	○	○	○
166		*Nitzschia amphibia*	○	○	○	○	○	○	○
167		*Nitzschia brevissima*	○	○	○	○	○	○	○
168		*Nitzschia clausii*	○	○	○	○	○	○	○
169		*Nitzschia dissipata*	○	○	○	○	○	○	○
170		*Nitzschia fonticola*	○	○	○	○	○	○	○
171		*Nitzschia frustulum*	○	○	○	○	○	○	○
172		*Nitzschia hantzschiana*	○		○	○	○	○	○
173		*Nitzschia inconspicua*	○	○	○	○	○	○	○
174		*Nitzschia intermedia*	○	○	○		○	○	○
175		*Nitzschia levidensis* var.*salinarum*	○	○	○	○	○	○	○
176		*Nitzschia linearis*	○	○	○	○	○	○	○
177		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○	○
178		*Nitzschia paleacea*	○	○	○	○	○	○	○
179		*Nitzschia pusilla*	○	○	○	○	○	○	○
180		*Nitzschia sigma*	○					○	
181		*Nitzschia sinuata* var.*delognei*	○	○	○	○	○	○	○
182		*Nitzschia tubicola*			○	○		○	○

表 2.9.1-6(5)　確認された付着藻類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
183	ニッチア	*Nitzschia vermicularis*	○		○	○	○	○	○
－		*Nitzschia* spp.	○	○	○	○	○	○	○
184	スリレラ	*Cymatopleura solea*	○	○	○	○	○	○	○
185		*Surirella angusta*	○	○	○	○	○	○	○
186		*Surirella brebissonii*				○			○
187		*Surirella brebissonii* var.*kuetzingii*				○		○	
188		*Surirella linearis*	○		○	○	○	○	○
189		*Surirella minuta*	○	○	○	○	○	○	○
190		*Surirella tenera*				○		○	○
191	ミドリムシ	*Euglena* spp.	○	○	○	○	○	○	○
192		*Phacus* sp.				○		○	
－		*Phacus* spp.	○	○	○	○	○		○
193		*Trachelomonas* spp.	○	○	○	○	○	○	○
194	クラミドモナス	*Carteria* sp.	○				○		
195		*Chlamydomonas* sp.	○	○	○	○	○	○	○
196	－	ヨツメモ目の一種				○	○		
197	クロロコックム	*Characium* sp.	○	○		○	○	○	○
198		*Schroederia setigera*	○	○		○	○	○	○
199		*Tetraedron minimum*		○	○	○		○	○
－		クロロコックム科の一種			○			○	
200	バルメラ	*Sphaerocystis* sp.	○	○		○		○	○
201	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*	○	○	○	○	○	○	○
202		*Kirchneriella contorta*	○	○		○	○	○	○
203		*Lagerheimia ciliata*	○	○		○	○	○	○
204		*Monoraphidium minutum*	○	○		○	○	○	○
－		*Monoraphidium* spp.	○	○	○	○	○	○	○
205		*Oocystis* sp.	○	○	○	○	○	○	○
206		*Treubaria* sp.	○					○	○
207	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*	○	○		○	○	○	○
208	ミクラクチニウム	*Micractinium pusillum*	○	○	○	○	○	○	○
209	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*	○	○	○	○	○	○	○
210	セネデスムス	*Coelastrum astroideum*	○	○	○		○	○	○
211		*Coelastrum microporum*	○	○				○	○
212		*Coelastrum reticulatum*	○	○		○	○	○	○
213		*Crucigenia crucifera*	○	○		○	○	○	○
214		*Crucigenia fenestrata*	○		○				○
215		*Crucigenia tetrapedia*	○	○				○	○
216		*Scenedesmus acuminatus*		○	○	○	○	○	○
217		*Scenedesmus acutus*	○	○	○	○	○	○	○
218		*Scenedesmus bicaudatus*	○	○	○	○	○	○	○
219		*Scenedesmus denticulatus*	○	○	○	○	○	○	○
220		*Scenedesmus opoliensis*	○	○	○	○	○	○	○
221		*Scenedesmus spinosus*	○			○	○	○	○
－		*Scenedesmus* spp.	○	○	○	○	○	○	○
222		*Tetradesmus* sp.	○	○				○	○
223		*Tetrastrum heterocanthum*	○	○		○	○	○	○
224	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*		○					○
225		*Pediastrum duplex*	○	○	○	○	○	○	○
226		*Pediastrum simplex*	○	○	○	○		○	○
227		*Pediastrum tetras*	○	○	○	○	○		○
228	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*	○	○	○	○	○	○	
229	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*				○			○

表 2.9.1-6(6)　確認された付着藻類

No.	科名	種名（和名） ※和名の無い種は学名表記	調査時期				調査区域		
			夏	秋	冬	春	A	B	C
230	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.	○	○	○	○	○	○	○
－		ヒビミドロ科の一種				○			○
231	ミクロスポラ	*Microspora* sp.	○			○	○	○	○
232	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.	○						○
－		カエトフォラ科の一種	○	○	○	○	○	○	○
233	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.	○	○	○	○	○	○	○
234	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*			○	○	○	○	○
235		*Cladophora* sp.	○		○	○	○	○	○
236	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.	○	○		○	○	○	○
237		*Spirogyra* sp.	○	○	○	○	○	○	○
－		ホシミドロ科の一種				○	○		
238	ツヅミモ	*Closterium* sp.	○	○	○	○	○	○	○
239		*Cosmarium sp.*	○	○			○		
240		*Staurastrum* sp.		○			○		○
－		*Staurastrum* spp.	○	○		○	○	○	○
合計	46 科	240 種	193 種	182 種	179 種	213 種	188 種	206 種	221 種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

3) 定量採取調査結果

定量採取調査結果は、表 2.9.1-7～表 2.9.1-21 に示すとおりである。

表 2.9.1-7(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Hormeothrix janthina*	240	1,360	240						120			2,560
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.	60					80		160				1,280
10		*Oscillatoria* sp.												
11		*Phormidium* sp.												2,560
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱									30	60		3,200
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Gomyostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*			60									
31		*Stephanodiscus* spp.												
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*	60		120		1,920	2,720	4,320	3,840			960	3,200
33		*Aulacoseira granulata*					120	280	240					
－		*Aulacoseira* sp.						480				40		80
34		*Melosira varians*			3,600	80	2,880	1,840	18,240	6,400	60	20	2,400	64,000
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*			1,440				10,080	1,280				
41		*Fragilaria capucina*			2,040				23,520	320			2,400	
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												640
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*						760						
46		*Fragilaria vaucheriae*			360		480		1,920	320			480	
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*	60				3,840							
49		*Staurosira construens* var. *binodis*					960							
50		*Staurosira construens* var. *venter*			240		10,600			32,600		140	960	
51		*Staurosirella pinnata*			240		2,880						960	
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*						80				20	480	
54		*Ulnaria pseudogaillonii*				80								
55		*Ulnaria ulna*	60			40	240		240	640				320
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.					480						240	
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*	30					400	480	640				640
60		*Amphora strigosa*												
－		*Amphora* sp.												
61		*Caloneis bacillum*										80		
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*												
63		*Cymbella tumida*					240	400						
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*					480							
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*								320				
69		*Encyonema prostratum*			60				60	160				
70		*Encyonema silesiacum*		400										
71		*Encyonema leei*		840	120				120					
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*								80				1,280
75		*Gomphonels heteromiruta*						760						
76		*Gomphonema clevei*												8,320
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*	120	200						960				640
79		*Gomphonema parvulum*	120	40,720	240	160	960	2,320	19,200	6,400		220	6,720	16,600
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		61,520		320				960			960	3,840
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Gyrosigma* spp.					240	80	240	40				
83		*Navicula atomus*						400						
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*								320	120			
86		*Navicula capitatoradiata*										80		
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*									120		960	
91		*Navicula cryptocephala*			120	160				4,800	120	220	9,120	1,280
92		*Navicula cryptotenella*			120				3,840	5,760	120	360	3,840	18,600
93		*Navicula decussis*							3,840		120			
94		*Navicula elginensis*										140	960	
95		*Navicula gregaria*	120	1,680	600	320	960	1,920	52,320	31,400	240	80	4,800	32,000
96		*Navicula hungarica* var. *lineparis*												

表 2.9.1-7(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
97	ナビクラ	*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	60			160		400	480	1,920			480	1,920
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*							7,680	320			2,880	1,280
101		*Navicula nipponica*								640			960	14,100
102		*Navicula protractoides*												
103		*Navicula pseudacceptata*		400							120	80		
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*												
106		*Navicula rostellata*		840				200						
107		*Navicula schroeterii*		400				760	3,840					
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*							3,840					
110		*Navicula subminuscula*						1,160						
111		*Navicula subrostellata*						200			60			
112		*Navicula tripunctata*		840						640				12,800
113		*Navicula trivialis*						400						
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												
115		*Navicula yuraensis*		840				1,560	3,840			280		
－		*Navicula* spp.												
116		*Neidium* spp.									120			
117		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.		400			120	40				20	480	
118		*Reimeria sinuata*		840										
119		*Rhoicosphenia abbreviata*							240	960			120	399,000
120		*Sellaphora japonica*						400						320
121		*Sellaphora pupula*			120			400		80	60			320
122		*Stauroneis anceps*												
123		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*									30	80		
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*			120					640				
127		*Achnanthidium delicatulum*			120			400	480					
128		*Achnanthidium exiguum*	60		120		1,920			320				
129		*Achnanthidium japonicum*	60					400	480	320				
130		*Achnanthidium minutissimum*				320		1,560	960		120		480	1,920
131		*Achnanthidium subhudsonis*	120		720	160	960		480	2,240			960	76,200
132		*Cocconeis pediculus*	120				960		1,440	3,200				
133		*Cocconeis placentula*		400										640
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		2,480	60	80		400	480		60			
135		*Karayevia laterostrata*						400				80		
136		*Planothidium lanceolatum*	60	1,240		160	960	1,560	2,400	640		80	1,440	640
137	エピテミア	*Epithemia* sp.												
138		*Rhopalodia gibba*						200						
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*						160						
140		*Denticula* sp.												
141		*Hantzschia amphioxys*												
142		*Nitzschia acicularis*							5,280	320				2,560
143		*Nitzschia acidoclinata*												
144		*Nitzschia amphibia*	120		960	160	1,920	6,200	10,080	114,000		80	960	
145		*Nitzschia brevissima*							1,440	640				
146		*Nitzschia clausii*												
147		*Nitzschia dissipata*		400	3,480	480		1,920	180,000	36,200			3,360	175,000
148		*Nitzschia fonticola*			480		960	760	6,240	3,840				3,200
149		*Nitzschia frustulum*			480					640				
150		*Nitzschia hantzschiana*												
151		*Nitzschia inconspicua*						1,560	480	2,560				640
152		*Nitzschia intermedia*									30			
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*		400										
154		*Nitzschia linearis*		120		320	120		4,800	160			4,320	4,480
155		*Nitzschia palea*	360	1,240	240	480		1,560	3,840	960	120	140	1,440	8,960
156		*Nitzschia paleacea*						1,160						
157		*Nitzschia pusilla*						400						
158		*Nitzschia sigma*												
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*												
160		*Nitzschia tubicola*												
161		*Nitzschia vermicularis*				160				3,200				3,200
－		*Nitzschia* spp.												
162	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
163		*Surirella angusta*				40			960	80				160
164		*Surirella brebissonii*												
165		*Surirella linearis*												
166		*Surirella minuta*												
167		*Surirella tenera*												
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.									60			
169		*Phacus* spp.						40						
170		*Trachelomonas* spp.			30			40	120					640
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.												
172		*Chlamydomonas* sp.							480				480	
173	－	ヨツメモ目の一種												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175		*Schroederia setigera*												
176		*Tetraedron minimum*												
－		クロロコックム科の一種												
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.												
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*												
179		*Kirchneriella contorta*												
180		*Lagerheimia ciliata*												
181		*Monoraphidium minutum*												
－		*Monoraphidium* spp.												
182		*Oocystis* sp.												
183		*Treubaria* sp.												
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*												
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*												
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*												
187	セネデスムス	*Golenkinia radiata*												
188		*Golenkinia reticulata*												
189		*Golenkinia reticulatum*												
190		*Crucigenia crucifera*												
191		*Crucigenia fenestrata*												
192		*Crucigenia tetrapedia*												
193		*Scenedesmus acuminatus*												
194		*Scenedesmus acutus*												
195		*Scenedesmus bicaudatus*												
196		*Scenedesmus denticulatus*												
197		*Scenedesmus opoliensis*												
198		*Scenedesmus spinosus*												
－		*Scenedesmus* spp.						320	4,800	1,280	480			1,280
199		*Tetradesmus* sp.												
200		*Tetrastrum heterocanthum*												
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*												
202		*Pediastrum simplex*												
203		*Pediastrum tetras*												
204	コッコミクサ	*Palmatothrix gelatinosa*												
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.												
－		ヒビミドロ科の一種												
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種		1,360				6,680						

表 2.9.1-7(3)　定量採取調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
208	サヤミドロ	*Oedocornium* spp.		120					160					240	640
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.									80				
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	1,950	118,920	16,530	3,680	35,200	43,920	383,820	273,280	2,310	2,300	54,840	870,940
			沈殿量(全量)	0.5	8.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.4	0.2	0.1	0.2
			種数	18	22	27	18	23	44	40	45	20	20	29	40

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-8(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.4 荒海川 河川				No.6 荒海川 水路				No.7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Hormothrix janthina*	1,440	80			60	2,840	720		120			160
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.		40										
9		*Lyngbya* sp.	120		30		30					40	60	
10		*Oscillatoria* sp.												
11		*Phormidium* sp.				320				80				80
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.											120	
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱	480				30	8,280		40	1,680		240	
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												160
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*												
31		*Stephanodiscus* spp.												160
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												
33		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*	120						960		60			80
35		*Pleurosira laevis*										40		
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*			1,320								60	
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*			240									
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*			1,440	40			1,440				120	
48		*Staurosira construens*	120				60							
49		*Staurosira construens* var. *binodis*		1,000								480		
50		*Staurosira construens* var. *venter*											60	
51		*Staurosirella pinnata*	120						120					
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*												
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*	120		60			40		20				
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.						240			30		30	
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*		760	180	160				480			120	160
60		*Amphora strigosa*	240	520							60	80		
－		*Amphora* sp.												
61		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*							120					
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*												
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*										240		
71		*Encyonema lei*			120									
72		*Frustulia rhomboides*			60									
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*						240						
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*												
79		*Gomphonema parvulum*	1,200	1,000	6,480	800	60		6,480	160	120	3,560	240	160
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		1,000	480				720				120	160
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.						760	120					
83		*Navicula atomus*				97,100				18,900				
84		*Navicula bacillum*			240									
85		*Navicula capitata*			240								120	
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*				160								
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*									120			
91		*Navicula cryptocephala*			840	160		760	6,480	160		480	120	
92		*Navicula cryptotenella*	240	520	600	160		29,640	720			640		160
93		*Navicula decussis*												
94		*Navicula elginensis*			840				720					
95		*Navicula gregaria*	4,320	6,080	5,760	960		5,680	30,960	8,320	120	920	240	320
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	240		360			520		1,920				
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*	240										120	
101		*Navicula nipponica*			240									
102		*Navicula protractoides*												
103		*Navicula pseudacceptata*	960	1,520				760	720	1,440		240		
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*												
106		*Navicula rostellata*	240	520							60	80		
107		*Navicula schroeterii*						9,800	720	160		320		
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*										80		
110		*Navicula submuscula*	240							160		240		
111		*Navicula subrostellata*		520								160		
112		*Navicula tripunctata*	240		240	160		8,520		160			120	160
113		*Navicula trivialis*												
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-8(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.4 荒海川 河川				No.6 荒海川 水路				No.7 荒海川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*		2,400	13,120	600		60	3,600				3,040	120	
－		*Navicula* spp.							1,040						
116		*Meridium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.			80				40	480					
118		*Rhoicosphenia* sp.													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*				240			1,800		320	60		240	160
120		*Sellaphora japonica*						30	240						
121		*Sellaphora pupula*				60	40					120		60	40
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*										60			
127		*Achnanthidium delicatulum*				120									
128		*Achnanthidium exiguum*		240						240					
129		*Achnanthidium japonicum*				120	160	60	760	240	480		160	120	
130		*Achnanthidium minutissimum*				120	320		520		4,640	60	1,240	240	640
131		*Achnanthidium subhudsonis*			520	120			240		960				
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*		60	2,520	120	20						320		
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		120	5,560	60		30			160		400		
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		480	25,760	2,040	6,880	60		1,200	5,120	120	4,520	360	10,700
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*			720										
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													
142		*Nitzschia acicularis*													
143		*Nitzschia acidoclinata*		480		840									
144		*Nitzschia amphibia*							2,560	480			160		
145		*Nitzschia brevissima*				840				1,200				120	
146		*Nitzschia clausii*													
147		*Nitzschia dissipata*		1,200	520	33,720	960	30	7,200	25,680	160	30	1,240	600	
148		*Nitzschia fonticola*		2,160	520	840			240	480	160	60	80		640
149		*Nitzschia frustulum*											80		
150		*Nitzschia hantzschiana*										60			
151		*Nitzschia inconspicua*				120	160							120	160
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*													
154		*Nitzschia linearis*				2,400	80			2,880	80			360	320
155		*Nitzschia palea*		15,800	520	1,560	4,480	30	1,560	4,800	960	120	2,160	360	5,120
156		*Nitzschia paleacea*											80		
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*					320								160
－		*Nitzschia* spp.								480					80
162	スリレラ	*Amphipleura solea*													
163		*Surirella angusta*				120	80			240	80				80
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*													
166		*Surirella minuta*													
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.			40										
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.													
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.													
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.													
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.													
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Quelastrum astroideum*													
188		*Quelastrum microporum*													
189		*Quelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*													
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*													
195		*Scenedesmus bicaudatus*													
196		*Scenedesmus denticulatus*													
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.				240						240			320
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*													
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種						60							
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.			120							60			
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	33,620	63,560	64,050	113,520	600	87,880	89,400	45,120	3,360	21,080	4,590	20,180
			沈殿量(全量)	0.5	0.5	0.2	0.1	1.0	0.4	0.1	0.3	0.5	2.6	0.9	0.4
			種数	26	24	38	21	13	25	26	24	20	27	26	23

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-9(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*		40										
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*	720	3,280		320		4,880						
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.						40						
9		*Lyngbya* sp.	120			80		80				20		
10		*Oscillatoria* sp.												
11		*Phormidium* sp.												
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Ompsonogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱						760	60		60			800
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Gonyostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												80
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*									120			160
31		*Stephanodiscus* spp.												160
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*							60				60	120
33		*Aulacoseira granulata*									60			
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*				160		360	1,440	80			60	
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*												
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*							120	320				60
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*							600					
48		*Staurosira construens*	2,160			480								
49		*Staurosira construens* var. *binodis*	720											
50		*Staurosira construens* var. *venter*			360	6,240								
51		*Staurosirella pinnata*			120				120			40		
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*			120									
54		*Ulnaria pseudogaillonii*				40								
55		*Ulnaria ulna*		80		80			840				30	
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*		120										
－		*Eunotia* spp.	120			320					60			
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*		200	120	1,440	60			320		20	120	
60		*Amphora strigosa*						200			120	60		
－		*Amphora* sp.								40				320
61		*Caloneis bacillum*		120										
－		*Caloneis* spp.									60			
62		*Cymbella naviculiformis*												
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*	240											
68		*Encyonema minutum*		120	120		30				120		60	
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*												
71		*Encyonema leei*												
72		*Frustulia rhomboides*												20
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*										20		
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*							600					
76		*Gomphonema clevei*			240				360		60			
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*	240		240									
79		*Gomphonema parvulum*	240	6,880	1,680	1,280		640	4,080	3,200		20	480	1,280
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*	240			320	60			640				
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Gyrosigma* spp.												
83		*Navicula atomus*												
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*									60			
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*	240	120	240				240					
91		*Navicula cryptocephala*	480	200	240		60			320	120			960
92		*Navicula cryptotenella*				160	60	640	720				120	60
93		*Navicula decussis*			120									
94		*Navicula elginensis*												
95		*Navicula gregaria*	2,160	120	600	480	60	1,800	7,920	1,600		120	240	1,280
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*								320			120	
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	240		120	480	60	520	240	640				
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*			120			120	240			40		
101		*Navicula nipponica*												60
102		*Navicula protractoides*							480	320				40
103		*Navicula pseudacceptata*		640					240	320	120		120	
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*				320								
106		*Navicula rostellata*					30				30			
107		*Navicula schroeterii*		840				40	240	320		40	120	
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*	240		120	160			240					
110		*Navicula submuscula*					60							
111		*Navicula subrostellata*					30							160
112		*Navicula tripunctata*			240	160								
113		*Navicula trivialis*										20		
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-9(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.8 荒海川 水路				No.9 尾羽根川 河川				No.10 尾羽根川 河川			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*			520			60	1,280	240	320				
－		*Navicula* spp.													
116		*Meridium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.				60			40	240	160			1,680	120
118		*Rhoicosphenia sinuata*			440										
119		*Rhoicosphenia abbreviata*		240	400	240	320				320	60			
120		*Sellaphora japonica*													
121		*Sellaphora pupula*				120	80	30						60	
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.				60									
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*													
127		*Achnanthidium delicatulum*													
128		*Achnanthidium exiguum*		240			160								
129		*Achnanthidium japonicum*		240	200	120	640		120		640				
130		*Achnanthidium minutissimum*			2,360	360	3,200			240	320	120			320
131		*Achnanthidium subhudsonis*		240											
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*			120		160	30					20		
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		480	960		160	60	840			60			
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		960	1,080	240	2,400	60	1,480	16,440	8,000	120		120	12,500
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*					640								
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*												240	
142		*Nitzschia acicularis*								120				120	
143		*Nitzschia acidoclinata*													
144		*Nitzschia amphibia*		240	1,200	240	320	60	1,040				40	360	
145		*Nitzschia brevissima*										120			
146		*Nitzschia clausii*													
147		*Nitzschia dissipata*			840	1,920	2,880		200	720	320				
148		*Nitzschia fonticola*		240		240	480		120						
149		*Nitzschia frustulum*		240											
150		*Nitzschia hantzschiana*						30							
151		*Nitzschia inconspicua*						60	200		320				
152		*Nitzschia intermedia*											20		
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*													
154		*Nitzschia linearis*			40	1,440	320			840	320			480	60
155		*Nitzschia palea*		480	40	600	8,000	180	840	360	2,240	60	20		160
156		*Nitzschia paleacea*													
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*						60							
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*						60							
160		*Nitzschia tubicola*				840									
161		*Nitzschia vermicularis*					480								
－		*Nitzschia* spp.				240									
162	スリレラ	*Amphipleura solea*													
163		*Spirella angusta*					160				80				40
164		*Spirella brebissonii*													
165		*Spirella linearis*								60					
166		*Spirella minuta*													
167		*Spirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.													160
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.													
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.				120				960					480
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.		960											
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.													
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Quelastrum astroideum*													
188		*Quelastrum microporum*													
189		*Quelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*													
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*													
195		*Scenedesmus bicaudatus*													
196		*Scenedesmus denticulatus*													
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.							240	480	640	480	80		160
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*													
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													140
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種			480										
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.		60							160				
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	12,780	21,440	11,640	32,920	1,200	16,480	39,540	22,280	2,010	580	4,590	19,700
			沈殿量(全量)	0.5	0.5	0.2	0.4	2.6	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2
			種数	26	26	31	33	21	23	30	26	19	15	18	25

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-10(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.11 尾羽根川 河川				No.14 高谷川 河川				No.16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*				20								
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*	480		240	480	120				6,480			
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.		720				40						
9		*Lyngbya* sp.	60	240			60	20					30	
10		*Oscillatoria* sp.				40								
11		*Phormidium* sp.												
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.	120			320								
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱				80				120				
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Convostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*												
31		*Stephanodiscus* spp.				160								80
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*			720	660								
33		*Aulacoseira granulata*		80	720	480								
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*			1,200	180								
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*								1,440				160
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*								160				
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*								160				
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*					60	20						
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*						40						
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*												
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*				60							60	
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.	120	200	120	800			120					
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*		40	720		120				120	120	120	160
60		*Amphora strigosa*	120	160			30				60			
－		*Amphora* sp.			240	960						40		
61		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*				60				40				
63		*Cymbella tumida*							60					
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*									120			
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*								2,400		40		320
71		*Encyonema lei*												
72		*Frustulia rhomboides*				20								
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*									120			
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*		40										
79		*Gomphonema parvulum*	240	1,080	480	3,680	90	20	120	4,320	120	240	480	1,440
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*								480		40	240	160
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.							60				240	
83		*Navicula atomus*												
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*	30	40	480									
86		*Navicula capitatoradiata*											120	
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*												
91		*Navicula cryptocephala*		40		1,280	120	60		5,760	120		240	320
92		*Navicula cryptotenella*	120	840	2,160	160		80	120	160		240		
93		*Navicula decussis*					120			120	120			
94		*Navicula elginensis*										160	120	
95		*Navicula gregaria*	360	600	30,480	1,600		160	120	480	240	280	2,880	
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*			33,600				120				1,320	
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	480		240						120	120		
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*			480			60			120		360	
101		*Navicula nipponica*			1,200	40				120			120	
102		*Navicula protractoides*			480	160			120				120	
103		*Navicula pseudacceptata*	240	400	4,320	800		40	120	160	240	2,440		160
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*					60							
106		*Navicula rostellata*		40				20				240		
107		*Navicula schroeterii*								80	120	160	120	
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*	120			480				160				
110		*Navicula submuscula*												
111		*Navicula subrostellata*												
112		*Navicula tripunctata*							120				360	40
113		*Navicula trivialis*								800				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-10(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.11 尾羽根川 河川				No.14 高谷川 河川				No.16 高谷川 河川			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*			240	480		120				120	720	120	
－		*Navicula* spp.													
116		*Meridium* spp.			80										
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.			40	3,600	1,120			120	40		40	240	
118		*Rhoicosphenia abbreviata*												120	160
119		*Rhoicosphenia abbreviata*					160				160				
120		*Sellaphora japonica*			40		80					60			
121		*Sellaphora pupula*				60		60			80				80
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*			320				20						
126		*Achnanthidium clevei*		60		240									
127		*Achnanthidium delicatulum*												120	120
128		*Achnanthidium exiguum*										120			
129		*Achnanthidium japonicum*		120	80	240	1,920	120	80			120	280		
130		*Achnanthidium minutissimum*		240	840	720	1,120	120	240	120	6,240	120	600	120	7,680
131		*Achnanthidium subhudsonis*							20						
132		*Cocconeis pediculus*						30							
133		*Cocconeis placentula*					40						720		160
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		60		120						120	4,000	60	80
135		*Karayevia laterostrata*											40		
136		*Planothidium lanceolatum*		1,440	3,240	29,280	31,700		220	120	2,880	360	5,800	120	160
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*													
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													
142		*Nitzschia acicularis*				1,440									
143		*Nitzschia acidoclinata*									320	120			
144		*Nitzschia amphibia*		240				60				720	360	240	
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*					40		20		160				
147		*Nitzschia dissipata*			120	2,640	1,280			120			160	3,120	
148		*Nitzschia fonticola*			40		160	30	20						
149		*Nitzschia frustulum*													
150		*Nitzschia hantzschiana*		120				30				120			
151		*Nitzschia inconspicua*			240										
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*										60			
154		*Nitzschia linearis*				1,440	40			120	60		440	720	60
155		*Nitzschia palea*		240	600	6,240	2,720	60	260	120	3,360	120	240	2,400	800
156		*Nitzschia paleacea*			40	960									
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*						60				120			160
160		*Nitzschia tubicola*				2,160								4,920	
161		*Nitzschia vermicularis*					20								40
－		*Nitzschia* spp.													
162	スリレラ	*Amphipleura solea*													
163		*Surirella angusta*				120	800				40			240	80
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*													
166		*Surirella minuta*												60	
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.				120									160
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.				240									
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.				240	160				960			120	
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.		360	80			120				10,100			
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.				240									
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Quelastrum astroideum*													
188		*Quelastrum microporum*													
189		*Quelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*													
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*			160										
195		*Scenedesmus bicaudatus*													
196		*Scenedesmus denticulatus*													
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.		240	160	1,440	1,280					240			
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*													
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種		240				60				720			
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.		60								60			
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	5,910	10,840	129,960	55,100	1,650	1,440	1,800	31,260	21,500	17,520	19,650	12,580
			沈殿量(全量)	10.6	1.2	0.5	1.0	0.3	0.1	1.3	0.4	0.4	0.4	0.2	0.7
			種数	24	30	38	37	21	19	16	28	30	24	31	22

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-11(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.17 高谷川 河川				No.18 高谷川 水路				No.19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*	150							480				
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.			17,500		500		900		100		1,350	
10		*Oscillatoria* sp.	50				50				50			
11		*Phormidium* sp.			50		50							
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱	550					720	500		1,500			
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*								160				40
29		*Discostella pseudostelligera*								480				
30		*Discostella stelligera*												
31		*Stephanodiscus* spp.				160				1,120				
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												
33		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.							200					
34		*Melosira varians*					50			120		40		40
35		*Pleurosira laevis*		40										
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	100	20								40		
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*				320	100			480			2,350	320
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*											400	160
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*											1,550	
48		*Staurosira construens*			550								400	
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*		60										
51		*Staurosirella pinnata*												
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*				20				20				
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*		20		20				20			400	
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.					100	80	200					
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*	250		2,400	160				320		100		
60		*Amphora strigosa*						400				40		
－		*Amphora* sp.				160								80
61		*Caloneis bacillum*					100							
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*	50											
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*										20		
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*	50		250		100				100			
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*				320				160				80
71		*Encyonema leei*												
72		*Frustulia rhomboides*			250								400	
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*						80						
76		*Gomphonema clevei*					100							
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*								80				
79		*Gomphonema parvulum*	250			2,400	650	5,200	200	7,200	550	280	5,850	320
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*								480		100		800
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Gyrosigma* spp.					100							
83		*Navicula atomus*					100							
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*		20				80				20		
86		*Navicula capitatoradiata*	100											
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*								80				40
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*	50		550		450					20		
91		*Navicula cryptocephala*	200	20	800	960	200	680	300	640	100	100	400	160
92		*Navicula cryptotenella*	150	60			450	1,720			300	140		
93		*Navicula decussis*	50					80						80
94		*Navicula elginensis*	50					280						
95		*Navicula gregaria*	200	400	1,050	160	200	1,520		480	300	640		320
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	350			480	900		500	1,440				
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*			550	120					100	180	800	
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*											1,150	
103		*Navicula pseudacceptata*	50	60		800					100	280	400	
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*	50			80								
106		*Navicula rostellata*		20			200	80			100	60		160
107		*Navicula schroeterii*	100				200	280			100	20		
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*								4,320				
110		*Navicula submuscula*									100	60		
111		*Navicula subrostellata*					350	80			100	100		
112		*Navicula tripunctata*	50		250									
113		*Navicula trivialis*				160				160				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-11(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.17 高谷川 河川				No.18 高谷川 水路				No.19 高谷川 河川			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*		50	180	550							80		80
－		*Navicula* spp.													
116		*Meridium* spp.													40
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.		50		250	160	100	40		480		60	1,550	
118		*Rhoicosphenia abbreviata*						100			160				
119		*Rhoicosphenia abbreviata*													
120		*Sellaphora japonica*		50		550		100							
121		*Sellaphora pupula*											20		80
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													20
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*		50											
127		*Achnanthidium delicatulum*		50	60		480					100			80
128		*Achnanthidium exiguum*										200			
129		*Achnanthidium japonicum*		450			160	200			960		20		
130		*Achnanthidium minutissimum*			20		6,720			500	13,400			400	960
131		*Achnanthidium subhudsonis*		50				100	400						160
132		*Cocconeis pediculus*		50											
133		*Cocconeis placentula*		650	80	800	40	250			80	450	100		40
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		1,050	140			800	760			1,100	240		60
135		*Karayevia laterostrata*											60		
136		*Planothidium lanceolatum*		500	1,040	4,500	1,440	1,450	560		2,080	4,550	520	16,800	1,760
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*								100		100			
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													40
142		*Nitzschia acicularis*					160				80				
143		*Nitzschia acidoclinata*									120				160
144		*Nitzschia amphibia*		250	120	550	160	200	200		160	300	40		
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*				250		200	80		80		60		
147		*Nitzschia dissipata*				5,800	160			300	160			1,150	
148		*Nitzschia fonticola*									960		80		800
149		*Nitzschia frustulum*											20		
150		*Nitzschia hantzschiana*										100			
151		*Nitzschia inconspicua*		50											
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*						100				100			40
154		*Nitzschia linearis*					120			50	60		20	400	40
155		*Nitzschia palea*		300	340	1,300	3,680	350	1,160		1,600	450	140	5,850	4,160
156		*Nitzschia paleacea*			20										
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*					20								
－		*Nitzschia* spp.					40								
162	スリレラ	*Amphipleura solea*													
163		*Surirella angusta*				2,400	120			300				800	640
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*					20								
166		*Surirella minuta*					60								
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.					60								
169		*Phacus* spp.							40						
170		*Trachelomonas* spp.													
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.					160				640				
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.							40						
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.													
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Quelastrum astroideum*													
188		*Quelastrum microporum*													
189		*Quelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*													
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*													
195		*Scenedesmus bicaudatus*													
196		*Scenedesmus denticulatus*													
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.			80				240						
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*													
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.					400								340
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種						15,600	360		14,900	4,000			
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.													60
209	シオグサ	*Cladophora* sp.		100											
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	6,550	2,800	41,150	20,480	24,500	15,160	4,050	54,160	15,050	3,700	42,400	12,160
			沈殿量(全量)	0.3	1.4	0.1	0.2	0.3	0.5	0.4	0.5	0.3	0.1	0.2	0.2
			種数	35	20	21	34	33	25	12	35	25	32	19	32

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-12(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.20 浅川 河川				No.21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No.22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Hormothrix janthina*												
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.	100		100		300	40			150	120	500	
10		*Oscillatoria* sp.												
11		*Phormidium* sp.	50		200									
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱	450	680	31,000	220	75,000				2,600	1,120		220
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostonium* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												480
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*									300			160
30		*Discostella stelligera*												
31		*Stephanodiscus* spp.												160
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												
33		*Aulacoseira granulata*	50								50	120	800	
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*												
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*				640			300			240		
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												160
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*									300			
46		*Fragilaria vaucheriae*												
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*		160					1,950		50		800	
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*	350											240
51		*Staurosirella pinnata*										240		
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*											1,100	
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*				40						160		
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.		40	900	40	14,100							
57	ナビクラ	*Amphora montana*			6,100									
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*		160	900						200	600	1,100	320
60		*Amphora strigosa*		120										
－		*Amphora* sp.												240
61		*Caloneis bacillum*									150			
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*					300	120						
63		*Cymbella tumida*				20								
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*					300							
67		*Diploneis elliptica*	50									80		
68		*Encyonema minutum*												
69		*Encyonema prostratum*							100	20				
70		*Encyonema silesiacum*												
71		*Encyonema leei*		40										
72		*Frustulia rhomboides*		40										
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*								20				
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*										160		
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*	50		900		1,200							
79		*Gomphonema parvulum*	650	1,280		480	50,100	5,040	100	1,120	200	1,200	6,400	1,440
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*			1,700			3,560				280		800
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.	50	40		20								
83		*Navicula atomus*												
84		*Navicula bacillum*										80		
85		*Navicula capitata*	50			40								80
86		*Navicula capitatoradiata*					1,200				200			
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*											400	
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*		40	2,600									
91		*Navicula cryptocephala*		40	900	160	2,700	2,080		1,760	50	760	400	1,120
92		*Navicula cryptotenella*		240		80	300	120			150			480
93		*Navicula decussis*								160				
94		*Navicula elginensis*		40			2,700	120			200	80		160
95		*Navicula gregaria*	50	1,000	3,500	1,920		1,680		1,280	500	280	1,900	1,920
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*			6,100									
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	150	40	6,900		1,200		100		200			
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*		40	8,700		300	400			50			
101		*Navicula nipponica*				40								
102		*Navicula protractoides*				40							800	160
103		*Navicula pseudacceptata*		120				520			200			
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*								160	150			
106		*Navicula rostellata*	250	160	900	80	2,700	840		640	150			
107		*Navicula schroeterii*		80				120			50			
108		*Navicula seminuloides*										80		
109		*Navicula seminulum*		40										
110		*Navicula submuscula*												
111		*Navicula subrostellata*										160		80
112		*Navicula tripunctata*									150		400	160
113		*Navicula trivialis*						120		80				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-12(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.20 浅川 河川				No.21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No.22 浅川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*			40			2,700		100			760	1,100	
－		*Navicula* spp.												800	
116		*Meridium* spp.		50											
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.			40	900	20		40	1,050	40	50	40	800	40
118		*Rhoicosphenia abbreviata*												400	320
119		*Sellaphora japonica*							120			50			
120		*Sellaphora pupula*		250	40	900		600	200			150	520	3,000	80
121		*Stauroneis anceps*		50											
122		*Stauroneis phoenicenteron*					20								
123		*Stauroneis* sp.								500					
－	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*		50								200			
124		*Achnanthidium atomus*		50									80		
125		*Achnanthidium clevei*			160	900									
126		*Achnanthidium delicatulum*													
127		*Achnanthidium exiguum*								100		200			
128		*Achnanthidium japonicum*			240				120						
129		*Achnanthidium minutissimum*			40		160	1,200	640		3,200	50	280	400	480
130		*Achnanthidium subhudsonis*								100			280		
131		*Cocconeis pediculus*													
132		*Cocconeis placentula*		250	80	900	20						160		40
133		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		1,000	400	900	60		200			1,000	1,360	400	40
134		*Karayevia laterostrata*		200									80		
135		*Planothidium lanceolatum*		1,350	960	2,600	480	3,900	1,480	850		1,150	440	7,900	2,240
136	エピテミア	*Epithemia* sp.						1,200							
137		*Rhopalodia gibba*						1,200							
138	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*													
139		*Denticula* sp.													
140		*Hantzschia amphioxys*													
141		*Nitzschia acicularis*										50			120
142		*Nitzschia acidoclinata*							120						
143		*Nitzschia amphibia*			120	1,700	320			700			440	400	1,120
144		*Nitzschia brevissima*				2,600									
145		*Nitzschia clausii*			40			2,700							
146		*Nitzschia dissipata*							200		1,280		520	400	480
147		*Nitzschia fonticola*													320
148		*Nitzschia frustulum*													
149		*Nitzschia hantzschiana*													
150		*Nitzschia inconspicua*							120						
151		*Nitzschia intermedia*													
152		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*				900				100	40	50			
153		*Nitzschia linearis*			120			300	40		120		40	7,500	480
154		*Nitzschia palea*		250	520	6,100	1,120	1,200	1,040		800		160		800
155		*Nitzschia paleacea*													
156		*Nitzschia pusilla*												400	
157		*Nitzschia sigma*													
158		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
159		*Nitzschia tubicola*													
160		*Nitzschia vermicularis*													20
161		*Nitzschia* spp.													
－	スリレラ	*Amphipleura solea*													
162		*Surirella angusta*		50										800	40
163		*Surirella brebissonii*													
164		*Surirella linearis*		50							20				
165		*Surirella minuta*													
166		*Surirella tenera*													
167	ミドリムシ	*Euglena* spp.											80		
168		*Phacus* spp.													
169		*Trachelomonas* spp.											200		
170	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
171		*Chlamydomonas* sp.													
172	－	ヨツメモ目の一種													
173	クロロコックム	*Characium* sp.			40										
174		*Schroederia setigera*													
175		*Tetraedron minimum*													
176		クロロコックム科の一種													
－	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
177	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
178		*Kirchneriella contorta*													
179		*Lagerheimia ciliata*													
180		*Monoraphidium minutum*													
181		*Monoraphidium* spp.													
－		*Oocystis* sp.													
182		*Treubaria* sp.													
183	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
184	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
185	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
186	セネデスムス	*Coelastrum astroideum*													
187		*Coelastrum microporum*													
188		*Coelastrum reticulatum*													
189		*Crucigenia crucifera*													
190		*Crucigenia fenestrata*													
191		*Crucigenia tetrapedia*													
192		*Scenedesmus acuminatus*													
193		*Scenedesmus acutus*													
194		*Scenedesmus bicaudatus*													
195		*Scenedesmus denticulatus*													
196		*Scenedesmus opoliensis*													
197		*Scenedesmus spinosus*													
198		*Scenedesmus* spp.											160		
－		*Tetradesmus* sp.													
199		*Tetrastrum heterocanthum*													
200	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
201		*Pediastrum simplex*													
202		*Pediastrum tetras*													
203	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
204	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.				1,500									
205		ヒビミドロ科の一種													
－	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													60
206	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種		250					240				400		
207	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.			320										120
208	シオグサ	*Cladophora* sp.													
209	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
210		*Spirogyra* sp.													
211	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
212		*Cosmarium* sp.													
213		*Staurastrum* spp.													
214															
合計	44科	214種	細胞数	6,150	7,560	91,300	6,020	167,400	19,320	6,050	10,740	9,000	11,760	38,900	15,180
			沈殿量(全量)	0.2	0.5	0.2	1.4	0.2	0.1	0.3	0.1	0.5	0.3	0.4	0.1
			種数	26	35	26	22	23	26	13	16	31	35	24	35

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-13(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.26）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.23 浅川 河川				No.24 高谷川 河川				No.25 高谷川 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*										2		
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*				360								
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.		40	1,800			20	300		2			1
10		*Oscillatoria* sp.				80				40				
11		*Phormidium* sp.			150								2	
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱	4,050		15,000	120	15,800	100						
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.									44	504	264	840
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.									1			2
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*											152	
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*											20	
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostonium* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*				160								
28		*Cyclotella meneghiniana*		2,880										
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*											4	2
31		*Stephanodiscus* spp.				320				160	1		8	
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												2
33		*Aulacoseira granulata*		80	2,400						504	4		2
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*		4,480		160				160				
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*			1,200	1,440			600	1,440				
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*				480								
44		*Fragilaria rumpens*												
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*	100											
46		*Fragilaria vaucheriae*				2,400				3,360				
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*							2,700					
48		*Staurosira construens*						20						
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*				1,280			2,700					
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*			1,200	120								
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*		640					1,650				4	2
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.			1,200		650	20	600			1	1	
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*				160								
59		*Amphora pediculus*	100		300	480	150		600					
60		*Amphora strigosa*		2,880			500							
－		*Amphora* sp.			150	160				160				
61		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*								160				
63		*Cymbella tumida*		2,880										
64		*Cymbella turgidula*		2,880										
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*							600					
68		*Encyonema minutum*					500							
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*												
71		*Encyonema leei*												
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*	150		1,200									
76		*Gomphonema clevei*				160				160				
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*												
79		*Gomphonema parvulum*	600	22,920	4,800	104,000	1,300	40	2,250	31,200				
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		2,880		46,100			1,650	10,600				
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.		160				20		80				
83		*Navicula atomus*				63,400				449,000				
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*		2,880				20						
86		*Navicula capitatoradiata*					150							
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*			1,200	160								
89		*Navicula confervacea*		600										
90		*Navicula contenta* f. *biceps*	100					20						
91		*Navicula cryptocephala*	50	17,200		11,000	800	80	600	7,680				
92		*Navicula cryptotenella*				160				160				
93		*Navicula decussis*				480								
94		*Navicula elginensis*				160								
95		*Navicula gregaria*		243,440	1,200	2,880		40	1,650	6,240				
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*							3,900					
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	100			3,840	300	20						
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*		8,600	3,600									
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*			4,800	320			1,050	480				
103		*Navicula pseudacceptata*		5,720			500		600	5,280				
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*								160				
106		*Navicula rostellata*	50	5,720		160				320				
107		*Navicula schroeterii*		5,720	1,200			20		960				
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*								11,500				
110		*Navicula submuscula*												
111		*Navicula subrostellata*		14,320			300	40		160				
112		*Navicula tripunctata*		34,360	1,200	480			600	800				
113		*Navicula trivialis*				320				480				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-13(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.26）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.23 浅川 河川				No.24 高谷川 河川				No.25 高谷川 調整池			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*			14,320	2,400		150	80		160				
－		*Navicula* spp.									480				
116		*Neidium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.			480		320			600	160				
118		*Reimeria sinuata*													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*		50			640			1,050					
120		*Sellaphora japonica*													
121		*Sellaphora pupula*		50	2,880		3,360		40						
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													2
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*								600					
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*									480				
127		*Achnanthidium delicatulum*		50	2,880		13,400	150		600	1,920				
128		*Achnanthidium exiguum*						150	20	1,050					
129		*Achnanthidium japonicum*													
130		*Achnanthidium minutissimum*					1,920		20		3,360				2
131		*Achnanthidium subhudsonis*													
132		*Cocconeis pediculus*						150							
133		*Cocconeis placentula*					640	150		600	640				1
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		350	5,720			300	100						
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		400	2,880	43,200	230,000	1,950	40	24,800	31,700				
137	エピテミア	*Epithemia* sp.						150							
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*													
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													
142		*Nitzschia acicularis*		50											6
143		*Nitzschia acidoclinata*													
144		*Nitzschia amphibia*		200			2,400	500			160				
145		*Nitzschia brevissima*									40				
146		*Nitzschia clausii*						150			80				
147		*Nitzschia dissipata*			2,880	3,600				4,350	160				
148		*Nitzschia fonticola*				1,200	5,760				480				
149		*Nitzschia frustulum*			2,880		160	300							
150		*Nitzschia hantzschiana*													
151		*Nitzschia inconspicua*													
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*						150							
154		*Nitzschia linearis*		50	80	1,200	960			6,000					
155		*Nitzschia palea*		50	97,360		48,000	950	100	3,900	186,000				
156		*Nitzschia paleacea*													
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*							20						
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*													
－		*Nitzschia* spp.												4	
162	スリレラ	*Cymatopleura solea*			40										
163		*Surirella angusta*			2,880		9,120		20	1,650	960				
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*													
166		*Surirella minuta*								1,050	160				
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.											1		1
169		*Phacus* spp.											4		
170		*Trachelomonas* spp.										288	54	2	78
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.										20	2	8	
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.													
175		*Schroederia setigera*										20	6		
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.										32			
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*										20			
179		*Kirchneriella contorta*										32			
180		*Lagerheimia ciliata*										16			
181		*Monoraphidium minutum*										20			
－		*Monoraphidium* spp.										16			2
182		*Oocystis* sp.										8	30		
183		*Treubaria* sp.										1			
184	プレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*										336			
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Quelastrum astroideum*										24,200			
188		*Quelastrum microporum*											66		
189		*Quelastrum reticulatum*										56			
190		*Crucigenia crucifera*										68	60		
191		*Crucigenia fenestrata*										6,170			
192		*Crucigenia tetrapedia*										20			
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*											8		
195		*Scenedesmus bicaudatus*										288			
196		*Scenedesmus denticulatus*										16			8
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.					1,920				1,280	1,440	18	8	
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*										16			
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*										576	44	16	
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Planktothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種					500								
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.					200								
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種									680				
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.													4
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.										864	4		
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	6,550	516,560	94,200	560,640	26,150	900	68,300	759,640	35,075	808	493	955
			沈殿量(全量)	0.1	4.8	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	0.3	0.6	0.9	0.1	0.1
			種数	18	33	22	45	24	22	28	42	28	16	13	16

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-14(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.26 高谷川 水路				No.27 高谷川 水路				No.28 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*				160				76,800				65,300
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.									50			
－		ネンジュモ科の一種				20								
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												80
9		*Lyngbya* sp.		220	100		150	20	750			1,440	2,000	
10		*Oscillatoria* sp.				20				360				
11		*Phormidium* sp.												40
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Ompsonogon* sp.										240		
－	－	真正紅藻亜綱	430,000			120						200		
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Gonyostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*					150			160			200	
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*												
31		*Stephanodiscus* spp.								320			19,400	6,720
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												
33		*Aulacoseira granulata*					300				200		200	
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*			4,400	640	600		3,150	560				
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*					150				50			
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*								960		3,760		
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*								320				
44		*Fragilaria rumpens*				160								4,800
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*					150							
46		*Fragilaria vaucheriae*								2,400				
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*							100				400	
48		*Staurosira construens*					750		900		300		200	
49		*Staurosira construens* var. *binodis*					150						800	
50		*Staurosira construens* var. *venter*					300	40			250			
51		*Staurosirella pinnata*			4,900									
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*			500			60		1,440	50	80		80
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*						20		800	100	40		240
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.		60										
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*	9,250	60		160	600							
60		*Amphora strigosa*					150				150			
－		*Amphora* sp.		60										480
61		*Caloneis bacillum*				80	150							
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*				40			200					
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*		60						320				
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*	250		500									
68		*Encyonema minutum*					150							
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*		60			300	40		160				
71		*Encyonema leei*			500					160				
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heteromimuta*	800											
76		*Gomphonema clevei*	250				300		450			1,880		
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*						40				5,640		
79		*Gomphonema parvulum*		260	1,100	480	450	240	3,350	63,400	200	99,640	5,200	92,200
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		260				360		19,200		112,800		63,400
81		*Gomphonema truncatum*								80				
－		*Gomphonema* spp.					150				100			
82		*Gyrosigma* spp.	250				150	20			100			
83		*Navicula atomus*											200	1,690,000
84		*Navicula bacillum*		60										
85		*Navicula capitata*				80	150					1,880		
86		*Navicula capitatoradiata*									50	1,880		
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementioides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*					300							
91		*Navicula cryptocephala*				480	150			8,640	300	1,880	200	63,400
92		*Navicula cryptotenella*			1,100	160		120		18,200	100	1,880	200	960
93		*Navicula decussis*				160	450		1,100			1,880		
94		*Navicula elginensis*	250	60	500		450				50		200	
95		*Navicula gregaria*	3,000	200	1,600	640	450	160	2,000	7,200		9,400	800	6,720
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*											200	
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	550					80						43,200
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*		200	500		150					3,760	200	
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*			500									
103		*Navicula pseudacceptata*					300	40				1,880		
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*				40				160				
106		*Navicula rostellata*						40		160		3,760		160
107		*Navicula schroeterii*		120				40				16,920	200	
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*						40						64,800
110		*Navicula submuscula*												90,700
111		*Navicula subrostellata*										1,880		160
112		*Navicula tripunctata*	5,150	60		160			1,100	960	50	1,880	200	2,400
113		*Navicula trivialis*				80				640				1,440
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-14(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.26 高谷川 水路				No.27 高谷川 水路				No.28 高谷川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*		250	700	1,600		300			12,000		20,680		3,840
－		*Navicula* spp.		250				150							
116		*Meridium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.			120					650	160	50	40		160
118		*Rhoicosphenia* sp.													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*		8,150	60		320			200				200	
120		*Sellaphora japonica*		550											
121		*Sellaphora pupula*						600	40	450			1,880		
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*									80				
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*													
127		*Achnanthidium delicatulum*				500									
128		*Achnanthidium exiguum*				1,100	160								
129		*Achnanthidium japonicum*									1,920				
130		*Achnanthidium minutissimum*		1,350	60	500	320		80		69,100		1,880	100	207,000
131		*Achnanthidium subhudsonis*				1,600					480				25,900
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*		1,100			320								960
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*			60	1,600	160	450	320			300	3,760	200	
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		800	120	3,300	320	850	480	4,250	960	550	9,400	1,000	71,000
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*					120	450							
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													
142		*Nitzschia acicularis*									160				1,440
143		*Nitzschia acidoclinata*													480
144		*Nitzschia amphibia*		550	200	3,800	160						1,880	200	
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*						300			960				
147		*Nitzschia dissipata*		3,550	320	4,900		450	40	3,150	26,900	100	1,880	2,900	1,920
148		*Nitzschia fonticola*									480				6,240
149		*Nitzschia frustulum*									160	50			
150		*Nitzschia hantzschiana*						150							
151		*Nitzschia inconspicua*										100			
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*		1,650				150					1,880		
154		*Nitzschia linearis*		1,350			480	150		9,600	4,320		40	4,300	480
155		*Nitzschia palea*			200	500	800	300	280	1,350	36,500	250	47,000		311,000
156		*Nitzschia paleacea*			60										
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*						150				50			
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*					160				480				
－		*Nitzschia* spp.													
162	スリレラ	*Amphipleura solea*													
163		*Surirella angusta*												200	25,000
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*		550							40				
166		*Surirella minuta*													
167		*Surirella tenera*									40				
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.													
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.													
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.													480
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.													
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.													
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Coelastrum astroideum*													
188		*Coelastrum microporum*													
189		*Coelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*													
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*													
195		*Scenedesmus bicaudatus*													
196		*Scenedesmus denticulatus*													
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.											160		32,600
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*													
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.								250					
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種		2,000							3,680				880
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.				200					760				
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	471,850	3,640	35,800	7,000	11,950	2,600	33,000	362,580	3,550	365,080	39,900	2,886,660
			沈殿量(全量)	0.4	0.1	0.1	0.2	5.1	0.8	0.1	1.1	3.0	0.4	0.1	0.1
			種数	23	24	23	29	39	22	18	42	24	34	25	37

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-15(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.29 高谷川 河川				No.30 高谷川 水路				No.31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.					20							
6		*Hompeothrix janthina*		1,040				1,600		640	200	3,400		800
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種					40				80			160
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.		40	1,750			480				40		
10		*Oscillatoria* sp.												
11		*Phormidium* sp.								20				
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.				240								640
15	オオイシソウ	*Gomphosphaeria* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱			500		1,120	3,080			2,800			
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Gonyostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*								160				
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*							160					
31		*Stephanodiscus* spp.			9,850	1,440			320	160				160
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*						960		200				
33		*Aulacoseira granulata*						720	100					
－		*Aulacoseira* sp.												
34		*Melosira varians*	650		400	160				200				
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	100	40				160						
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*											40	
41		*Fragilaria capucina*								480				
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*				3,840								480
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*			400									
49		*Staurosira construens* var. *binodis*			400									
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*												
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*	550		950	480			800					
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*		80	200	80								40
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.				160	20							160
57	ナビクラ	*Amphora montana*										80		
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*		680		480			40		40			160
60		*Amphora strigosa*	100	1,400			720	2,280			60	40		
－		*Amphora* sp.								320				
61		*Caloneis bacillum*	200											
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*				160				80				
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*					40							
68		*Encyonema minutum*								160				
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*					20							
71		*Encyonema leei*							320				80	
72		*Frustulia rhomboides*				40								
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*					20							
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*										40		
76		*Gomphonema clevei*												
77		*Gomphonema contraturris*						560						
78		*Gomphonema gracile*		680				840						
79		*Gomphonema parvulum*	100	38,080	2,100	88,300	100	6,000		8,160	400			2,880
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		11,080		40,300	40	280			1,440		60	4,800
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Gyrosigma* spp.	100			40		40		40				
83		*Navicula atomus*										40		4,320
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*				1,200		280		160	20		20	
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*	450								20	40		
91		*Navicula cryptocephala*		1,400	200	37,400	140	840		17,300	160	40	20	1,920
92		*Navicula cryptotenella*	200	1,400	200	2,400		560		1,440		40		480
93		*Navicula decussis*			200									
94		*Navicula elginensis*	200			2,400		280		480				160
95		*Navicula gregaria*	450	1,400	3,650	3,840	60			5,760	120	40		960
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*							40					
98		*Navicula minima*	200	2,080		13,400	120			1,920				
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*		680			20						20	
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*				1,920								
103		*Navicula pseudacceptata*		680		7,680		280				40		
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*												80
106		*Navicula rostellata*		680		6,240	40	840			20	40		
107		*Navicula schroeterii*	100	680		960	20							80
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*									10			
110		*Navicula submuscula*			200	26,900								
111		*Navicula subrostellata*		2,080	200			280			20			
112		*Navicula tripunctata*			400	2,400								
113		*Navicula trivialis*				5,280				960				160
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-15(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.29 高谷川 河川				No.30 高谷川 水路				No.31 高谷川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*		100	4,160		4,320								160
－		*Navicula* spp.		100											
116		*Meridium* spp.							280						
117		*Pinnularia borealis*								20				20	
－		*Pinnularia* spp.		100			4,320	40		80	800	40	40		160
118		*Rhoicosphenia abbreviata*										20			
119		*Rhoicosphenia abbreviata*							40			20			
120		*Sellaphora japonica*													
121		*Sellaphora pupula*		100	680	200	5,280	100	280		160				160
122		*Stauroneis anceps*										20			
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*				200									
127		*Achnanthidium delicatulum*		750			240				160				
128		*Achnanthidium exiguum*							560						
129		*Achnanthidium japonicum*					2,400		280		3,360		40		7,200
130		*Achnanthidium minutissimum*		200			49,900				1,440		40		5,280
131		*Achnanthidium subhudsonis*										20			
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*		100		200	960					20			
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		550	2,760	750			280						
135		*Karayevia laterostrata*							280						
136		*Planothidium lanceolatum*		1,000	10,400	5,200	69,100	80	1,160	40	160	1,320	160	80	8,160
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*										20			
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*		100	720			1,160							
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*		250	680					320				160	
142		*Nitzschia acicularis*				200	240								
143		*Nitzschia acidoclinata*						40			1,920	80			
144		*Nitzschia amphibia*		100	680			20			480			40	
145		*Nitzschia brevissima*				200									
146		*Nitzschia clausii*					240								
147		*Nitzschia dissipata*		100	680						960				
148		*Nitzschia fonticola*					11,500	40	280	160	4,320			40	
149		*Nitzschia frustulum*													
150		*Nitzschia hantzschiana*													
151		*Nitzschia inconspicua*													
152		*Nitzschia intermedia*										20			
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*						80				20			
154		*Nitzschia linearis*				13,700	960			80	2,400	20			
155		*Nitzschia palea*			13,840	600	142,000	120	1,440		32,200	40	80	40	18,700
156		*Nitzschia paleacea*			7,600				560		1,120				
157		*Nitzschia pusilla*										20			
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*					240								
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*					80								
－		*Nitzschia* spp.						20							
162	スリレラ	*Amphipleura solea*									20				
163		*Surirella angusta*		200	680		25,000				800				640
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*					40								
166		*Surirella minuta*					1,440								
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.		100			240								
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.							200		480				
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.					480				4,800				480
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.						5,040	160						
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.													
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	プレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Actinastrum hantzschii*													
188		*Actinastrum hantzschii* var. *fluviatile*													
189		*Coelastrum microporum*													
190		*Coelastrum reticulatum*													
191		*Crucigenia crucifera*													
192		*Crucigenia fenestrata*													
193		*Crucigenia tetrapedia*													
194		*Scenedesmus acuminatus*													
195		*Scenedesmus acutus*													
196		*Scenedesmus bicaudatus*													
197		*Scenedesmus denticulatus*													
198		*Scenedesmus opoliensis*													
199		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.		1,500			2,880	5,760	760		7,680	160			640
200		*Tetradesmus* sp.													
201		*Tetrastrum heterocanthum*													
202	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
203		*Pediastrum simplex*													
204	コッコミクサ	*Pediastrum tetras*							760						
205	ヒビミドロ	*Elakatothrix gelatinosa*													
－		*Ulothrix* sp.						1,500							
206	ミクロスポラ	ヒビミドロ科の一種													
207	カエトフォラ	*Microspora* sp.													
208	サヤミドロ	カエトフォラ科の一種			1,600		4,640	15,100	2,680		5,600				
209	シオグサ	*Oedogonium* spp.						120							
210	ホシミドロ	*Cladophora* sp.													
211		*Mougeotia* sp.													
212	ツヅミモ	*Spirogyra* sp.													
213		*Closterium* sp.													
214		*Cosmarium* sp.													
		Staurastrum spp.													
合計	44科	214種	細胞数	8,750	108,680	42,850	574,240	31,760	30,360	2,480	107,500	7,230	4,240	620	60,020
			沈殿量(全量)	1.7	0.3	0.5	0.9	0.4	0.6	0.8	0.2	0.2	0.3	0.5	0.2
			種数	29	30	25	48	31	35	13	38	29	17	12	28

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-16(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.32 空港区域 調整池				No.33 荒海川 湿池				No.34 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*					96	3,168		8				
3		*Microcystis aeruginosa*	1	8				4		8				
4		*Microcystis wesenbergii*					7,870	32	8	88				
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Hormothrix janthina*										200		
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.						5						
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.					1,250	960		80				
10		*Oscillatoria* sp.			1		1	16		8				20
11		*Phormidium* sp.					2	48	12	4				
12		*Pseudanabaena mucicola*					1,010	8		24				
13		*Spirulina* sp.					64							
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱									1,120			260
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.	28	4	12	4	32	192	72					
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*		12			2	64						
18	ペリディニウム	*Peridiniumelpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.	8	84	14	34	4	8	2,328	24				
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.							4	1,390				
20		*Kephyrion* sp.								88				
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*	1		384				36	224				
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*		2,208	24									
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.		16						2				
25		*Synura* sp.							172					
26	バクオラリア	*Gonyostomum* sp.							4					
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*		40			32	32						
30		*Discostella stelligera*	20	12			16	80		16				
31		*Stephanodiscus* spp.	4	8			32	16		8				
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*	96	384	8	14	32	160		40	320	160		80
33		*Aulacoseira granulata*	12	20			288	416	8					
－		*Aulacoseira* sp.		48		4								
34		*Melosira varians*												160
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*	1											
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*		8		1								
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*											1,440	320
42		*Fragilaria crotonensis*			12									
43		*Fragilaria nanana*								88	320			
44		*Fragilaria rumpens*								16				
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*												
－		*Fragilaria* sp.							40	16				
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*											160	
48		*Staurosira construens*												320
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*										160		
51		*Staurosirella pinnata*												320
52		*Synedra berolinensis*					2,350	1,920	28	3,650				
53		*Ulnaria acus*	2	2			1							20
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*				1								120
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.									120			
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*									80			160
60		*Amphora strigosa*										160		
－		*Amphora* sp.												160
61		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*												
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*										80		60
67		*Diploneis elliptica*												60
68		*Encyonema minutum*			1					2				
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*										80		160
71		*Encyonema leei*												
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												40
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*												
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*												
79		*Gomphonema parvulum*									120	160	320	160
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*												
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.							1					
82		*Gyrosigma* spp.				1								
83		*Navicula atomus*												
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*									20			160
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*										80		
91		*Navicula cryptocephala*								8		160	160	480
92		*Navicula cryptotenella*									20		80	
93		*Navicula decussis*											80	
94		*Navicula elginensis*										80		
95		*Navicula gregaria*												160
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*									40			
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*									20	80		
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*												80
103		*Navicula pseudacceptata*										80		
104		*Navicula pygmaea*												120
105		*Navicula rhynchocephala*												
106		*Navicula rostellata*												
107		*Navicula schroeterii*											40	
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*												
110		*Navicula subminuscula*												
111		*Navicula subrostellata*												
112		*Navicula tripunctata*										160		
113		*Navicula trivialis*												
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-16(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.32 空港区域 調整池				No.33 荒海川 湿池				No.34 荒海川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*											80		
－		*Navicula* spp.				2									
116		*Neidium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.													320
118		*Reimeria sinuata*													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*										20	40		
120		*Sellaphora japonica*													
121		*Sellaphora pupula*					1							40	
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*													
127		*Achnanthidium delicatulum*													
128		*Achnanthidium exiguum*													
129		*Achnanthidium japonicum*										20			320
130		*Achnanthidium minutissimum*						16		16	48	20	520	320	1,440
131		*Achnanthidium subhudsonis*													
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*										160			40
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*										40	80		
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*										20	80	160	160
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*													
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													
142		*Nitzschia acicularis*										40			
143		*Nitzschia acidoclinata*													
144		*Nitzschia amphibia*										20			160
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*													80
147		*Nitzschia dissipata*										20	80	480	160
148		*Nitzschia fonticola*												480	
149		*Nitzschia frustulum*													
150		*Nitzschia hantzschiana*													
151		*Nitzschia inconspicua*													
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*													60
154		*Nitzschia linearis*											80	160	360
155		*Nitzschia palea*									8	20	600	160	3,200
156		*Nitzschia paleacea*													
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*													240
－		*Nitzschia* spp.				2		32	128	2				320	160
162	スリレラ	*Cymatopleura solea*													
163		*Surirella angusta*													480
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*													
166		*Surirella minuta*													
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.		12						8					
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.		204	116		2	32	112	32	24				
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.		4	4			64	320	56	8				160
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.													
175		*Schroederia setigera*					8		8						
176		*Tetraedron minimum*			444	2	1								
－		クロロコックム科の一種				2,808									
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.		4,820	864		60				32				
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*							96	36	168				
179		*Kirchneriella contorta*						32							
180		*Lagerheimia ciliata*		16											
181		*Monoraphidium minutum*		4	4			128	64						
－		*Monoraphidium* spp.		2			4	16	112	12	80				
182		*Oocystis* sp.		88	16	4	7,780		32						
183		*Treubaria* sp.						8							
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*						16	16						
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*						192							
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*		672							32				
187	セネデスムス	*Gelastrum astroideum*		40											
188		*Gelastrum microporum*		72	36										
189		*Gelastrum reticulatum*							304		144				
190		*Crucigenia crucifera*		64											
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*		96											
193		*Scenedesmus acuminatus*									64				
194		*Scenedesmus acutus*						64	64						
195		*Scenedesmus bicaudatus*		16			16	128							
196		*Scenedesmus denticulatus*						1,340	128	40	576				
197		*Scenedesmus opoliensis*						64							
198		*Scenedesmus spinosus*						208			48				
－		*Scenedesmus* spp.		32	16	8	24	7,200	4,608	48	3,460	320	200		
199		*Tetradesmus* sp.						64							
200		*Tetrastrum heterocanthum*									32				
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*		44				128	608		408				
202		*Pediastrum simplex*			28		14	208	112						
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Plakothrix gelatinosa*		8	8	4									
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													140
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種													
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.													
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.			12										
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.			2			8	32		4				
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.		8	8			16	48		48				
合計	44科	214種	細胞数	6,375	4,412	3,286	7,969	23,046	13,921	2,963	10,976	2,880	3,400	4,400	10,900
			沈殿量(全量)	0.5	0.6	0.1	0.2	0.4	1.0	1.2	5.4	0.1	0.1	0.1	0.1
			種数	28	27	15	17	38	34	21	38	21	22	15	37

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-17(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.36 多古橋川 水路				No.37 多古橋川 水路				No.38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*		80				280				280		
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.						40						
9		*Lyngbya* sp.						80				40		
10		*Oscillatoria* sp.								20				
11		*Phormidium* sp.												20
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Gomphosphaeria* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱		160	1,120		200			100	240	880	200	
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.												
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.												
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.												
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostonium* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*												
30		*Discostella stelligera*												
31		*Stephanodiscus* spp.								800				160
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*										40		
33		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.						520		320				
34		*Melosira varians*												80
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*												
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*												
44		*Fragilaria rumpens*												
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*												
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*						160						
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*				732,000								
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*												160
54		*Ulnaria pseudogaillonii*				20								
55		*Ulnaria ulna*												
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.						160		320				40
57	ナビクラ	*Amphora montana*						160	40					
58		*Amphora ovalis*				3,840								
59		*Amphora pediculus*	40					160			40	80		
60		*Amphora strigosa*	40	120			40	3,720				280		
－		*Amphora* sp.	40		80	6,720								40
61		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*				80								60
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*									20			40
68		*Encyonema minutum*												
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*					20					40		
71		*Encyonema leei*												
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*											20	
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*												
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*												
79		*Gomphonema parvulum*	80	520	480	1,280	320	640	160	3,360	40	200	60	960
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		200			520	1,240		5,040	80	80		160
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.	40				10				10			
83		*Navicula atomus*						160		67,200				
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*		120	80									
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*					40	160			20	80		
91		*Navicula cryptocephala*	40	200		960	120	760	320	1,600	40			1,440
92		*Navicula cryptotenella*	40			480		160				160		320
93		*Navicula decussis*		120	80	160					20			
94		*Navicula elginensis*		120						160				
95		*Navicula gregaria*	40	720	640	2,240	80	320		960	40	40	60	1,120
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*		920	800	7,680		320		2,880	160			
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*	20					160	80		40	40	20	
101		*Navicula nipponica*	20									40		
102		*Navicula protractoides*								640				
103		*Navicula pseudacceptata*		120	640									
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*												
106		*Navicula rostellata*	40				40	160		320		40		160
107		*Navicula schroeterii*						160		80	80	40		80
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*		200	160	5,280	40			1,920		40		
110		*Navicula submuscula*												
111		*Navicula subrostellata*	80		40							80		
112		*Navicula tripunctata*						160		80				40
113		*Navicula trivialis*								160				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*				800								40

表 2.9.1-17(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.36 多古橋川 水路				No.37 多古橋川 水路				No.38 多古橋川 水路			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*										40	200		160
－		*Navicula* spp.				160				40				40	
116		*Nitzschia* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.					40	20				20		40	40
118		*Reimeria sinuata*													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*					320						40		
120		*Sellaphora japonica*													
121		*Sellaphora pupula*		360	320	160	320			80	320		40		160
122		*Staurosirella anceps*													
123		*Staurosirella phoenicenteron*													
－		*Staurosirella* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*					40								
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*													
127		*Achnanthidium delicatulum*					480								
128		*Achnanthidium exiguum*			320		4,800	20	160						
129		*Achnanthidium japonicum*		80	120										
130		*Achnanthidium minutissimum*			120				160		21,100				
131		*Achnanthidium subhudsonis*													
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*												40	40
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*								20		40			80
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		40	1,440	640	1,760	120	2,480	160	3,360	200	80	60	160
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*										40			
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*					40		160						
142		*Nitzschia acicularis*													
143		*Nitzschia acidoclinata*						80			160	80			
144		*Nitzschia amphibia*		80	520	80	2,720	80					80		
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*		40								120	40		
147		*Nitzschia dissipata*		80								40			
148		*Nitzschia fonticola*					480		480						
149		*Nitzschia frustulum*									320				
150		*Nitzschia hantzschiana*						40							
151		*Nitzschia inconspicua*													
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*													
154		*Nitzschia linearis*				20				40	20			20	
155		*Nitzschia palea*		40	400	160	160	40	5,600	160	5,760	120	520	40	2,560
156		*Nitzschia paleacea*													
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*													
－		*Nitzschia* spp.													
162	スリレラ	*Cymatopleura solea*													20
163		*Surirella angusta*								40	320			20	1,120
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*													
166		*Surirella minuta*									160				
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.													
169		*Phacus* spp.													
170		*Trachelomonas* spp.											40		
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.					480								320
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.							40			40			
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.													
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Gelastrum astroideum*													
188		*Gelastrum microporum*													
189		*Gelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*													
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*													
194		*Scenedesmus acutus*													
195		*Scenedesmus bicaudatus*													
196		*Scenedesmus denticulatus*													
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*													
－		*Scenedesmus* spp.		160			25,000	160	200						1,280
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*													
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*													
204	コッコミクサ	*Planktosphaeria gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.													
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種													
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.					240						320		
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.													
合計	44科	214種	細胞数	1,400	6,840	5,340	798,420	1,990	18,960	1,140	117,480	1,570	3,840	620	10,860
			沈殿量(全量)	0.1	0.5	0.4	0.7	0.7	0.1	0.1	0.3	0.1	0.9	0.1	0.1
			種数	20	20	16	27	19	29	11	27	23	27	12	28

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-18(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.39 多古橋川 河川				No.40 多古橋川 水路				No.41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homeothrix janthina*		80		400								
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.		160						240				
9		*Lyngbya* sp.		320	40						48	8	1	8
10		*Oscillatoria* sp.				40				40				
11		*Phormidium* sp.												
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱			320			3,200						
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.									24	984	34	64
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*										2		
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.									24	120		28
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.											84	1,510
20		*Kephyrion* sp.												8
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*										4		4
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.									1	20		1
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostomum* sp.									2	24		
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*									20			612
30		*Discostella stelligera*											216	12
31		*Stephanodiscus* spp.				1,120					32	4	42	12
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*								160	76		12	300
33		*Aulacoseira granulata*									8	24	4	40
－		*Aulacoseira* sp.								320	264	72		240
34		*Melosira varians*	3,360		1,760	23,500	20							
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*								320				
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*									72	672		16
44		*Fragilaria rumpens*				160								
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*			160	480								
－		*Fragilaria* sp.											6	
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*												
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*				600								
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*												
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*		40	640				20	800				
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.				120				80				
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*	80				40		80	160				
60		*Amphora strigosa*	80				40	40						
－		*Amphora* sp.	80		320									
61		*Caloneis bacillum*	80				40							
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*				80								
63		*Cymbella tumida*	20							80				
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*								160				
67		*Diploneis elliptica*								320				
68		*Encyonema minutum*												
69		*Encyonema prostratum*			80									
70		*Encyonema silesiacum*					20							
71		*Encyonema lei*												
72		*Frustulia rhomboides*				60								
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*			40	40	20							
74		*Frustulia vulgaris*				40								
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*												
77		*Gomphonema contraturris*		240										
78		*Gomphonema gracile*	80	920										
79		*Gomphonema parvulum*	160	2,520	960	1,280	40	80	80	320				1
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*								1,440				
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.	20	40			10							
83		*Navicula atomus*												
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*	80	240	160	160								
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*			160									
88		*Navicula clementoides*				80								
89		*Navicula confervacea*	160											
90		*Navicula contenta* f. *biceps*					80							
91		*Navicula cryptocephala*	800	440	320	2,400	80	720	160	2,400				
92		*Navicula cryptotenella*			160	320				5,280				
93		*Navicula decussis*						40						
94		*Navicula elginensis*		240						160				
95		*Navicula gregaria*	400	1,160	6,720	5,280	120			1,440				
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*								80,600				
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*	160	240	160		40							
101		*Navicula nipponica*								80				
102		*Navicula protractoides*			800	160								
103		*Navicula pseudacceptata*		240										
104		*Navicula pygmaea*				80								
105		*Navicula rhynchocephala*	160		1,280									
106		*Navicula rostellata*	240	920		960	40	440	40					
107		*Navicula schroeterii*	400	240		80		200						
108		*Navicula seminuloides*					80							
109		*Navicula seminulum*												
110		*Navicula submuscula*					40							
111		*Navicula subrostellata*	160	2,280	960	320	40	160	40					
112		*Navicula tripunctata*		240				40		2,880				
113		*Navicula trivialis*	80	240		1,440				960				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*			2,560	480								

表 2.9.1-18(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.39 多古橋川 河川				No.40 多古橋川 水路				No.41 多古橋川 溜池（佐野池）			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*				320									
－		*Navicula* spp.								80					
116		*Meridium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*				160									
－		*Pinnularia* spp.		40	2,040		120		80		320				
118		*Rhoicosphenia abbreviata*													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*		80	40				40	80					
120		*Sellaphora japonica*				320		20							
121		*Sellaphora pupula*		80			160								
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*													
127		*Achnanthidium delicatulum*													
128		*Achnanthidium exiguum*													
129		*Achnanthidium japonicum*							40		5,280				
130		*Achnanthidium minutissimum*									13,900		2		4
131		*Achnanthidium subhudsonis*				160									
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*		80		320	120				160				
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		160	240	80		80	40						
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		160	1,840	480	1,120	240	40	160	4,800				4
137	エピテミア	*Epithemia* sp.							40						
138		*Rhopalodia gibba*		40											
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*		200		80	480	40							
140		*Denticula* sp.					160								
141		*Hantzschia amphioxys*							40						
142		*Nitzschia acicularis*													2
143		*Nitzschia acidoclinata*				160		80							
144		*Nitzschia amphibia*		240		160		40			160				
145		*Nitzschia brevissima*						20							
146		*Nitzschia clausii*		80				80	40		160				
147		*Nitzschia dissipata*			440						4,800				
148		*Nitzschia fonticola*				800		40		160					
149		*Nitzschia frustulum*													
150		*Nitzschia hantzschiana*													
151		*Nitzschia inconspicua*													
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*						20							
154		*Nitzschia linearis*				1,280	480	10		80	800				
155		*Nitzschia palea*		800	3,440	3,680	7,200	40	560		5,760				4
156		*Nitzschia paleacea*		80											
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*				2,400	160								
161		*Nitzschia vermicularis*					60				40				
－		*Nitzschia* spp.										1	12	6	
162	スリレラ	*Amphipleura solea*					20								
163		*Surirella angusta*				80	960		40	40	2,880				
164		*Surirella brebissonii*									160				
165		*Surirella linearis*				80	40								
166		*Surirella minuta*						20			320				
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.		80			160	80			160	52	96	1	44
169		*Phacus* spp.											44		
170		*Trachelomonas* spp.										180	1,512	2	8
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.									480	12	216	34	76
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.			640										
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*											4		
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*										20	56	14	8
179		*Kirchneriella contorta*										64	8		
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*										12	4		12
－		*Monoraphidium* spp.										52	56	12	88
182		*Oocystis* sp.										16	28	4	
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*												6	
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*										152	36	56	56
187	セネデスムス	*Quadrigula closterioides*										64	96		
188		*Quadrigula lacustris*													
189		*Quadrigula pfitzeri*													
190		*Crucigenia crucifera*											600		40
191		*Crucigenia fenestrata*										32		8	
192		*Crucigenia tetrapedia*										56	72		
193		*Scenedesmus acuminatus*													16
194		*Scenedesmus acutus*											40	16	32
195		*Scenedesmus bicaudatus*										40			16
196		*Scenedesmus denticulatus*										8	16		
197		*Scenedesmus opoliensis*													
198		*Scenedesmus spinosus*										8			16
－		*Scenedesmus* spp.		320							640	64	40	12	96
199		*Tetradesmus* sp.											4		
200		*Tetrastrum heterocanthum*										48			
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*													
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*											16	12	40
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.			5,120						640				
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.									560				
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種			8,080						1,600				
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.			31,040						360				
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211		*Spirogyra* sp.			240										
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.													
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.										8			
合計	44科	214種	細胞数	9,040	63,960	28,160	50,920	1,560	5,880	1,020	142,220	1,460	4,892	582	3,418
			沈殿量(全量)	0.2	1.3	0.2	0.1	0.9	1.9	0.1	0.1	0.1	0.3	0.6	0.3
			種数	33	30	35	39	30	19	12	42	30	32	21	33

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-19(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.42 多古橋川 溜池（大原池）				No.43 多古橋川 水路				No.44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*	16											
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Hormothrix janthina*						40						
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.					10			40				
9		*Lyngbya* sp.						40						
10		*Oscillatoria* sp.		2						20				
11		*Phormidium* sp.												
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱						2,080		120				
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.	80	2,928	24	20					24	112	32	16
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*	16	2		1								
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*	3,460											
－		*Peridinium* sp.		64	1	4					1			8
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.			3,744	792						9,792	1,344	336
20		*Kephyrion* sp.				12								4
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*			26									4
22		*Dinobryon elegantissimum*				2280								
23		*Dinobryon sertularia*				48								24
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.		120	14						16			
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Bonvostonium* sp.	4	24										
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*								160				1
29		*Discostella pseudostelligera*	176	48		20					480	48		2,450
30		*Discostella stelligera*	16	8	66	4						24		
31		*Stephanodiscus* spp.	112	136	2	64					8	16		
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*	384	2,064	276	1,340	2,000	200		2,560	600	24	4	52
33		*Aulacoseira granulata*				8					152		2	24
－		*Aulacoseira* sp.									15,100	4,512	34	1,320
34		*Melosira varians*								160				1
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*			1									
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*												
42		*Fragilaria crotonensis*												
43		*Fragilaria nanana*	8		8,640	18,000			3,360	640			1	
44		*Fragilaria rumpens*							160					
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*								160				
－		*Fragilaria* sp.		88										
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*						80						
49		*Staurosira construens* var. *binodis*												
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*												
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*	48	16					80		4	2		24
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*												
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.					40			80				
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*							160					
60		*Amphora strigosa*					40	80						
－		*Amphora* sp.								160				
61		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.					80							
62		*Cymbella naviculiformis*								80				
63		*Cymbella tumida*							20					
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*					80							
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*									4			2
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*												
71		*Encyonema ventricosum*					20		80					
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*					20							
74		*Frustulia vulgaris*							20					
75		*Gomphoneis heteromineuta*						80						
76		*Gomphonema clevei*												
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*					40		40					
79		*Gomphonema parvulum*						680	480	320			2	
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*					80	160						
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.					10			20				
83		*Navicula atomus*												
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*												
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*							80					
91		*Navicula cryptocephala*						80	320	480				2
92		*Navicula cryptotenella*								160				
93		*Navicula decussis*					80							
94		*Navicula elginensis*						80		160				
95		*Navicula gregaria*					80	80	160	320				
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*												
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*						80	80					
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*								160				
103		*Navicula pseudacceptata*												
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*												
106		*Navicula rostellata*					240							
107		*Navicula schroeterii*					160	80	40	80				
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*												
110		*Navicula submuscula*												
111		*Navicula subrostellata*					40							
112		*Navicula tripunctata*						80	40					
113		*Navicula trivialis*								80				
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-19(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.42 多古橋川 溜池（大原池）				No.43 多古橋川 水路				No.44 多古橋川 溜池（井野池）			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*								80					
－		*Navicula* spp.				2								28	
116		*Meridium* spp.								40	160				
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.						40			960			1	4
118		*Rhoicosphenia abbreviata*							80						
119		*Sellaphora japonica*									160				
120		*Sellaphora pupula*						80			160				
121		*Stauroneis anceps*													
122		*Stauroneis phoenicenteron*								20					
123		*Stauroneis* sp.													
－	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
124		*Achnanthidium atomus*													
125		*Achnanthidium clevei*													
126		*Achnanthidium delicatulum*													
127		*Achnanthidium exiguum*						80							
128		*Achnanthidium japonicum*							240						
129		*Achnanthidium minutissimum*						80	360		960				28
130		*Achnanthidium subhudsonis*													
131		*Cocconeis pediculus*													
132		*Cocconeis placentula*				1	2								
133		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*													
134		*Karayevia laterostrata*													
135		*Planothidium lanceolatum*						80	320	160	800				
136	エピテミア	*Epithemia* sp.													
137		*Rhopalodia gibba*													
138	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*						160							
139		*Denticula* sp.													
140		*Hantzschia amphioxys*													
141		*Nitzschia acicularis*													4
142		*Nitzschia acidoclinata*						160			160				
143		*Nitzschia amphibia*						80		160					
144		*Nitzschia brevissima*													
145		*Nitzschia clausii*						40			160				
146		*Nitzschia dissipata*						240	80	640					
147		*Nitzschia fonticola*						80	160		320				
148		*Nitzschia frustulum*													
149		*Nitzschia hantzschiana*													
150		*Nitzschia inconspicua*													
151		*Nitzschia intermedia*													
152		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*						40	80						
153		*Nitzschia linearis*					2			640		2			
154		*Nitzschia palea*					4	80	1,800	480	3,680			84	12
155		*Nitzschia paleacea*						80							
156		*Nitzschia pusilla*													
157		*Nitzschia sigma*													
158		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*						80							
159		*Nitzschia tubicola*													
160		*Nitzschia vermicularis*													
161		*Nitzschia* spp.				1					160	24	8	6	
－	スリレラ	*Amphipleura solea*													
162		*Surirella angusta*								320	640				
163		*Surirella brebissonii*													
164		*Surirella linearis*						20			20				
165		*Surirella minuta*								40					
166		*Surirella tenera*													
167	ミドリムシ	*Euglena* spp.		48	152		24			160			4		2
168		*Phacus* spp.			8										
169		*Trachelomonas* spp.		192	4,320		4					88	160		
170	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
171		*Chlamydomonas* sp.		48	88	20	88					48	24	2	24
172	－	ヨツメモ目の一種													
173	クロロコックム	*Characium* sp.													
174		*Schroederia setigera*		1											
175		*Tetraedron minimum*					4						8		
176		クロロコックム科の一種													
－	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.		32	64								80		
177	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*		16			12								
178		*Kirchneriella contorta*			72										
179		*Lagerheimia ciliata*											8		
180		*Monoraphidium minutum*		48	32		4					136	80		
181		*Monoraphidium* spp.		24	24	6	20					48	32		
－		*Oocystis* sp.		32		4						144	64		
182		*Treubaria* sp.													
183	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*		24	56										
184	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*		16	104		36								
185	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*			264	28	48					48			16
186	セネデスムス	*Actinastrum hantzschii*			32							160	104		
187		*Coelastrum astroideum*											64		
188		*Coelastrum microporum*													
189		*Coelastrum reticulatum*													
190		*Crucigenia crucifera*		528	64							32	408		
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*										32			
193		*Scenedesmus acuminatus*					64								
194		*Scenedesmus acutus*			32		16						32		
195		*Scenedesmus bicaudatus*										432	160	16	16
196		*Scenedesmus denticulatus*										48	80		16
197		*Scenedesmus opoliensis*		64		8						32	32		
198		*Scenedesmus spinosus*		64											
－		*Scenedesmus* spp.		696	120	20	56		80			5,470	3,840	56	264
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*			32		16					104	32		16
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*			176		32					304	408		32
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*				24							120		
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*													
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.									200				
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種													
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.													
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.													
211	－	*Spirogyra* sp.													
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.		2	4							24	4		
213		*Cosmarium* sp.													
214		*Staurastrum* spp.		16	16		4					4	4		
合計	44科	214種	細胞数	6,171	11,160	12,908	23,029	4,440	7,120	7,860	14,500	23,569	20,286	1,612	4,702
			沈殿量(全量)	0.2	0.5	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.8	0.4	0.1
			種数	28	31	20	31	32	24	26	34	29	31	14	27

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-20(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.45 多古橋川 水路				No.46 高谷川 水路				No.47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*												
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*		280			7,840	40	200					
7	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
9		*Lyngbya* sp.									2	1		
10		*Oscillatoria* sp.												
11		*Phormidium* sp.	240			160							8	
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱	800		640									
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.			960						14	12	12	6
17	ケラティウム	*Ceratium hirundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridiniumelpatiewskyi*												
－		*Peridinium* sp.									1			
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.										4		4
20		*Kephyrion* sp.												
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*												
22		*Dinobryon elegantissimum*												
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.												
25		*Synura* sp.												
26	バクオラリア	*Gonyostomum* sp.												
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*								120				
29		*Discostella pseudostelligera*												42
30		*Discostella stelligera*											1	
31		*Stephanodiscus* spp.								800				
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												
33		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.								320				
34		*Melosira varians*												4
35		*Pleurosira laevis*												
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*												
40		*Diatoma vulgaris*												
41		*Fragilaria capucina*												
42		*Fragilaria crotonensis*												12
43		*Fragilaria nanana*												4
44		*Fragilaria rumpens*				1,280								
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*												
－		*Fragilaria* sp.										10	12	16
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*							80					
48		*Staurosira construens*						80						
49		*Staurosira construens* var. *binodis*	640											
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*												
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*												
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*										4	4	4
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*	18,700	1,240	320	16,800								
－		*Eunotia* spp.											4	
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*				160								
59		*Amphora pediculus*												
60		*Amphora strigosa*						200						
－		*Amphora* sp.			320		160							
61		*Caloneis bacillum*				160								
－		*Caloneis* spp.					80	80						
62		*Cymbella naviculiformis*												
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
66		*Diploneis boldtiana*	240			160								
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*									1	1	1	
69		*Encyonema prostratum*												
70		*Encyonema silesiacum*												
71		*Encyonema leei*												
72		*Frustulia rhomboides*	960		40	320								
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heteromimuta*												
76		*Gomphonema clevei*												2
77		*Gomphonema contraturris*	3,360	680	160	800								
78		*Gomphonema gracile*	11,500	3,840		8,160	800							
79		*Gomphonema parvulum*	2,880		640	960	320		160	2,160			2	
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*					13,400	1,120	80	5,040				
81		*Gomphonema truncatum*												
－		*Gomphonema* spp.											1	
82		*Gyrosigma* spp.												
83		*Navicula atomus*								17,800				
84		*Navicula bacillum*		280										
85		*Navicula capitata*			80	160		840						
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*												
88		*Navicula clementoides*								80				
89		*Navicula confervacea*												
90		*Navicula contenta* f. *biceps*	240					80	40					
91		*Navicula cryptocephala*	480	120	320	1,120	640							
92		*Navicula cryptotenella*		80						1,680				
93		*Navicula decussis*	240					80						
94		*Navicula elginensis*				80				160				
95		*Navicula gregaria*	240				160	80	80	2,400				2
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*	960				1,440	200						
99		*Navicula molestiformis*					160							
100		*Navicula mutica*	480	80	80									
101		*Navicula nipponica*												
102		*Navicula protractoides*							40					
103		*Navicula pseudacceptata*												
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*	480		320	320								
106		*Navicula rostellata*												
107		*Navicula schroeterii*					160							
108		*Navicula seminuloides*												
109		*Navicula seminulum*						80		1,920				
110		*Navicula submuscula*					320							
111		*Navicula subrostellata*			160									
112		*Navicula tripunctata*						80		80				
113		*Navicula trivialis*	160	120										
114		*Navicula viridula* var. *linearis*			480									

表 2.9.1-20(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.45 多古橋川 水路				No.46 高谷川 水路				No.47 空港区域 調整池			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*													
－		*Navicula* spp.											8	2	
116		*Neidium* spp.		480		160			80		40				
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.		1,440	80	25,680	1,440	80							
118		*Reimeria sinuata*													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*								40	160				
120		*Sellaphora japonica*													
121		*Sellaphora pupula*		240	80		80	160							
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.			80	320									
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*													
127		*Achnanthidium delicatulum*													
128		*Achnanthidium exiguum*													
129		*Achnanthidium japonicum*						480			7,680				
130		*Achnanthidium minutissimum*		3,840	80	480	159,000				1,440	1	2	2	8
131		*Achnanthidium subhudsonis*								80					
132		*Cocconeis pediculus*													
133		*Cocconeis placentula*					160	160			320				1
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*						320	80	40	480				
135		*Karayevia laterostrata*													
136		*Planothidium lanceolatum*		480			160	480	200	80	640				
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*													
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*													
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*			80	480	160		80						
142		*Nitzschia acicularis*									960		10	1	4
143		*Nitzschia acidoclinata*									480				4
144		*Nitzschia amphibia*						160		80	160				2
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*									80				
147		*Nitzschia dissipata*									1,440				
148		*Nitzschia fonticola*						160			1,920				
149		*Nitzschia frustulum*								80					
150		*Nitzschia hantzschiana*						160							
151		*Nitzschia inconspicua*		480											
152		*Nitzschia intermedia*		480											
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*				40									
154		*Nitzschia linearis*				40	40			80	800				2
155		*Nitzschia palea*		960	200	480	320	480	920		9,120			2	2
156		*Nitzschia paleacea*													
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*									160				
－		*Nitzschia* spp.											6	2	
162	スリレラ	*Cymatopleura solea*				40									1
163		*Surirella angusta*			80	80				40	640				
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*		160		480									
166		*Surirella minuta*													
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.					320					1			
169		*Phacus* spp.											1		
170		*Trachelomonas* spp.										6			1
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.													
172		*Chlamydomonas* sp.										1	2	8	10
173	－	ヨツメモ目の一種													
174	クロロコックム	*Characium* sp.		480											
175		*Schroederia setigera*													
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*													
179		*Kirchneriella contorta*													
180		*Lagerheimia ciliata*													
181		*Monoraphidium minutum*													
－		*Monoraphidium* spp.										2			
182		*Oocystis* sp.													
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*													
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*													
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*													
187	セネデスムス	*Actinastrum gelaziniforme*													
188		*Actinastrum hantzschii*													
189		*Actinastrum hantzschii* var. *fluviatile*													
190		*Coelastrum astroideum*													
191		*Coelastrum microporum*													
192		*Coelastrum reticulatum*													
193		*Crucigenia crucifera*													
194		*Crucigenia fenestrata*													
195		*Crucigenia tetrapedia*													
196		*Scenedesmus acuminatus*													
197		*Scenedesmus acutus*													
198		*Scenedesmus bicaudatus*													
199		*Scenedesmus denticulatus*													
200		*Scenedesmus opoliensis*													
201	アミミドロ	*Scenedesmus spinosus*													
202		*Scenedesmus* spp.											8		12
203		*Tetradesmus* sp.													
204	コッコミクサ	*Tetrastrum heterocanthum*													
205	ヒビミドロ	*Pediastrum duplex*													
－		*Pediastrum simplex*													
206	ミクロスポラ	*Pediastrum tetras*													
207	カエトフォラ	*Planktothrix gelatinosa*			6,720										
208	サヤミドロ	*Ulothrix* sp.		49,400											
209	シオグサ	ヒビミドロ科の一種		40,300	800		25,900	1,760							
210	ホシミドロ	*Microspora* sp.		1,760	200										
211		カエトフォラ科の一種													
212	ツヅミモ	*Oedogonium* spp.													
213		*Cladophora* sp.			280										
214		*Mougeotia* sp.													
		Spirogyra sp.					20					4			
		Closterium sp.													
		Cosmarium sp.													
		Staurastrum spp.													
合計	44科	214種	細胞数	143,100	15,400	32,800	218,240	29,880	4,320	1,200	59,080	33	69	62	143
			沈殿量(全量)	0.8	1.3	1.5	1.1	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1	0.5	0.1	0.3
			種数	30	20	24	25	23	17	15	29	10	13	15	21

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

表 2.9.1-21(1)　定量採取調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.49 空港区域 調整池				No.50 取香川 河川				No.52 空港区域 潜水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia glauca*												
2		*Merismopedia tenuissima*				2								
3		*Microcystis aeruginosa*												
4		*Microcystis wesenbergii*												
5	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
6		*Homoeothrix janthina*					1,760	4,400		3,000				
7	ネンジュモ	*Anhanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
8	ユレモ	*Komvophoron* sp.						2,000						
9		*Lyngbya* sp.					20							
10		*Oscillatoria* sp.			1		20	40				24		
11		*Phormidium* sp.									8			
12		*Pseudanabaena mucicola*												
13		*Spirulina* sp.												
14	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
15	オオイシソウ	*Compsopogon* sp.												
－	－	真正紅藻亜綱												
16	クリプトモナス	*Cryptomonas* sp.	224	600	732	216					56	104	210	104
17	ケラティウム	*Ceratium birundinella*												
18	ペリディニウム	*Peridinium elpatiewskyi*									2			
－		*Peridinium* sp.		16	2	14					16	40	18	8
19	クリソコッカス	*Chrysococcus* sp.			1,890	972							2,592	780
20		*Kephyrion* sp.				6								12
21	ディノブリオン	*Dinobryon divergens*		8								16	2	4
22		*Dinobryon elegantissimum*				16								
23		*Dinobryon sertularia*												
24	シヌラ	*Mallomonas* sp.		4	4							2	8	
25		*Synura* sp.			12									
26	バクオラリア	*Convostomum* sp.										16		
27	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
28		*Cyclotella meneghiniana*												
29		*Discostella pseudostelligera*							34,560			8		
30		*Discostella stelligera*	16											
31		*Stephanodiscus* spp.	5,810	2,016	186	3,460					80	624	14	216
32	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*	3,170	3,600	756	3,310	1,920	23,200		1,600	2,160	5,472	732	5,350
33		*Aulacoseira granulata*	1,150	104	48	80		2,000			56	312	8	96
－		*Aulacoseira* sp.			6			400						
34		*Melosira varians*					480	1,448,000	52,480	36,000				
35		*Pleurosira laevis*											2	
36	リゾソレニア	*Urosolenia eriensis*												
37	ビドルフィア	*Acanthoceras zachariasii*												
38	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*						400						
39	ディアトマ	*Asterionella formosa*			2,214	44							2,520	4
40		*Diatoma vulgaris*							207,360	2,320				
41		*Fragilaria capucina*						109,600		7,200				
42		*Fragilaria crotonensis*						6,800						
43		*Fragilaria nanana*			102				15,360				2,736	4
44		*Fragilaria rumpens*							78,720	45,600				
45		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
46		*Fragilaria vaucheriae*												
－		*Fragilaria* sp.												
47		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
48		*Staurosira construens*					3,360							
49		*Staurosira construens* var. *binodis*							6,400	126,000				
50		*Staurosira construens* var. *venter*												
51		*Staurosirella pinnata*								7,800				
52		*Synedra berolinensis*												
53		*Ulnaria acus*	4	4	12	1	960		1,280	800	4	4	1	1
54		*Ulnaria pseudogaillonii*												
55		*Ulnaria ulna*					1,600	9,200	5,120	1,200				
56	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.						6,400						
57	ナビクラ	*Amphora montana*												
58		*Amphora ovalis*												
59		*Amphora pediculus*												
60		*Amphora strigosa*						6,400						
－		*Amphora* sp.					960		1,280					
61		*Caloneis bacillum*						6,400						
－		*Caloneis* spp.												
62		*Cymbella naviculiformis*							2,560					
63		*Cymbella tumida*												
64		*Cymbella turgidula*												
65		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												2
66		*Diploneis boldtiana*												
67		*Diploneis elliptica*												
68		*Encyonema minutum*					480							
69		*Encyonema prostratum*					160			800				
70		*Encyonema silesiacum*						6,400						
71		*Encyonema leei*					480							
72		*Frustulia rhomboides*												
73		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
74		*Frustulia vulgaris*												
75		*Gomphoneis heterominuta*												
76		*Gomphonema clevei*					480							
77		*Gomphonema contraturris*												
78		*Gomphonema gracile*												
79		*Gomphonema parvulum*					36,500	6,400	11,520	21,600				
80		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*												
81		*Gomphonema truncatum*							640	800				
－		*Gomphonema* spp.												
82		*Orthoseira* spp.												
83		*Navicula atomus*						12,760						
84		*Navicula bacillum*												
85		*Navicula capitata*												
86		*Navicula capitatoradiata*												
87		*Navicula clementis*							1,280					
88		*Navicula clementoides*												
89		*Navicula confervacea*					1,920							
90		*Navicula contenta* f. *biceps*												
91		*Navicula cryptocephala*					4,800	63,800		800				4
92		*Navicula cryptotenella*				2	1,920	51,040						
93		*Navicula decussis*					960	6,400						
94		*Navicula elginensis*							1,280					
95		*Navicula gregaria*					5,760	165,880	10,240	800				
96		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
97		*Navicula lanceolata*												
98		*Navicula minima*					6,720			4,800				
99		*Navicula molestiformis*												
100		*Navicula mutica*						51,040						
101		*Navicula nipponica*						3,200						
102		*Navicula protractoides*												
103		*Navicula pseudacceptata*												
104		*Navicula pygmaea*												
105		*Navicula rhynchocephala*												
106		*Navicula rostellata*						3,200						
107		*Navicula schroeterii*					960							
108		*Navicula seminuloides*					3,840							
109		*Navicula seminulum*						6,400						
110		*Navicula submuscula*					39,400							
111		*Navicula subrostellata*					2,880	12,760						
112		*Navicula tripunctata*												
113		*Navicula trivialis*												
114		*Navicula viridula* var. *linearis*												

表 2.9.1-21(2)　定量採取調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記		No.49 空港区域 調整池				No.50 取香川 河川				No.52 空港区域 潜水池			
				夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
115	ナビクラ	*Navicula yuraensis*													
－		*Navicula* spp.			8	2							8	36	
116		*Meridium* spp.													
117		*Pinnularia borealis*													
－		*Pinnularia* spp.				1								1	
118		*Rhoicosphenia abbreviata*													
119		*Rhoicosphenia abbreviata*								1,280					
120		*Sellaphora japonica*						6,720	76,560	1,280					
121		*Sellaphora pupula*						960	12,760		800				4
122		*Stauroneis anceps*													
123		*Stauroneis phoenicenteron*													
－		*Stauroneis* sp.													
124	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*													
125		*Achnanthidium atomus*													
126		*Achnanthidium clevei*							6,400						
127		*Achnanthidium delicatulum*						1,920		3,840					
128		*Achnanthidium exiguum*						37,400							
129		*Achnanthidium japonicum*						16,300	6,400						
130		*Achnanthidium minutissimum*							19,160	1,280	7,200			4	
131		*Achnanthidium subhudsonis*						3,840	6,400	5,120	4,800				
132		*Cocconeis pediculus*									400				
133		*Cocconeis placentula*						2,880		1,280					
134		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*						4,800	6,400						
135		*Karayevia laterostrata*							25,520						
136		*Planothidium lanceolatum*						20,200	12,760	1,280	1,600				
137	エピテミア	*Epithemia* sp.													
138		*Rhopalodia gibba*						160							
139	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*							4,000						
140		*Denticula* sp.													
141		*Hantzschia amphioxys*													
142		*Nitzschia acicularis*							3,200	35,840				2	12
143		*Nitzschia acidoclinata*						1,920	3,200						
144		*Nitzschia amphibia*						50,900	204,160	30,720	91,200				
145		*Nitzschia brevissima*													
146		*Nitzschia clausii*													
147		*Nitzschia dissipata*								180,480	62,400				
148		*Nitzschia fonticola*							153,120	96,000	595,000				32
149		*Nitzschia frustulum*							6,400	3,840					
150		*Nitzschia hantzschiana*													
151		*Nitzschia inconspicua*													
152		*Nitzschia intermedia*													
153		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*													
154		*Nitzschia linearis*								7,680					
155		*Nitzschia palea*					2	30,700	63,800	57,600					8
156		*Nitzschia paleacea*						10,600	25,520						
157		*Nitzschia pusilla*													
158		*Nitzschia sigma*													
159		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*													
160		*Nitzschia tubicola*													
161		*Nitzschia vermicularis*													
－		*Nitzschia* spp.		16	64		8					8		8	4
162	スリレラ	*Amphipleura solea*													
163		*Surirella angusta*								2,560					
164		*Surirella brebissonii*													
165		*Surirella linearis*													
166		*Surirella minuta*									400				
167		*Surirella tenera*													
168	ミドリムシ	*Euglena* spp.		112	40	1	26						48	6	4
169		*Phacus* spp.		48	8		6						16	1	
170		*Trachelomonas* spp.		144	48	14	36					40	264	6	20
171	クラミドモナス	*Carteria* sp.		128											
172		*Chlamydomonas* sp.		64		2	38					8	16	10	40
173	－	ヨツメモ目の一種									25,200				
174	クロロコックム	*Characium* sp.									800				
175		*Schroederia setigera*		48			2					16	8		
176		*Tetraedron minimum*													
－		クロロコックム科の一種													
177	パルメラ	*Sphaerocystis* sp.													
178	オオキスティス	*Ankistrodesmus falcatus*		64			4								16
179		*Kirchneriella contorta*					18						32		
180		*Lagerheimia ciliata*													2
181		*Monoraphidium minutum*					12					8	8		8
－		*Monoraphidium* spp.		160	16	6	4					32	64	4	32
182		*Oocystis* sp.			32		8					4			16
183		*Treubaria* sp.													
184	ゴレンキニア	*Acanthosphaera zachariasii*		2,500								208	48		8
185	ミクラクティニウム	*Micractinium pusillum*		64	32		156								36
186	ディクティオスファエリウム	*Dictyosphaerium pulchellum*		544		88	138					120	48	12	160
187	セネデスムス	*Quelastrum astroideum*		96										6	
188		*Quelastrum microporum*													
189		*Quelastrum reticulatum*											56		
190		*Crucigenia crucifera*		288											
191		*Crucigenia fenestrata*													
192		*Crucigenia tetrapedia*													
193		*Scenedesmus acuminatus*					48		15,200					28	24
194		*Scenedesmus acutus*		64	16										32
195		*Scenedesmus bicaudatus*		192			18						32		
196		*Scenedesmus denticulatus*		192	16		8					48	64	2	16
197		*Scenedesmus opoliensis*			16		8					32			16
198		*Scenedesmus spinosus*										32			16
－		*Scenedesmus* spp.		1,150	192	24	192	640	57,600		13,400	192	432	8	80
199		*Tetradesmus* sp.													
200		*Tetrastrum heterocanthum*										32			
201	アミミドロ	*Pediastrum duplex*		128	192	14	32						208		
202		*Pediastrum simplex*													
203		*Pediastrum tetras*		64			16					48	96	12	
204	コッコミクサ	*Elakatothrix gelatinosa*		8		8	12								
205	ヒビミドロ	*Ulothrix* sp.							5,840		500				
－		ヒビミドロ科の一種													
206	ミクロスポラ	*Microspora* sp.													
207	カエトフォラ	カエトフォラ科の一種													
208	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.						320	1,520		2,170				
209	シオグサ	*Cladophora* sp.													
210	ホシミドロ	*Mougeotia* sp.		208			1					8			
211		*Spirogyra* sp.						160	3,400						
212	ツヅミモ	*Closterium* sp.					1					2	2	1	
213		*Cosmarium* sp.							400						
214		*Staurastrum* spp.		48			1								
合計	44科	214種	細胞数	16,704	7,032	6,125	8,918	308,760	2,734,240	860,160	1,066,990	3,220	8,072	8,990	7,171
			沈殿量(全量)	0.4	1.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.4	1.9	0.4
			種数	29	21	23	37	41	49	30	30	25	29	29	35

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

※3　ヨツメモ目について、目までしか判断できなかったものであった。科は不明であるが、科があるものとして数えた。

4) 定性採取調査結果

定性採取調査結果は、表 2.9.1-22～表 2.9.1-36 に示すとおりである。

表 2.9.1-22(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*	○	○							○			○
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.						○						
8		*Lyngbya* sp.	○	○	○			○	○		○	○	○	
9		*Oscillatoria* sp.							○					
10		*Phormidium* sp.						○						○
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.												
13	カワモズク	チャイロカワモズク			○									
14		アオカワモズク			○	○								
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ						○						
－	－	真正紅藻亜綱	○									○		○
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*												
18		*Discostella pseudostelligera*								○				○
19		*Discostella stelligera*					○							
20		*Stephanodiscus* spp.												
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*					○	○	○	○			○	○
22		*Aulacoseira granulata*		○							○			
－		*Aulacoseira* sp.						○				○	○	○
23		*Melosira varians*				○	○	○	○	○				○
24		*Pleurosira laevis*							○					
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*		○			○							
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*					○		○	○				
28		*Fragilaria capitellata*							○					
29		*Fragilaria capucina*				○	○	○		○				○
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*						○						
34		*Fragilaria vaucheriae*			○	○		○	○	○				
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*	○				○							
38		*Staurosira construens* var. *binodis*			○									
39		*Staurosira construens* var. *venter*					○			○				
40		*Staurosirella pinnata*					○			○				
41		*Ulnaria acus*			○			○				○		
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*				○								
44		*Ulnaria ulna*		○	○	○	○	○	○	○			○	
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.	○				○					○	○	
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*								○				
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*	○		○		○	○			○			○
50		*Amphora strigosa*	○	○				○			○			
－		*Amphora* sp.			○								○	
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*											○	
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*							○					
56		*Cymbella tumida*		○						○				
57		*Cymbella turgidula*						○						
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*		○				○						
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*		○										
61		*Diploneis yatukaensis*								○				
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*			○		○		○	○				○
64		*Encyonema silesiacum*												
65		*Encyonema leei*	○	○			○	○						
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*						○						
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*		○										
68		*Frustulia vulgaris*				○				○				○

表 2.9.1-22(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 1 取香川 水路				No. 2 取香川 河川				No. 3 取香川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
69	ナビクラ	*Gomphoneis heteromiuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*							○	○				○
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*											○	
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		○	○	○				○		○		○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												
77		*Gyrosigma* spp.						○	○	○				
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*			○	○								
82		*Navicula capitatoradiata*					○					○		
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*							○					
87		*Navicula contenta* f. *biceps*											○	○
88		*Navicula cryptocephala*	○	○		○	○			○		○	○	○
89		*Navicula cryptotenella*	○	○	○		○		○	○		○		○
90		*Navicula decussis*		○							○			
91		*Navicula elginensis*			○							○		
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*	○		○			○	○		○		○	○
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*		○	○	○			○	○	○		○	
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*								○				
98		*Navicula nipponica*							○	○			○	○
99		*Navicula protractoides*												○
100		*Navicula pseudacceptata*												
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*												
103		*Navicula rostellata*		○				○						
104		*Navicula schroeterii*	○	○			○	○		○				
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*			○								○	
107		*Navicula subminuscula*					○	○						
108		*Navicula subrostellata*				○	○	○	○					
109		*Navicula tripunctata*	○			○				○				○
110		*Navicula trivialis*		○				○				○		
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												
114		*Navicula yuraensis*	○	○	○			○		○		○		○
－		*Navicula* spp.							○					
115		*Neidium* spp.												
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.						○						
117		*Reimeria sinuata*									○			
118		*Rhoicosphenia abbreviata*	○		○	○				○	○		○	○
119		*Sellaphora japonica*	○				○	○			○	○		
120		*Sellaphora pupula*			○	○	○		○		○			
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*						○						
124		*Achnanthes rupestoides*						○						
125		*Achnanthidium atomus*					○							
126		*Achnanthidium clevei*						○						
127		*Achnanthidium delicatulum*						○						
128		*Achnanthidium exiguum*			○		○		○					
129		*Achnanthidium japonicum*	○	○	○		○				○			
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
132		*Achnanthidium subhudsonis*	○	○				○	○		○	○		○
133		*Cocconeis pediculus*					○		○	○			○	
134		*Cocconeis placentula*		○	○	○					○			○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*	○	○		○	○		○		○			
136		*Karayevia laterostrata*						○	○					
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
138	エピテミア	*Epithemia* sp.			○									
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*						○		○				
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*												○
144		*Nitzschia acicularis*							○				○	
145		*Nitzschia acidoclinata*					○				○			
146		*Nitzschia amphibia*	○		○		○	○	○	○		○	○	○
147		*Nitzschia brevissima*					○							
148		*Nitzschia clausii*		○	○									
149		*Nitzschia dissipata*	○		○	○	○		○	○	○		○	○
150		*Nitzschia fonticola*	○			○	○	○	○	○				

表 2.9.1-22(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.1、No.2、No.3）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.1 取香川 水路（支流）				No.2 取香川 本川				No.3 取香川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
151	ニッチア	*Nitzschia frustulum*												
152		*Nitzschia hantzschiana*	○						○					
153		*Nitzschia inconspicua*				○			○	○				
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*												
156		*Nitzschia linearis*			○	○	○	○	○	○			○	○
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
158		*Nitzschia paleacea*						○					○	
159		*Nitzschia pusilla*												
160		*Nitzschia sinuata* var. *delognei*	○											
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*				○				○				○
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*				○	○			○				○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*												
168		*Surirella minuta*												
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.					○		○		○		○	
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.						○						
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.					○	○		○	○			○
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.												
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種		○				○						
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.	○					○						
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.				○								
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.				○		○	○	○				
－		ホシミドロ科の一種				○								
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.						○						
190		*Cosmarium* sp.									○			
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	30種	30種	32種	30種	41種	48種	38種	41種	26種	20種	26種	34種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-23(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 4 荒海川 河川				No. 6 荒海川 水路				No. 7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*	○					○						○
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.		○										
8		*Lyngbya* sp.	○	○	○		○	○	○		○	○	○	
9		*Oscillatoria* sp.												
10		*Phormidium* sp.	○	○		○				○			○	○
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.										○		
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.	○											
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク								○				
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*												
18		*Discostella pseudostelligera*												
19		*Discostella stelligera*												
20		*Stephanodiscus* spp.				○								○
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*											○	
22		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*		○					○				○	○
24		*Pleurosira laevis*	○		○						○			
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	○	○							○			
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*												
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*												○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*			○			○	○					
37		*Staurosira construens*	○				○		○	○				
38		*Staurosira construens* var. *binodis*			○					○		○		
39		*Staurosira construens* var. *venter*				○		○	○					
40		*Staurosirella pinnata*					○				○			
41		*Ulnaria acus*												
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*	○	○						○			○	
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.		○								○	○	○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*		○	○	○		○	○	○	○			
50		*Amphora strigosa*	○	○								○		
－		*Amphora* sp.				○	○							
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												○
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*												○
56		*Cymbella tumida*												
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*											○	○
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*		○	○						○			
63		*Encyonema prostratum*			○				○				○	
64		*Encyonema silesiacum*				○						○		
65		*Encyonema leei*												
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*												
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												○
68		*Frustulia vulgaris*								○				
69		*Gomphoneis heterominuta*	○					○						
70		*Gomphonema acuminatum*												○
71		*Gomphonema clevei*		○									○	
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*	○								○	○		
74		*Gomphonema parvulum*	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*				○								○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												

表 2.9.1-23(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 4 荒海川 河川				No. 6 荒海川 水路				No. 7 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.				○	○	○	○	○				
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*				○				○		○		
80		*Navicula bacillum*						○	○					
81		*Navicula capitata*											○	
82		*Navicula capitatoradiata*			○								○	
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*				○								○
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*	○		○			○	○		○			
88		*Navicula cryptocephala*			○	○	○	○	○	○		○	○	
89		*Navicula cryptotenella*	○			○	○	○		○	○	○	○	○
90		*Navicula decussis*	○			○								○
91		*Navicula elginensis*			○		○	○			○	○	○	
92		*Navicula gregaria*	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												○
94		*Navicula minima*		○			○		○	○	○		○	
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*	○				○		○					
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*				○								
99		*Navicula protractoides*								○				
100		*Navicula pseudacceptata*	○	○	○				○	○				
101		*Navicula pygmaea*												○
102		*Navicula rhynchocephala*				○				○				○
103		*Navicula rostellata*	○					○		○		○		○
104		*Navicula schroeterii*	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○
105		*Navicula seminuloides*								○				
106		*Navicula seminulum*					○			○			○	
107		*Navicula subminuscula*	○				○							
108		*Navicula subrostellata*									○			
109		*Navicula tripunctata*		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
110		*Navicula trivialis*												○
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												○
114		*Navicula yuraensis*	○	○	○							○	○	○
－		*Navicula* spp.												
115		*Neidium* spp.				○				○				○
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.		○		○		○	○	○				
117		*Reimeria sinuata*				○								
118		*Rhoicosphenia abbreviata*		○	○	○		○	○	○	○		○	○
119		*Sellaphora japonica*		○			○	○		○				
120		*Sellaphora pupula*	○								○	○	○	○
121		*Stauroneis anceps*				○								
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*								○				
125		*Achnanthidium atomus*											○	
126		*Achnanthidium clevei*				○								
127		*Achnanthidium delicatulum*			○	○								
128		*Achnanthidium exiguum*									○			
129		*Achnanthidium japonicum*	○			○	○				○	○		
130		*Achnanthidium lapidosum*								○				
131		*Achnanthidium minutissimum*	○		○	○	○			○		○	○	○
132		*Achnanthidium subhudsonis*		○					○		○		○	
133		*Cocconeis pediculus*	○			○							○	○
134		*Cocconeis placentula*		○		○						○		○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
136		*Karayevia laterostrata*										○		
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*	○	○										
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*								○				
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*	○				○				○			
146		*Nitzschia amphibia*	○				○	○	○	○	○			○
147		*Nitzschia brevissima*	○						○		○			
148		*Nitzschia clausii*				○								○
149		*Nitzschia dissipata*			○	○	○	○		○	○	○		
150		*Nitzschia fonticola*	○								○			○
151		*Nitzschia frustulum*												
152		*Nitzschia hantzschiana*					○							
153		*Nitzschia inconspicua*	○		○				○		○		○	
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*		○			○	○						
156		*Nitzschia linearis*		○	○	○				○	○		○	○
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
158		*Nitzschia paleacea*										○		
159		*Nitzschia pusilla*								○				

表 2.9.1-23(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.4、No.6、No.7）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 4 荒海川 本川				No. 6 荒海川 水路（支流）				No. 7 荒海川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*					○	○	○	○				
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*				○				○				○
－		*Nitzschia* spp.				○								○
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*			○									○
164		*Surirella angusta*		○	○	○				○				○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*				○								
167		*Surirella linearis*												
168		*Surirella minuta*		○				○						
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.								○				
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.		○										
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.	○	○	○						○	○		
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.			○									
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種	○	○										
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.		○			○		○					
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.				○				○				
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.			○									
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	37種	34種	31種	39種	30種	27種	29種	42種	32種	28種	32種	42種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-24(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*					○							
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.		○										
5		*Homoeothrix janthina*	○	○		○	○	○			○	○	○	
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.						○						
8		*Lyngbya* sp.		○	○	○	○	○				○	○	
9		*Oscillatoria* sp.								○				
10		*Phormidium* sp.				○								
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ										○		
－		*Compsopogon* sp.						○				○		
13	カワモズク	チャイロカワモズク				○								
14		アオカワモズク		○	○	○								
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱		○	○		○				○	○	○	○
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*								○				
18		*Discostella pseudostelligera*												○
19		*Discostella stelligera*							○	○				○
20		*Stephanodiscus* spp.												
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*							○					○
22		*Aulacoseira granulata*								○	○		○	○
－		*Aulacoseira* sp.											○	
23		*Melosira varians*	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
24		*Pleurosira laevis*						○	○					
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*							○	○				
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*												
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*				○								
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*				○			○	○				○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*												
38		*Staurosira construens* var. *binodis*				○								
39		*Staurosira construens* var. *venter*			○	○								
40		*Staurosirella pinnata*	○											
41		*Ulnaria acus*		○	○					○				○
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*				○								
44		*Ulnaria ulna*	○		○	○		○	○	○			○	
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.				○			○	○	○			○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												○
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*	○		○		○			○		○	○	○
50		*Amphora strigosa*						○			○	○		
－		*Amphora* sp.								○				
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												○
－		*Caloneis* spp.											○	
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*											○	
56		*Cymbella tumida*	○			○								
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*										○		
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*	○			○						○		
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*		○										
63		*Encyonema prostratum*							○	○				
64		*Encyonema silesiacum*	○					○		○			○	○
65		*Encyonema leei*			○									
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*				○								○
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*										○		
68		*Frustulia vulgaris*				○				○				○
69		*Gomphoneis heteominuta*		○				○						
70		*Gomphonema acuminatum*											○	
71		*Gomphonema clevei*			○					○			○	
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*	○	○		○					○			
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*			○	○				○			○	
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												

表 2.9.1-24(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 8 荒海川 水路				No. 9 尾羽根川 河川				No. 10 尾羽根川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.						○		○		○	○	
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*				○			○			○	○	
82		*Navicula capitatoradiata*												○
83		*Navicula clementis*								○				
84		*Navicula clementoides*				○								○
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*									○			
88		*Navicula cryptocephala*	○	○		○		○		○			○	○
89		*Navicula cryptotenella*	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
90		*Navicula decussis*				○							○	○
91		*Navicula elginensis*	○						○		○	○		
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*			○				○					○
94		*Navicula minima*	○					○	○					
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*			○		○			○	○		○	
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*							○		○			○
99		*Navicula protractoides*			○					○			○	○
100		*Navicula pseudacceptata*					○		○		○	○		○
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*				○					○			○
103		*Navicula rostellata*					○							
104		*Navicula schroeterii*		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
105		*Navicula seminuloides*												○
106		*Navicula seminulum*					○	○			○			
107		*Navicula subminuscula*	○				○							
108		*Navicula subrostellata*				○		○		○				○
109		*Navicula tripunctata*	○		○	○							○	
110		*Navicula trivialis*												
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*								○				○
114		*Navicula yuraensis*				○	○	○	○	○		○		○
－		*Navicula* spp.				○								
115		*Neidium* spp.												
116		*Pinnularia borealis*								○				
－		*Pinnularia* spp.						○	○	○	○		○	○
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*		○	○	○								○
119		*Sellaphora japonica*								○				
120		*Sellaphora pupula*	○			○	○	○						○
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.	○											
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*								○				○
127		*Achnanthidium delicatulum*												
128		*Achnanthidium exiguum*	○				○							
129		*Achnanthidium japonicum*	○	○	○	○		○				○	○	○
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*	○	○	○	○			○		○			○
132		*Achnanthidium subhudsonis*					○	○		○	○			
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*		○		○				○				
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*	○	○	○	○		○		○				
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.											○	
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*	○			○								○
142		*Denticula* sp.				○								
143		*Hantzschia amphioxys*								○				
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*				○								
146		*Nitzschia amphibia*	○	○	○	○	○		○	○		○		○
147		*Nitzschia brevissima*		○						○				
148		*Nitzschia clausii*								○				○
149		*Nitzschia dissipata*		○	○	○		○		○	○			
150		*Nitzschia fonticola*	○	○	○		○						○	
151		*Nitzschia frustulum*												○
152		*Nitzschia hantzschiana*					○							
153		*Nitzschia inconspicua*							○					
154		*Nitzschia intermedia*									○			
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*	○		○		○							
156		*Nitzschia linearis*	○	○	○	○			○	○				○
157		*Nitzschia palea*	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-24(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.8、No.9、No.10）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 8 荒海川 水路（支流）				No. 9 尾羽根川 本川				No. 10 尾羽根川 本川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*	○							○				
161		*Nitzschia tubicola*			○									
162		*Nitzschia vermicularis*				○								○
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*				○				○				○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*												
168		*Surirella minuta*												
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.						○	○	○	○	○		
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*										○		
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.	○		○									
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.								○				
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種												
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.				○					○			○
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*								○				
187		*Cladophora* sp.								○			○	
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.							○					
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	32種	25種	28種	46種	25種	29種	29種	48種	29種	21種	31種	48種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-25(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*	○											
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*	○				○			○	○			
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種				○								
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.		○				○						
8		*Lyngbya* sp.	○	○	○	○	○				○			
9		*Oscillatoria* sp.				○								
10		*Phormidium* sp.	○		○	○	○			○				
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ				○								
－		*Compsopogon* sp.	○									○		
13	カワモズク	チャイロカワモズク							○	○				
14		アオカワモズク							○	○			○	○
－		*Batrachospermum* sp.			○									
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱	○		○	○	○				○	○	○	
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*	○		○									○
18		*Discostella pseudostelligera*		○										
19		*Discostella stelligera*				○								
20		*Stephanodiscus* spp.												
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*			○	○								
22		*Aulacoseira granulata*				○								
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○		○	○			○		○			○
24		*Pleurosira laevis*									○		○	
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	○					○		○	○	○		
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*								○				○
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*			○	○					○			
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*											○	
37		*Staurosira construens*		○			○	○						○
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*												
40		*Staurosirella pinnata*					○		○		○			
41		*Ulnaria acus*												
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*	○		○				○	○			○	○
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.		○	○	○			○	○	○		○	
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*		○										
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*	○				○				○		○	○
50		*Amphora strigosa*	○	○		○	○							
－		*Amphora* sp.				○			○					○
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*											○	
56		*Cymbella tumida*												○
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*												
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*	○								○			
63		*Encyonema prostratum*									○		○	
64		*Encyonema silesiacum*								○				
65		*Encyonema leei*							○					
－		*Encyonema* sp.								○				
66		*Frustulia rhomboides*				○							○	
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*		○										
68		*Frustulia vulgaris*				○								
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*												
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*												
74		*Gomphonema parvulum*	○		○	○	○	○	○	○				○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*										○	○	
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												

表 2.9.1-25(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 11 尾羽根川 河川				No. 14 高谷川 河川				No. 16 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.		○			○			○	○	○	○	○
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*		○	○									
82		*Navicula capitatoradiata*				○							○	
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*				○				○				
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*						○						○
88		*Navicula cryptocephala*			○		○	○	○			○		○
89		*Navicula cryptotenella*	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
90		*Navicula decussis*							○					
91		*Navicula elginensis*	○								○			
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*			○	○			○				○	
94		*Navicula minima*	○			○	○		○					○
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*							○				○	○
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*			○	○	○		○	○			○	
99		*Navicula protractoides*			○	○			○				○	○
100		*Navicula pseudacceptata*	○		○	○					○	○		
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*								○				○
103		*Navicula rostellata*		○	○		○	○						
104		*Navicula schroeterii*		○	○	○		○	○	○	○	○		○
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*	○				○				○			
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*								○				
109		*Navicula tripunctata*									○		○	○
110		*Navicula trivialis*										○		
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*				○								
114		*Navicula yuraensis*	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
－		*Navicula* spp.								○			○	○
115		*Neidium* spp.		○						○				
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.		○	○	○		○		○		○		○
117		*Reimeria sinuata*	○	○								○		○
118		*Rhoicosphenia abbreviata*												
119		*Sellaphora japonica*		○							○			○
120		*Sellaphora pupula*	○					○	○	○		○		
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*								○				
－		*Stauroneis* sp.			○									
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*		○										
126		*Achnanthidium clevei*		○										○
127		*Achnanthidium delicatulum*											○	○
128		*Achnanthidium exiguum*							○		○		○	
129		*Achnanthidium japonicum*							○		○	○	○	○
130		*Achnanthidium lapidosum*				○								
131		*Achnanthidium minutissimum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
132		*Achnanthidium subhudsonis*	○	○		○							○	
133		*Cocconeis pediculus*									○			
134		*Cocconeis placentula*		○		○		○	○	○	○	○		○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*	○	○			○	○		○	○	○	○	○
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.							○				○	
139		*Rhopalodia gibba*								○				
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*		○		○								
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*								○				○
144		*Nitzschia acicularis*			○									
145		*Nitzschia acidoclinata*				○				○				
146		*Nitzschia amphibia*	○	○		○					○	○		○
147		*Nitzschia brevissima*					○							
148		*Nitzschia clausii*		○				○						○
149		*Nitzschia dissipata*			○	○		○	○	○			○	
150		*Nitzschia fonticola*									○	○		○
151		*Nitzschia frustulum*												
152		*Nitzschia hantzschiana*												
153		*Nitzschia inconspicua*									○			○
154		*Nitzschia intermedia*	○		○									
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*		○			○							
156		*Nitzschia linearis*			○	○	○	○			○	○		○
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*								○				

表 2.9.1-25(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.11、No.14、No.16）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 11 尾羽根川 本川				No. 14 高谷川 本川				No. 16 高谷川 本川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*	○											
161		*Nitzschia tubicola*			○								○	○
162		*Nitzschia vermicularis*			○	○								○
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*			○	○								
164		*Surirella angusta*				○			○	○				○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*								○				
168		*Surirella minuta*		○										
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.			○								○	
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.	○	○	○									
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*			○									
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterborni*												
182		*Ulothrix* sp.											○	
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												○
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種	○			○								
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.									○			
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*				○								
187		*Cladophora* sp.												
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	33種	32種	35種	45種	25種	21種	30種	32種	34種	24種	32種	41種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-26(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*	○				○				○			
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.	○		○		○	○	○		○		○	
9		*Oscillatoria* sp.												
10		*Phormidium* sp.	○										○	
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ						○						
－		*Compsopogon* sp.	○				○	○			○			
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク								○				
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱						○	○		○			
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*				○				○				○
18		*Discostella pseudostelligera*								○				
19		*Discostella stelligera*												
20		*Stephanodiscus* spp.				○				○				○
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*								○				○
22		*Aulacoseira granulata*				○								○
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○			○				○		○	○	
24		*Pleurosira laevis*		○								○		
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	○	○		○						○		
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*								○				
27		*Diatoma vulgaris*								○				
28		*Fragilaria capitellata*				○								○
29		*Fragilaria capucina*				○							○	○
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*				○				○				○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*				○								
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*			○	○								
37		*Staurosira construens*					○		○					
38		*Staurosira construens* var. *binodis*					○							
39		*Staurosira construens* var. *venter*									○			
40		*Staurosirella pinnata*												
41		*Ulnaria acus*				○								○
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*								○				
44		*Ulnaria ulna*					○	○	○	○			○	
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*		○				○						
－		*Eunotia* spp.					○	○	○	○				○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*			○									
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*				○								
49		*Amphora pediculus*	○			○	○		○	○	○			○
50		*Amphora strigosa*					○	○			○	○		
－		*Amphora* sp.					○			○				○
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*				○								○
56		*Cymbella tumida*			○								○	
57		*Cymbella turgidula*												○
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*		○										
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*												
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*												○
65		*Encyonema leei*												
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*							○					○
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*				○						○		
68		*Frustulia vulgaris*			○	○					○			
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*	○											
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*							○					
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*				○			○			○		○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.											○	

表 2.9.1-26(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 17 高谷川 河川				No. 18 高谷川 水路				No. 19 高谷川 河川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.			○	○				○		○		○
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*					○				○			
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*			○			○				○		○
82		*Navicula capitatoradiata*	○											
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*							○	○				
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												○
87		*Navicula contenta* f. *biceps*												
88		*Navicula cryptocephala*	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
89		*Navicula cryptotenella*	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○
90		*Navicula decussis*	○		○		○							○
91		*Navicula elginensis*			○		○	○				○		
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*	○		○	○	○		○		○		○	○
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*						○						
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*				○								○
99		*Navicula protractoides*				○				○				
100		*Navicula pseudacceptata*	○	○	○	○			○			○		○
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*		○	○								○	
103		*Navicula rostellata*		○				○				○		○
104		*Navicula schroeterii*	○	○			○	○			○	○		
105		*Navicula seminuloides*								○				
106		*Navicula seminulum*												
107		*Navicula subminuscula*					○	○			○	○		
108		*Navicula subrostellata*			○			○			○			
109		*Navicula tripunctata*			○	○			○				○	○
110		*Navicula trivialis*												
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*				○				○				○
114		*Navicula yuraensis*	○			○	○				○	○		
－		*Navicula* spp.												○
115		*Neidium* spp.				○				○		○		
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.	○	○		○		○		○		○		○
117		*Reimeria sinuata*				○								○
118		*Rhoicosphenia abbreviata*				○								
119		*Sellaphora japonica*				○			○				○	
120		*Sellaphora pupula*		○		○	○				○	○	○	
121		*Stauroneis anceps*												○
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.				○								
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*	○											
126		*Achnanthidium clevei*	○		○	○						○	○	
127		*Achnanthidium delicatulum*	○			○					○	○		○
128		*Achnanthidium exiguum*	○								○			
129		*Achnanthidium japonicum*										○		
130		*Achnanthidium lapidosum*				○								
131		*Achnanthidium minutissimum*	○	○	○					○				○
132		*Achnanthidium subhudsonis*												
133		*Cocconeis pediculus*												○
134		*Cocconeis placentula*	○	○		○					○	○	○	
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		○	○	○		○				○	○	○
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*						○						○
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*						○		○				
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*				○		○						○
144		*Nitzschia acicularis*							○					
145		*Nitzschia acidoclinata*					○							
146		*Nitzschia amphibia*	○	○		○						○		
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*		○								○		○
149		*Nitzschia dissipata*	○		○	○				○				○
150		*Nitzschia fonticola*				○				○		○		○
151		*Nitzschia frustulum*												
152		*Nitzschia hantzschiana*												
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*			○						○			
156		*Nitzschia linearis*			○	○	○		○	○		○	○	○
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
158		*Nitzschia paleacea*		○										
159		*Nitzschia pusilla*									○			

表 2.9.1-26(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.17、No.18、No.19）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 17 高谷川 本川				No. 18 高谷川 水路（支流）				No. 19 高谷川 本川			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*												
161		*Nitzschia tubicola*								○				
162		*Nitzschia vermicularis*								○				○
－		*Nitzschia* spp.												○
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*			○	○				○			○	○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*									○		○	○
168		*Surirella minuta*												○
169		*Surirella tenera*				○								
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.					○							
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.						○						
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.									○			
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.	○		○								○	
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.				○								○
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.	○											
－		カエトフォラ科の一種	○				○			○	○			
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.	○									○	○	○
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												○
187		*Cladophora* sp.	○			○								○
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.		○										
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	33種	23種	27種	52種	27種	26種	20種	34種	27種	33種	23種	53種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース）、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-27(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*	○				○							
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.	○		○		○	○	○		○	○	○	
9		*Oscillatoria* sp.	○											
10		*Phormidium* sp.	○	○	○				○					
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ				○								
－		*Compsopogon* sp.												
13	カワモズク	チャイロカワモズク			○									
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱	○	○		○	○				○	○	○	
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												○
17		*Cyclotella meneghiniana*									○			○
18		*Discostella pseudostelligera*									○			○
19		*Discostella stelligera*												
20		*Stephanodiscus* spp.												○
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*			○	○			○					
22		*Aulacoseira granulata*										○		
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○		○	○			○			○		○
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*										○		○
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*							○					
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*				○			○			○	○	
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												○
34		*Fragilaria vaucheriae*						○		○				○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*		○	○		○				○		○	○
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*	○			○	○				○			○
40		*Staurosirella pinnata*										○		○
41		*Ulnaria acus*									○	○	○	○
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*		○	○	○				○		○		○
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.			○		○			○				○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*				○								○
49		*Amphora pediculus*	○	○	○	○					○	○	○	○
50		*Amphora strigosa*		○								○		
－		*Amphora* sp.		○		○		○		○				○
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*				○		○						
56		*Cymbella tumida*	○											○
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*							○					
60		*Diploneis elliptica*							○	○		○		
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*	○			○								
63		*Encyonema prostratum*	○											
64		*Encyonema silesiacum*												
65		*Encyonema leei*												
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*				○								○
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
68		*Frustulia vulgaris*				○								○
69		*Gomphoneis heterominuta*									○			
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*	○			○					○			
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*					○							
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*			○			○	○			○	○	○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.				○								

表 2.9.1-27(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 20 浅川 河川				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.	○	○	○	○	○			○		○		
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*						○						
81		*Navicula capitata*		○	○						○			
82		*Navicula capitatoradiata*	○				○							
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*										○		
87		*Navicula contenta* f. *biceps*										○		
88		*Navicula cryptocephala*	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
89		*Navicula cryptotenella*	○	○		○		○			○	○	○	○
90		*Navicula decussis*				○			○					○
91		*Navicula elginensis*	○	○				○			○	○	○	○
92		*Navicula gregaria*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*			○	○								
94		*Navicula minima*							○	○			○	
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*		○		○		○	○					
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*												
99		*Navicula protractoides*												○
100		*Navicula pseudacceptata*						○			○			
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*	○		○				○					
103		*Navicula rostellata*		○		○		○	○					○
104		*Navicula schroeterii*	○	○		○	○	○			○	○	○	
105		*Navicula seminuloides*								○				
106		*Navicula seminulum*		○										
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*									○	○	○	○
109		*Navicula tripunctata*											○	○
110		*Navicula trivialis*				○								○
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												
114		*Navicula yuraensis*		○	○		○	○				○		
－		*Navicula* spp.												
115		*Neidium* spp.								○				
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.		○	○			○	○	○		○	○	
117		*Reimeria sinuata*							○					
118		*Rhoicosphenia abbreviata*	○		○	○							○	○
119		*Sellaphora japonica*												
120		*Sellaphora pupula*	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*												○
－		*Stauroneis* sp.							○					
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*						○			○			
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*						○				○		
126		*Achnanthidium clevei*		○	○	○								
127		*Achnanthidium delicatulum*	○											
128		*Achnanthidium exiguum*	○											
129		*Achnanthidium japonicum*	○	○	○	○		○	○					
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*	○	○		○	○	○	○	○		○		○
132		*Achnanthidium subhudsonis*	○			○						○		
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*	○	○		○			○		○	○		○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		○	○	○						○		○
136		*Karayevia laterostrata*		○										
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*												
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*		○						○				
144		*Nitzschia acicularis*	○											○
145		*Nitzschia acidoclinata*				○		○						○
146		*Nitzschia amphibia*		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
147		*Nitzschia brevissima*							○					
148		*Nitzschia clausii*		○			○				○			
149		*Nitzschia dissipata*	○			○	○	○	○	○		○	○	○
150		*Nitzschia fonticola*										○		○
151		*Nitzschia frustulum*												○
152		*Nitzschia hantzschiana*												
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*										○		
156		*Nitzschia linearis*		○		○		○	○	○	○		○	○
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*		○										

表 2.9.1-27(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.20、No.21、No.22）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 20 浅川 本流				No. 21 グリーンポート エコ・アグリパーク				No. 22 浅川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*				○							○	
161		*Nitzschia tubicola*												○
162		*Nitzschia vermicularis*			○								○	○
－		*Nitzschia* spp.				○								
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*			○							○		○
164		*Surirella angusta*	○	○		○				○	○			○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*												○
168		*Surirella minuta*			○									
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.	○				○							
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.										○		
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.										○		
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												○
182		*Ulothrix* sp.			○		○						○	
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.				○				○				○
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種												
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.	○	○								○		
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.												
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	35種	35種	31種	42種	20種	27種	30種	22種	26種	40種	26種	51種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-28(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 高谷川 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*		○										
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種				○								
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.		○										
8		*Lyngbya* sp.		○	○		○		○					
9		*Oscillatoria* sp.			○	○								
10		*Phormidium* sp.	○			○								
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.	○	○										
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱	○	○			○							
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*				○								
17		*Cyclotella meneghiniana*	○	○	○									
18		*Discostella pseudostelligera*				○								
19		*Discostella stelligera*		○										
20		*Stephanodiscus* spp.				○				○				
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*						○						
22		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○	○	○	○		○		○				
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*				○								
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*								○				
29		*Fragilaria capucina*				○				○				
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*				○			○	○				
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*			○				○					
37		*Staurosira construens*			○				○	○				
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*				○			○					
40		*Staurosirella pinnata*												
41		*Ulnaria acus*			○	○								
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*		○	○	○		○						
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.		○			○							
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*				○								
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*	○	○	○	○								
50		*Amphora strigosa*	○	○			○	○						
－		*Amphora* sp.			○	○								
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*						○						
－		*Caloneis* spp.	○			○								
53		*Cymbella aspera*				○								
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*							○					
56		*Cymbella tumida*		○										
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*		○										
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*			○									
63		*Encyonema prostratum*	○											
64		*Encyonema silesiacum*												
65		*Encyonema leei*												
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*								○				
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
68		*Frustulia vulgaris*				○								
69		*Gomphoneis heterominuta*		○			○							
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*	○											
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*						○						
74		*Gomphonema parvulum*		○	○	○	○	○		○				
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		○	○	○		○		○				
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.	○				○							

表 2.9.1-28(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 23 浅川 河川				No. 24 高谷川 河川				No. 25 高谷川 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.	○	○		○		○						
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*						○		○				
80		*Navicula bacillum*		○		○								
81		*Navicula capitata*												
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*			○									
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*	○											
87		*Navicula contenta* f. *biceps*												
88		*Navicula cryptocephala*		○		○	○	○	○	○				
89		*Navicula cryptotenella*	○	○	○	○		○						
90		*Navicula decussis*				○	○			○				
91		*Navicula elginensis*					○	○						
92		*Navicula gregaria*		○	○	○		○	○	○				
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*			○				○					
94		*Navicula minima*	○			○		○	○					
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*		○		○	○							
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*												
99		*Navicula protractoides*			○	○			○	○				
100		*Navicula pseudacceptata*		○				○		○				
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*							○					
103		*Navicula rostellata*		○			○		○	○				
104		*Navicula schroeterii*	○	○		○	○		○	○				
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*												
107		*Navicula subminuscula*					○							
108		*Navicula subrostellata*			○		○							
109		*Navicula tripunctata*	○	○	○	○			○					
110		*Navicula trivialis*				○				○				
111		*Navicula veneta*					○							
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												
114		*Navicula yuraensis*	○	○			○	○	○	○				
－		*Navicula* spp.				○								
115		*Neidium* spp.												
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.	○	○					○	○				
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*	○			○								
119		*Sellaphora japonica*	○				○							
120		*Sellaphora pupula*	○		○	○	○	○						
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*												
127		*Achnanthidium delicatulum*				○				○				
128		*Achnanthidium exiguum*					○		○					
129		*Achnanthidium japonicum*						○						
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*		○					○	○				
132		*Achnanthidium subhudsonis*												
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*	○			○	○	○		○				
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		○	○	○		○		○				
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○				
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*				○								
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*				○								
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*												
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*				○				○				
146		*Nitzschia amphibia*	○	○	○	○	○	○		○				
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*		○		○				○				
149		*Nitzschia dissipata*	○		○				○	○				
150		*Nitzschia fonticola*				○				○				
151		*Nitzschia frustulum*				○	○							
152		*Nitzschia hantzschiana*												
153		*Nitzschia inconspicua*					○							
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*				○	○							
156		*Nitzschia linearis*		○		○	○	○	○	○				
157		*Nitzschia palea*	○	○		○	○	○	○	○				
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-28(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.23、No.24、No.25）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 23 浅川 本流				No. 24 高谷川 本流				No. 25 高谷川 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*												
161		*Nitzschia tubicola*								○				
162		*Nitzschia vermicularis*				○				○				
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*			○									
164		*Surirella angusta*		○	○	○			○	○				
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*							○					
168		*Surirella minuta*							○					
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.	○											
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.		○										
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.	○	○		○								
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.												
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種	○	○		○	○	○		○				
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.				○								
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.				○								
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.					○							
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	29種	40種	26種	54種	29種	26種	26種	36種	未実施			

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-29(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 26 高谷川 水路				No. 27 高谷川 水路				No. 28 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*										○		
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*			○	○	○			○		○		○
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.		○	○	○	○		○	○	○		○	
9		*Oscillatoria* sp.	○							○				○
10		*Phormidium* sp.		○	○		○		○	○	○	○	○	
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.					○							
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.										○		
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク				○			○	○				
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱	○		○		○		○	○	○	○	○	○
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*								○				○
18		*Discostella pseudostelligera*												○
19		*Discostella stelligera*								○				○
20		*Stephanodiscus* spp.								○				○
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*										○		○
22		*Aulacoseira granulata*										○		
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*						○	○	○	○	○	○	○
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*		○						○		○		○
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*								○	○		○	○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*				○							○	
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*	○				○							
40		*Staurosirella pinnata*				○								
41		*Ulnaria acus*						○		○		○		
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*				○				○	○	○		○
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.										○		
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*							○				○	
47		*Amphora montana*						○	○			○		
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*	○		○	○	○			○				○
50		*Amphora strigosa*									○			
－		*Amphora* sp.				○								
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*				○								
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*												
56		*Cymbella tumida*												
57		*Cymbella turgidula*		○										
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*	○			○						○		○
60		*Diploneis elliptica*	○											
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*								○				
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*										○		
65		*Encyonema leei*			○	○	○		○	○		○		
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*												
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*								○				○
68		*Frustulia vulgaris*	○								○		○	○
69		*Gomphoneis heterominuta*	○					○	○					
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*			○	○			○	○	○		○	○
72		*Gomphonema contraturris*										○		
73		*Gomphonema gracile*						○						
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*	○	○	○			○				○		○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												

表 2.9.1-29(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 26 高谷川 水路				No. 27 高谷川 水路				No. 28 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.						○		○	○	○		○
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												○
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*												
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												○
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*	○				○	○						
88		*Navicula cryptocephala*	○	○	○	○			○	○		○	○	○
89		*Navicula cryptotenella*		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
90		*Navicula decussis*				○				○				○
91		*Navicula elginensis*						○						
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○			○	○		○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*	○					○			○	○		○
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*	○	○				○				○	○	○
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*								○		○		○
99		*Navicula protractoides*								○				○
100		*Navicula pseudacceptata*												
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*				○								
103		*Navicula rostellata*		○				○			○	○		○
104		*Navicula schroeterii*		○					○	○	○	○		○
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*												○
107		*Navicula subminuscula*								○				
108		*Navicula subrostellata*								○				
109		*Navicula tripunctata*	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
110		*Navicula trivialis*				○								○
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*								○				
114		*Navicula yuraensis*	○	○		○			○	○	○	○	○	○
－		*Navicula* spp.												
115		*Neidium* spp.				○								
116		*Pinnularia borealis*								○				
－		*Pinnularia* spp.	○									○		
117		*Reimeria sinuata*									○			
118		*Rhoicosphenia abbreviata*	○		○	○	○	○	○	○				
119		*Sellaphora japonica*		○					○					○
120		*Sellaphora pupula*				○		○	○		○	○		○
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*										○		
127		*Achnanthidium delicatulum*												
128		*Achnanthidium exiguum*												○
129		*Achnanthidium japonicum*			○	○			○	○	○		○	○
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*		○	○	○		○	○	○				○
132		*Achnanthidium subhudsonis*			○	○				○				
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*			○	○			○		○			○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		○		○	○	○		○		○		○
136		*Karayevia laterostrata*		○				○						
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.		○										
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												○
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*												
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*				○								
144		*Nitzschia acicularis*								○				
145		*Nitzschia acidoclinata*	○			○								
146		*Nitzschia amphibia*		○						○	○		○	○
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*						○			○			
149		*Nitzschia dissipata*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150		*Nitzschia fonticola*		○				○						
151		*Nitzschia frustulum*												
152		*Nitzschia hantzschiana*												
153		*Nitzschia inconspicua*					○							
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*												
156		*Nitzschia linearis*		○		○			○	○		○	○	○
157		*Nitzschia palea*		○		○		○	○	○		○		○
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-29(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.26、No.27、No.28）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 26 高谷川 水路（支流）				No. 27 高谷川 水路（支流）				No. 28 高谷川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*												
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*	○		○	○				○	○		○	
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*							○	○		○	○	○
165		*Surirella brebissonii*												○
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*								○	○			
168		*Surirella minuta*												
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.					○							
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.										○		○
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.								○		○		
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												○
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種								○		○		○
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.								○				
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.												○
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	23種	25種	20種	34種	18種	24種	27種	50種	27種	40種	23種	55種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース）、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-30(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*		○										
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*		○				○		○				
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.	○											
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.	○	○	○			○			○			
9		*Oscillatoria* sp.	○	○		○								
10		*Phormidium* sp.	○	○	○			○		○				
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												○
－		*Compsopogon* sp.					○							
13	カワモズク	チャイロカワモズク							○					
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱		○			○	○			○	○	○	○
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*	○			○								
18		*Discostella pseudostelligera*							○					○
19		*Discostella stelligera*						○						
20		*Stephanodiscus* spp.				○			○	○			○	
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*		○		○		○	○					
22		*Aulacoseira granulata*	○		○		○	○	○					
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○	○	○	○				○	○		○	○
24		*Pleurosira laevis*	○			○								
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	○	○										○
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*							○					
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*			○					○				○
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*			○	○					○			○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*			○									
37		*Staurosira construens*			○		○			○				○
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*								○				
40		*Staurosirella pinnata*												
41		*Ulnaria acus*												
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*			○									○
44		*Ulnaria ulna*		○							○		○	
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.		○		○							○	○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*		○	○					○				
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*		○	○		○	○	○	○	○		○	○
50		*Amphora strigosa*	○	○			○	○						
－		*Amphora* sp.				○			○	○		○	○	
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.										○		
53		*Cymbella aspera*				○								
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*						○				○	○	
56		*Cymbella tumida*	○											○
57		*Cymbella turgidula*				○								
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*	○											
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*								○			○	
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*		○		○	○	○	○		○			○
65		*Encyonema leei*			○									
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*												
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*					○							
68		*Frustulia vulgaris*			○					○				○
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*		○				○						○
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*	○											
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*		○		○	○	○		○		○	○	○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.				○								

表 2.9.1-30(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 29 高谷川 河川				No. 30 高谷川 水路				No. 31 高谷川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.	○	○	○	○		○		○	○	○	○	
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*			○	○								
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*		○		○		○		○			○	○
82		*Navicula capitatoradiata*	○				○							
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*			○									
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*	○											
88		*Navicula cryptocephala*	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
89		*Navicula cryptotenella*	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○
90		*Navicula decussis*	○					○		○	○			
91		*Navicula elginensis*	○					○					○	
92		*Navicula gregaria*		○			○	○		○	○	○	○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*				○	○	○		○	○			
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*		○		○		○		○	○			○
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*		○		○				○	○	○		○
99		*Navicula protractoides*				○								
100		*Navicula pseudacceptata*	○		○									
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*												
103		*Navicula rostellata*	○	○		○	○				○			○
104		*Navicula schroeterii*		○		○	○	○			○	○	○	○
105		*Navicula seminuloides*											○	
106		*Navicula seminulum*						○		○		○		○
107		*Navicula subminuscula*									○			
108		*Navicula subrostellata*		○	○	○	○	○						
109		*Navicula tripunctata*				○					○	○		○
110		*Navicula trivialis*				○								
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*				○								
113		*Navicula viridula* var. *linearis*				○				○				
114		*Navicula yuraensis*	○	○		○			○		○			○
—		*Navicula* spp.												
115		*Neidium* spp.												○
116		*Pinnularia borealis*												
—		*Pinnularia* spp.		○		○	○	○	○	○	○		○	○
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*							○	○			○	○
119		*Sellaphora japonica*												
120		*Sellaphora pupula*		○		○							○	
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
—		*Stauroneis* sp.								○				
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*									○			○
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*	○	○										
127		*Achnanthidium delicatulum*	○			○								
128		*Achnanthidium exiguum*				○								○
129		*Achnanthidium japonicum*			○						○			○
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*	○		○	○	○			○				
132		*Achnanthidium subhudsonis*		○			○	○			○			○
133		*Cocconeis pediculus*			○									
134		*Cocconeis placentula*	○		○	○					○		○	○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*	○	○									○	○
136		*Karayevia laterostrata*		○										
137		*Planothidium lanceolatum*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*									○			
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
—		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*	○	○			○	○		○	○			
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*							○					
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*					○			○				
146		*Nitzschia amphibia*	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*											○	
149		*Nitzschia dissipata*		○	○	○				○				○
150		*Nitzschia fonticola*				○	○	○	○	○		○		
151		*Nitzschia frustulum*												
152		*Nitzschia hantzschiana*								○				
153		*Nitzschia inconspicua*				○								
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*	○				○			○				
156		*Nitzschia linearis*	○		○	○				○	○	○	○	○
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
158		*Nitzschia paleacea*		○				○		○				
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-30(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.29、No.30、No.31）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 29 高谷川 本川				No. 30 高谷川 水路（支流）				No. 31 高谷川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*									○			
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*				○								
－		*Nitzschia* spp.												○
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*			○	○			○	○			○	○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*	○											○
168		*Surirella minuta*				○								○
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.						○						
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*		○										
－		*Scenedesmus* spp.		○				○						
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*		○										
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*						○						
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.					○							
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.				○					○			○
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種				○	○			○				
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.				○	○							
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.				○								○
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.		○										
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.	○											
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.		○										
合計	30科	191種	36種	44種	31種	51種	29種	37種	18種	41種	33種	18種	27種	46種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-31(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 32 空港区域 調整池				No. 33 荒海川 溜池				No. 34 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*										○		
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*										○		
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*												
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.										○		
8		*Lyngbya* sp.											○	
9		*Oscillatoria* sp.										○		
10		*Phormidium* sp.										○	○	
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.												
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱									○	○	○	
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*									○	○	○	○
18		*Discostella pseudostelligera*												
19		*Discostella stelligera*												○
20		*Stephanodiscus* spp.												○
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*									○	○		○
22		*Aulacoseira granulata*									○			
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*												○
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*											○	○
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*									○			○
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												○
34		*Fragilaria vaucheriae*												○
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*										○	○	
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*												○
40		*Staurosirella pinnata*											○	○
41		*Ulnaria acus*												○
42		*Ulnaria inaequalis*												○
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												○
44		*Ulnaria ulna*												
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.										○	○	○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*									○			○
50		*Amphora strigosa*												
－		*Amphora* sp.									○	○		○
51		*Brachysira* sp.											○	○
52		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.											○	
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*												○
56		*Cymbella tumida*												
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*									○	○		○
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*												○
65		*Encyonema leei*										○		
－		*Encyonema* sp.												○
66		*Frustulia rhomboides*												
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*									○		○	
68		*Frustulia vulgaris*												
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												○
71		*Gomphonema clevei*											○	
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*											○	
74		*Gomphonema parvulum*										○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*									○			
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												○

表 2.9.1-31(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 32 空港区域 調整池				No. 33 荒海川 溜池				No. 34 荒海川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.									○	○		○
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*											○	○
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*									○			
87		*Navicula contenta* f. *biceps*												
88		*Navicula cryptocephala*									○	○	○	○
89		*Navicula cryptotenella*									○			
90		*Navicula decussis*												○
91		*Navicula elginensis*										○	○	○
92		*Navicula gregaria*												○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*									○			
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*									○	○		○
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*												○
99		*Navicula protractoides*												
100		*Navicula pseudacceptata*									○			
101		*Navicula pygmaea*												○
102		*Navicula rhynchocephala*									○	○	○	○
103		*Navicula rostellata*									○		○	○
104		*Navicula schroeterii*									○			○
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*												○
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*												
109		*Navicula tripunctata*												
110		*Navicula trivialis*												○
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												
114		*Navicula yuraensis*										○	○	○
－		*Navicula* spp.											○	
115		*Neidium* spp.											○	○
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.												○
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*									○			
119		*Sellaphora japonica*												
120		*Sellaphora pupula*									○	○	○	○
121		*Stauroneis anceps*											○	
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*												
127		*Achnanthidium delicatulum*												
128		*Achnanthidium exiguum*											○	○
129		*Achnanthidium japonicum*									○		○	
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*									○	○	○	○
132		*Achnanthidium subhudsonis*											○	
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*									○	○	○	○
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*									○	○	○	○
136		*Karayevia laterostrata*											○	
137		*Planothidium lanceolatum*									○		○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												○
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*												○
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*												
144		*Nitzschia acicularis*									○			
145		*Nitzschia acidoclinata*											○	○
146		*Nitzschia amphibia*									○			
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*												○
149		*Nitzschia dissipata*										○	○	○
150		*Nitzschia fonticola*										○		○
151		*Nitzschia frustulum*												○
152		*Nitzschia hantzschiana*									○			
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*												
156		*Nitzschia linearis*									○	○	○	○
157		*Nitzschia palea*									○	○	○	○
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-31(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.32、No.33、No.34）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 32 空港区域 調整池				No. 33 荒海川 溜池				No. 34 荒海川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*											○	
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*												○
－		*Nitzschia* spp.												○
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*											○	○
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*												○
168		*Surirella minuta*										○		
169		*Surirella tenera*												○
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.									○	○		
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterborni*												
182		*Ulothrix* sp.												
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種												
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.												
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.												
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.										○		
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	未実施				未実施				32種	31種	37種	59種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-32(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 36 多古橋川 水路				No. 37 多古橋川 水路				No. 38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.					○							
5		*Homoeothrix janthina*	○	○				○				○		
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.						○						
9		*Oscillatoria* sp.								○				○
10		*Phormidium* sp.	○										○	
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.					○	○						
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱						○					○	○
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*												○
18		*Discostella pseudostelligera*												
19		*Discostella stelligera*												
20		*Stephanodiscus* spp.												○
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*												○
22		*Aulacoseira granulata*									○			
－		*Aulacoseira* sp.						○	○	○				
23		*Melosira varians*		○						○			○	○
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*												
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*								○				
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*												
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*										○		
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*			○						○			
40		*Staurosirella pinnata*				○								
41		*Ulnaria acus*												○
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*				○								
44		*Ulnaria ulna*		○		○				○				
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.	○		○		○	○		○				○
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*										○		
48		*Amphora ovalis*				○								○
49		*Amphora pediculus*	○	○	○							○	○	
50		*Amphora strigosa*	○				○	○			○	○		
－		*Amphora* sp.	○		○	○	○		○		○		○	
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*												
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*				○								
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*			○	○								○
56		*Cymbella tumida*												
57		*Cymbella turgidula*		○										
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*										○		
60		*Diploneis elliptica*	○							○				
61		*Diploneis yatukaensis*							○					
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*											○	
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*					○		○					
65		*Encyonema leei*												
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*												○
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*	○						○				○	○
68		*Frustulia vulgaris*												
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*						○					○	○
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*		○				○						
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*					○	○	○	○	○		○	○
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.									○			

表 2.9.1-32(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 36 多古橋川 水路				No. 37 多古橋川 水路				No. 38 多古橋川 水路			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.	○	○				○	○	○	○	○	○	
78		*Navicula angusta*											○	
79		*Navicula atomus*					○							○
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*			○							○		
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*				○								
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*	○						○					
86		*Navicula confervacea*	○				○							
87		*Navicula contenta* f. *biceps*	○						○			○		
88		*Navicula cryptocephala*	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○
89		*Navicula cryptotenella*					○	○	○	○		○	○	○
90		*Navicula decussis*		○										
91		*Navicula elginensis*			○					○	○	○		
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*	○	○	○			○	○		○	○	○	
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*	○		○	○		○	○	○				
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*		○									○	○
99		*Navicula protractoides*								○				
100		*Navicula pseudacceptata*		○	○						○			
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*												
103		*Navicula rostellata*	○	○	○		○	○	○		○	○		○
104		*Navicula schroeterii*	○					○		○		○	○	○
105		*Navicula seminuloides*											○	
106		*Navicula seminulum*			○	○								
107		*Navicula subminuscula*									○			
108		*Navicula subrostellata*	○				○				○	○		○
109		*Navicula tripunctata*								○				○
110		*Navicula trivialis*								○				○
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*			○	○				○			○	○
114		*Navicula yuraensis*			○							○		
－		*Navicula* spp.			○				○		○		○	
115		*Neidium* spp.												
116		*Pinnularia borealis*			○									
－		*Pinnularia* spp.		○					○	○	○	○	○	○
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*	○		○	○					○		○	
119		*Sellaphora japonica*												
120		*Sellaphora pupula*	○	○	○		○		○		○	○		○
121		*Stauroneis anceps*										○		
122		*Stauroneis phoenicenteron*												
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*			○									
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*												
127		*Achnanthidium delicatulum*			○	○								
128		*Achnanthidium exiguum*			○	○	○				○			○
129		*Achnanthidium japonicum*			○		○				○			
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*							○	○				
132		*Achnanthidium subhudsonis*			○									
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*					○							
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*			○		○					○		
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
138	エピテミア	*Epithemia* sp.			○				○					
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*	○	○					○				○	
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*										○		
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*	○				○		○	○				
146		*Nitzschia amphibia*	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
147		*Nitzschia brevissima*				○					○			
148		*Nitzschia clausii*	○				○	○	○			○	○	○
149		*Nitzschia dissipata*					○	○	○	○				
150		*Nitzschia fonticola*	○						○					○
151		*Nitzschia frustulum*	○							○				○
152		*Nitzschia hantzschiana*			○				○					
153		*Nitzschia inconspicua*						○						
154		*Nitzschia intermedia*	○											
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*	○					○					○	
156		*Nitzschia linearis*			○	○			○	○	○	○	○	○
157		*Nitzschia palea*	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
158		*Nitzschia paleacea*					○							
159		*Nitzschia pusilla*					○							

表 2.9.1-32(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.36、No.37、No.38）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No.36 多古橋川 水路（支流）				No.37 多古橋川 水路（支流）				No.38 多古橋川 水路（支流）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*											○	
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*								○				
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*						○	○	○				○
165		*Surirella brebissonii*												○
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*								○				
168		*Surirella minuta*								○			○	
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.					○							
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.						○						
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.						○						
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.						○						
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*						○						
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.												
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.				○				○				○
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.	○											
－		カエトフォラ科の一種	○								○			
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.				○								
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*			○									
187		*Cladophora* sp.				○				○				
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.		○										
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	32種	21種	31種	24種	27種	30種	30種	33種	26種	28種	29種	38種

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース）、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-33(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*		○				○						
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.		○										
8		*Lyngbya* sp.		○										
9		*Oscillatoria* sp.	○			○								
10		*Phormidium* sp.	○		○					○				
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.												
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱			○		○	○		○				
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*				○				○				
18		*Discostella pseudostelligera*												
19		*Discostella stelligera*				○								
20		*Stephanodiscus* spp.				○								
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*		○										
22		*Aulacoseira granulata*	○											
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○	○	○	○				○				
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*	○											
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*				○								
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*				○				○				
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*				○								
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*				○								
38		*Staurosira construens* var. *binodis*												
39		*Staurosira construens* var. *venter*			○	○	○							
40		*Staurosirella pinnata*												
41		*Ulnaria acus*												
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*			○	○				○				
44		*Ulnaria ulna*	○	○		○		○		○				
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.				○			○	○				
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*		○										
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*			○		○			○				
50		*Amphora strigosa*	○											
－		*Amphora* sp.			○	○		○						
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*					○			○				
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*								○				
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*												
56		*Cymbella tumida*								○				
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*	○		○									
61		*Diploneis yatukaensis*	○											
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*												
65		*Encyonema leei*	○											
－		*Encyonema* sp.				○								
66		*Frustulia rhomboides*	○											
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*	○		○	○								
68		*Frustulia vulgaris*								○				
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*	○											
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*		○										
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○		○	○	○				
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*	○	○			○	○	○	○				
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.	○											

表 2.9.1-33(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 39 多古橋川 河川				No. 40 多古橋川 水路				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.	○			○		○	○	○				
78		*Navicula angusta*							○					
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*				○								
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*	○											
86		*Navicula confervacea*					○							
87		*Navicula contenta* f. *biceps*				○	○	○						
88		*Navicula cryptocephala*		○	○	○	○	○	○	○				
89		*Navicula cryptotenella*	○					○	○	○				
90		*Navicula decussis*												
91		*Navicula elginensis*		○		○		○						
92		*Navicula gregaria*	○	○	○	○			○	○				
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*					○			○				
95		*Navicula molestiformis*					○							
96		*Navicula mutica*			○									
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*			○					○				
99		*Navicula protractoides*			○									
100		*Navicula pseudacceptata*				○								
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*				○								
103		*Navicula rostellata*	○	○		○	○	○						
104		*Navicula schroeterii*	○			○	○	○	○	○				
105		*Navicula seminuloides*			○		○							
106		*Navicula seminulum*								○				
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*		○	○	○	○							
109		*Navicula tripunctata*					○			○				
110		*Navicula trivialis*				○				○				
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*			○	○								
114		*Navicula yuraensis*			○	○	○	○		○				
－		*Navicula* spp.			○									
115		*Neidium* spp.				○				○				
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.	○	○	○			○		○				
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*			○		○							
119		*Sellaphora japonica*	○				○							
120		*Sellaphora pupula*			○	○								
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*	○											
－		*Stauroneis* sp.		○										
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*												
127		*Achnanthidium delicatulum*												
128		*Achnanthidium exiguum*					○							
129		*Achnanthidium japonicum*	○				○			○				
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*		○	○					○				
132		*Achnanthidium subhudsonis*												
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*			○	○				○				
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*		○	○				○	○				
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○	○	○	○				
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*				○								
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*					○							
－		*Rhopalodia* sp.					○							
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*		○	○	○		○						
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*		○		○								
144		*Nitzschia acicularis*		○										
145		*Nitzschia acidoclinata*	○			○								
146		*Nitzschia amphibia*	○		○		○							
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*	○				○	○		○				
149		*Nitzschia dissipata*			○				○	○				
150		*Nitzschia fonticola*		○			○	○						
151		*Nitzschia frustulum*				○								
152		*Nitzschia hantzschiana*			○									
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*		○					○					
156		*Nitzschia linearis*	○			○			○	○				
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○		○		○				
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-33(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.39、No.40、No.41）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 39 多古橋川 本川				No. 40 多古橋川 水路（支流）				No. 41 多古橋川 溜池（佐野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*					○							
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*	○			○	○		○					
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*		○		○								
164		*Surirella angusta*	○		○	○				○				
165		*Surirella brebissonii*								○				
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*	○		○	○								
168		*Surirella minuta*	○											
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.		○										
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.		○										
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.												
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.		○										
－		ヒビミドロ科の一種				○								
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種		○					○					
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.		○	○	○			○					
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*				○								
187		*Cladophora* sp.												
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.				○								
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	36種	32種	33種	50種	27種	20種	17種	39種	未実施			

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-34(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.					○							
5		*Homoeothrix janthina*					○							
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.					○	○	○					
9		*Oscillatoria* sp.												
10		*Phormidium* sp.												
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.						○						
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱					○	○	○	○				
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*												
18		*Discostella pseudostelligera*						○	○					
19		*Discostella stelligera*								○				
20		*Stephanodiscus* spp.								○				
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*					○	○	○	○				
22		*Aulacoseira granulata*						○						
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*					○			○				
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*							○	○				
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*								○				
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*								○				
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*						○						
38		*Staurosira construens* var. *binodis*					○							
39		*Staurosira construens* var. *venter*												
40		*Staurosirella pinnata*												
41		*Ulnaria acus*								○				
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*					○							
44		*Ulnaria ulna*								○				
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*												
－		*Eunotia* spp.						○	○	○				
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*					○	○						
50		*Amphora strigosa*					○	○						
－		*Amphora* sp.					○							
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*							○					
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*								○				
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*							○	○				
56		*Cymbella tumida*								○				
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*												
61		*Diploneis yatukaensis*								○				
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*												
64		*Encyonema silesiacum*												
65		*Encyonema leei*												
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*												
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*					○							
68		*Frustulia vulgaris*							○	○				
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*												
72		*Gomphonema contraturris*												
73		*Gomphonema gracile*												
74		*Gomphonema parvulum*					○	○	○	○				
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*						○	○					
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												

表 2.9.1-34(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.					○	○		○				
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*					○							
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*												
82		*Navicula capitatoradiata*							○					
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*												
88		*Navicula cryptocephala*					○	○	○	○				
89		*Navicula cryptotenella*						○	○					
90		*Navicula decussis*								○				
91		*Navicula elginensis*												
92		*Navicula gregaria*					○							
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*												
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*								○				
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*						○		○				
99		*Navicula protractoides*							○					
100		*Navicula pseudacceptata*												
101		*Navicula pygmaea*					○							
102		*Navicula rhynchocephala*					○							
103		*Navicula rostellata*					○	○		○				
104		*Navicula schroeterii*					○	○	○	○				
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*												
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*					○							
109		*Navicula tripunctata*								○				
110		*Navicula trivialis*					○							
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												
114		*Navicula yuraensis*							○					
－		*Navicula* spp.					○							
115		*Neidium* spp.								○				
116		*Pinnularia borealis*												
－		*Pinnularia* spp.					○	○	○	○				
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*								○				
119		*Sellaphora japonica*												
120		*Sellaphora pupula*					○	○	○	○				
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*					○			○				
－		*Stauroneis* sp.							○					
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*												
127		*Achnanthidium delicatulum*												
128		*Achnanthidium exiguum*												
129		*Achnanthidium japonicum*					○							
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*						○	○	○				
132		*Achnanthidium subhudsonis*												
133		*Cocconeis pediculus*												
134		*Cocconeis placentula*							○					
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*					○							
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*					○		○	○				
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*					○							
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*							○	○				
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*								○				
146		*Nitzschia amphibia*					○							
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*							○	○				
149		*Nitzschia dissipata*							○					
150		*Nitzschia fonticola*					○	○						
151		*Nitzschia frustulum*						○		○				
152		*Nitzschia hantzschiana*					○		○					
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*								○				
156		*Nitzschia linearis*					○		○	○				
157		*Nitzschia palea*					○	○	○	○				
158		*Nitzschia paleacea*												
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-34(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.42、No.43、No.44）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 42 多古橋川 溜池（大原池）				No. 43 多古橋川 水路（支流）				No. 44 多古橋川 溜池（井野池）			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*					○							
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*												
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*												
164		*Surirella angusta*							○	○				
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*					○		○					
168		*Surirella minuta*					○		○					
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.						○						
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.												
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterbornii*												
182		*Ulothrix* sp.												
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.								○				
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種												
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.												
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.												
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	未実施				37種	24種	32種	41種	未実施			

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース）、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-35(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*		○		○		○		○				
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.												
8		*Lyngbya* sp.	○	○				○						
9		*Oscillatoria* sp.								○				
10		*Phormidium* sp.							○					
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.												
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱					○	○	○	○				
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*	○							○				
18		*Discostella pseudostelligera*												
19		*Discostella stelligera*												
20		*Stephanodiscus* spp.								○				
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*	○											
22		*Aulacoseira granulata*												
－		*Aulacoseira* sp.												
23		*Melosira varians*	○											
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*												
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*												
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*	○			○								
30		*Fragilaria crotonensis*												
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*												
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*												
34		*Fragilaria vaucheriae*												
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*								○				
38		*Staurosira construens* var. *binodis*	○											
39		*Staurosira construens* var. *venter*	○											
40		*Staurosirella pinnata*			○	○				○				
41		*Ulnaria acus*								○				
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*	○							○				
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*	○	○	○	○				○				
－		*Eunotia* spp.			○	○								
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*												
48		*Amphora ovalis*				○								
49		*Amphora pediculus*					○	○	○	○				
50		*Amphora strigosa*	○				○							
－		*Amphora* sp.			○	○								
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*					○							
－		*Caloneis* spp.			○			○						
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*	○											
55		*Cymbella naviculiformis*												
56		*Cymbella tumida*												
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*												
－		*Cymbella* sp.												
59		*Diploneis boldtiana*			○									
60		*Diploneis elliptica*			○									
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.				○								
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*	○											
64		*Encyonema silesiacum*												
65		*Encyonema leei*	○											
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*	○		○									
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*				○								
68		*Frustulia vulgaris*												
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*	○				○							
72		*Gomphonema contraturris*	○	○	○	○								
73		*Gomphonema gracile*	○	○	○	○								
74		*Gomphonema parvulum*	○	○	○	○			○	○				
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*					○	○	○	○				
76		*Gomphonema pseudoaugur*												
－		*Gomphonema* spp.												

表 2.9.1-35(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 45 多古橋川 水路				No. 46 高谷川 水路				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.					○			○				
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*		○	○	○		○						
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*	○				○							
87		*Navicula contenta* f. *biceps*			○					○				
88		*Navicula cryptocephala*	○	○	○	○	○			○				
89		*Navicula cryptotenella*	○				○			○				
90		*Navicula decussis*			○									
91		*Navicula elginensis*												
92		*Navicula gregaria*	○		○	○			○	○				
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*	○				○	○	○					
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*	○		○					○				
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*	○											
98		*Navicula nipponica*												
99		*Navicula protractoides*								○				
100		*Navicula pseudacceptata*												
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*			○	○								
103		*Navicula rostellata*	○							○				
104		*Navicula schroeterii*	○					○	○	○				
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*							○					
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*	○		○									
109		*Navicula tripunctata*					○	○	○	○				
110		*Navicula trivialis*	○	○										
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*			○	○								
114		*Navicula yuraensis*												
－		*Navicula* spp.							○					
115		*Neidium* spp.												
116		*Pinnularia borealis*			○									
－		*Pinnularia* spp.		○	○	○		○		○				
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*	○		○		○	○	○	○				
119		*Sellaphora japonica*	○											
120		*Sellaphora pupula*	○	○	○	○								
121		*Stauroneis anceps*					○		○					
122		*Stauroneis phoenicenteron*				○								
－		*Stauroneis* sp.		○	○	○								
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*												
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*						○						
126		*Achnanthidium clevei*	○											
127		*Achnanthidium delicatulum*	○		○									
128		*Achnanthidium exiguum*	○											
129		*Achnanthidium japonicum*				○	○		○	○				
130		*Achnanthidium lapidosum*					○							
131		*Achnanthidium minutissimum*		○	○	○		○	○					
132		*Achnanthidium subhudsonis*	○											
133		*Cocconeis pediculus*	○											
134		*Cocconeis placentula*	○		○			○						
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*						○		○				
136		*Karayevia laterostrata*												
137		*Planothidium lanceolatum*	○	○	○	○	○			○				
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*				○								
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*												
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*		○	○	○								
144		*Nitzschia acicularis*												
145		*Nitzschia acidoclinata*								○				
146		*Nitzschia amphibia*	○		○		○	○	○	○				
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*												
149		*Nitzschia dissipata*	○				○		○	○				
150		*Nitzschia fonticola*	○					○						
151		*Nitzschia frustulum*	○											
152		*Nitzschia hantzschiana*	○				○							
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*			○		○							
156		*Nitzschia linearis*							○	○				
157		*Nitzschia palea*	○	○	○	○	○	○		○				
158		*Nitzschia paleacea*	○											
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-35(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.45、No.46、No.47）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 45 多古橋川 水路（支流）				No. 46 高谷川 水路（支流）				No. 47 空港区域 調整池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*					○							
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*							○	○				
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*				○								
164		*Surirella angusta*					○		○					
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*	○		○	○								
168		*Surirella minuta*			○									
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.			○									
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.												
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*												
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.												
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterborni*												
182		*Ulothrix* sp.	○	○										
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種	○	○		○								
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.	○	○	○	○								
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*												
187		*Cladophora* sp.												
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.												
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.												
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.												
合計	30科	191種	50種	19種	35種	28種	24種	19種	19種	34種	未実施			

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

表 2.9.1-36(1)　定性採取調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	クロオコックス	*Merismopedia tenuissima*												
2		*Microcystis aeruginosa*												
3		*Microcystis wesenbergii*												
4	ヒゲモ	*Calothrix* sp.												
5		*Homoeothrix janthina*					○	○						
6	ネンジュモ	*Aphanizomenon* sp.												
－		ネンジュモ科の一種												
7	ユレモ	*Komvophoron* sp.						○						
8		*Lyngbya* sp.					○	○	○	○				
9		*Oscillatoria* sp.						○						
10		*Phormidium* sp.					○			○				
11	カマエシフォン	*Chamaesiphon* sp.												
12	オオイシソウ	オオイシソウ												
－		*Compsopogon* sp.												
13	カワモズク	チャイロカワモズク												
14		アオカワモズク												
－		*Batrachospermum* sp.												
15	コノハノリ	ホソアヤギヌ												
－	－	真正紅藻亜綱					○							
16	タラシオシラ	*Cyclotella asterocostata*												
17		*Cyclotella meneghiniana*						○		○				
18		*Discostella pseudostelligera*							○	○				
19		*Discostella stelligera*												
20		*Stephanodiscus* spp.												
21	メロシラ	*Aulacoseira ambigua*						○		○				
22		*Aulacoseira granulata*						○	○	○				
－		*Aulacoseira* sp.							○	○				
23		*Melosira varians*					○	○	○	○				
24		*Pleurosira laevis*												
25	アナウルス	*Hydrosera whampoensis*					○	○	○	○				
26	ディアトマ	*Diatoma mesodon*												
27		*Diatoma vulgaris*						○	○	○				
28		*Fragilaria capitellata*												
29		*Fragilaria capucina*						○	○	○				
30		*Fragilaria crotonensis*						○						
31		*Fragilaria nanana*												
32		*Fragilaria rumpens*							○	○				
33		*Fragilaria rumpens* var. *fragilarioides*								○				
34		*Fragilaria vaucheriae*							○	○				
35		*Hannaea arcus* var. *amphioxys*												
36		*Meridion circulare* var. *constrictum*												
37		*Staurosira construens*							○					
38		*Staurosira construens* var. *binodis*							○					
39		*Staurosira construens* var. *venter*					○		○	○				
40		*Staurosirella pinnata*							○	○				
41		*Ulnaria acus*								○				
42		*Ulnaria inaequalis*												
43		*Ulnaria pseudogaillonii*												
44		*Ulnaria ulna*						○	○	○				
45	ユーノチア	*Eunotia bilunaris*					○							
－		*Eunotia* spp.					○	○						
46	ナビクラ	*Amphipleura pellucida*												
47		*Amphora montana*						○						
48		*Amphora ovalis*												
49		*Amphora pediculus*												
50		*Amphora strigosa*						○						
－		*Amphora* sp.					○		○					
51		*Brachysira* sp.												
52		*Caloneis bacillum*							○					
－		*Caloneis* spp.												
53		*Cymbella aspera*												
54		*Cymbella cuspidata*												
55		*Cymbella naviculiformis*						○	○					
56		*Cymbella tumida*												
57		*Cymbella turgidula*												
58		*Cymbella turgidula* var. *nipponica*								○				
－		*Cymbella* sp.								○				
59		*Diploneis boldtiana*												
60		*Diploneis elliptica*												
61		*Diploneis yatukaensis*												
－		*Diploneis* sp.												
62		*Encyonema minutum*												
63		*Encyonema prostratum*					○	○	○	○				
64		*Encyonema silesiacum*					○							
65		*Encyonema leei*						○	○	○				
－		*Encyonema* sp.												
66		*Frustulia rhomboides*												
67		*Frustulia rhomboides* var. *crassinervia*												
68		*Frustulia vulgaris*							○					
69		*Gomphoneis heterominuta*												
70		*Gomphonema acuminatum*												
71		*Gomphonema clevei*						○	○					
72		*Gomphonema contraturris*					○							
73		*Gomphonema gracile*					○							
74		*Gomphonema parvulum*					○	○	○	○				
75		*Gomphonema pumilum* var. *rigidum*												
76		*Gomphonema pseudoaugur*					○							
－		*Gomphonema* spp.							○	○				

表 2.9.1-36(2)　定性採取調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 河川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
77	ナビクラ	*Gyrosigma* spp.												
78		*Navicula angusta*												
79		*Navicula atomus*												
80		*Navicula bacillum*												
81		*Navicula capitata*					○							
82		*Navicula capitatoradiata*												
83		*Navicula clementis*												
84		*Navicula clementoides*												
85		*Navicula concentrica* var. *angusta*												
86		*Navicula confervacea*												
87		*Navicula contenta* f. *biceps*												
88		*Navicula cryptocephala*					○	○	○	○				
89		*Navicula cryptotenella*						○	○	○				
90		*Navicula decussis*							○					
91		*Navicula elginensis*												
92		*Navicula gregaria*					○	○	○	○				
93		*Navicula hungarica* var. *linearis*												
94		*Navicula minima*							○	○				
95		*Navicula molestiformis*												
96		*Navicula mutica*						○	○	○				
97		*Navicula mutica* var. *ventricosa*												
98		*Navicula nipponica*												
99		*Navicula protractoides*												
100		*Navicula pseudacceptata*												
101		*Navicula pygmaea*												
102		*Navicula rhynchocephala*					○							
103		*Navicula rostellata*						○						
104		*Navicula schroeterii*												
105		*Navicula seminuloides*												
106		*Navicula seminulum*						○	○					
107		*Navicula subminuscula*												
108		*Navicula subrostellata*						○						
109		*Navicula tripunctata*												
110		*Navicula trivialis*					○							
111		*Navicula veneta*												
112		*Navicula viridula*												
113		*Navicula viridula* var. *linearis*												
114		*Navicula yuraensis*												
－		*Navicula* spp.												
115		*Neidium* spp.					○							
116		*Pinnularia borealis*							○					
－		*Pinnularia* spp.					○		○					
117		*Reimeria sinuata*												
118		*Rhoicosphenia abbreviata*								○				
119		*Sellaphora japonica*						○	○	○				
120		*Sellaphora pupula*					○	○	○	○				
121		*Stauroneis anceps*												
122		*Stauroneis phoenicenteron*					○							
－		*Stauroneis* sp.												
123	アクナンテス	*Achnanthes crenulata*								○				
124		*Achnanthes rupestoides*												
125		*Achnanthidium atomus*												
126		*Achnanthidium clevei*						○	○					
127		*Achnanthidium delicatulum*							○	○				
128		*Achnanthidium exiguum*					○		○	○				
129		*Achnanthidium japonicum*							○					
130		*Achnanthidium lapidosum*												
131		*Achnanthidium minutissimum*					○	○		○				
132		*Achnanthidium subhudsonis*						○	○	○				
133		*Cocconeis pediculus*						○	○	○				
134		*Cocconeis placentula*							○	○				
135		*Cocconeis placentula* var. *euglypta*						○	○					
136		*Karayevia laterostrata*						○						
137		*Planothidium lanceolatum*							○					
138	エピテミア	*Epithemia* sp.												
139		*Rhopalodia gibba*												
140		*Rhopalodia gibba* var. *ventricosa*												
－		*Rhopalodia* sp.												
141	ニッチア	*Bacillaria paxillifer*						○						
142		*Denticula* sp.												
143		*Hantzschia amphioxys*												
144		*Nitzschia acicularis*								○				
145		*Nitzschia acidoclinata*					○							
146		*Nitzschia amphibia*						○	○	○				
147		*Nitzschia brevissima*												
148		*Nitzschia clausii*												
149		*Nitzschia dissipata*								○				
150		*Nitzschia fonticola*						○	○	○				
151		*Nitzschia frustulum*						○						
152		*Nitzschia hantzschiana*							○					
153		*Nitzschia inconspicua*												
154		*Nitzschia intermedia*												
155		*Nitzschia levidensis* var. *salinarum*					○			○				
156		*Nitzschia linearis*						○	○					
157		*Nitzschia palea*					○	○	○	○				
158		*Nitzschia paleacea*						○	○	○				
159		*Nitzschia pusilla*												

表 2.9.1-36(3)　定性採取調査結果（調査地点 No.49、No.50、No.52）

No.	科名	種名(和名) ※和名のない種は学名表記	No. 49 空港区域 調整池				No. 50 取香川 本川				No. 52 空港区域 滞水池			
			夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
160	ニッチア	*Nitzschia sinuata* var. *delognei*												
161		*Nitzschia tubicola*												
162		*Nitzschia vermicularis*												
－		*Nitzschia* spp.												
163	スリレラ	*Cymatopleura solea*					○							
164		*Surirella angusta*						○	○					
165		*Surirella brebissonii*												
166		*Surirella brebissonii* var. *kuetzingii*												
167		*Surirella linearis*					○							
168		*Surirella minuta*												
169		*Surirella tenera*												
170	ミドリムシ	*Euglena* spp.												
171		*Phacus* sp.												
172		*Trachelomonas* spp.												
173	クラミドモナス	*Chlamydomonas* sp.						○						
174	クロロコックム	*Characium* sp.												
175	セネデスムス	*Scenedesmus acuminatus*						○						
176		*Scenedesmus acutus*												
－		*Scenedesmus* spp.					○	○						
177	アミミドロ	*Pediastrum boryanum*												
178		*Pediastrum duplex*												
179		*Pediastrum simplex*												
180		*Pediastrum tetras*												
181	ヒビミドロ	*Planctonema lauterborni*												
182		*Ulothrix* sp.							○	○				
－		ヒビミドロ科の一種												
183	ミクロスポラ	*Microspora* sp.												
184	カエトフォラ	*Cloniophora* sp.												
－		カエトフォラ科の一種												
185	サヤミドロ	*Oedogonium* spp.					○	○	○					
186	シオグサ	*Chaetomorpha okamurai*								○				
187		*Cladophora* sp.							○	○				
188	ホシミドロ	*Spirogyra* sp.					○	○	○	○				
－		ホシミドロ科の一種												
189	ツヅミモ	*Closterium* sp.						○						
190		*Cosmarium* sp.												
191		*Staurastrum* sp.						○						
合計	30科	191種	未実施				33種	49種	53種	48種	未実施			

※1　種名及び配列等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 26 年　国土交通省河川環境データベース)、「世界の淡水産紅藻」（平成 12 年　熊野茂）に準拠した。

※2　No.に“－”と記した種については、他の同科・同属の種と重複する可能性があるため、同科・同属の種が確認された場合は、種数のカウントに含めていない。

(6) 植生

1) 植生調査票

植生調査票は、表 2.9.1-37 に示すとおりである。

表 2.9.1-37(1)　植生調査票

No.	1	調査地	千葉県成田市堀之内			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	15	
土　壌	沖積	日　当	中陰	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	3× 3	m
				出現種数	10	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	クズ	0～1.5	100		10	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				クズ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	クズ						
Ⅳ①	3·3	カラスウリ						
Ⅳ①	3·3	アズマネザサ						
Ⅳ①	1·2	アレチウリ						
Ⅳ①	1·1	マグワ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						
Ⅳ①	+	ウシハコベ						
Ⅳ①	+	カキドオシ						
Ⅳ①	+	ヨモギ						
Ⅳ①	+	フジ						

表 2.9.1-37(2)　植生調査票

No.	2	調査地	千葉県成田市長田		
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	11
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	- °
				面　積	5× 5 m
				出現種数	13

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アカメヤナギ	1.5～5	90		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.5	50		11	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカメヤナギ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	5·5	アカメヤナギ	Ⅳ①	3·3	セイタカアワダチソウ			
Ⅲ①	+·2	クズ	Ⅳ①	1·2	ミゾソバ			
			Ⅳ①	+·2	ダイコンソウ			
			Ⅳ①	+·2	スギナ			
			Ⅳ①	+·2	オギ			
			Ⅳ①	+·2	スゲ属の一種			
			Ⅳ①	+	ヤブマメ			
			Ⅳ①	+	アオミズ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	イ			

表 2.9.1-37(3)　植生調査票

No.	3	調査地	千葉県成田市堀之内		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	10
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	3

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	オギ	0～1.3	100		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				オギ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	+	カナムグラ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						

表 2.9.1-37(4)　植生調査票

No.	4	調査地	千葉県成田市堀之内		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	12
土　壌	沼沢	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ヨシ	0.2～2	95		1	(群落名)
Ⅳ②　草本層②	-	0～0.2	1		4	ヨシ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ②	+·2	アオミズ						
Ⅳ②	+	ツユクサ						
Ⅳ②	+	ドクダミ						
Ⅳ②	+	ミゾソバ						

表 2.9.1-37(5)　植生調査票

No.	5	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	尾根	風　当	中	海　抜	36
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0　°
				面　積	15× 15　m
				出現種数	12

(階層)		(優占種)	(高さｍ)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ	高木層	コナラ	9～15	50	20	2	調査区域A
Ⅱ	亜高木層	-	4～9	20	10	2	
Ⅲ①	低木層①	アズマネザサ	1.5～4	90		4	
Ⅲ②	低木層②		～				
Ⅳ①	草本層①	-	0～1.5	10		6	(群落名)
Ⅳ②	草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	コナラ	Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
Ⅰ	+	クズ	Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	1·1	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+·2	フジ			
Ⅱ	2·2	コナラ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅱ	+	ミツバアケビ						
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ						
Ⅲ①	+	シロダモ						
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ						

表 2.9.1-37(6)　植生調査票

No.	6
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小菅
風　当	中
日　当	陽
土　湿	乾～適

海　抜	36	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	7～11	100	20	2	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	2～7	5	10	1	
Ⅲ①　低木層①	-	0.5～2	5		1	
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	-	0～0.5	1		6	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+·2	ヒサカキ			
Ⅰ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	オオバノイノモトソウ			
			Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
			Ⅳ①	+	ノブドウ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	1·2	モウソウチク						

表 2.9.1-37(7)　植生調査票

No.	7	調査地	千葉県成田市小菅		
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	27
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N80° E
		土　湿	適	傾　斜	20 °
				面　積	20× 20 m
				出現種数	17

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	8～14	85	35	3	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	4～8	10	8	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1.8～4	35		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1.8	50		15	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	シラカシ	Ⅳ①	3·3	アズマネザサ			
Ⅰ	1·2	コナラ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·2	ヤマザクラ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
			Ⅳ①	+·2	ノササゲ			
			Ⅳ①	+	ヒサカキ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	スダジイ			
Ⅱ	1·2	コナラ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			
			Ⅳ①	+	コクラン			
			Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	フジ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	コマユミ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			

表 2.9.1-37(8)　植生調査票

No.	8	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	15
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	- °
				面　積	4× 4 m
				出現種数	4

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	アズマネザサ	0～2.2	100		4	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅳ①	3·3	クズ						
Ⅳ①	2·2	カラスウリ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						

表 2.9.1-37(9)　植生調査票

No.	9	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	16
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	10

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	セイタカアワダチソウ	0.7～2.2	70		4	(群落名)
Ⅳ②　草本層②	-	0～0.7	50		8	セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	2·2	オギ						
Ⅳ①	1·2	カナムグラ						
Ⅳ①	1·2	ヤイトバナ						
Ⅳ②	2·3	フジ						
Ⅳ②	2·2	ヨモギ						
Ⅳ②	1·2	ヤイトバナ						
Ⅳ②	+	カナムグラ						
Ⅳ②	+	イヌドクサ						
Ⅳ②	+	スズメウリ						
Ⅳ②	+	ヤブマメ						
Ⅳ②	+	セリ						

表 2.9.1-37(10)　植生調査票

No.	10	調査地	千葉県成田市駒井野			
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	19	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	5× 5	m
				出現種数	10	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アカメヤナギ	2～5	50		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミゾソバ	0～2	90		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカメヤナギ群落

調査日　2016/10/24

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	3·3	アカメヤナギ	Ⅳ①	4·4	ミゾソバ			
Ⅲ①	+	スイカズラ	Ⅳ①	2·2	ガマ			
			Ⅳ①	2·2	カサスゲ			
			Ⅳ①	1·1	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	+	セリ			
			Ⅳ①	+	スイカズラ			
			Ⅳ①	+	アカバナ			
			Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			

表 2.9.1-37(11)　植生調査票

No.	11
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市駒井野
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	29	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	10× 10	m
出現種数	23	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	10～20	80	25	2	調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1.8～3.5	25		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1.8	65		21	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	1·2	ムクノキ			
			Ⅳ①	+·2	アオキ			
			Ⅳ①	+	ミドリヒメワラビ			
Ⅲ①	2·3	ムクノキ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	1·2	シロダモ	Ⅳ①	+	ニガキ			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ゴンズイ			
Ⅲ①	1·1	フジ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·1	ニワトコ	Ⅳ①	+	ヒナタイノコズチ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	エゴノキ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	カラタチバナ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ニワトコ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	ノシラン			
			Ⅳ①	+	タブノキ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	+	イノデ			

表 2.9.1-37(12)　植生調査票

No.	12	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	41
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	3

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カナムグラ	0～0.5	100		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				カナムグラ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	カナムグラ						
Ⅳ①	+	クズ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						

表 2.9.1-37(13)　植生調査票

No.	13	調査地	千葉県成田市駒井野			
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	40	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	S	
		土　湿	適	傾　斜	40	°
				面　積	15× 10	m
				出現種数	11	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	6～20	80	25	1	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	2～6	5	10	1	
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	0.5～2	75		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	5		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	1·1	スギ	Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	アケビ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅲ①	1·1	アオキ						
Ⅲ①	+·2	ムクノキ						
Ⅲ①	+	ヤマノイモ						

表 2.9.1-37(14)　植生調査票

No.	14	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	40
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ハルジオン	0～0.2	100		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ハルジオン						
Ⅳ①	3·3	イネ科の一種						
Ⅳ①	1·1	ヤブガラシ						
Ⅳ①	1·1	ヨモギ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	ウシハコベ						
Ⅳ①	+	カキドオシ						

表 2.9.1-37(15)　植生調査票

No.	15
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市駒井野
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	39	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	10× 10	m
出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マダケ	8～14	60	10	1	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	4～8	40	18	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1.3～4	30		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.3	10		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	マダケ	Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	2·2	シラカシ						
Ⅱ	2·2	ケヤキ						
Ⅱ	+	マダケ						
Ⅲ①	2·2	アズマネザサ						
Ⅲ①	+	アオキ						
Ⅲ①	+	ツルウメモドキ						

表 2.9.1-37(16)　植生調査票

No.	16	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	15
土　壌	造成土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	8

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.7	70		8	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	メマツヨイグサ						
Ⅳ①	1·2	ススキ						
Ⅳ①	1·2	オオアレチノギク						
Ⅳ①	+·2	メヒシバ						
Ⅳ①	+	エノコログサ						
Ⅳ①	+	チリメンジソ						
Ⅳ①	+	ヒメムカシヨモギ						

表 2.9.1-37(17)　植生調査票

No.	17	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	16
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	4

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0.4～1.7	100		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.4	3		3	ヨシ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ②	+·2	クサヨシ						
Ⅳ②	+	イ						
Ⅳ②	+	ミゾソバ						

表 2.9.1-37(18)　植生調査票

No.	18	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	31
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	S75° W
		土　湿	適	傾　斜	34 °
				面　積	15× 20 m
				出現種数	19

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スダジイ	12～16	90	35	3	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	6～12	20	20	4	
Ⅲ① 低木層①	-	1～6	40		8	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	10		14	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スダジイ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	スダジイ	Ⅳ①	1·2	キヅタ			
Ⅰ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	ベニシダ			
Ⅰ	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
Ⅱ	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+	クマワラビ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅱ	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	ヒメイタチシダ			
Ⅱ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	サイゴクベニシダ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	シュンラン			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ミヤマナルコユリ			
Ⅲ①	1·2	スダジイ	Ⅳ①	+	オオバノイノモトソウ			
Ⅲ①	+·2	アワブキ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+·2	アズマネザサ						
Ⅲ①	+	ヤツデ						
Ⅲ①	+	テイカカズラ						
Ⅲ①	+	イヌガヤ						

表 2.9.1-37(19)　植生調査票

No.	19	調査地	千葉県成田市駒井野			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	36	
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N	
		土　湿	適	傾　斜	10	°
				面　積	10× 10	m
				出現種数	10	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	12～24	80	45	1	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	5～12	50	8	3	
Ⅲ① 低木層①	アオキ	0.6～3.5	50		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.4	20		8	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	2·2	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	+·2	ミゾシダ			
			Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	2·3	シラカシ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅱ	2·2	ムクノキ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	3·3	アオキ						
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ						
Ⅲ①	1·1	ムクノキ						
Ⅲ①	1·1	シラカシ						

表 2.9.1-37(20)　植生調査票

No.	20	調査地	千葉県成田市駒井野			
地　形	斜面上	風　当	強	海　抜	41	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	N60° E	
		土　湿	適	傾　斜	15	°
				面　積	10× 10	m
				出現種数	24	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	9～18	90	25	5	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	5～9	25	12	3	
Ⅲ① 低木層①	-	0.5～3.5	10		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.3	10		16	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	シラカシ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
Ⅰ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	+·2	シラカシ			
Ⅰ	1·2	スギ	Ⅳ①	+·2	アオキ			
Ⅰ	1·1	ヤマザクラ	Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	イヌシデ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ササバギンラン			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	シュンラン			
			Ⅳ①	+	スダジイ			
Ⅱ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅱ	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ						
Ⅲ①	1·1	タブノキ						
Ⅲ①	+	シラカシ						
Ⅲ①	+	スダジイ						
Ⅲ①	+	イヌガヤ						

表 2.9.1-37(21)　植生調査票

No.	21	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	尾根	風　当	強	海　抜	42
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	10× 10 m
				出現種数	10

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	5～12	90		1	調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1.2～1.8	5		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.2	3		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	コナラ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
Ⅲ①	+	アズマネザサ						

表 2.9.1-37(22)　植生調査票

No.	22	調査地	千葉県成田市駒井野		
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	40
土　壌	造成土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　ススキ		0～2	90		5	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				ススキ群落

調査日　2016/10/28

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ススキ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	ヤマグワ						
Ⅳ①	1·2	アキノエノコログサ						
Ⅳ①	+·2	クズ						

表 2.9.1-37(23)　植生調査票

No.	23	調査地	千葉県成田市取香			
地　形	尾根	風　当	中	海　抜	29	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	S20° W	
		土　湿	適	傾　斜	22	°
				面　積	15× 20	m
				出現種数	22	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スダジイ	14～18	90	70	4	調査区域A
Ⅱ　亜高木層	-	7～14	20	30	6	
Ⅲ① 低木層①	ヒサカキ	1～7	40		9	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	30		16	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スダジイ群落

調査日　2016/8/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	スダジイ	Ⅳ①	2·3	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	2·1	タブノキ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
Ⅰ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	アオキ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅱ	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+	イヌガヤ			
Ⅱ	1·2	マダケ	Ⅳ①	+	スダジイ			
Ⅱ	1·1	モチノキ	Ⅳ①	+	シュンラン			
Ⅱ	1·1	イヌシデ	Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅱ	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅲ①	3·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
Ⅲ①	1·2	アオキ						
Ⅲ①	+·2	スダジイ						
Ⅲ①	+·2	ツルグミ						
Ⅲ①	+	マダケ						
Ⅲ①	+	テイカカズラ						
Ⅲ①	+	キヅタ						
Ⅲ①	+	シロダモ						
Ⅲ①	+	シュロ						

表 2.9.1-37(24)　植生調査票

No.	24	調査地	千葉県成田市取香		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	19
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	8

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	オヒシバ	0～0.2	70		8	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	オヒシバ						
Ⅳ①	1·2	ヒメジョオン						
Ⅳ①	1·2	コメヒシバ						
Ⅳ①	+·2	エノキグサ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	ヒメムカシヨモギ						
Ⅳ①	+	カヤツリグサ						
Ⅳ①	+	ウラジロチチコグサ						

表 2.9.1-37(25)　植生調査票

No.	25	調査地	千葉県成田市取香		
地　形	斜面上	風　当	強	海　抜	17
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	S75° W
		土　湿	適	傾　斜	30 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	6

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイバンモロコシ	0～1.5	100		6	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	セイバンモロコシ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+·2	ヨモギ						
Ⅳ①	+·2	スギナ						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						

表 2.9.1-37(26)　植生調査票

No.	26	調査地	千葉県成田市駒井野			
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	40	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	15× 13	m
				出現種数	4	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マテバシイ	1～8	100	25	1	調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	-	0～1	3		4	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				その他植林（マテバシイ植林）

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	マテバシイ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	マテバシイ			
			Ⅳ①	+	クズ			

表 2.9.1-37(27)　植生調査票

No.	27
地　形	平地
土　壌	アンド

調査地	千葉県山武郡芝山町岩山
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	37	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	1× 1	m
出現種数	6	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	メヒシバ	0～0.4	55		6	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	メヒシバ						
Ⅳ①	1·2	スギナ						
Ⅳ①	+·2	オオニシキソウ						
Ⅳ①	+·2	ヒルガオ						
Ⅳ①	+	イヌタデ						
Ⅳ①	+	カヤツリグサ						

表 2.9.1-37(28)　植生調査票

No.	28	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山		
地　形	斜面下	風　当	強	海　抜	35
土　壌	造成土	日　当	陽	方　位	N16° E
		土　湿		傾　斜	40 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	9

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ススキ	0～2	95		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ススキ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ススキ						
Ⅳ①	2·3	クズ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+·2	スギナ						
Ⅳ①	+·2	ヨモギ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						
Ⅳ①	+	スイバ						
Ⅳ①	+	ヒメジョオン						

表 2.9.1-37(29)　植生調査票

No.	29
地　形	平地
土　壌	沖積

調査地	千葉県山武郡芝山町岩山
風　当	中
日　当	陽
土　湿	乾～適

海　抜	28	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	2× 2	m
出現種数	7	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　ススキ		0～1.7	100		7	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				ススキ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ススキ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+·2	アキノエノコログサ						
Ⅳ①	+·2	ヤマグワ						
Ⅳ①	+·2	ワルナスビ						
Ⅳ①	+	メヒシバ						
Ⅳ①	+	ヨモギ						

表 2.9.1-37(30)　植生調査票

No.	30
地　形	平地
土　壌	造成土

調査地	千葉県山武郡芝山町岩山
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	乾～適

海　抜	41	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	2× 2	m
出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域A
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.7	100		8	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·5	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	2·2	アキノエノコログサ						
Ⅳ①	1·2	ホソアオゲイトウ						
Ⅳ①	1·2	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+·2	ヨモギ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						
Ⅳ①	+	ヒナタイノコズチ						
Ⅳ①	+	ヤマグワ						

表 2.9.1-37(31)　植生調査票

No.	31	調査地	千葉県成田市成毛			
地　形	斜面上	風　当	強	海　抜	33	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	S55° E	
		土　湿	適	傾　斜	12	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	32	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	12～18	90	20	3	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	6～12	20	10	2	
Ⅲ① 低木層①	-	2～6	30		10	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1.5	50		24	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	3·3	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	2·3	テイカカズラ			
Ⅰ	1·2	コナラ	Ⅳ①	+·2	チゴユリ			
			Ⅳ①	+·2	キヅタ			
			Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅱ	2·2	コナラ	Ⅳ①	+	ヤマツツジ			
Ⅱ	1·1	スギ	Ⅳ①	+	ノブドウ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	2·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	シュンラン			
Ⅲ①	2·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	ミヤマウズラ			
Ⅲ①	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ゴンズイ			
Ⅲ①	+	スギ	Ⅳ①	+	サワフタギ			
Ⅲ①	+	イヌツゲ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	サンショウ			
Ⅲ①	+	イヌガヤ	Ⅳ①	+	ツリバナ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+	アオツヅラフジ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	ヤマコウバシ			
			Ⅳ①	+	ササバギンラン			
			Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	フジ			

表 2.9.1-37(32)　植生調査票

No.	32	調査地	千葉県成田市成毛		
地　形	谷	風　当	強	海　抜	14
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	9

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ハリイ	0～0.2	40		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	2·3	ハリイ						
Ⅳ①	2·3	トキンソウ						
Ⅳ①	1·2	ヌメリグサ						
Ⅳ①	1·2	セリ						
Ⅳ①	+·2	ヤナギタデ						
Ⅳ①	+	タウコギ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	アメリカアゼナ						
Ⅳ①	+	アゼトウガラシ						

表 2.9.1-37(33)　植生調査票

No.	33	調査地	千葉県成田市大室		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	21
土　壌	グライ	日　当	陽～中陰	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヒメガマ	0.7～2	50		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	ミゾソバ	0～0.7	90		4	ヒメガマ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ヒメガマ						
Ⅳ①	+·2	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	5·5	ミゾソバ						
Ⅳ②	1·2	スズメウリ						
Ⅳ②	+·2	サヤヌカグサ						
Ⅳ②	+·2	コブナグサ						

表 2.9.1-37(34)　植生調査票

No.	34
地　形	平地
土　壌	未熟土

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	35	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	3× 3	m
出現種数	7	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	セイバンモロコシ	0～2	100		7	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	セイバンモロコシ						
Ⅳ①	2·2	メヒシバ						
Ⅳ①	1·2	キンエノコロ						
Ⅳ①	1·1	アキノノゲシ						
Ⅳ①	+·2	ヒナタイノコズチ						
Ⅳ①	+	ヤマグワ						
Ⅳ①	+	スイバ						

表 2.9.1-37(35)　植生調査票

No.	35	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	谷	風　当	弱	海　抜	13
土　壌	グライ	日　当	中陰	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	11

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ヒレタゴボウ	0～1.3	80		11	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ヒレタゴボウ						
Ⅳ①	1·2	チガヤ						
Ⅳ①	1·2	ボントクタデ						
Ⅳ①	+·2	トミサトオトギリ						
Ⅳ①	+·2	セリ						
Ⅳ①	+	カワラスガナ						
Ⅳ①	+	ヤノネグサ						
Ⅳ①	+	ヌメリグサ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	ヒメジソ						
Ⅳ①	+	ミゾソバ						

表 2.9.1-37(36)　植生調査票

No.	36
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽～中陰
土　湿	適

海　抜	18	
方　位	S85° W	
傾　斜	10	°
面　積	20× 20	m
出現種数	34	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	7～13	85	35	6	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	4～7	40	10	5	
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	1～4	90		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	45		26	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/8/29

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	コナラ	Ⅳ①	2·2	アズマネザサ			
Ⅰ	1·2	スダジイ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	+·2	ヒノキ	Ⅳ①	1·2	ヤブラン			
Ⅰ	+	ヤマザクラ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅰ	+	ウワミズザクラ	Ⅳ①	1·2	ジャノヒゲ			
Ⅰ	+	スギ	Ⅳ①	+·2	チゴユリ			
			Ⅳ①	+·2	ツタ			
			Ⅳ①	+·2	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+·2	ヒサカキ			
			Ⅳ①	+	コマユミ			
Ⅱ	2·2	コナラ	Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅱ	1·2	ニガキ	Ⅳ①	+	シュンラン			
Ⅱ	1·2	フジ	Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅱ	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	エゴノキ			
Ⅱ	+	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	コブシ			
			Ⅳ①	+	クズ			
			Ⅳ①	+	コバノガマズミ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	キクバドコロ			
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	キッコウハグマ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	ハリギリ			
			Ⅳ①	+	ミヤマウズラ			
			Ⅳ①	+	オオバノトンボソウ			
			Ⅳ①	+	ヤマツツジ			

表 2.9.1-37(37)　植生調査票

No.	37
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市大室
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	36	
方　位	S38° E	
傾　斜	20	°
面　積	10× 20	m
出現種数	35	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	8～12	80	30	4	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	4～8	15	10	3	
Ⅲ① 低木層①	-	2～4	10		5	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～2	90		30	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	コナラ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	2·2	シケシダ			
Ⅰ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	1·2	キヅタ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	1·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	1·2	イヌワラビ			
Ⅱ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	フジ			
Ⅱ	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+·2	ドクダミ			
Ⅱ	1·1	ミツバアケビ	Ⅳ①	+·2	ヤマイタチシダ			
			Ⅳ①	+·2	トラノオシダ			
			Ⅳ①	+·2	オニドコロ			
Ⅲ①	1·2	サワフタギ	Ⅳ①	+·2	シュロ			
Ⅲ①	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	タチツボスミレ			
Ⅲ①	1·1	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	マユミ			
Ⅲ①	+	ヤマグワ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	+	イヌザクラ	Ⅳ①	+	サワフタギ			
			Ⅳ①	+	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	オカウコギ			
			Ⅳ①	+	カラスウリ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	オクマワラビ			
			Ⅳ①	+	ヒサカキ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ヒノキ			
			Ⅳ①	+	サネカズラ			
			Ⅳ①	+	ウバメガシ			
			Ⅳ①	+	イカリソウ			
			Ⅳ①	+	チャノキ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	スゲ属の一種			

表 2.9.1-37(38)　植生調査票

No.	38	調査地	千葉県成田市小泉			
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	37	
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N	
		土　湿	適	傾　斜	5	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	26	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	10～15	90	40	6	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	6～10	15	25	3	
Ⅲ① 低木層①	-	2～6	50		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～2	30		20	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/29

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	2·3	アズマネザサ			
Ⅰ	1·1	スダジイ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅰ	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	ベニシダ			
Ⅰ	+	モウソウチク	Ⅳ①	+·2	スダジイ			
Ⅰ	+	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ツルグミ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅱ	2·2	スギ	Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅱ	+·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ノササゲ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
Ⅲ①	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+	キクバドコロ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	オモト			
Ⅲ①	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	1·2	フジ	Ⅳ①	+	コナラ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	モミ			
Ⅲ①	+	シュロ						
Ⅲ①	+	モチノキ						

表 2.9.1-37(39)　植生調査票

No.	39
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	40	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	11	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	8～16	95	15	2	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	2～8	5	10	1	
Ⅲ① 低木層①	-	0.5～2	3		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	3		8	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/29

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·2	スギ	Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	ナンテン			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ						
Ⅲ①	1·1	スダジイ						

表 2.9.1-37(40)　植生調査票

No.	40
地　形	斜面上
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	強～中
日　当	陽～中陰
土　湿	乾～適

海　抜	31	
方　位	N10° E	
傾　斜	10	°
面　積	20× 20	m
出現種数	22	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マダケ	7～13	80	15	2	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	2～7	25	10	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1～2	5		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	40		18	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/8/29

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	マダケ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	+	スギ	Ⅳ①	2·2	アマチャヅル			
			Ⅳ①	2·2	アオキ			
			Ⅳ①	1·2	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·2	ヤブミョウガ			
Ⅱ	2·3	マダケ	Ⅳ①	+·2	ミズヒキ			
Ⅱ	+·2	キヅタ	Ⅳ①	+·2	ベニシダ			
Ⅱ	+	フジ	Ⅳ①	+·2	ミゾシダ			
			Ⅳ①	+·2	キヅタ			
			Ⅳ①	+·2	コチヂミザサ			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ヒナタイノコズチ			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ヒメコウゾ			
Ⅲ①	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ノササゲ			
			Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			

表 2.9.1-37(41)　植生調査票

No.	41	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	16
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	- °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	8

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	オオアレチノギク	0～1.8	70		8	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/8/15

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	オオアレチノギク						
Ⅳ①	1·2	クズ						
Ⅳ①	1·2	ヒメジョオン						
Ⅳ①	1·1	ウツギ						
Ⅳ①	+·2	スギナ						
Ⅳ①	+·2	ヒメムカシヨモギ						
Ⅳ①	+	ヤマノイモ						
Ⅳ①	+	エゾノギシギシ						

表 2.9.1-37(42)　植生調査票

No.	42	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	斜面上	風　当	強～中	海　抜	33
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	S50° W
		土　湿	適	傾　斜	15 °
				面　積	20× 20 m
				出現種数	30

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	11～16	85	40	2	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	3～11	20	15	4	
Ⅲ① 低木層①	アオキ	1～3	40		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～1	50		24	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/8/29

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	シラカシ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	1·2	マダケ	Ⅳ①	1·2	キヅタ			
			Ⅳ①	1·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	1·2	マンリョウ			
			Ⅳ①	+·2	スダジイ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	ジャノヒゲ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
Ⅱ	+	コブシ	Ⅳ①	+·2	ハナイカダ			
Ⅱ	+	スダジイ	Ⅳ①	+·2	アオキ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブミョウガ			
Ⅲ①	3·3	アオキ	Ⅳ①	+	ノササゲ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	モミ			
Ⅲ①	+	チャノキ	Ⅳ①	+	フジ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	+	シュロ	Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅲ①	+	マダケ	Ⅳ①	+	キンミズヒキ			
			Ⅳ①	+	キチジョウソウ			
			Ⅳ①	+	ヤブハギ			
			Ⅳ①	+	キバナアキギリ			
			Ⅳ①	+	サンショウ			
			Ⅳ①	+	トウゲシバ			
			Ⅳ①	+	ヒイラギ			
			Ⅳ①	+	ササバギンラン			
			Ⅳ①	+	ハエドクソウ			

表 2.9.1-37(43)　植生調査票

No.	43
地　形	斜面下
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	24	
方　位	N20° W	
傾　斜	5	°
面　積	20× 15	m
出現種数	16	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	7～16	80	50	2	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	4～7	10	15	3	
Ⅲ①　低木層①	-	1～4	10		3	
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	-	0～1	40		12	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/15

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	モウソウチク	Ⅳ①	2·3	ヤブミョウガ			
Ⅰ	1·2	スギ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
			Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	チャノキ			
			Ⅳ①	+·2	キヅタ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	シュロ			
Ⅱ	+·2	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	シケシダ			
			Ⅳ①	+·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	1·2	コクサギ	Ⅳ①	+	コブシ			
Ⅲ①	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	シンミズヒキ			
Ⅲ①	1·2	ムクノキ						

表 2.9.1-37(44)　植生調査票

No.	44
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽
土　湿	乾～適

海　抜	26	
方　位	N64° W	
傾　斜	18	°
面　積	15× 15	m
出現種数	24	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	9～18	70	35	2	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	3～9	30	10	2	
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	0.6～3	80		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.6	10		16	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	コナラ	Ⅳ①	1·2	オクマワラビ			
Ⅰ	1·2	ヤマザクラ	Ⅳ①	+	ヤマウグイスカグラ			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅱ	2·2	ホオノキ	Ⅳ①	+	オオバノトンボソウ			
Ⅱ	1·2	エゴノキ	Ⅳ①	+	タブノキ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ	Ⅳ①	+	コブシ			
Ⅲ①	+·2	ヒノキ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	イヌガヤ			
Ⅲ①	+·2	イヌガヤ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	+	ヒイラギ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	+	ヤマボウシ	Ⅳ①	+	ガマズミ			

表 2.9.1-37(45)　植生調査票

No.	45	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	35
土　壌	アンド	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	メヒシバ	0～0.5	100		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·5	メヒシバ						
Ⅳ①	1·2	コセンダングサ						
Ⅳ①	1·2	キンエノコロ						
Ⅳ①	1·1	オニノゲシ						
Ⅳ①	+	コナスビ						
Ⅳ①	+	カラスウリ						
Ⅳ①	+	イヌタデ						

表 2.9.1-37(46)　植生調査票

No.	46
地　形	平地
土　壌	グライ

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽
土　湿	過湿

海　抜	22	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	10× 10	m
出現種数	13	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	アカメヤナギ	5～8	65	20	1	調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	クズ	1.5～5	75		5	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.5	55		11	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカメヤナギ群落

調査日　2016/8/15

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	アカメヤナギ	Ⅳ①	3·3	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	2·2	クズ			
			Ⅳ①	2·2	ヤブガラシ			
			Ⅳ①	1·2	ヤマグワ			
			Ⅳ①	1·2	ヤマノイモ			
Ⅲ①	3·4	クズ	Ⅳ①	+·2	ミドリヒメワラビ			
Ⅲ①	2·2	アカメヤナギ	Ⅳ①	+·2	アオミズ			
Ⅲ①	2·2	ヤブガラシ	Ⅳ①	+	ノイバラ			
Ⅲ①	1·2	エノキ	Ⅳ①	+	セイバンモロコシ			
Ⅲ①	1·2	カラスウリ	Ⅳ①	+	ヒメジョオン			
			Ⅳ①	+	エノキ			

表 2.9.1-37(47)　植生調査票

No.	47	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	尾根	風　当	強～中	海　抜	22
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	- °
				面　積	5× 5 m
				出現種数	2

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0～2	100		2	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヨシ群落

調査日　2016/8/15

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ①	+	ヒメガマ						

表 2.9.1-37(48)　植生調査票

No.	48	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	18
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	9

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	チカラシバ	0～0.6	100		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	チカラシバ						
Ⅳ①	1·1	ムラサキツメクサ						
Ⅳ①	+·2	イヌタデ						
Ⅳ①	+·2	カゼクサ						
Ⅳ①	+	キンエノコロ						
Ⅳ①	+	アマチャヅル						
Ⅳ①	+	オッタチカタバミ						
Ⅳ①	+	メヒシバ						
Ⅳ①	+	ネズミノオ						

表 2.9.1-37(49)　植生調査票

No.	49	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	39
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	クズ	0～0.8	85		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				クズ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	クズ						
Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+·2	ススキ						
Ⅳ①	+	アズマネザサ						
Ⅳ①	+	ガガイモ						

表 2.9.1-37(50)　植生調査票

No.	50	調査地	千葉県成田市大室		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	39
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.8	95		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	2·3	ススキ						
Ⅳ①	1·1	ヨモギ						
Ⅳ①	1·1	ヤイトバナ						
Ⅳ①	+	ヤマグワ						

表 2.9.1-37(51)　植生調査票

No.	51
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市大室
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	40	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	15× 15	m
出現種数	17	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ヒノキ	6～10	95	30	1	調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1～4	15		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1	70		14	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒノキ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	ヒノキ	Ⅳ①	3·3	アズマネザサ			
			Ⅳ①	2·3	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	2·2	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	1·2	ミズヒキ			
			Ⅳ①	1·2	コチヂミザサ			
Ⅲ①	2·2	ウツギ	Ⅳ①	1·2	カラスウリ			
Ⅲ①	+	コナラ	Ⅳ①	+·2	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ワルナスビ			
			Ⅳ①	+	ニワトコ			
			Ⅳ①	+	チリメンジソ			
			Ⅳ①	+	チガヤ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	コセンダングサ			

表 2.9.1-37(52)　植生調査票

No.	52
地　形	谷
土　壌	沖積

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	強
日　当	陽
土　湿	過湿

海　抜	26	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	5× 5	m
出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アカメヤナギ	0.8～5	70		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	スゲ属の一種	0～0.8	80		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカメヤナギ群落

調査日　2016/10/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	3·3	アカメヤナギ	Ⅳ①	5·5	スゲ属の一種			
Ⅲ①	3·3	カワヤナギ	Ⅳ①	1·1	ミゾソバ			
			Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ			
			Ⅳ①	+	サヤヌカグサ			
			Ⅳ①	+	ヨシ			
			Ⅳ①	+	ガマ			
			Ⅳ①	+	アオミズ			

表 2.9.1-37(53)　植生調査票

No.	53
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	28	
方　位	N10° E	
傾　斜	7	°
面　積	15× 15	m
出現種数	30	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	7～16	75	20	1	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	-	3.5～7	10	10	2	
Ⅲ① 低木層①	-	0.6～3.5	30		10	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～0.6	70		23	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	コナラ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	カシワバハグマ			
			Ⅳ①	+·2	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+·2	イヌガヤ			
			Ⅳ①	+·2	タブノキ			
Ⅱ	1·2	ヤマボウシ	Ⅳ①	+	コバノガマズミ			
Ⅱ	+	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	1·1	コバノガマズミ	Ⅳ①	+	ヤマコウバシ			
Ⅲ①	1·1	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	ハリギリ			
Ⅲ①	1·1	ツリバナ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
Ⅲ①	+	ヤマウグイスカグラ	Ⅳ①	+	クマヤナギ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	+	ヤマボウシ	Ⅳ①	+	オオバノトンボソウ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+	ヤマユリ	Ⅳ①	+	ゴンズイ			
Ⅲ①	+	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+	ヒイラギ	Ⅳ①	+	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	+	カキノキ			
			Ⅳ①	+	サンショウ			
			Ⅳ①	+	ケヤキ			

表 2.9.1-37(54)　植生調査票

No.	54	調査地	千葉県成田市小泉		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	40
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ススキ	0～2	95		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ススキ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ススキ						
Ⅳ①	3·3	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	ヨモギ						
Ⅳ①	+	ヒメムカシヨモギ						
Ⅳ①	+	ヒメジョオン						
Ⅳ①	+	クズ						
Ⅳ①	+	ヤイトバナ						

表 2.9.1-37(55)　植生調査票

No.	55
地　形	平地
土　壌	グライ

調査地	千葉県成田市小泉
風　当	中
日　当	陽
土　湿	湿

海　抜	20	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	3× 3	m
出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ガマ	1～3	70		4	(群落名)
Ⅳ②　草本層②	ミゾソバ	0～1	45		5	ガマ群落

調査日　2016/8/29

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ガマ						
Ⅳ①	+·2	オギ						
Ⅳ①	+·2	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+	ケイヌビエ						
Ⅳ②	3·3	ミゾソバ						
Ⅳ②	1·2	アメリカセンダングサ						
Ⅳ②	+·2	スギナ						
Ⅳ②	+	アシボソ						
Ⅳ②	+	セリ						

表 2.9.1-37(56)　植生調査票

No.	56	調査地	千葉県成田市十余三		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	30
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	クズ	0～1	100		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				クズ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	クズ						
Ⅳ①	2·2	カナムグラ						
Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	アズマネザサ						

表 2.9.1-37(57)　植生調査票

No.	57	調査地	千葉県成田市十余三		
地　形	谷	風　当	強～中	海　抜	18
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	- °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	4

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カサスゲ	0～1.2	100		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				カサスゲ群落

調査日　2016/8/15

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	カサスゲ						
Ⅳ①	+	ヒメガマ						
Ⅳ①	+	アキノウナギツカミ						
Ⅳ①	+	ヨシ						

表 2.9.1-37(58)　植生調査票

No.	58	調査地	千葉県成田市十余三			
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	26	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	11	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ヨシ	0～2	100		11	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				ヨシ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ヨシ						
Ⅳ①	2·2	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	2·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	サワヒヨドリ						
Ⅳ①	1·1	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·1	セリ						
Ⅳ①	1·1	ヒメシダ						
Ⅳ①	+	クワクサ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	クズ						
Ⅳ①	+	コブナグサ						

表 2.9.1-37(59)　植生調査票

No.	59	調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田		
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	39
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	N50° E
		土　湿	適	傾　斜	5 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	6

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域B
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カナムグラ	0～1	100		6	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				カナムグラ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	カナムグラ						
Ⅳ①	2·2	クズ						
Ⅳ①	1·1	ノイバラ						
Ⅳ①	+	アズマネザサ						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	キヅタ						

表 2.9.1-37(60)　植生調査票

No.	60
地　形	斜面下
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市吉岡
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	32	
方　位	S75° W	
傾　斜	20	°
面　積	20× 20	m
出現種数	19	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	クヌギ	10～17	80	20	4	調査区域B
Ⅱ　亜高木層	マダケ	6～10	20	8	4	
Ⅲ① 低木層①	-	2～6	20		9	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～2	100		10	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/8/16

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	クヌギ	Ⅳ①	5·5	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	コナラ	Ⅳ①	+·2	ヒメコウゾ			
Ⅰ	1·2	ツタ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	サルトリイバラ			
Ⅱ	2·2	マダケ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅱ	1·2	ツタ	Ⅳ①	+	サンショウ			
Ⅱ	+	エノキ	Ⅳ①	+	ガマズミ			
Ⅱ	+	フジ	Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
Ⅲ①	2·2	マダケ						
Ⅲ①	1·2	エノキ						
Ⅲ①	1·2	ヒメコウゾ						
Ⅲ①	+	ムクノキ						
Ⅲ①	+	ヤマノイモ						
Ⅲ①	+	アカメガシワ						
Ⅲ①	+	オニドコロ						
Ⅲ①	+	ツタ						
Ⅲ①	+	カラスウリ						

表 2.9.1-37(61)　植生調査票

No.	61	調査地	千葉県成田市天神峰		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	39
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	6

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	チカラシバ	0～0.3	90		6	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	チカラシバ						
Ⅳ①	2·3	スズメノヒエ						
Ⅳ①	1·2	イネ科の一種						
Ⅳ①	+·2	アキメヒシバ						
Ⅳ①	+	ムラサキツメクサ						
Ⅳ①	+	カゼクサ						

表 2.9.1-37(62)　植生調査票

No.	62
地　形	斜面下
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	37	
方　位	N30° W	
傾　斜	5	°
面　積	15× 15	m
出現種数	30	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	8～15	70	35	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	シラカシ	4～8	40	7	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1～4	20		13	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	コチヂミザサ	0～1	65		21	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	シラカシ	Ⅳ①	3·3	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	3·2	シラカシ			
			Ⅳ①	2·2	ヒノキ			
			Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	1·1	サンショウ			
Ⅱ	3·3	シラカシ	Ⅳ①	1·1	ムクノキ			
Ⅱ	1·1	ケヤキ	Ⅳ①	+	ガマズミ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	コブシ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	イヌツゲ			
Ⅲ①	1·1	トウネズミモチ	Ⅳ①	+	ノブドウ			
Ⅲ①	1·1	アオキ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+	ツタ			
Ⅲ①	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	ヒイラギ			
Ⅲ①	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	+	ケヤキ	Ⅳ①	+	ナガバハエドクソウ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	キーウィフルーツ			
Ⅲ①	+	コブシ	Ⅳ①	+	ハリギリ			
Ⅲ①	+	スギ						
Ⅲ①	+	ヤマグワ						

表 2.9.1-37(63)　植生調査票

No.	63
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	40	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	15× 15	m
出現種数	44	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	14～18	80	30	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	2～14	10	15	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1～2	30		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1	80		40	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/18

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	コナラ	Ⅳ①	2·3	アズマネザサ			
Ⅰ	3·2	クヌギ	Ⅳ①	1·2	ススキ			
			Ⅳ①	1·2	モミジイチゴ			
			Ⅳ①	1·2	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	1·2	シラヤマギク			
Ⅱ	1·1	コナラ	Ⅳ①	1·2	コチヂミザサ			
Ⅱ	1·1	クマノミズキ	Ⅳ①	+·2	ゴヨウアケビ			
Ⅱ	+	シラカシ	Ⅳ①	+·2	アマドコロ			
			Ⅳ①	+·2	サワフタギ			
			Ⅳ①	+·2	ナルコユリ			
Ⅲ①	2·3	ヤマグワ	Ⅳ①	+·2	フタリシズカ			
Ⅲ①	2·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+·2	ヤイトバナ			
Ⅲ①	+·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ハンショウヅル			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	シロヨメナ			
			Ⅳ①	+	ヒトリシズカ			
			Ⅳ①	+	サルトリイバラ			
			Ⅳ①	+	オカトラノオ			
			Ⅳ①	+	ナワシロイチゴ			
			Ⅳ①	+	サンショウ			
			Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	+	ヤマウコギ			
			Ⅳ①	+	ノイバラ			
			Ⅳ①	+	ノハラアザミ			
			Ⅳ①	+	ヤマユリ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	コナラ			
			Ⅳ①	+	ヒメコウゾ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	ササガヤ			
			Ⅳ①	+	センニンソウ			
			Ⅳ①	+	ヒヨドリバナ			
			Ⅳ①	+	チゴユリ			
			Ⅳ①	+	アキカラマツ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ハエドクソウ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
			Ⅳ①	+	フユノハナワラビ			

表 2.9.1-37(64)　植生調査票

No.	64	調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	31	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	過湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	6	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　ガマ		0～1.7	100		6	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				ガマ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ガマ						
Ⅳ①	2·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	2·2	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						
Ⅳ①	+	ケイヌビエ						
Ⅳ①		スギナ						

表 2.9.1-37(65)　植生調査票

No.	65	調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	26	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	過湿	傾　斜	0	°
				面　積	5× 5	m
				出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0～2.3	100		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヨシ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ①	2·3	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	ガマ						
Ⅳ①	1·1	チゴザサ						
Ⅳ①	1·1	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	1·1	セリ						
Ⅳ①	+	イヌビエ						
Ⅳ①	+	ヒメシロネ						

表 2.9.1-37(66)　植生調査票

No.	66	調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	28
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カサスゲ	0～1	100		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				カサスゲ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	カサスゲ						
Ⅳ①	2·2	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·1	フジ						
Ⅳ①	1·1	ノブドウ						
Ⅳ①	+	ヤイトバナ						

表 2.9.1-37(67)　植生調査票

No.	67
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県成田市大栄十余三
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	41	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	20× 20	m
出現種数	20	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	13～20	80	40	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～13	30	10	2	
Ⅲ① 低木層①	ヒサカキ	1～6	80		9	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	10		11	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	スギ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	サワラ	Ⅳ①	1·1	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	ツタ			
Ⅱ	2·2	ムクノキ	Ⅳ①	+	ヒサカキ			
Ⅱ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
			Ⅳ①	+	ハリガネワラビ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
			Ⅳ①	+	ヤツデ			
Ⅲ①	4·4	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ナンテン			
Ⅲ①	3·3	アズマネザサ						
Ⅲ①	1·1	ニッケイ						
Ⅲ①	1·1	アオキ						
Ⅲ①	1·1	ムクノキ						
Ⅲ①	+	ツタ						
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ						
Ⅲ①	+	ヒノキ						
Ⅲ①	+	コブシ						

表 2.9.1-37(68)　植生調査票

No.	68	調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	26
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	9

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	クログワイ	0～0.7	85		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				水田雑草群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	クログワイ						
Ⅳ①	2·2	スゲ属の一種						
Ⅳ①	1·1	オモダカ						
Ⅳ①	1·1	ヤナギタデ						
Ⅳ①	+	セリ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	シロツメクサ						
Ⅳ①	+	ツボクサ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						

表 2.9.1-37(69)　植生調査票

No.	69
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	35	
方　位	S20° E	
傾　斜	5	°
面　積	15× 15	m
出現種数	14	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	10～18	100	25	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～10	10	6	1	
Ⅲ①　低木層①	-	1～6	15		3	
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	-	0～1	15		10	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	1·1	スダジイ			
Ⅰ	2·2	スギ	Ⅳ①	1·1	ナンテン			
			Ⅳ①	1·1	ヤツデ			
			Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	1·1	ベニシダ			
Ⅱ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	+	マンリョウ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅲ①	1·1	シラカシ						
Ⅲ①	1·1	ネズミモチ						
Ⅲ①	+	テイカカズラ						

表 2.9.1-37(70)　植生調査票

No.	70	調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田		
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	38
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	S60° E
		土　湿	適	傾　斜	5 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	3

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	クズ	0～0.8	100		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				クズ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	クズ						
Ⅳ①	2·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	ヨモギ						

表 2.9.1-37(71)　植生調査票

No.	71
地　形	斜面下
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田
風　当	弱
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	36	
方　位	N	
傾　斜	3	°
面　積	15× 15	m
出現種数	26	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	1.5～12	95	13	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	0.5～1.5	3		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	30		23	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	2·2	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	クロガネモチ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+	スギ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ヤツデ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+	マンリョウ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
			Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ケチヂミザサ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	マユミ			
			Ⅳ①	+	スイカズラ			
			Ⅳ①	+	イヌツゲ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			

表 2.9.1-37(72)　植生調査票

No.	72
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	42	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	16	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	23～25	85	65	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	ムクノキ	8～12	60	20	1	
Ⅲ① 低木層①	アオキ	2～5	60		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.5	20		12	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅰ	1·1	キヅタ	Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅱ	4·4	ムクノキ	Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅲ①	3·3	アオキ	Ⅳ①	+	モッコク			
Ⅲ①	1·1	シロダモ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	1·1	ネズミモチ						
Ⅲ①	1·1	アズマネザサ						
Ⅲ①	+	モッコク						
Ⅲ①	+	スダジイ						

表 2.9.1-37(73)　植生調査票

No.	73
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町一鍬田
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	43	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	20× 20	m
出現種数	26	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	13～19	80	40	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	シラカシ	7～13	30	15	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1～7	30		9	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	キヅタ	0～0.5	70		17	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	シラカシ	Ⅳ①	3·3	キヅタ			
Ⅰ	3·2	ケヤキ	Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	ホオノキ	Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
Ⅰ	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	シラカシ			
Ⅱ	3·3	シラカシ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅱ	+·2	ノキシノブ	Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	クロヤツシロラン			
			Ⅳ①	+	マヤラン			
Ⅲ①	2·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	シュンラン			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			
Ⅲ①	+·2	シラカシ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	オオハナワラビ			
Ⅲ①	+	ナンテン	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	+	コブシ	Ⅳ①	+	サンショウ			
Ⅲ①	+	ネズミモチ						
Ⅲ①	+	シュロ						

表 2.9.1-37(74)　植生調査票

No.	74	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	23
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	4× 2 m
				出現種数	4

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～3	100		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅳ①	+	ガガイモ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						
Ⅳ①	+	ヤイトバナ						

表 2.9.1-37(75)　植生調査票

No.	75	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	26
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	4

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミゾソバ	0～0.6	100		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				水田雑草群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·1	コブナグサ						
Ⅳ①	+	サヤヌカグサ						
Ⅳ①	+	ツユクサ						

表 2.9.1-37(76)　植生調査票

No.	76	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	24
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N12° W
		土　湿	適	傾　斜	15 °
				面　積	20× 20 m
				出現種数	39

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	10～22	90	25	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～10	10	15	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1～6	60		16	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	25		31	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	シラカシ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	+·2	ノキシノブ	Ⅳ①	1·2	ミゾシダ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+·2	シラカシ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	スギ			
Ⅱ	+·2	ノキシノブ	Ⅳ①	+·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ヒロハイヌワラビ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅲ①	2·3	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	ササバギンラン			
Ⅲ①	2·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	ゼンマイ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ハシゴシダ			
Ⅲ①	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	+	サンショウ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	ツタウルシ	Ⅳ①	+	ハリギリ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ツタ			
Ⅲ①	+	ツリバナ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	+	サワフタギ	Ⅳ①	+	ヤツデ			
Ⅲ①	+	ナンテン	Ⅳ①	+	キッコウハグマ			
Ⅲ①	+	ハナイカダ	Ⅳ①	+	サンショウ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+	コブシ	Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	ヤマウコギ			
			Ⅳ①	+	コブシ			
			Ⅳ①	+	フタリシズカ			
			Ⅳ①	+	ヤマユリ			

表 2.9.1-37(77)　植生調査票

No.	77
地　形	谷
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	中
日　当	陽～中陰
土　湿	適

海　抜	24	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	5× 5	m
出現種数	19	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	ヤマグワ	1.5～5	40		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カラスウリ	0～1.5	80		18	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヤマグワ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	3·3	ヤマグワ	Ⅳ①	4·4	カラスウリ			
Ⅲ①	1·1	アズマネザサ	Ⅳ①	2·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	1·1	ヒメワラビ			
			Ⅳ①	1·1	ヘビイチゴ			
			Ⅳ①	1·1	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·1	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブソテツ			
			Ⅳ①	+	ヤブマメ			
			Ⅳ①	+	イワガネゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ミゾソバ			
			Ⅳ①	+	クズ			
			Ⅳ①	+	ホソバシケシダ			
			Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	+	アキノノゲシ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	イヌワラビ			
			Ⅳ①	+	ヒメジョオン			

表 2.9.1-37(78)　植生調査票

No.	78	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	17
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	- °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	14

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	イボクサ	0～0.3	90		14	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	イボクサ						
Ⅳ①	2·2	コナギ						
Ⅳ①	1·2	キクモ						
Ⅳ①	1·2	イヌホタルイ						
Ⅳ①	1·2	ヘラオモダカ						
Ⅳ①	1·2	オモダカ						
Ⅳ①	1·2	イ						
Ⅳ①	+·2	セリ						
Ⅳ①	+·2	マツバイ						
Ⅳ①	+	アメリカタカサブロウ						
Ⅳ①	+	キツネノボタン						
Ⅳ①	+	イネ						
Ⅳ①	+	コケオトギリ						
Ⅳ①	+	ヒナガヤツリ						

表 2.9.1-37(79)　植生調査票

No.	79
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	41	
方　位	N45° W	
傾　斜	20	°
面　積	20× 20	m
出現種数	25	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	8～19	60		2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～8	5		2	
Ⅲ① 低木層①	-	2～5	50		11	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～2	35		12	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	2·2	アズマネザサ			
Ⅰ	+	キヅタ	Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	1·1	スギ	Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
Ⅱ	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	チャノキ			
			Ⅳ①	+	セイタカシケシダ			
			Ⅳ①	+	ツタ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅲ①	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ゼンマイ			
Ⅲ①	2·2	サンショウ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·1	コブシ						
Ⅲ①	1·1	シロダモ						
Ⅲ①	1·1	ケヤキ						
Ⅲ①	1·1	ムクノキ						
Ⅲ①	1·1	イヌザクラ						
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ						
Ⅲ①	+	ヤマコウバシ						
Ⅲ①	+	ナワシログミ						
Ⅲ①	+	ヤツデ						

表 2.9.1-37(80)　植生調査票

No.	80
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	中
日　当	陽
土　湿	乾

海　抜	43	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	5× 5	m
出現種数	6	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	1～4	100		1	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	1		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/10/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅳ①	+	ヤイトバナ						
Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ						
Ⅳ①	+	アカネ						
Ⅳ①	+	ミズヒキ						
Ⅳ①	+	ドクダミ						

表 2.9.1-37(81)　植生調査票

No.	81
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町香山新田
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	42	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	10～14	95	35	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	3～10	10	15	1	
Ⅲ① 低木層①	-	1～2	3		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	5		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅰ	1·2	エノキ	Ⅳ①	+·2	シュロ			
Ⅰ	+·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	シラカシ			
Ⅰ	+·2	スギ	Ⅳ①	+	ツルグミ			
			Ⅳ①	+	イヌツゲ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク						
Ⅲ①	1·1	モウソウチク						
Ⅲ①	+·2	アオキ						

表 2.9.1-37(82)　植生調査票

No.	82	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	谷	風　当	強	海　抜	17
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アシカキ	0～0.5	90		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	アシカキ						
Ⅳ①	2·2	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·2	カンガレイ						
Ⅳ①	1·2	コガマ						
Ⅳ①	+·2	セリ						
Ⅳ①	+	タウコギ						
Ⅳ①	+	ヌメリグサ						

表 2.9.1-37(83)　植生調査票

No.	83	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	38	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N50°E	
		土　湿	適	傾　斜	20	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	27	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	14～20	80	40	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～14	10	12	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1～5	30		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1	60		23	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
Ⅰ	1·2	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
			Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅱ	1·1	スギ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅱ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅱ	+	キヅタ	Ⅳ①	+	アスカイノデ			
			Ⅳ①	+	オクマワラビ			
			Ⅳ①	+	リョウメンシダ			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅲ①	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	フモトシダ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	アマチャヅル			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+	ニワトコ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	+	ツタ			
			Ⅳ①	+	イヌワラビ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ナンテン			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			

表 2.9.1-37(84)　植生調査票

No.	84
地　形	平地
土　壌	グライ

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	湿

海　抜	17	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	3× 3	m
出現種数	7	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　オギ		1～2.5	100		1	(群落名)
Ⅳ②　草本層②　-		0～1	25		6	オギ群落

調査日　2016/8/23

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ②	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	1·2	ヨモギ						
Ⅳ②	1·1	ヒナタイノコズチ						
Ⅳ②	+·2	ツユクサ						
Ⅳ②	+·2	ヤイトバナ						
Ⅳ②	+·2	スギナ						

表 2.9.1-37(85)　植生調査票

No.	85	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	斜面下	風　当	弱	海　抜	30	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N6° E	
		土　湿	適	傾　斜	8	°
				面　積	15× 15	m
				出現種数	11	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	5～12	90	20	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1～5	5		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.2	5		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	クロヤツシロラン			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	コチヂミザサ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			

表 2.9.1-37(86)　植生調査票

No.	86	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	41	
土　壌	アンド	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	1× 1	m
				出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	メヒシバ	0～0.8	100		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	メヒシバ						
Ⅳ①	2·2	イヌホオズキ						
Ⅳ①	2·2	イヌタデ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	ヒメジョオン						
Ⅳ①	+	コモチマンネングサ						
Ⅳ①	+	ブタナ						
Ⅳ①	+	ザクロソウ						
Ⅳ①	+	イヌビエ						

表 2.9.1-37(87)　植生調査票

No.	87	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田				
地　形	平地	風　当	強	海　抜	16		
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	湿	傾　斜	-	°	
				面　積	2× 2	m	
				出現種数	13		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミズニラ	0～0.2	70		13	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/8/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	2·3	ミズニラ						
Ⅳ①	2·2	ヒナガヤツリ						
Ⅳ①	2·2	ヒデリコ						
Ⅳ①	2·2	イヌビエ						
Ⅳ①	+·2	フタバムグラ						
Ⅳ①	+·2	ミズワラビ						
Ⅳ①	+	イヌスギナ						
Ⅳ①	+	ヘラオオバコ						
Ⅳ①	+	チョウジタデ						
Ⅳ①	+	イヌタデ						
Ⅳ①	+	アゼナ						
Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+	タネツケバナ						

表 2.9.1-37(88)　植生調査票

No.	88	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田				
地　形	谷	風　当	中	海　抜	23		
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	湿	傾　斜	0	°	
				面　積	2× 2	m	
				出現種数	12		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0.5～2.5	90		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.5	50		10	ヨシ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ①	+·2	ヤマグワ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	2·2	コブナグサ						
Ⅳ②	2·2	ヒメジソ						
Ⅳ②	1·2	ミゾソバ						
Ⅳ②	+·2	タウコギ						
Ⅳ②	+·2	ヌカキビ						
Ⅳ②	+·2	イヌタデ						
Ⅳ②	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	+	ヤイトバナ						
Ⅳ②	+	ヒナタイノコズチ						
Ⅳ②	+	オオチドメ						

表 2.9.1-37(89)　植生調査票

No.	89	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	20	
土　壌	沖積	日　当	陽～中陰	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	-	°
				面　積	5× 5	m
				出現種数	4	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	クズ	0～2	100		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				クズ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	クズ						
Ⅳ①	4·4	アズマネザサ						
Ⅳ①	2·2	カナムグラ						
Ⅳ①	+·2	ヒナタイノコズチ						

表 2.9.1-37(90)　植生調査票

No.	90	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田				
地　形	尾根	風　当	中	海　抜	32		
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	S76° W		
		土　湿	適	傾　斜	4	°	
				面　積	15× 15	m	
				出現種数	14		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	1.7～15	80	12	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	0.2～1.7	5		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.2	5		11	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ケヤキ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	1·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅲ①	+	ヤマウグイスカグラ	Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	コナラ			
			Ⅳ①	+	ツタ			
			Ⅳ①	+	センニンソウ			

表 2.9.1-37(91)　植生調査票

No.	91	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	42	
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	S75° W	
		土　湿	適	傾　斜	15	°
				面　積	15× 15	m
				出現種数	16	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	9～14	60	25	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～9	40	9	3	
Ⅲ① 低木層①	ヒサカキ	2～5	50		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～2	90		8	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	コナラ	Ⅳ①	5·5	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	スギ	Ⅳ①	1·1	アオキ			
Ⅰ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	モミ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	2·2	コナラ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅱ	1·1	カキノキ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅱ	1·1	ゴンズイ	Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
Ⅲ①	3·3	ヒサカキ						
Ⅲ①	1·1	ヤマウグイスカグラ						
Ⅲ①	1·1	イヌツゲ						
Ⅲ①	1·1	マダケ						

表 2.9.1-37(92)　植生調査票

No.	92	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	34
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N40° W
		土　湿	適	傾　斜	5 °
				面　積	20× 25 m
				出現種数	47

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	18～25	90	30	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～18	15	10	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1.2～5	40		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヤブミョウガ	0～1.2	100		40	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	3·3	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	3·3	ミゾシダ			
			Ⅳ①	2·3	リョウメンシダ			
			Ⅳ①	2·3	テイカカズラ			
			Ⅳ①	2·2	ベニシダ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	2·2	アマチャヅル			
Ⅱ	1·1	ツタウルシ	Ⅳ①	2·2	ドクダミ			
Ⅱ	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	2·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	1·2	クマワラビ			
			Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	2·3	アオキ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅲ①	1·2	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	イワガネソウ			
Ⅲ①	1·1	ハナイカダ	Ⅳ①	1·1	シラカシ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	1·1	タブノキ			
Ⅲ①	1·1	ネムノキ	Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	1·1	イノデ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ	Ⅳ①	1·1	ハナイカダ			
			Ⅳ①	1·1	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	1·1	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	1·1	ヤマグワ			
			Ⅳ①	1·1	シロダモ			
			Ⅳ①	1·1	ヤブラン			
			Ⅳ①	1·1	トウゴクシダ			
			Ⅳ①	1·1	ゼンマイ			
			Ⅳ①	1·1	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	1·1	ヤマウコギ			
			Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	+·2	サネカズラ			
			Ⅳ①	+·2	フジ			
			Ⅳ①	+	ヤマホトトギス			
			Ⅳ①	+	フモトシダ			
			Ⅳ①	+	コクラン			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	マンリョウ			
			Ⅳ①	+	イヌツゲ			
			Ⅳ①	+	シオデ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	ケヤキ			
			Ⅳ①	+	クサギ			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			

表 2.9.1-37(93)　植生調査票

No.	93	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	22	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	10× 20	m
				出現種数	33	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ヤマグワ	3～9	80	25	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヒカゲイノコズチ	0～1.5	50		31	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヤマグワ群落

調査日　2016/11/16

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	ヤマグワ	Ⅳ①	3·3	ヒカゲイノコズチ			
Ⅰ	1·1	エノキ	Ⅳ①	2·3	ヤブヘビイチゴ			
Ⅰ	+	ミツバアケビ	Ⅳ①	1·2	ケチヂミザサ			
			Ⅳ①	1·2	ヤブラン			
			Ⅳ①	1·2	キヅタ			
			Ⅳ①	1·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブマメ			
			Ⅳ①	+·2	スギナ			
			Ⅳ①	+·2	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+·2	アオミズ			
			Ⅳ①	+·2	カキドオシ			
			Ⅳ①	+·2	セントウソウ			
			Ⅳ①	+·2	ニワトコ			
			Ⅳ①	+·2	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+·2	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	サンショウ			
			Ⅳ①	+·2	シラカシ			
			Ⅳ①	+	ウシハコベ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	オカウコギ			
			Ⅳ①	+	ハルジオン			
			Ⅳ①	+	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ミツバ			
			Ⅳ①	+	クリ			
			Ⅳ①	+	アケビ			
			Ⅳ①	+	ウマノミツバ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	イヌガヤ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			

表 2.9.1-37(94)　植生調査票

No.	94	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田				
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	33		
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N50° E		
		土　湿	適	傾　斜	25	°	
				面　積	20× 20	m	
				出現種数	15		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スダジイ	12～20	60	40	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～12	30	20	3	
Ⅲ① 低木層①	-	2～4	20		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～2	80		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	シラカシ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	コナラ	Ⅳ①	2·2	サネカズラ			
			Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	+	タブノキ			
Ⅱ	2·2	コナラ	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅱ	+	サネカズラ	Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	1·1	サネカズラ						
Ⅲ①	1·1	ヒノキ						
Ⅲ①	1·1	シラカシ						
Ⅲ①	1·1	ムラサキシキブ						
Ⅲ①	1·1	カキノキ						
Ⅲ①	+	スダジイ						

表 2.9.1-37(95)　植生調査票

No.	95	調査地	千葉県香取郡多古町間倉				
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	31		
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N20° E		
		土　湿	適	傾　斜	20	°	
				面　積	20× 20	m	
				出現種数	25		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	15～18	70	40	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	8～15	20	15	2	
Ⅲ① 低木層①	シラカシ	2～8	60		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0.8～2	30		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.8	20		17	スギ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	2·2	アズマネザサ			
Ⅰ	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	ムラサキシキブ			
			Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅱ	1·1	テイカカズラ	Ⅳ②	1·1	テイカカズラ			
Ⅱ	1·1	ムクノキ	Ⅳ②	1·1	オオベニシダ			
			Ⅳ②	1·1	リョウメンシダ			
			Ⅳ②	+·2	ジャノヒゲ			
			Ⅳ②	+·2	シラカシ			
Ⅲ①	4·4	シラカシ	Ⅳ②	+·2	ミズヒキ			
Ⅲ①	1·1	シロダモ	Ⅳ②	+	アオキ			
Ⅲ①	+·2	ヤマグワ	Ⅳ②	+	ムラサキシキブ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ②	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+	カラスウリ	Ⅳ②	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	ヤマノイモ	Ⅳ②	+	ヤマノイモ			
Ⅲ①	+	ネズミモチ	Ⅳ②	+	ハナイカダ			
			Ⅳ②	+	ムクノキ			
			Ⅳ②	+	スダジイ			
			Ⅳ②	+	クサギ			
			Ⅳ②	+	サンショウ			
			Ⅳ②	+	ドクダミ			

表 2.9.1-37(96)　植生調査票

No.	96	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	30
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	N
		土　湿	適	傾　斜	5 °
				面　積	15× 15 m
				出現種数	44

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	12～22	85	45	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～12	5	12	4	
Ⅲ① 低木層①	-	1～3	15		10	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	リョウメンシダ	0～0.7	80		35	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	4·4	リョウメンシダ			
			Ⅳ①	1·2	イノデ			
			Ⅳ①	1·2	ケチヂミザサ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブガラシ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブミョウガ			
Ⅱ	1·2	コブシ	Ⅳ①	+·2	ドクダミ			
Ⅱ	1·2	ツタウルシ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅱ	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅱ	+	キヅタ	Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
Ⅲ①	1·2	コブシ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	1·2	ハナイカダ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅲ①	1·1	アオキ	Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+	ニワトコ			
Ⅲ①	1·1	シロダモ	Ⅳ①	+	アズマネザサ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	1·1	ツリバナ	Ⅳ①	+	クサギ			
Ⅲ①	1·1	ナンテン	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	サネカズラ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	フタリシズカ			
			Ⅳ①	+	ホソバシケシダ			
			Ⅳ①	+	ミツバ			
			Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			
			Ⅳ①	+	ウマノミツバ			
			Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
			Ⅳ①	+	コナスビ			
			Ⅳ①	+	ヤブマメ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	オカウコギ			

表 2.9.1-37(97)　植生調査票

No.	97	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	42	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	W	
		土　湿	適	傾　斜	20	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	31	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	9～17	80	30	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～9	20	18	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1～5	50		12	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	キヅタ	0～1	70		23	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	コナラ	Ⅳ①	3·3	キヅタ			
Ⅰ	+·2	キヅタ	Ⅳ①	1·2	ミツバアケビ			
Ⅰ	+·2	ツタ	Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	マンリョウ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	2·2	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	テイカカズラ			
Ⅱ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ツリバナ			
Ⅱ	+	キヅタ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	ノイバラ			
			Ⅳ①	+	コマユミ			
Ⅲ①	2·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ガマズミ			
Ⅲ①	1·2	ヤマボウシ	Ⅳ①	+	サンショウ			
Ⅲ①	1·2	シロダモ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	1·2	カマツカ	Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	1·1	イヌツゲ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+·2	モチノキ	Ⅳ①	+	ハリギリ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	コブシ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	+	ツタ	Ⅳ①	+	ヤマコウバシ			
Ⅲ①	+	ガマズミ	Ⅳ①	+	スイカズラ			
Ⅲ①	+	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	コチヂミザサ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	イボタノキ			
			Ⅳ①	+	タチツボスミレ			

表 2.9.1-37(98)　植生調査票

No.	98	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	尾根	風　当	強	海　抜	44	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	-	°
				面　積	15× 15	m
				出現種数	13	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マダケ	7～12	90	8	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1～2	20		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	10		10	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	マダケ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	スギ	Ⅳ①	+·2	アオキ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ミョウガ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅲ①	+	ナンテン	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+	マダケ	Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+	チャノキ			
			Ⅳ①	+	ネズミモチ			

表 2.9.1-37(99)　植生調査票

No.	99
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	中
日　当	陽～中陰
土　湿	適～湿

海　抜	31	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	22	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	11～18	80	45	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～11	20	11	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1.5～4	40		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヤブミョウガ	0～1.5	60		18	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	3·3	ヤブミョウガ			
Ⅰ	+·2	ツタウルシ	Ⅳ①	2·2	アマチャヅル			
			Ⅳ①	1·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	1·2	ドクダミ			
			Ⅳ①	+·2	オクマワラビ			
Ⅱ	2·3	マダケ	Ⅳ①	+·2	キヅタ			
Ⅱ	1·2	フジ	Ⅳ①	+·2	フジ			
			Ⅳ①	+·2	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			
Ⅲ①	2·2	マダケ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	2·2	フジ	Ⅳ①	+	アスカイノデ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	リョウメンシダ			
Ⅲ①	+	ナンテン	Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ホドイモ			
			Ⅳ①	+	ヒナタイノコズチ			
			Ⅳ①	+	ハナイカダ			
			Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			

表 2.9.1-37(100)　植生調査票

№.	100	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	14
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	5× 5 m
				出現種数	4

(階層)		(優占種)	(高さｍ)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ	高木層		～				調査区域C
Ⅱ	亜高木層		～				
Ⅲ①	低木層①		～				
Ⅲ②	低木層②		～				
Ⅳ①	草本層①	オギ	1～3	95		2	(群落名)
Ⅳ②	草本層②	-	0～1	1		2	オギ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	+	イヌスギナ						
Ⅳ②	+	ツユクサ						

表 2.9.1-37(101)　植生調査票

No.	101
地　形	斜面上
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	25	
方　位	N60° W	
傾　斜	25	°
面　積	5× 5	m
出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	1～5	100		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	15		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅲ①	1·1	クズ						
Ⅳ①	1·1	ヤマグワ						
Ⅳ①	1·1	ケチヂミザサ						
Ⅳ①	1·1	ドクダミ						
Ⅳ①	1·1	クズ						
Ⅳ①	+	クワクサ						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	クサマオ						

表 2.9.1-37(102)　植生調査票

No.	102	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田				
地　形	平地	風　当	強	海　抜	19		
土　壌	アンド	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	乾～適	傾　斜	0	°	
				面　積	1× 1	m	
				出現種数	6		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	メヒシバ	0～1	100		6	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	メヒシバ						
Ⅳ①	2·3	キンエノコロ						
Ⅳ①	+·2	チカラシバ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	エゾノギシギシ						
Ⅳ①	+	ムラサキツメクサ						

表 2.9.1-37(103)　植生調査票

No.	103	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	13
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	- °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	11

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヒメガマ	0～1.8	90		11	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒメガマ群落

調査日　2016/8/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	チゴザサ						
Ⅳ①	3·3	ヒメガマ						
Ⅳ①	1·2	アシボソ						
Ⅳ①	1·2	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·1	イ						
Ⅳ①	+·2	ガマズミ						
Ⅳ①	+·2	コシロネ						
Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	セリ						
Ⅳ①	+	コブナグサ						

表 2.9.1-37(104)　植生調査票

No.	104	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	40	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	20× 15	m
				出現種数	33	

(階層)		(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ	高木層	エノキ	7～14	70	45	4	調査区域C
Ⅱ	亜高木層	-	3～7	5	20	3	
Ⅲ①	低木層①	アズマネザサ	1～3	50		10	
Ⅲ②	低木層②		～				
Ⅳ①	草本層①	-	0～1	30		23	(群落名)
Ⅳ②	草本層②		～				エノキ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	エノキ	Ⅳ①	1·2	キヅタ			
Ⅰ	2·3	ヒノキ	Ⅳ①	1·2	ハナタデ			
Ⅰ	1·2	コナラ	Ⅳ①	1·2	カキドオシ			
Ⅰ	+·2	フジ	Ⅳ①	+·2	ワルナスビ			
			Ⅳ①	+·2	ムクノキ			
Ⅱ	1·1	キヅタ	Ⅳ①	+·2	ツユクサ			
Ⅱ	1·1	フジ	Ⅳ①	+·2	ドクダミ			
Ⅱ	1·1	シロダモ	Ⅳ①	+·2	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	+·2	イヌワラビ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブミョウガ			
Ⅲ①	3·3	アズマネザサ	Ⅳ①	+·2	アオミズ			
Ⅲ①	1·2	シロダモ	Ⅳ①	+	ヤブガラシ			
Ⅲ①	1·2	エノキ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	1·1	オカウコギ	Ⅳ①	+	タチツボスミレ			
Ⅲ①	+·2	クズ	Ⅳ①	+	ヤブマメ			
Ⅲ①	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	ケチヂミザサ			
Ⅲ①	+	ヤブツバキ	Ⅳ①	+	オオバコ			
Ⅲ①	+	カラスウリ	Ⅳ①	+	イタドリ			
Ⅲ①	+	カナムグラ	Ⅳ①	+	カナムグラ			
Ⅲ①	+	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ヨモギ			
			Ⅳ①	+	コナスビ			
			Ⅳ①	+	トウバナ			

表 2.9.1-37(105)　植生調査票

No.	105	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	平地	風　当	強～中	海　抜	26	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	過湿	傾　斜	0	°
				面　積	3× 3	m
				出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	1～2.5	40		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	ミゾソバ	0～1	70		6	ヨシ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ヨシ						
Ⅳ①	1·2	ヒメガマ						
Ⅳ①	+	オギ						
Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ②	4·4	ミゾソバ						
Ⅳ②	1·2	アメリカセンダングサ						
Ⅳ②	1·2	セリ						
Ⅳ②	+·2	ドクダミ						
Ⅳ②	+	イヌスギナ						
Ⅳ②	+	セイタカアワダチソウ						

表 2.9.1-37(106)　植生調査票

No.	106	調査地	千葉県香取郡多古町間倉		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	27
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0　°
				面　積	5× 5　m
				出現種数	12

(階層)		(優占種)	(高さｍ)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ	高木層		～				調査区域C
Ⅱ	亜高木層		～				
Ⅲ①	低木層①		～				
Ⅲ②	低木層②		～				
Ⅳ①	草本層①	セイタカアワダチソウ	0.8～2.3	50		3	（群落名）
Ⅳ②	草本層②	イ	0～0.8	95		9	セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	ヨモギ						
Ⅳ①	1·1	オギ						
Ⅳ②	3·3	イ						
Ⅳ②	2·2	メヒシバ						
Ⅳ②	2·2	イヌタデ						
Ⅳ②	1·2	コブナグサ						
Ⅳ②	1·1	アメリカセンダングサ						
Ⅳ②	1·1	アキノエノコログサ						
Ⅳ②	+·2	ヒメムカシヨモギ						
Ⅳ②	+	イヌビエ						
Ⅳ②	+	ダンドボロギク						

表 2.9.1-37(107)　植生調査票

No.	107	調査地	千葉県香取郡多古町間倉		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	25
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	9

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	メヒシバ	0～1	100		9	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/27

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	メヒシバ						
Ⅳ①	2·2	キツネノマゴ						
Ⅳ①	1·1	キンエノコロ						
Ⅳ①	1·1	アキノエノコログサ						
Ⅳ①	+	ウシハコベ						
Ⅳ①	+	カタバミ						
Ⅳ①	+	イヌタデ						
Ⅳ①	+	カラスウリ						
Ⅳ①	+	ヒメクグ						

表 2.9.1-37(108)　植生調査票

No.	108
地　形	平地
土　壌	沖積

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	強
日　当	陽
土　湿	過湿

海　抜	22	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	2× 2	m
出現種数	7	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミゾソバ	0～0.4	100		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/8/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ミゾソバ						
Ⅳ①	3·4	セリ						
Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+	ドクダミ						
Ⅳ①	+	イヌドクサ						
Ⅳ①	+	アカバナ						
Ⅳ①	+	コブナグサ						

表 2.9.1-37(109)　植生調査票

No.	109
地　形	平地
土　壌	沖積

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	強
日　当	陽
土　湿	過湿

海　抜	20	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	3× 3	m
出現種数	18	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0.2～0.6	50		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.2	25		13	放棄水田雑草群落

調査日　2016/8/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	2·2	タイヌビエ						
Ⅳ①	2·2	イネ						
Ⅳ①	1·2	ホタルイ						
Ⅳ①	1·2	オモダカ						
Ⅳ①	+	オオアレチノギク						
Ⅳ②	1·2	タケトアゼナ						
Ⅳ②	1·2	ミズワラビ						
Ⅳ②	+·2	アゼトウガラシ						
Ⅳ②	+	タマガヤツリ						
Ⅳ②	+	イボクサ						
Ⅳ②	+	ノミノフスマ						
Ⅳ②	+	キクモ						
Ⅳ②	+	ヒレタゴボウ						
Ⅳ②	+	アゼナ						
Ⅳ②	+	スズメノテッポウ						
Ⅳ②	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	+	コブナグサ						
Ⅳ②	+	トキンソウ						

表 2.9.1-37(110)　植生調査票

No.	110	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田		
地　形	斜面中	風　当	強～中	海　抜	29
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N16° E
		土　湿	適	傾　斜	14 °
				面　積	20× 20 m
				出現種数	22

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	9～14	80	40	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～9	20	25	3	
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	2～4	40		5	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～2	55		17	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	シラカシ	Ⅳ①	2·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·2	ムクノキ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅰ	1·1	コナラ	Ⅳ①	1·2	フジ			
Ⅰ	1·1	スギ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	アズマネザサ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	シラカシ			
Ⅱ	1·1	スギ	Ⅳ①	+·2	アマチャヅル			
Ⅱ	+	フジ	Ⅳ①	+·2	オオベニシダ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	3·3	アズマネザサ	Ⅳ①	+	カラタチバナ			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	クサギ			
Ⅲ①	+	スギ	Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			
Ⅲ①	+	ツリバナ	Ⅳ①	+	ノササゲ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	イヌワラビ			
			Ⅳ①	+	タチツボスミレ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			

表 2.9.1-37(111)　植生調査票

No.	111	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	17	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	過湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	10	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヒメガマ	0～1.9	80		10	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒメガマ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ヒメガマ						
Ⅳ①	2·2	コブナグサ						
Ⅳ①	1·2	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	1·2	ミゾソバ						
Ⅳ①	1·2	イヌビエ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	コアゼガヤツリ						
Ⅳ①	+	ヘラオオバコ						
Ⅳ①	+	ヌカキビ						
Ⅳ①	+	タウコギ						

表 2.9.1-37(112)　植生調査票

No.	112	調査地	千葉県山武郡芝山町菱田			
地　形	斜面上	風　当	強～中	海　抜	37	
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	W	
		土　湿	適	傾　斜	10	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	37	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	9～18	70	45	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	ムクノキ	5～9	50	20	7	
Ⅲ① 低木層①	-	2～5	30		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～2	45		25	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/30

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	+·2	ツタ	Ⅳ①	2·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	+	マダケ	Ⅳ①	1·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	1·2	アオキ			
			Ⅳ①	1·2	オオバタンキリマメ			
Ⅱ	3·3	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	キヅタ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	ムクノキ			
Ⅱ	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	シュロ			
Ⅱ	+·2	シロダモ	Ⅳ①	+·2	ミゾシダ			
Ⅱ	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	ヒイラギ			
Ⅱ	+	タブノキ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅱ	+	スダジイ	Ⅳ①	+	フモトシダ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
Ⅲ①	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	オクマワラビ			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	1·2	シロダモ	Ⅳ①	+	リョウメンシダ			
Ⅲ①	+·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+·2	ツタ	Ⅳ①	+	ニワトコ			
Ⅲ①	+	ニガキ	Ⅳ①	+	ハリガネワラビ			
			Ⅳ①	+	ツルグミ			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	ハエドクソウ			

表 2.9.1-37(113)　植生調査票

No.	113	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	谷	風　当	強	海　抜	34	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	N85° E	
		土　湿	乾～適	傾　斜	12	°
				面　積	3× 3	m
				出現種数	20	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.2	90		20	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				伐採跡地

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	2·3	アカメガシワ						
Ⅳ①	2·3	ダンドボロギク						
Ⅳ①	2·2	ケチヂミザサ						
Ⅳ①	1·2	アオキ						
Ⅳ①	1·2	フユイチゴ						
Ⅳ①	1·2	テイカカズラ						
Ⅳ①	+·2	ヒメコウゾ						
Ⅳ①	+·2	アズマネザサ						
Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+·2	オオアレチノギク						
Ⅳ①	+·2	ドクダミ						
Ⅳ①	+	タラノキ						
Ⅳ①	+	コナラ						
Ⅳ①	+	タケニグサ						
Ⅳ①	+	サンショウ						
Ⅳ①	+	ヤイトバナ						
Ⅳ①	+	ヤブマメ						
Ⅳ①	+	シロダモ						
Ⅳ①	+	カラスザンショウ						
Ⅳ①	+	ベニバナボロギク						

表 2.9.1-37(114)　植生調査票

No.	114
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町菱田
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	38	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	10× 20	m
出現種数	36	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ヒノキ	10～18	85	45	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1.5～3	25		10	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1.5	80		26	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒノキ群落

調査日　2016/8/30

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	ヒノキ	Ⅳ①	4·5	アズマネザサ			
Ⅰ	1·2	スギ	Ⅳ①	2·3	テイカカズラ			
Ⅰ	+	ツタウルシ	Ⅳ①	1·2	ムクノキ			
			Ⅳ①	1·2	アオキ			
			Ⅳ①	+·2	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	2·3	シロダモ	Ⅳ①	+·2	ヒサカキ			
Ⅲ①	2·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+·2	カシワバハグマ			
Ⅲ①	+	ゴンズイ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	+	タブノキ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	+	ハリギリ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	スダジイ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	サルトリイバラ			
Ⅲ①	+	ヤツデ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	+	イヌツゲ	Ⅳ①	+	カキノキ			
			Ⅳ①	+	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	+	モチノキ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	サネカズラ			
			Ⅳ①	+	サワフタギ			
			Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	チゴユリ			
			Ⅳ①	+	コマユミ			

表 2.9.1-37(115)　植生調査票

No.	115
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	41	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	33	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	17～22	90	35	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	8～17	20	20	5	
Ⅲ① 低木層①	-	1～8	30		11	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	30		28	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	2·3	テイカカズラ			
Ⅰ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	ツタウルシ	Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+·2	アオキ			
			Ⅳ①	+·2	ドクダミ			
Ⅱ	1·2	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	ミゾシダ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅱ	1·1	スダジイ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅱ	1·1	ツタウルシ	Ⅳ①	+	フユイチゴ			
Ⅱ	+	シラカシ	Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ヤブハギ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	アスカイノデ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
Ⅲ①	2·3	シラカシ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
Ⅲ①	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ヤマホトトギス			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+·2	シロダモ	Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
Ⅲ①	+	ツルグミ	Ⅳ①	+	アマチャヅル			
Ⅲ①	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	イヌワラビ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	+	ハナイカダ	Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
Ⅲ①	+	ヒメコウゾ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+	ヤマグワ	Ⅳ①	+	ヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	ヒメコウゾ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			

表 2.9.1-37(116)　植生調査票

No.	116
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	36	
方　位	S14° W	
傾　斜	5	°
面　積	15× 15	m
出現種数	20	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	4～15	95	18	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	0.3～4	20		11	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.3	5		11	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+	テイカカズラ			
Ⅰ	2·2	スギ	Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	フジ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	コブシ			
Ⅲ①	1·1	アズマネザサ	Ⅳ①	+	カシワバハグマ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	ケヤキ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅲ①	+	シロダモ						
Ⅲ①	+	ナンテン						
Ⅲ①	+	ヤブムラサキ						
Ⅲ①	+	フジ						
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ						

表 2.9.1-37(117)　植生調査票

No.	117
地　形	平地
土　壌	未熟土

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	13	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	2× 2	m
出現種数	11	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	エゾノギシギシ	0～0.3	100		11	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	エゾノギシギシ						
Ⅳ①	2·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	ヨモギ						
Ⅳ①	+·2	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+·2	スギナ						
Ⅳ①	+	キツネノマゴ						
Ⅳ①	+	ムラサキツメクサ						
Ⅳ①	+	チカラシバ						
Ⅳ①	+	メヒシバ						
Ⅳ①	+	クズ						
Ⅳ①	+	アメリカフウロ						

表 2.9.1-37(118)　植生調査票

No.	118	調査地	千葉県山武郡芝山町住母家		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	15
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	マコモ	0～1.7	100		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/10/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	マコモ						
Ⅳ①	1·1	エゾノサヤヌカグサ						
Ⅳ①	+	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	セリ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	イヌドクサ						

表 2.9.1-37(119)　植生調査票

No.	119
地　形	平地
土　壌	未熟土

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	乾～適

海　抜	31	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	2× 2	m
出現種数	3	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カナムグラ	0～0.5	100		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				カナムグラ群落

調査日　2016/10/19

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	カナムグラ						
Ⅳ①	+	ウシハコベ						
Ⅳ①	+	スイバ						

表 2.9.1-37(120)　植生調査票

No.	120
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	43	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	37	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ヒノキ	15～19	90	30	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	3～15	10	10	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1～3	40		15	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～0.5	80		27	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒノキ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	ヒノキ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	スギ	Ⅳ①	2·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	1·2	ヤブラン			
			Ⅳ①	1·2	スゲ属の一種			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
Ⅱ	+	ヒノキ	Ⅳ①	+·2	コクラン			
			Ⅳ①	+·2	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅲ①	2·3	ハナイカダ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	2·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	2·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	モチノキ			
Ⅲ①	1·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅲ①	1·2	サンゴジュ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	+·2	イボタノキ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	+·2	イヌツゲ	Ⅳ①	+	カクレミノ			
Ⅲ①	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	+	ヤマグワ	Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅲ①	+	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	イヌツゲ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	ハシゴシダ			
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ①	+	ヤマツツジ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	ノブドウ			
Ⅲ①	+	ツタウルシ	Ⅳ①	+	ツタ			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	サンショウ			
			Ⅳ①	+	マンリョウ			

表 2.9.1-37(121)　植生調査票

No.	121	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	31	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	E	
		土　湿	適	傾　斜	18	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	23	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	11～17	70	35	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	シラカシ	7～11	30	10	4	
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	1～3	60		5	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～1	40		13	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	コナラ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	2·2	クヌギ	Ⅳ①	1·1	ツタ			
Ⅰ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	1·1	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	1·1	カシワバハグマ			
			Ⅳ①	+	シュンラン			
Ⅱ	3·3	シラカシ	Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅱ	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ヤマユリ			
Ⅱ	1·1	マダケ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅱ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
			Ⅳ①	+	ガマズミ			
Ⅲ①	3·3	アズマネザサ	Ⅳ①	+	コチヂミザサ			
Ⅲ①	2·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	キッコウハグマ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ						
Ⅲ①	+	シロダモ						

表 2.9.1-37(122)　植生調査票

No.	122	調査地	千葉県山武郡芝山町大里		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	11
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適～湿	傾　斜	- °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　オギ		0～2.3	85		5	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				オギ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	2·3	ヤブマメ						
Ⅳ①	1·2	ヤイトバナ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+·2	カナムグラ						

表 2.9.1-37(123)　植生調査票

No.	123	調査地	千葉県香取郡多古町飯笹		
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	33
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	S30° E
		土　湿	適	傾　斜	25 °
				面　積	5× 5 m
				出現種数	11

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アズマネザサ	0.8～4	100		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.8	10		8	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	5·5	アズマネザサ	Ⅳ①	1·1	ドクダミ			
Ⅲ①	+	オニドコロ	Ⅳ①	+·2	ホシダ			
Ⅲ①	+	ニワトコ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	アキカラマツ			
			Ⅳ①	+	コナラ			
			Ⅳ①	+	オオベニシダ			
			Ⅳ①	+	ノササゲ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			

表 2.9.1-37(124)　植生調査票

No.	124	調査地	千葉県香取郡多古町飯笹			
地　形	谷	風　当	強	海　抜	24	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	1× 1	m
				出現種数	6	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　オギ		0～0.8	90		6	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				オギ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	+·2	ドクダミ						
Ⅳ①	+	アゼガヤツリ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	チドメグサ						
Ⅳ①	+	セリ						

表 2.9.1-37(125)　植生調査票

No.	125	調査地	千葉県香取郡多古町喜多井野			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	23	
土　壌	グライ	日　当	中陰	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	5	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	オギ	0～0.8	100		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				オギ群落

調査日　2016/10/27

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	1·2	ドクダミ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	スイバ						
Ⅳ①	+	エノキグサ						

表 2.9.1-37(126)　植生調査票

No.	126	調査地	千葉県香取郡多古町喜多井野			
地　形	谷	風　当	強	海　抜	22	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ガマ	1～1.8	80		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	イ	0～1	80		7	ガマ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ガマ						
Ⅳ②	3·3	イ						
Ⅳ②	1·1	アカバナ						
Ⅳ②	1·1	ヌカキビ						
Ⅳ②	1·1	ヤナギタデ						
Ⅳ②	1·1	ホタルイ						
Ⅳ②	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ②	+	ヒレタゴボウ						

表 2.9.1-37(127)　植生調査票

No.	127	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	43	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	S12° W	
		土　湿	適	傾　斜	10	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	10	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0.1～2.5	100		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.1	3		6	アズマネザサ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅳ①	+	ヤブマメ						
Ⅳ①	+	ヤイトバナ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	ドクダミ						
Ⅳ②	+·2	イネ科の一種						
Ⅳ②	+	スギ						
Ⅳ②	+	ヤブマメ						
Ⅳ②	+	ケチヂミザサ						
Ⅳ②	+	テイカカズラ						
Ⅳ②	+	ムクノキ						

表 2.9.1-37(128)　植生調査票

No.	128	調査地	千葉県山武郡芝山町大里				
地　形	平地	風　当	中	海　抜	41		
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	適	傾　斜	0	°	
				面　積	20× 20	m	
				出現種数	32		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	10～18	80	45	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～10	15	20	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1.8～4	5		2	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1.8	90		26	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	3·3	アズマネザサ			
Ⅰ	+	ツタウルシ	Ⅳ①	2·3	ハナイカダ			
			Ⅳ①	2·2	フユイチゴ			
			Ⅳ①	2·2	アオキ			
			Ⅳ①	1·2	ベニシダ			
Ⅱ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	1·2	ムクノキ			
Ⅱ	1·1	タブノキ	Ⅳ①	1·2	ヘビノネゴザ			
Ⅱ	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	1·2	ミゾシダ			
			Ⅳ①	1·2	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	1·1	ナンテン			
Ⅲ①	1·1	イヌザンショウ	Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
Ⅲ①	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+·2	シロダモ			
			Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	+·2	ドクダミ			
			Ⅳ①	+·2	ホシダ			
			Ⅳ①	+·2	ハリガネワラビ			
			Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	サワフタギ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
			Ⅳ①	+	コブシ			
			Ⅳ①	+	テンナンショウ属の一種			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	フジカンゾウ			

表 2.9.1-37(129)　植生調査票

No.	129	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	15	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	15× 15	m
				出現種数	24	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マダケ	2～13	90		1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	0.5～2	20		8	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	20		17	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	マダケ	Ⅳ①	2·2	キヅタ			
			Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+·2	ムクノキ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+·2	ミズヒキ			
Ⅲ①	1·2	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	クロヤツシロラン			
Ⅲ①	+·2	ネズミモチ	Ⅳ①	+	ツユクサ			
Ⅲ①	+	ウツギ	Ⅳ①	+	モミジイチゴ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	コチヂミザサ			
Ⅲ①	+	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	+	トウネズミモチ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	+	サンショウ	Ⅳ①	+	シュロ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	ハエドクソウ			
			Ⅳ①	+	ネズミモチ			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			

表 2.9.1-37(130)　植生調査票

No.	130
地　形	平地
土　壌	沖積

調査地	千葉県香取郡多古町喜多井野
風　当	弱
日　当	陽
土　湿	湿

海　抜	24	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	5× 5	m
出現種数	3	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ヨシ	0～2	100		3	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				ヨシ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ヨシ						
Ⅳ①	3·4	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	セリ						

表 2.9.1-37(131)　植生調査票

No.	131
地　形	谷
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町喜多井野
風　当	弱
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	30	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	30	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	20～23	90	30	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	2～5	5		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	リョウメンシダ	0～1.5	95		25	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	4·4	リョウメンシダ			
Ⅰ	2·2	テイカカズラ	Ⅳ①	3·4	ケチヂミザサ			
Ⅰ	1·1	ツタウルシ	Ⅳ①	2·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	2·2	ゼンマイ			
			Ⅳ①	2·2	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	2·2	ヤブミョウガ			
Ⅲ①	+	ウワミズザクラ	Ⅳ①	2·2	ミゾシダ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	1·2	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·1	ホウチャクソウ			
			Ⅳ①	1·1	ヤブツルアズキ			
			Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	ゲジゲジシダ			
			Ⅳ①	1·1	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	カラスウリ			
			Ⅳ①	+	イボタノキ			
			Ⅳ①	+	カシワバハグマ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
			Ⅳ①	+	イヌツゲ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	フモトシダ			
			Ⅳ①	+	トウゲシバ			
			Ⅳ①	+	キヨスミヒメワラビ			

表 2.9.1-37(132)　植生調査票

No.	132	調査地	千葉県山武郡芝山町大里				
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	43		
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	N50° W		
		土　湿	適	傾　斜	4	°	
				面　積	2× 2	m	
				出現種数	4		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.5	100		4	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	3·3	クズ						
Ⅳ①	+	イヌムギ						
Ⅳ①	+	ヒナタイノコズチ						

表 2.9.1-37(133)　植生調査票

No.	133
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	中
日　当	陽～中陰
土　湿	適

海　抜	17	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	20	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マダケ	6～12	90	20	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	2～6	10	4	1	
Ⅲ① 低木層①	-	0.6～2	5		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アマチャヅル	0～0.6	70		16	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	マダケ	Ⅳ①	3·3	アマチャヅル			
			Ⅳ①	2·3	ミツバ			
			Ⅳ①	2·2	シンミズヒキ			
			Ⅳ①	2·2	ヒナタイノコズチ			
			Ⅳ①	1·2	ヤイトバナ			
Ⅱ	1·2	マダケ	Ⅳ①	1·2	ミツバ			
			Ⅳ①	1·2	ヤブマメ			
			Ⅳ①	+·2	オクマワラビ			
			Ⅳ①	+·2	ケチヂミザサ			
			Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	テイカカズラ			
Ⅲ①	+·2	ニワトコ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+·2	ヤマウルシ	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	+	モミジイチゴ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			

表 2.9.1-37(134)　植生調査票

No.	134
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	24	
方　位	S28° W	
傾　斜	28	°
面　積	20× 20	m
出現種数	37	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スダジイ	16～20	90	60	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～16	20	20	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1～6	20		11	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①		0～1	40		29	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スダジイ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	スダジイ	Ⅳ①	2·3	テイカカズラ			
Ⅰ	2·2	アカガシ	Ⅳ①	2·2	アズマネザサ			
Ⅰ	1·2	スギ	Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	コナラ	Ⅳ①	+·2	スダジイ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
Ⅱ	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+·2	クマザサ			
Ⅱ	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			
			Ⅳ①	+	ヌルデ			
			Ⅳ①	+	キンラン			
			Ⅳ①	+	カシワバハグマ			
Ⅲ①	2·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅲ①	+·2	ヤダケ	Ⅳ①	+	ネズミモチ			
Ⅲ①	+·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅲ①	+·2	スダジイ	Ⅳ①	+	イチヤクソウ			
Ⅲ①	+	ハチク	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	タブノキ	Ⅳ①	+	ツタ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+	アカガシ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	クサギ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	ヤブムラサキ			
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ①	+	モチノキ			
			Ⅳ①	+	マンリョウ			
			Ⅳ①	+	ツルグミ			
			Ⅳ①	+	ガマズミ			
			Ⅳ①	+	コナラ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
			Ⅳ①	+	サルトリイバラ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ヤツデ			

表 2.9.1-37(135)　植生調査票

No.	135
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	32	
方　位	S20° W	
傾　斜	35	°
面　積	20× 20	m
出現種数	13	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スダジイ	5～20	85	45	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	シラカシ	1～5	70		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～1	35		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スダジイ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スダジイ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	コナラ	Ⅳ①	1·1	ヤブラン			
			Ⅳ①	1·1	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	スダジイ			
Ⅲ①	3·3	シラカシ	Ⅳ①	+	ニッケイ			
Ⅲ①	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+	ナンテン			
Ⅲ①	2·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	コバノガマズミ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	モチノキ			

表 2.9.1-37(136)　植生調査票

No.	136	調査地	千葉県山武郡芝山町大里		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	33
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0.9～2.5	70		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	セイタカアワダチソウ	0～0.9	70		5	セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/10/27

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	4·4	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	1·2	ツルマメ						
Ⅳ②	+·2	ヤブガラシ						
Ⅳ②	+	ヨモギ						
Ⅳ②	+	ススキ						

表 2.9.1-37(137)　植生調査票

No.	137	調査地	千葉県香取郡多古町喜多		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	23
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	4× 4 m
				出現種数	11

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0.6～2	30		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	ヒメシダ	0～0.6	100		10	ヨシ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ヨシ						
Ⅳ②	5·5	ヒメシダ						
Ⅳ②	3·3	ミゾシダ						
Ⅳ②	2·2	ドクダミ						
Ⅳ②	1·1	ノブドウ						
Ⅳ②	1·1	アシボソ						
Ⅳ②	+·2	フジ						
Ⅳ②	+	イボクサ						
Ⅳ②	+	スズメノエンドウ						
Ⅳ②	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	+	セリ						

表 2.9.1-37(138)　植生調査票

No.	138
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町白枡
風　当	強
日　当	陽
土　湿	乾

海　抜	39	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	1× 1	m
出現種数	7	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	メヒシバ	0～0.8	100		7	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				放棄畑地雑草群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	メヒシバ						
Ⅳ①	1·1	コゴメガヤツリ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	エノキグサ						
Ⅳ①	+	コマツヨイグサ						
Ⅳ①	+	メマツヨイグサ						
Ⅳ①	+	ヒメムカシヨモギ						

表 2.9.1-37(139)　植生調査票

No.	139	調査地	千葉県香取郡多古町喜多		
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	31
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	S20° W
		土　湿	適	傾　斜	20 °
				面　積	15× 15 m
				出現種数	59

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ヒノキ	4～16	95	25	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	ムラサキシキブ	1～4	50		16	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	コチヂミザサ	0～1	100		47	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒノキ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	ヒノキ	Ⅳ①	4·5	コチヂミザサ	Ⅳ①	+	シラカシ
Ⅰ	2·2	スギ	Ⅳ①	4·4	テイカカズラ	Ⅳ①	+	サネカズラ
			Ⅳ①	2·3	ホウチャクソウ	Ⅳ①	+	コブシ
			Ⅳ①	1·2	ドクダミ	Ⅳ①	+	フジ
			Ⅳ①	1·2	ベニシダ	Ⅳ①	+	マンリョウ
Ⅲ①	2·3	ムラサキシキブ	Ⅳ①	1·2	ヤブコウジ	Ⅳ①	+	フモトシダ
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	1·2	ミゾシダ	Ⅳ①	+	トウゲシバ
Ⅲ①	1·2	クサギ	Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
Ⅲ①	1·1	サンショウ	Ⅳ①	1·2	スゲ属の一種			
Ⅲ①	1·1	ヌルデ	Ⅳ①	1·1	ノササゲ			
Ⅲ①	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	1·1	コクラン			
Ⅲ①	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	1·1	ハリガネワラビ			
Ⅲ①	1·1	アオキ	Ⅳ①	1·1	ツタ			
Ⅲ①	1·1	ゴンズイ	Ⅳ①	1·1	ゼンマイ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	1·1	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·1	ハリギリ	Ⅳ①	1·1	クサギ			
Ⅲ①	1·1	アズマネザサ	Ⅳ①	1·1	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	1·1	クスノキ	Ⅳ①	1·1	オニドコロ			
Ⅲ①	1·1	トウネズミモチ	Ⅳ①	1·1	ヤマノイモ			
Ⅲ①	1·1	ヤマノイモ	Ⅳ①	1·1	ヒサカキ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	1·1	ヒメコウゾ			
			Ⅳ①	1·1	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	1·1	ヤブラン			
			Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	1·1	サンカクヅル			
			Ⅳ①	1·1	ヤブムラサキ			
			Ⅳ①	1·1	ヤマツツジ			
			Ⅳ①	1·1	チゴユリ			
			Ⅳ①	+·2	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+·2	オオバタンキリマメ			
			Ⅳ①	+·2	トネアザミ			
			Ⅳ①	+	ヤマハゼ			
			Ⅳ①	+	オオカモメヅル			
			Ⅳ①	+	マルバナツグミ			
			Ⅳ①	+	ハエドクソウ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ヤブマメ			
			Ⅳ①	+	アオツヅラフジ			
			Ⅳ①	+	コゴメウツギ			
			Ⅳ①	+	キバナアキギリ			

表 2.9.1-37(140)　植生調査票

No.	140
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町白枡
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	27	
方　位	S42° W	
傾　斜	15	°
面　積	15× 15	m
出現種数	37	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	9～14	80	30	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	3～9	5	10	4	
Ⅲ① 低木層①	-	1～3	5		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1	90		35	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
			Ⅳ①	1·1	ドクダミ			
			Ⅳ①	+·2	クマワラビ			
			Ⅳ①	+·2	ケチヂミザサ			
Ⅱ	1·1	クリ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	+	モウソウチク	Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅱ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	+	キヅタ	Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	1·1	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	+·2	アオキ	Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	+	スギ	Ⅳ①	+	オオバノイノモトソウ			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+	ミツバ			
			Ⅳ①	+	タブノキ			
			Ⅳ①	+	ヒメコウゾ			
			Ⅳ①	+	スダジイ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	オクマワラビ			
			Ⅳ①	+	ヒサカキ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	マグワ			
			Ⅳ①	+	マンリョウ			
			Ⅳ①	+	トラノオシダ			
			Ⅳ①	+	カキノキ			
			Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+	ヤブガラシ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	クリ			
			Ⅳ①	+	ヤツデ			
			Ⅳ①	+	カラスウリ			
			Ⅳ①	+	ホシダ			
			Ⅳ①	+	ナンテン			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			

表 2.9.1-37(141)　植生調査票

No.	141
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町白枡
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	38	
方　位	-	
傾　斜	-	°
面　積	20× 20	m
出現種数	30	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	10～20	80	50	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～10	1		1	
Ⅲ① 低木層①	スギ	1～6	30		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヤブミョウガ	0～1	100		27	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	スギ	Ⅳ①	3·3	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	2·2	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·1	ミズヒキ			
			Ⅳ①	1·1	カラスウリ			
			Ⅳ①	1·1	ホシダ			
Ⅱ	+	ツタウルシ	Ⅳ①	1·1	リョウメンシダ			
			Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+·2	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ヤブマメ			
Ⅲ①	3·3	スギ	Ⅳ①	+	ツユクサ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	ヒナタイノコズチ			
Ⅲ①	+	ヤマノイモ	Ⅳ①	+	ケチヂミザサ			
Ⅲ①	+	ヤイトバナ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	カラスウリ	Ⅳ①	+	アケビ			
Ⅲ①	+	ヤブガラシ	Ⅳ①	+	ミドリヒメワラビ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	キツネノマゴ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ミツバ			
			Ⅳ①	+	スギ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	オクマワラビ			
			Ⅳ①	+	ヤブガラシ			
			Ⅳ①	+	シンミズヒキ			
			Ⅳ①	+	アオキ			

表 2.9.1-37(142)　植生調査票

No.	142	調査地	千葉県香取郡多古町喜多				
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	19		
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N		
		土　湿	適	傾　斜	5	°	
				面　積	10× 10	m	
				出現種数	14		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	マダケ	1.5～7	80		3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.5	15		13	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅲ①	4·4	マダケ	Ⅳ①	1·1	ベニシダ			
Ⅲ①	2·2	ニワトコ	Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	1·1	アオキ			
			Ⅳ①	+	ニワトコ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	ヤブガラシ			
			Ⅳ①	+	リョウメンシダ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	クサイチゴ			

表 2.9.1-37(143)　植生調査票

No.	143
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	40	
方　位	N80° W	
傾　斜	8	°
面　積	20× 20	m
出現種数	27	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	12～18	80	25	5	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～12	20	15	5	
Ⅲ① 低木層①	-	1.2～6	40		15	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～1.2	80		17	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	コナラ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	クヌギ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·2	ツタウルシ	Ⅳ①	+·2	アオキ			
Ⅰ	1·1	イヌエンジュ	Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	チゴユリ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+	イヌガヤ			
			Ⅳ①	+	スダジイ			
			Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ヤマザクラ			
Ⅱ	1·2	ツタウルシ	Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
Ⅱ	1·1	エゴノキ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅱ	1·1	タブノキ	Ⅳ①	+	コナラ			
Ⅱ	1·1	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	ネズミモチ			
			Ⅳ①	+	フジ			
Ⅲ①	2·3	ヒサカキ						
Ⅲ①	2·2	アオキ						
Ⅲ①	1·2	テイカカズラ						
Ⅲ①	1·2	カマツカ						
Ⅲ①	1·1	シラカシ						
Ⅲ①	+·2	アズマネザサ						
Ⅲ①	+	サワフタギ						
Ⅲ①	+	ミツバアケビ						
Ⅲ①	+	ウワミズザクラ						
Ⅲ①	+	ツタウルシ						
Ⅲ①	+	スギ						
Ⅲ①	+	フジ						
Ⅲ①	+	イヌガヤ						
Ⅲ①	+	エゴノキ						
Ⅲ①	+	シロダモ						

表 2.9.1-37(144)　植生調査票

No.	144	調査地	千葉県山武郡芝山町大里				
地　形	平地	風　当	強	海　抜	34		
土　壌	造成土	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	適	傾　斜	0	°	
				面　積	2× 2	m	
				出現種数	9		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイバンモロコシ	0～2	100		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	セイバンモロコシ						
Ⅳ①	1·1	アキノエノコログサ						
Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	コブナグサ						
Ⅳ①	+·2	チカラシバ						
Ⅳ①	+	ムラサキツメクサ						
Ⅳ①	+	ノゲシ						
Ⅳ①	+	キンエノコロ						
Ⅳ①	+	メヒシバ						

表 2.9.1-37(145)　植生調査票

No.	145	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	33
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～2	80		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	ヤブマメ						
Ⅳ①	1·2	ヒカゲイノコズチ						
Ⅳ①	1·1	ヒメムカシヨモギ						
Ⅳ①	+·2	オッタチカタバミ						
Ⅳ①	+·2	アカメガシワ						
Ⅳ①	+	ベニバナボロギク						

表 2.9.1-37(146)　植生調査票

No.	146	調査地	千葉県山武郡芝山町大里		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	12
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	過湿	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	サンカクイ	0～0.8	70		7	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				水田雑草群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	サンカクイ						
Ⅳ①	1·1	ヒメガマ						
Ⅳ①	+	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	ケキツネノボタン						
Ⅳ①	+	イネ科の一種						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	アカバナ						

表 2.9.1-37(147)　植生調査票

No.	147	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	23	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	N20° E	
		土　湿	適	傾　斜	3	°
				面　積	15× 15	m
				出現種数	49	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	8～16	75	50	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～8	40	20	8	
Ⅲ① 低木層①	-	0.7～4	70		17	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～0.7	70		35	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	スギ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	コチヂミザサ			
Ⅰ	+	ツタウルシ	Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅱ	2·2	ムクノキ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅱ	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
Ⅱ	1·1	スダジイ	Ⅳ①	+	シオデ			
Ⅱ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
Ⅱ	+	シロダモ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅱ	+	タブノキ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅱ	+	コブシ	Ⅳ①	+	クリ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅲ①	2·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	コナラ			
Ⅲ①	2·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	1·1	スダジイ	Ⅳ①	+	ゼンマイ			
Ⅲ①	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+	ホソバトウゲシバ			
Ⅲ①	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	+	カクレミノ	Ⅳ①	+	キッコウハグマ			
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	+	タブノキ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅲ①	+	ケヤキ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+	ヒイラギ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	+	ハナイカダ	Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	+	ヤブムラサキ	Ⅳ①	+	オオイタチシダ			
Ⅲ①	+	ホオノキ	Ⅳ①	+	ノササゲ			
Ⅲ①	+	イヌマキ	Ⅳ①	+	ゴンズイ			
Ⅲ①	+	フジ	Ⅳ①	+	フタリシズカ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	ノブドウ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			

表 2.9.1-37(148)　植生調査票

No.	148	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	14	
土　壌	グライ	日　当	中陰	方　位	-	
		土　湿	湿～過湿	傾　斜	0	°
				面　積	3× 3	m
				出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	1～2.5	50		2	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～1	40		7	ヨシ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ヨシ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	2·2	ヒカゲイノコズチ						
Ⅳ②	1·2	ミゾソバ						
Ⅳ②	1·2	アキノウナギツカミ						
Ⅳ②	+·2	スズメウリ						
Ⅳ②	+·2	ヒメコウゾ						
Ⅳ②	+·2	アシボソ						
Ⅳ②	+	ワラビ						

表 2.9.1-37(149)　植生調査票

No.	149
地　形	平地
土　壌	グライ

調査地	千葉県山武郡芝山町大里
風　当	強
日　当	陽～中陰
土　湿	湿

海　抜	14	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	20× 20	m
出現種数	27	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	アカメヤナギ	6～12	70	35	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1～6	40		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミゾソバ	0～1	70		23	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカメヤナギ群落

調査日　2016/10/27

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	アカメヤナギ	Ⅳ①	3·3	ミゾソバ			
Ⅰ	1·2	フジ	Ⅳ①	3·3	アオミズ			
Ⅰ	1·1	タチヤナギ	Ⅳ①	1·2	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	1·2	センニンソウ			
Ⅲ①	2·3	アカメヤナギ	Ⅳ①	+·2	コバギボウシ			
Ⅲ①	1·2	フジ	Ⅳ①	+·2	スギナ			
Ⅲ①	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+·2	ヨシ			
Ⅲ①	1·1	タチヤナギ	Ⅳ①	+·2	スズメウリ			
			Ⅳ①	+·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	+·2	スゲ属の一種			
			Ⅳ①	+·2	ヌスビトハギ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	スイカズラ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	セリ			
			Ⅳ①	+	ヒメアシボソ			
			Ⅳ①	+	コブナグサ			
			Ⅳ①	+	オギ			
			Ⅳ①	+	キツネノボタン			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			

表 2.9.1-37(150)　植生調査票

No.	150	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	15	
土　壌	グライ	日　当	陽～中陰	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	10× 10	m
				出現種数	23	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	アカメヤナギ	3～10	70	50	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	-	1.5～3	15		5	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アシボソ	0～1.5	90		19	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカメヤナギ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	アカメヤナギ	Ⅳ①	3·4	アシボソ			
			Ⅳ①	2·3	ミゾソバ			
			Ⅳ①	2·3	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	1·2	スゲ属の一種			
			Ⅳ①	+·2	スギナ			
Ⅲ①	1·2	キヅタ	Ⅳ①	+·2	セリ			
Ⅲ①	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	ヒカゲイノコズチ			
Ⅲ①	1·1	フジ	Ⅳ①	+·2	キヅタ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+·2	ヤブラン			
Ⅲ①	+	ネズミモチ	Ⅳ①	+·2	アオミズ			
			Ⅳ①	+·2	ヨシ			
			Ⅳ①	+·2	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ツボスミレ			
			Ⅳ①	+	ミミナグサ			
			Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			
			Ⅳ①	+	クマヤナギ			
			Ⅳ①	+	マユミ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			

表 2.9.1-37(151)　植生調査票

No.	151	調査地	千葉県山武郡芝山町白枡			
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	27	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N52° E	
		土　湿	適	傾　斜	18	°
				面　積	15× 15	m
				出現種数	8	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	13～18	90	15	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	0.5～13	5	7	1	
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.5	5		6	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅰ	1·2	スギ	Ⅳ①	+	シュロ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	タブノキ			

表 2.9.1-37(152)　植生調査票

No.	152
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町白枡
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	14	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	15× 10	m
出現種数	31	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	8～18	55	25	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	スギ	3～8	40	6	1	
Ⅲ①　低木層①	-	0.8～3	3		3	
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	-	0～0.8	70		28	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	2·2	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	2·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	1·1	ヌスビトハギ			
			Ⅳ①	1·1	ベニシダ			
Ⅱ	3·3	スギ	Ⅳ①	1·1	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ヤツデ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ヒメコウゾ			
Ⅲ①	+	カラスウリ	Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅲ①	+	コブシ	Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	ミツバ			
			Ⅳ①	+	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	タブノキ			
			Ⅳ①	+	リョウメンシダ			
			Ⅳ①	+	ハエドクソウ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	シロダモ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ヤブソテツ			
			Ⅳ①	+	クサギ			
			Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	+	オカウコギ			
			Ⅳ①	+	ナキリスゲ			

表 2.9.1-37(153)　植生調査票

No.	153	調査地	千葉県山武郡芝山町白枡				
地　形	平地	風　当	強	海　抜	8		
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	適	傾　斜	-	°	
				面　積	2× 2	m	
				出現種数	8		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0.6～1.5	100		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.6	30		7	セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/8/24

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	2·2	ドクダミ						
Ⅳ②	1·1	ヨモギ						
Ⅳ②	+	ツユクサ						
Ⅳ②	+	ヤブガラシ						
Ⅳ②	+	カキドオシ						
Ⅳ②	+	スゲ属の一種						
Ⅳ②	+	エノキ						

表 2.9.1-37(154)　植生調査票

No.	154	調査地	千葉県香取郡多古町喜多			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	17	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	10	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0～2	100		10	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヨシ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ヨシ						
Ⅳ①	3·3	ミゾソバ						
Ⅳ①	2·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	ガマ						
Ⅳ①	1·1	ドクダミ						
Ⅳ①	+	セリ						
Ⅳ①	+	ケチヂミザサ						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	アカバナ						
Ⅳ①	+	スギナ						

表 2.9.1-37(155)　植生調査票

No.	155
地　形	尾根
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町岩山
風　当	中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	40	
方　位	W	
傾　斜	3	°
面　積	15× 15	m
出現種数	37	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	8～13	80	55	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～8	40	17	6	
Ⅲ① 低木層①	ヒサカキ	0.7～4	70		16	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～0.7	60		25	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/26

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	スギ	Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	コチヂミザサ			
Ⅰ	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	1·1	キヅタ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
			Ⅳ①	+	フジ			
Ⅱ	2·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			
Ⅱ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅱ	1·1	タブノキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	+	ツタウルシ	Ⅳ①	+	ナガバハエドクソウ			
Ⅱ	+	フジ	Ⅳ①	+	カキノキ			
Ⅱ	+	ムクノキ	Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
			Ⅳ①	+	スダジイ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
Ⅲ①	3·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ヤツデ			
Ⅲ①	2·2	アオキ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	+	サンショウ			
Ⅲ①	1·1	アズマネザサ	Ⅳ①	+	コブシ			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+	クスノキ			
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ①	+	キバナアキギリ			
Ⅲ①	+	ツタウルシ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	+	エゴノキ	Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅲ①	+	ハナイカダ						
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ						
Ⅲ①	+	ムクノキ						
Ⅲ①	+	サンショウ						
Ⅲ①	+	ウワミズザクラ						
Ⅲ①	+	ニッケイ						

表 2.9.1-37(156)　植生調査票

No.	156	調査地	千葉県山武郡芝山町大里		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	6
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	5× 5 m
				出現種数	3

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	1.5～3	100		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～1.5	3		3	ヨシ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ②	+·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ②	+	ガガイモ						
Ⅳ②	+	ヨシ						

表 2.9.1-37(157)　植生調査票

No.	157	調査地	千葉県山武郡芝山町小原子			
地　形	平地	風　当	強	海　抜	6	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適～湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	4	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　オギ		0～2	100		4	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				オギ群落

調査日　2016/10/28

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	+	ヨシ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	ヌカキビ						

表 2.9.1-37(158)　植生調査票

No.	158	調査地	千葉県山武郡芝山町大里		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	13
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾～適	傾　斜	0 °
				面　積	3× 3 m
				出現種数	8

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	アズマネザサ	0～2	100		8	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅳ①	2·2	ヤブマメ						
Ⅳ①	1·2	クズ						
Ⅳ①	+	ガガイモ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	アシボソ						
Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ						
Ⅳ①	+	アオツヅラフジ						

表 2.9.1-37(159)　植生調査票

No.	159	調査地	千葉県山武郡芝山町大里				
地　形	斜面下	風　当	強	海　抜	13		
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N5° W		
		土　湿	適	傾　斜	25	°	
				面　積	20× 20	m	
				出現種数	34		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	アカマツ	10～18	85	45	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～10	20	15	4	
Ⅲ① 低木層①	ムラサキシキブ	1.5～6	60		11	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.5	40		21	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				アカマツ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·4	アカマツ	Ⅳ①	2·2	アオキ			
			Ⅳ①	1·2	ベニシダ			
			Ⅳ①	1·2	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	ニワトコ			
Ⅱ	2·2	モウソウチク	Ⅳ①	+·2	ススキ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	トウバナ			
Ⅱ	1·1	アカマツ	Ⅳ①	+·2	セイタカアワダチソウ			
Ⅱ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	+·2	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	3·3	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	フジ			
Ⅲ①	2·3	スギ	Ⅳ①	+	アオツヅラフジ			
Ⅲ①	2·2	キヅタ	Ⅳ①	+	コナラ			
Ⅲ①	1·2	アオキ	Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅲ①	1·2	キブシ	Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			
Ⅲ①	1·1	エノキ	Ⅳ①	+	ヤブマメ			
Ⅲ①	1·1	ツタ	Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	シュロ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅲ①	+	ヤマグワ	Ⅳ①	+	ヤブソテツ			

表 2.9.1-37(160)　植生調査票

No.	160
地　形	平地
土　壌	アンド

調査地	千葉県香取郡多古町五反田
風　当	強
日　当	陽
土　湿	乾

海　抜	15	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	1× 1	m
出現種数	9	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.3	30		9	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				畑雑草群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	2·2	コハコベ						
Ⅳ①	1·1	ツユクサ						
Ⅳ①	+·2	オヒシバ						
Ⅳ①	+	オランダミミナグサ						
Ⅳ①	+	オオイヌノフグリ						
Ⅳ①	+	コゴメガヤツリ						
Ⅳ①	+	ノボロギク						
Ⅳ①	+	エノキグサ						
Ⅳ①	+	トキンソウ						

表 2.9.1-37(161)　植生調査票

No.	161	調査地	千葉県山武郡芝山町大里			
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	17	
土　壌	褐森	日　当	陽～中陰	方　位	N80° E	
		土　湿	適	傾　斜	15	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	39	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	10～18	90	50	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～10	35	15	3	
Ⅲ① 低木層①	アオキ	1.3～4	50		8	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.3	50		28	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·4	スギ	Ⅳ①	2·2	ベニシダ			
Ⅰ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	2·2	サネカズラ			
Ⅰ	1·1	ツタウルシ	Ⅳ①	2·2	リョウメンシダ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	1·2	アマチャヅル			
Ⅱ	2·3	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	ヤブラン			
Ⅱ	1·1	スダジイ	Ⅳ①	+·2	ゼンマイ			
Ⅱ	1·1	ホオノキ	Ⅳ①	+·2	キヅタ			
			Ⅳ①	+·2	ヤブミョウガ			
			Ⅳ①	+·2	シケシダ			
Ⅲ①	3·3	アオキ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅲ①	2·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+	キクバドコロ			
Ⅲ①	1·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	ハナイカダ			
Ⅲ①	1·1	ナンテン	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·1	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	オオバノイノモトソウ			
Ⅲ①	+	ヒサカキ	Ⅳ①	+	フタリシズカ			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	+	アラカシ	Ⅳ①	+	イワガネゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ヌスビトハギ			
			Ⅳ①	+	ハリガネワラビ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ヒサカキ			
			Ⅳ①	+	フモトシダ			
			Ⅳ①	+	トウゴクシダ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	ミゾシダ			
			Ⅳ①	+	コブシ			

表 2.9.1-37(162)　植生調査票

No.	162	調査地	千葉県山武郡芝山町浅川			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	7	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	過湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	3	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミゾソバ	0～0.6	100		3	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/10/28

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	アシボソ						

表 2.9.1-37(163)　植生調査票

No.	163	調査地	千葉県山武郡芝山町小原子			
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	30	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N	
		土　湿	適	傾　斜	20	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	32	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	10～20	70	35	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～10	1		1	
Ⅲ① 低木層①	-	1～5	40		12	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	テイカカズラ	0～1	90		20	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	3·3	リョウメンシダ			
			Ⅳ①	3·3	テイカカズラ			
			Ⅳ①	1·1	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	1·1	ヤマグワ			
			Ⅳ①	1·1	ゼンマイ			
Ⅱ	+	ツタウルシ	Ⅳ①	1·1	ミゾシダ			
			Ⅳ①	1·1	ベニシダ			
			Ⅳ①	1·1	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	クサギ			
			Ⅳ①	+	フジ			
Ⅲ①	2·2	スギ	Ⅳ①	+	ヤブガラシ			
Ⅲ①	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+	ドクダミ			
Ⅲ①	2·2	アズマネザサ	Ⅳ①	+	タブノキ			
Ⅲ①	1·1	ツリバナ	Ⅳ①	+	キバナアキギリ			
Ⅲ①	1·1	イヌマキ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅲ①	1·1	アオキ	Ⅳ①	+	ホドイモ			
Ⅲ①	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅲ①	1·1	ヤツデ	Ⅳ①	+	オニドコロ			
Ⅲ①	1·1	ウワミズザクラ	Ⅳ①	+	コゴメウツギ			
Ⅲ①	1·1	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	コクラン			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ						
Ⅲ①	+	キヅタ						

表 2.9.1-37(164)　植生調査票

No.	164
地　形	平地
土　壌	沖積

調査地	千葉県香取郡多古町五反田
風　当	強
日　当	陽
土　湿	湿

海　抜	13	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	1× 1	m
出現種数	6	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ヤナギタデ	0～0.5	60		6	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				水田雑草群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	ヤナギタデ						
Ⅳ①	1·1	タイヌビエ						
Ⅳ①	+	アメリカタカサブロウ						
Ⅳ①	+	コナギ						
Ⅳ①	+	エノコログサ						
Ⅳ①	+	チドメグサ						

表 2.9.1-37(165)　植生調査票

No.	165
地　形	平地
土　壌	グライ

調査地	千葉県香取郡多古町五反田
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	14	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	1× 1	m
出現種数	5	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	オオバコ	0～0.5	100		5	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				路傍・空地雑草群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オオバコ						
Ⅳ①	+·2	メヒシバ						
Ⅳ①	+·2	キンエノコロ						
Ⅳ①	+	シロツメクサ						
Ⅳ①	+	ヘビイチゴ						

表 2.9.1-37(166)　植生調査票

No.	166	調査地	千葉県山武郡芝山町小原子			
地　形	平地	風　当	強	海　抜	8	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適～湿	傾　斜	0	°
				面　積	3× 3	m
				出現種数	5	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	オギ	0～2.3	80		5	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				オギ群落

調査日　2016/10/20

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	オギ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	ミゾソバ						
Ⅳ①	+·2	ヌカキビ						
Ⅳ①	+	ウシハコベ						

表 2.9.1-37(167)　植生調査票

No.	167	調査地	千葉県香取郡多古町五反田		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	43
土　壌	アンド	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	乾	傾　斜	0 °
				面　積	1× 1 m
				出現種数	8

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	オオイヌノフグリ	0～0.5	60		8	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				畑雑草群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	3·3	オオイヌノフグリ						
Ⅳ①	1·1	コハコベ						
Ⅳ①	+·2	オッタチカタバミ						
Ⅳ①	+	ノゲシ						
Ⅳ①	+	ゴウシュウアリタソウ						
Ⅳ①	+	チチコグサモドキ						
Ⅳ①	+	コゴメガヤツリ						
Ⅳ①	+	シロザ						

表 2.9.1-37(168)　植生調査票

No.	168	調査地	千葉県香取郡多古町五反田			
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	31	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	S45° E	
		土　湿	適	傾　斜	20	°
				面　積	10× 10	m
				出現種数	20	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	マダケ	8～10	100	15	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	5～8	20	6	1	
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1	10		19	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				マダケ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	マダケ	Ⅳ①	+·2	ホシダ			
			Ⅳ①	+·2	ケチヂミザサ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ドクダミ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
Ⅱ	2·2	マダケ	Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ネズミモチ			
			Ⅳ①	+	スダジイ			
			Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	チャノキ			
			Ⅳ①	+	オオバタンキリマメ			
			Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	シロダモ			

表 2.9.1-37(169)　植生調査票

No.	169	調査地	千葉県山武郡芝山町小原子				
地　形	平地	風　当	中	海　抜	6		
土　壌	水面下	日　当	陽	方　位	-		
		土　湿	過湿	傾　斜	-	°	
				面　積	2× 2	m	
				出現種数	1		

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヤナギモ	0～0.2	20		1	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヤナギモ群落

調査日　2016/8/24

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	2·2	ヤナギモ						

表 2.9.1-37(170)　植生調査票

No.	170	調査地	千葉県香取郡多古町林			
地　形	尾根	風　当	中	海　抜	42	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	16	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ヒノキ	13～21	85	40	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	8～13	15	10	1	
Ⅲ① 低木層①	-	0.5～105	10		1	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	コチヂミザサ	0～0.5	90		12	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				ヒノキ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	ヒノキ	Ⅳ①	3·3	コチヂミザサ			
Ⅰ	2·2	サワラ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	スギ	Ⅳ①	2·2	ツタ			
			Ⅳ①	1·1	カシワバハグマ			
			Ⅳ①	1·1	チゴユリ			
Ⅱ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	スゲ属の一種			
			Ⅳ①	+	フユイチゴ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
Ⅲ①	1·1	サンショウ	Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			

表 2.9.1-37(171)　植生調査票

No.	171	調査地	千葉県香取郡多古町林			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	28	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	-	
		土　湿	適～湿	傾　斜	0	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	31	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	トウネズミモチ	6～13	85	25	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①	アオキ	1.2～6	65		10	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.2	40		28	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				トウネズミモチ群落

調査日　2016/11/15

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	トウネズミモチ	Ⅳ①	2·3	リョウメンシダ			
Ⅰ	2·3	テイカカズラ	Ⅳ①	1·2	テイカカズラ			
Ⅰ	+	ノキシノブ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
			Ⅳ①	1·2	ヤツデ			
			Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
Ⅲ①	3·3	アオキ	Ⅳ①	1·2	ヒサカキ			
Ⅲ①	2·3	アズマネザサ	Ⅳ①	+·2	イヌマキ			
Ⅲ①	1·2	ニッケイ	Ⅳ①	+·2	マンリョウ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+·2	アマチャヅル			
Ⅲ①	1·2	イヌマキ	Ⅳ①	+·2	キヅタ			
Ⅲ①	+·2	ムクノキ	Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+·2	ナンテン	Ⅳ①	+·2	ナンテン			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+·2	カラタチバナ			
Ⅲ①	+	ヒノキ	Ⅳ①	+	イヌワラビ			
Ⅲ①	+	ノキシノブ	Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	ニッケイ			
			Ⅳ①	+	シュロ			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	ヤブソテツ			
			Ⅳ①	+	ウマノミツバ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	マサキ			
			Ⅳ①	+	ヤナギイノコズチ			
			Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
			Ⅳ①	+	ムベ			
			Ⅳ①	+	カラスザンショウ			
			Ⅳ①	+	アスカイノデ			
			Ⅳ①	+	ミツバアケビ			

表 2.9.1-37(172)　植生調査票

No.	172	調査地	千葉県香取郡多古町林		
地　形	平地	風　当	中	海　抜	42
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	4

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①　クズ		0～1	100		4	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				クズ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	クズ						
Ⅳ①	3·3	カナムグラ						
Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	アズマネザサ						

表 2.9.1-37(173)　植生調査票

No.	173	調査地	千葉県山武郡芝山町小原子			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	14	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	過湿	傾　斜	0	°
				面　積	3× 3	m
				出現種数	6	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ミクリ属の一種	0～1.2	100		6	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/8/24

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ミクリ属の一種						
Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·1	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+	コブナグサ						
Ⅳ①	+	アカバナ						

表 2.9.1-37(174)　植生調査票

No.	174	調査地	千葉県香取郡多古町林		
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	22
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	S15°E
		土　湿	適	傾　斜	19 °
				面　積	20× 20 m
				出現種数	24

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スダジイ	12～16	80	40	4	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	6～12	30	10	5	
Ⅲ① 低木層①	-	2～6	40		8	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～1.5	40		18	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スダジイ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	シラカシ	Ⅳ①	2·3	アズマネザサ			
Ⅰ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	コナラ	Ⅳ①	1·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	+·2	ヤブラン			
			Ⅳ①	+·2	ヤブコウジ			
Ⅱ	2·3	シロダモ	Ⅳ①	+·2	スダジイ			
Ⅱ	1·2	テイカカズラ	Ⅳ①	+·2	ヒサカキ			
Ⅱ	1·1	タブノキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	+	フジ	Ⅳ①	+	マンリョウ			
Ⅱ	+	スギ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	ネズミモチ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	シュンラン			
			Ⅳ①	+	ニッケイ			
			Ⅳ①	+	カラタチバナ			
Ⅲ①	2·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	イヌマキ			
Ⅲ①	2·2	ネズミモチ	Ⅳ①	+	コクラン			
Ⅲ①	1·2	シロダモ	Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅲ①	1·2	ニッケイ						
Ⅲ①	+·2	テイカカズラ						
Ⅲ①	+	シュロ						
Ⅲ①	+	フジ						
Ⅲ①	+	クズ						

表 2.9.1-37(175)　植生調査票

No.	175
地　形	斜面上
土　壌	褐森

調査地	千葉県香取郡多古町林
風　当	中
日　当	中陰
土　湿	適

海　抜	35	
方　位	S18° W	
傾　斜	23	°
面　積	20× 20	m
出現種数	26	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	12～19	40	30	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	スギ	4～12	70	10	2	
Ⅲ① 低木層①	-	1～4	10		7	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	コチヂミザサ	0～0.5	50		22	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/28

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·2	スギ	Ⅳ①	2·3	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	2·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·2	キヅタ			
			Ⅳ①	+·2	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+·2	ドクダミ			
Ⅱ	3·3	スギ	Ⅳ①	+·2	ナガバジャノヒゲ			
Ⅱ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	+·2	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+·2	シラカシ			
			Ⅳ①	+·2	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	+·2	ミゾシダ			
Ⅲ①	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	カニクサ			
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	アカネ			
Ⅲ①	+	ヤマノイモ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅲ①	+	ヤツデ	Ⅳ①	+	ヤブミョウガ			
Ⅲ①	+	アオキ	Ⅳ①	+	アマチャヅル			
			Ⅳ①	+	ヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	ゼンマイ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			

表 2.9.1-37(176)　植生調査票

No.	176	調査地	千葉県香取郡多古町林			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	42	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	0	°
				面　積	20× 20	m
				出現種数	40	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	9～20	80	50	2	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～9	1		1	
Ⅲ① 低木層①	-	1～4	3	7	3	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	キヅタ	0～1	60		39	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	スギ	Ⅳ①	3·3	キヅタ			
Ⅰ	1·1	ヒノキ	Ⅳ①	1·1	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·1	コチヂミザサ			
			Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+·2	ゼンマイ			
Ⅱ	+	キヅタ	Ⅳ①	+·2	ホシダ			
			Ⅳ①	+·2	テンナンショウ属の一種			
			Ⅳ①	+	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+	アスカイノデ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅲ①	+·2	ヒノキ	Ⅳ①	+	アマチャヅル			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+	テイカカズラ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
			Ⅳ①	+	アカネ			
			Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			
			Ⅳ①	+	チゴユリ			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	コブシ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
			Ⅳ①	+	スイカズラ			
			Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	ハリガネワラビ			
			Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ①	+	イヌワラビ			
			Ⅳ①	+	タラノキ			
			Ⅳ①	+	ツユクサ			
			Ⅳ①	+	ナキリスゲ			
			Ⅳ①	+	ミョウガ			
			Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
			Ⅳ①	+	スギ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	タブノキ			
			Ⅳ①	+	ミドリヒメワラビ			
			Ⅳ①	+	ヒカゲイノコズチ			
			Ⅳ①	+	アケビ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	フタリシズカ			

表 2.9.1-37(177)　植生調査票

No.	177	調査地	千葉県香取郡多古町林			
地　形	谷	風　当	弱	海　抜	18	
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	10× 10	m
				出現種数	34	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	ケヤキ	8～10	95	18	1	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	3～8	40	8	3	
Ⅲ① 低木層①	-	1.5～3	30		10	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0.7～1.5	80		13	(群落名)
Ⅳ② 草本層②	-	0～0.7	40		20	その他植林（ケヤキ植林）

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	ケヤキ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·1	カラスウリ			
			Ⅳ①	1·1	マンリョウ			
			Ⅳ①	1·1	ムクノキ			
			Ⅳ①	1·1	テイカカズラ			
Ⅱ	2·2	ケヤキ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅱ	1·1	イヌシデ	Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
Ⅱ	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	カニクサ			
Ⅲ①	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	+	サネカズラ			
Ⅲ①	1·1	ムクノキ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	1·1	ニワトコ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	カラスウリ						
Ⅲ①	+	ケヤキ						
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ②	2·2	ケチヂミザサ			
Ⅲ①	+	ヤマグワ	Ⅳ②	2·2	テイカカズラ			
Ⅲ①	+	マユミ	Ⅳ②	1·1	ヤブラン			
Ⅲ①	+	トウネズミモチ	Ⅳ②	+	ダイコンソウ			
Ⅲ①	+	コブシ	Ⅳ②	+	フジ			
			Ⅳ②	+	マンリョウ			
			Ⅳ②	+	ミツバアケビ			
			Ⅳ②	+	アマチャヅル			
			Ⅳ②	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ②	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ②	+	カノツメソウ			
			Ⅳ②	+	ヒナタイノコズチ			
			Ⅳ②	+	ヤマヤブソテツ			
			Ⅳ②	+	オクマワラビ			
			Ⅳ②	+	スイバ			
			Ⅳ②	+	ミツバ			
			Ⅳ②	+	サネカズラ			
			Ⅳ②	+	アケビ			
			Ⅳ②	+	キヅタ			
			Ⅳ②	+	ヌスビトハギ			

表 2.9.1-37(178)　植生調査票

No.	178	調査地	千葉県香取郡多古町林		
地　形	斜面上	風　当	中	海　抜	35
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	S30° E
		土　湿	適	傾　斜	20 °
				面　積	10× 20 m
				出現種数	46

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	9～15	80	30	3	調査区域C
Ⅱ　亜高木層	-	4～9	30	10	4	
Ⅲ① 低木層①	ヒサカキ	0.6～4	60		13	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.6	60		34	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	コナラ	Ⅳ①	2·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	シラカシ	Ⅳ①	1·1	ナガバジャノヒゲ			
Ⅰ	1·1	スギ	Ⅳ①	1·1	キヅタ			
			Ⅳ①	1·1	ヒサカキ			
			Ⅳ①	+·2	ベニシダ			
Ⅱ	2·2	ヒノキ	Ⅳ①	+·2	コクラン			
Ⅱ	1·1	カキノキ	Ⅳ①	+	クロガネモチ			
Ⅱ	+	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	チゴユリ			
Ⅱ	+	スギ	Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	クズ			
Ⅲ①	3·3	ヒサカキ	Ⅳ①	+	スダジイ			
Ⅲ①	3·3	アズマネザサ	Ⅳ①	+	コゴメウツギ			
Ⅲ①	+	キヅタ	Ⅳ①	+	ミツバアケビ			
Ⅲ①	+	ツルグミ	Ⅳ①	+	トウネズミモチ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	+	ナンテン	Ⅳ①	+	ヤブミョウガ			
Ⅲ①	+	シロダモ	Ⅳ①	+	アオキ			
Ⅲ①	+	ヤマウグイスカグラ	Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
Ⅲ①	+	ミツバアケビ	Ⅳ①	+	コバギボウシ			
Ⅲ①	+	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	シロダモ			
Ⅲ①	+	サワフタギ	Ⅳ①	+	ホウチャクソウ			
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ①	+	ケチヂミザサ			
Ⅲ①	+	タブノキ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	イチイ			
			Ⅳ①	+	ウワミズザクラ			
			Ⅳ①	+	カマツカ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+	ヤマウルシ			
			Ⅳ①	+	オオバタンキリマメ			
			Ⅳ①	+	トウゲシバ			
			Ⅳ①	+	ゴンズイ			
			Ⅳ①	+	アオツヅラフジ			
			Ⅳ①	+	ヤマツツジ			
			Ⅳ①	+	オオバノトンボソウ			

表 2.9.1-37(179)　植生調査票

No.	179	調査地	千葉県香取郡多古町林		
地　形	尾根	風　当	中	海　抜	44
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	5× 5 m
				出現種数	6

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	アズマネザサ	0～2	100		6	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				アズマネザサ群落

調査日　2016/8/25

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	アズマネザサ						
Ⅳ①	3·3	クズ						
Ⅳ①	1·1	カラスウリ						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	クコ						
Ⅳ①	+	ガガイモ						

表 2.9.1-37(180)　植生調査票

No.	180
地　形	平地
土　壌	未熟土

調査地	千葉県香取郡多古町林
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	38	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	2× 2	m
出現種数	2	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	カナムグラ	0～0.5	100		2	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				カナムグラ群落

調査日　2016/10/21

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	カナムグラ						
Ⅳ①	1·2	カモガヤ						

表 2.9.1-37(181)　植生調査票

No.	181	調査地	千葉県香取郡多古町水戸			
地　形	平地	風　当	中	海　抜	28	
土　壌	沖積	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	適	傾　斜	-	°
				面　積	5× 5	m
				出現種数	13	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～2.3	95		13	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				セイタカアワダチソウ群落

調査日　2016/8/24

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	2·3	カモジグサ						
Ⅳ①	2·3	ヨモギ						
Ⅳ①	2·2	ヒカゲイノコズチ						
Ⅳ①	1·2	アマチャヅル						
Ⅳ①	1·2	ヒゴクサ						
Ⅳ①	1·1	オギ						
Ⅳ①	1·1	カナムグラ						
Ⅳ①	1·1	スゲ属の一種						
Ⅳ①	+	ヤブガラシ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	アズマネザサ						
Ⅳ①	+	ヤブラン						

表 2.9.1-37(182)　植生調査票

No.	182	調査地	千葉県香取郡多古町水戸		
地　形	平地	風　当	強	海　抜	40
土　壌	未熟土	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	適	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	10

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				調査区域C
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ①　低木層①		～				
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	ヒメムカシヨモギ	0～1.8	90		10	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				放棄畑雑草群落

調査日　2016/8/24

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	ヒメムカシヨモギ						
Ⅳ①	2·2	エノコログサ						
Ⅳ①	2·2	アリタソウ						
Ⅳ①	1·1	コニシキソウ						
Ⅳ①	1·1	メマツヨイグサ						
Ⅳ①	1·1	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	+	シロザ						
Ⅳ①	+	カヤツリグサ						
Ⅳ①	+	メヒシバ						
Ⅳ①	+	イヌビユ						

表 2.9.1-37(183)　植生調査票

No.	183	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山			
地　形	谷	風　当	中	海　抜	19	
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-	
		土　湿	湿	傾　斜	0	°
				面　積	2× 2	m
				出現種数	15	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	イ	0～1.2	100		15	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				放棄水田雑草群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	4·4	イ						
Ⅳ①	2·2	ガマ						
Ⅳ①	1·2	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	ツルマメ						
Ⅳ①	+	ムラサキツメクサ						
Ⅳ①	+	アカバナ						
Ⅳ①	+	イヌコリヤナギ						
Ⅳ①	+	アシボソ						
Ⅳ①	+	ヌカキビ						
Ⅳ①	+	カワヤナギ						
Ⅳ①	+	アメリカセンダングサ						
Ⅳ①	+	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	スギナ						
Ⅳ①	+	タコノアシ						
Ⅳ①	+	イヌスギナ						

表 2.9.1-37(184)　植生調査票

No.	184
地　形	斜面中
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町岩山
風　当	強～中
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	40	
方　位	S50° W	
傾　斜	5	°
面　積	20× 20	m
出現種数	16	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	モウソウチク	8～14	95	20	2	グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層	-	4～8	15	8	3	
Ⅲ①　低木層①	-	4～5	5		3	
Ⅲ②　低木層②		～				
Ⅳ①　草本層①	-	0～1	5		13	(群落名)
Ⅳ②　草本層②		～				モウソウチク群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	5·5	モウソウチク	Ⅳ①	1·2	チャノキ			
Ⅰ	+·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	キンラン			
			Ⅳ①	+·2	シュロ			
			Ⅳ①	+·2	アオキ			
			Ⅳ①	+·2	ホドイモ			
Ⅱ	2·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	アズマネザサ			
Ⅱ	1·2	シラカシ	Ⅳ①	+	クズ			
Ⅱ	+·2	シュロ	Ⅳ①	+	スダジイ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·2	ヒサカキ	Ⅳ①	+	ナガバジャノヒゲ			
Ⅲ①	+·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	ツルグミ			
Ⅲ①	+·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ツタウルシ			

表 2.9.1-37(185)　植生調査票

No.	185	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山		
地　形	谷	風　当	中	海　抜	19
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	7

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	セイタカアワダチソウ	0～1.8	100		7	(群落名) セイタカアワダチソウ群落
Ⅳ② 草本層②		～				

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	セイタカアワダチソウ						
Ⅳ①	1·2	カラスウリ						
Ⅳ①	+·2	ミゾソバ						
Ⅳ①	+·2	イヌスギナ						
Ⅳ①	+·2	ツルマメ						
Ⅳ①	+	クズ						
Ⅳ①	+	アマチャヅル						

表 2.9.1-37(186)　植生調査票

No.	186	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山		
地　形	谷	風　当	強	海　抜	22
土　壌	グライ	日　当	陽	方　位	-
		土　湿	湿	傾　斜	0 °
				面　積	2× 2 m
				出現種数	5

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層		～				グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層		～				
Ⅲ① 低木層①		～				
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	ヨシ	0～1.7	90		5	(群落名) ヨシ群落
Ⅳ② 草本層②		～				

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅳ①	5·5	ヨシ						
Ⅳ①	1·2	イヌスギナ						
Ⅳ①	1·1	キショウブ						
Ⅳ①	+	ミゾソバ						
Ⅳ①	+	ヘラオモダカ						

表 2.9.1-37(187)　植生調査票

No.	187	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山			
地　形	斜面中	風　当	強	海　抜	32	
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	S	
		土　湿	適	傾　斜	15	°
				面　積	10× 10	m
				出現種数	15	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	シラカシ	9～13	90	25	3	グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層	-	2.5～9	30	8	3	
Ⅲ① 低木層①	-	0.3～2.5	10		5	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.3	5		10	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				シラカシ群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·4	シラカシ	Ⅳ①	+·2	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	スダジイ	Ⅳ①	+·2	シラカシ			
Ⅰ	1·1	コナラ	Ⅳ①	+·2	スダジイ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	ヤブラン			
Ⅱ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
Ⅱ	1·2	スダジイ	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	1·1	ヤマザクラ	Ⅳ①	+	アオキ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	テイカカズラ			
Ⅲ①	1·2	スダジイ						
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ						
Ⅲ①	1·1	モチノキ						
Ⅲ①	+·2	アズマネザサ						
Ⅲ①	+	ヤマノイモ						

表 2.9.1-37(188)　植生調査票

No.	188	調査地	千葉県山武郡芝山町朝倉		
地　形	斜面中	風　当	中	海　抜	42
土　壌	褐森	日　当	中陰	方　位	N18° W
		土　湿	適	傾　斜	14 °
				面　積	20× 20 m
				出現種数	40

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	コナラ	14～19	80	25	3	グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層	-	5～14	20	20	4	
Ⅲ① 低木層①	-	1～5	10		6	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	アズマネザサ	0～0.4	80		36	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				コナラ群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	コナラ	Ⅳ①	4·4	アズマネザサ			
Ⅰ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	1·2	ドクダミ			
Ⅰ	1·1	ウスゲヤマザクラ	Ⅳ①	1·2	ケチヂミザサ			
			Ⅳ①	+·2	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+·2	ヤマホトトギス			
Ⅱ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	ヤマノイモ			
Ⅱ	1·1	コナラ	Ⅳ①	+·2	ミツバアケビ			
Ⅱ	1·1	イヌザクラ	Ⅳ①	+·2	タチツボスミレ			
Ⅱ	1·1	ウスゲヤマザクラ	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
Ⅲ①	1·2	ムラサキシキブ	Ⅳ①	+	エノキ			
Ⅲ①	+	イロハモミジ	Ⅳ①	+	キンラン			
Ⅲ①	+	シラカシ	Ⅳ①	+	ムラサキシキブ			
Ⅲ①	+	ヤイトバナ	Ⅳ①	+	モミジイチゴ			
Ⅲ①	+	スダジイ	Ⅳ①	+	ヒメコウゾ			
Ⅲ①	+	ウスゲヤマザクラ	Ⅳ①	+	ナルコユリ			
			Ⅳ①	+	ノブドウ			
			Ⅳ①	+	クサギ			
			Ⅳ①	+	シラカシ			
			Ⅳ①	+	コブシ			
			Ⅳ①	+	ヤブコウジ			
			Ⅳ①	+	ネムノキ			
			Ⅳ①	+	サワフタギ			
			Ⅳ①	+	コナラ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	サルトリイバラ			
			Ⅳ①	+	ツルウメモドキ			
			Ⅳ①	+	オオバノトンボソウ			
			Ⅳ①	+	ツタウルシ			
			Ⅳ①	+	アオツヅラフジ			
			Ⅳ①	+	サンショウ			
			Ⅳ①	+	ヒサカキ			
			Ⅳ①	+	マタタビ			
			Ⅳ①	+	ベニシダ			
			Ⅳ①	+	タラノキ			
			Ⅳ①	+	ヌルデ			

表 2.9.1-37(189)　植生調査票

No.	189
地　形	平地
土　壌	褐森

調査地	千葉県山武郡芝山町岩山
風　当	強
日　当	陽
土　湿	適

海　抜	43	
方　位	-	
傾　斜	0	°
面　積	15× 20	m
出現種数	34	

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)
Ⅰ　高木層	エノキ	9～13	70	40	3
Ⅱ　亜高木層	-	5～9	20	15	3
Ⅲ① 低木層①	-	1～5	3		4
Ⅲ② 低木層②		～			
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.2	70		29
Ⅳ② 草本層②		～			

（備考）
グリーンポート・ エコ・アグリパーク

（群落名）
エノキ群落

調査日　2016/10/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	4·3	エノキ	Ⅳ①	2·3	アシボソ			
Ⅰ	2·1	ムクノキ	Ⅳ①	2·2	ケチヂミザサ			
Ⅰ	1·1	クマノミズキ	Ⅳ①	1·2	ドクダミ			
			Ⅳ①	1·2	アズマネザサ			
			Ⅳ①	1·2	ヘビイチゴ			
Ⅱ	2·2	ヤマグワ	Ⅳ①	1·2	クサギ			
Ⅱ	1·1	センダン	Ⅳ①	+·2	スイバ			
Ⅱ	1·1	ヤマザクラ	Ⅳ①	+·2	カタバミ			
			Ⅳ①	+·2	ミズヒキ			
			Ⅳ①	+·2	ヒナタイノコズチ			
Ⅲ①	+·2	イロハモミジ	Ⅳ①	+·2	ハルジオン			
Ⅲ①	+·2	ヤマザクラ	Ⅳ①	+·2	ジャノヒゲ			
Ⅲ①	+	クヌギ	Ⅳ①	+·2	スイカズラ			
Ⅲ①	+	ヤマボウシ	Ⅳ①	+	ノイバラ			
			Ⅳ①	+	イヌタデ			
			Ⅳ①	+	ヤマグワ			
			Ⅳ①	+	ノブドウ			
			Ⅳ①	+	カラスウリ			
			Ⅳ①	+	スズメノヒエ			
			Ⅳ①	+	キヅタ			
			Ⅳ①	+	ヤマノイモ			
			Ⅳ①	+	ムクノキ			
			Ⅳ①	+	ゲンノショウコ			
			Ⅳ①	+	エノキ			
			Ⅳ①	+	クマノミズキ			
			Ⅳ①	+	ユウガギク			
			Ⅳ①	+	セイタカアワダチソウ			
			Ⅳ①	+	ヤイトバナ			
			Ⅳ①	+	アオツヅラフジ			

表 2.9.1-37(190)　植生調査票

No.	190	調査地	千葉県山武郡芝山町岩山		
地　形	斜面下	風　当	中	海　抜	33
土　壌	褐森	日　当	陽	方　位	N60° E
		土　湿	適	傾　斜	30 °
				面　積	10× 10 m
				出現種数	18

(階層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸径cm)	(種数)	(備考)
Ⅰ　高木層	スギ	12～19	85	25	5	グリーンポート・ エコ・アグリパーク
Ⅱ　亜高木層	-	1.8～12	40	10	3	
Ⅲ① 低木層①	-	0.4～1.8	20		4	
Ⅲ② 低木層②		～				
Ⅳ① 草本層①	-	0～0.4	5		12	(群落名)
Ⅳ② 草本層②		～				スギ群落

調査日　2016/8/17

S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.	S	D·S	SPP.
Ⅰ	3·3	スギ	Ⅳ①	1·2	アオキ			
Ⅰ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+·2	テイカカズラ			
Ⅰ	1·1	テイカカズラ	Ⅳ①	+	ベニシダ			
Ⅰ	1·1	フジ	Ⅳ①	+	イヌワラビ			
Ⅰ	1·1	ミズキ	Ⅳ①	+	イノデ			
			Ⅳ①	+	ジャノヒゲ			
			Ⅳ①	+	ミゾシダ			
			Ⅳ①	+	アズマネザサ			
			Ⅳ①	+	フジ			
			Ⅳ①	+	スダジイ			
Ⅱ	2·2	シラカシ	Ⅳ①	+	ムクノキ			
Ⅱ	1·2	モウソウチク	Ⅳ①	+	キヅタ			
Ⅱ	1·1	マテバシイ						
Ⅲ①	2·2	アオキ						
Ⅲ①	1·2	スダジイ						
Ⅲ①	1·1	ヒサカキ						
Ⅲ①	+	アズマネザサ						

2) 植物群落の概況

植物群落の概況は、表 2.9.1-38 に示すとおりである。

表 2.9.1-38(1)　植物群落の概況

区分	常緑広葉樹林
群落名	スダジイ群落（二次林）
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	16～20
出現種数（平均）	13～37（23.0）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、スダジイ、アカガシ、シラカシ、コナラ、タブノキ Ⅱ：スダジイ、シラカシ、マダケ Ⅲ：スダジイ、シラカシ、ヒサカキ、アオキ、アズマネザサ Ⅳ：ベニシダ、シラカシ、アオキ、キヅタ、ヤブコウジ、 テイカカズラ、ヤブラン、ナガバジャノヒゲ、アズマネザサ
概況	スダジイが優占する常緑広葉樹林。一部に、大径木が多く自然状態に近い林分が小規模に存在するが、ほとんどが二次林である。林内は比較的暗く、林床に生育する植物は耐陰性を持つものが多かった。尾根筋や谷津斜面にみられた。
植生調査地点 No.	18、23、134、135、174
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(2)　植物群落及び土地利用の概況

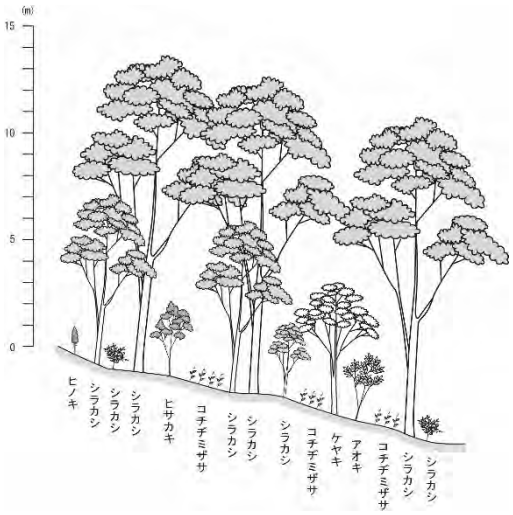
区分	常緑広葉樹林
群落名	シラカシ群落（二次林）
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	13～22
出現種数（平均）	15～39（24.2）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、ヒノキ、スダジイ、シラカシ、コナラ、ケヤキ、マダケ Ⅱ：シラカシ、コナラ、ケヤキ、テイカカズラ Ⅲ：シラカシ、ヒサカキ、ウワミズザクラ、アオキ、トウネズミモチ、ムラサキシキブ、アズマネザサ Ⅳ：ベニシダ、シラカシ、アオキ、キヅタ、テイカカズラ、ナガバジャノヒゲ、コチヂミザサ、アズマネザサ
概況	シラカシが優占する常緑広葉樹林。スダジイ群落と同様に、一部に、大径木が多く自然状態に近い林分が小規模に存在するが、ほとんどが二次林である。林内は比較的暗いが、コナラやケヤキ等の落葉広葉樹が混生している林分もみられた。また、林床にアズマネザサが優占する林分もあった。尾根筋や谷津斜面にみられた。
植生調査地点 No.	7、20、42、62、73、76、94、110、187
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(3)　植物群落及び土地利用の概況

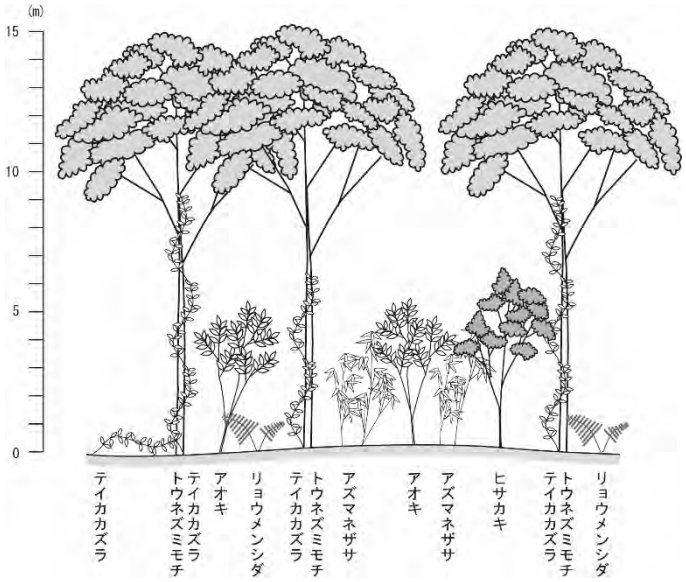
区分	常緑広葉樹林
群落名	トウネズミモチ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	13
出現種数（平均）	31
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：トウネズミモチ、テイカカズラ Ⅲ：イヌマキ、ニッケイ、ヒサカキ、アオキ、アズマネザサ Ⅳ：リョウメンシダ、ヒサカキ、アオキ、ヤツデ、テイカカズラ、アズマネザサ
概況	外来種のトウネズミモチが優占する常緑広葉樹林。林内は暗く湿っており、アオキ、ヒサカキ、リョウメンシダ、テイカカズラ、ヤツデ等が生育していた。谷津の谷底部に小規模な群落がみられた。
植生調査地点 No.	171
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(4)　植物群落及び土地利用の概況

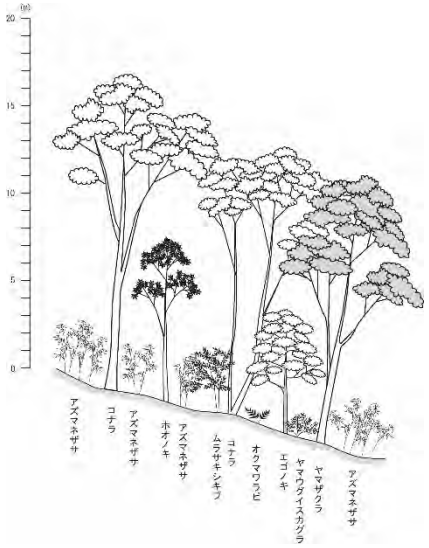
区分	常緑広葉樹林
群落名	コナラ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	12～19
出現種数（平均）	12～46（29.3）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、ヒノキ、スダジイ、クヌギ、シラカシ、コナラ、ヤマザクラ Ⅱ：ヒノキ、シラカシ、コナラ、ホオノキ、ウワミズザクラ、フジ、 ヤマボウシ、エゴノキ、マダケ Ⅲ：ヤマグワ、ヒサカキ、アオキ、サワフタギ、ムラサキシキブ、 マダケ、アズマネザサ Ⅳ：ベニシダ、シケシダ、ミツバアケビ、アオキ、キヅタ、 テイカカズラ、シラヤマギク、ヤブラン、ナガバジャノヒゲ、 コチヂミザサ、アズマネザサ
概況	コナラ等が優占する薪炭林起源の落葉広葉樹林。管理されている林分では、林内は明るく、様々な植物が生育していた。一方、薪炭林施業が放棄されてから長期間が経過している林分では、林床にはアズマネザサが密生する等、他の植物が極めて乏しい林分が多くみられた。谷津斜面等に広く成立していた。
植生調査地点 No.	5、36、37、44、53、60、63、91、97、121、143、178、188
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(5)　植物群落及び土地利用の概況

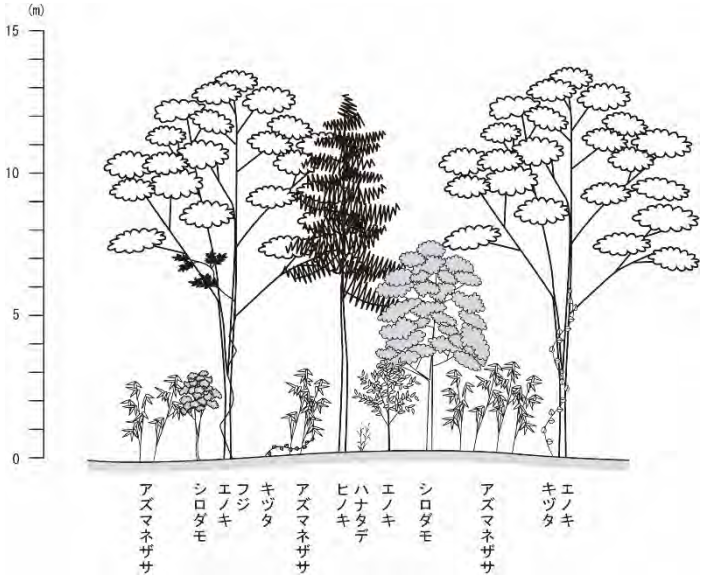
区分	常緑広葉樹林
群落名	エノキ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	13～14
出現種数（平均）	33～34（33.5）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：ヒノキ、コナラ、ムクノキ、エノキ Ⅱ：ヤマグワ、シロダモ、ヤマザクラ、フジ、キヅタ Ⅲ：エノキ、シロダモ、アズマネザサ Ⅳ：ハナタデ、ドクダミ、ヘビイチゴ、キヅタ、カキドオシ、アシボソ、ケチヂミザサ、アズマネザサ
概況	エノキが優占する落葉広葉樹林。林内は明るく先駆的な性質をもつ植物や、畑や草地に生育する植物が生育していた。耕作地周辺等に成立していた。
植生調査地点 No.	104、189
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(6)　植物群落及び土地利用の概況

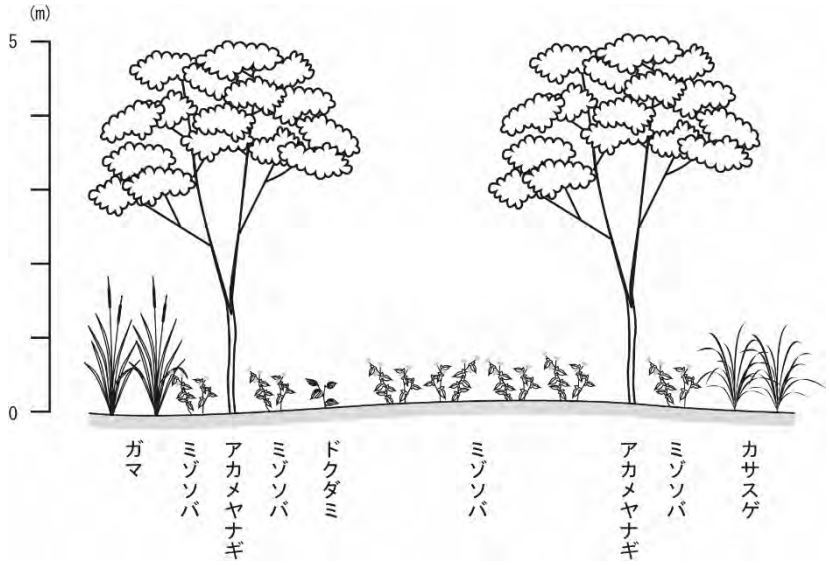
区分	常緑広葉樹林
群落名	アカメヤナギ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	5～12
出現種数（平均）	9～27（15.8）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：アカメヤナギ、フジ Ⅲ：アカメヤナギ、カワヤナギ、エノキ、クズ、フジ、ヤブガラシ、カラスウリ、キヅタ、テイカカズラ Ⅳ：ヤマグワ、アオミズ、ミゾソバ、ヒカゲイノコズチ、センニンソウ、クズ、ヤブガラシ、セイタカアワダチソウ、ガマ、カサスゲ、スゲ属の一種、アシボソ
概況	アカメヤナギが優占する落葉広葉樹林。林床は過湿であり、ミゾソバ、ガマ、カサスゲ等の湿生植物が生育していた。一方、林床の乾燥化が進み、クズ、ヤブガラシ、セイタカアワダチソウ等が生育している林分もみられた。谷津田が放棄されてから長期間が経過している立地に成立していた。
植生調査地点 No.	2、10、46、52、149、150
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(7)　植物群落及び土地利用の概況

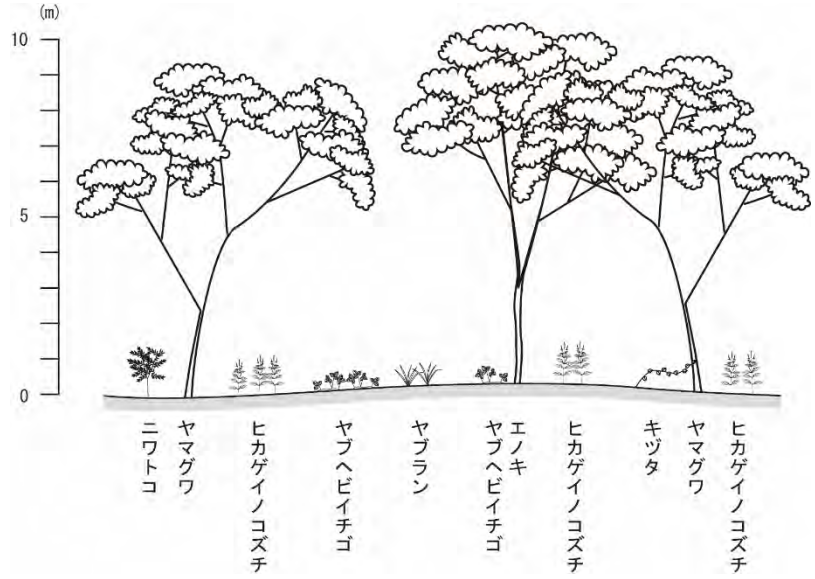
区分	常緑広葉樹林
群落名	ヤマグワ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	5～9
出現種数（平均）	19～33（26.0）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：エノキ、ヤマグワ Ⅲ：ヤマグワ、アズマネザサ Ⅳ：ヒカゲイノコズチ、ヤブヘビイチゴ、カラスウリ、キヅタ、 ヤブラン、ケチヂミザサ、コチヂミザサ
概況	ヤマグワが優占する落葉広葉樹林。林床には、アズマネザサ、ヒカゲイノコズチ、ヤブヘビイチゴ、カラスウリ等の雑木林の林床や林縁によくみられる種が生育していた。谷津奥部の耕作地跡等に成立していた。
植生調査地点 No.	77、93
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(8)　植物群落及び土地利用の概況

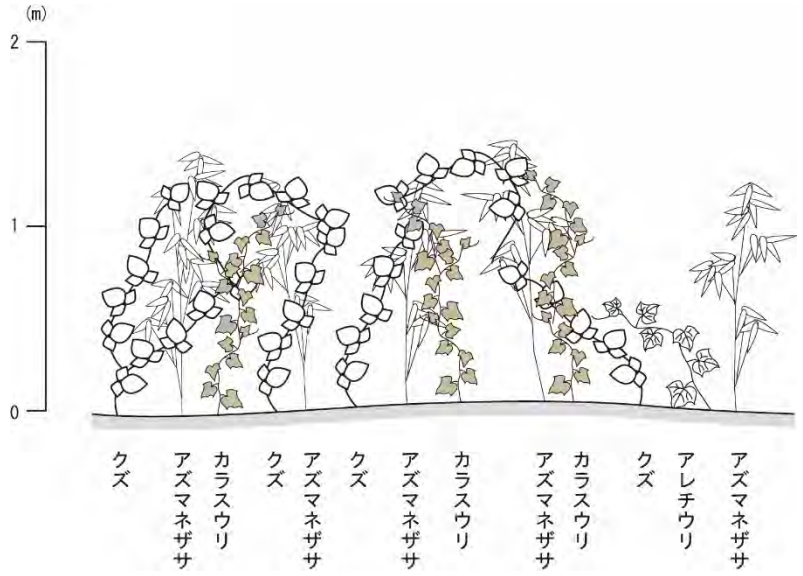
区分	乾性草本群落
群落名	クズ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.8～2
出現種数（平均）	3～10（5.2）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：カナムグラ、<u>クズ</u>、アレチウリ、カラスウリ、 セイタカアワダチ<u>ソウ</u>、アズマネザサ
概況	つる植物のクズが優占する群落。セイタカアワダチソウやアズマネザサ等の他の植物を高被度でクズが覆っていた。また、カナムグラ、アレチウリ、カラスウリ等の他のつる植物を伴う群落もみられた。放棄された耕作地や林縁部等にみられた。
植生調査地点 No.	1、49、56、70、89、172
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(9)　植物群落及び土地利用の概況

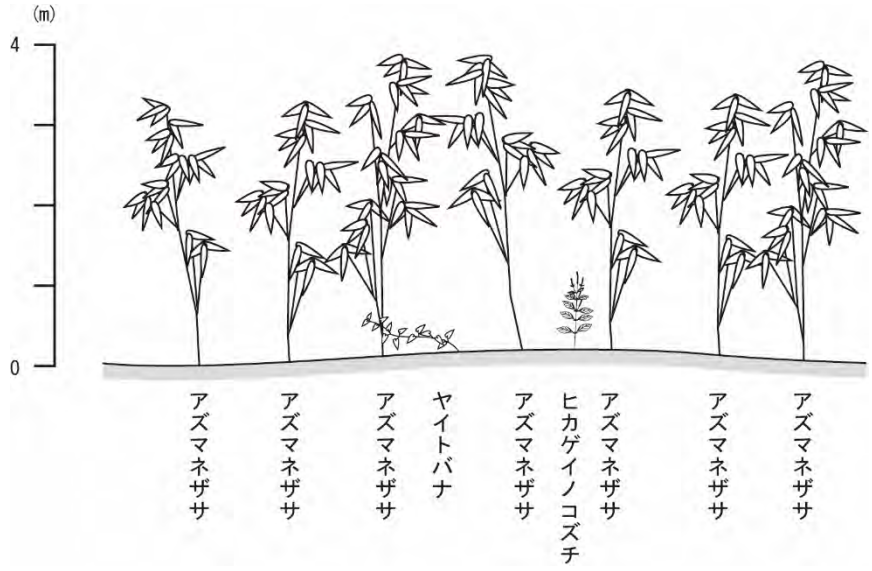
区分	乾性草本群落
群落名	アズマネザサ群落
階層構造	Ⅱ・Ⅳ
植生高（m）	2～5
出現種数（平均）	4～11（7.1）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅱ：アズマネザサ Ⅳ：ドクダミ、ヤブマメ、クズ、カラスウリ、ケチヂミザサ、 アズマネザサ
概況	アズマネザサが高密度で生育するササ群落。アズマネザサが密生しているため、他の植物が極めて乏しいか、被度が極端に低い状態であった。放棄された耕作地や林縁部等にみられた。
植生調査地点 No.	8、74、80、101、123、127、158、179
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(10)　植物群落及び土地利用の概況

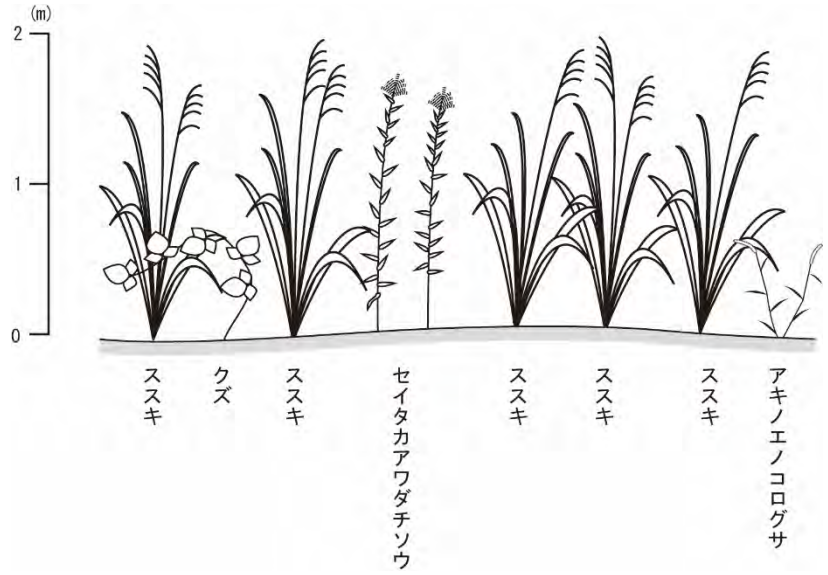
区分	乾性草本群落
群落名	ススキ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1.7～2
出現種数（平均）	5～9（7.0）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：クズ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、ススキ、アキノエノコログサ
概況	ススキが優占する群落。ススキの他に、クズ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、アキノエノコログサ等が生育していた。耕作地周辺等にみられた。
植生調査地点 No.	22、28、29、54
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(11)　植物群落及び土地利用の概況

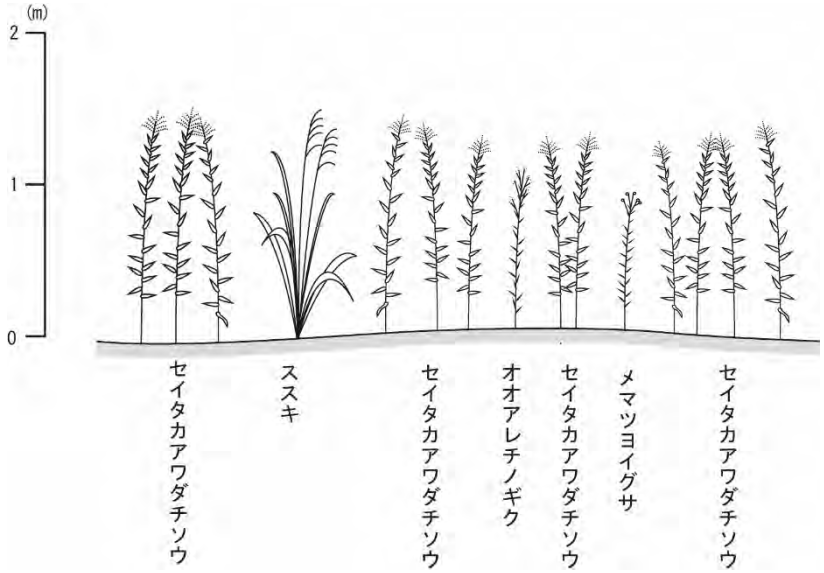
区分	乾性草本群落
群落名	セイタカアワダチソウ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1.5～2.5
出現種数（平均）	4～13（7.9）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：イヌタデ、クズ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、メヒシバ、 カモジグサ、オギ、アキノエノコログサ
概況	外来種のセイタカアワダチソウが優占する群落。耕作放棄地や荒地等に成立していた。
植生調査地点 No.	9、16、30、50、106、132、136、145、153、181、185
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(12)　植物群落及び土地利用の概況

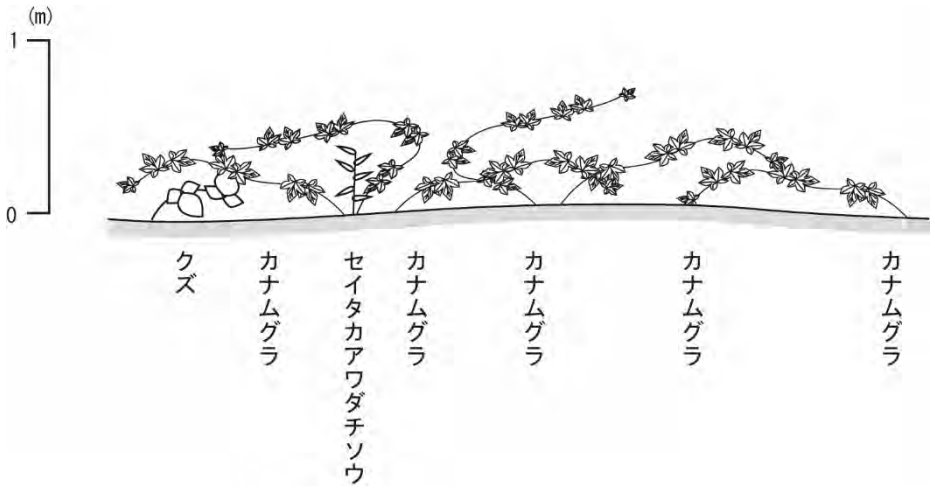
区分	乾性草本群落
群落名	カナムグラ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.5～1
出現種数（平均）	2～6（3.5）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：カナムグラ、ノイバラ、クズ、カモガヤ
概況	つる植物のカナムグラが優占する群落。クズ群落と同様に、他の植物が極めて乏しいか、被度が極端に低い状態であった。耕作放棄地や荒地等に成立していた。
植生調査地点 No.	12、59、119、180
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(13)　植物群落及び土地利用の概況

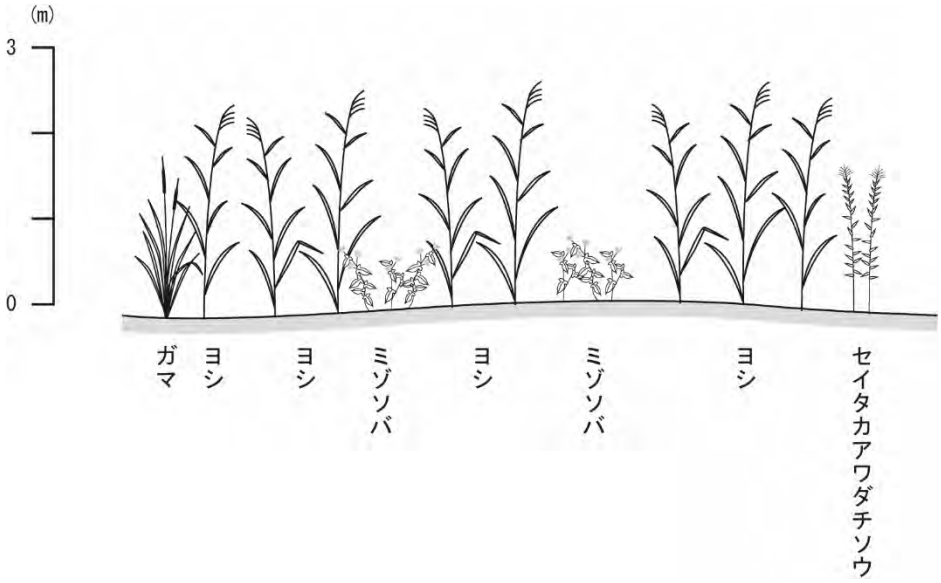
区分	湿性草本群落
群落名	ヨシ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1.7～3
出現種数（平均）	2～12（7.2）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ヒメシダ、ミゾソバ、ヒカゲイノコズチ、ドクダミ、ヒメジソ、 セリ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウ、コブナグサ、ヨシ
概況	ヨシが優占する群落。ヒメシダ、ミゾソバ、セリ、コブナグサ等の湿った環境に生育する植物を伴っていた。耕作放棄地や、河川沿い等の過湿な環境に成立していた。
植生調査地点 No.	4、17、47、58、65、88、105、130、137、148、154、156、186
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(14)　植物群落及び土地利用の概況

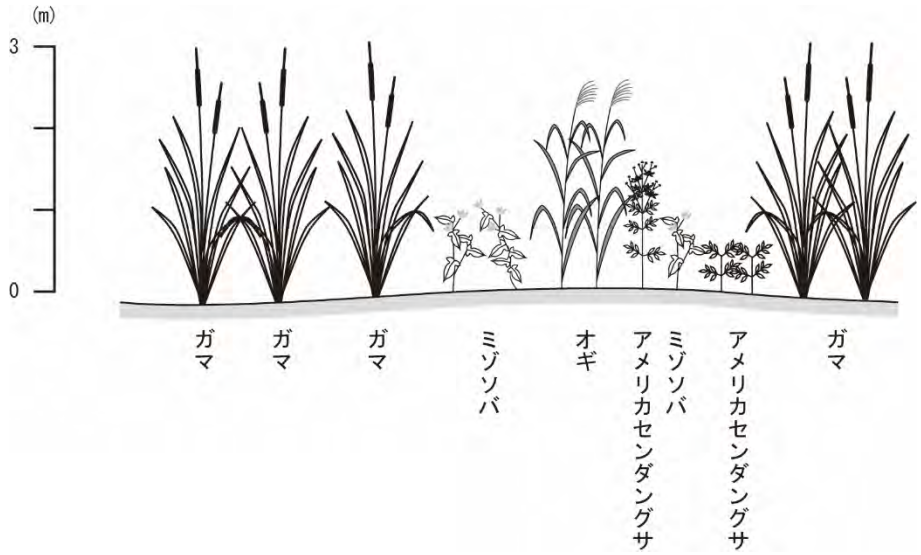
区分	湿性草本群落
群落名	ガマ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1.7～3
出現種数（平均）	6～8（7.3）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ヤナギタデ、ミゾソバ、アカバナ、セイタカアワダチソウ、イ、 ヌカキビ、ガマ、ホタルイ
概況	ガマが優占する群落。ヤナギタデ、ミゾソバ、ヌカキビ、ホタルイ等の湿った環境に生育する植物を伴っていた。耕作放棄地やため池周辺、河川周辺といった過湿な環境に成立していた。
植生調査地点 No.	55、64、126
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(15)　植物群落及び土地利用の概況

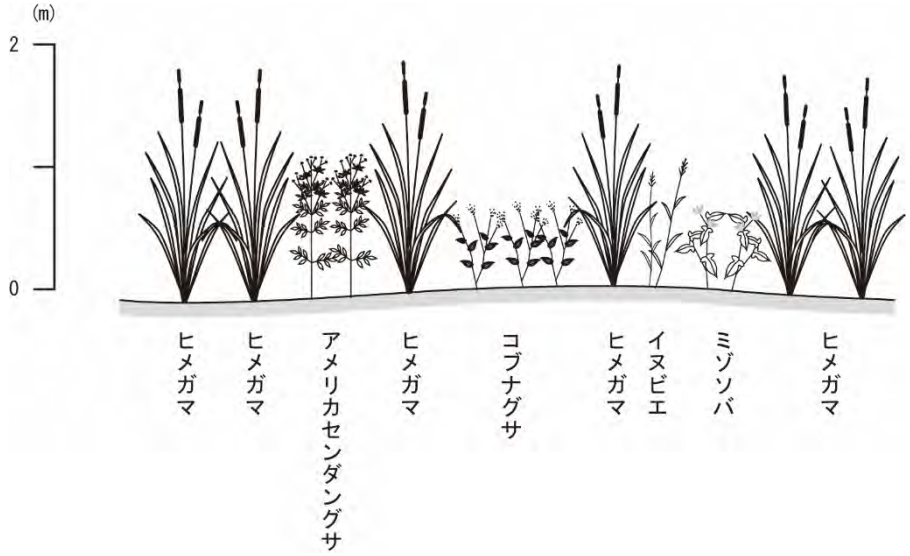
区分	湿性草本群落
群落名	ヒメガマ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1.8～2
出現種数（平均）	7～11（9.3）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ミゾソバ、アメリカセンダングサ、コブナグサ、イヌビエ、 チゴザサ、アシボソ、ヒメガマ
概況	ヒメガマが優占する群落。ミゾソバ、コブナグサ、イヌビエ、チゴザサ等の湿った環境に生育する植物を伴っていた。ガマ群落と同様に、耕作放棄地やため池周辺、河川周辺といった過湿な環境に成立していた。
植生調査地点 No.	33、103、111
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(16)　植物群落及び土地利用の概況

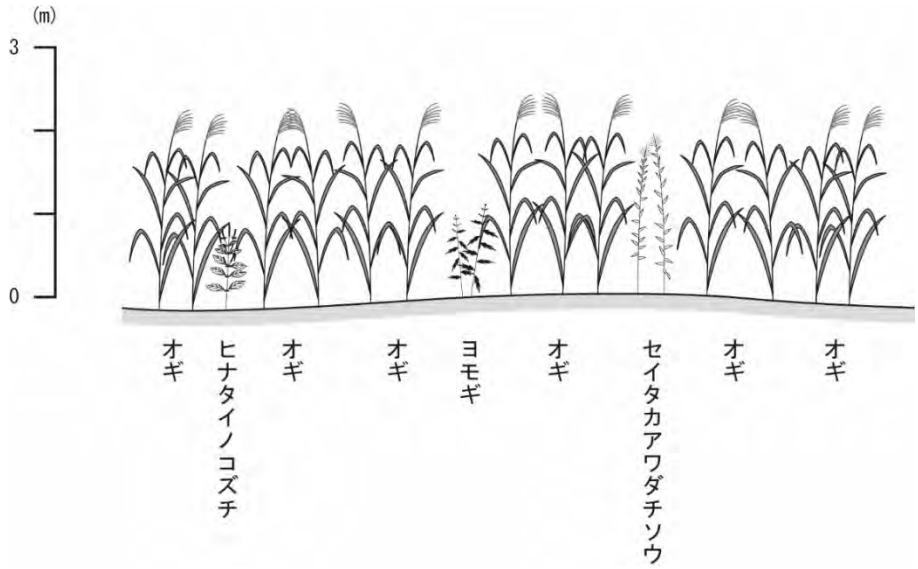
区分	湿性草本群落
群落名	オギ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.8～3
出現種数（平均）	3～7（4.9）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ヒナタイノコズチ、ドクダミ、ヤブマメ、ヤイトバナ、ヨモギ、 セイタカアワダチソウ、オギ
概況	オギが優占する群落。ヒナタイノコズチ、ドクダミ、ヤブマメ、ヨモギ、ヤイトバナ等が生育していた。耕作放棄地等のやや湿った環境に成立していた。
植生調査地点 No.	3、84、100、122、124、125、157、166
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(17)　植物群落及び土地利用の概況

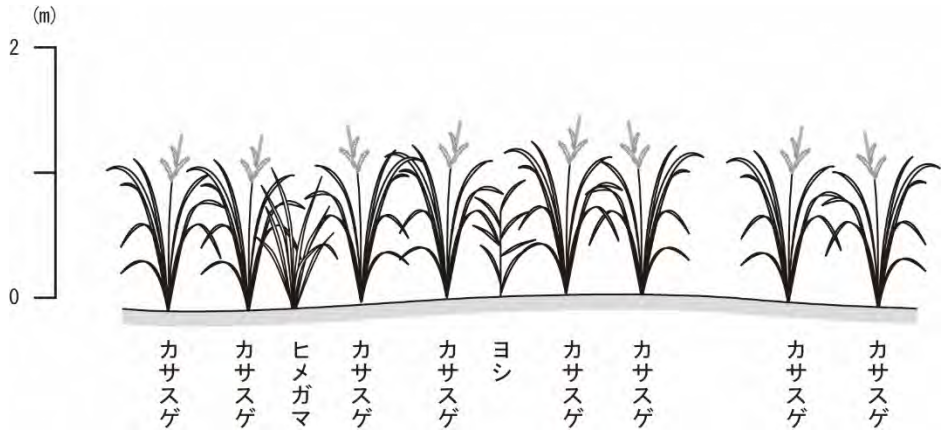
区分	湿性草本群落
群落名	カサスゲ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1～1.2
出現種数（平均）	4～5（4.5）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ミゾソバ、フジ、ヨシ、ヒメガマ、カサスゲ
概況	カサスゲが優占する群落。カサスゲが密生しているため、他の植物が極めて乏しい状態であった。放棄された谷津田跡等に成立していた。
植生調査地点 No.	57、66
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(18)　植物群落及び土地利用の概況

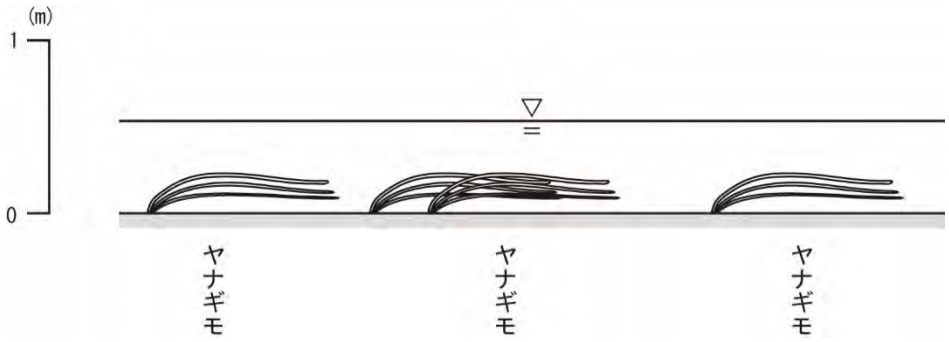
区分	沈水植物群落
群落名	ヤナギモ群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.2
出現種数（平均）	1
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ヤナギモ
概況	沈水植物のヤナギモが優占する群落で、ヤナギモ 1 種から成り立っていた。高谷川やその支流の農業用水路内に成立していた。
植生調査地点 No.	169
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(19)　植物群落及び土地利用の概況

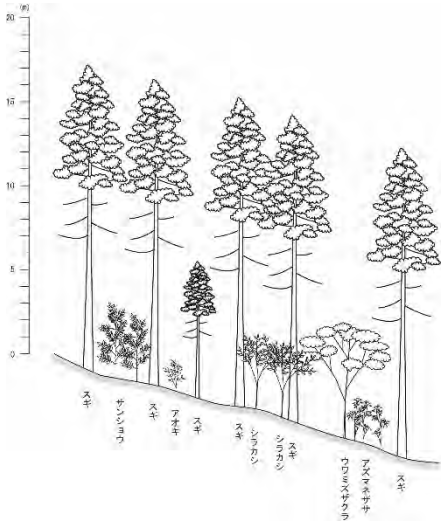
区分	人工林等
群落名	スギ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	13～25
出現種数（平均）	10～49（29.6）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、ヒノキ、シラカシ、コナラ Ⅱ：スギ、ヒノキ、シラカシ、コナラ、ムクノキ、フジ、ツタウルシ Ⅲ：スギ、ヒノキ、スダジイ、シラカシ、シロダモ、ヒサカキ、サンショウ、アオキ、テイカカズラ、ムラサキシキブ、アズマネザサ Ⅳ：リョウメンシダ、ベニシダ、イノデ、フユイチゴ、アオキ、キヅタ、テイカカズラ、ナガバジャノヒゲ、ヤブミョウガ、コチヂミザサ、アズマネザサ
概況	植栽されたスギが優占する人工林。スギの他に、ヒノキ、シラカシ、コナラ、ムクノキ等が混在する林分もみられた。また、林床はヒサカキ、アオキ等の低木や、リョウメンシダ、キヅタ、テイカカズラ、コチヂミザサ等の植物が生育していた。また、一部の林分は、林床にアズマネザサが密生していた。谷津斜面や台地の平坦地等に広がって成立していた。
植生調査地点 No.	11、13、19、31、38、67、72、79、83、92、95、96、99、112、115、128、131、140、141、147、152、155、161、163、175、176、190
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(20)　植物群落及び土地利用の概況

区分	人工林等
群落名	ヒノキ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	10～21
出現種数（平均）	16～59（33.0）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、ヒノキ、サワラ Ⅱ：ヒノキ、テイカカズラ Ⅲ：シロダモ、ヒサカキ、アオキ、ウツギ、ムラサキシキブ、クサギ、アズマネザサ Ⅳ：ベニシダ、ミゾシダ、ムクノキ、ミズヒキ、ヒカゲイノコズチ、ドクダミ、アオキ、ヤブコウジ、テイカカズラ、ヤブラン、ナガバジャノヒゲ、コチヂミザサ、アズマネザサ
概況	植栽されたヒノキが優占する人工林。ヒノキの他に、スギ、サワラ等が混在する林分もみられた。また、林床はシロダモ、ヒサカキ、アオキ等の低木や、ベニシダ、ヤブコウジ、テイカカズラ、ヤブラン、コチヂミザサ等の植物が生育していた。谷津斜面や台地の平坦地等に広がって成立していた。
植生調査地点 No.	51、114、120、139、170
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(21)　植物群落及び土地利用の概況

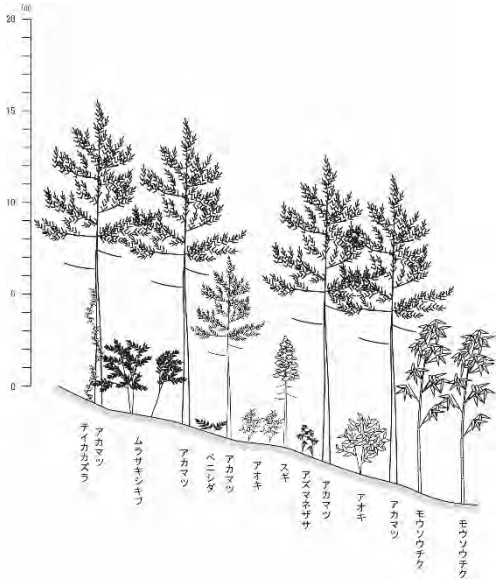
区分	人工林等
群落名	アカマツ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	18
出現種数（平均）	37
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：アカマツ Ⅱ：アカマツ、シラカシ、テイカカズラ、モウソウチク Ⅲ：スギ、キブシ、アオキ、キヅタ、ムラサキシキブ Ⅳ：ベニシダ、ミツバアケビ、アオキ、アズマネザサ
概況	植栽されたアカマツが優占する群落である。アカマツの他に、シラカシ、モウソウチクが混生していた。林内は明るく、低木層にムラサキシキブ、スギ、キヅタ、アオキ、キブシ等の低木が比較的高被度で生育していた。林床にはベニシダ、ミツバアケビ、アオキ、ニワトコといった植物が生育していた。谷津斜面に小面積で成立していた。
植生調査地点 No.	159
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(22)　植物群落及び土地利用の概況

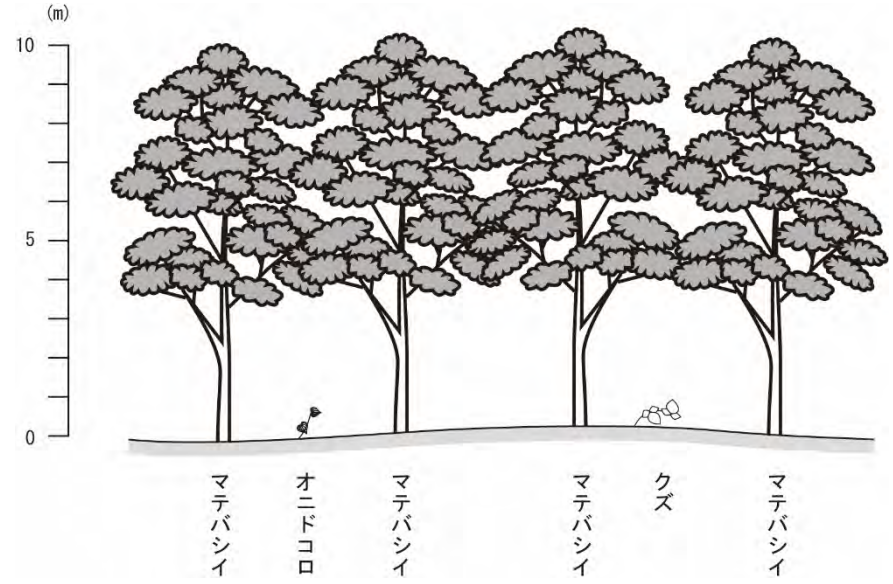
区分	人工林等
群落名	その他植林（マテバシイ植林、ケヤキ植林で植生調査を実施）
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	8～10
出現種数（平均）	4～34（19.0）
主な構成種 （下線は優占種）	（マテバシイ植林） Ⅰ：マテバシイ Ⅳ：マテバシイ、ヤマグワ、クズ、オニドコロ （ケヤキ植林） Ⅰ：ケヤキ Ⅱ：イヌシデ、ケヤキ、テイカカズラ Ⅲ：ムクノキ、テイカカズラ、ニワトコ Ⅳ：テイカカズラ、ケチヂミザサ、アズマネザサ
概況	植林由来の様々な樹木からなる樹林群落。空港脇のマテバシイ植林や、耕作地でケヤキ植林等がみられた。
植生調査地点 No.	26、177
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(23)　植物群落及び土地利用の概況

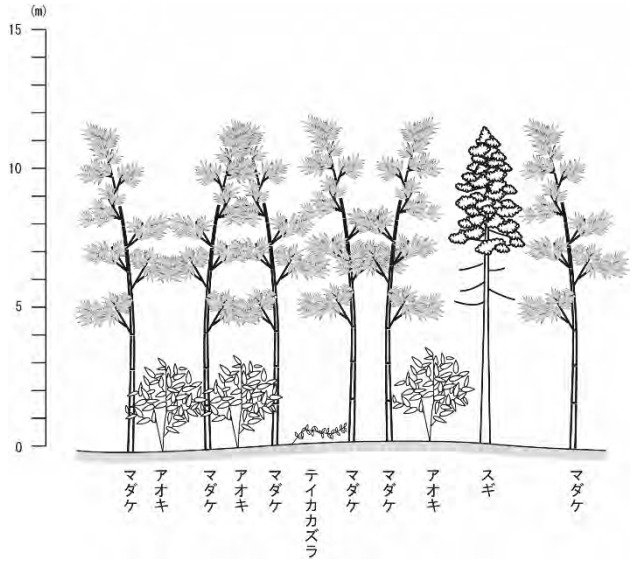
区分	人工林等
群落名	マダケ群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	7～14
出現種数（平均）	9～24（17.4）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、マダケ Ⅱ：シラカシ、ケヤキ、マダケ Ⅲ：ムクノキ、アオキ、ニワトコ、マダケ、アズマネザサ Ⅳ：ヒナタイノコズチ、ドクダミ、ヤブマメ、アマチャヅル、アオキ、キヅタ、ミツバ、テイカカズラ、ヤイトバナ、ヤブミョウガ
概況	植栽由来のマダケが優占する群落。耕作地に隣接した斜面等に成立し、コナラ群落やスギ群落等へと生育地を拡大している。多くのマダケ群落では管理作業が行われておらず、密生状態である他、枯れた稈が林内に散在しており、下層に生育している植物が貧弱な林分もみられた。
植生調査地点 No.	15、40、98、129、133、142、168
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(24)　植物群落及び土地利用の概況

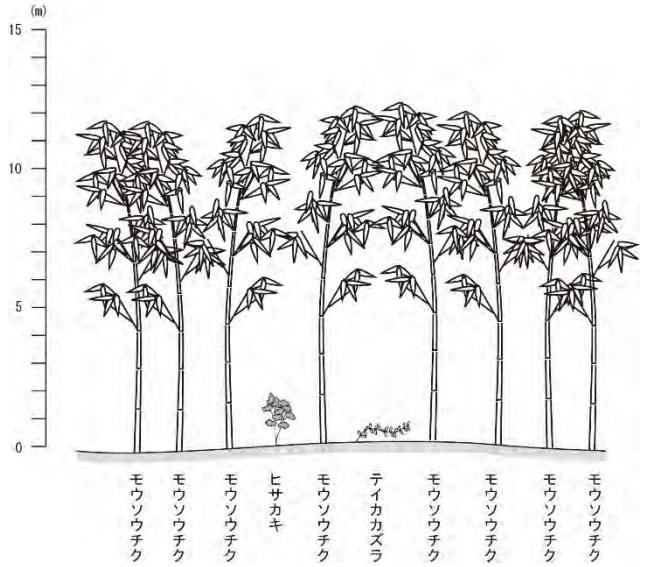
区分	人工林等
群落名	モウソウチク群落
階層構造	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
植生高（m）	11～18
出現種数（平均）	8～26（13.5）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅰ：スギ、シラカシ、エノキ、<u>モウソウチク</u> Ⅱ：シラカシ、モウソウチク Ⅲ：シラカシ、ムクノキ、コクサギ、ムラサキシキブ、モウソウチク Ⅳ：チャノキ、アオキ、キヅタ、テイカカズラ、ヤブミョウガ
概況	植栽由来のモウソウチクが優占する群落。耕作地に隣接した斜面等に成立し、コナラ群落やスギ群落等へと生育地を拡大している。タケノコの採取が実施されて林内が比較的空いてる林分の他、管理作業が行われておらずモウソウチクが密生状態の林分もみられた。また、林内が暗いため林床に生育している植物が少ない林分が多かった。
植生調査地点 No.	6、21、39、43、69、71、81、85、90、116、151、184
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(25)　植物群落及び土地利用の概況

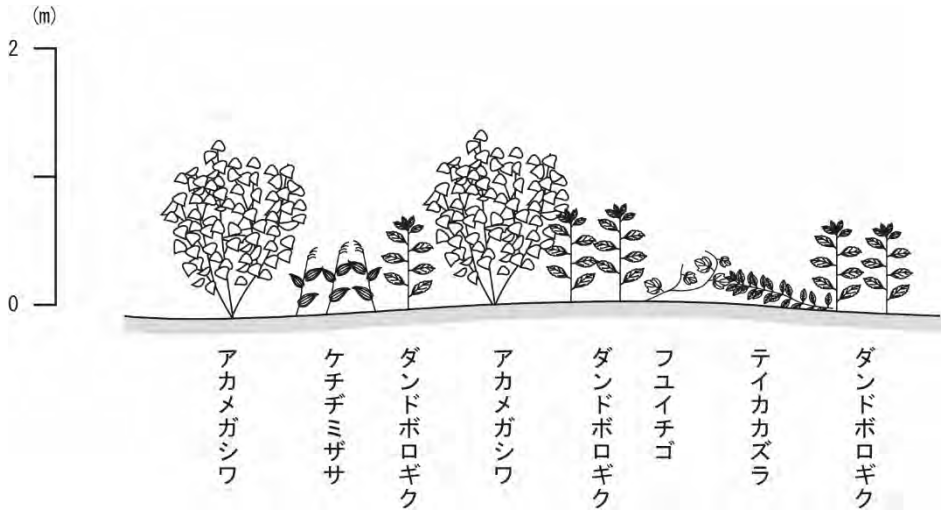
区分	人工林等
群落名	伐採跡地
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	1.2
出現種数（平均）	20
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：フユイチゴ、アカメガシワ、アオキ、テイカカズラ、 ダンドボロギク、ケチヂミザサ
概況	樹林を伐採した跡地に成立する群落。アカメガシワ、ダンドボロギク等の先駆性の植物や、フユイチゴ、アオキ、ケチヂミザサ等の樹林の林床にみられる植物が生育していた。スギやヒノキの植林周辺に小面積で成立していた。
植生調査地点 No.	113
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(26)　植物群落及び土地利用の概況

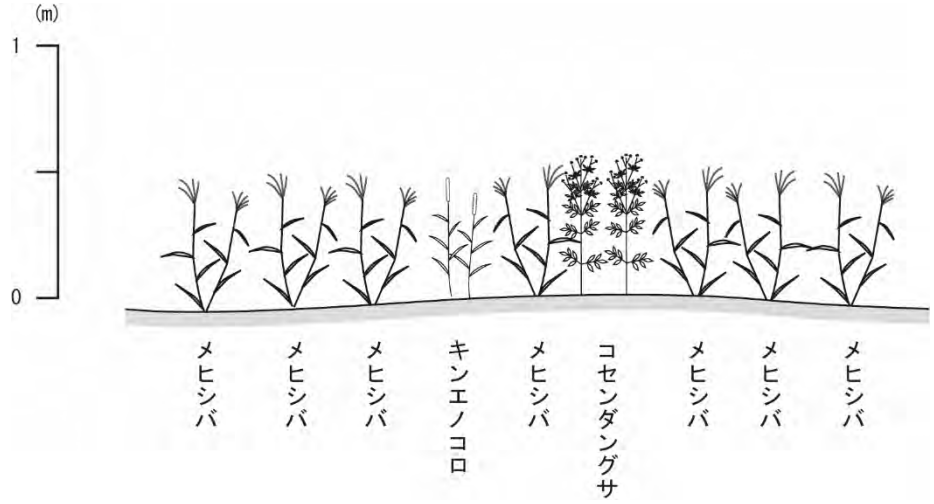
区分	耕作地等
群落名	放棄畑雑草群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.3～1.8
出現種数（平均）	6～11（8.1）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：スギナ、イヌタデ、エゾノギシギシ、イヌホオズキ、ヨモギ、 コセンダングサ、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、 セイタカアワダチソウ、ヒメジョオン、メヒシバ、チカラシバ、 キンエノコロ、エノコログサ
概況	畑が放棄されてからあまり時間が経過していない箇所にみられる群落。スギナ、イヌタデ、エゾノギシギシ、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、メヒシバ、チカラシバ、エノコログサといった畑周辺や荒地等に生育する植物が生育していた。台地上の畑地周辺等に成立していた。
植生調査地点 No.	27、41、45、48、86、102、117、138、182
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(27)　植物群落及び土地利用の概況

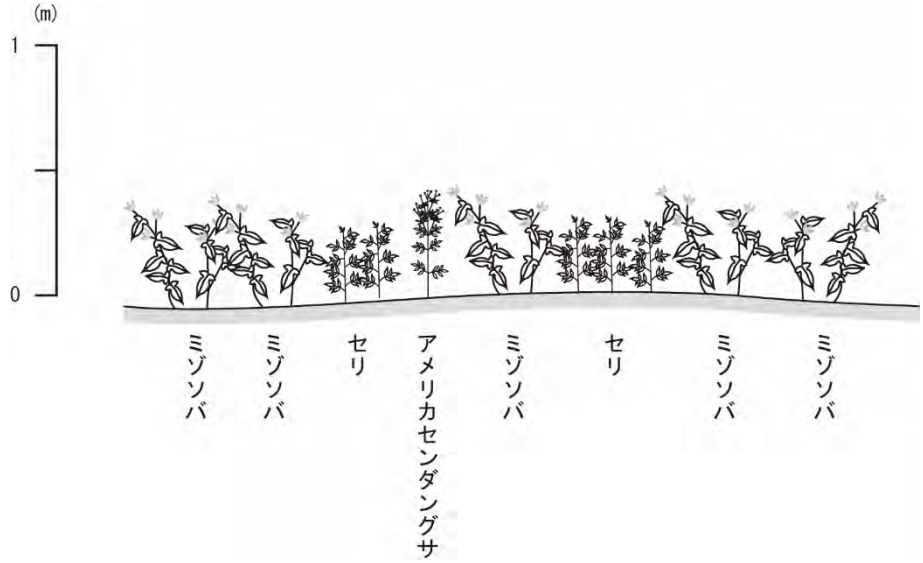
区分	耕作地等
群落名	放棄水田雑草群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.2～1.7
出現種数（平均）	3～18（10.0）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ミズニラ、ミゾソバ、ヒレタゴボウ、セリ、トキンソウ、コナギ、イ、イボクサ、イヌビエ、タイヌビエ、アシカキ、マコモ、ミクリ属の一種、ガマ、ヒナガヤツリ、ハリイ、ヒデリコ
概況	水田が放棄されてからあまり時間が経過していない箇所にみられる群落。ミゾソバ、セリ、コナギ、イボクサ、アシカキ、マコモ、ハリイ等の水田に生育する植物が生育していた。また、ミズニラ、ミクリ属の一種といった重要種が優占する群落もみられた。谷津の水田地帯等に成立していた。
植生調査地点 No.	32、35、78、82、87、108、109、118、162、173、183
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(28)　植物群落及び土地利用の概況

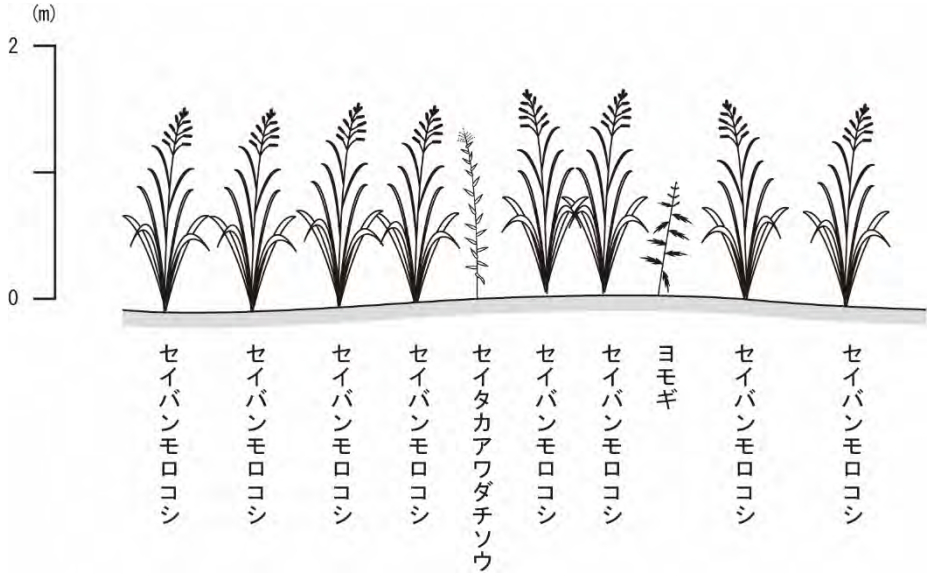
区分	耕作地等
群落名	路傍・空地雑草群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.2～2
出現種数（平均）	5～9（7.1）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：キツネノマゴ、オオバコ、ハルジオン、セイタカアワダチソウ、メヒシバ、オヒシバ、スズメノヒエ、チカラシバ、アキノエノコログサ、セイバンモロコシ
概況	路傍や空地にみられる群落。キツネノマゴ、オオバコ、メヒシバ、オヒシバといった路傍や畑地周辺にみられる植物や、ハルジオン、セイタカアワダチソウ、セイバンモロコシ等の外来種の生育が確認された。各所に成立していた。
植生調査地点 No.	14、24、25、34、61、107、144、165
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(29)　植物群落及び土地利用の概況

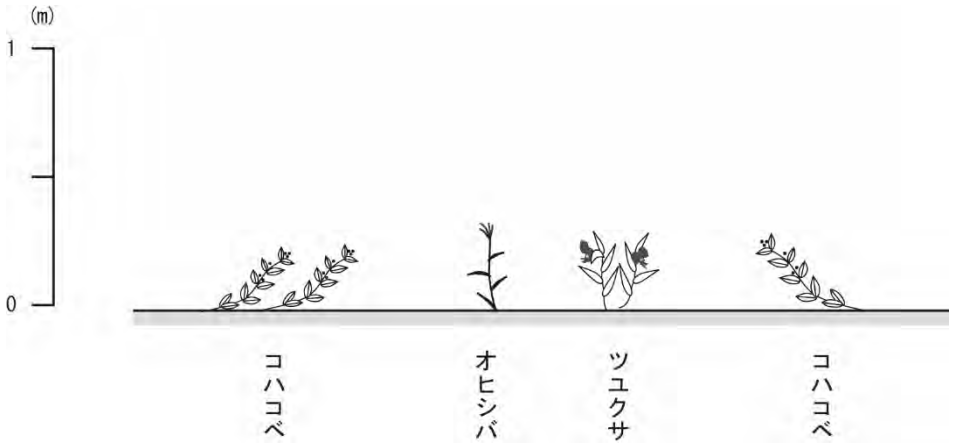
区分	耕作地等
群落名	畑雑草群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.3～0.5
出現種数（平均）	8～9（8.5）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：コハコベ、オッタチカタバミ、<u>オオイヌノフグリ</u>、ツユクサ、 オヒシバ
概況	畑に成立する雑草群落。
植生調査地点 No.	160、167
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(30)　植物群落及び土地利用の概況

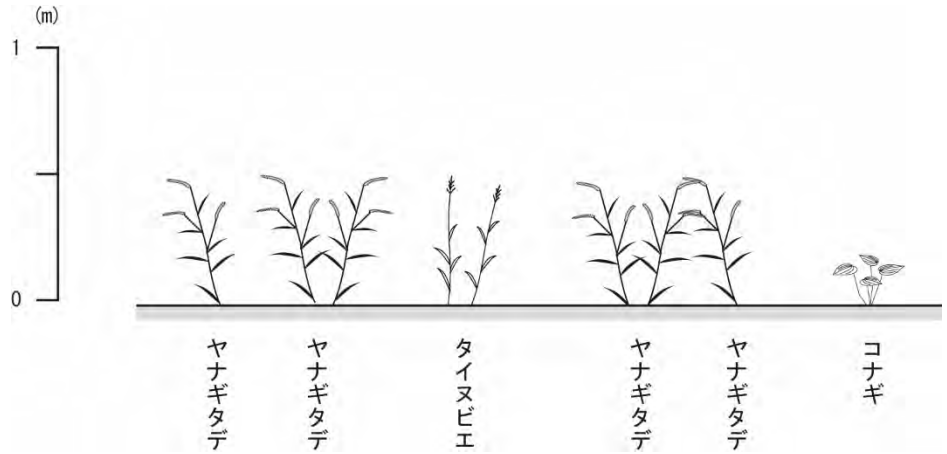
区分	耕作地等
群落名	水田雑草群落
階層構造	Ⅳ
植生高（m）	0.5～0.8
出現種数（平均）	4～9（6.5）
主な構成種 （下線は優占種）	Ⅳ：ヤナギタデ、ミゾソバ、オモダカ、コブナグサ、タイヌビエ、 クログワイ、サンカクイ
概況	水田に成立する雑草群落。
植生調査地点 No.	68、75、146、164
植生断面図	
植物群落の状況	

表 2.9.1-38(31)　植物群落及び土地利用の概況

区分	耕作地等
群落名	果樹園
階層構造	-
植生高（m）	-
出現種数（平均）	-
主な構成種	-
概況	ウメやクリ等が栽培されている果樹園。
植生調査地点 No.	
植生断面図	-
植物群落の状況	-

表 2.9.1-38(32)　植物群落及び土地利用の概況

区分	耕作地等
群落名	苗圃・植木畑
階層構造	-
植生高（m）	-
出現種数（平均）	-
主な構成種	-
概況	苗木や植木が栽培されている苗圃や植木畑。
植生調査地点 No.	
植生断面図	-
植物群落の状況	-

(7) 大径木・古木

1) 大径木・古木調査結果

大径木・古木調査結果は、表 2.9.1-39 に示すとおりである。

表 2.9.1-39(1)　大径木・古木調査結果

No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
1	ヤマザクラ	成田市小泉	82、54、49、39、38	16		6 本立（うち 2 本合着）
2	スダジイ	成田市小泉	96	15		
3	スギ	成田市小泉	105	20		
4	スギ	成田市小泉	119	20		
5	スダジイ	成田市小泉	168	12		
6	ツブラジイ	成田市小泉	111	7		第 6 回自然環境保全基礎調査対象、斜上、幹折れ、幹にコブ
7	スギ	成田市小泉	149	24		第 6 回自然環境保全基礎調査対象

表 2.9.1-39(2)　大径木・古木調査結果

No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
8	スギ	成田市小泉	130	26		第 6 回自然環境保全基礎調査対象
9	ヤマザクラ	成田市十余三	76、64、52	16		3 本立
10	スダジイ	成田市駒井野	100	13		斜上
11	ムクノキ	成田市駒井野	111	17		
12	ムクノキ	成田市駒井野	124	16		
13	シラカシ	成田市駒井野	56、36、34、14	13		4 又
14	ムクノキ	成田市駒井野	38、34、28	13		3 又
15	イチョウ	成田市駒井野	120	15		

表 2.9.1-39(3)　大径木・古木調査結果

No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
16	ヤマザクラ	成田市駒井野	87、45、27、7	16		斜上、4 本立
17	スダジイ	成田市駒井野	112	16		斜上
18	スダジイ	成田市駒井野	98、38	16		斜上、2 又
19	スダジイ	成田市駒井野	87、73	15		斜上、2 又
20	スダジイ	成田市駒井野	52、51	12		2 又
21	スダジイ	成田市駒井野	53、52、39、63、57、48	13		2 本立(それぞれ 3 又)
22	シラカシ	成田市駒井野	98	16		第 6 回自然環境保全基礎調査対象
23	スダジイ	成田市駒井野	53、48	14		2 又

表 2.9.1-39(4)　大径木・古木調査結果

No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
24	タブノキ	香取郡多古町一鍬田	107	7		頂部伐採
25	タブノキ	香取郡多古町一鍬田	143	7		頂部伐採
26	シラカシ	成田市取香	98	16		
27	タブノキ	成田市取香	139	21		第 6 回自然環境保全基礎調査対象
28	スダジイ	成田市取香	112	22		
29	スギ	成田市取香	102	18		
30	ケヤキ	成田市取香	108	23		第 6 回自然環境保全基礎調査対象
31	スダジイ	成田市取香	99	23		

表 2.9.1-39(5)　大径木・古木調査結果

No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
32	スギ	成田市取香	130	27		第 6 回自然環境保全基礎調査対象
33	スダジイ	山武郡芝山町菱田	107	14		
34	アカガシ	山武郡芝山町菱田	119	13		
35	エノキ	山武郡芝山町大里	55、40、37、36、30	14		5 本立
36	エノキ	山武郡芝山町大里	55、48、29	14		3 本立
37	タブノキ	山武郡芝山町菱田	47、38、38	12		3 本立
38	スダジイ	山武郡芝山町大里	125	15		斜上
39	スダジイ	山武郡芝山町大里	73、43	11		2 本立

表 2.9.1-39(6)　大径木・古木調査結果

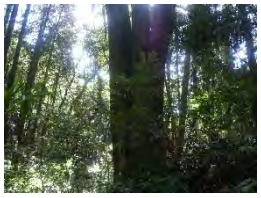
No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
40	スギ	山武郡芝山町大里	116	16		
41	シラカシ	山武郡芝山町大里	119	16		2 又
42	スダジイ	山武郡芝山町大里	118	14		
43	スダジイ	山武郡芝山町大里	149	20		
44	スダジイ	山武郡芝山町大里	49、49、41,41、41、36	11		6 本立
45	オオツクバネガシ	山武郡芝山町大里	115	15		
46	イヌマキ	山武郡芝山町大里	128	14		第 4 回･第 6 回自然環境保全基礎調査対象、芝山町指定天然記念物(普賢院の槙の木)、先枯れ、衰弱
47	イチョウ	山武郡芝山町大里	117	16		第 4 回･第 6 回自然環境保全基礎調査対象

表 2.9.1-39(7)　大径木・古木調査結果

No.	種名	確認地点	胸高直径（cm）	樹高（m）	状況	備考
48	スダジイ	山武郡芝山町岩山	98	14		
49	スギ	香取郡多古町五反田	135	19		
50	スギ	山武郡芝山町岩山	107	18		
51	スダジイ	山武郡芝山町岩山	119	14		
52	エノキ	山武郡芝山町岩山	58、52、47、42、35、35、35、23	14		斜上、9 本立ち(うち、2 本が合着)
53	ケヤキ	山武郡芝山町飯櫃	112	15		
54	スギ	山武郡芝山町飯櫃	150	18		
55	スダジイ	山武郡芝山町岩山	128	14		衰弱

2.9.2. 予測結果

(1) 維管束植物

表 2.9.2-1(1)　植物の重要な種（維管束植物）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数						100ha あたりの確認数					
		改変区域		非改変区域		消失率		改変区域		非改変区域		消失率	
		地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数
1	ミズニラ	6	554	9	435	40%	56%	0.52	47.77	0.48	23.03	52%	67%
2	ナガホノナツノハナワラビ			1	12	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.64	0%	0%
3	ナツノハナワラビ			1	1	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.05	0%	0%
4	ウチワゴケ			1	50	0%	0%	0.00	0.00	0.05	2.65	0%	0%
5	ヌリトラノオ	1	15			100%	100%	0.09	1.29	0.00	0.00	100%	100%
6	オニカナワラビ	1	1			100%	100%	0.09	0.09	0.00	0.00	100%	100%
7	イワヘゴ	2	7			100%	100%	0.17	0.60	0.00	0.00	100%	100%
8	ツクシイワヘゴ			2	109	0%	0%	0.00	0.00	0.11	5.77	0%	0%
9	オオクジャクシダ			1	25	0%	0%	0.00	0.00	0.05	1.32	0%	0%
10	イワシロイノデ	1	1			100%	100%	0.09	0.09	0.00	0.00	100%	100%
11	ヒカゲワラビ	1	7			100%	100%	0.09	0.60	0.00	0.00	100%	100%
12	オニヒカゲワラビ	2	5	1	30	67%	14%	0.17	0.43	0.05	1.59	77%	21%
13	サンショウモ	1	500			100%	100%	0.09	43.11	0.00	0.00	100%	100%
14	オニグルミ	5	9	5	5	50%	64%	0.43	0.78	0.26	0.26	62%	75%
15	オノエヤナギ	3	12	4	9	43%	57%	0.26	1.03	0.21	0.48	55%	68%
16	コゴメヤナギ	1	5			100%	100%	0.09	0.43	0.00	0.00	100%	100%
17	キツネヤナギ			1	1	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.05	0%	0%
18	オオツクバネガシ			3	4	0%	0%	0.00	0.00	0.16	0.21	0%	0%
19	マツブサ			3	5	0%	0%	0.00	0.00	0.16	0.26	0%	0%
20	アブラチャン	1	25	1	3	50%	89%	0.09	2.16	0.05	0.16	62%	93%
21	カザグルマ			1	4	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.21	0%	0%
22	イカリソウ	38	174	30	235	56%	43%	3.28	15.00	1.59	12.44	67%	55%
23	コイヌガラシ			2	72	0%	0%	0.00	0.00	0.11	3.81	0%	0%
24	タコノアシ	7	19	6	230	54%	8%	0.60	1.64	0.32	12.17	66%	12%

表 2.9.2-1(2)　植物の重要な種（維管束植物）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数						100ha あたりの確認数					
		改変区域		非改変区域		消失率		改変区域		非改変区域		消失率	
		地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数
25	タチゲヒメヘビイチゴ	4	463			100%	100%	0.34	39.92	0.00	0.00	100%	100%
26	ナガボノシロワレモコウ			1	3	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.16	0%	0%
27	ホドイモ	2	16	7	29	22%	36%	0.17	1.38	0.37	1.54	32%	47%
28	マキエハギ	1	3			100%	100%	0.09	0.26	0.00	0.00	100%	100%
29	イヌエンジュ	4	9	6	12	40%	43%	0.34	0.78	0.32	0.64	52%	55%
30	エゾタチカタバミ			2	35	0%	0%	0.00	0.00	0.11	1.85	0%	0%
31	クロウメモドキ	1	1			100%	100%	0.09	0.09	0.00	0.00	100%	100%
32	ウスゲチョウジタデ	10	181	3	58	77%	76%	0.86	15.61	0.16	3.07	84%	84%
33	トチバニンジン			1	173	0%	0%	0.00	0.00	0.05	9.16	0%	0%
34	ムカゴニンジン	1	12			100%	100%	0.09	1.03	0.00	0.00	100%	100%
35	ヒメナミキ	1	100			100%	100%	0.09	8.62	0.00	0.00	100%	100%
36	マルバサワトウガラシ			2	3	0%	0%	0.00	0.00	0.11	0.16	0%	0%
37	アブノメ	2	11			100%	100%	0.17	0.95	0.00	0.00	100%	100%
38	シソクサ	8	60	5	36	62%	63%	0.69	5.17	0.26	1.91	72%	73%
39	カワヂシャ	2	202	5	14	29%	94%	0.17	17.42	0.26	0.74	39%	96%
40	オオツクバネウツギ			1	8	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.42	0%	0%
41	タカアザミ	3	3	1	5	75%	38%	0.26	0.26	0.05	0.26	83%	49%
42	ノニガナ			1	57	0%	0%	0.00	0.00	0.05	3.02	0%	0%
43	ヤナギモ	3	25	2	35	60%	42%	0.26	2.16	0.11	1.85	71%	54%
44	ヤマジノホトトギス	1	15			100%	100%	0.09	1.29	0.00	0.00	100%	100%
45	ヤマスズメノヒエ	1	5	4	15	20%	25%	0.09	0.43	0.21	0.79	29%	35%
46	ニッポンイヌノヒゲ	1	3			100%	100%	0.09	0.26	0.00	0.00	100%	100%
47	ヒメウキガヤ	7	850	1	300	88%	74%	0.60	73.29	0.05	15.88	92%	82%
48	ムサシアブミ			1	75	0%	0%	0.00	0.00	0.05	3.97	0%	0%
49	ミクリ属の一種	3	1360	4	1101	43%	55%	0.26	117.27	0.21	58.28	55%	67%
50	ミヤマシラスゲ	1	200	1	200	50%	50%	0.09	17.25	0.05	10.59	62%	62%

表 2.9.2-1(3)　植物の重要な種（維管束植物）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数						100ha あたりの確認数					
		改変区域		非改変区域		消失率		改変区域		非改変区域		消失率	
		地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数	地点数	株数
51	タガネソウ	8	602	12	848	40%	42%	0.69	51.91	0.64	44.89	52%	54%
52	コシカクイ	1	5			100%	100%	0.09	0.43	0.00	0.00	100%	100%
53	エビネ	8	57	4	27	67%	68%	0.69	4.91	0.21	1.43	77%	77%
54	ギンラン	4	8	3	76	57%	10%	0.34	0.69	0.16	4.02	68%	15%
55	キンラン	47	232	58	211	45%	52%	4.05	20.00	3.07	11.17	57%	64%
56	ササバギンラン	22	67	26	68	46%	50%	1.90	5.78	1.38	3.60	58%	62%
57	サイハイラン	2	12	7	21	22%	36%	0.17	1.03	0.37	1.11	32%	48%
58	マヤラン	1	2	1	1	50%	67%	0.09	0.17	0.05	0.05	62%	77%
59	クマガイソウ	2	4			100%	100%	0.17	0.34	0.00	0.00	100%	100%
60	クロヤツシロラン	11	233	6	61	65%	79%	0.95	20.09	0.32	3.23	75%	86%
61	ミヤマウズラ	6	27	7	87	46%	24%	0.52	2.33	0.37	4.61	58%	34%
62	クロムヨウラン			1	8	0%	0%	0.00	0.00	0.05	0.42	0%	0%
63	クモキリソウ	1	1			100%	100%	0.09	0.09	0.00	0.00	100%	100%
64	ヨウラクラン	15	418	14	151	52%	73%	1.29	36.04	0.74	7.99	64%	82%

表 2.9.2-2　植物の重要な種（ミズニラ）の予測結果

種名（和名）		ミズニラ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	水生。塊茎の直径 2～3cm。葉は 2～3cm、4 稜のある円柱状で、先端はしだい細くなる。基部は広がって全体は白く、卵状三角形の小舌がある。胞子は、大胞子と小胞子を生じる。沼地や水田、湿地に生育。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内では、かつては水田雑草として広く分布していたが、圃場整備や富栄養化の影響で、急速に生育場所が減ってきている。
確認状況		夏季および秋季の調査において、調査区域 A で 35 株、調査区域 B で 1 株、調査区域 C で 953 株を水田やその周辺などで確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 15 地点 989 株を確認した。このうち 6 地点 554 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、確認地点のうち 9 地点 435 株は残存するほか、本種は調査地域の水田やその周辺に広く分布していることから、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-3　植物の重要な種（ナガホノナツノハナワラビ）の予測結果

種名（和名）		ナガホノナツノハナワラビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	夏緑性。ナツノハナワラビに似たハナワラビ。栄養葉は 2～3 回羽状深裂、小羽片の基部の破片は羽軸に流れて翼になる。胞子葉は穂状で細長く、2 回羽状で羽片が密につく。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	ナツノハナワラビに比べて、房総丘陵における分布は少ない。県北部のスギ林床に生育。生育地での個体数は少ない。ナツノハナワラビと混生している生育地もある。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 12 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 12 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-4　植物の重要な種（ナツノハナワラビ）の予測結果

種名（和名）		ナツノハナワラビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	夏緑性。根茎は肉質で円柱状、短く直立。肉質の根を多数生じる。葉は年に 1 枚出す。草丈は 25～70cm。担葉体は葉の半分の長さ。栄養葉は無柄で 3 出葉、3～4 回羽状複葉、軟らかい草質、淡い緑色。胞子葉は葉身の基部から分岐、胞子穂は狭三角状で円錐花序的に 3～4 回羽状に分岐。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	房総丘陵から下総台地のかけての、やや湿った林の林床に、やや稀に分布。オオハナワラビ、フユノハナワラビのように大きな群落をつくらない。それぞれの生育地では 5～20 個体がみられる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 1 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 1 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-5　植物の重要な種（ウチワゴケ）の予測結果

種名（和名）		ウチワゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。根茎は糸状で長く這い、黒褐色の毛が密に生じる。葉身は 0.5～1.5cm、扇状で縁は不規則に切れ込む。胞子嚢群は裂片の先につき包膜はコップ状で縁は広がっている。山地林下の日陰で湿った岩上や樹幹に着生している。
	分布	北海道、本州、四国、九州、琉球、小笠原。
	千葉県内の状況	現在、主に県中部から南部にかけての林内に生育が確認されているが、林の伐採による乾燥など環境の変化により減少しつつある。
確認状況		秋季の調査において、区域 C でオオツクバネガシの樹幹に着生している 50 株の生育が確認された。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林の着生を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 50 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-6　植物の重要な種（ヌリトラノオ）の予測結果

種名（和名）		ヌリトラノオ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。葉身は披針形で単羽状、全長 15～30cm 叢生する。葉柄・葉軸は光沢のある紫褐色で和名もこれに基づいている。葉軸の先端に無性芽をつける。
	分布	本州（茨城県以西）、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	2008 年 12 月に佐倉市で発見された。スギの林床で根元の土に直径 50cm 程の範囲で生育していた。北限は茨城県御前山村相川であるが、千葉県ではこれまで未発見であった。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C でスギの樹幹に着生している 15 株を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 15 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-7　植物の重要な種（オニカナワラビ）の予測結果

種名（和名）		オニカナワラビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。根茎は短く這う。葉は大きく 60～80cm に達し、葉面は金属状の光沢を有する。羽片は 4～6 対あり、頂羽片にならず次第に短くなる。独立種説を採ることが多いが、変種として扱うこともある。
	分布	本州（秋田県以南）、四国、九州。
	千葉県内の状況	北部の下総台地から上総、安房と県全域に亘って分布するが下総台地にやや偏って分布している傾向がある。丘陵地の少し乾いた斜面や林床に生育する。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 1 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 1 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-8　植物の重要な種（イワヘゴ）の予測結果

種名（和名）		イワヘゴ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。根茎は塊状。束生する葉は 80cm ほどになる。葉身は単羽状。羽片は 20～30 対。最下部の羽片は中部の羽片の 1/2 ほどに短くなる。葉柄の鱗片は黒褐色で辺縁にまばらではあるが顕著な突起がある。丘陵地、山地の林床に生育する。
	分布	本州（関東以西）、四国、九州（大分）。
	千葉県内の状況	丘陵地、山地の林床に生育する。下総台地と清澄山系に分布の拠点があり、その間の上総地域にも点々とみられるが少ない。多古町喜多のような林床の斜面に大群落をつくるところもある。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 7 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 7 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-9　植物の重要な種（ツクシイワヘゴ）の予測結果

種名（和名）		ツクシイワヘゴ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。イワヘゴに似るが羽片は 15～20 対と少ない。またイワヘゴのように下部羽片が縮小することはない。包膜の発達が悪く見えにくい事も本種の特徴である。丘陵の林床に生育する。
	分布	本州（千葉県以西の太平洋岸。日本海側は、山形県、石川県、中国地方）、九州。
	千葉県内の状況	清澄山系ほか、近年、下総台地において確認されている。県内ではスギ林下に生え、佐倉市の産地は市街地のスギ林下にある。旧山武町麻生、多古町林、旧小見川町油田にも大きな群落が見られる。
確認状況		秋季および春季の調査において、調査区域 C で 109 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 109 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-10　植物の重要な種（オオクジャクシダ）の予測結果

種名（和名）		オオクジャクシダ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。単羽状葉。ツクシオオクジャクに類似しているが、小羽片の側脈は 3～4 対（ツクシオオクジャクは 2～3 対）。ツクシオオクジャクの胞子嚢群は、より辺縁寄りにつく。山地林の湿った林床に生育する。
	分布	北海道（奥尻島）、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県南部では沢沿いのスギ林 2 から 3 ヶ所で見られ、生育状況は良好である。県北部では、平坦なスギ林下に見られ、やや小形である。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 25 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 25 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-11　植物の重要な種（イワシロイノデ）の予測結果

種名（和名）		イワシロイノデ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。葉柄、葉軸につく鱗片は卵状披針形～披針形でツヤナシイノデのものに比べて幅狭く、やや疎らにつく。
	分布	北海道、本州（中部以北）。
	千葉県内の状況	県北部のスギ林に複数の産地が知られるが、個体数は少ない。近年消滅する個体が相次ぎ、急減している。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C で 1 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 1 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-12　植物の重要な種（ヒカゲワラビ）の予測結果

種名（和名）		ヒカゲワラビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	夏緑性。県内では冬でも枯れないこともある。根茎は短く横走。葉は、普通は 60～80cm。葉柄基部に披針形で、汚褐色の全縁の鱗片をつける。3 回羽状複葉、濃緑色で薄い草質。小羽片の基部はやや狭くなる。胞子嚢群は短い線形、包膜は三日月形で薄い膜。
	分布	本州（関東以西）、四国、九州、奄美諸島。
	千葉県内の状況	県南部から房総丘陵の陰湿な林床に知られていた。近年、山武市や多古町、成田市などのスギ林の林床にも確認されてきた。新たに九十九里平野の西に位置する台地や谷津のスギ林内で確認された。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 7 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 7 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-13　植物の重要な種（オニヒカゲワラビ）の予測結果

種名（和名）		オニヒカゲワラビ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑性。根茎は太く横走、葉を密につける。葉は 150cm 以上になることもある大型のシダ。葉柄は太く基部には汚褐色で披針形で先が長く尖り辺縁に突起のある鱗片をやや密につける。葉身は広卵状三角形、2 回羽状複生～3 回羽状深裂。小羽片の基部は切形で短い柄がある。胞子嚢群は線形で小羽片の中肋寄りにつく。包膜は薄い膜質で、三日月形、辺縁に細裂。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	房総丘陵の林の陰湿な林床にやや稀に生育。太平洋に面した下総台地と房総丘陵の縁から下総東部のスギ林に分布する。
確認状況		秋季および春季の調査において、調査区域 C で 35 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 3 地点 35 株を確認した。このうち 2 地点 5 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 1 地点 30 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-14　植物の重要な種（サンショウモ）の予測結果

種名（和名）		サンショウモ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	浮遊性の小型なシダ。茎は水平に伸びて分枝し、葉は 3 列輪生する。水面に見える浮葉は単葉対生。葉の表面に密に突起があり、裏面には軟毛がある。3 列輪生する葉の内、一つは水中葉で細かく枝分かれし、根と間違えやすい。水中葉の基部に胞子嚢群がつく。一年草。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内では、水田に広く分布していたが、冬季の乾田化や除草剤に弱く激減した。現在、減農薬の水田や無農薬栽培を試みる休耕田を復活した水田などに見られる。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C で 500 株を水田で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 1 地点 500 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-15　植物の重要な種（オニグルミ）の予測結果

種名（和名）		オニグルミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	夏緑高木。葉は羽状複葉で互生。風媒で、重力散布。河川中流域の川岸に多く、下流域にも見られる。
	分布	北海道・本州・四国・九州。
	千葉県内の状況	記録地点は多いが、大部分は植栽株などからの逸出と考えられる。保護対象は自生と認められるものに限る。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 B で 2 株、調査区域 C で 12 株を樹林の林床や林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 10 地点 14 株を確認した。このうち 5 地点 9 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、5 地点 5 株は残存するほか、本種はその生態から確認地点以外にも調査地域の樹林の林縁や林床に広く分布していると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-16　植物の重要な種（オノエヤナギ）の予測結果

種名（和名）		オノエヤナギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	高さ 5～8ｍになる。若枝は細毛があり葉は披針形～狭披針形。花穂は枝に例生し、前葉性または同期性。
	分布	北海道、本州（奈良県以北）、佐渡、四国（山地）。
	千葉県内の状況	低地水湿の地や山間渓流沿い、河川の岸などに普通。
確認状況		夏季および春季の調査において、調査区域Ａで 9 株、調査区域Ｃで 12 株を湿地や河川等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の湿地や河川を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 7 地点 21 株を確認した。このうち 3 地点 12 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-17　植物の重要な種（コゴメヤナギ）の予測結果

種名（和名）		コゴメヤナギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	本州中部に多産し、日当たりのよい冷涼な場所を好むが暑さにも耐える。河川流域、山間、高原などの湿地や斜面にあり、20m 位の大高木になる。葉は小さく披針形～長楕円状披針形、両面中央脈基部に細毛、若枝に毛あり。花穂は葉と同期にでて下出葉をともなう。
	分布	本州（東北南部那須、関東、中部、近畿）。
	千葉県内の状況	県内にはきわめてまれで、佐原市ほかから記録がある。
確認状況		春季の調査において、調査区域Ｂで 5 株をやや湿った立地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の湿地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 5 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-18　植物の重要な種（キツネヤナギ）の予測結果

種名（和名）		キツネヤナギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	夏緑低木。葉は単葉で互生。風媒で、風散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	主として北総台地に見られるが、君津市にも少数の記録がある。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 1 株を樹林の林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 1 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-19　植物の重要な種（オオツクバネガシ）の予測結果

種名（和名）		オオツクバネガシ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：該当なし その他：専門家指摘種
生態（資料①）	種の特性	ツクバネガシとアカガシの雑種。葉が大形で、葉脈が 1～2cm 長い。
	分布	情報なし
	千葉県内の状況	情報なし
確認状況		秋季および春季の調査において、調査区域 C で 4 株を樹林の林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 3 地点 4 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：山渓カラー名鑑 日本の樹木（昭和 60 年 山と渓谷社）

表 2.9.2-20　植物の重要な種（マツブサ）の予測結果

種名（和名）		マツブサ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	夏緑藤本。雌雄異株。葉は単葉で互生し枝先に集まってつく。花は 5～6 月に咲き黄白色。果実は藍黒色に熟す。虫媒で鳥散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	市原市以南の房総丘陵に分布。
確認状況		秋季および春季の調査において、調査区域 A で 4 株、調査区域 B で 1 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 3 地点 5 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-21　植物の重要な種（アブラチャン）の予測結果

種名（和名）		アブラチャン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	夏緑中高木。葉は単葉で互生。虫媒で鳥散布。
	分布	本州（関東以西）、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	本来ブナ帯に分布の中心のある種類で、千葉県では点々と分布が知られる。寒冷期からの依存と考えられる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C で 28 株を樹林内で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 28 株を確認した。このうち 1 地点 25 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-22　植物の重要な種（カザグルマ）の予測結果

種名（和名）		カザグルマ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	夏緑藤本。葉は羽状複葉で互生。虫媒で風散布。5～6 月に大きな白い花をつける。地域によって青い花を付けるものも知られているが千葉県産は白花だけである。北向きの斜面下部の湿った林の林縁に生える。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	千葉市、船橋市、富里市、旧山武町、君津市などから記録がある。生育適地となる林縁が放置されて藪となっている所が増えており、既に絶滅したところが多い。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 4 株を樹林の林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 4 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-23　植物の重要な種（イカリソウ）の予測結果

種名（和名）		イカリソウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	中型の多年生草本。葉は 3 出複葉で互生。虫媒で、自力散布。
	分布	北海道、本州。
	千葉県内の状況	下総台地の雑木林に多いが、下草刈りなどの手入れが行き届かず、アズマネザなどの繁茂で著しく個体数が減っている。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 70 株、調査区域 B で 200 株、調査区域 C で 139 株を樹林の林床や林縁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 68 地点 409 株を確認した。このうち 38 地点 174 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。改変区域外に比較して改変区域の生育密度が高いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-24　植物の重要な種（コイヌガラシ）の予測結果

種名（和名）		コイヌガラシ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中形の 1～2 年草。池、川などの一時的に干上がる泥地に生える。茎は直立し上部で枝を分かつ。葉は互生し羽状に全裂。花は 4～6 月。黄色。虫媒で、自力散布+水流・鳥への付着散布。
	分布	本州(関東以西)、四国、九州。
	千葉県内の状況	利根川水系に見られ、鳥の付着散布と考えられるものが内陸に点在する。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 72 株を畑脇の草地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の草地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 72 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-25　植物の重要な種（タコノアシ）の予測結果

種名（和名）		タコノアシ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	高さ 50～90cm の多年草。まばらに線毛が生える。走出枝があり、そこから不定根を出す。根はやや肥厚する。葉は互生し、葉脈はない。長さ 5～8cm。花序は頂端およびまれに上部の葉腋から生じ、2～5 本の単出集散花序が伸びる。花は 4～7 数性。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内では、各地の休耕田や湿地など止水環境に比較的普通にみられる。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 5 株、調査区域 B で 2 株、調査区域 C で 242 株を放棄水田等の湿地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田や湿地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 13 地点 249 株を確認した。このうち 7 地点 19 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 2 地点 220 株を含む 6 地点 230 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（2003 年 千葉県）

表 2.9.2-26　植物の重要な種（タチゲヒメヘビイチゴ）の予測結果

種名（和名）		タチゲヒメヘビイチゴ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	小型の多年生草本。葉は 3 出複葉で互生。虫媒で、重力散布。茎の毛が開出する。
	分布	本州、四国、九州の太平洋側。
	千葉県内の状況	谷津田の畦に生える。近年では柏市、富里市、山武市、下総町、銚子市、佐倉市で標本が採集されている。
確認状況		夏季および秋季の調査において、調査区域 C で 463 株を水田の畦等のやや湿った立地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 4 地点 463 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-27　植物の重要な種（ナガボノシロワレモコウ）の予測結果

種名（和名）		ナガボノシロワレモコウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	大型の多年生草本。葉は羽状複葉で互生。虫媒で、重力散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県北部に自生し、佐倉市、八千代市、柏市、我孫子市で標本が採集されている。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B で 3 株を草地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の草地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 3 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-28　植物の重要な種（ホドイモ）の予測結果

種名（和名）		ホドイモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	つる性多年草。葉は羽状複葉で互生。虫媒で、重力散布。花は黄白色。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内の内陸部を中心に分布する。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A で 12 株、調査区域 C で 33 株を樹林の林床や林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 9 地点 45 株を確認した。このうち 2 地点 16 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、消失する株数に比較して残存する株数が多いことから、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-29　植物の重要な種（マキエハギ）の予測結果

種名（和名）		マキエハギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	花は長さ 10mm 以下、閉鎖花をつける。花序は蓋葉よりも長い。全体はやや無毛、花は細い軸に数個つく。花は淡紅紫花。虫媒で、自重散布。
	分布	本州（関東以西）、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内全域に認められる。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B で 3 株を草地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の草地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 3 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-30　植物の重要な種（イヌエンジュ）の予測結果

種名（和名）		イヌエンジュ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	夏緑中高木。明るい乾いた林などに生える。高さ 2～10m。葉は奇数羽状複葉で互生し、小葉は 7～11 個で卵形、下面に褐色の軟毛がある。花は 7～8 月に咲き、花序は総状花序の集まりで、白色の花を密につける。果実は扁平で広線形で 3 ～6 個の種子がある。虫媒で重力散布。
	分布	北海道、本州（中部以北）。
	千葉県内の状況	ほぼ全域に見られるが、花の咲くような個体は少ない。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 B で 8 株、調査区域 C で 13 株を樹林の林床や林縁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 10 地点 21 株を確認した。このうち 4 地点 9 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、6 地点 12 株は残存するほか、本種は調査地域の樹林の林縁や林床に広く分布していることから、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-31　植物の重要な種（エゾタチカタバミ）の予測結果

種名（和名）		エゾタチカタバミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①、②）	種の特性	根はひげ根で、太い直根は出来ない。分枝は少なく地上をはう茎はない。茎、葉柄、花柄、葉の裏には細毛がある。花は散形状または集散状に 1～3 個ずつつく。花期は 6～10 月。
	分布	北海道および本州中北部。
	千葉県内の状況	県内では、主に山間部の草地、林縁などにみられる。
確認状況		夏季および春季の調査において、調査区域 C で 35 株を樹林の林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 35 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）
資料②：日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類（昭和 57 年 平凡社）

表 2.9.2-32　植物の重要な種（クロウメモドキ）の予測結果

種名（和名）		クロウメモドキ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	夏緑低木。葉は単葉で互生。虫媒で鳥散布。県内では湿地のハンノキ林の周辺や雑木林の中などに見られる。ほかではブナ帯の尾根筋、林縁、岩場などにも生える。
	分布	本州、四国、九州の太平洋側。
	千葉県内の状況	千葉市、佐倉市、柏市、八千代市、八日市場市、臼井市、富里市、芝山町、市原市、旧大栄町などから報告がある。県北部に分布の重点がある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B で 1 株を林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 1 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-33　植物の重要な種（ウスゲチョウジタデ）の予測結果

種名（和名）		ウスゲチョウジタデ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	高さ 20～90cm の 1 年草。全体に細かい伏毛が生える。葉身は長楕円形で鈍頭、基部はくさび形で、葉柄に移行する。長さ 2.5～7cm。上部の葉脇に 1 つずつ花をつける。
	分布	本州（関東以西）、九州。
	千葉県内の状況	主として平地にある水田や湿地に生育する。
確認状況		夏季および秋季の調査において、調査区域 C で 239 株を水田等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 13 地点 239 株を確認した。このうち 10 地点 181 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-34　植物の重要な種（トチバニンジン）の予測結果

種名（和名）		トチバニンジン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中型の多年生草本。葉は掌状複葉で互生。虫媒で、鳥散布。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県の南部では湿潤なケヤキ林などに見られるが、県北部では肥沃なスギの老齢林などに見られる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C で 173 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 173 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-35　植物の重要な種（ムカゴニンジン）の予測結果

種名（和名）		ムカゴニンジン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	大型の多年生草本。茎は高さ 30～100cm。葉は羽状複葉で互生。葉腋にムカゴができる。花は 8～9 月に咲き白色で細かい。果実は卵球形。虫媒で、重力散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	県央北部の丈の高いヨシなどの湿原に生える。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C で 12 株を水田周辺のやや湿った立地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 1 地点 12 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-36　植物の重要な種（ヒメナミキ）の予測結果

種名（和名）		ヒメナミキ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。葉は単葉で対生。虫媒で、風散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県の中央から北部の湿地、水田のあぜ道などにみられる。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 100 株を水田周辺のやや湿った立地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 100 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-37　植物の重要な種（マルバサワトウガラシ）の予測結果

種名（和名）		マルバサワトウガラシ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	小形の一年草。千葉県での記録はいずれも水田で、サワトウガラシと共存する。茎は上部に腺毛があり、高さ 3～10cm。葉は対生し葉柄がなく広卵形。花は 7 ～9 月に咲き淡紫色。虫媒で水散布。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	成田（八生）の記録があるが、稲刈り後の水田を綿密に調べることにより、佐倉市、長南町でも発見された。かつては広く分布していたと考えられる。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B で 3 株を休耕田で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 2 地点 3 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-38　植物の重要な種（アブノメ）の予測結果

種名（和名）		アブノメ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	一年生草本。葉は単葉で対生。虫媒で、水散布。水田に生育するが少ない。
	分布	本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	県北部の水田に普通であったが、農薬の使用や水田耕作の方法転換で著しく減少している。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C で 11 株を水田で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 2 地点 11 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-39　植物の重要な種（シソクサ）の予測結果

種名（和名）		シソクサ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	二年生草本。葉は単葉で対生。虫媒で、重力散布。耕作中の水田に生育。
	分布	本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	千葉県では中央から北部に見られるが普通ではない。
確認状況		夏季および秋季の調査において、調査区域 B で 37 株、調査区域 C で 59 株を水田で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 13 地点 96 株を確認した。このうち 8 地点 60 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-40　植物の重要な種（カワヂシャ）の予測結果

種名（和名）		カワヂシャ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	花は腋性の総状花序、水辺に生える。花は白色。果期の宿存花柱は長さ 1mm で果実より著しく短い。葉の鋸歯は明らか。
	分布	本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	溝、川岸、湿田などに生え、水路などは完全な水中形も見られる。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A で 14 株、調査区域 C で 202 株を河川等の湿地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の河川や湿地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した取香川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 7 地点 216 株を確認した。このうち 2 地点 202 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の取香川本流の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、本種の生育環境は保全される。

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-41　植物の重要な種（オオツクバネウツギ）の予測結果

種名（和名）		オオツクバネウツギ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	主としてブナ帯の夏緑林、林縁に生える。
	分布	本州（関東以西）、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内では高宕山で報告がある。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 8 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 8 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-42　植物の重要な種（タカアザミ）の予測結果

種名（和名）		タカアザミ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	大形の夏緑多年草で高さ 1～2.5m。河川敷に見られるが、宅地造成地などに偶生することがある。茎は直立し上部で枝を分かつ。根生葉は花時には枯れている。頭花は多数で下向きに咲く。筒状花は紅紫色。虫媒で風分布。
	分布	北海道、本州。
	千葉県内の状況	分布は県の北部に集まっているが、鴨川市からの報告もある。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 8 株を日当たりの良い林縁や草地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁、草地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 4 地点 8 株を確認した。このうち 3 地点 3 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 1 地点 5 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-43　植物の重要な種（ノニガナ）の予測結果

種名（和名）		ノニガナ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	二年生草本。河川の氾濫原、田の畦など湿った粘土質の土壌に生える。葉は単葉で互生、根生葉は線状披針形、茎の葉は長いやじり形で全縁。茎は高さ 15～40cm。花は 5 月で、舌状花は黄色。虫媒で風散布。
	分布	本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	県北部の利根川水系に属する各地から報告され、八街市などの水田周辺からも記録されている。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 57 株を草地で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の草地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 57 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-44　植物の重要な種（ヤナギモ）の予測結果

種名（和名）		ヤナギモ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	全国の河川、湖沼、水路などの分布する多年草で、開花時にだけ小さな浮葉を生じることがある沈水植物で、泥底、止水よりもゆるやかな水流を好む傾向がある。イトモ、アイノコイトモに比べ、植物帯がやや大形で、本種は茎葉ともに明るい緑色をしている。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内では東京湾岸の湾奥部地域や、北総地域に生育が知られている。
確認状況		夏季および春季の調査において、調査区域 C で 60 株を水路や河川内で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路や河川を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した高谷川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 5 地点 60 株を確認した。このうち 3 地点 25 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 2 地点 35 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川本流の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、本種の生育環境は保全される。

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-45　植物の重要な種（ヤマジノホトトギス）の予測結果

種名（和名）		ヤマジノホトトギス
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。葉は単葉で互生。虫媒で風散布。シイ・カシ帯上部からブナ帯下部にかけての夏緑林、スギ林などに生える。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	多くの地域から報告されているが、ヤマホトトギスあるいはホトトギスの誤認が多い。千葉県では少ない植物である。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 B で 15 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 15 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-46　植物の重要な種（ヤマスズメノヒエ）の予測結果

種名（和名）		ヤマスズメノヒエ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	多年草。茎は高さ 15～40cm。根生葉はスズメノヤスリに比べてやや直立し、茎葉は長い。葉縁にはいちじるしい長毛がある。開花は 4～5 月。数個の頭花が集散状となり、1 頭花は 2～8 花からなる。向陽の草地や林縁に生育。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内では下総台地北部と一部沿岸平野部、また清澄山周辺分布する。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A で 15 株、調査区域 C で 5 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 5 地点 20 株を確認した。このうち 1 地点 5 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、消失する株数に比較して残存する株数が多いことから、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-47　植物の重要な種（ニッポンイヌノヒゲ）の予測結果

種名（和名）		ニッポンイヌノヒゲ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	一年生草本。湿地性（水田、休耕田を含む）。葉は単葉で束生。イヌノヒゲに似るが花苞、花弁は無毛。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	清涼な水湿地や湿田を中心に生育するが、環境の急減によって激減している。ヒロハイヌノヒゲと混生していることが多い。調査密度が不足しており、分布状況の詳細は明らかでない。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 3 株を水田で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 1 地点 3 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-48　植物の重要な種（ヒメウキガヤ）の予測結果

種名（和名）		ヒメウキガヤ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	多年草。水辺に生育。稈は水面に浮いていることが多い。円錐花序の幅は狭い。葉鞘は完筒形。内穎は護穎と同長。内穎の竜骨上のひれは幅広い。県内産のウキガヤとされていたものは、護穎の長さ 3.5mm 以下のものが多くヒメウキガヤである。花期は 5～7 月。
	分布	北海道・本州。
	千葉県内の状況	以前は北部に散見されたが、近年は南部からも報告されている。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B で 80 株、調査区域 C で 1,070 株を水田周辺で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 8 地点 1,150 株を確認した。このうち 7 地点 850 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 1 地点 300 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-49　植物の重要な種（ムサシアブミ）の予測結果

種名（和名）		ムサシアブミ
重要種選定基準		環境省 RDB： 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	葉は 2 枚、偽茎は低い。小葉は 3 枚。菱状広卵形で長さ 8～20cm。先は急に尖り、糸状になる。花は 3～5 月。シイ・カシ帯の林に生える。海岸近くの湿った林、竹藪などに生える。
	分布	本州西部、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内ではスギの植林地に多量に野生化しているものがみつかっている。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C で 75 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 75 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-50(1)　植物の重要な種（ミクリ属の一種）の予測結果 1/2

種名（和名）		ミクリ属の一種
重要種選定基準		【ミクリ】 環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：要保護生物（C） 【アズマミクリ】【ヒメミクリ】 環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A） 【ヤマトミクリ】【ナガエミクリ】 環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：最重要保護生物（A）
生態（資料①）	種の特性	【ミクリ】 多年生草本。湿地性または浅い水中。葉は単葉で互生。ミクリ属の中では最も大型の種。風媒で水散布。 【アズマミクリ】 多年生草本。ミクリに似るが果実は大小があり、大型のものは、上部はほぼ平坦となる。 【ヤマトミクリ】 多年生草本。葉は単葉で互生。風媒で水散布。花序の分岐はなく、雌性頭花の全部または一部は腋上性である。果実は紡錘形で中央がくびれる。 【ナガエミクリ】 多年生草本。葉は単葉で互生。風媒で水散布。花序は分岐せず、最下の雌性頭花に柄がある。果実は細長く、先端は嘴状に尖る。 【ヒメミクリ】 多年生草本。葉は単葉で互生。風媒で水散布。葉幅 3～7mm。果実は倒卵形で小柄がない。
	分布	【ミクリ】 北海道、本州、四国、九州。 【アズマミクリ】 本州。 【ヤマトミクリ】 本州、四国、九州。 【ナガエミクリ】 日本全国。 【ヒメミクリ】 北海道、本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	【ミクリ】 河川や池沼の岸辺に普通に見られたが、現在は谷津奥のため池や水路、斜面下の湿所などに点在する程度に減少した。 【アズマミクリ】 成田市、横芝光町、茂原市、長生村などで確認され標本が得られている。詳細な調査によりさらに産地は増えると思われる。 【ヤマトミクリ】 山武郡千代田村の標本があるが、生育地の現状は不明である。かつて柏市の公園内のため池に多数個体が生育していたとする情報がある。1995 年に八千代市島田の水路で確認された群落が現在県内で唯一生育確認される所である。

表 2.9.2-50(2)　植物の重要な種（ミクリ属の一種）の予測結果 2/2

種名（和名）		ミクリ属の一種
生態（資料①）	千葉県内の状況	【ナガエミクリ】 東金市御蛇ヶ池での標本があるが、現在は確認できない。1999 年に富里市根木名の水路、2001 年に栗源町浅黄の栗山川で群落を確認している。現在確認される県内の生育地は前記の 2 ヶ所だけである。 【ヒメミクリ】 山武市、長生村、成田市、匝瑳市などに生育が知られている。成田市（旧大栄町）多良貝池畔の個体は遷移が進行してヨシが繁茂し、消滅した。山武市の現状は不明である。
確認状況		夏季および春季の調査において、調査区域 C で 2,461 株を水田や水田周辺の素掘りの水路等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田や水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した高谷川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 7 地点 2,461 株を確認した。このうち 3 地点 1,360 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の高谷川本流の BOD は将来 7.5～9.7mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、本種の生育環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-51　植物の重要な種（ミヤマシラスゲ）の予測結果

種名（和名）		ミヤマシラスゲ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。森林性（湿所）または湿地性。葉は単葉で互生。シラスゲに似るが、葉は幅広く 8～15mm。小穂は直立し、ほとんど下垂しない。果胞は著しく密接してつき、短い嘴がある。果胞は乾くと黒変する。風媒で、重力散布。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県南部の丘陵地の谷川沿いの湿地や県北部の台地斜面下の湧水源に点在する。古くは鴨川市嶺岡山で採集された標本がある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B で 400 株を谷津の奥の湿った立地等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の湿地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 2 地点 400 株を確認した。このうち 1 地点 200 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 1 地点 200 株が残存し、個体群は維持されると予測する。また、本種は湧水に依存する種であるが、残存する 1 地点の上流部は改変を受けないことから湧水量の変化はないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-52　植物の重要な種（タガネソウ）の予測結果

種名（和名）		タガネソウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。北部台地では北側の斜面に生育する傾向がある。葉幅広く、単葉で互生。風媒で重力散布。根茎は横走する。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内全域に点在する。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 1 株、調査区域 B で 29 株、調査区域 C で 1,420 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 20 地点 1,450 株を確認した。このうち 8 地点 602 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、12 地点 848 株は残存するほか、本種は調査地域の樹林の林床に広く分布していることから、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-53　植物の重要な種（コシカクイ）の予測結果

種名（和名）		コシカクイ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：該当なし その他：専門家指摘種
生態（資料①）	種の特性	シカクイとオオハリイの雑種で両種の混生地にまれに生じる。高さ 30～40cm。
	分布	情報なし
	千葉県内の状況	県内では多古町と長生村で確認されている。生育地では両親種のみの混生であり、ハリイの生育はない。稈はきわめて多数となり大きな株をつくる。両産地ともに母種の生育量はきわめて多く、混生する範囲も広い。しかし、確認された雑種は 2～3 株であった。産地はその後の土地改変によって消滅した。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C で 5 株を水田で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 1 地点 5 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の自然誌 別編 4 千葉県植物誌（平成 15 年 千葉県）

表 2.9.2-54　植物の重要な種（エビネ）の予測結果

種名（和名）		エビネ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中型の常緑多年生草本。根茎に偽鱗茎が連なって、枝分かれし、複数の株が集まっていることが多い。葉は単葉で互生。花は 4～5 月に咲く。花被片は赤褐色で、唇弁のみ白色～淡紅色であるが、色調には変異が多い。虫媒で、風散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	ほぼ全域に分布するが、沖積低地にはほとんど見られない。かつては竹林、スギ林の下などに多かったが、園芸用の選択採取で著しく減少した。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 18 株、調査区域 C で 66 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 12 地点 84 株を確認した。このうち 8 地点 57 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、確認地点のうち 4 地点 27 株は残存するほか、本種はその生態から確認地点以外にも調査地域の樹林の林床に広く分布していると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-55　植物の重要な種（ギンラン）の予測結果

種名（和名）		ギンラン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	小型の多年生草本、高さ 15～30cm。葉は単葉で互生し、最上部の葉は花序より短い。花は 5 月初めに咲き白色、唇弁の距は明らかで、斜め下方に突出。虫媒で、風散布。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	かつてはクヌギ-コナラの二次林の林床に多かったが、薪炭材としての利用がなくなり、林床にアズマネザサが密生して、著しく個体数が減少したが、近年、都市域のクロマツ、マテバシイ、スダジイなどの植栽された林にサガミランと共に多く見られる。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 1 株、調査区域 C で 83 株を樹林の林床や林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 7 地点 84 株を確認した。このうち 4 地点 8 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 2 地点 75 株を含む 3 地点 76 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-56　植物の重要な種（キンラン）の予測結果

種名（和名）		キンラン
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中型の多年生草本。葉は単葉で互生。花は 5 月初めに咲き黄色で、花被片は平開する。ギンラン、ササバギンランなどの同属の他の種類に比べて、全体が大きく、葉の幅が広く、緑の色が濃い。虫媒で、風散布。
	分布	本州・四国・九州。
	千葉県内の状況	生育地における個体数の消長は、かなり激しく、過去には密度の高い群落が観察されている。コナラの二次林などの夏緑林に生えるが、最近の植栽されたスダジイ、マテバシイ、クロマツなどの林に生えることが観察されている。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 39 株、調査区域 B で 44 株、調査区域 C で 360 株を樹林の林床や林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 105 地点 443 株を確認した。このうち 47 地点 232 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-57　植物の重要な種（ササバギンラン）の予測結果

種名（和名）		ササバギンラン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中型の多年生草本。根茎はキンラン、ギンランよりも深いところに位置している。葉は単葉で互生し、最上部の葉は花序より長い。茎や葉の縁、脈上などに細突起状の毛が多い。花は 5 月中旬に咲き、白色で、わずかな期間のみ平開する。距はやや長いが、個体により変異がある。虫媒で、風散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	クヌギ-コナラの二次林、竹林などに生え、キンラン、ギンランより少ない。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 12 株、調査区域 B で 36 株、調査区域 C で 87 株を樹林の林床や林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 48 地点 135 株を確認した。このうち 22 地点 67 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、26 地点 68 株は残存するほか、本種は調査地域の樹林の林縁や林床に広く分布していることから、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-58　植物の重要な種（サイハイラン）の予測結果

種名（和名）		サイハイラン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	中型の常緑多年生草本。地表近くに球状の偽茎を連ね、群がって生える傾向がある。葉は単葉で互生。花は花序のひとつの側に集まって垂れて咲き、紅紫色を帯びた褐色。虫媒で、風散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	竹林、やや湿った夏緑林、とくにケヤキ林などに生える。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 11 株、調査区域 B で 9 株、調査区域 C で 13 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 9 地点 33 株を確認した。このうち 2 地点 12 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、消失する株数に比較して残存する株数が多いことから、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-59　植物の重要な種（マヤラン）の予測結果

種名（和名）		マヤラン
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。林の中に生えるが土手の草地に生えた例も知られる。葉は無葉緑。地下に太い菌根が発達する。6～7 月に開花するが、花茎が損なわれると花茎基部から新茎を発し、夏の終わりから秋に咲くこともある。虫媒で、風散布。
	分布	本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	ほぼ全域から、かなり多くの記録があり、出現地に持続せず、突然現れて数年後に消滅することが普通である。
確認状況		夏季および秋季の調査において、調査区域 A で 1 株、調査区域 C で 2 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 3 株を確認した。このうち 1 地点 2 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-60　植物の重要な種（クマガイソウ）の予測結果

種名（和名）		クマガイソウ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：重要保護生物（B）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。葉は単葉で互生。花は白色、ギンランに似るが花は一回り大きく、距が短く、内花被片が外花被片より短かく、唇弁基部の色彩の状態が異なる。またササバギンランにも似るが、花序基部の葉は、花序より短い。虫媒で風散布。
	分布	本州・四国。
	千葉県内の状況	かつては県全域に広く分布が知られ、旧成東町八幡台のスギ林の下に生えた群落は県指定天然記念物に指定されていた。しかし、スギ林の管理が行われなくなったため、林内が暗くなり絶滅した。佐倉市、富里市、印旛村、旧光町、市原市などの多くのところで 1990 年以降に存在が確認されているが、個体数が少なく開花に至らない貧弱な個体のみが記録されたところが多い。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C で 4 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点 4 株を確認した。確認地点はいずれも改変区域のため確認個体は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-61　植物の重要な種（クロヤツシロラン）の予測結果

種名（和名）		クロヤツシロラン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	多年生草本。菌根性。竹林及びスギ植林の林床に群生することがある。葉は無葉緑で鱗片状。花は 8～9 月に落ち葉に半ば埋もれて咲き、黒褐色で平開し、花被片の外面にはイボ状突起はない。果実・花柄は黒色を帯びる。果序の分岐点は地中にある。虫媒で、風散布。
	分布	本州（関東以西）、四国。
	千葉県内の状況	栄町から館山市まで広く分布する。果実期に竹林（特にモウソウチク林）を探すと比較的容易に発見できる。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 A で 10 株、調査区域 B で 11 株、調査区域 C で 273 株を樹林の林床や林縁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や林縁を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 17 地点 294 株を確認した。このうち 11 地点 233 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-62　植物の重要な種（ミヤマウズラ）の予測結果

種名（和名）		ミヤマウズラ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	常緑多年草。尾根筋の林などに見られる。茎は地表を這い、先端が立ち上がって葉叢をつくる。葉は網状の白斑がある。葉の集まりの中央から、開出毛の多い花茎を出し、秋にやや紅色を帯びた白色の花をつける。乾いた照葉樹林、モミ林などの下に生える。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	沖積低地を除いて全県的に分布し 300 件近い記録がある。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 14 株、調査区域 B で 13 株、調査区域 C で 87 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 13 地点 114 株を確認した。このうち 6 地点 27 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、主要な群生地である 1 地点 60 株を含む 7 地点 87 株が残存し、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-63　植物の重要な種（クロムヨウラン）の予測結果

種名（和名）		クロムヨウラン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	小形の多年生草本。菌根性で無葉。照葉樹林の林床に生える。花は 8 月に咲き淡黄白色で唇弁は紅紫色の部分がある。茎は直立しわずかに分岐し、細く堅く、花後は黒色となり、翌年までたっている。花の終わった後の茎に黒色の開出した毛状の物が見られることがあるが、これは寄生菌によるものだという。虫媒で、風散布。
	分布	本州、九州。
	千葉県内の状況	主として市原市以南の房総丘陵から記録されているが、横芝光町からの記録もある。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 B で 8 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 8 株を確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-64　植物の重要な種（クモキリソウ）の予測結果

種名（和名）		クモキリソウ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	小型の多年生草本。林縁、路傍、スギ林など様々なところに生え、林縁の攪乱されたところを好む。葉は単葉で互生。花は 7 月に咲き淡緑色。虫媒で、風散布。
	分布	北海道、本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	県内各地に分布する。この仲間ではコクランに次いで普通である。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 C で 1 株を樹林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点 1 株を確認した。確認地点は改変区域のため確認個体は消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-65　植物の重要な種（ヨウラクラン）の予測結果

種名（和名）		ヨウラクラン
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	常緑の小形多年草で樹幹あるいは岩面に着生。カヤ、イヌマキ、ウメなどに着生することが多い。葉は多肉で密に集まって 2 列につく。花は橙黄色で小さく、長さ 5cm ほどの垂れ下がった花茎に密につく。虫媒で、風散布。
	分布	本州（宮城県以南）、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	千葉県の着生ランとしては最も北まで分布する。かつてはイヌマキの生け垣などに普通に見られたが、環境の乾燥化、大気汚染などで少なくなっている。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 A で 34 株、調査区域 B で 14 株、調査区域 C で 521 株の、樹林内のスダジイやシラカシ等への着生を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 29 地点 569 株を確認した。このうち 15 地点 418 株は改変区域にあり、これらの個体は消失すると予測する。しかし、確認地点のうち 14 地点 151 株は残存するほか、本種は調査地域の樹林に広く分布していることから、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

(2) 蘚苔類

表 2.9.2-66　植物の重要な種（蘚苔類）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数			100ha あたりの確認数		
		改変区域	非改変区域	消失率	改変区域	非改変区域	消失率
		地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
1	ウマスギゴケ	1		100%	0.09	0.00	100%
2	ユウレイホウオウゴケ	1	1	50%	0.09	0.05	62%
3	ミヤコノツチゴケ	1		100%	0.09	0.00	100%
4	イクタマユハケゴケ	2	1	67%	0.17	0.05	77%
5	オオアオシノブゴケ	4	2	67%	0.34	0.11	77%
6	ナガシタバヨウジョウゴケ		1	0%	0.00	0.05	0%
7	イチョウウキゴケ	9	13	41%	0.77	0.69	53%
8	コニワツノゴケ		1	0%	0.00	0.05	0%

表 2.9.2-67　植物の重要な種（ウマスギゴケ）の予測結果

種名（和名）		ウマスギゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	低地から高地まで、全国のやや湿った地面に緑色の疎な大きな群落をつくる直立性のセン綱。茎は 5～20cm。葉は披針形で、鞘部を除き葉身全体が薄板で被われる。雌雄異株。蒴は角張る。薄板は 5～7 細胞の高さがあり、端細胞は断面で凹形であることから近縁種と区別される。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	かつては九十九里平野の湿原や湿ったマツ林の林床に豊富に生育していたが、開発により多くの産地が失われ、激減している。しかし、房総丘陵において、道端のマツ類植林や庭園において大きな群落が確認されている。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の 1 地点で、クリ園脇に投棄されたモミガラ周辺で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の湿地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域のため確認地点は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-68　植物の重要な種（ユウレイホウオウゴケ）の予測結果

種名（和名）		ユウレイホウオウゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑樹林帯において、岩や転石、樹幹の根元などに緑色の群落をつくる直立性のセン綱。茎葉体は長さ 1mm 以下、幅 0.5mm 以下。葉は広披針形、基部は弱く 2 つに折れ、舷はなく、中肋は短い。雌雄同株。
	分布	本州（千葉県以西）、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	県内では房総丘陵の湿った森林の林床において、転石上に生育していることが 1977 年に報告され、最近、習志野市でも確認された。産地や生育数は少ないが、植物体が小さいことから見逃されている可能性がある。
確認状況		春季および夏季の調査において、調査区域 A の 1 地点、調査区域 C の 1 地点で、やや湿った法面の土上で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 2 地点で確認した。このうち 1 地点は改変区域にあり、この地点は消失すると予測する。改変区域外に比較して改変区域の生育密度が高いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-69　植物の重要な種（ミヤコノツチゴケ）の予測結果

種名（和名）		ミヤコノツチゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	低地の裸地にまばらな群落をつくる直立性のセン綱。茎は長さ数 mm、分枝して密の葉を付ける。葉は披針形、長さ 1mm 以下、鋭頭、中肋は葉先に達し、ほぼ全縁。葉身細胞は狭矩形。胞子体は短蒴柄が短く苞葉に埋もれ、蒴が球形で径約 0.5mm、蒴歯や蓋はない。胞子が径約 150μm で大きい。
	分布	北海道、本州、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	九十九里平野の湿地の裸地に生育している。県内で知られている産地は国指定天然記念物「成東・東金食虫植物群落」だけであるが、先駆者的な性質があり、近県の報告例から推察すると、他にも生育していると思われる。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の 1 地点で、開けた畑と道の間で帯状に確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の湿地を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域のため確認地点は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-70　植物の重要な種（イクタマユハケゴケ）の予測結果

種名（和名）		イクタマユハケゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①、②）	種の特性	人家に近い石垣、家屋の屋根などに生育する（2002 年に記載された種で発見例がまだ少ない）。
	分布	本州（茨城、静岡、愛媛、山口）。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		春季および夏季の調査において、調査区域 C の 3 地点で、朽ちた切り株、やや湿ったスギの倒腐木上等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 3 地点で確認した。このうち 2 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。残存する株数に比較して消失する株数が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：蘚苔類研究第 8 巻第 5 号（平成 14 年 日本蘚苔類学会）
資料②：蘚苔類研究第 8 巻第 9 号（平成 15 年 日本蘚苔類学会）

表 2.9.2-71　植物の重要な種（オオアオシノブゴケ）の予測結果

種名（和名）		オオアオシノブゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	低地の湿地や渓谷において、湿った岩上に緑色の群落をつくるほふく性のセン綱。茎葉体は長さ 5～10cm、羽状に分枝する。葉は三角形状、先端は鈍頭、中肋は葉頂下に終わり、縁は微鋸歯状。葉身細胞は円状四角形、表面に数個の乳頭を持つ。雌雄異株。近縁種のアオシノブゴケとは葉身細胞の乳頭の形によって区別される。
	分布	本州、九州。
	千葉県内の状況	九十九里平野の湿地や渓谷に生育することが知られているが、産地は少なく、生育状況は良くないと推察され、2004 年の改訂で A としたが、大きな群落も発見されている。
確認状況		秋季、春季および夏季の調査において、調査区域 B の 2 地点、調査区域 C の 4 地点で、水気の多い水田の畦際や休耕田の土上などで確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 6 地点で確認した。このうち 4 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。残存する地点に比較して消失する地点が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-72　植物の重要な種（ナガシタバヨウジョウゴケ）の予測結果

種名（和名）		ナガシタバヨウジョウゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	常緑樹林帯の湿った渓谷において、樹幹や枝、葉に着生する微細な茎葉状のタイ綱。茎はほふくし、長さ約 1cm。葉は背片と腹片となり、茎に縦につく。背片は卵形、全縁。腹片は長舌状、この属のものとしては長く、和名の由来になっており、他種との区別点でもある。雌雄同株。
	分布	本州（千葉県以西）、四国、九州、琉球。
	千葉県内の状況	生育が確認されたのは最近であるが、房総丘陵の湿った渓谷や下総台地の谷津に生育している。県内では生葉上に生育することは珍しく、樹幹や枝に着生している。これは森林が乾燥しているためであろう。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 B の 1 地点で、立ち枯れ多灌木の樹幹に点在しているものを確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-73　植物の重要な種（イチョウウキゴケ）の予測結果

種名（和名）		イチョウウキゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	低地の池や水田の水面に浮遊し、畑や秋に水を落とした水田の土上にも見られるタイ綱。植物体は 2 叉状に分岐しイチョウの葉形に似た形となり、和名の由来となっている。葉状体は背腹性があり、赤みを帯びた緑色、長さ 1～1.5cm、幅 4～8mm、数層の通気組織が分化し、気室孔は明瞭。雌雄同株。胞子体は葉状体に埋もれる。
	分布	日本全国。
	千葉県内の状況	かつては県内全域の池や水田に生育していたと考えられるが、生育数は激減したと推察される。秋に水を落とした水田でも見られるが、稲刈り技法の変化により生育し難くなっている。近年では多くの産地が見つかり、県内では広く分布していると推察される。
確認状況		秋季、春季および夏季の調査において、調査区域 A の 1 地点、調査区域 B の 4 地点、調査区域 C の 17 地点で、水田の水面や水気の多い土上等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 22 地点で確認した。このうち 9 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。しかし、13 地点は残存するほか、本種は調査地域の水田等に広く分布していることから、個体群は維持されると予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-74　植物の重要な種（コニワツノゴケ）の予測結果

種名（和名）		コニワツノゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	公園や社寺の境内の日当たりのよい裸地に濃緑色のロゼットをつくるツノゴケ綱。葉状体は長さ 1～3cm、多細胞層、空所がない。葉緑体は各細胞に 1 個。胞子体は円柱形、胞子は黄色。和名は「小庭角苔」で、近縁種とは、小型であることで区別される。秋に見られる。
	分布	本州（東京、千葉）。
	千葉県内の状況	1899 年に東京都産の標本を基に新種記載されたが、近年まで生育が確認されていなかった。1990 年に千葉市内において生育が確認され、全国に知られる産地は千葉県にしかなく、非常に珍しいと思われた。しかし、1997 年には佐倉市の神社においても確認され、その後、学校の校庭や社寺で確認され、県内に広く分布している可能性が高い。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の 1 地点で、落水後の水田のやや湿った土上で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点の全てが改変区域外であるため、生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

(3) 地衣類

表 2.9.2-75　植物の重要な種（地衣類）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数			100ha あたりの確認数		
		改変区域	非改変区域	消失率	改変区域	非改変区域	消失率
		地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
1	コナマツゲゴケ	1		100%	0.09	0.00	100%
2	ウスイロマツゲゴケ	1	2	33%	0.09	0.11	45%
3	アカヒゲゴケ	1		100%	0.09	0.00	100%
4	コフキゲジゲジゴケ	3	8	27%	0.26	0.42	38%
5	コナムカデゴケモドキ	1		100%	0.09	0.00	100%
6	コザライワノリ		1	0%	0.00	0.05	0%

表 2.9.2-76　植物の重要な種（コナマツゲゴケ）の予測結果

種名（和名）		コナマツゲゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	ニセマツゲゴケに近縁であるが、粉芽が粉末状で葉縁に限られている。アトラノリンとアレクトーロン酸を含む。
	分布	日本ではごく稀。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		春季の調査において、調査区域Ｃの 1 地点で、サツキの樹幹への着生を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や着生を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域のため確認地点は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：原色日本産地衣植物図鑑（昭和 49 年 保育社）

表 2.9.2-77　植物の重要な種（ウスイロマツゲゴケ）の予測結果

種名（和名）		ウスイロマツゲゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	樹皮着生。中形の葉状で、基物に多少緩く付着する。裂片は丸く、幅 3～9mm、縁が鋸歯状となり、全体として多少波打ち斜上する。縁に沿って粉芽を生じ、粉芽塊と粉芽塊の間に長さ 0.5～1.5mm の単一の黒いシリアを疎らに生ずる。背面は灰白色、網状紋を欠く。
	分布	本州（千葉、東京、静岡、鳥取）。
	千葉県内の状況	千葉県八積（長生村）産の標本に基づき記載された。同時に一宮町からも記録された。いづれも 1940 年以前に採集されたものであった。1990 年代以降では、君津市、富里市、南房総市、鴨川市において生育が確認された。
確認状況		秋季および春季の調査において、調査区域Ｃの 3 地点で、クスノキやウバメガシの樹幹への着生を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や着生を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 3 地点で確認した。このうち 1 地点は改変区域にあり、この地点は消失すると予測する。しかし、消失する地点数に比較して残存する地点数が多いことから、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-78　植物の重要な種（アカヒゲゴケ）の予測結果

種名（和名）		アカヒゲゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	主として樹皮着生、時に岩上に生育する樹状地衣。地衣体は円筒状で、断面では中央に軟骨質の中軸を持ち、最外部は比較的もろい皮層で覆われ、両者の間はクモの巣状の菌糸と共生藻で構成される髄層。基部で基物に固着し、多少とも繰り返し分枝し、普通は先端に向けて徐々に細くなる。
	分布	全国各地。
	千葉県内の状況	県北西部では記録はない。東金市および千葉市の東端以南で確認されている。適度な明るさと湿度が保たれ、空気のきれいな場所に生育する。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B の 1 地点で、ウメ樹幹への着生を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や着生を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域のため確認地点は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-79　植物の重要な種（コフキゲジゲジゴケ）の予測結果

種名（和名）		コフキゲジゲジゴケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：要保護生物（C）
生態（資料①）	種の特性	岩上または樹皮着生。小形の葉状地衣で、二叉ないし不規則に分枝し、ロゼット状をなし、径 3～5cm。分枝はほぼ線形であるが先端方向で多少幅広くなり、2～5mm、斜上ないしほぼ直立し、隣と多少重なる。背面は灰白色。腹は皮層を欠き、クモの巣状の菌糸を裸出し、白から黄色となり、先端付近では粉芽を生じる。偽根は単一で後分枝し、基部付近でほぼ白色、先端付近で多少暗色となる。
	分布	本州、四国。
	千葉県内の状況	1924 年（及び 1931 年）に一宮町において採集された標本に基づく報告が、県内における唯一の記録である。その後は確認されていない。もともと出現頻度が低い上に、採集により絶滅してしまった可能性がある。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の 11 地点で、クスノキやクリ、ウメ等の樹幹への着生を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や着生を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 11 地点で確認した。このうち 3 地点は改変区域にあり、この地点は消失すると予測する。しかし、消失する地点数に比較して残存する地点数が多いことから、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-80　植物の重要な種（コナムカデゴケモドキ）の予測結果

種名（和名）		コナムカデゴケモドキ
重要種選定基準		環境省 RDB：情報不足（DD） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	樹皮に着生する。葉状地衣。
	分布	情報なし。
	千葉県内の状況	情報なし。
確認状況		春季の調査において、調査区域Ｃの１地点で、石垣への着生を確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林や着生を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は１地点で確認した。確認地点は改変区域のため確認地点は全て消失すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：　Lichen of North America（平成 13 年　Yele University Press）

表 2.9.2-81　植物の重要な種（コザライワノリ）の予測結果

種名（和名）		コザライワノリ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	地上生。開けた場所の土上に生える、ごく小形の葉状ないし亜痂状地衣。ラン藻（ネンジュモ属）を共生藻とし、地衣体はほぼ黒色。地衣体は顆粒状から小鱗片状で多少とも膨れる。それに比し裸子器は目立ち、赤褐色で平板な子器盤は直径 0.5～1.8mm。
	分布	本州（千葉）。
	千葉県内の状況	1991 年に千葉市で、2007 年に白井市で生育が確認された。千葉市の産地ではその後は確認されていない。
確認状況		春季の調査において、調査区域Ｃの１地点で、休耕田やコケの生えた裸地上で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は１地点で確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年　千葉県）

(4) 大型菌類（キノコ類）

表 2.9.2-82　植物の重要な種（大型菌類）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数			100ha あたりの確認数		
		改変区域	非改変区域	消失率	改変区域	非改変区域	消失率
		地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
1	スミゾメヤマイグチ		1	0%	0.00	0.05	0%
2	マユハキタケ	5	2	71%	0.43	0.11	80%

表 2.9.2-83　植物の重要な種（スミゾメヤマイグチ）の予測結果

種名（和名）		スミゾメヤマイグチ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	イヌシデ･コナラ林依存種。クマシデ属と外生菌根をつくる。傘の表面に凹凸状のシワがあり、柄の表面にはヤマイグチ属特有の黒い鱗片を有し、子実体の肉の色が空気に触れると黒変するという際だった特徴を持つ。欧州で記載された種で、日本産は 2 胞子性である点で異なり分類的には検討が必要である。
	分布	日本。
	千葉県内の状況	県内では 82 件の発生記録があり、イヌシデと共生する外生菌根菌として、北総の谷津の周辺に見られるイヌシデ・コナラの里山雑木林に、7 月上旬～10 月上旬に発生する。
確認状況		夏季の調査において、調査区域 A の 1 地点で子実体 5 個体を、シラカシ林の林床で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-84　植物の重要な種（マユハキタケ）の予測結果

種名（和名）		マユハキタケ
重要種選定基準		環境省 RDB：該当なし 千葉県 RDB：最重要・重要保護生物（A－B）
生態（資料①）	種の特性	大径木依存種。子実体は通常タブノキの樹幹に樹皮を破って生じる。子実体は始め内外の 2 層の被膜におおわれ、のち外被膜は破れ、薄い内被膜に包まれた基本体が柱状に 1～2cm の高さに伸び上がる。ついで内被膜が破れ、内部に子嚢を含み、上部は細裂した菌糸束からなる刷毛状の基本体を露出する。子嚢はこの基本体中に散在する。
	分布	関東以西。
	千葉県内の状況	千葉県では 1 箇所、長柄市の比較的良好に残された社寺林内のタブノキ樹幹や切株等に 5 月と 10 月に子実体を生じたものが観察されている。子実体が見られることは稀であるが、調査が進めば、比較的大きなタブノキの樹幹に生育しているものが、発見できると考えられる。
確認状況		秋季、春季および夏季の調査において、調査区域 A の 3 地点で子実体約 265 個体、調査区域 C の 4 点で子実体約 300 個体を、タブノキの立ち枯れなどで確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の樹林を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	－
	飛行場の存在	本種は 7 地点で確認した。このうち 5 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。残存する地点に比較して消失する地点が多いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	－

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

(5) 大型藻類

表 2.9.2-85　植物の重要な種（大型藻類）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数			100ha あたりの確認数		
		改変区域	非改変区域	消失率	改変区域	非改変区域	消失率
		地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
1	オオイシソウ	1	5	17%	0.09	0.26	25%
2	チャイロカワモズク	8	5	62%	0.69	0.26	72%
3	アオカワモズク	15	16	48%	1.29	0.84	60%
4	シャジクモ	11	12	48%	0.95	0.63	60%
5	ミルフラスコモ		1	0%	0.00	0.05	0%

表 2.9.2-86　植物の重要な種（オオイシソウ）の予測結果

種名（和名）		オオイシソウ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	藻体は暗青緑色。体は分枝した紐状体で手ざわりはやや粗い。河川、用水路、湧水池の流水中で小石、棒抗、水生植物などの表面に付着している。繁茂期は 7～翌 2 月。
	分布	本州、四国、九州、沖縄。
	千葉県内の状況	主に県北部の河川上流部～中流部に生育。
確認状況		春季の調査において、調査区域 C の 1 地点で、護岸された水路のコンクリート壁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した水路、尾羽根川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 6 地点で確認した。このうち 1 地点は改変区域にあり、この地点は消失すると予測する。しかし、消失する地点数に比較して残存する地点数が多い。また、本種は湧水に依存する種であるが、残存するいずれの地点においても上流部は改変を受けないことから湧水量の変化はないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-87　植物の重要な種（チャイロカワモズク）の予測結果

種名（和名）		チャイロカワモズク
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	雌雄同株と雌株の 3 種の個体がある。藻体は黄褐色（オリーブ色）から暗褐色。著しく粘質に富む。平野の湧泉、灌漑用水路などの流水中に生育。繁茂期は 10～翌 5 月。ナツノカワモズクと呼ばれた。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県北部、下総丘陵の谷津と河川の上流から中流部に生育。
確認状況		春季の調査において、調査区域 B の 4 地点、調査区域 C の 3 地点で、護岸された水路のコンクリート壁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した水路、高谷川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 13 地点で確認した。このうち 8 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。また、本種は湧水に依存する種である。また、空港周辺の湧水量の変化は小さいが、残存する 5 地点のうち 2 地点において、直上流部は改変を受けることから湧水量が減少すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-88　植物の重要な種（アオカワモズク）の予測結果

種名（和名）		アオカワモズク
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	雌雄異株。藻体は黄緑色から白暗青緑色。谷津の水源域と河川上流部の流水中、平野の湧泉の流水中に生育。繁茂期は 10～翌 5 月。ミドリカワモズクとも呼ばれた。
	分布	本州(南部)、四国、九州。
	千葉県内の状況	県北部、下総丘陵の谷津と河川の上流から中流部に生育。
確認状況		春季の調査において、調査区域 A の 2 地点、調査区域 B の 6 地点、調査区域 C の 9 地点で、護岸された水路のコンクリート壁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した水路、高谷川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 31 地点で確認した。このうち 15 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。また、本種は湧水に依存する種である。また、空港周辺の湧水量の変化は小さいが、残存する 16 地点のうち 9 地点において、直上流部は改変を受けることから湧水量が減少すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-89　植物の重要な種（シャジクモ）の予測結果

種名（和名）		シャジクモ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	雌雄同株。体長は 10～ 30cm 程度。皮層細胞をもたない。湖沼や溜め池の浅瀬に生育。汽水域。繁茂期は 5～10 月。
	分布	本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県内各地の水田、湖沼、ため池に生育する。近年、圃場整備により生育場所は狭められている。
確認状況		夏季、秋季および春季の調査において、調査区域 B の 5 地点、調査区域 C の 18 地点で、水田やその周辺等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 23 地点で確認した。このうち 11 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。改変区域外に比較して改変区域の生育密度が高いことから、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-90　植物の重要な種（ミルフラスコモ）の予測結果

種名（和名）		ミルフラスコモ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） 千葉県 RDB：該当なし
生態（資料①）	種の特性	雌雄同体で体長 15～30cm、不結実枝と結実枝は分化する。卵胞子は黄褐色で、卵胞子膜は網目状。近縁種のジュズフラスコモとは卵胞子の大きさで区別される。おもに水田、水路に生育する。
	分布	北海道以外に広く分布する。
	千葉県内の状況	情報なし
確認状況		秋季の調査において、調査区域 C の 1 地点で、水田やその周辺等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水田を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	水田等の止水環境は、工事中に発生する濁水の流入はないことから、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水田等の止水環境には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－9 植物Ⅱ（平成 27 年 環境省）

(6) 付着藻類

表 2.9.2-91　植物の重要な種（付着藻類）の消失率

No.	種名	調査範囲内での確認数			100ha あたりの確認数		
		改変区域	非改変区域	消失率	改変区域	非改変区域	消失率
		地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
－	オオイシソウ	大型藻類に統合※			大型藻類に統合※		
－	チャイロカワモズク						
－	アオカワモズク						
1	ホソアヤギヌ		1	0%	0.00	0.05	0%

※　大型藻類と付着藻類では確認種が重複しているが、個々の項目で確認したものであり、そのまま表記した。ただし、重複する種は種数からは除外し、「－」と表記した。

表 2.9.2-92　植物の重要な種（オオイシソウ）の予測結果

種名（和名）		オオイシソウ
重要種選定基準		環境省 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	藻体は暗青緑色。体は分枝した紐状体で手ざわりはやや粗い。河川、用水路、湧水池の流水中で小石、棒抗、水生植物などの表面に付着している。繁茂期は 7～翌 2 月。
	分布	本州、四国、九州、沖縄。
	千葉県内の状況	主に県北部の河川上流部～中流部に生育。
確認状況		秋季および春季の調査において、調査区域 B の 2 地点、調査区域 C の 3 地点で、護岸された水路のコンクリート壁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した水路、尾羽根川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 6 地点で確認した。このうち 1 地点は改変区域にあり、この地点は消失すると予測する。しかし、消失する地点数に比較して残存する地点数が多い。また、本種は湧水に依存する種であるが、残存するいずれの地点においても上流部は改変を受けないことから湧水量の変化はないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-93　植物の重要な種（チャイロカワモズク）の予測結果

種名（和名）		チャイロカワモズク
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	雌雄同株と雌株の 3 種の個体がある。藻体は黄褐色（オリーブ色）から暗褐色。著しく粘質に富む。平野の湧泉、灌漑用水路などの流水中に生育。繁茂期は 10～翌 5 月。ナツノカワモズクと呼ばれた。
	分布	北海道、本州、四国、九州。
	千葉県内の状況	県北部、下総丘陵の谷津と河川の上流から中流部に生育。
確認状況		冬季および春季の調査において、調査区域 A の 1 地点、調査区域 B の 1 地点、調査区域 C の 4 地点で、護岸された水路のコンクリート壁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した水路、高谷川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 13 地点で確認した。このうち 8 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。また、本種は湧水に依存する種である。また、空港周辺の湧水量の変化は小さいが、残存する 5 地点のうち 2 地点において、直上流部は改変を受けることから湧水量が減少すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-94　植物の重要な種（アオカワモズク）の予測結果

種名（和名）		アオカワモズク
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：一般保護生物（D）
生態（資料①）	種の特性	雌堆異株。藻体は黄緑色から白暗青緑色。谷津の水源域と河川上流部の流水中、平野の湧泉の流水中に生育。繁茂期は 10～翌 5 月。ミドリカワモズクとも呼ばれた。
	分布	本州(南部)、四国、九州。
	千葉県内の状況	県北部、下総丘陵の谷津と河川の上流から中流部に生育。
確認状況		秋季から春季の調査において、調査区域 A の 2 地点、調査区域 B の 4 地点、調査区域 C の 8 地点で、護岸された水路のコンクリート壁等で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した水路、高谷川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 31 地点で確認した。このうち 15 地点は改変区域にあり、これらの地点は消失すると予測する。また、本種は湧水に依存する種である。また、空港周辺の湧水量の変化は小さいが、残存する 16 地点のうち 9 地点において、直上流部は改変を受けることから湧水量が減少すると予測する。このため、本種の生育環境は保全されない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の水路には空港からの雨水の流入はない。このため、本種の生育環境に変化はない。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

表 2.9.2-95　植物の重要な種（ホソアヤギヌ）の予測結果

種名（和名）		ホソアヤギヌ
重要種選定基準		環境省 RDB：準絶滅危惧（NT） 千葉県 RDB：最重要・重要保護生物（A－B）
生態（資料①）	種の特性	暗紫色の藻体は、細い線状で扁平で匍匐し、又状様に不規則に分岐する。分岐から分岐までの葉片の長さは 5mm 程度、幅 0.5mm 以下で、分岐点ではくびれ、下面から仮根を出して付着する。精子嚢群は、葉片の中肋の両側に、嚢果は葉片に 1 個つくられる。ほぼ 1 年中見ることができる。
	分布	本州（太平洋岸）、瀬戸内海、南西諸島、小笠原諸島。
	千葉県内の状況	九十九里浜に注ぐ木戸川河口及び利根川河口の汽水域において、アシの基部の茎上に生育する。
確認状況		秋季の調査において、調査区域 A の 1 地点で、護岸された水路のコンクリート壁で確認した。
生育環境の分布状況		本種の生態と確認状況を踏まえると、本種は調査地域の水路を主な生育環境としていると考えられる。
影響予測	造成等の施工による一時的な影響	本種を確認した取香川は工事中に発生する濁水の流入により生育環境が一時的に変化する。しかし、各河川の浮遊物質量は、現況の降雨時の濃度を超過しないと予測する。このため、本種の生育環境は保全される。
	飛行場の存在	本種は 1 地点で確認した。確認地点は改変区域外であるため、本種の生育環境に変化はない。
	飛行場の施設の供用	本種を確認した下流域の取香川本流の BOD は将来 19～33mg/L となるが、防除氷剤の散布日数は 1 季あたり 6 日程度であり、濃度上昇する日は限定的である。このため、本種の生育環境は保全される。

資料①：千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009 年改訂版（平成 21 年 千葉県）

2.10. 生態系

2.10.1. 現地調査結果

(1) 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境もしくは生育環境の状況

1) 類型区分

類型区分の方法の詳細は、図 2.10.1-1 に示すとおりである。

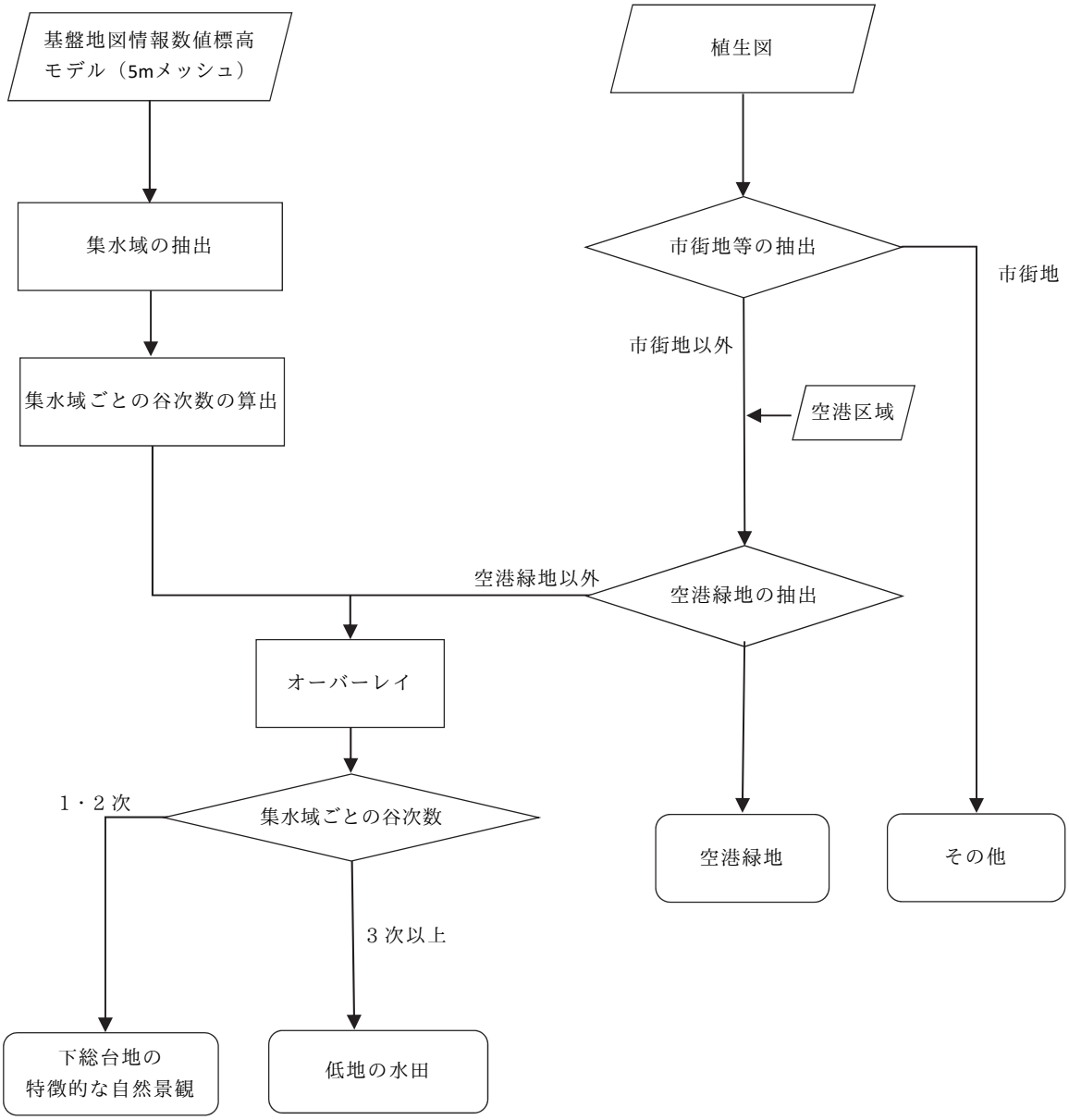


図 2.10.1-1　類型区分の方法

2) 注目種等

ｱ. オオタカ

(ｱ) 環境区分ごとの餌資源量の推定方法

環境区分ごとの餌資源量(鳥類総重量)の推定方法の詳細は、図 2.10.1-2 に示すとおりである。

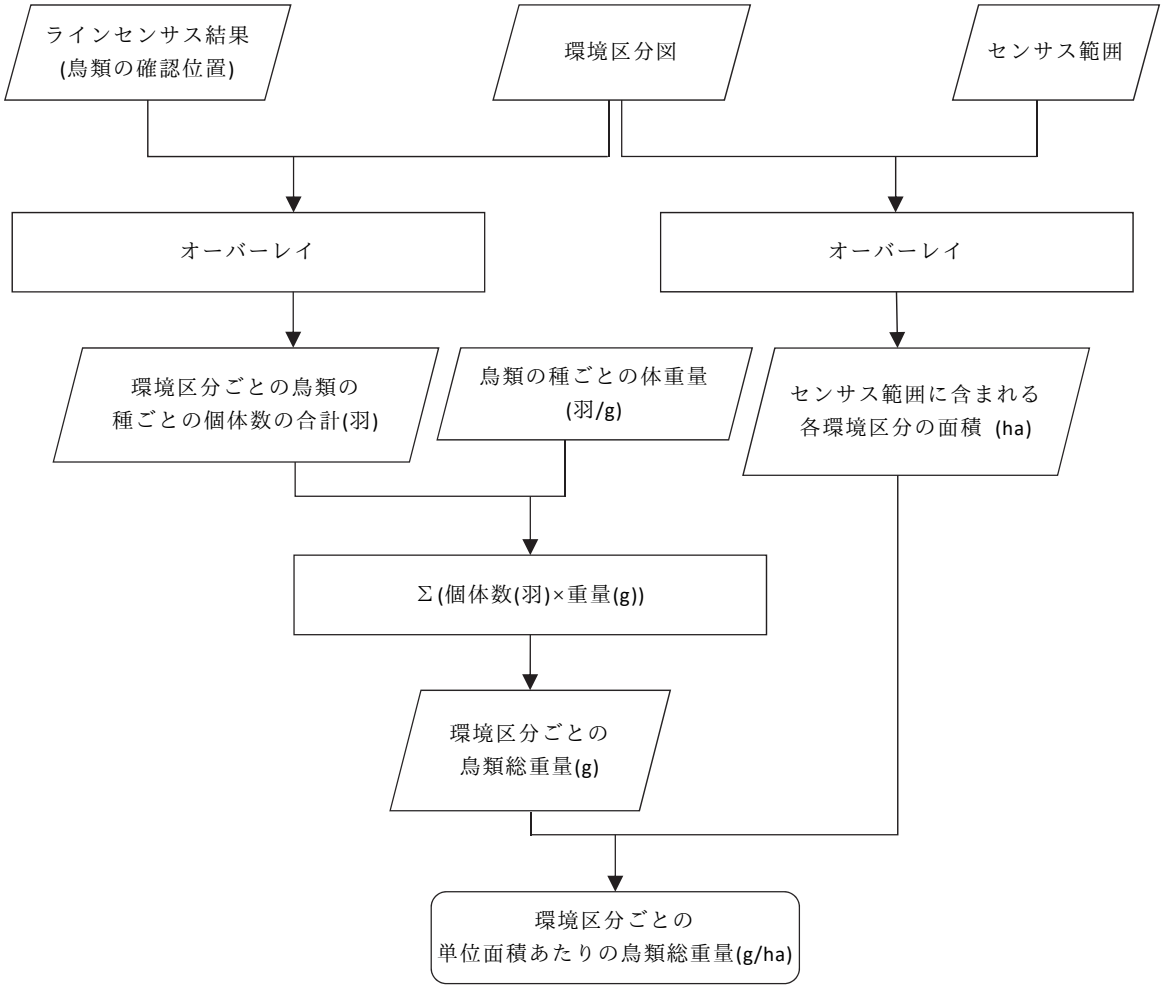


図 2.10.1-2　環境区分ごとの餌資源量(鳥類総重量)の推定フロー(オオタカ)

表 2.10.1-1　環境区分と植生図の凡例の対応

No.	環境区分	群落・土地利用
1	広葉樹林	スダジイ群落
		シラカシ群落
		コナラ群落
		エノキ群落
		ヤマグワ群落
		アカメヤナギ群落
		トウネズミモチ群落
2	針葉樹林	アカマツ群落
		スギ群落
		ヒノキ群落
3	その他樹林（伐採跡地等）	クズ群落
		伐採跡地
		その他植林
4	竹林	マダケ群落
		モウソウチク群落
5	水田	放棄水田雑草群落
		水田雑草群落
6	畑	放棄畑雑草群落
		路傍・空地雑草群落
		畑雑草群落
		果樹園
		苗圃・植木畑
7	草地	アズマネザサ群落
		ススキ群落
		セイタカアワダチソウ群落
		カナムグラ群落
		オギ群落
		ヨシ群落
		ガマ群落
		ヒメガマ群落
		カサスゲ群落
8	開放水域	ヤナギモ群落
		開放水域
9	人工環境（市街地・ゴルフ場等）	ゴルフ場・芝地（人工草地）
		公園・グラウンド
		緑の多い住宅地
		市街地等
		造成地

ｱ)鳥類のラインセンサス調査結果

鳥類のラインセンサス調査結果は、表 2.10.1-2 に示すとおりである。

なお、ラインセンサスにおける調査範囲は、センサスルートの両側 50m の範囲内とした。

表 2.10.1-2(1)　鳥類相調査におけるラインセンサス調査結果（春季）

No.	目名	科名	種名(和名)	1個体当り基礎重量(g)	環境区分															
					広葉樹林		針葉樹林		その他樹林		竹林		水田		畑		草地		開放水域		人工環境	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	キジ	キジ	キジ	1,040			2	2,079			3	3,119	2	2,079	10	0	4	4,158			1	1,040
2	カモ	カモ	カルガモ	1,073			2	2,145					14	15,015		0						
3	ハト	ハト	キジバト	249	5	1,245	11	2,739	9	2,241	7	1,743	30	7,470	12	14,940	2	498			4	996
4	ペリカン	サギ	ダイサギ	1,500									1	1,500		0						0
5			チュウサギ	535									1	535		0						0
6	ツル	クイナ	ヒクイナ	94										0		0	1	94				0
7	チドリ	チドリ	コチドリ	44										0	2	0						0
8		シギ	タシギ	113									3	339		0						0
9	タカ	タカ	サシバ	410	1	410								0		0						0
10	キツツキ	キツツキ	コゲラ	22	7	154	8	176					2	44	3	462						0
11	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ	20			1	20			1	20		0		0						0
12		モズ	モズ	38	1	38			1	38			4	150	1	38	1	38			3	113
13		カラス	カケス	135	2	404	1	135						0	1	404						0
14			ハシボソガラス	503	1	503	2	1,006					5	2,515	3	1,509	2	1,006	1	503		0
15			ハシブトガラス	500	1	500	5	2,500			5	2,500	10	5,000	6	3,000					5	2,500
16		シジュウカラ	ヤマガラ	17	6	102	6	102	1	17	2	34		0		0					1	17
17			ヒガラ	7							2	14		0		0						0
18			シジュウカラ	15	7	105	8	120			11	165	1	15	4	420					5	75
19		ヒバリ	ヒバリ	35										0	12	0						0
20		ツバメ	ツバメ	20									1	20	1	0			1	20	7	137
21		ヒヨドリ	ヒヨドリ	68	15	1,013	37	2,498			30	2,025	1	68	14	14,175	13	878			12	810
22		ウグイス	ウグイス	17	26	429	5	83			10	165	1	17	20	8,580	18	297			8	132
23			ヤブサメ	8	1	8								0		0						0
24		エナガ	エナガ	7			25	175						0		0						0
25		ムシクイ	センダイムシクイ	10			1	10			1	10		0		0	1	10				0
26		メジロ	メジロ	41	6	243	5	203			8	324	3	122	1	243					2	81
27		ヨシキリ	オオヨシキリ	25	1	25							3	75	1	25						0
28		セッカ	セッカ	10									1	10	3	0						0
29		ムクドリ	ムクドリ	88									2	176	7	0						0
30		ヒタキ	ツグミ	69			2	138			1	69		0		0						0
31			キビタキ	16							3	47		0		0						0
32		スズメ	スズメ	24			10	240	7	168			12	288	27	0	13	312			46	1,104
33		セキレイ	ハクセキレイ	26										0	1	0						0
34			セグロセキレイ	27	1	27							2	54		0					1	27
35		アトリ	カワラヒワ	20			7	137					7	137	14	0	3	59	1	20	4	78
36			シメ	50	1	50	1	50						0		0						0
37		ホオジロ	ホオジロ	22	9	194	4	86	5	108	3	65	4	86	15	2,903	9	194			2	43
38			ノジコ	16							1	16		0		0						0
39	キジ	キジ	コジュケイ	275	4	1,100	1	275						0		0	2	550				0
合計　9目28科39種				種数	18		21		5		15		22		21		12		3		14	
				個体数	95		144		23		88		110		158		69		3		101	
				総重量(g)	6,548		14,913		2,571		10,314		35,713		35,713		8,091		542		35,713	
				環境区分の面積(ha)	20		38		3		22		58		34		13		1		20	
				1haあたり重量(g)	328		389		1,025		478		619		1,063		607		507		1,779	
				1haあたり個体数	5		4		9		4		2		5		5		3		5	

表 2.10.1-2(2)　鳥類相調査におけるラインセンサス調査結果（初夏季）

No.	目名	科名	種名(和名)	1個体当り基礎重量(g)	環境区分																	
					広葉樹林		針葉樹林		その他樹林		竹林		水田		畑		草地		開放水域		人工環境	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	キジ	キジ	キジ	1,040	1	1,040		0	1	1,040	1	1,040	2	2,079	8	8,316		0			1	1,040
2	カモ	カモ	カルガモ	1,073		0	6	6,435				0	16	17,160	1	1,073		0				
3	ハト	ハト	キジバト	249	6	1,494	3	747			1	249	2	498	12	2,988	4	996			5	1,245
4	ペリカン	サギ	ゴイサギ	515		0		0				0	5	2,575				0				
5			ダイサギ	1,500		0		0				0	1	1,500				0				
6			チュウサギ	535	0	0	0	0				0	5	2,675				0				
7	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	64	1	64	0	0			1	64	0	0				0				
8	チドリ	チドリ	コチドリ	44		0		0				0	1	44				0			2	88
9	タカ	タカ	サシバ	410		0		0				0		0			1	410				
10	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	27		0		0				0	2	54			0	0				
11	キツツキ	キツツキ	コゲラ	22	9	198	5	110			4	88		0	2	44	1	22			1	22
12	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ	20		0		0			2	39		0				0				
13		モズ	モズ	38		0	1	38	1	38	1	38	4	150	4	150	1	38			1	38
14		カラス	カケス	135	1	135	4	538	3	404	2	269		0				0				
15			ハシボソガラス	503		0	4	2,012				0	7	3,521	2	1,006		0				
16			ハシブトガラス	500		0	6	3,000			1	500	1	500	4	2,000	2	1,000			3	1,500
17		シジュウカラ	ヤマガラ	17	2	34	10	170				0		0				0				
18			シジュウカラ	15	17	255	6	90			8	120	1	15	5	75	1	15			1	15
19		ヒバリ	ヒバリ	35		0		0				0		0	19	665		0				
20		ツバメ	ツバメ	20	0	0	3	59			0	0	12	234	2	39		0			13	254
21		ヒヨドリ	ヒヨドリ	68	32	2,160	38	2,565	2	135	21	1,418	7	473	38	2,565	4	270			3	203
22		ウグイス	ウグイス	17	13	215	10	165	8	132	20	330	4	66	10	165	11	182			3	50
23			ヤブサメ	8	1	8	1	8			2	16		0				0				
24		エナガ	エナガ	7	13	91	2	14			10	70		0	2	14		0				
25		メジロ	メジロ	41	10	405	12	486			9	365		0	3	122	7	284				
26		ヨシキリ	オオヨシキリ	25	1	25	1	25				0	2	50			2	50			1	25
27		セッカ	セッカ	10		0		0				0		0	7	70		0				
28		ムクドリ	ムクドリ	88		0	1	88				0	4	352	6	528		0			2	176
29		ヒタキ	キビタキ	16	2	31	1	16			3	47		0				0				
30		スズメ	スズメ	24	3	72	6	144			1	24	16	384	40	960	8	192			13	312
31		セキレイ	ハクセキレイ	26		0		0				0		0	1	26		0			2	51
32			セグロセキレイ	27		0		0				0	7	189	2	54		0			2	54
33		アトリ	カワラヒワ	20	4	78	10	195				0	4	78	33	644	4	78			5	98
34		ホオジロ	ホオジロ	22	6	129	9	194			3	65	3	65	15	323	6	129			5	108
35	キジ	キジ	コジュケイ	275	2	550		0				0	4	1,100			2	550				
合計　10目27科35種			種数		20		23		5		18		23		21		15		0		17	
			個体数		124		139		15		90		110		216		54		0		63	
			総重量(g)		6,983		17,097		1,748		4,739		33,761		21,825		4,215		0		5,276	
			環境区分の面積(ha)		20		38		3		22		58		34		13		1		20	
			1haあたり重量(g)		350		446		696		220		585		650		316		0		263	
			1haあたり個体数		6		4		6		4		2		6		4		0		3	

表 2.10.1-2(3)　鳥類相調査におけるラインセンサス調査結果（夏季）

No.	目名	科名	種名(和名)	1個体当り基礎重量(g)	環境区分																	
					広葉樹林		針葉樹林		その他樹林		竹林		水田		畑		草地		開放水域		人工環境	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	キジ	キジ	キジ	1,040				0				0	2	2,079	3	3,119	2	2,079			1	1,040
2	カモ	カモ	オシドリ	497				0				0	0	0		0						
3			カルガモ	1,073				0				0	9	9,653		0						
4	ハト	ハト	キジバト	249			8	1,992			8	1,992	13	3,237	26	6,474	3	747			5	1,245
5	ペリカン	サギ	ゴイサギ	515				0				0	2	1,030		0						
6			ダイサギ	1,500			1	1,500				0	4	6,000	0	0						
7			チュウサギ	535				0				0	4	2,140		0						
8	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	64			0	0				0		0	0	0						
9	チドリ	チドリ	コチドリ	44				0				0		0	1	44						
10	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	27			2	54				0	1	27		0						
11	キツツキ	キツツキ	コゲラ	22	5	110	6	132	1	22		0		0	2	44					1	22
12	スズメ	モズ	モズ	38	1	38	2	75				0	3	113		0	1	38			2	75
13		カラス	カケス	135			2	269				0		0		0						
14			ハシボソガラス	503	2	1,006		0				0	2	1,006	1	503						
15			ハシブトガラス	500	6	3,000		0			1	500	3	1,500	2	1,000					3	1,500
16		シジュウカラ	ヤマガラ	17	4	68	9	153			2	34		0		0	2	34			1	17
17			シジュウカラ	15	6	90	10	150			24	360		0	5	75	1	15				
18		ヒバリ	ヒバリ	35				0				0	1	35	19	665						
19		ツバメ	ツバメ	20				0			0	0	2	39		0					7	137
20		ヒヨドリ	ヒヨドリ	68	40	2,700	45	3,038	2	135	32	2,160	25	1,688	5	338	9	608			11	743
21		ウグイス	ウグイス	17	18	297	13	215	1	17	20	330	7	116	17	281	17	281	2	33	8	132
22			ヤブサメ	8	1	8		0			1	8		0		0						
23		エナガ	エナガ	7			6	42				0		0		0						
24		メジロ	メジロ	41	17	689	13	527			5	203	1	41	4	162					3	122
25		ヨシキリ	オオヨシキリ	25				0				0	8	200		0					1	25
26		ムクドリ	ムクドリ	88			20	1,760				0		0		0					2	176
27		スズメ	スズメ	24			8	192			10	240	5	120	33	792	17	408			61	1,464
28		セキレイ	ハクセキレイ	26				0				0		0	3	77						
29			セグロセキレイ	27				0				0	1	27	1	27						
30		アトリ	カワラヒワ	20	3	59	7	137				0	5	98	15	293					2	39
31		ホオジロ	ホオジロ	22	3	65	6	129			3	65	5	108	8	172	4	86			9	194
32	キジ	キジ	コジュケイ	275	2	550	1	275	1	275		0		0	1	275						
33	ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	309			16	4,944				0		0		0						
34	スズメ	チメドリ	ガビチョウ	63			1	63				0		0		0						
35			ソウシチョウ	24				0			2	48		0		0						
合計　9目24科35種			種数		13		20		4		12		21		19		9		1		15	
			個体数		108		176		5		108		103		146		56		2		117	
			総重量(g)		8,678		15,645		449		5,939		23,254		14,339		4,295		33		6,929	
			環境区分の面積(ha)		20		38		3		22		58		34		13		1		20	
			1haあたり重量(g)		435		408		179		275		507		427		322		31		345	
			1haあたり個体数		5		5		2		5		2		4		4		2		6	

表 2.10.1-2(4)　鳥類相調査におけるラインセンサス調査結果（秋季）

No.	目名	科名	種名(和名)	1個体当り基礎重量(g)	環境区分															
					広葉樹林		針葉樹林		その他樹林		竹林		水田		畑		草地		開放水域		人工環境	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	キジ	キジ	キジ	1039.5	1	1039.5	1	1039.5						0								
2	カモ	カモ	オシドリ	496.5	1	496.5								0								
3	ハト	ハト	キジバト	249	1	249	16	3984			10	2490	12	2988	16	3984	6	1494			10	2490
4	ペリカン	サギ	ダイサギ	1500									1	1500								
5			チュウサギ	535									1	535								
6	ツル	クイナ	シロハラクイナ	250									1	250								
7			バン	262.5									1	262.5								
8	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	27	1	27							1	27								
9	キツツキ	キツツキ	コゲラ	22	1	22	5	110			2	44		0								
10	スズメ	モズ	モズ	37.5	6	225	10	375	3	112.5	8	300	9	337.5	15	562.5	5	187.5	1	37.5	11	412.5
11		カラス	カケス	134.5	2	269	8	1076			4	672.5	0	0			3	403.5				
12			ハシボソガラス	503	5	2515	1	503					1	503	4	2012	1	503			3	1509
13			ハシブトガラス	500			18	9000			7	3500	5	2500	8	4000	1	500			6	3000
14		シジュウカラ	ヤマガラ	17	4	68	10	170			2	34		0	3	51	2	34			5	85
15			ヒガラ	7	1	7					4	28		0								
16			シジュウカラ	15	1	15	9	135			3	45		0	12	180	2	30			4	60
17		ヒバリ	ヒバリ	35										0	2	70						
18		ツバメ	ツバメ	19.5							2	39		0								
19		ヒヨドリ	ヒヨドリ	67.5	32	2160	64	4320	9	607.5	29	1957.5	30	2025	19	1282.5	12	810			12	810
20		ウグイス	ウグイス	16.5	3	49.5	8	132			11	181.5	1	16.5	5	82.5	2	33				
21		エナガ	エナガ	7	1	7	13	91						0	24	168						
22		メジロ	メジロ	40.5	17	688.5	19	769.5			6	243		0	6	243	4	162			9	364.5
23		ムクドリ	ムクドリ	88										0	14	1232					30	2640
24		ヒタキ	コサメビタキ	13							1	13		0								
25		スズメ	スズメ	24			3	72			14	336	82	1968	13	312	1	24	4	96	41	984
26		セキレイ	キセキレイ	16.5									1	16.5								
27			ハクセキレイ	25.5			1	25.5					7	178.5	3	76.5					3	76.5
28			セグロセキレイ	27									10	270	2	54	1	27			4	108
29		ホオジロ	ホオジロ	21.5	5	107.5	2	43			2	43	1	21.5	8	172	4	86			1	21.5
30	キジ	キジ	コジュケイ	275	1	275	9	2475			2	550		0			3	825			1	275
31	ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	309										0	7	2163						
合計　8目21科31種			種数		17		17		2		16		17		17		14		2		14	
			個体数		83		197		12		107		164		161		47		5		140	
			総重量(g)		8220.5		24320.5		720		10476.5		13399		16645		5119		133.5		12836	
			環境区分の面積(ha)		19.96		38.33		2.51		21.57		57.67		33.59		13.32		1.07		20.07	
			1haあたり重量(g)		411.85		634.48		286.94		485.76		232.34		495.51		384.33		124.87		639.45	
			1haあたり個体数		4.16		5.14		4.78		4.96		2.84		4.79		3.53		4.68		6.97	

表 2.10.1-2(5)　鳥類相調査におけるラインセンサス調査結果（冬季）

No.	目名	科名	種名(和名)	1個体当り基礎重量(g)	環境区分															
					広葉樹林		針葉樹林		その他樹林		竹林		水田		畑		草地		開放水域		人工環境	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カモ	カモ	オシドリ	496.5				0								0			3	1489.5		0
2			カルガモ	1072.5				0					2	2145		0						0
3	ハト	ハト	キジバト	249	44	10956	10	2490			6	1494	64	15936	11	2739	2	498			6	1494
4	チドリ	シギ	タシギ	113				0					1	113		0						0
5	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	27				0					2	54		0						0
6	キツツキ	キツツキ	コゲラ	22	4	88	8	176			2	44	2	44	1	22	1	22				0
7	スズメ	モズ	モズ	37.5	1	37.5	1	37.5			1	37.5	6	225	3	112.5	1	37.5			1	37.5
8		カラス	カケス	134.5	6	807	2	269			3	403.5			1	134.5						0
9			ハシボソガラス	503	6	3018	1	503					1	503		0						0
10			ハシブトガラス	500	3	1500		0			8	4000			4	2000					11	5500
11		キクイタダキ	キクイタダキ	4.5			2	9								0						0
12		シジュウカラ	ヤマガラ	17	2	34	10	170			2	34				0						0
13			シジュウカラ	15	2	30	10	150			3	45	2	30	7	105	4	60				0
14		ヒバリ	ヒバリ	35				0							0	0						0
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	67.5	5	337.5	38	2565	1	67.5	15	1012.5	2	135	8	540					11	742.5
16		ウグイス	ウグイス	16.5	8	132	12	198	2	33	4	66	1	16.5	6	99	6	99			1	16.5
17		エナガ	エナガ	7	8	56	12	84			13	91	5	35	8	56						0
18		メジロ	メジロ	40.5	25	1012.5	58	2349			6	243	5	202.5	4	162					5	202.5
19		ミソサザイ	ミソサザイ	10	1	10		0								0						0
20		ムクドリ	ムクドリ	88				0					57	5016	2	176						0
21		ヒタキ	シロハラ	72	2	144	9	648			5	360	3	216	3	216	1	72				0
22			ツグミ	69	3	207	2	138	2	138			19	1311	11	759	1	69	1	69	9	621
-			ツグミ属の一種	69				0			1	69				0						0
23			ルリビタキ	14.5			2	29								0						0
24			ジョウビタキ	17				0			1	17			1	17						0
25		スズメ	スズメ	24			4	96			3	72	466	11184	5	120	20	480			71	1704
26		セキレイ	ハクセキレイ	25.5				0					4	102	5	127.5					5	127.5
27			セグロセキレイ	27				0			1	27	9	243	2	54	2	54	5	135		0
28			ビンズイ	23			3	69					11	253	3	69					2	46
29			タヒバリ	25				0							2	50						0
30		アトリ	アトリ	21.5	1	21.5		0								0						0
31			カワラヒワ	19.5	1	19.5	23	448.5	4	78			30	585	4	78	1	19.5			4	78
32			マヒワ	13			16	208								0						0
33			ウソ	22.5			3	67.5								0						0
34			シメ	49.5	4	198	1	49.5					1	49.5		0	1	49.5			1	49.5
35		ホオジロ	ホオジロ	21.5			2	43	2	43	5	150.5	13	279.5	6	129	8	172	11	236.5	1	21.5
36			カシラダカ	20	7	140	9	180	8	160			5	100	17	340	14	280			2	40
37			アオジ	20.5	13	266.5	36	738	9	184.5	12	246	14	287	22	451	24	492	5	102.5	6	123
-			ホオジロ科の一種	20				0								0	1	20				0
38	キジ	キジ	コジュケイ	275	4	1100	1	275								0						0
合計　6目21科38種			種数		21		25		7		17		24		24		14		5		15	
			個体数		150		275		28		91		725		136		87		25		136	
			総重量(g)		20115		11990		704		8412		39065		8556.5		2424.5		2032.5		10803.5	
			環境区分の面積(ha)		19.96		38.33		2.51		21.57		57.67		33.59		13.32		1.07		20.07	
			1haあたり重量(g)		1007.78		312.80		280.56		390.04		677.39		254.72		182.03		1901.10		538.20	
			1haあたり個体数		7.52		7.17		11.16		4.22		12.57		4.05		6.53		23.38		6.78	

ｲ)高利用域あたりの餌資源量の推定

高利用域あたりの餌資源量の推定方法の詳細は、図 2.10.1-3 に示すとおりである。

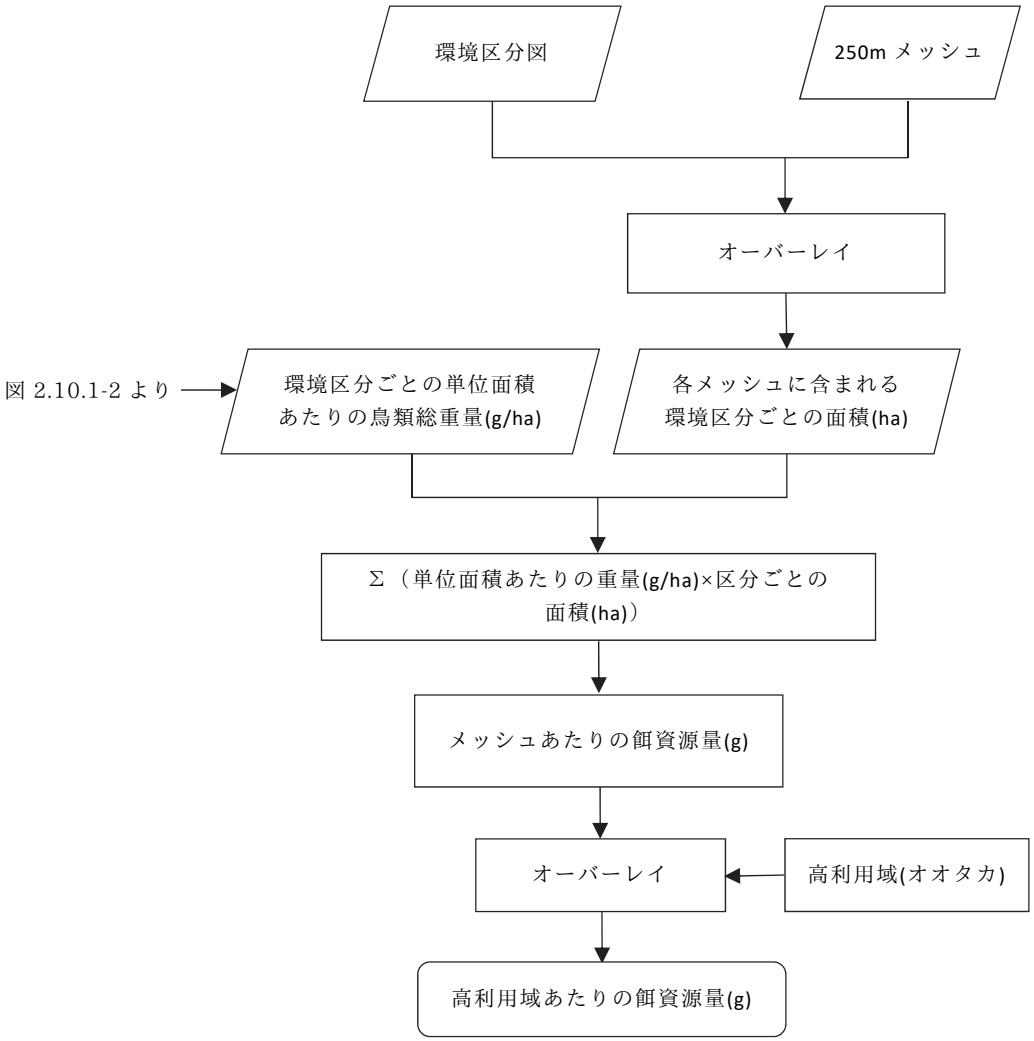


図 2.10.1-3　高利用域あたりの餌資源量の推定フロー(オオタカ)

ｲ. サシバ

(ｱ) 餌内容

2014～2017 年（平成 26～29 年）にかけて実施した猛禽類調査において確認したサシバのハンティングの餌内容は、表 2.10.1-3 に示すとおりである。

表 2.10.1-3　ハンティングの餌内容

ハンティング種類	2014 年				2015 年		2016 年					2017 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	3 月	4 月	5 月	
カエル類	16	4	17	1	14	2	10	11	8	2	0	0	20	6	111
トカゲ類	1	4	2	1	2	1	1	4	5	0	0	0	2	2	25
ヘビ類	1	0	4	0	2	0	0	2	2	0	0	0	1	0	12
昆虫類	2	1	5	2	1	2	1	6	6	2	0	0	2	3	33
昆虫の幼虫	0	1	1	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	1	9
小型哺乳類	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
その他	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	5
不明	23	9	24	7	8	8	19	17	30	5	0	0	15	10	175
ハンティング回数合計	43	19	54	12	27	15	32	41	59	9	0	0	41	22	374
ハンティング回数合計(不明を除く)	20	10	30	5	19	7	13	24	29	4	0	0	26	12	199

(ｲ) カエル類のラインセンサス調査結果

サシバの餌資源量の把握を目的として実施したカエル類のラインセンサス調査結果は、表 2.10.1-4 示すとおりである。

表 2.10.1-4　カエル類のラインセンサス調査結果

ラインセンサス調査ルート	アズマヒキガエル		ウシガエル		シュレーゲルアオガエル		トウキョウダルマガエル		ニホンアカガエル		ニホンアマガエル		集計	
	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
L1	0	0	0	0	0	0	9	10	14	285	34	476	57	771
L2	0	0	0	0	5	148	0	0	11	49	62	2,453	78	2,650
L3	0	0	1	3	2	2	3	3	7	12	52	1,114	65	1,134
L4	0	0	2	4	7	18	1	1	6	20	34	1,309	50	1,352
L5	0	0	0	0	1	1	2	2	19	66	25	474	47	543
L6	0	0	0	0	1	1	0	0	17	86	71	3,685	89	3,772
L7	0	0	0	0	1	1	1	1	7	65	47	304	56	371
L8	0	0	0	0	9	16	0	0	3	4	67	647	79	667
L9	0	0	0	0	3	3	2	3	41	141	49	425	95	572
L10	1	1	0	0	0	0	0	0	2	18	37	189	40	208
L11	0	0	0	0	1	1	2	2	1	1	32	277	36	281
L12	0	0	0	0	0	0	29	42	3	11	43	223	75	276
合計	1	1	3	7	30	191	49	64	131	758	553	11,576	767	12,597

ｱ)餌資源量の推定

サシバの餌資源量推定の方法の詳細は、図 2.10.1-4～2.10.1-5 に示すとおりである。

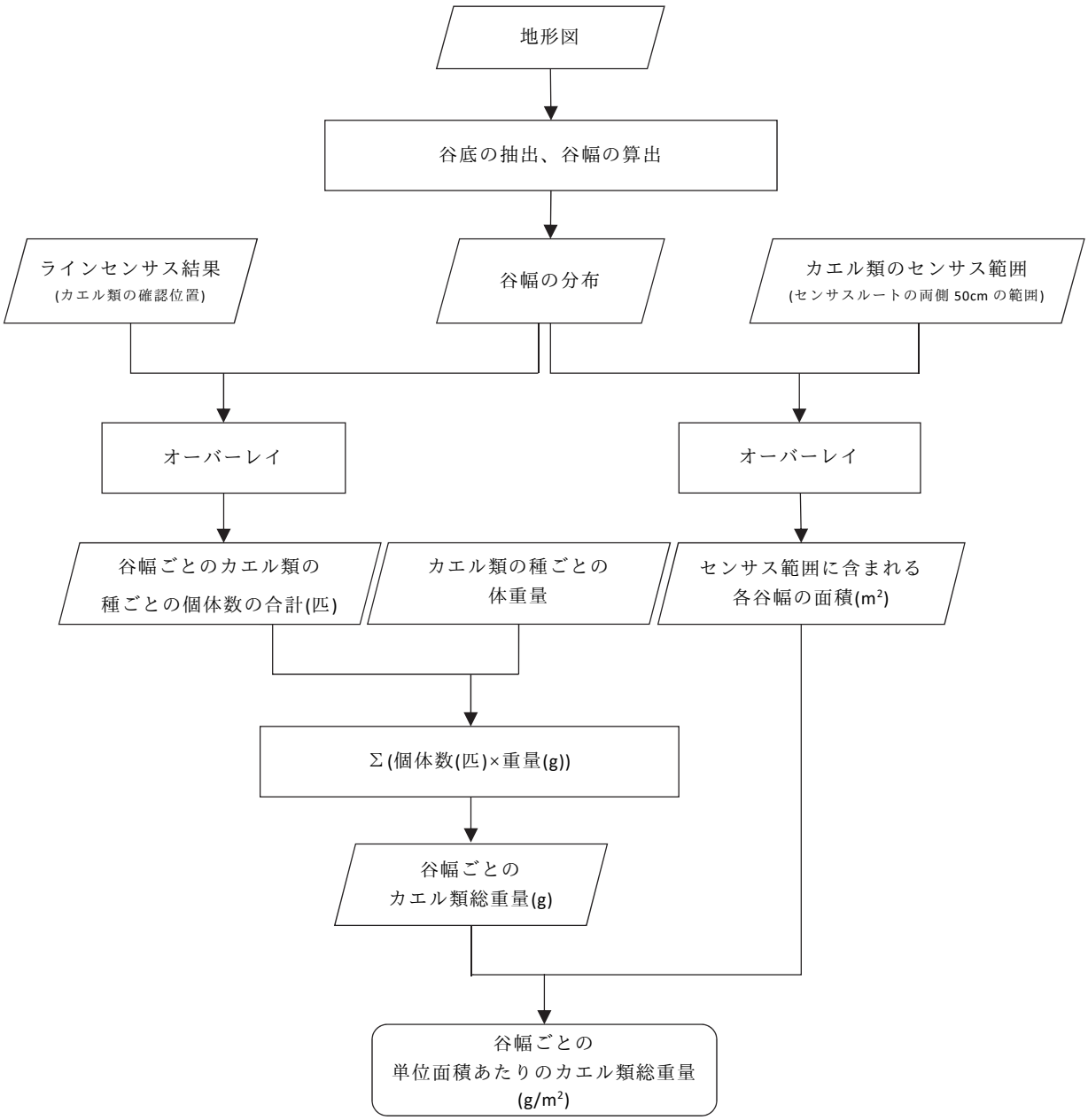
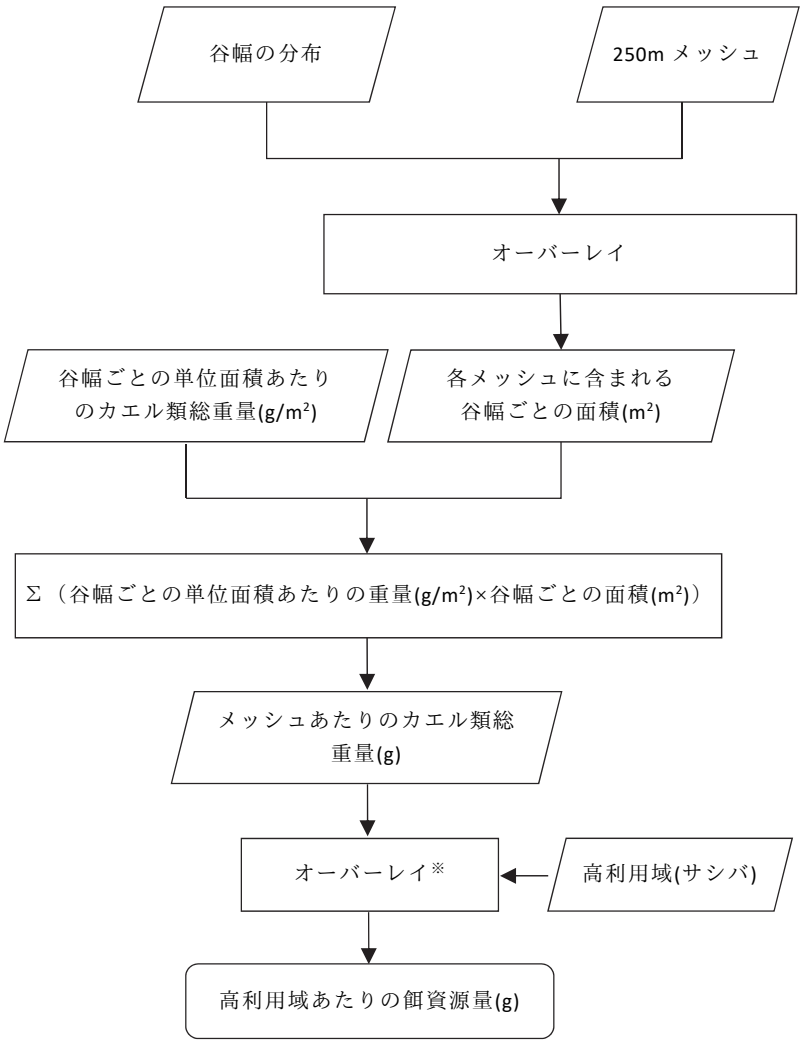


図 2.10.1-4　谷幅ごとの餌資源量の推定フロー



※　各々の重心が高利用域に含まれるメッシュを、
高利用域に重なるメッシュとして抽出した。

図 2.10.1-5　高利用域あたりの餌資源量の推定フロー

ｳ. サギ類

ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギのラインセンサス調査における確認状況は、表 2.10.1-5 に示すとおりである。ラインセンサスの範囲は、センサスルートから両側 50m の範囲内とした。

表 2.10.1-5　ラインセンサス調査におけるサギ類の確認状況

No.	科名	種名	ラインNo.																					
			2		3		4		6		7		8		9		10		11		12		13		集計	
			例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数	例数	個体数
1	サギ	ゴイサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	6	5	7
2		アオサギ	5	8	1	1	2	2	3	5	7	10	18	28	8	8	1	3	4	5	9	9	10	10	68	89
3		ダイサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	1	1	3	3	3	3	11	11
4		チュウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	6	1	1	0	0	0	0	1	1	4	4	13	13
合計	1科	4種	5	8	1	1	2	2	3	5	8	11	26	36	12	12	1	3	5	6	13	13	21	23	97	120

I. アカネズミ

(ｱ) 資源選択性ランクの評価

資源選択性ランクの評価方法の詳細は、図 2.10.1-6 に示すとおりである。

また、環境区分の詳細は表 2.10.1-6 に示すとおりである。

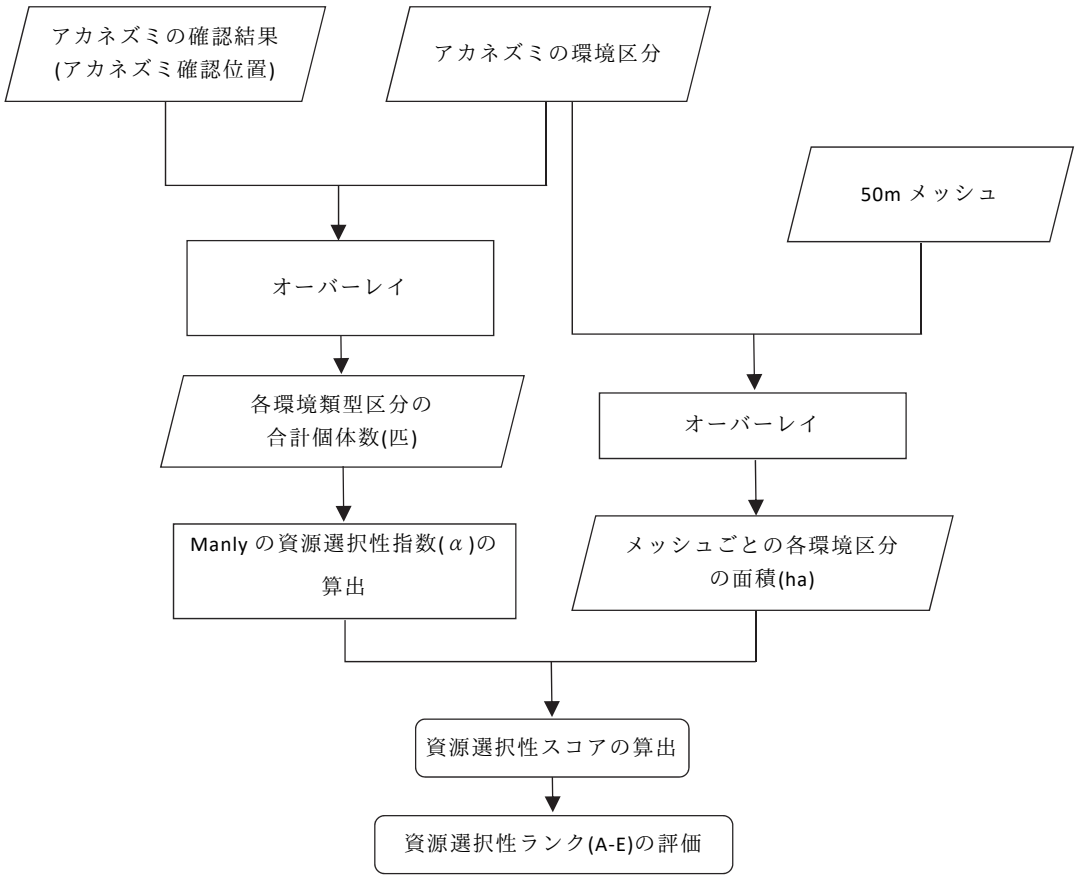


図 2.10.1-6　資源選択性ランクの評価フロー

表 2.10.1-6　環境区分と植生図の凡例の対応

No.	環境区分	群落名・土地利用	面積（ha）
1	落葉広葉樹林	コナラ群落	185.22
		エノキ群落	10.19
		アカメヤナギ群落	3.63
		ヤマグワ群落	3.59
2	常緑広葉樹林	スダジイ群落	12.21
		シラカシ群落	53.97
		トウネズミモチ群落	0.13
		その他植林	50.05
3	針葉樹植林	スギ群落	601.78
		ヒノキ群落	10.57
		アカマツ群落	1.86
4	竹林	マダケ群落	160.67
		モウソウチク群落	82.23
5	湿性草地	ヨシ群落	47.92
		ガマ群落	0.87
		ヒメガマ群落	2.30
		オギ群落	2.69
		カサスゲ群落	1.64
6	乾性草地	クズ群落	48.97
		アズマネザサ群落	48.10
		ススキ群落	17.06
		セイタカアワダチソウ群落	36.66
		カナムグラ群落	4.43
		伐採跡地	1.83
		路傍・空地雑草群落	46.96
		ゴルフ場・芝地（人工草地）	546.92
7	水田	放棄水田雑草群落	27.03
		水田雑草群落	333.63
8	乾性農地（畑・果樹園等）	放棄畑雑草群落	50.36
		畑雑草群落	644.20
		果樹園	8.05
		苗圃・植木畑	10.52
9	その他（人工環境・水域等）	ヤナギモ群落	0.06
		公園・グラウンド	35.71
		緑の多い住宅地	105.88
		市街地等	1,199.85
		造成地	96.76
		開放水域	11.36

ｵ. ミナミメダカ

(ｱ) 除去法による調査区間における個体数の推定

調査区間における個体数推定値$\hat{N}$は、3 回繰り返し除去法[注1)]を用いた。計算方法は式 2.10.1-1 に示すとおりである。

式 2.10.1-1　調査区間に生息する対象種（ミナミメダカ）の個体数推定値

$$\hat{N} = \bar{T} + \left({}^{\bar{C}}/_{b} \right)$$

b ： i 回目の捕獲時の捕獲数（C_i : i=1,2,3）と i 時点以前に捕獲・除去された総個体数（T_i : i=1,2,3）との関係に直線回帰式 C＝a－bT をあてはめた時の回帰係数 b

$\bar{C}$ ： C_iの平均値

$\bar{T}$ ： T_iの平均値

(ｲ) 捕獲効率の算出

(ｱ)で算出した調査区間における個体数推定値と、同一区間における魚類相調査結果をもとに、捕獲効率を算出した。捕獲効率の算出式は、式 2.10.1-2 に示すとおりである。

式 2.10.1-2　捕獲効率の算出式

$$\text{捕獲効率} = \frac{\text{ある区間の任意採集調査で確認された対象種(ミナミメダカ)の個体数}}{\text{ある区間に生息する対象種(ミナミメダカ)の個体数推定値}\hat{N}}$$

注 1）以下の資料を参照。

資料：「動物の個体群動態研究法Ⅰ－個体数推定法－」（昭和 61 年　久野英二）

ｶ. 樹林性チョウ類

現地調査における確認状況は、表 2.10.1-7 に示すとおりである。

表 2.10.1-7　樹林性チョウ類の確認状況

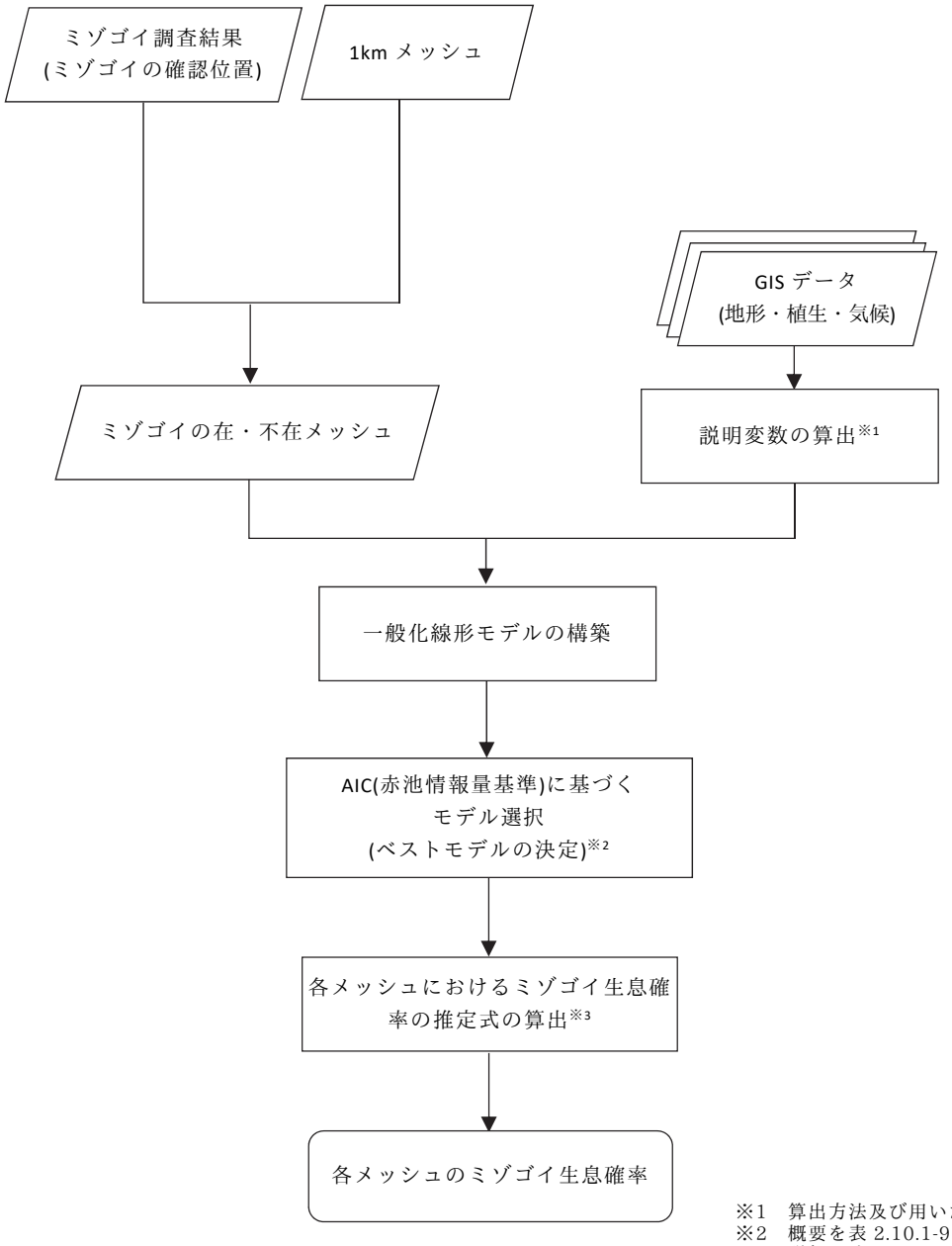
No.	科名	種名(和名)	学名	調査地域A				調査地域B				調査地域C											
				No.1				No.2				No.3				No.4				No.5			
				4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
1	セセリチョウ	ダイミョウセセリ	*Daimio tethys*							1											1		
2	アゲハチョウ	アオスジアゲハ	*Graphium sarpedon nipponum*				3				3												3
3		カラスアゲハ本土亜種	*Papilio bianor dehaanii*		2		1				2								1				
4		モンキアゲハ	*Papilio helenus nicconicolens*							1	2												
5		ナガサキアゲハ	*Papilio memnon thunbergii*						1														
6		クロアゲハ本土亜種	*Papilio protenor demetrius*				2		3		2										1		
7		ナミアゲハ	*Papilio xuthus*							1	1			1			1						
8	シジミチョウ	ヨツバメ	*Callophrys ferrea*													1							
9		アカシジミ	*Japonica lutea lutea*							1				1				1					
10		ウラナミアカシジミ	*Japonica saepestriata*							1													
11		ムラサキシジミ	*Narathura japonica*				3		1	2	3				1			1			2	2	9
12	ウラギンシジミチョウ	ウラギンシジミ	*Curetis acuta paracuta*							1	7			1	2			1	4				
13	テングチョウ	テングチョウ本土亜種	*Libythea celtis celtoides*															2					
14	タテハチョウ	ゴマダラチョウ	*Hestina japonica*															1					
15		ルリタテハ本土亜種	*Kaniska canace nojaponicum*						1		1	1		1			1					2	
16		イチモンジチョウ	*Ladoga camilla japonica*								1							3					
17		コミスジ	*Neptis sappho intermedia*		1		1			2	4							3	1			2	
18	ジャノメチョウ	ヒカゲチョウ	*Lethe sicelis*			2	2			11	15			25				5				10	
19		クロコノマチョウ	*Melanitis phedima oitensis*					1				1										2	
20		コジャノメ	*Mycalesis francisca perdiccas*		1	1				1											1		
21		ヒメジャノメ	*Mycalesis gotama fulginia*							4	1												
22		サトキマダラヒカゲ	*Neope goschkevitschii*			5				11				3				4	2			11	
23		ヒメウラナミジャノメ	*Ypthima argus*		27		3	2	16	1	54		34	1	62	2	12	1	8		28	5	4
合計	7科	23種	総個体数		31	8	15	3	22	38	96	2	34	33	65	3	14	22	16		33	34	16
			確認種数(ルート調査時季毎)	0種	4種	3種	7種	2種	5種	13種	13種	2種	1種	7種	3種	2種	3種	10種	5種	0種	5種	7種	3種
			確認種数(ルート毎)	9種				20種				8種				14種				11種			
			確認種数(地点毎)	9種				20種				19種											

ｷ. ミゾゴイ

(ｱ) 生息環境の推定分布

ミゾゴイの生息確率の推定方法の詳細は、図 2.10.1-7 に示すとおりである。

一般化線形モデルの構築にあたっては、浜口寛ら[注2)]の手法を参考とした。



※1　算出方法及び用いたデータは表 2.10.1-8 に示す。
※2　概要を表 2.10.1-9 に示す。
※3　詳細を式 2.10.1-3 に示す。

図 2.10.1-7　生息確率の推定フロー

注 2）以下の資料を参照。

資料：浜口寛ら（2014）「愛知県西三河地域におけるミゾゴイ *Gorsachius goisagi* の生息環境モデル」（日本鳥学会誌 63(1),33-41）

表 2.10.1-8　モデル構築に用いた説明変数とその算出方法

説明変数	算出方法
年平均降水量（mm）	平年値（気候）メッシュ※1 をもとに 3 次メッシュ毎に算出
標高（m）	5m メッシュ数値標高モデル※2 をもとに 3 次メッシュ毎の平均値を算出し、各メッシュの値とした。
傾斜（°）	5m メッシュ数値標高モデル※2 をもとに傾斜角を計算後 3 次メッシュ毎に平均値を算出し、各メッシュの値とした
谷津田跡（放棄水田）面積（ha）	土地条件図※3 と植生図※4 を重ね合わせ、「氾濫原・谷底平野」に重なる放棄水田雑草群落を谷津田跡（放棄水田）面積とした。その面積を 3 次メッシュ毎に集計して各メッシュの値とした。
谷津田跡（樹林）面積(ha)	土地条件図※3 と植生図※4 を重ね合わせ、氾濫原・谷底平野に重なる樹林地を谷津田跡（放棄水田）面積とした。その面積を 3 次メッシュ毎に集計して各メッシュの値とした。
自然林面積（ha）	植生図※4 より抽出した自然林の面積を、3 次メッシュ毎に集計して各メッシュの値とした。
樹林面積（ha）	植生図※4 より抽出した自然林および人工林の面積を、3 次メッシュ毎に集計して各メッシュの値とした。
水田面積（ha）	植生図※4 より抽出した水田雑草群落の面積を、3 次メッシュ毎に集計して各メッシュの値とした。

※1　国土数値情報（国土交通省国土政策局国土情報課）
※2　基盤地図情報（国土地理院）
※3　土地条件図 25000（国土地理院）
※4　第 6,7 回自然環境保全基礎調査植生図（環境省生物多様性センター）

表 2.10.1-9　ベストモデルの概要

説明変数	係数の推定値
（切片）	−13.36
降水量（mm）	0.20
傾斜角（°）	0.43
水田面積（ha）	1.07×10^{-5}

式 2.10.1-3　各メッシュにおけるミゾゴイ生息確率の推定式

$$\text{ミゾゴイ生息確率 p} = \frac{1}{1 + e^{-f(x)}}$$

$$\text{ただし、} f(x) = -13.36 + 0.20 \times \text{降水量(mm)} + 0.43 \times \text{傾斜角(°)} + 1.07 \times 10^{-5} \times \text{水田面積(ha)}$$

ｸ. ホトケドジョウ

(ｱ) 個体数推定

ホトケドジョウの個体数は、ミナミメダカと同様の手法で求めた。

2.11. 景観

(1) 調査概要

景観の調査概要は表 2.11-1 に示すとおりである。

表 2.11-1(1)　景観の調査概要（文献その他の資料調査）

調査項目	調査方法
眺望点の分布状況	観光案内図等による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析

表 2.11-1(2)　景観の調査概要（現地調査）

調査時期	調査期間	調査項目	調査地点
夏季	2016 年 8 月 25 日（木）	主要な眺望景観の状況	No.1～17
秋季	2016 年 11 月 4 日（金）		
冬季	2017 年 1 月 25 日（水）		
春季	2017 年 3 月 29 日（水）		

(2) 調査結果

1) 文献調査

景観の文献その他の資料調査結果は、表 2.11-2～表 2.11-4 に示すとおりである。

表 2.11-2(1)　文献その他の資料調査の対象資料

No.	資料名
1	「ちば遺産 100 選」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
2	「ちば文化的景観」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
3	「自然環境保全地域の指定状況」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
4	「千葉県の自然公園一覧表」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
5	「「北総四都市江戸紀行」日本遺産に認定！」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
6	「成田ふるさとガイド」（平成 29 年 9 月　成田市）
7	「成田市緑の基本計画」（平成 22 年 3 月　成田市）
8	「なりた子育てガイドブック(平成 29 年 6 月)」（成田市ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
9	「NPO 成田さくらの里」（NPO さくらの里ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
10	「平成 28 年度特定非営利活動に係る事業報告書」（平成 29 年　特定非営利活動法人　成田・里山を育てる会）
11	「たこるんぱ」（多古町ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
12	「観光･歴史　自然」（芝山町ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
13	「芝山町観光ガイドふらりしばやま」（芝山町観光協会　平成 29 年 11 月閲覧）
14	「芝山町文化財マップ」（芝山町教育委員会　平成 29 年 11 月閲覧）
15	「栗山川」（栗山川サケ放流事業推進連絡協議会　平成 29 年 11 月閲覧）
16	「山中古道＆アクセス」（竹炭サークルかぐや姫・芝山ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
17	「一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会」（一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
18	「さんむツーリズムガイド」（平成 29 年　山武市）
19	「SAMMU　offical guide」（平成 29 年　山武市）
20	「自然景観資源調査」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）

表 2.11-2(2)　文献その他の資料調査の対象資料

No.	資料名
21	「日本の自然景観　南関東版(第 3 回自然環境保全基礎調査)」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
22	ＮＡＡ資料
23	ヒアリング結果

表 2.11-3　文献その他の資料調査結果（眺望点）

No.	市町	名称	住所	備考
1	成田市	十余三　東雲の丘	千葉県成田市十余三	
2		成田市　さくらの山	千葉県成田市駒井野	なりた景観資産 千葉眺望 100 景
3		成田国際空港	千葉県成田市古込	房総の魅力 500 選
4		三里塚さくらの丘	千葉県成田市三里塚	
5	多古町	水戸台第 1 公園	千葉県香取郡多古町水戸	
6		水戸台第 2 公園	千葉県香取郡多古町水戸	
7		水戸台第 3 公園	千葉県香取郡多古町水戸	
8	芝山町	上吹入城跡	千葉県山武郡芝山町上吹入	
9		航空科学博物館	千葉県山武郡芝山町岩山	
10		ひこうきの丘	千葉県山武郡芝山町岩山	

表 2.11-4(1)　文献その他の資料調査結果（景観資源）

No.	市町	名称	住所	備考
1	成田市	成田山門前の町並み	千葉県成田市	日本遺産
2		印旛沼とその周辺の里山景観	千葉県成田市	ちば文化的景観
3		県立印旛手賀自然公園	千葉県成田市	自然公園
4		成田山公園	千葉県成田市成田	なりた景観資産
5		成田山新勝寺の門前町景観	千葉県成田市成田	ちば文化的景観
6		三里塚記念公園	千葉県成田市三里塚	なりた景観資源 日本の歴史公園 100 選
7		麻賀多神社の森郷土環境保全地域	千葉県成田市台方	郷土環境保全地域
8		龍正院	千葉県成田市滑河	なりた景観資産 房総の魅力 500 選
9		大慈恩寺の森郷土環境保全地域	千葉県成田市吉岡	郷土環境保全地域
10		小御門神社の森郷土環境保全地域	千葉県成田市名古屋	郷土環境保全地域
11		坂田ヶ池	千葉県成田市大竹	日本の自然景観
12	多古町	多古町栗山川流域の谷津田景観	栗山川流域の平野	ちば文化的景観

表 2.11-4(2)　文献その他の資料調査結果（景観資源）

No.	市町	名称	住所	備考
13	横芝光町	乾草沼	千葉県山武郡横芝光町宮川	日本の自然景観
14		坂田池(坂田調整池)	千葉県山武郡横芝光町坂田池	日本の自然景観
15		中村新田湿地(湿原)	千葉県山武郡横芝光町篠本	日本の自然景観
16		県立九十九里自然公園	千葉県山武郡横芝光町	自然公園
17		殿下･南川岸湿地	千葉県山武市蓮沼ホ	日本の自然景観
18	山武市	山武市の山武杉のある景観	山武市周辺の台地	ちば文化的景観
19		長光寺	千葉県山武市埴谷	
20		妙宣寺	千葉県山武市埴谷	
21		加賀神社	千葉県山武市森	
22		県立九十九里自然公園	千葉県山武市	自然公園
23	香取市	香取市佐原伝統的建造物群保存地区	千葉県香取市	

2) 現地調査

景観の現地調査結果は、表 2.11-5～表 2.11-21 に示すとおりである。

表 2.11-5　景観調査結果（眺望景観の状況（大室集落付近））

No.1	大室集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は主に畑等が確認できるほか、東関東自動車道を横断して設置されている B 滑走路の進入灯火の赤い支柱が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-6　景観調査結果（眺望景観の状況（十余三 東雲の丘））

No.2	十余三 東雲の丘（所有者：NAA）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向にはビニールハウスがあり、その奥に樹林等が確認できる。
　また、写真右手には成田空港の防音壁も確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-7　景観調査結果（眺望景観の状況（さくらの山））

No.3	さくらの山（所有者：成田市）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、A 滑走路北端部と、その奥にホテル等の建物が確認できる。また写真中央及び左側には、空港用地のフェンス越しに航空保安施設の一部が確認でき、その奥には樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-8　景観調査結果（眺望景観の状況（第 2 旅客ターミナル展望デッキ））

No.4	第 2 旅客ターミナル展望デッキ（所有者：NAA）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、手前に第 2 旅客ターミナルビル本館の駐機場、写真左側に同サテライトの駐機場の一部が確認できる。駐機場や誘導路の奥には樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-9(1)　景観調査結果（眺望景観の状況（第 1 旅客ターミナル展望デッキ））

No.5	第 1 旅客ターミナル展望デッキ（北側）（所有者：NAA）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前に第 1 旅客ターミナルビルの中央ビル及び第 2 サテライトの上部が確認でき、その奥に駐機場と貨物地区施設が確認できる。さらに奥には、空港周辺のホテル等の建物や樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-9(2)　景観調査結果（眺望景観の状況（第 1 旅客ターミナル展望デッキ））

No.5	第 1 旅客ターミナル展望デッキ（南側）（所有者：NAA）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前に第 1 旅客ターミナルビルの中央ビル上部、写真右側に同第 3 サテライトの上部､写真左側に同南ウイングの上部が確認できる。またターミナルビルの奥には、空港南側地区の建物や芝山千代田駅周辺の民間の建物等が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-10　景観調査結果（眺望景観の状況（三里塚さくらの丘））

No.6	三里塚さくらの丘（所有者：NAA）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前に三里塚さくらの丘の広場が確認できるほか、その奥に A 滑走路と着陸帯が確認できる。さらにその奥は、左側に整備地区の建物、右側に空港周辺の民間の建物や樹林等が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-11　景観調査結果（眺望景観の状況（ひこうきの丘））

No.7	ひこうきの丘（所有者：芝山町）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前にひこうきの丘の広場が確認できるほか、フェンスの奥に航空保安施設等が確認できる。さらにその奥には、写真左側に整備地区の建物、写真中央に航空科学博物館、写真右側に空港周辺の民間の建物や樹林等が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-12　景観調査結果（眺望景観の状況（航空科学博物館））

No.8	航空科学博物館（所有者：公益社団法人航空科学博物館）

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、隣接する空港周辺の民間の建物等が確認できる。その奥に、樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-13　景観調査結果（眺望景観の状況（大里集落付近①））

No.9	大里集落付近①

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、交差点の両側に民家とコンビニエンスストアの駐車場が確認できる。その奥に樹林等が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-14　景観調査結果（眺望景観の状況（大里集落付近②））

No.10	大里集落付近②

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、高谷川沿いの水田等が確認でき、その奥に樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-15　景観調査結果（眺望景観の状況（菱田集落付近））

No.11	菱田集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、県道成田松尾線の沿道に民間の建物が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-16　景観調査結果（眺望景観の状況（大台集落付近））

No.12	大台集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、道路沿いの空地の奥に高谷川沿いの水田等が確認できる。その奥に斜面地の樹林や集落が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-17　景観調査結果（眺望景観の状況（飯櫃集落付近））

No.13	飯櫃集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、道路の奥に高谷川沿いの水田等が確認できる。さらにその奥に、斜面地の樹林や集落が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-18　景観調査結果（眺望景観の状況（喜多集落付近））

No.14	喜多集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、共同利用施設に隣接する田畑が確認できる。その奥には、樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-19　景観調査結果（眺望景観の状況（間倉集落付近））

No.15	間倉集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前に田畑、その奥に民家等の建物や樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-20　景観調査結果（眺望景観の状況（飯笹集落付近））

No.16	飯笹集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前に畑地、その奥に民家等の建物や樹林が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

表 2.11-21　景観調査結果（眺望景観の状況（川上集落付近））

No.17	川上集落付近

＜眺望景観の状況＞

・対象事業実施区域の方向は、写真手前に隣接するテニスコート、その奥に県道成田小見川鹿島港線沿いの民家等が確認できる。

眺望点からの景観（夏季：平成 28 年 8 月 25 日）

眺望点からの景観（秋季：平成 28 年 11 月 4 日）

眺望点からの景観（冬季：平成 29 年 1 月 25 日）

眺望点からの景観（春季：平成 29 年 3 月 29 日）

2.12. 人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 調査概要

人と自然との触れ合いの活動の場の調査概要は表 2.12-1 に示すとおりである。

表 2.12-1(1)　人と自然との触れ合いの活動の場の調査概要（文献その他の資料調査）

調査項目	調査方法
人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況	観光案内図等による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析

表 2.12-1(2)　人と自然との触れ合いの活動の場の調査概要（現地調査）

	調査時期	調査期間	調査項目	調査地点
4季	夏季	平成 28 年　8 月 21 日（日） 平成 29 年　8 月　6 日（日）	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況	No.1～16
	秋季	平成 28 年 10 月 22 日（土）		
	冬季	平成 29 年　1 月 22 日（日）		
	春季	平成 29 年　4 月 8 日（土）		
イベント時	秋季	平成 28 年 10 月 7 日（金） 平成 29 年 9 月　9 日（土）		No.9
	冬季	平成 29 年 3 月　3 日（土）		No.17
	春季	平成 29 年 5 月 14 日（日）		No.9、12

(2) 調査結果

1) 文献調査

人と自然との触れ合いの活動の場の文献その他の資料調査結果は、表 2.12-2～表 2.12-3 に示すとおりである。

表 2.12-2(1)　文献その他の資料調査の対象資料

No.	資料名
1	「ちば遺産 100 選」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
2	「ちば文化的景観」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
3	「自然環境保全地域の指定状況」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
4	「千葉県の自然公園一覧表」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
5	「北総四都市江戸紀行日本遺産に認定！」（千葉県ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
6	「成田ふるさとガイド」（平成 29 年 9 月　成田市）
7	「成田市緑の基本計画」（平成 22 年 3 月　成田市）
8	「なりた子育てガイドブック(平成 29 年 6 月)」（成田市ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
9	「NPO 成田さくらの里」（NPO さくらの里ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
10	「平成 28 年度特定非営利活動に係る事業報告書」（平成 29 年　特定非営利活動法人　成田・里山を育てる会）
11	「たこるんぱ」（多古町ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
12	「観光･歴史　自然」（芝山町ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
13	「芝山町観光ガイドふらりしばやま」（芝山町観光協会　平成 29 年 11 月閲覧）
14	「芝山町文化財マップ」（芝山町教育委員会　平成 29 年 11 月閲覧）
15	「栗山川」（栗山川サケ放流事業推進連絡協議会　平成 29 年 11 月閲覧）

表 2.12-2(2)　文献その他の資料調査の対象資料

No.	資料名
16	「山中古道＆アクセス」（竹炭サークルかぐや姫・芝山ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
17	「一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会」（一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会ホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
18	「さんむツーリズムガイド」（平成 29 年　山武市）
19	「SAMMU　offical guide」（平成 29 年　山武市）
20	「自然景観資源調査」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
21	「日本の自然景観　南関東版(第 3 回自然環境保全基礎調査)」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ　平成 29 年 11 月閲覧）
22	ＮＡＡ資料
23	ヒアリング結果

表 2.12-3(1)　文献その他の資料調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況）

No.	市町	名称	住所等	備考
1	成田市	成田エアポート　ツーデーマーチ（成田市内）	千葉県成田市内	
2		場外放水路水辺環境	千葉県成田市	
3		根木名川親水公園	千葉県成田市押畑	
4		市民果樹園	千葉県成田市川栗	
5		長田地区里山	千葉県成田市長田	
6		里山遊歩道	千葉県成田市長田	
7		成田さくらの里	千葉県成田市野毛平	
8		三里塚さくらの丘	千葉県成田市三里塚	
9		三里塚記念公園	千葉県成田市三里塚	
10		成毛市民の森	千葉県成田市成毛	
11		緑と水の公園（グリーンウォーターパーク）	千葉県成田市多良貝	
12		坂田ヶ池総合公園	千葉県成田市大竹	千葉県健康と癒しの森 30 選 日本の自然景観
13		長沼市民の森	千葉成田市長沼	
14		花の回廊	成田空港周辺 根木名川周辺 香取川周辺	
15		利根川	千葉県香取市千葉県と茨城県の県境	
16		さくらの山	千葉県成田市駒井野	なりた景観資産 千葉眺望 100 景
17		運動の森自然公園　成田エアポートコース(フィールドアスレチック)	千葉県成田市前林	
18		十余三 東雲の丘	千葉県成田市十余三	
19		大慈恩寺の森（歴史の森公園）	千葉県成田市吉岡	
20		南三里塚遊歩道	千葉県成田市三里塚	
21		ゆめ牧場	千葉県成田市名木	

表 2.12-3(2)　文献その他の資料調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況）

No.	市町	名称	住所等	備考
22	多古町	多古町ふれあい公園	千葉県香取郡多古町	
23		島地区親水公園	千葉県香取郡多古町島	
24		桜宮自然公園	千葉県香取郡多古町染井	
25		あじさい公園	千葉県香取郡多古町多古	
26		飯土井橋	千葉県香取郡多古町多古	
27		多古町光湿原	千葉県香取郡多古町と山武郡横芝光町にまたがる地域	
28	芝山町	成田エアポート　ツーデーマーチ（芝山町内）	千葉県山武群芝山町内	
29		関東ふれあいの道	芝山町役場から古和本郷までの首都圏自然歩道の一部	
30		グリーンポート エコ・アグリパーク	千葉県山武郡芝山町岩山	
31		芝山湧水の里	千葉県山武郡芝山町菱田	
32		大関台果樹園	千葉県山武郡芝山町菱田	
33		ひこうきの丘	千葉県山武郡芝山町岩山	
34		四所神社	千葉県山武郡芝山町岩山	
35		芝山水辺の里	千葉県山武郡芝山町岩山	
36		芝山公園	千葉県山武郡芝山町芝山	
37		芝山観光竹の子園	千葉県山武郡芝山町朝倉	
38		朝倉やすらぎの杜	千葉県山武郡芝山町朝倉	
39		山中古道	千葉県山武市芝山町	
40		蓮沼海岸	千葉県山武市蓮沼ホ	
41		香山新田里山施設	千葉県山武郡芝山町香山新田	
42	横芝光町	栗山川	千葉県山武郡横芝光町	
43		屋形海岸	千葉県山武郡横芝光町屋形	
44		木戸浜	千葉県山武郡横芝光町屋形	
45		ふれあい坂田池公園	千葉県山武郡横芝光町坂田池	
46	山武市	さんぶの森公園	千葉県山武市埴谷	
47		成東･東金食虫植物群落	千葉県山武市島	
48		蓮沼海浜公園	千葉県山武市蓮沼ホ	

2) 現地調査

人と自然との触れ合いの活動の場の現地調査結果は、表 2.12-4～表 2.12-20 に示すとおりである。

表 2.12-4　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（十余三 東雲の丘）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：1

場所　　：十余三 東雲の丘

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 見学	運動	休憩	その他	合計
夏季・平成28年8月21日	9時	7	0	0	0	7
	10時	10	0	0	0	10
	11時	15	0	0	0	15
	12時	28	0	0	0	28
	13時	45	0	0	0	45
	14時	54	0	0	0	54
	15時	54	0	0	0	54
	16時	36	0	0	0	36
	17時	53	0	0	0	53
秋季・平成28年10月22日	9時	33	0	0	0	33
	10時	20	0	1	1	22
	11時	23	0	0	0	23
	12時	48	0	0	0	48
	13時	84	0	0	0	84
	14時	64	0	0	0	64
	15時	63	0	0	0	63
	16時	66	0	0	0	66
	17時	25	0	0	0	25
冬季・平成29年1月22日	9時	7	0	1	0	8
	10時	12	0	1	0	13
	11時	46	0	2	0	48
	12時	67	0	0	0	67
	13時	75	0	0	0	75
	14時	106	1	0	0	107
	15時	84	0	1	0	85
	16時	48	0	0	0	48
	17時	－	－	－	－	－
春季・平成29年4月8日	9時	8	0	0	0	8
	10時	6	0	0	0	6
	11時	3	0	0	0	3
	12時	6	0	0	0	6
	13時	13	0	0	0	13
	14時	11	0	0	0	11
	15時	13	0	0	0	13
	16時	18	0	0	0	18
	17時	17	0	0	0	17

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

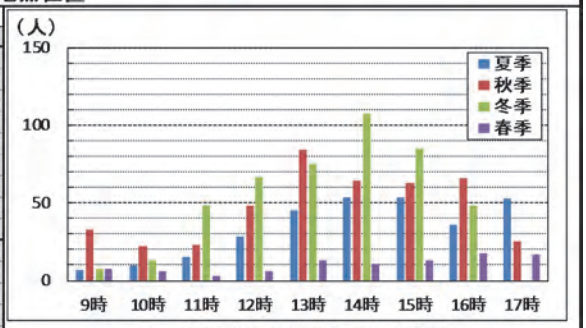


図　4季における時間帯別利用者数

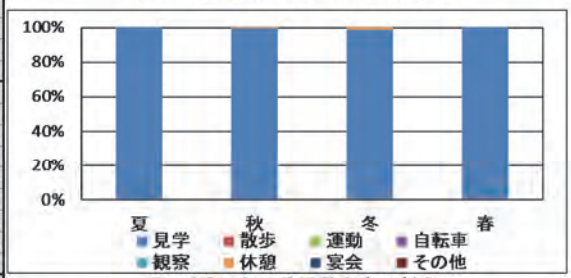


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、比較的多くの利用者が確認された。

午後の利用者が多く、季節による時間帯別利用者数の違いは認められなかった。

確認された活動内容は少なく、利用者のほとんどが飛行機の撮影や観察といった飛行機見学をしていた。季節による活動内容の違いは認められなかった。

表 2.12-5　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（里山遊歩道）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　2

場所　　：　里山遊歩道

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) エリアA 見学	散歩	運動	観察	休憩	その他	エリアB 散歩	その他	木道 散歩	運動	観察	その	合計
夏季 平成28年8月21日	9時	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	10時	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	11時	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	12時	0	2	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	7
	13時	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	5
	17時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
秋季 平成28年10月22日	9時	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9
	10時	0	0	0	0	0	9	7	0	0	0	0	0	16
	11時	0	0	1	0	0	10	2	2	0	0	0	0	15
	12時	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
	13時	0	0	0	0	0	9	0	4	0	0	0	2	15
	14時	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
	15時	0	0	0	0	0	5	0	1	1	0	4	0	11
	16時	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	6
	17時	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
冬季 平成29年1月22日	9時	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	10時	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	11時	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	12時	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	5
	13時	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
	14時	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	15時	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	5
	16時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	17時	–	–	–	–	0	–	–	–	–	–	–	–	–
春季 平成29年4月8日	9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10時	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	11時	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	12時	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	8
	13時	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6
	14時	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	15時	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	5
	16時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

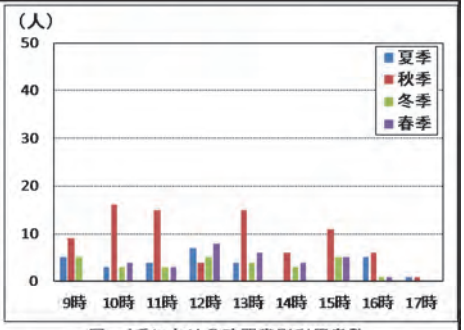


図　4季における時間帯別利用者数

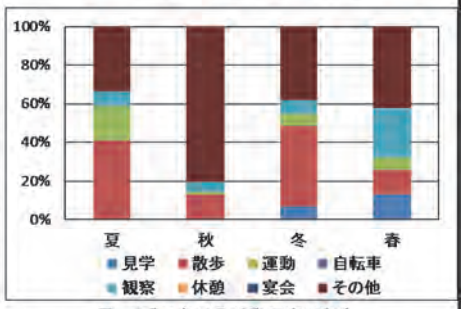


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、利用者は比較的少なかった。

時間帯による利用者数の違いは認められなかった。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどが散歩をしていた。一方で、人と自然との触れ合いの活動ではないと思われる活動も多く確認されており、秋季の利用者のほとんどは伐採か整地作業を行っている工事等作業員であった。

表 2.12-6　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（場外放水路水辺環境）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　3

場所　　：　場外放水路水辺環境

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 散歩	運動	観察	休憩	その他	合計
夏季	9時	1	1	0	0	0	2
・・	10時	0	1	0	0	0	1
平成28年8月21日	11時	2	0	0	0	2	4
	12時	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0	0	0
	14時	0	1	0	0	0	1
	15時	0	1	0	0	0	1
	16時	0	1	0	0	0	1
	17時	0	0	0	0	0	0
秋季	9時	0	0	0	1	0	1
・・	10時	7	0	0	0	2	9
平成28年10月22日	11時	2	1	0	0	2	5
	12時	0	0	0	0	1	1
	13時	0	0	0	0	1	1
	14時	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0	0	0
冬季	9時	0	0	1	0	0	1
・・	10時	1	0	1	0	0	2
平成29年1月22日	11時	0	0	0	0	1	1
	12時	0	0	1	0	0	1
	13時	0	0	1	0	0	1
	14時	0	0	1	0	0	1
	15時	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0
	17時	–	–	–	–	–	–
春季	9時	1	0	0	0	0	1
・・	10時	0	0	0	0	0	0
平成29年4月8日	11時	0	0	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0	5	5
	13時	0	0	0	0	2	2
	14時	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	1	1
	16時	0	0	2	0	0	2
	17時	0	0	0	0	0	0

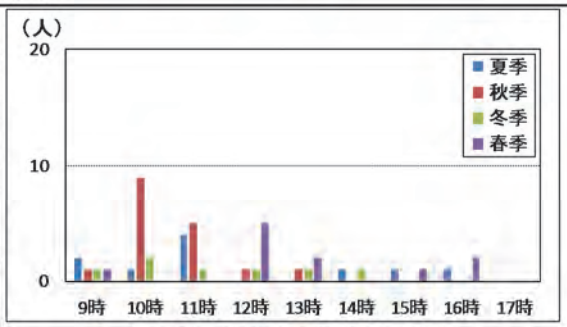


図　4季における時間帯別利用者数

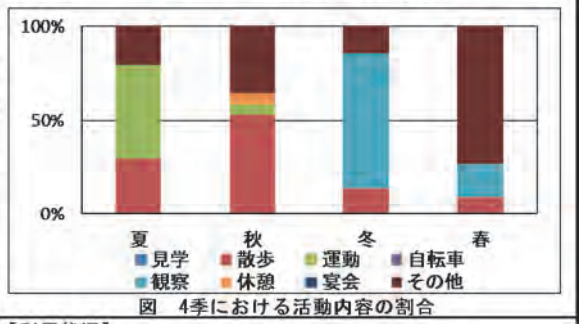


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、利用者は比較的少なかった。

秋季、冬季の利用者は15時以降確認されなかったが、春季、夏季の利用者は16時まで確認された。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどが散歩やランニング等といった運動、桜の花見や鳥類観察等の自然観察を行っていた。一方で、人と自然との触れ合いの活動ではないと思われる活動も多く確認されており、春季のほとんどは通路としての利用であった。

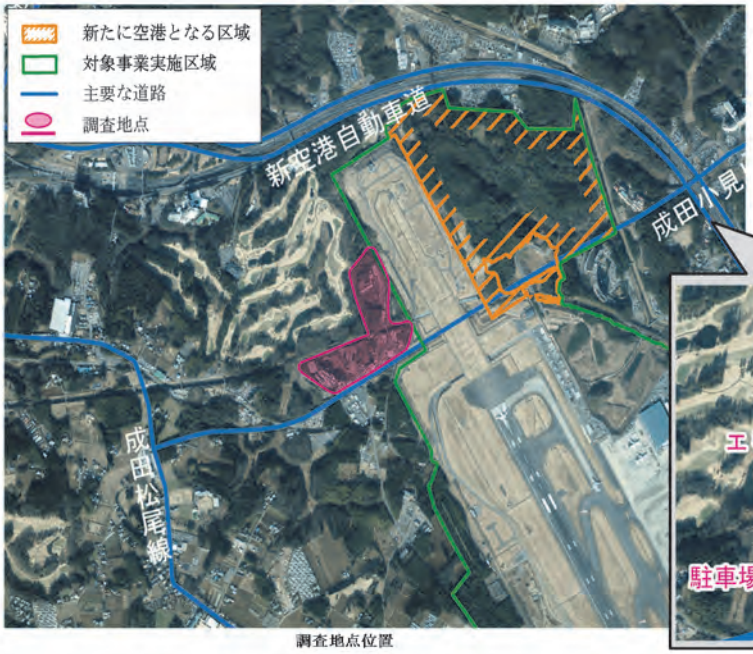
＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-7　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（さくらの山）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　4

場所　　：　さくらの山



調査地点位置

調査区域図

時間帯		利用者数(人) エリアA 見学	散歩	運動	観察	エリアB 見学	散歩	運動	観察	休題	その他	エリアC 見学	散歩	休題	その他	空の駅(屋内)	空の駅(屋外)	駐車場	合計
夏季 平成28年8月21日	9時	2	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	1	4	4	3	1	53
	10時	4	0	0	0	68	0	0	0	0	0	0	1	0	4	9	4	0	90
	11時	2	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	2	0	4	30	3	0	115
	12時	2	0	0	0	79	0	2	0	0	0	0	0	0	4	48	5	0	140
	13時	10	0	0	0	154	0	0	0	0	0	0	0	0	5	48	3	1	221
	14時	14	0	0	0	214	0	0	0	0	0	4	0	0	0	25	3	0	260
	15時	12	0	0	0	201	0	0	0	0	0	0	0	1	0	36	3	0	253
	16時	19	0	0	0	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	5	0	294
	17時	5	0	0	0	163	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	7	0	209
秋季 平成28年10月22日	9時	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	3	33
	10時	0	0	0	0	78	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5	7	4	98
	11時	4	0	0	0	131	0	0	0	0	0	5	2	0	0	13	15	2	172
	12時	2	2	1	0	159	0	0	0	0	0	0	0	2	0	32	14	9	221
	13時	10	0	0	0	178	0	0	0	0	0	0	3	0	0	34	11	5	241
	14時	10	0	0	0	127	0	0	0	0	0	0	6	4	0	36	8	5	196
	15時	6	0	0	0	129	0	0	0	0	0	0	0	2	0	50	20	8	215
	16時	0	0	0	0	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	8	11	135
	17時	3	0	0	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	4	83
冬季 平成29年1月22日	9時	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	22
	10時	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	1	0	0	0	21	7	2	59
	11時	2	0	0	0	105	0	0	0	0	0	0	4	0	0	32	15	0	158
	12時	4	0	0	0	92	0	0	0	0	0	0	8	0	0	47	15	5	171
	13時	12	0	0	0	187	0	0	0	0	0	3	1	0	0	67	21	4	295
	14時	27	0	0	0	235	0	0	0	0	0	1	9	0	0	71	19	4	366
	15時	9	0	0	0	251	0	0	0	0	0	4	6	0	0	89	29	3	391
	16時	5	0	0	0	144	0	0	0	0	0	9	0	0	0	73	16	4	251
	17時	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
春季 平成29年4月8日	9時	0	0	0	4	7	1	0	6	0	0	0	0	0	0	30	1	0	49
	10時	0	0	0	6	32	0	0	24	0	0	0	4	3	0	63	6	6	144
	11時	4	0	0	24	56	4	0	36	0	0	0	1	0	0	139	22	3	289
	12時	0	0	0	16	67	8	0	7	3	0	0	2	0	0	110	28	7	248
	13時	45	0	0	29	147	19	0	17	0	5	0	4	0	0	78	14	0	358
	14時	76	0	0	15	203	12	0	20	0	0	2	0	3	0	118	0	0	449
	15時	55	0	0	18	224	14	0	32	0	0	0	0	3	0	133	24	6	509
	16時	40	0	0	23	181	7	0	17	0	0	5	4	1	0	68	7	4	357
	17時	25	0	0	23	167	6	0	17	5	0	3	3	0	0	85	0	3	337

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

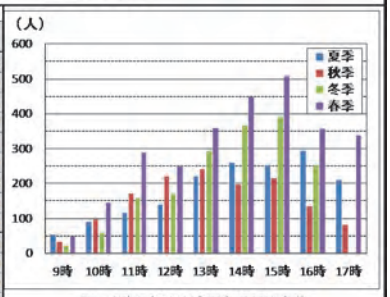


図　4季における時間帯別利用者数

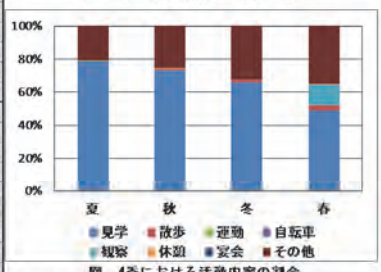


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、多くの利用者が確認された。

午後の利用者が多く、季節による時間帯別利用者数の違いは認められなかった。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどが飛行機撮影や観察といった飛行機見学をしていた。また、春季は桜の花見等といった自然観察をしている利用者も多く確認された。

表 2.12-8　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（南三里塚遊歩道）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：5

場所　　：南三里塚遊歩道

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 見学	散歩	運動	観察	休憩	その他	合計
夏季 平成28年8月21日	9時	0	0	0	0	0	0	0
	10時	0	0	0	0	0	0	0
	11時	2	0	1	0	0	0	3
	12時	0	1	0	0	0	0	1
	13時	0	0	1	0	0	0	1
	14時	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	1	0	0	0	1
	16時	0	0	2	0	0	0	2
	17時	0	0	3	0	0	0	3
秋季 平成28年10月22日	9時	0	1	1	0	0	0	2
	10時	0	0	0	0	0	0	0
	11時	0	0	0	0	0	0	0
	12時	1	1	0	0	0	0	2
	13時	0	0	1	0	0	0	1
	14時	0	4	0	0	0	0	4
	15時	0	1	0	0	0	0	1
	16時	0	0	1	0	0	0	1
	17時	0	0	0	0	0	0	0
冬季 平成29年1月22日	9時	0	0	1	0	0	0	1
	10時	0	4	0	0	0	0	4
	11時	0	7	3	0	0	1	11
	12時	0	0	0	0	0	1	1
	13時	0	2	1	0	1	0	4
	14時	0	1	0	0	0	0	1
	15時	2	1	0	0	0	0	3
	16時	1	7	0	0	0	0	8
	17時	–	–	–	–	–	–	–
春季 平成29年4月8日	9時	0	0	0	2	0	0	2
	10時	0	0	0	0	0	0	0
	11時	1	0	0	0	0	0	1
	12時	0	2	0	0	0	0	2
	13時	0	0	0	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	2	0	0	0	0	2
	16時	0	3	0	0	0	0	3
	17時	2	0	0	0	0	0	2

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

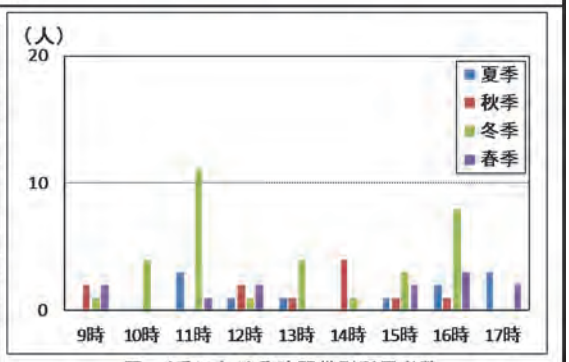


図　4季における時間帯別利用者数

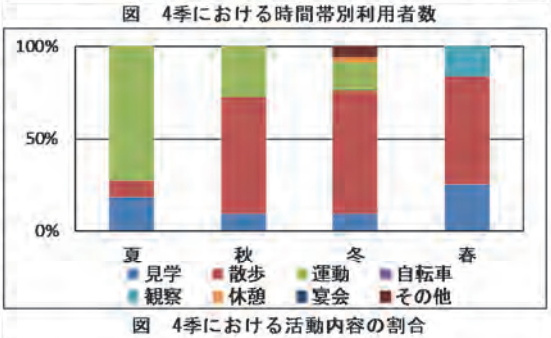


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、利用者は比較的少なかった。

時間帯による利用者数の違いは認められなかった。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどが散歩や運動をしていた。夏季は運動をしている利用者が多く確認されたが、秋季、冬季、春季は散歩をしている利用者が多く確認された。

表 2.12-9　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（三里塚さくらの丘）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　6

場所　　：　三里塚さくらの丘

調査地点位置

時間帯		利用者数（人）						
		見学	散歩	運動	休憩	宴会	その他	合計
夏季：平成28年8月21日	9時	0	0	0	1	0	0	1
	10時	8	0	0	1	0	0	9
	11時	12	0	0	7	0	0	19
	12時	7	0	0	2	0	0	9
	13時	3	0	0	4	2	0	9
	14時	4	0	0	19	2	0	25
	15時	1	0	0	5	0	0	6
	16時	3	0	1	13	0	0	17
	17時	4	0	0	10	0	0	14
秋季：平成28年10月22日	9時	3	0	0	0	0	1	4
	10時	7	0	0	0	0	1	8
	11時	20	0	0	0	0	1	21
	12時	52	0	0	0	70	0	122
	13時	24	0	0	0	70	0	94
	14時	18	0	0	3	0	0	21
	15時	36	0	0	0	0	0	36
	16時	17	0	0	0	0	0	17
	17時	12	0	0	0	0	0	12
冬季：平成29年1月22日	9時	4	0	1	0	0	0	5
	10時	9	2	0	0	0	0	11
	11時	8	1	0	0	0	0	9
	12時	14	5	0	0	0	0	19
	13時	10	2	0	0	0	0	12
	14時	19	2	0	0	3	0	24
	15時	47	0	0	0	0	0	47
	16時	18	0	0	0	0	0	18
	17時	–	–	–	–	–	–	–
春季：平成29年4月8日	9時	0	2	0	0	0	0	2
	10時	8	0	0	0	0	0	8
	11時	6	0	0	0	0	0	6
	12時	2	0	0	0	0	0	2
	13時	0	0	0	0	0	0	0
	14時	2	0	0	0	0	0	2
	15時	4	2	0	0	0	0	6
	16時	4	0	0	0	0	0	4
	17時	7	0	0	0	0	0	7

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

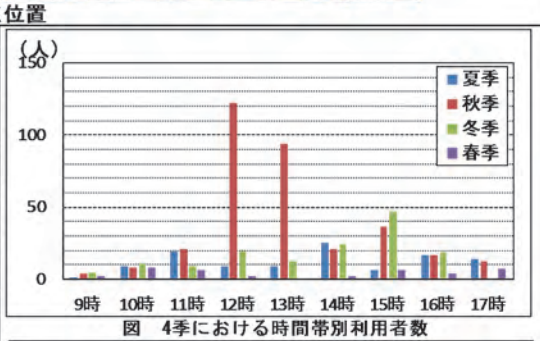


図　4季における時間帯別利用者数

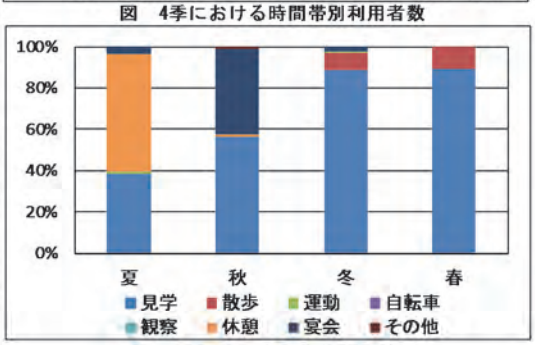


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、比較的多くの利用者が確認された。

14時、15時台に比較的多くの利用者が確認された。また、秋季においてはＮＡＡ主催の昼食会が開催され、12時台、13時台に野外で食事をしている多くの利用者で賑わった。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどが飛行機の撮影や観察といった飛行機見学をしていた。冬季、春季では飛行機の見学をしている利用者がほとんどであったが、夏季や秋季には休憩や宴会をしている利用者も多く確認された。

表 2.12-10　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（ひこうきの丘）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：7

場所　　：ひこうきの丘

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 見学	散歩	運動	休憩	宴会	その他	合計
夏季：平成28年8月21日	9時	3	0	0	2	0	0	5
	10時	9	0	0	0	0	0	9
	11時	43	0	0	6	0	0	49
	12時	42	0	0	1	0	0	43
	13時	56	0	0	0	0	0	56
	14時	37	0	0	4	0	0	41
	15時	42	0	0	0	0	0	42
	16時	36	0	0	0	0	0	36
	17時	55	0	0	0	0	0	55
秋季：平成28年10月22日	9時	70	0	0	0	0	0	70
	10時	78	0	0	1	0	0	79
	11時	85	0	0	0	0	0	85
	12時	43	0	0	0	0	0	43
	13時	75	0	0	0	0	0	75
	14時	83	0	0	0	0	0	83
	15時	108	0	0	0	0	0	108
	16時	98	0	0	0	0	0	98
	17時	53	0	0	0	0	0	53
冬季：平成29年1月22日	9時	20	0	0	0	0	0	20
	10時	45	0	5	0	0	0	50
	11時	34	2	7	0	0	0	43
	12時	49	5	0	0	0	0	54
	13時	51	0	0	0	2	0	53
	14時	61	6	5	0	0	0	72
	15時	46	4	0	0	0	0	50
	16時	26	3	2	0	0	0	31
	17時	－	－	－	－	－	0	0
春季：平成29年4月8日	9時	8	0	0	3	0	0	11
	10時	14	0	0	1	0	1	16
	11時	17	0	0	1	0	1	19
	12時	30	0	0	2	0	0	32
	13時	6	0	0	1	0	0	7
	14時	14	0	0	3	0	0	17
	15時	4	0	0	1	0	1	6
	16時	16	0	0	1	0	0	17
	17時	20	0	0	0	0	0	20

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

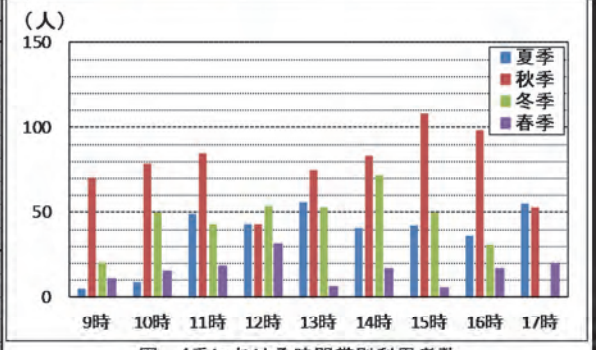


図　4季における時間帯別利用者数

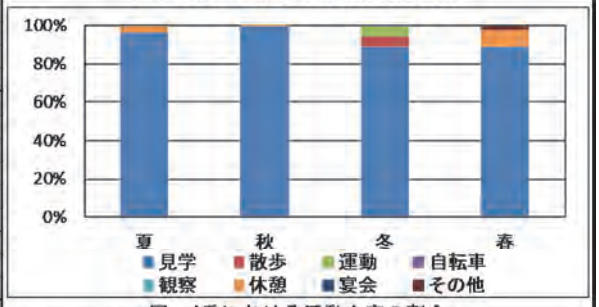


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて、比較的多くの利用者が確認された。

夏季、冬季、春季においては11時台～15時台に多くの利用者が確認された。秋季はどの時間帯においても多くの利用者が確認された。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどが飛行機の撮影や観察といった飛行機見学をしていた。そのほか、休憩や散歩等をしている利用者も確認された。

表 2.12-11　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（芝山水辺の里）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　8

場所　　：　芝山水辺の里

調査地点位置

調査区域図

時間帯		利用者数（人） 上流部 見学	散歩	観察	宴会	中流部 見学	散歩	観察	下流部 散歩	観察	合計
夏季：平成28年8月21日	9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋季：平成28年10月22日	9時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10時	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	11時	0	0	0	0	0	0	40	0	0	40
	12時	0	0	0	0	0	0	40	0	0	40
	13時	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0	0	1	37	38
	16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冬季：平成29年1月22日	9時	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11時	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	12時	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	13時	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	14時	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
	15時	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17時	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
春季：平成29年4月8日	9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10時	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	14時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

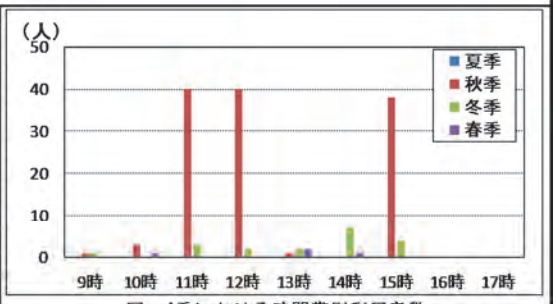


図　4季における時間帯別利用者数

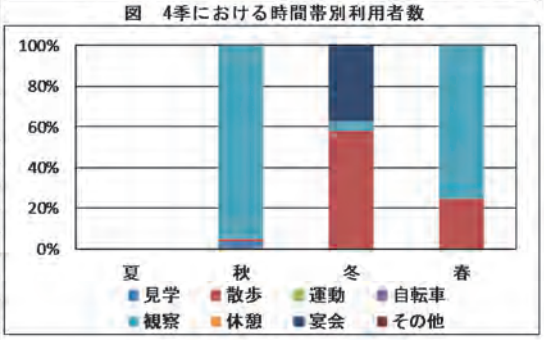


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

秋季を除き、利用者は少なかった。また、夏季の利用者は確認されなかった。

いずれの季節においても16時台以降の利用者は確認されなかった。秋季については、ＮＡＡ主催の自然観察会が午前と午後に開催されたため、11時台、12時台、15時台に自然観察をしている利用者が多かった。

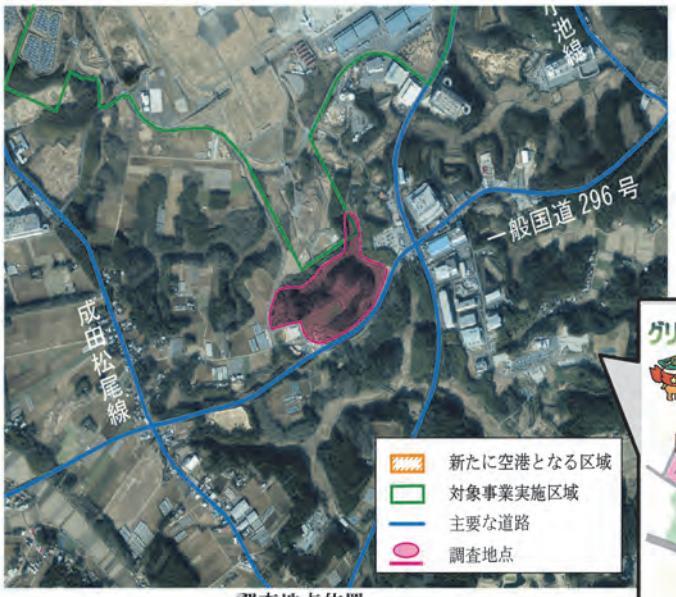
確認された活動内容は少なく、利用者のほとんどが自然観察をしていた。そのほか、散歩や宴会、飛行機の見学をしている利用者が確認された。

表 2.12-12(1)　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果(グリーンポート エコ・アグリパーク)

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：9

場所　　：グリーンポート エコ・アグリパーク



調査地点位置

調査区域図

時間帯		利用者数(人) エリアA 散歩	運動	観察	その他	見学	エリアB 散歩	観察	その他	合計
夏季：平成28年8月31日	9時	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	10時	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12時	4	0	0	0	0	0	9	0	13
	13時	0	0	0	0	0	0	6	0	6
	14時	0	1	0	0	0	0	8	0	9
	15時	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	16時	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	17時	0	0	0	0	0	0	1	0	1
秋季：平成28年10月28日	9時	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	10時	4	0	40	1	0	0	40	0	85
	11時	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	12時	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	13時	3	1	37	0	0	4	37	0	82
	14時	2	0	0	0	1	5	3	0	11
	15時	1	0	0	0	2	3	0	0	6
	16時	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	17時	0	0	0	0	3	0	0	0	3
冬季：平成28年1月22日	9時	2	0	0	0	0	2	0	10	14
	10時	0	0	0	0	0	2	0	12	14
	11時	4	0	0	0	0	1	0	12	17
	12時	9	0	0	0	0	1	0	13	23
	13時	4	0	0	1	0	9	0	7	21
	14時	9	0	0	0	0	2	0	6	17
	15時	4	0	0	0	0	4	0	0	8
	16時	2	0	0	0	0	2	0	0	4
	17時	–	–	–	–	–	–	–	–	–
春季：平成28年4月8日	9時	0	0	0	0	0	0	6	0	6
	10時	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	11時	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	12時	0	0	0	0	0	2	6	0	8
	13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0

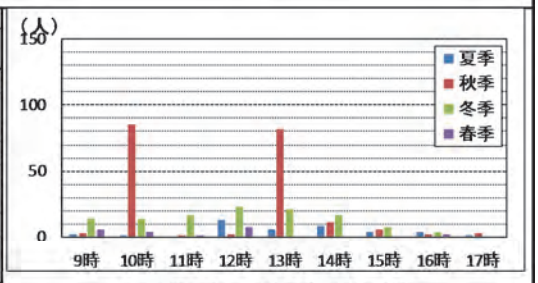


図　4季における時間帯別利用者数

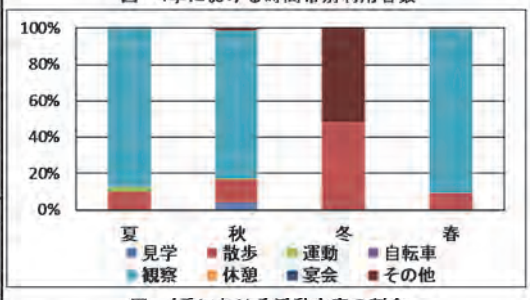


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

秋季、冬季の利用者は比較的多かったが、夏季、春季の利用者は比較的少なかった。

夏季、冬季では12時台～14時台の利用者が比較的多く、春季では利用者のほとんどが午前中に確認された。また秋季にはＮＡＡ主催の自然観察会が午前と午後に開催されたため、10時台、13時台に自然観察をしている利用者が多かった。

確認された活動内容は多岐にわたった。利用者のほとんどが自然観察をしていたが、散歩や飛行機見学等をしている利用者も確認された。夏季、秋季、春季では利用者のほとんどが自然観察をしていたが、冬季は多くの利用者が散歩をしていたほか伐採作業等を行っている作業員も多く確認された。

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-12(2)　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果(グリーンポート エコ・アグリパーク)

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　9

場所　　：　グリーンポート エコアグリパーク

調査地点位置

調査区域図

時間帯		利用者数(人)		
		農業体験	その他	合計
ｲﾍﾞﾝﾄ時春季：平成29年5月14日	9:40～11:00	48	15	63

【利用状況】
芝山町、ＮＡＡ主催の田植えイベントに約50人が参加した。ほとんどの参加者が家族連れであった。参加者は田んぼに入って手作業で苗を植えた。芝山町、ＮＡＡ、観光協会、有限会社グリーンポート・アグリがイベント運営を行っていた。

時間帯		利用者数(人)		
		農業体験	その他	合計
ｲﾍﾞﾝﾄ時秋季：平成29年9月9日	13:30～15:30	45	28	73

【利用状況】
5月の田植えイベントの参加者が稲刈りイベントに参加した。芝山町、ＮＡＡ、観光協会、有限会社グリーンポート・アグリの他に、竹炭サークルかぐや姫も運営に携わった。

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-13　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（朝倉やすらぎの杜）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　10

場所　　：　朝倉やすらぎの杜

調査地点位置

時間帯		利用者数（人）		
		散歩	その他	合計
夏季 平成28年8月21日	9時	0	0	0
	10時	0	0	0
	11時	0	0	0
	12時	0	0	0
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	0	0
	16時	2	0	2
	17時	0	0	0
秋季 平成28年10月22日	9時	0	0	0
	10時	0	0	0
	11時	0	0	0
	12時	0	0	0
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	0	0
	16時	0	0	0
	17時	0	0	0
冬季 平成29年1月22日	9時	0	0	0
	10時	0	0	0
	11時	0	0	0
	12時	0	1	1
	13時	0	0	0
	14時	0	4	4
	15時	0	0	0
	16時	0	0	0
	17時	－	－	－
春季 平成29年4月8日	9時	0	0	0
	10時	0	0	0
	11時	0	0	0
	12時	0	0	0
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	0	0
	16時	0	0	0
	17時	0	0	0

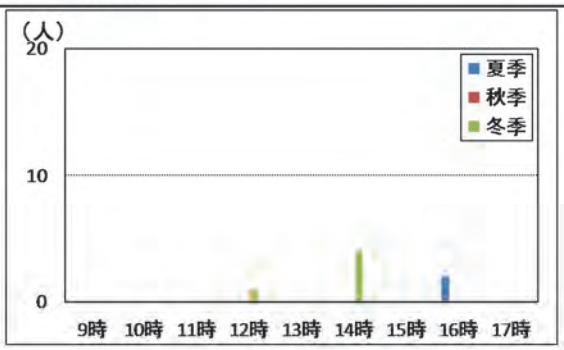


図　4季における時間帯別利用者数

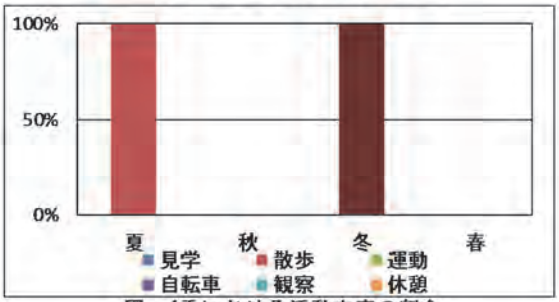


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

夏季、冬季の利用者は少なかった。秋季、春季の利用者は確認されなかった。

利用者が確認されたのは12時台、14時台、16時台であった。

夏季に確認された活動内容は散歩のみであった。また、冬季は人と自然との触れ合いの活動をしている利用者は確認されなかった。

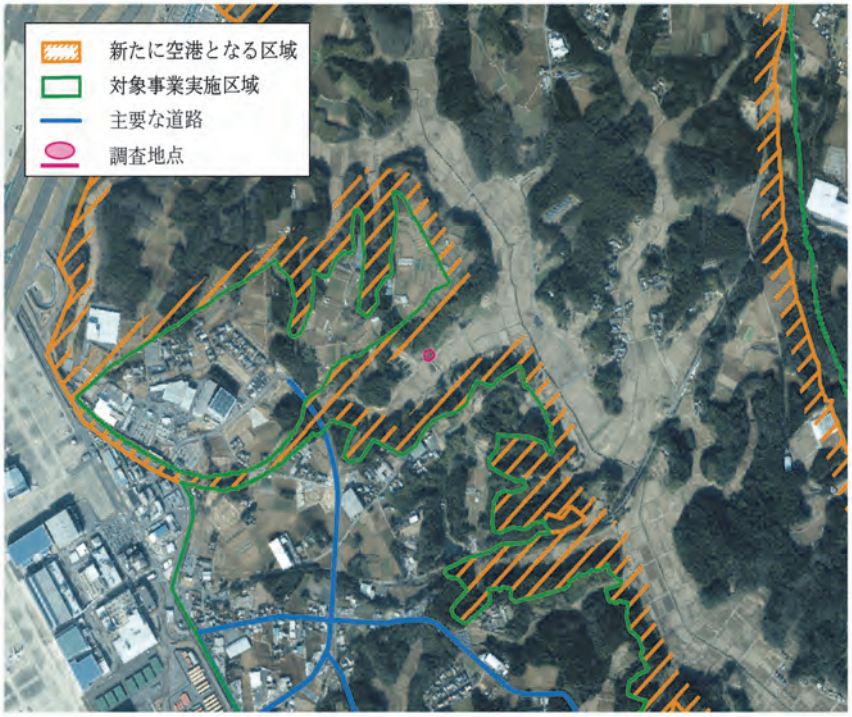
＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-14　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（芝山湧水の里）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　11

場所　　：　芝山湧水の里



調査地点位置

時間帯		利用者数（人） 散歩	休憩	合計
夏季：平成28年8月21日	9時	0	0	0
	10時	0	0	0
	11時	0	1	1
	12時	0	0	0
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	2	2
	16時	0	0	0
	17時	0	0	0
秋季：平成28年10月22日	9時	0	1	1
	10時	0	2	2
	11時	0	0	0
	12時	0	0	0
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	0	0
	16時	0	0	0
	17時	0	0	0
冬季：平成29年1月22日	9時	0	0	0
	10時	0	1	1
	11時	0	0	0
	12時	1	1	2
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	0	0
	16時	0	0	0
	17時	－	－	－
春季：平成29年4月8日	9時	0	0	0
	10時	0	0	0
	11時	0	0	0
	12時	0	0	0
	13時	0	0	0
	14時	0	0	0
	15時	0	0	0
	16時	0	0	0
	17時	0	0	0

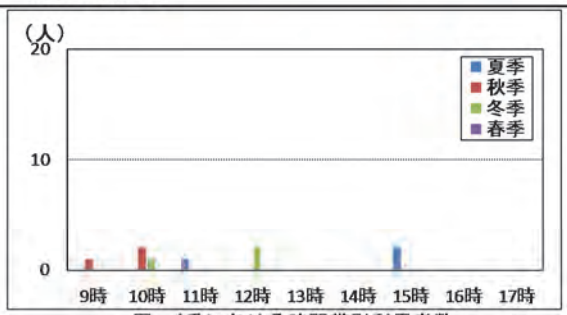


図　4季における時間帯別利用者数

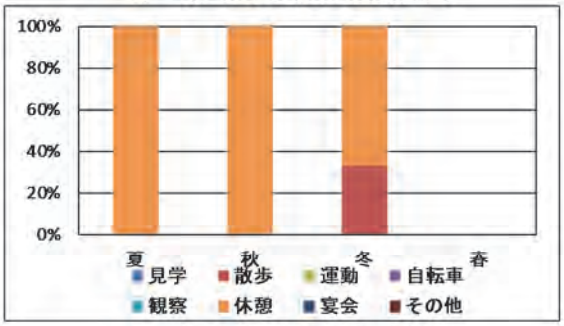


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

夏季、秋季、冬季の利用者は少なかった。春季の利用者は確認されなかった。

利用者が確認されたのは9時台～12時台、15時台であり、比較的早い時間帯で利用されていた。

確認された活動内容は少なく、夏季と秋季は休憩をしている利用者しか確認されなかった。冬季は散歩や休憩をしている利用者が確認された。なお、夏季、秋季、冬季に休憩をしていた利用者が湧水を利用している様子を確認した。

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-15(1)　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（大関台果樹園）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　12

場所　　：　大関台果樹園

調査地点位置

時間帯		利用者数（人）	
		－	合計
夏季 -- 平成28年8月21日	9時	0	0
	10時	0	0
	11時	0	0
	12時	0	0
	13時	0	0
	14時	0	0
	15時	0	0
	16時	0	0
	17時	0	0
秋季 -- 平成28年10月22日	9時	0	0
	10時	0	0
	11時	0	0
	12時	0	0
	13時	0	0
	14時	0	0
	15時	0	0
	16時	0	0
	17時	0	0
冬季 -- 平成29年1月22日	9時	0	0
	10時	0	0
	11時	0	0
	12時	0	0
	13時	0	0
	14時	0	0
	15時	0	0
	16時	0	0
	17時	－	－
春季 -- 平成29年4月8日	9時	0	0
	10時	0	0
	11時	0	0
	12時	0	0
	13時	0	0
	14時	0	0
	15時	0	0
	16時	0	0
	17時	0	0

【利用状況】
4季調査において、利用者は確認されなかった。

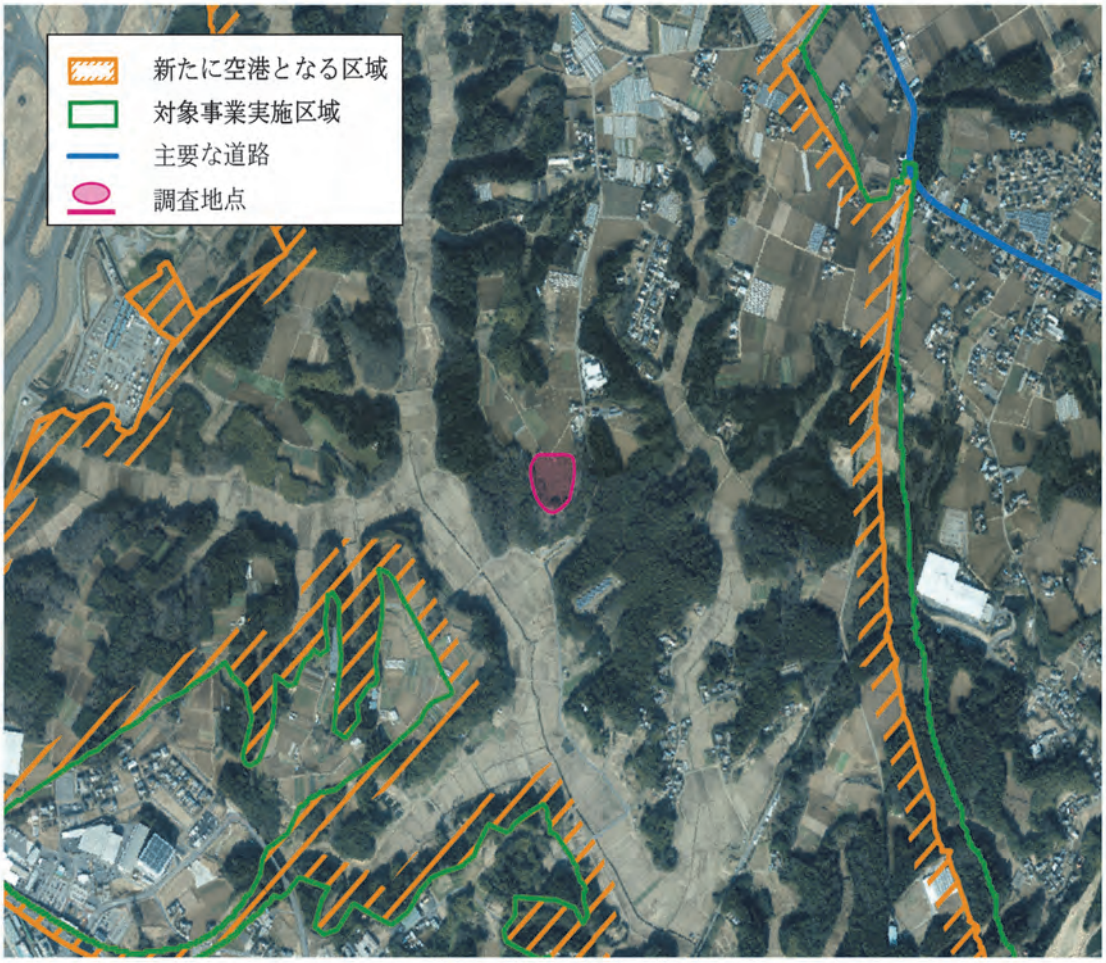
＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-15(2)　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（大関台果樹園）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　12

場所　　：　大関台果樹園



調査地点位置

時間帯		利用者数(人)		
		農業体験	その他	合計
ｲﾍﾞﾝﾄ時秋季：平成28年10月7日	10:00～11:00	82	13	95

【利用状況】

ＮＡＡ主催の栗拾いイベントで、園児、保育園職員合わせて82人が利用していた。そのほか、ＮＡＡの職員がイベント運営を行っていた。

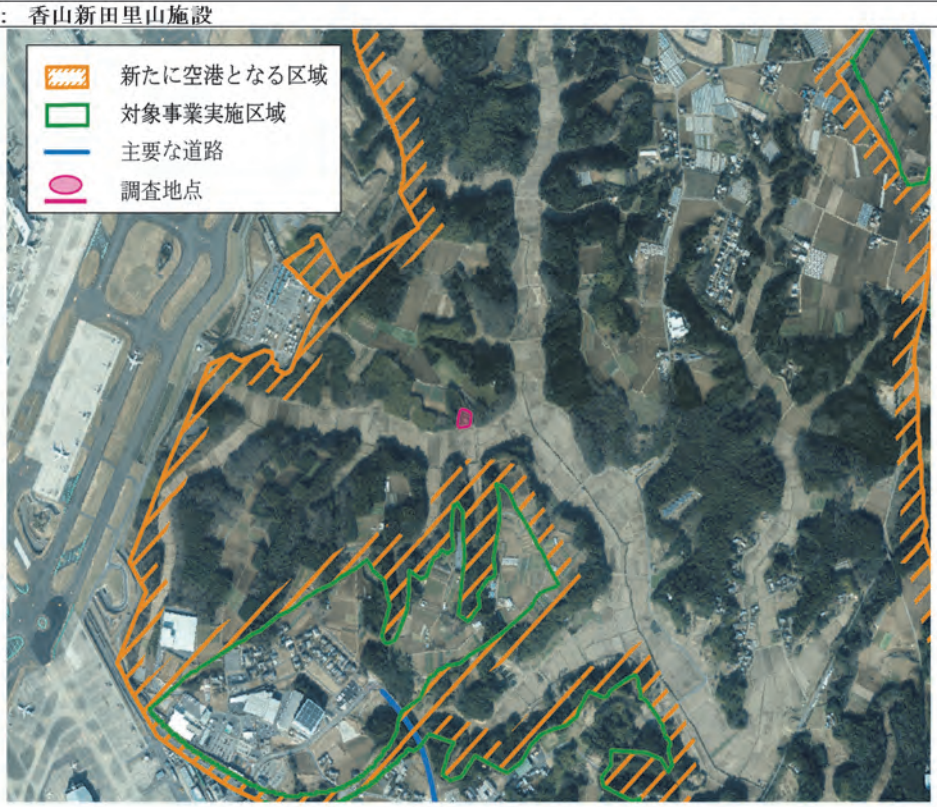
＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-16　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（香山新田里山施設）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：　13

場所　　：　香山新田里山施設



調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 見学	休憩	その他	合計
夏季：平成28年8月21日	9時	0	0	0	0
	10時	0	0	0	0
	11時	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0
秋季：平成28年10月22日	9時	0	0	0	0
	10時	0	0	0	0
	11時	0	0	2	2
	12時	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0
冬季：平成29年1月22日	9時	1	0	0	1
	10時	1	0	0	1
	11時	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0
	17時	－	－	－	－
春季：平成29年4月3日	9時	0	0	0	0
	10時	0	1	0	1
	11時	0	0	0	0
	12時	0	0	2	2
	13時	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

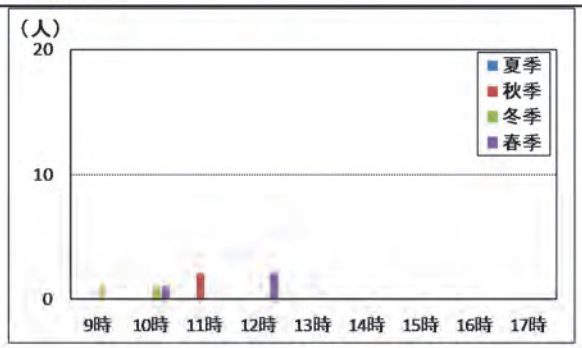


図　4季における時間帯別利用者数

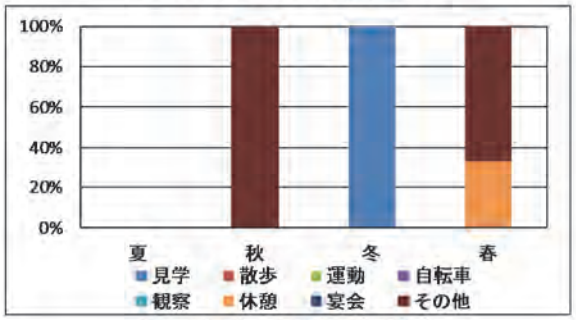


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

秋季、冬季、春季の利用者数は少なかった。夏季の利用者は確認されなかった。

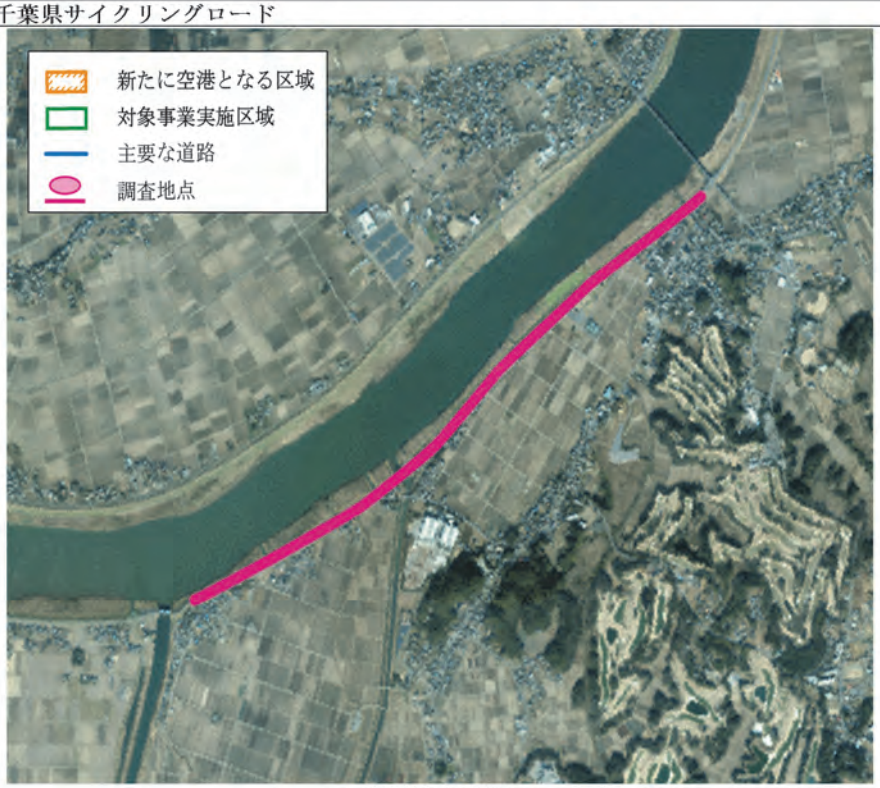
確認された活動内容は少なく、飛行機の撮影といった飛行機見学や休憩をしている利用者しか確認されなかった。また、秋季と春季には環境調査を行っている調査員が多く確認された。

表 2.12-17　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（千葉県サイクリングロード）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：14

場所　　：千葉県サイクリングロード



調査地点位置

時間帯		利用者数（人）					
		散歩	運動	自転車	観察	休憩	合計
夏季 平成29年8月6日	9時	0	0	5	0	0	5
	10時	0	0	10	0	0	10
	11時	0	0	2	0	0	2
	12時	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	2	0	0	2
	14時	0	0	2	0	0	2
	15時	0	0	0	0	0	0
	16時	1	0	1	0	0	2
	17時	0	0	0	0	0	0
秋季 平成28年10月22日	9時	0	0	2	0	0	2
	10時	0	0	4	0	0	4
	11時	0	0	8	0	0	8
	12時	0	0	9	0	0	9
	13時	0	0	4	0	0	4
	14時	1	0	2	0	0	3
	15時	0	1	2	0	0	3
	16時	0	1	3	0	0	4
	17時	0	0	0	0	0	0
冬季 平成29年1月22日	9時	1	0	1	0	0	2
	10時	0	0	2	1	0	3
	11時	0	0	10	0	0	10
	12時	0	0	3	0	0	3
	13時	0	0	3	0	0	3
	14時	0	0	27	0	0	27
	15時	1	0	2	0	0	3
	16時	2	0	0	0	0	2
	17時	–	–	–	–	–	–
春季 平成29年4月8日	9時	0	0	0	0	0	0
	10時	0	0	0	0	0	0
	11時	0	0	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	0	3	0	3
	14時	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0
	17時	0	1	0	0	1	2

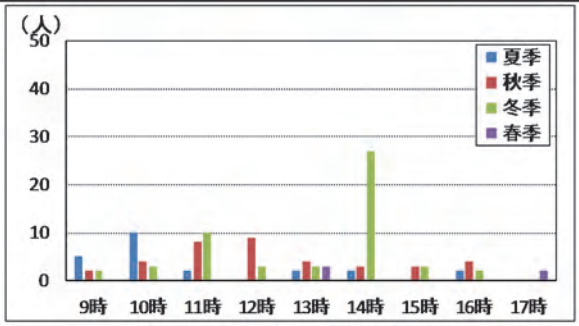


図　4季における時間帯別利用者数

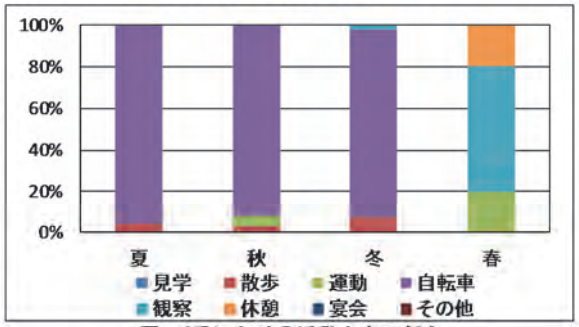


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

年間を通じて利用者は比較的少なかった。

確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者のほとんどがサイクリングをしていた。特に夏季、秋季、冬季ではサイクリングをしている利用者が多かったが、春季は植物等の自然観察や休憩等、サイクリング以外の活動をしている利用者が確認された。

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-18　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（マリンピアくりやまがわ）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：15

場所　　：マリンピアくりやまがわ

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 見学	散歩	運動	自転車	観察	休憩	宴会	その他	合計
夏季	9時	0	0	0	0	0	5	23	0	28
・・	10時	0	0	0	0	0	4	37	5	46
平成29年8月6日	11時	0	0	0	0	0	4	37	7	48
	12時	0	0	0	0	0	35	59	9	103
	13時	0	0	0	0	0	13	54	10	77
	14時	0	0	0	0	0	20	60	5	85
	15時	0	0	0	0	0	16	41	3	60
	16時	0	0	0	0	0	5	20	5	30
	17時	0	8	0	0	0	0	5	0	13
秋季	9時	3	1	1	0	0	3	0	0	8
・・	10時	0	0	1	1	0	0	0	0	2
平成28年10月22日	11時	0	2	0	0	0	3	0	0	5
	12時	0	0	0	0	2	3	0	0	5
	13時	0	0	0	0	2	0	2	0	4
	14時	0	0	0	0	0	2	3	0	5
	15時	0	2	0	0	0	3	3	0	8
	16時	0	0	0	0	2	0	3	0	5
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冬季	9時	0	4	0	0	0	0	0	0	4
・・	10時	0	1	0	0	0	0	0	0	1
平成29年1月22日	11時	0	2	0	1	0	0	0	0	3
	12時	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14時	1	0	0	0	0	2	0	0	3
	15時	3	1	0	0	0	2	0	0	6
	16時	1	3	0	0	0	1	0	0	5
	17時	－	－	－	－	－	－	－	－	0
春季	9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・・	10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年4月8日	11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14時	4	0	0	0	0	0	0	0	4
	15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0

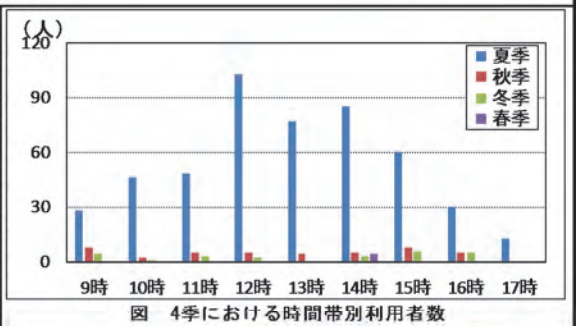


図　4季における時間帯別利用者数

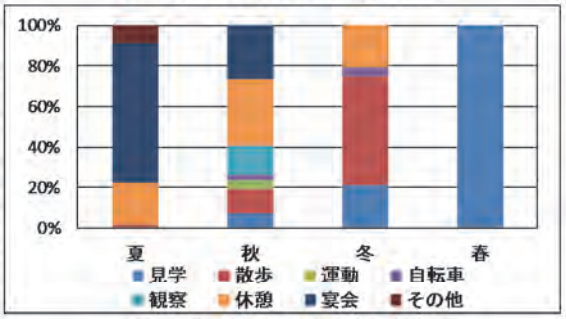


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

秋季、冬季、春季の利用者は比較的少なかったが、夏季は多くの利用者が確認された。

夏季、秋季、冬季ではほとんどの時間帯で利用が確認されたが、春季では14時台での利用のみが確認された。秋季、冬季は休憩をはじめとする4種類以上の活動が確認されたが、春季は飛行機見学のみであった。夏季はバーベキューや休憩等の活動が確認された。

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-19　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（屋形海水浴場）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号：16

場所　　：屋形海水浴場

調査地点位置

時間帯		利用者数(人) 見学	散歩	運動	海水浴	観察	休憩	宴会	その他	合計
夏季：平成29年8月6日	9時	0	1	27	38	5	20	0	14	105
	10時	0	0	73	53	5	24	0	17	172
	11時	0	0	34	96	0	41	0	17	188
	12時	0	0	30	60	0	37	0	12	139
	13時	0	0	37	88	0	37	0	9	171
	14時	0	0	36	110	0	39	0	8	193
	15時	0	5	33	107	0	43	0	15	203
	16時	0	0	4	19	0	14	0	1	38
	17時	0	2	3	14	0	9	0	0	28
秋季：平成28年10月22日	9時	1	0	46	0	0	0	0	1	48
	10時	0	0	38	0	0	0	0	2	40
	11時	4	2	17	0	2	0	0	2	27
	12時	4	0	8	0	0	0	4	2	18
	13時	3	0	11	0	2	0	3	3	22
	14時	2	3	7	0	0	0	3	6	21
	15時	2	2	5	0	0	0	0	5	14
	16時	2	0	6	0	0	0	0	4	12
	17時	0	3	0	0	0	0	0	0	3
冬季：平成28年1月22日	9時	0	4	13	0	0	0	0	4	21
	10時	0	6	11	0	0	0	0	2	19
	11時	0	8	0	0	0	0	0	3	11
	12時	2	4	0	0	0	0	0	2	8
	13時	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	14時	0	2	0	0	0	0	0	3	5
	15時	0	6	0	0	0	0	0	2	8
	16時	0	4	0	0	0	0	0	4	8
	17時	–	–	–	–	–	–	–	–	–
春季：平成28年4月8日	9時	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11時	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16時	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	17時	0	5	1	0	0	0	0	0	6

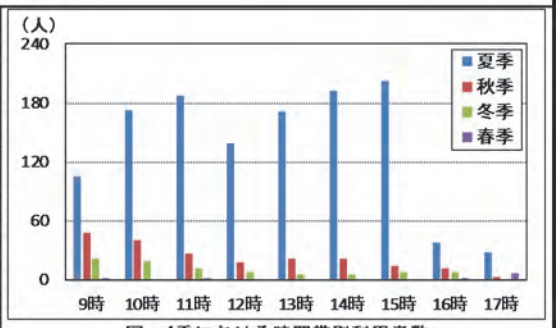


図　4季における時間帯別利用者数

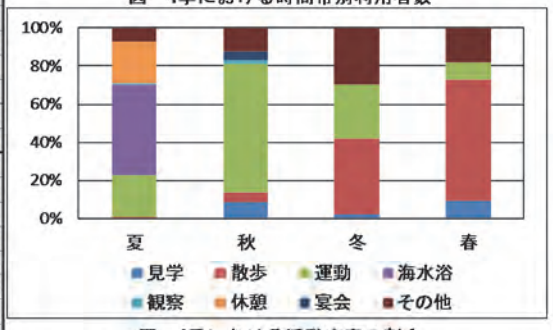


図　4季における活動内容の割合

【利用状況】

夏季は海水浴場開設期間中であり、多くの利用者が確認された。秋季の利用者は比較的多かったが、冬季、春季は比較的少なかった。

夏季、秋季、冬季では比較的早い時間帯に利用者が多く確認された。

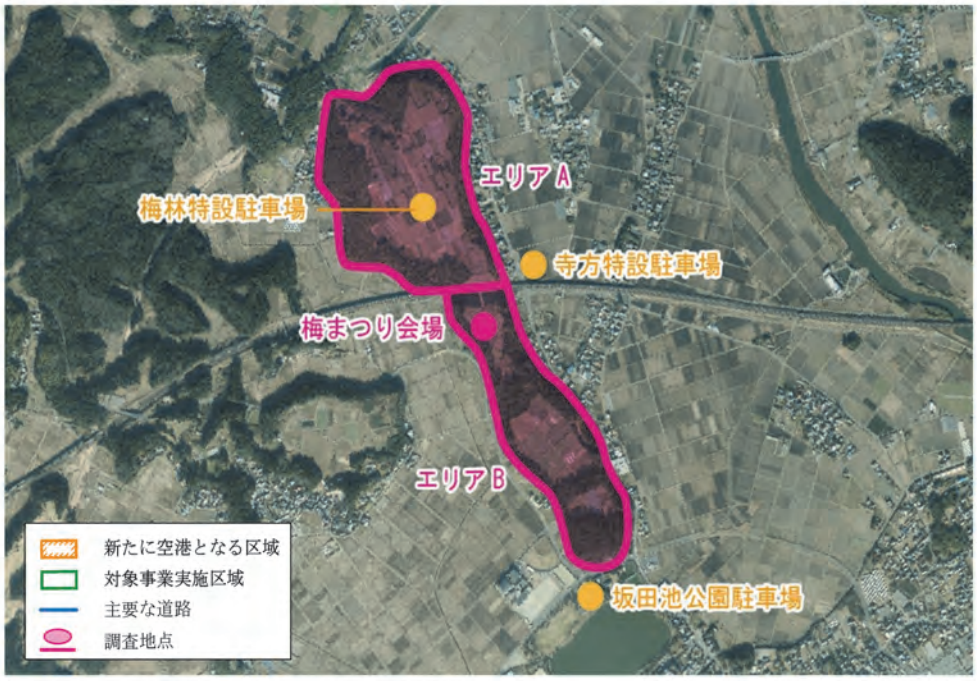
確認された活動内容は多岐にわたったが、利用者の多くがサーフィン等のマリンスポーツ運動をしていた。秋季は特に運動をしている利用者が多く確認されたが、冬季、春季では散歩等をしている利用者も多く確認された。夏季は海水浴や運動、休憩をしている利用者が多く確認された。

＊利用者数は、調査員の目視確認による。

表 2.12-20　人と自然との触れ合いの活動の場調査結果（坂田城跡梅林）

人と自然との触れ合いの活動の場　調査結果票

地点番号	17
場所	坂田城跡梅林
調査日	平成30年3月3日（土）
天候	晴れ



調査地点位置

時間帯		利用者数(人) エリアA 自転車	エリアA 観察	エリアA 宴会	エリアA その他	エリアB 観察	エリアB 宴会	エリアB その他	梅農家売店	合計
イベント時	9時	0	9	0	5	29	0	44	1	88
	10時	0	72	0	6	198	28	43	4	351
	11時	0	112	0	7	432	87	49	22	709
	12時	3	115	0	6	447	111	45	15	742
	13時	3	94	4	3	326	40	48	0	518
	14時	0	101	0	4	336	35	43	2	521
	15時	0	94	0	7	255	19	39	0	414
	16時	0	16	0	0	101	0	10	0	127

利用状況	【利用状況】 多くの梅まつり参加者が梅の観察・写真撮影、散策等を行っていた。特にエリアBの梅まつり会場周辺では利用者が多く、ベンチやシートを広げて昼食をとっている姿も多く確認された。その他は、関係者（駐車場誘導員、梅まつり会場の売店・梅農家売店の人等）や、エリア内の畑で農作業を行っている人が確認された。

＊利用者数、駐車場利用台数ともに、調査員の目視確認による概数である。